

川口市
障害福祉に関するアンケート調査報告書

令和5年 1 1 月

川口市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法・調査期間.....	1
3. 各調査について.....	1
(1) 市民	1
(2) 子ども	4
(3) 施設利用	6
(4) 一般市民	8
(5) 関係団体	9
(6) 事業所	10
4. 各調査のまとめ.....	11
(1) 市民	11
(2) 子ども	15
(3) 施設利用	18
(4) 一般市民	19
(5) 関係団体	20
(6) 事業所	20
5. 報告書を見る際の注意事項.....	22
第2章 各調査の結果.....	23
1. 市民	23
(1) 基本属性	23
(2) 日常生活について.....	30
(3) 相談や情報などについて.....	67
(4) 仕事について.....	98
(5) 福祉サービスについて.....	114
(6) まちづくり・地域生活について.....	123
(7) 災害時について.....	130
(8) 介助者のことについて.....	142
2. 子ども	162
(1) 基本属性	162
(2) 家庭のことについて.....	167
(3) 障害に気づいた時期について.....	170
(4) 主な介助者について.....	173

(5) 医療について.....	176
(6) 教育について.....	180
(7) 就労について.....	197
(8) 福祉サービスについて.....	201
(9) 外出について.....	210
(10) 情報や相談について.....	217
(11) 権利擁護について.....	226
(12) 災害時について.....	231
(13) 将来について.....	239
(14) その他	247
3. 施設利用	251
(1) 基本属性	251
(2) 日常生活について.....	257
(3) 相談や情報などについて.....	266
(4) 仕事について.....	279
(5) まちづくり・地域生活について.....	287
(6) 主な介助・援助者の意向について.....	293
4. 一般市民	299
(1) 基本属性	299
(2) 障害福祉について.....	301
5. 関係団体	312
(1) 生活を送る上での困りごとについて.....	312
(2) 生活を送る上での困りごとを相談する相手・団体について.....	313
(3) 災害時における準備やその不安、または必要な支援について.....	313
(4) 急遽、支援が受けられなくなる可能性を考慮した準備やその不安、 または必要な支援について.....	314
(5) 将来的に家族（親族）からの支援が得られなくなる可能性を考慮した準備や その不安、または必要な支援について.....	314
(6) 差別解消法等の改正後の変化等について.....	315
(7) 川口市で暮らしていく上で不足していると感じる支援や問題について.....	315
(8) 川口市で暮らしていく上で「利用しやすい」や「有効だ」と感じることに ついて	316
6. 事業所	317
(1) 法人（事業所）について.....	317

(2) 事業所の運営状況について.....	321
(3) 地域生活について.....	336
(4) 災害時・感染症への対応について.....	341
7. 調査対象者による比較.....	343
資料編	365

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

障害者及びその介護者、一般市民、関係団体や事業所の状況・意見を把握し、「障害者自立支援福祉計画」、「障害児福祉計画」を策定する際の基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2. 調査方法・調査期間

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和5年8月7日～8月25日

3. 各調査について

(1) 市民

①調査対象

18歳以上の市民のうち、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている人、自立支援医療（精神通院医療）を利用している人、障害福祉サービスを利用している難病の人の中から無作為に抽出した2,895人

②回収率

34.5%（1,000人）

③調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	調査票の回答者
	問1	性別
	問2	年齢
	問3	所持している手帳等
	問4	手帳に記されている障害
	問5	障害支援区分(程度区分)
	問6	要支援・要介護認定
	問7	受けている医療的ケア
(2) 日常生活について	問8	現在生活している場所
	問9	家族構成
	問10ア	平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所
	問10イ	平日の夜間(夕方から早朝)を過ごす場所
	問11	自宅以外で居心地の良い場所
	問12	収入や年金、手当など管理している人
	問13	本人の年収
	問14	本人を含めた世帯全員の年収
	問15	現在の暮らしの経済的状況

調査項目	問番号	設問
	問 16	福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)・成年後見制度
	問 17	健康面で心配なこと
	問 18	現在、取り組んでいる文化芸術活動(鑑賞含む)
	問 19	今後、取り組んでみたい文化芸術活動(鑑賞含む)
	問 20	市の住宅対策として今後特に望むこと
	問 21	施設に入所する場合に重視する点
	問 22	グループホームに入居する場合に重視する点
	問 23	施設への入所、グループホームへの入居希望
	問 23 - 1	施設・グループホームを選んだ理由
	問 23 - 2	施設・グループホームへ入る時期
	問 24	現在の幸福度
(3) 相談や情報などについて	問 25	福祉サービス情報入手の程度
	問 26	福祉サービスに関する情報の入手先
	問 27	情報の取得利用や意思疎通において必要な施策
	問 28	現在の生活で困っていることや不安に思っていること
	問 29	悩みや困ったことの相談先
	問 30	市民の障害者への理解度
	問 31	虐待された経験の有無
	問 31 - 1	虐待を受けた場面
	問 31 - 2	虐待の内容
	問 32	虐待現場の目撃経験の有無
	問 33	虐待相談窓口の認知度
	問 34	日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無
	問 34 - 1	差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面
	問 35	相談しやすい体制をつくるために必要なこと
	問 36 ア	相談支援事業所・就労支援センターの認知度
	問 36 イ	相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無
	問 36 ウ	相談支援事業所・就労支援センターの満足度
(4) 仕事について	問 37	収入
	問 38	就労状況
	問 38 - 1	働かない理由
	問 38 - 2	就労条件
	問 38 - 3	就労形態
	問 38 - 4	1ヶ月の給料や工賃
	問 38 - 5	仕事をするうえでの不安や不満
	問 39	希望就労時間
	問 40	障害のある方が働くために必要なこと
(5) 福祉サービスについて	問 41	各福祉サービスの利用状況・利用意向
	問 41 - 1	福祉サービスが利用できない理由
	問 42	各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの
	問 43	障害者施策に対する満足度

調査項目	問番号	設問
(6) まちづくり・地域生活について	問 44	隣近所とのつきあいの程度
	問 45	障害者にとっての川口市の住みやすさ
	問 46	障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと
	問 47	障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること
(7) 災害時について	問 48	災害時の避難先の認知
	問 49	災害時の避難の可否
	問 50	災害時に誰と避難するか
	問 51	大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なこと
	問 51 - 1	避難所生活で不安なこと
	問 52	福祉避難所の認知
	問 53	被災後の生活において頼りにする人
	問 54	地域における災害時の備えとして重要なこと
	問 55	「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向
	問 55 - 1	「川口市避難行動要支援者登録制度」に登録したくない理由
(8) 介助者のことについて ※問 58 以降は親族である介助者が回答	問 56	主な介助者
	問 57	主な介助者が介助できなくなった場合の対応
	問 58	主な介助者の年齢
	問 59	主な介助者の性別
	問 60	本調査のあて名の方とあなたを除いた世帯の状況
	問 61	主な介助者の要支援・要介護認定
	問 62	主な介助者の就労状況
	問 63	主な介助者が介助や見守りを行う 1 日あたりの平均時間
	問 64	主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無
	問 64 - 1	主な介助者が強く叱ったり、叩いたりした具体的な内容
	問 64 - 2	主な介助者が強く叱ったり、叩いたりしてしまう要因
	問 65	主な介助者がボランティアなどに支援を頼んでいること
	問 66	主な介助者が今後ボランティアなどに頼みたい支援
	問 67	介助者の立場として困っていること
	問 68	自由意見

(2) 子ども

①調査対象

18歳未満の市民のうち、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている人、自立支援医療（精神通院医療）、障害福祉サービス等を利用している人の中から無作為に抽出した保護者 1,350 人

②回収率

47.0% (635 人)

③調査項目

調査項目	設問	問番号
(1) 基本属性	—	調査票の回答者
	問 1	性別
	問 2	就学(未就学)等
	問 3	所持している手帳等
	問 4	手帳に記されている障害
	問 5	「発達障害」の診断の有無
	問 5-1	発達障害の種類
(2) 家庭のことについて	問 6	現在生活している場所
	問 6-1	一緒に暮らしている人
	問 7	一緒に暮らしている世帯の状況
	問 8	一緒に暮らしている家族全体の年収
(3) 障害に気づいた時期について	問 9	障害や発達課題などに気づいたきっかけ
	問 10	障害や発達課題などに早く気づけたと思うか
	問 11	障害や発達課題などに気づいた際の市役所や専門機関等への相談状況
	問 11-1	対応に不満だった理由、相談でき（し）なかった理由
(4) 主な介助者について	問 12	主な介助者
	問 13	障害があることが理由で支援を必要とする項目
	問 14	主な介助者が介助できなくなった場合の対応
(5) 医療について	問 15	定期的な診察の受診状況
	問 16	受けている「医療的なケア」の種類
	問 17	健康の維持や医療に関することで困っていること
(6) 教育について	問 18	現在の通園・通学(訪問教育)または通勤の状況
	問 19	通園・通学先の場所
	問 20 ア	放課後(通園・通学後)に一緒に過ごす人
	問 20 イ	放課後(通園・通学後)を過ごす場所
	問 21	今後の放課後の過ごし方の希望
	問 22	放課後や学校のない日に特に困っていること
	問 23	学校生活で特に困っていること
	問 24	園や学校に通う上で求めること
	問 25	これからの障害児の学校教育で特に大切なこと

調査項目	設問	問番号
(7) 就労について	問 26	現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）
	問 27	今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）
	問 28	卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育の期間に必要なと思う支援
	問 29	将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望
(8) 福祉サービスについて	問 30	障害のある方が働くために必要なこと
	問 31	各福祉サービスの利用状況・利用意向
	問 32	福祉サービスが利用できない理由
	問 33	福祉サービスを利用するにあたり困っていること
(9) 外出について	問 34	各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの
	問 35	障害者施策に対する満足度
	問 36	外出の頻度
	問 36 - 1	主な外出の目的
(10) 情報や相談について	問 37	地域活動や地域行事への参加状況
	問 37 - 1	参加している地域活動や地域行事
	問 38	外出しやすくなるために必要なこと
	問 39	福祉サービス情報入手の程度
	問 40	福祉に関する情報の入手先
	問 41	情報の取得利用や意思疎通において必要な施策
	問 42	悩みや困ったことの相談先
	問 43	現在相談している、または相談したいと思っていること
(11) 権利擁護について	問 44 ア	相談支援事業所の認知度
	問 44 イ	相談支援事業所の利用の有無
	問 44 ウ	相談支援事業所の満足度
	問 45	市民の障害者への理解度
(12) 災害時について	問 46	日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無
	問 46 - 1	差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面
	問 47	災害時にひとりで避難することの可否
	問 47 - 1	災害時にひとりで避難できない理由
	問 48	災害が発生した場合に不安に思っていること
(13) 将来について	問 49	避難所生活で不安なこと
	問 50	福祉避難所の認知
	問 51	将来的に高等学校などを卒業した後に暮らす場所の希望
	問 52	今後について不安に思うこと
(14) その他	問 53 (1)	障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境
	問 53 (2)	障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境
	問 54	障害者にとっての川口市の住みやすさ
	問 55	家族に大切な支援
	問 56	発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うこと
	問 57	自由意見

(3) 施設利用

①調査対象

18歳以上の市民のうち、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている人で障害者支援施設に入所、またはグループホーム（共同生活援助）に入居している人の中から無作為に抽出した 339 人

②回収率

37.8% (128 人)

③調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	調査票の回答者
	問 1	性別
	問 2	年齢
	問 3	所持している手帳等
	問 4	手帳に記されている障害
	問 5	障害支援区分(程度区分)
	問 6	要支援・要介護認定
(2) 日常生活について	問 7	受けている医療的ケア
	問 8	家族構成
	問 9	現在の施設に入ってから年数
	問 10	健康面で心配なこと
	問 11	現在入所している施設の満足度
	問 12	現在の生活で困っていることや不安に思っていること
	問 13	悩みや困ったことの相談先
(3) 相談や情報などについて	問 14	現在の幸福度
	問 15	福祉サービスに関する情報の入手先
	問 16	所有(利用)している情報通信機器
	問 17	市民の障害者への理解度
	問 18	虐待された経験の有無
	問 18 - 1	虐待を受けた場面
	問 18 - 2	虐待の内容
	問 19	虐待現場の目撃経験の有無
	問 20	虐待相談窓口の認知度
	問 21	日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無
	問 21 - 1	差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面
	問 22	相談しやすい体制をつくるために必要なこと
	問 23 ア	相談支援事業所・就労支援センターの認知度
	問 23 イ	相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無
	問 23 ウ	相談支援事業所・就労支援センターの満足度

調査項目	問番号	設問
(4) 仕事について	問 24	収入
	問 25	就労状況
	問 25 - 1	働かない理由
	問 25 - 2	就労条件
	問 25 - 3	就労形態
	問 26	希望就労時間
	問 27	障害のある方が働くために必要なこと
(5) まちづくり・地域生活について	問 28	障害者にとっての川口市の住みやすさ
	問 29	将来的な暮らし方の希望
	問 29 - 1	現在の施設で暮らしたいと回答した理由
	問 30 (1)	障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境
	問 30 (2)	障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境
	問 31	今後の居住意向
	問 32	障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと
(6) 主な介助・援助者の意向について ※問 33 以降は親族である主な介助・援助者が回答	問 33	主な介助者の年齢
	問 34	主な介助者の性別
	問 35	主な介助者の要支援・要介護認定
	問 36	主な介助者の就労状況
	問 37	被介助者が今後施設を出て地域で暮らすことの可否
	問 38	主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所
	問 39	介助・援助者の立場として困っていること
	問 40	自由意見

(4) 一般市民

①調査対象

18 歳以上の川口市民の中から無作為に抽出した 3,081 人

②回収率

33.0% (1,018 人)

③調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	調査票の回答者
	問 1	性別
	問 2	年齢
(2) 障害福祉について	問 3	障害のある方との普段の関わり
	問 4	日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできること
	問 5	障害についての理解度
	問 6	日常生活において、障害のある方への差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無
	問 6-1	差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面
	問 7	障害者にとっての川口市の住みやすさ
	問 8	地域共生社会の進み具合
	問 9	障害のある方とない方がお互いに理解しあうために重要なこと
	問 10	障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと
	問 11	事業所の認知度
	問 12	自由意見

(5) 関係団体

①調査対象

障害者福祉団体 (12 団体)

②回収率

58.3% (7 団体)

③調査項目

調査項目	問番号	設問
団体の名称等	—	貴団体の名称、設立目的・活動概要
(1) 団体の課題について	問 1	生活を送る上での困りごと
	問 2	生活を送る上での困りごとを相談する相手・団体
	問 3	災害時における準備や不安、または必要な支援
	問 4	日常生活において、急遽、家族等の支援が受けられなくなる可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援
	問 5	将来的に家族からの支援が得られなくなる可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援
	問 6	差別解消法等の改正後の変化等
	問 7	川口市で暮らしていく上で不足していると感じる支援や問題
	問 8	川口市で暮らしていく上で「利用しやすい」「有効だ」と感じること

(6) 事業所

①調査対象

障害福祉サービス提供事業所 (211 事業所)

②回収率

50.7% (107 事業所)

③調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 法人 (事業所) について	問 1	法人の本部・本社の所在地
	問 2	法人の運営主体
	問 2 付問	法人格の取得時期
	問 3	運営する事業所数
(2) 事業所の運営状況について	問 4	現在の経営状況
	問 5	障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと
		①事業単価
		②従業員の人員確保・人材確保
		③利用者との関係や契約の問題
		④サービスの内容やサービスの質の向上
		⑤人材確保のために取り組んでいること
		⑥その他の事業所運営上での問題点や課題等
	問 6	強度行動障害のある方の受け入れの可否
	問 6-1	強度行動障害のある方を受け入れるために必要なこと
	問 7	重度心身障害のある方の受け入れの可否
	問 7-1	重度心身障害のある方を受け入れるために必要なこと
	問 8	ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方の受け入れの可否
	問 8-1	ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方を受け入れるために必要なこと
	問 9	医療的ケアが必要な方の受け入れの可否
	問 9-1	医療的ケアが必要な方を受け入れるために必要なこと
	問 10	加齢に伴い ADL が低下した方を引き続き受け入れることの可否
	問 10-1	加齢に伴い ADL が低下した方を受け入れるために必要なこと
	問 11	サービスの提供や施設の運営にあたっての地域住民によるボランティアの受け入れ状況
	問 11-1	ボランティアの属性
	問 11-2	ボランティアを受け入れるにあたっての課題
	問 12	介護保険サービスの提供状況
	問 12-1	介護保険サービスを提供する予定
	問 13	事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体
	問 14	関係機関・団体との連携を強化するために必要なこと

調査項目	問番号	設問
(3) 地域生活について	問 15	障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと
	問 16	障害者が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること
	問 17	虐待を発見した場合の手順
	問 18	川口市内における障害福祉サービスの提供状況
	問 19	今後必要になると思われるサービスや見直すべきサービス等
	問 20	福祉サービス第三者評価の受審や自己評価の実施状況
	問 20 - 1	実施しない理由
	問 21	地域との連携を図るためにしていること
(4) 災害時・感染症への対応について	問 22	災害に備えたマニュアル等の策定状況
	問 23	地域の状況に応じた災害に係る避難訓練の実施状況
	問 24	感染症に備えたマニュアル等の策定状況
	問 25	災害や感染症に備え、行政が行っていくことが必要な取組
	問 26	自由意見

4. 各調査のまとめ

(1) 市民

①日常生活について

- ・現在生活している場所は、65～74歳、75～84歳、85歳以上において「自分の持ち家」が最も多くなっており、18～29歳、30～39歳は「親など家族の持ち家」が最も多くなっています。障害種別にみると、身体障害者は「自分の持ち家」、知的障害者は「親など家族の持ち家」、精神障害者は「民間のアパート、賃貸マンション、借家」が全体に比べ多くなっています。(問8)
- ・本人の年収(賃金・年金等を含む)は、「100万円未満」が3割強で最も多く、次いで「100万円～200万円未満」が2割半ば、「200万円～300万円未満」が1割強となっています。女性は「100万円未満」が4割強となっています。(問13)
- ・本人を含めた世帯全員の年収では、「100万円～200万円未満」が1割半ばで最も多くなっています。(問14)
- ・現在の暮らしの経済的状況は、「普通」が約4割で最も多く、次いで「苦しい」、「やや苦しい」が2割半ばとなっています。(問15)
- ・福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)、成年後見制度(利用支援事業)は、いずれも“知らない”(「あまりよく知らない」+「まったく知らない」)が約6割から7割弱となっています。障害種別にみると、いずれの事業・制度も、精神障害者は“知らない”が多くなっています。(問16)
- ・健康面で心配なことは、「体(足や腰など)が痛いこと」が最も多くなっており、「精神的な不安なこと」、「年々、体が動かなくなること」、「肥満・運動不足なこと」が3割半ばとなっています。(問17)
- ・現在、取り組んでいる文化芸術活動(鑑賞含む)は、「映画」、「音楽」が約2割、「ア

ニメ」が1割半ばとなっています。(問18) 今後、取り組んでみたい文化芸術活動(鑑賞含む)は、「音楽」が1割強、「映画」が約1割となっています。(問19)

- ・市の住宅対策として今後特に望むことは、「住宅改修費の助成制度の充実」が2割強、「ケア付き住宅やグループホームなどの整備」が約2割、「障害に配慮した公営住宅の整備」が2割弱となっています。(問20)
- ・施設及びグループホームに入所・入居する場合に重視する点は、「料金(自己負担額)が安い」が最も多く、次いで「職員が親切で対応が良い」、「必要なサービスを受けられる」となっています。(問21、問22)
- ・施設及びグループホームへの入所・入居希望は、「わからない」が最も多くなっています。(問23) 施設・グループホームへ入る時期は、「障害が重度になったら」が4割弱で最も多く、次いで「高齢になったら」が3割弱、「地域での生活が難しくなったら」が2割強となっています。(問23-2)

②相談や情報などについて

- ・福祉サービスに関する情報の入手先は、「家族・親戚、友人・知人」が3割弱で最も多く、次いで「インターネット」が2割強、「市の広報紙やパンフレット等」が約2割となっています。年齢別にみると、18～29歳は「家族・親戚、友人・知人」、「相談支援事業所」、30～39歳は「インターネット」、「相談支援事業所」、40～64歳は「インターネット」が全体に比べ多く、障害種別にみると、知的障害者は「家族・親戚、友人・知人」、「相談支援事業所」、精神障害者は「インターネット」が全体に比べ多くなっています。(問26)
- ・現在の生活で困っていることや不安に思っていることは、「自分の健康や体力に自信がない」が約4割で最も多く、次いで「家族などが高齢化している」が3割弱、「十分な収入が得られない」が2割強となっています。年齢別にみると、18～29歳は「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、30～39歳は「家族などが高齢化している」、「結婚に関して」、「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、40～64歳は「十分な収入が得られない」が全体に比べ多く、障害種別に見ると知的障害者は「家族などが高齢化している」、「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、精神障害者は「適当な働き口がない」、「十分な収入が得られない」が全体に比べ多くなっています。(問28)
- ・市民の障害者への理解度は、身体障害は「ある程度理解されている」が最も多いが、それ以外は「理解されていない」が最も多くなっています。(問30)
- ・日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無は、「感じる」(「よく感じる」+「ときどき感じる」)が約3割となっています。年齢別にみると、30～39歳は「ときどき感じる」が全体に比べ多くなっています。(問34) “感じる”場面は、「仕事」、「外での人の視線(じろじろ見られる等)」が多くなっ

ています。(問34-1)

- ・相談しやすい体制をつくるために必要なことは、「信頼できる相談者がいる」が5割弱で最も多く、次いで「曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる」が約4割、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が3割半ばとなっています。(問35)
- ・相談事業所・就労支援センターの認知度は、いずれも「知らない」が最も多く、5割を超えています。(問36ア)

③仕事について

- ・収入は、「年金」が6割弱で最も多く、次いで「給与・賃金」が3割強、「生活保護」が約1割となっています。年齢別にみると、18～29歳は「給与・賃金」、「収入はない」、30～39歳は「給与・賃金」、「福祉に関する手当」、40～64歳は「給与・賃金」、65～74歳、75歳～84歳、85歳以上は「年金」が全体に比べ多くなっています。(問37)
- ・就労状況は、障害種別にみると、「働いている」は身体障害者が2割強、知的障害者が5割半ば、精神障害者が約4割となっています。(問38)
- ・就労形態は、「会社などの正規の社員・職員(役員を含む)」が3割強で最も多く、次いで「臨時、パート、嘱託等(雇用期間が決まっていない)」が2割強、「契約社員等(雇用期間が決まっている)」が約1割となっています。年齢別にみると、30～39歳、40～64歳は「会社などの正規の社員・職員(役員を含む)」、65～74歳、75～84歳は「自営業」が全体に比べ多く、障害種別にみると、知的障害者は「就労継続支援B型」、「生活介護」が全体に比べ多くなっています。(問38-3)
- ・1ヶ月の給料や工賃は、「7～11万円未満」が1割半ばで最も多く、次いで「11～15万円未満」、「1万円未満」がともに1割強となっています。障害種別にみると、知的障害者は「1万円未満」が全体に比べ多くなっています。(問38-4)
- ・仕事をするうえでの不安や不満は、「収入が少ない」が約3割で最も多く、次いで「職場の人間関係がむずかしい」が2割強と多くなっています。(問38-5)
- ・障害者が働くために必要なことは、「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」、「事業主や職場の仲間の理解があること」、「生活できる給料がもらえること」が4割半ばと多くなっています。(問40)

④福祉サービスについて

- ・各福祉サービスの利用状況・利用意向は、いずれのサービスも「現在利用していないし、今後利用する予定もない」が最も多くなっています。(問41)
- ・川口市内で不足していると思う福祉サービスは、すべて1割未満となっています。(問42)

⑤まちづくり・地域生活について

- ・川口市の住みやすさは“住みやすい”（「住みやすい」＋「まあ住みやすい」）が3割強、“住みにくい”（「住みにくい」＋「やや住みにくい」）が1割半ばとなっています。（問45）
- ・障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が約5割で最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」、「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」が約4割となっています。（問46）
- ・地域で暮らすために地域住民に期待することは、「差別・偏見のない障害(特性)への理解」が5割半ばで最も多く、次いで「障害者本人や家族のプライバシーへの配慮」が4割弱、「積極的な見守り・声かけ」が3割弱となっています。（問47）

⑥災害時について

- ・災害時の避難先の認知は、「知っている」が6割弱、「知らない」が4割弱となっています。（問48）
- ・災害時の避難の可否は、「できる」が3割弱、「できると思うが、自信はない」が5割弱、「できない」が約2割となっています。（問49）
- ・大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なことは、「避難所生活がむずかしい」が3割強で最も多く、次いで「薬の手配がむずかしい」が約3割、「自力で避難がむずかしい」が2割半ばとなっています。（問51）
- ・避難所生活で不安なことは、「必要な服薬や医療的ケアが受けられない」が約5割で最も多く、次いで「会場やトイレ等がバリアフリーになっていない」が4割強となっています。（問51-1）
- ・福祉避難所の認知は「知らない」が9割弱となっています。（問52）

⑦介助者のことについて

- ・主な介助者の年齢は、「40～59歳」が2割半ばで最も多く、次いで「65～74歳」、「75～84歳」が2割弱となっています。年齢別にみると、65～74歳の介助者は「65～74歳」が6割強、75～84歳の介助者は「75～84歳」が6割弱となっています。（問58）
- ・主な介助者が今後ボランティアなどに頼みたい支援は、「介助者が緊急で不在の際の手助け」が1割半ばで最も多く、次いで「外出時の送り迎え(移送ボランティア)」、「外出時の付き添い」が1割強となっています。（問66）
- ・介助者の立場として困っていることは、「自分が亡くなった後のこと」が4割弱で最も多く、次いで「健康のこと」が3割強、「費用面など、お金の問題」が約2割となっています。（問67）

(2) 子ども

①障害に気づいた時期について

- ・ 障害や発達課題などに気づいたきっかけは、「あなたを含む家族による気づき」が4割強で最も多く、次いで「病院などの医療機関による受診・健診」が約4割、「保健センターで実施する健診(4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)」が2割強となっています。(問9)
- ・ 障害や発達課題などに早く気づけたと思うかは、「思う」が8割弱となっています。(問10)
- ・ 障害や発達課題などに気づいた際の市役所や専門機関等への相談状況は、「相談できたし、対応も満足だった」が6割強で最も多く、次いで「相談できたが、対応は不満だった」が2割半ば、「相談できなかった・しなかった」が1割弱となっています。(問11)

②主な介助者について

- ・ 障害があることが理由で支援を必要とする項目は、「コミュニケーション」が7割強で最も多くなっています。就学別にみると、未就学児は「食事」、「排泄」、「入浴」、「衣服の着脱」、中学生は「自宅での学習の手助け」が全体に比べ多くなっています。(問13)

③医療について

- ・ 受けている「医療的なケア」については、「受けていない」が約8割となっています。(問16)
- ・ 健康の維持や医療に関することで困っていることは、「医療機関が近くにない」、「障害があることで、他の病気の治療が受けにくい」、「医療機関の設備や対応が障害児に配慮されていない」、「通院のための交通費の負担が大きい」が多くなっています。(問17)

④教育について

- ・ 通園・通学先の場所は、「市内」が約8割、「市外」が2割弱となっています。(問19)
- ・ 放課後(通園・通学後)を過ごす場所は、「自宅」が5割半ばで最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が4割弱となっています。(問20イ)
- ・ 通園・通学している場合に、今後はどのような放課後の過ごし方を希望するかは、就学別にみると、未就学児は「放課後、学校あるいは近くで子どもが集まって過ごせる場がほしい」、「親子で遊べる場所がほしい」、中学生、中学校卒業以上は「現在の過ごし方でよい」が全体に比べ多くなっています。(問21)
- ・ 通園・通学している場合に、放課後や学校のない日に特に困っていることは、「子どもを自宅に残して外出することが困難」が4割強で最も多く、次いで「子どもを過ごさせる場所・サービスが少ない」が約3割となっています。(問22)
- ・ 通園・通学している場合に、学校生活で特に困っていることは、「一人での登下校が難

しいなど、通学の負担が大きい」が2割半ばで最も多くなっています。(問23)

- ・園や学校に通う上で求めることは、「障害や発達課題などに対する、教師や他の児童・生徒の理解と配慮」、「障害や発達課題などに合わせた環境の整備」が多くなっています。(問24)
- ・これからの障害児の学校教育で特に大切と思うことは、「障害児のニーズに応じた専門的な教育を充実させること」、「障害に対する教員の専門性を向上させること」が6割強と多くなっています。(問25)
- ・現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）は、「アニメ」が約3割で最も多く、次いで「音楽」が2割弱、「映画」が1割半ばとなっています。(問26) 今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）は、「音楽」が2割強で最も多く、次いで「ダンス」が2割弱、「絵画」が1割強となっています。(問27)

⑤就労について

- ・卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育機関に必要なと思う支援は、「ソーシャルスキル訓練」、「特性や課題に応じた学習支援」、「ライフスキル訓練」の順に多くなっており、いずれも6割半ばを超えています。(問28)
- ・将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望をきいたところ、「福祉的就労をする」、「働くための知識や能力を向上させる訓練を受ける」がいずれも3割弱となっています。(問29)
- ・障害のある方が働くために必要なことは、「事業主や職場の仲間の理解があること」が約8割で最も多く、次いで「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」が7割強、「生活できる給料がもらえること」が約7割となっています。(問30)

⑥福祉サービスについて

- ・各福祉サービスの利用状況・利用意向は、「現在利用しており、今後も利用したい」が最も多いのは「放課後等デイサービス(障害児向けサービス)」、「現在利用していないが、今後は利用したい」が最も多いのは「川口市障害者就労支援センター」となっています。(問31)
- ・福祉サービスを利用するにあたり困っていることは、「サービス内容に関する情報が少ない」が約3割で最も多く、次いで「定員がいっぱいで施設に入所や通所ができない」、「手続きが面倒である」が2割強となっています。(問33)
- ・川口市内で不足している福祉サービスは「放課後等デイサービス（障害児向けサービス）」、「短期入所」、「児童発達支援（障害児向けサービス）」の順となっています。(問34)

⑦外出について

- ・地域活動や地域行事への参加状況は、「ほとんど参加しない」が約7割となっています。
(問37)
- ・外出しやすくなるために必要なことは、「市民の障害に対する理解が深まること」が4割半ばで最も多くなっています。(問38)

⑧情報や相談について

- ・福祉に関する情報の入手先は、「インターネット」が5割強で最も多く、次いで「家族・親戚、友人・知人」が4割半ば、「学校、職場」が2割半ばとなっています。(問40)
- ・現在相談している、または相談したいと思っていることは、「子どもの教育・学習」が5割半ばで最も多く、次いで「子どもの就職」が4割弱、「子どもの健康・医療」が3割強となっています。(問43)
- ・相談支援事業所の認知度は、「知っている」、「知らない」とともに5割弱となっています。
(問44ア)

⑨権利擁護について

- ・市民の障害者への理解度は、身体障害は「ある程度理解されている」が最も多く、それ以外は「理解されていない」が最も多くなっています。(問45)
- ・日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無は、「ときどき感じる」が5割弱で最も多く、次いで「ほとんど感じたことはない」が3割弱、「よく感じる」が2割弱となっています。(問46)

⑩災害時について

- ・災害時にひとりで避難することの可否は、「できない」が8割弱となっています。(問47)
- ・災害が発生した場合に不安に思っていることは、「子どもが安全な場所まですぐに避難することができるか」が約7割、「子どもを救助してくれる人がいるか」、「子どもが救助を求めることができるか」が6割半ばとなっています。(問48)
- ・福祉避難所の認知は、「知らない」が8割半ばとなっています。(問50)

⑪将来について

- ・将来的に高等学校などを卒業した後に暮らす場所の希望は、「自宅で生活」が8割強で最も多く、次いで「グループホームなどで生活」が約3割、「入所施設で生活」が1割半ばとなっています。(問51)
- ・今後について不安に思うことは、「就職先の有無」が7割弱で最も多く、次いで「就学・進学先の有無」が5割半ばとなっています。(問52)

- ・障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境は、「日常生活ができるための訓練をすること」が6割半ば、「身近に相談できる事業所があること」が6割強、「障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実」が5割半ばとなっています。（問53（1））
- ・障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境は、「働いて収入が得られる、収入額が増えること」が7割弱で最も多く、次いで「地域住民が障害・障害者に理解があること」が6割半ば、「身近に相談できる事務所があること」、「家族の理解があること」が6割強となっています。（問53（2））

⑫その他

- ・川口市の住みやすさは“住みやすい”（「住みやすい」＋「まあ住みやすい」）が約4割、「住みにくい」（「住みにくい」＋「やや住みにくい」）が2割強となっています。（問54）
- ・家族に大切な支援は、「相談・情報提供」が7割弱で最も多くなっています。（問55）
- ・発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うことは、就学別にみると、未就学児は「通園施設の設備・教育内容等の充実」、「保育所や幼稚園での発達支援の充実」が全体に比べ多くなっています。（問56）

（３）施設利用

①日常生活について

- ・現在の施設に入ってから年数は、「10年以上」が約4割で最も多く、次いで「1年以上3年未満」、「5年以上10年未満」が2割弱となっています。（問9）
- ・健康面で心配なことは、「肥満・運動不足なこと」が3割半ばで最も多くなっています。（問10）
- ・入所している施設に“満足している”（「満足している」＋「まあまあ満足している」）は6割半ばとなっています。（問11）
- ・現在の生活で困っていることや不安に思っていることは、「自由に外出できない」が2割強で最も多く、次いで「好きなものが食べられない」、「家族などが高齢化している」が約2割となっています。（問12）
- ・悩みや困ったことの相談先は、「入所している施設の職員」が7割弱で最も多くなっています。（問13）

②相談や情報などについて

- ・福祉サービスに関する情報の入手先は、「福祉施設の窓口・職員等」が3割強で最も多くなっています。（問15）
- ・相談しやすい体制をつくるために必要なことは、「信頼できる相談者がいる」が5割弱

で最も多く、次いで「曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる」が約4割、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が3割強となっています。(問22)

- ・相談支援事業所・就労支援センターの認知度は、相談支援事業所は「知っている」、「知らない」がともに約4割、就労支援センターは、「知らない」が6割弱となっています。(問23ア)

③仕事について

- ・就労状況は、「働いていない」が6割弱、「働いている」が3割半ばとなっています。(問25)
- ・障害のある方が働くために必要なことは、「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」が5割強で最も多く、次いで「事業主や職場の仲間の理解があること」が4割強となっています。(問27)

④まちづくり・地域生活について

- ・障害者にとっての川口市の住みやすさは“住みやすい”(「住みやすい」＋「まあ住みやすい」)が4割半ば、“住みにくい”(「住みにくい」＋「やや住みにくい」)が1割以下となっています。(問28)
- ・将来的な暮らし方の希望は、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」、「この施設で暮らしたい」が2割強となっています。(問29)
- ・障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことは、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が5割弱で最も多く、次いで「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」、「グループホームの整備」が3割強となっています。(問32)

⑤主な介助・援助者の意向について

- ・被介助者が今後施設を出て地域で暮らすことの可否は、「難しいと思う」が6割強となっています。(問37)
- ・主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所は、「入所施設で生活」が6割強で最も多くなっています。(問38)
- ・介助・援助者の立場として困っていることは、「自分が亡くなった後のこと」が6割強で最も多くなっています。(問39)

(4) 一般市民

①障害福祉について

- ・障害のある方との普段の関わりは、「地域でみかける程度」、「家族等身近な親族として」、「職場で」が多くなっています。(問3)

- ・日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできることは、「ホームに落ちないように声かけ・手助けする」、「移動の支援(車椅子を押す、付き添いなど)」が4割強で多くなっています。(問4)
- ・障害についての理解度は、回答者自身は“理解している”(「十分理解している」＋「ある程度理解している」)が約7割となっています。(問5)
- ・障害者にとっての川口市の住みやすさは“住みやすい”(「住みやすい」＋「まあ住みやすい」)、“住みにくい”(「住みにくい」＋「やや住みにくい」)ともに2割弱となっています。(問7)
- ・地域共生社会の進み具合は、“進んでいる”(「進んでいる」＋「少しは進んでいる」)が2割弱、“進んでいない”(「進んでいない」＋「あまり進んでいない」)が約3割となっています。(問8)
- ・障害のある方とない方がお互いに理解しあうために重要なことは、「幼少期から一緒に学ぶ教育の機会を提供する」が約6割で最も多く、次いで「障害福祉について、小中学校での教育を充実させる」が6割弱となっています。(問9)
- ・障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことは、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が6割強で最も多くなっています。(問10)

(5) 関係団体

※調査結果を参照

(6) 事業所

①事業所の運営状況について

- ・現在の経営状況は、「大きな問題は無いが、順調とは言えない」が4割半ば、「事業継続がかなり難しい状況にある」が1割強となっています。(問4)
- ・障害福祉サービスを運営していく上で問題だと思うことについて、事業単価は、「少ない(低い)」が5割半ば、「やや少ない(少し低い)」が2割半ばとなっています。(問5①)
- ・障害福祉サービスを運営していく上で問題だと思うことについて、従業員の人員確保・人材確保は、「人材を確保するのが困難」が5割半ばで最も多く、次いで「現在の報酬単価では人員の確保が難しい」が約5割、「高度なスキルを持った人材の確保が難しい」が約3割となっています。(問5②)
- ・障害福祉サービスを運営していく上で問題だと思うことについて、利用者との関係や契約の問題は、「契約に関する書類の多さや記入項目の多さが事業所の負担となっている」が3割強で最も多く、次いで「契約に関する書類の多さや記入項目の多さが利用者(家族)の負担となっている」が3割弱となっています。(問5③)

- ・サービスの内容やサービスの向上は、「日常の業務に追われ、サービスの質を高めるための研修等が十分にできない」、「総合支援法のサービス対象にないが（サービス報酬に結びつかない）、現実的には必要なサービスを事業者が無償で行う場合がかなりある」が4割弱で最も多くなっています。（問5④）
- ・強度行動障害（自傷、他傷、破壊、非衛生的、異食、極端な固執行動など）のある方の受け入れの可否は、「できない」が5割強となっています。受け入れるために必要なことは、「職員の加配」が7割半ば、「職員の研修」が7割強となっています。（問6、6-1）
- ・重度心身障害のある方の受け入れの可否は、「できない」が5割半ばとなっています。受け入れるために必要なことは、「職員の研修」が7割強となっています。（問7、7-1）
- ・ADLが全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方の受け入れの可否は、「できない」が6割半ばとなっています。受け入れるために必要なことは、「職員の研修」が約7割、「職員の加配」が7割弱となっています。（問8、8-1）
- ・医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、インシュリン等の注射など）が必要な方の受け入れは、「できない」が約7割となっています。受け入れるために必要なことは、「職員の研修」が7割半ばで最も多く、次いで「医療機関との連携強化」が約7割、「職員の加配」が6割弱となっています。（問9、9-1）
- ・加齢に伴いADLが低下した方を引き続き受け入れることの可否は、「できない」が4割半ばとなっています。受け入れるために必要なことは、「職員の研修」が6割強、「医療機関との連携強化」が6割弱となっています。（問10、10-1）
- ・サービスの提供や施設の運営にあたっての地域住民によるボランティアの受け入れ状況は、「受け入れていない」が4割半ばで最も多く、次いで「申し出があれば受け入れる」が4割弱となっています。（問11）
- ・ボランティアを受け入れるにあたっての課題は、「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が約4割で最も多く、次いで「プライバシーや個人情報の保護が難しい」が4割弱、「受け入れ体制（指導・監督）が整えられない」が約3割となっています。（問11-2）
- ・介護保険サービスは、「提供していない」が6割強、「提供している」が3割半ばとなっています。（問12）
- ・事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体は、「相談支援事業者」が8割強で最も多く、次いで「福祉サービス提供事業者」が約8割、「市役所」が7割半ばとなっています。（問13）
- ・関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは、「顔の見える関係づくりを行う」が6割弱で最も多く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」が約4割、「ネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」が4割弱となっています。（問14）

②地域生活について

- ・ 障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことは、「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」、「サービス利用の手続きの簡素化」が6割半ばで最も多くなっています。(問15)

③災害時・感染症への対応について

- ・ 災害に備えたマニュアル等の策定状況は、「非常災害対策計画を策定している」が6割弱、「独自に災害時の対応マニュアルを策定している」が約3割、「策定していない」が約1割となっています。(問22)
- ・ 感染症に備えたマニュアル等の策定状況は、「策定している」が7割半ば、「マニュアルは策定していないが、対策方針は決めている」が2割強となっています。(問24)
- ・ 災害や感染症に備え、行政が行っていくことが必要な取組みは、「避難行動要支援者への具体的な支援方法」が約4割で最も多く、次いで「福祉避難所の整備」が3割強、「福祉避難所における障害特性に応じた支援方法の明確化」が1割半ばとなっています。(問25)

5. 報告書を見る際の注意事項

- ・ 本報告書においては、特に断りのない限り、障害種別を次のように表示・解釈しています。

本報告書における表示	解釈
身体障害者	身体障害者手帳所持者
知的障害者	療育手帳所持者
精神障害者	精神障害者保健福祉手帳所持者 自立支援医療（精神通院医療）を利用している方

- ・ 図表中の「N」（＝Number）は、設問への回答者数を示しています。
- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・ クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合があります。

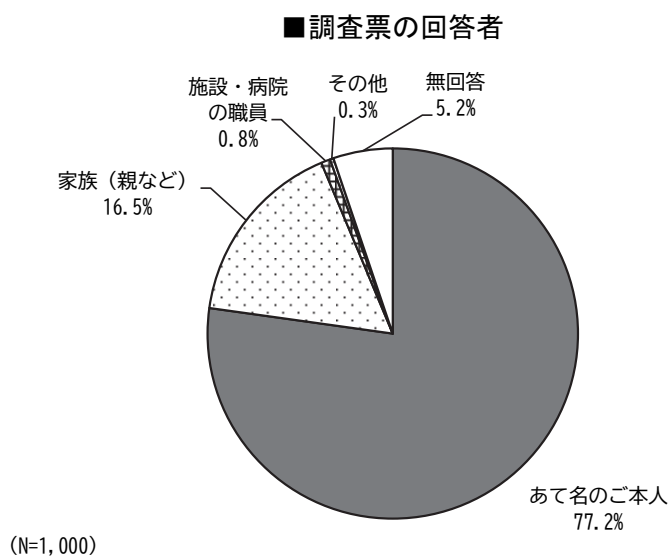
第2章 各調査の結果

1. 市民

(1) 基本属性

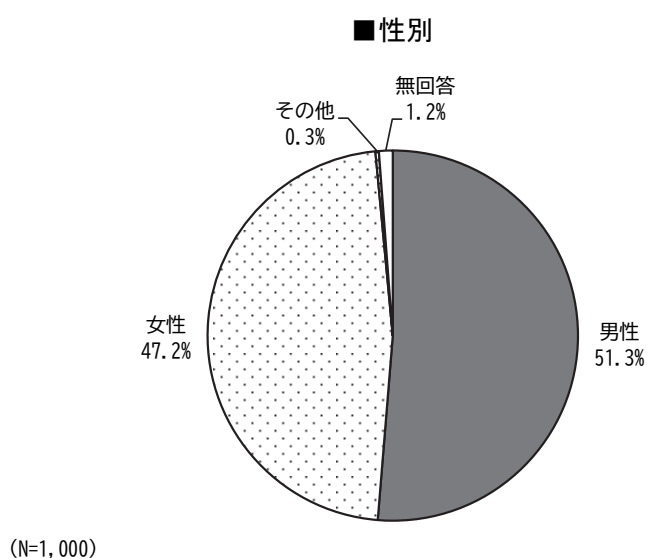
①調査票の回答者

調査票の回答者については、「あて名のご本人」が77.2%で最も多く、次いで「家族(親など)」が16.5%、「施設・病院の職員」が0.8%となっています。



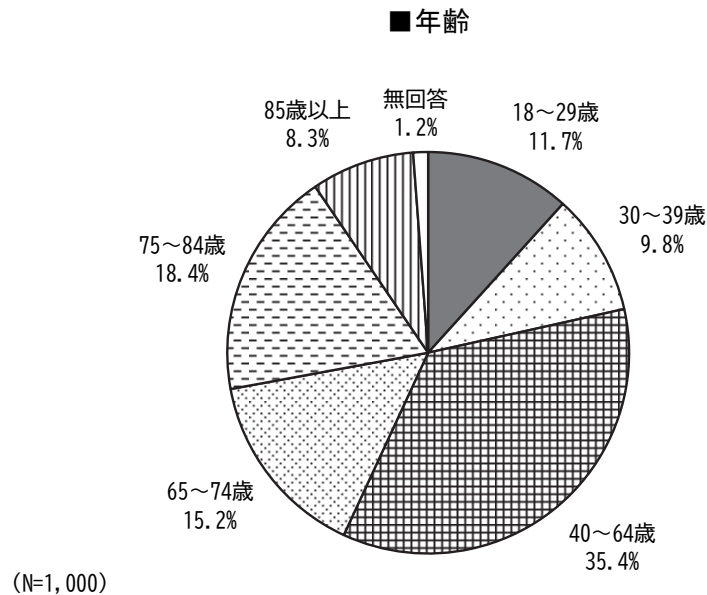
②性別（問1）

性別については、「男性」が51.3%、「女性」が47.2%となっています。



③年齢（問2）

令和5年7月1日現在の年齢については、「40～64歳」が35.4%で最も多く、次いで「75～84歳」が18.4%、「65～74歳」が15.2%となっています。



障害種別にみると、身体障害者は「75～84歳」、知的障害者は「18～29歳」、「30～39歳」、精神障害者は「40～64歳」が全体に比べ多くなっています。

■ 年齢（障害種別）

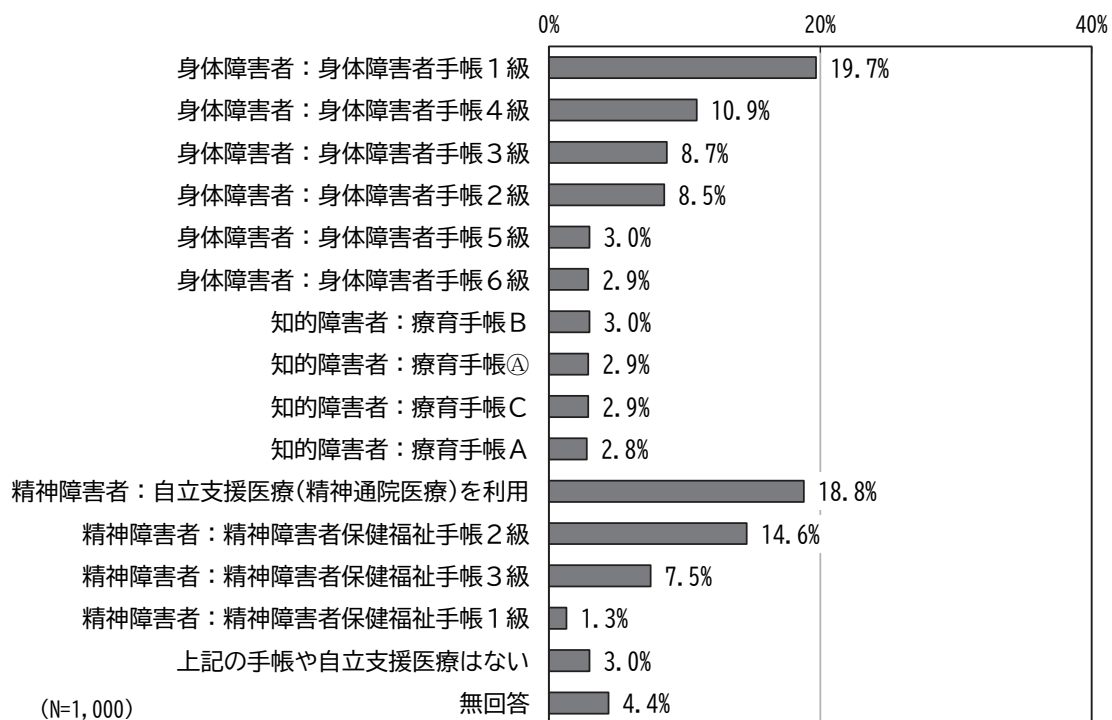
		合 計	1. 18～29歳	2. 30～39歳	3. 40～64歳	4. 65～74歳	5. 75～84歳	6. 85歳以上	7. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	117 (11.7)	98 (9.8)	354 (35.4)	152 (15.2)	184 (18.4)	83 (8.3)	12 (1.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	10 (1.9)	16 (3.0)	143 (26.6)	118 (22.0)	171 (31.8)	75 (14.0)	4 (0.7)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	52 (44.8)	26 (22.4)	34 (29.3)	3 (2.6)	1 (0.9)	0 (-)	0 (-)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	61 (19.4)	60 (19.0)	165 (52.4)	21 (6.7)	4 (1.3)	1 (0.3)	3 (1.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	5 (16.7)	4 (13.3)	15 (50.0)	4 (13.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	2 (4.5)	0 (-)	15 (34.1)	8 (18.2)	8 (18.2)	6 (13.6)	5 (11.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④所持している手帳等（問3）

所持している手帳等については、身体障害者は「身体障害者手帳1級」が19.7%、知的障害者は「療育手帳B」が3.0%、精神障害者は「自立支援医療(精神通院医療)を利用」が18.8%で最も多くなっています。

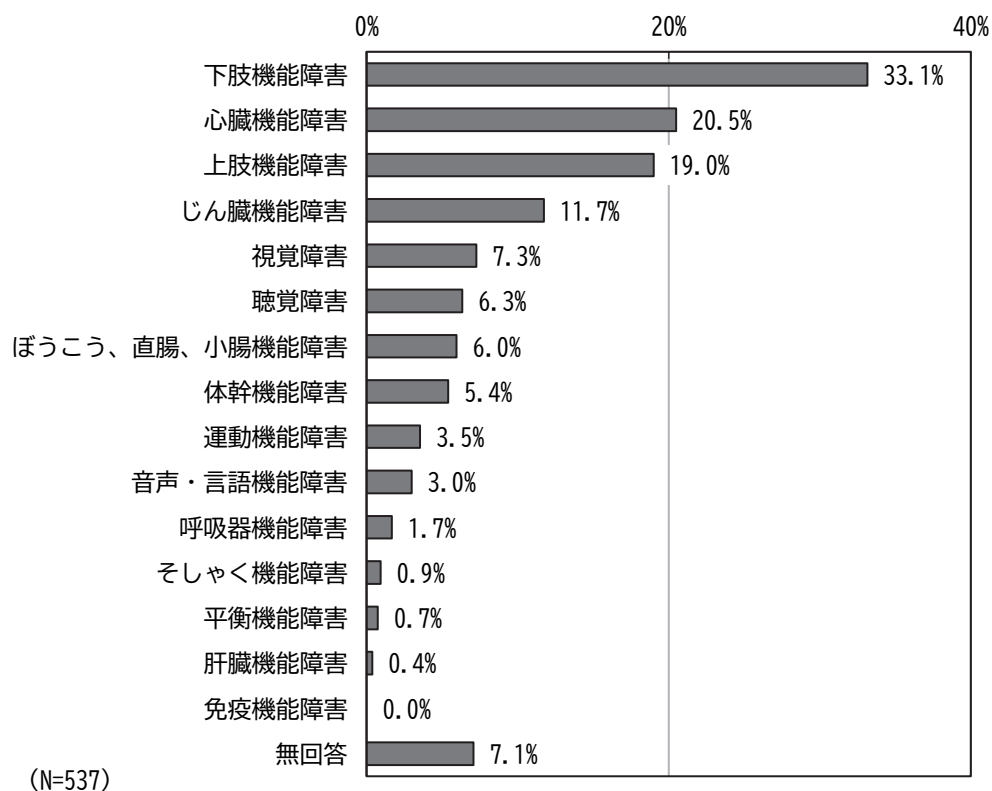
■所持している手帳等(複数回答)



⑤手帳に記されている障害（問４）

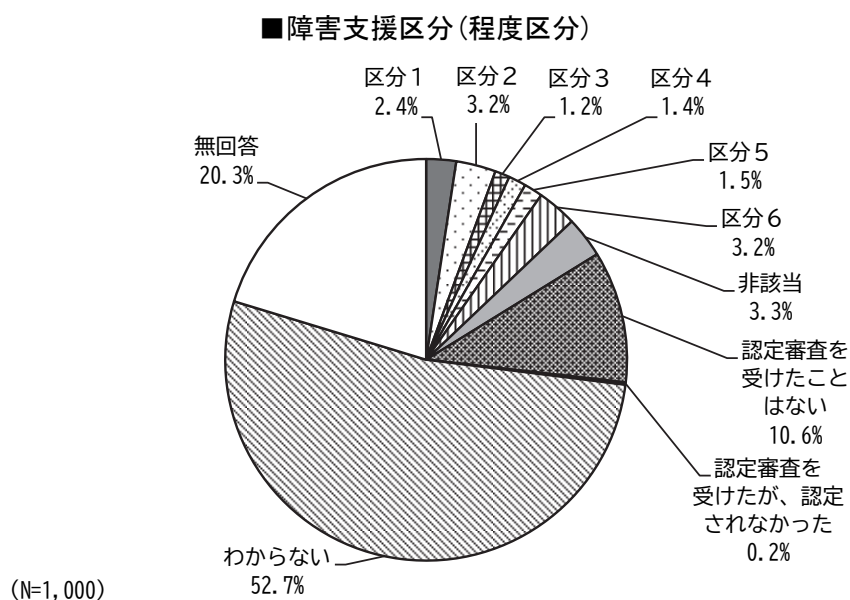
問３で身体障害者手帳に○をつけた方に、手帳に記されている障害をきいたところ、「下肢機能障害」が33.1%で最も多く、次いで「心臓機能障害」が20.5%、「上肢機能障害」が19.0%となっています。

■手帳に記されている障害（複数回答）



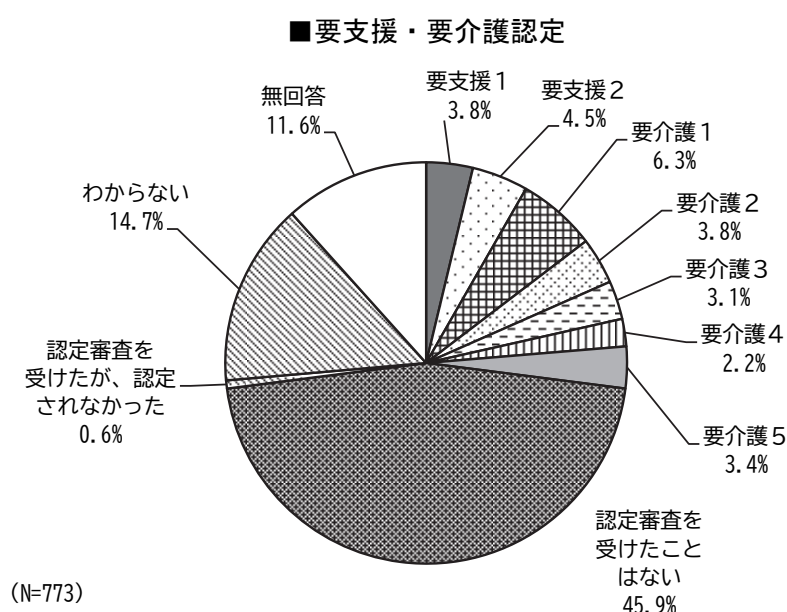
⑥障害支援区分(程度区分) (問5)

障害支援区分(程度区分)については、「わからない」が52.7%で最も多く、次いで「認定審査を受けたことはない」が10.6%となっています。



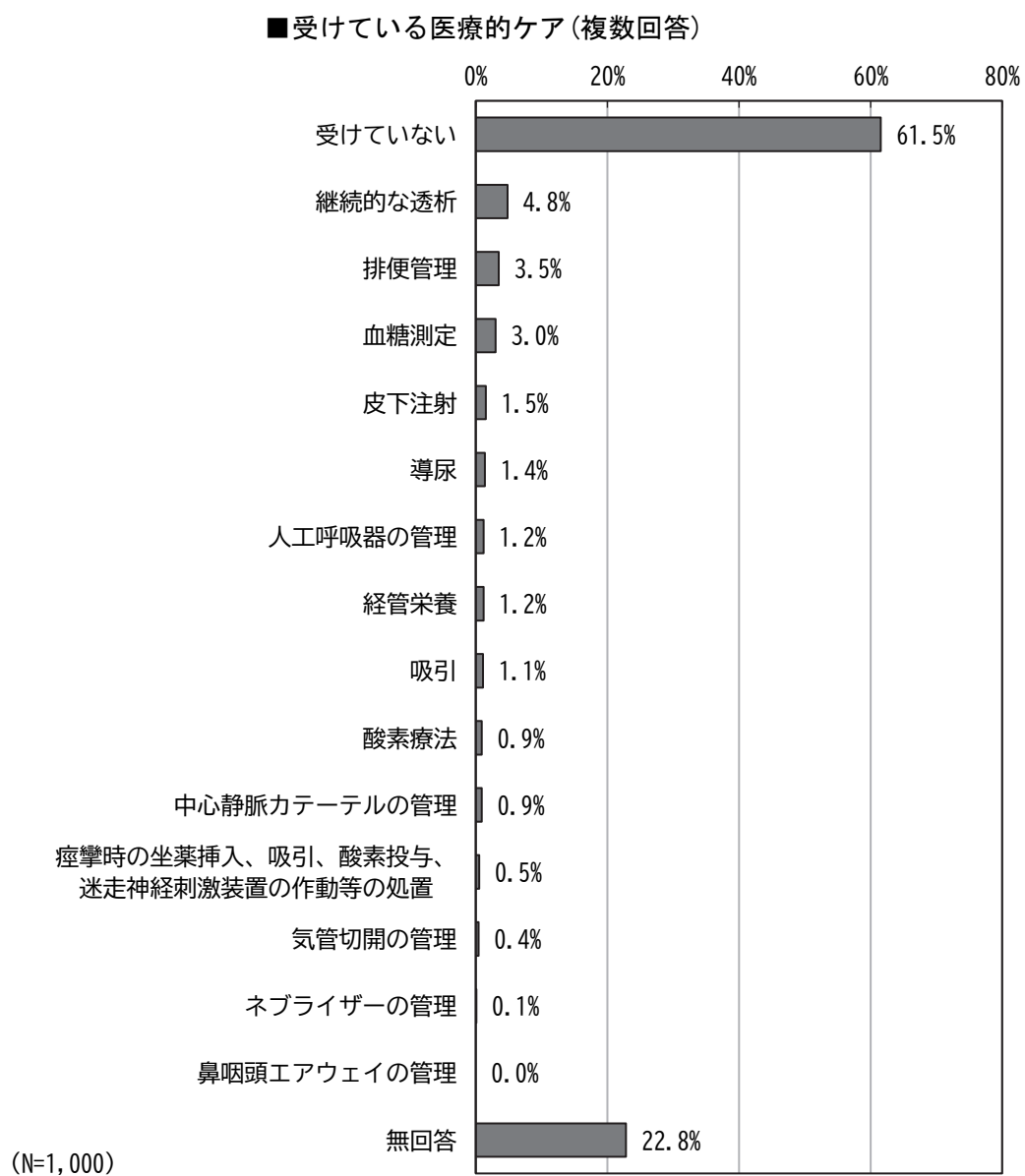
⑦要支援・要介護認定 (問6)

40歳以上の方に、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けているかきいたところ、「認定審査を受けたことはない」が45.9%で最も多く、次いで「わからない」が14.7%となっています。



⑧受けている医療的ケア（問7）

受けている医療的ケアについては、「受けていない」が61.5%で最も多く、次いで「継続的な透析」が4.8%、「排便管理」が3.5%となっています。



障害種別にみると、精神障害者は医療的ケアを「受けていない」が全体に比べ多くなっています。

■受けている医療的ケア(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 受けてい ない	2. 人工呼吸 器の管理	3. 気管切開 の管理	4. 鼻咽頭工 アウェイ の管理	5. 酸素療法	6. 吸引	7. ネブライ ザーの管 理
全 体		1,000 (100.0)	1,048 (104.8)	615 (61.5)	12 (1.2)	4 (0.4)	0 (-)	9 (0.9)	11 (1.1)	1 (0.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	583 (108.6)	281 (52.3)	11 (2.0)	4 (0.7)	0 (-)	8 (1.5)	10 (1.9)	1 (0.2)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	125 (107.8)	78 (67.2)	1 (0.9)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	320 (101.6)	244 (77.5)	1 (0.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.3)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	30 (100.0)	22 (73.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	44 (100.0)	17 (38.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)	0 (-)	0 (-)

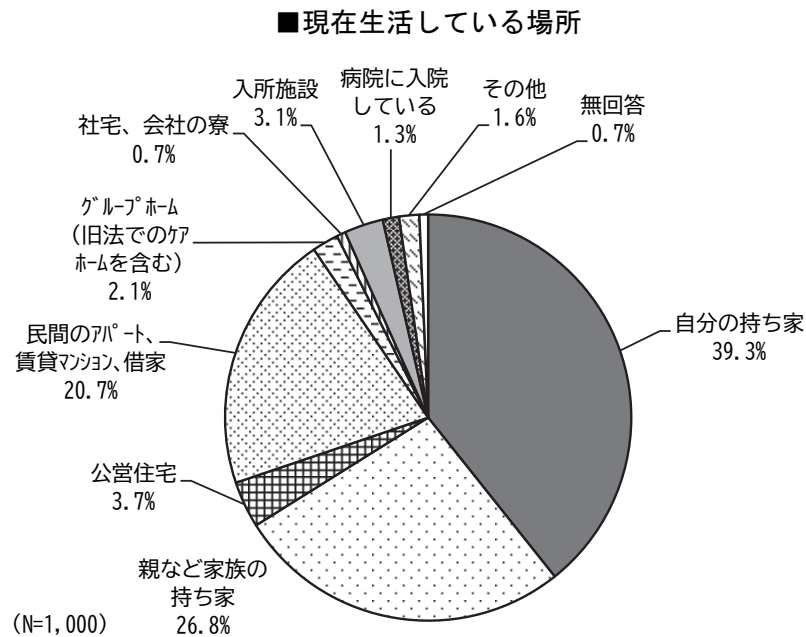
		8. 経管栄養	9. 中心静脈 カテーテ ルの管理	10. 皮下注射	11. 血糖測定	12. 継続的な 透析	13. 導尿	14. 排便管理	15. 痙攣時の 坐薬挿 入、吸 引、酸素 投与、迷 走神経刺 激装置の 作動等の 処置	16. 無回答
全 体		12 (1.2)	9 (0.9)	15 (1.5)	30 (3.0)	48 (4.8)	14 (1.4)	35 (3.5)	5 (0.5)	228 (22.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	12 (2.2)	9 (1.7)	11 (2.0)	25 (4.7)	45 (8.4)	11 (2.0)	31 (5.8)	4 (0.7)	120 (22.3)
	2. 知的障害者	2 (1.7)	0 (-)	3 (2.6)	3 (2.6)	1 (0.9)	1 (0.9)	5 (4.3)	2 (1.7)	27 (23.3)
	3. 精神障害者	0 (-)	0 (-)	3 (1.0)	4 (1.3)	1 (0.3)	2 (0.6)	2 (0.6)	1 (0.3)	61 (19.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)	7 (23.3)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)	3 (6.8)	1 (2.3)	1 (2.3)	0 (-)	20 (45.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(2) 日常生活について

①現在生活している場所（問8）

現在生活している場所については、「自分の持ち家」が39.3%で最も多く、次いで「親など家族の持ち家」が26.8%、「民間のアパート、賃貸マンション、借家」が20.7%となっています。



年齢別にみると、18～29歳は「親など家族の持ち家」、30～39歳は「親など家族の持ち家」、「民間のアパート、賃貸マンション、借家」、65～74歳、75～84歳、85歳以上は「自分の持ち家」が全体に比べ多くなっています。

■現在生活している場所（年齢別）

	合 計	1. 自分の持ち家	2. 親など家族の持ち家	3. 公営住宅	4. 民間のアパート、賃貸マンション、借家	5. グループホーム（旧法でのケアホームを含む）	6. 社宅、会社の寮	7. 入所施設	8. 病院に入院している	9. その他	10. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	393 (39.3)	268 (26.8)	37 (3.7)	207 (20.7)	21 (2.1)	7 (0.7)	31 (3.1)	13 (1.3)	16 (1.6)	7 (0.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	8 (6.8)	83 (70.9)	3 (2.6)	21 (17.9)	1 (0.9)	0 (-)	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	14 (14.3)	38 (38.8)	4 (4.1)	32 (32.7)	3 (3.1)	1 (1.0)	0 (-)	2 (2.0)	4 (4.1)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	107 (30.2)	101 (28.5)	15 (4.2)	88 (24.9)	14 (4.0)	5 (1.4)	9 (2.5)	6 (1.7)	5 (1.4)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	84 (55.3)	15 (9.9)	4 (2.6)	34 (22.4)	2 (1.3)	1 (0.7)	6 (3.9)	1 (0.7)	5 (3.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	122 (66.3)	21 (11.4)	9 (4.9)	23 (12.5)	0 (-)	0 (-)	7 (3.8)	1 (0.5)	1 (0.5)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	55 (66.3)	6 (7.2)	2 (2.4)	6 (7.2)	1 (1.2)	0 (-)	9 (10.8)	2 (2.4)	1 (1.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	3 (25.0)	4 (33.3)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)

注：()内はカナル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「自分の持ち家」、知的障害者は「親など家族の持ち家」、精神障害者は「民間のアパート、賃貸マンション、借家」が全体に比べ多くなっています。

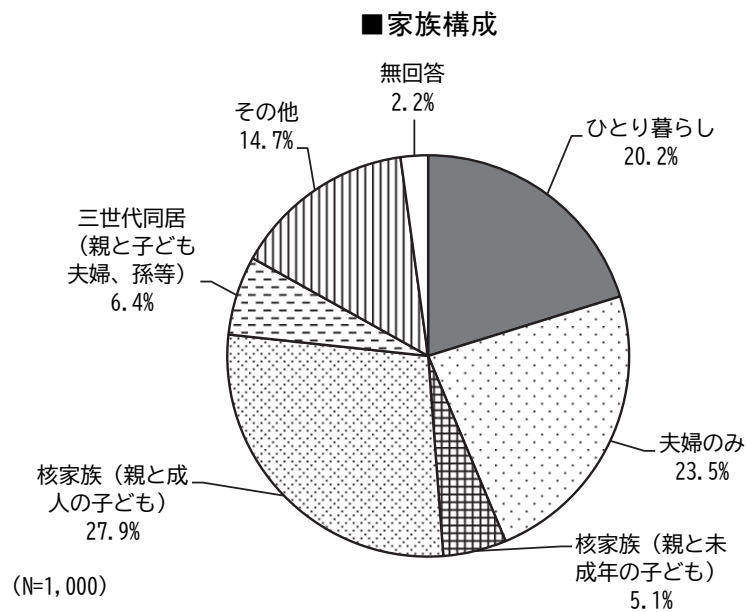
■現在生活している場所（障害種別）

		合 計	1. 自分の持ち家	2. 親など家族の持ち家	3. 公営住宅	4. 民間のアパート、賃貸マンション、借家	5. グループホーム（旧法でのケアホームを含む）	6. 社宅、会社の寮	7. 入所施設	8. 病院に入院している	9. その他	10. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	393 (39.3)	268 (26.8)	37 (3.7)	207 (20.7)	21 (2.1)	7 (0.7)	31 (3.1)	13 (1.3)	16 (1.6)	7 (0.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	302 (56.2)	84 (15.6)	21 (3.9)	82 (15.3)	6 (1.1)	4 (0.7)	19 (3.5)	5 (0.9)	11 (2.0)	3 (0.6)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	8 (6.9)	72 (62.1)	6 (5.2)	16 (13.8)	6 (5.2)	0 (-)	6 (5.2)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	65 (20.6)	114 (36.2)	10 (3.2)	103 (32.7)	8 (2.5)	3 (1.0)	2 (0.6)	7 (2.2)	3 (1.0)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	12 (40.0)	11 (36.7)	1 (3.3)	4 (13.3)	0 (-)	0 (-)	2 (6.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	16 (36.4)	8 (18.2)	0 (-)	9 (20.5)	2 (4.5)	0 (-)	3 (6.8)	2 (4.5)	1 (2.3)	3 (6.8)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②家族構成（問9）

家族構成（施設に入所している方は実家の状態）については、「核家族（親と成人の子ども）」が27.9%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が23.5%、「ひとり暮らし」が20.2%となっています。



年齢別にみると、18～29歳、30～39歳は「核家族(親と成人の子ども)」、65～74歳、75～84歳は「夫婦のみ」が全体に比べ多くなっています。

■家族構成（年齢別）

		合 計	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 核家族 (親と未 成年の子 ども)	4. 核家族 (親と成 人の子ど も)	5. 三世帯同 居(親と 子ども夫 婦、孫 等)	6. その他	7. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	202 (20.2)	235 (23.5)	51 (5.1)	279 (27.9)	64 (6.4)	147 (14.7)	22 (2.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	9 (7.7)	4 (3.4)	7 (6.0)	69 (59.0)	9 (7.7)	18 (15.4)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	17 (17.3)	8 (8.2)	11 (11.2)	43 (43.9)	4 (4.1)	15 (15.3)	0 (-)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	83 (23.4)	54 (15.3)	29 (8.2)	98 (27.7)	13 (3.7)	69 (19.5)	8 (2.3)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	33 (21.7)	66 (43.4)	0 (-)	21 (13.8)	9 (5.9)	18 (11.8)	5 (3.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	39 (21.2)	76 (41.3)	1 (0.5)	29 (15.8)	17 (9.2)	19 (10.3)	3 (1.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	18 (21.7)	26 (31.3)	2 (2.4)	16 (19.3)	12 (14.5)	7 (8.4)	2 (2.4)
	7. 無回答	12 (100.0)	3 (25.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	3 (25.0)	0 (-)	1 (8.3)	3 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「夫婦のみ」、知的障害者は「核家族(親と成人の子ども)」が全体に比べ多くなっています。

■家族構成（障害種別）

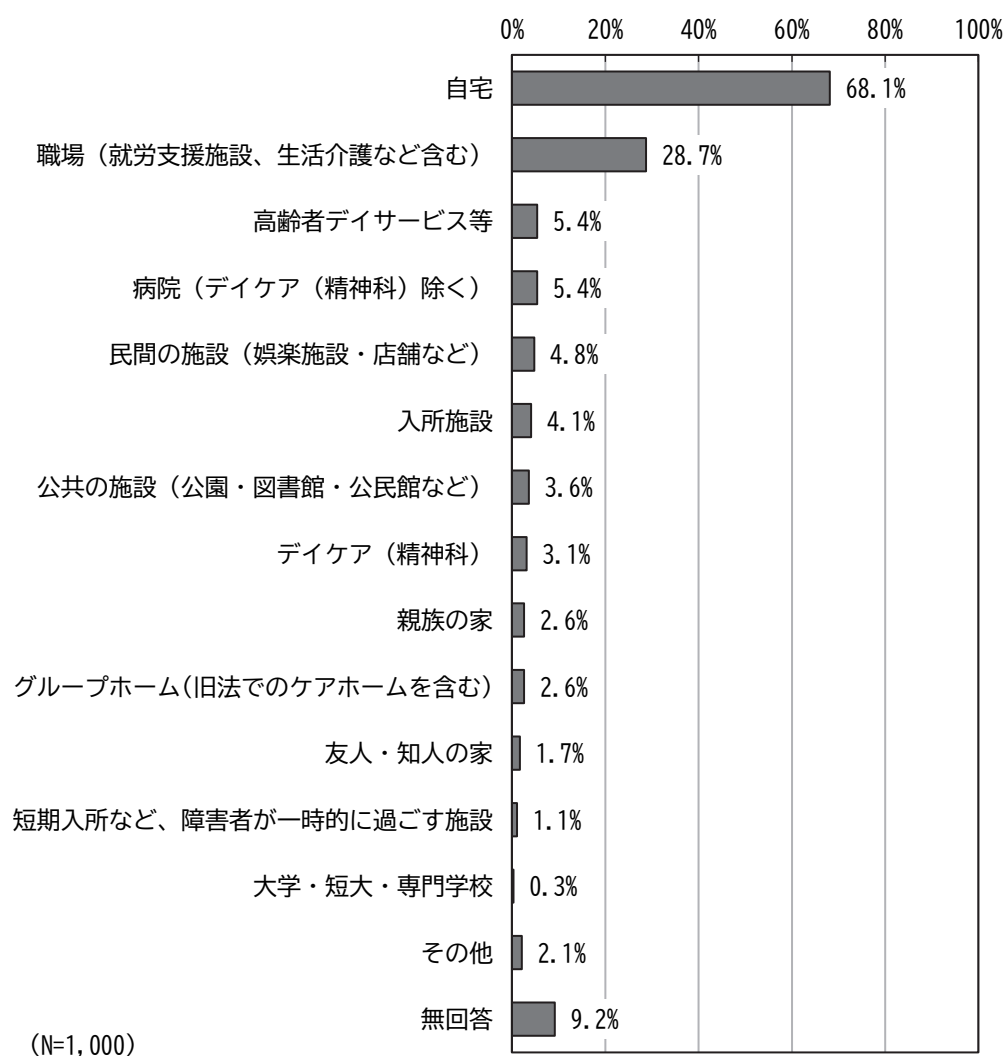
		合 計	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 核家族 (親と未 成年の子 ども)	4. 核家族 (親と成 人の子ど も)	5. 三世帯同 居(親と 子ども夫 婦、孫 等)	6. その他	7. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	202 (20.2)	235 (23.5)	51 (5.1)	279 (27.9)	64 (6.4)	147 (14.7)	22 (2.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	104 (19.4)	187 (34.8)	8 (1.5)	123 (22.9)	42 (7.8)	62 (11.5)	11 (2.0)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	9 (7.8)	3 (2.6)	6 (5.2)	58 (50.0)	4 (3.4)	34 (29.3)	2 (1.7)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	82 (26.0)	37 (11.7)	28 (8.9)	100 (31.7)	16 (5.1)	47 (14.9)	5 (1.6)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	4 (13.3)	2 (6.7)	7 (23.3)	11 (36.7)	2 (6.7)	4 (13.3)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	8 (18.2)	10 (22.7)	3 (6.8)	9 (20.5)	1 (2.3)	8 (18.2)	5 (11.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所(問10ア)

平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所については、「自宅」が68.1%で最も多く、次いで「職場(就労支援施設、生活介護など含む)」が28.7%となっています。

■平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所(3つまで)



年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳、40～64 歳は「職場(就労支援施設、生活介護など含む)」、75～84 歳は「高齢者デイサービス等」が全体に比べ多くなっています。

■平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所(3つまで)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 自宅	2. 親族の家	3. 友人・知 人の家	4. 入所施設	5. グループ ホーム (旧法で のケア ホームを 含む)	6. 職場(就 労支援施 設、生活 介護など 含む)	7. 大学・短 大・専門 学校
全 体		1,000 (100.0)	1,428 (142.8)	681 (68.1)	26 (2.6)	17 (1.7)	41 (4.1)	26 (2.6)	287 (28.7)	3 (0.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	188 (160.7)	74 (63.2)	4 (3.4)	1 (0.9)	2 (1.7)	1 (0.9)	71 (60.7)	3 (2.6)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	149 (152.0)	63 (64.3)	5 (5.1)	1 (1.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	50 (51.0)	0 (-)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	504 (142.4)	233 (65.8)	8 (2.3)	3 (0.8)	13 (3.7)	12 (3.4)	137 (38.7)	0 (-)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	216 (142.1)	110 (72.4)	4 (2.6)	6 (3.9)	7 (4.6)	5 (3.3)	22 (14.5)	0 (-)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	249 (135.3)	137 (74.5)	4 (2.2)	4 (2.2)	8 (4.3)	4 (2.2)	5 (2.7)	0 (-)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	106 (127.7)	57 (68.7)	0 (-)	2 (2.4)	9 (10.8)	2 (2.4)	0 (-)	0 (-)
	7. 無回答	12 (100.0)	16 (133.3)	7 (58.3)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)	0 (-)

		8. 高齢者デ イサービ ス等	9. デイケア (精神 科)	10. 病院(デ イケア (精神 科)除 く)	11. 公共の施 設(公 園・図書 館・公民 館など)	12. 民間の施 設(娯楽 施設・店 舗など)	13. 短期入所 など、障 害者が一 時的に過 ごす施設	14. その他	15. 無回答
全 体		54 (5.4)	31 (3.1)	54 (5.4)	36 (3.6)	48 (4.8)	11 (1.1)	21 (2.1)	92 (9.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	1 (0.9)	7 (6.0)	3 (2.6)	4 (3.4)	9 (7.7)	2 (1.7)	5 (4.3)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	0 (-)	2 (2.0)	7 (7.1)	3 (3.1)	8 (8.2)	2 (2.0)	0 (-)	4 (4.1)
	3. 40～64歳	5 (1.4)	14 (4.0)	18 (5.1)	9 (2.5)	17 (4.8)	4 (1.1)	10 (2.8)	21 (5.9)
	4. 65～74歳	8 (5.3)	6 (3.9)	9 (5.9)	12 (7.9)	8 (5.3)	2 (1.3)	3 (2.0)	14 (9.2)
	5. 75～84歳	29 (15.8)	1 (0.5)	10 (5.4)	6 (3.3)	5 (2.7)	1 (0.5)	2 (1.1)	33 (17.9)
	6. 85歳以上	11 (13.3)	1 (1.2)	6 (7.2)	2 (2.4)	0 (-)	0 (-)	1 (1.2)	15 (18.1)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	4 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「職場(就労支援施設、生活介護など含む)」が全体に比べ多くなっています。

■平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所(3つまで)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 自宅	2. 親族の家	3. 友人・知 人の家	4. 入所施設	5. グループ ホーム (旧法で のケア ホームを 含む)	6. 職場(就 労支援施 設、生活 介護など 含む)	7. 大学・短 大・専門 学校
全 体		1,000 (100.0)	1,428 (142.8)	681 (68.1)	26 (2.6)	17 (1.7)	41 (4.1)	26 (2.6)	287 (28.7)	3 (0.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	738 (137.4)	382 (71.1)	11 (2.0)	9 (1.7)	25 (4.7)	11 (2.0)	99 (18.4)	0 (-)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	172 (148.3)	55 (47.4)	3 (2.6)	3 (2.6)	9 (7.8)	6 (5.2)	75 (64.7)	1 (0.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	475 (150.8)	228 (72.4)	10 (3.2)	4 (1.3)	4 (1.3)	7 (2.2)	114 (36.2)	3 (1.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	50 (166.7)	20 (66.7)	1 (3.3)	0 (-)	2 (6.7)	0 (-)	16 (53.3)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	58 (131.8)	25 (56.8)	2 (4.5)	2 (4.5)	3 (6.8)	3 (6.8)	5 (11.4)	0 (-)

		8. 高齢者デ イサービ ス等	9. デイケア (精神 科)	10. 病院(デ イケア (精神 科)除 く)	11. 公共の施 設(公 園・図書 館・公民 館など)	12. 民間の施 設(娯楽 施設・店 舗など)	13. 短期入所 など、障 害者が一 時的に過 ごす施設	14. その他	15. 無回答
全 体		54 (5.4)	31 (3.1)	54 (5.4)	36 (3.6)	48 (4.8)	11 (1.1)	21 (2.1)	92 (9.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	47 (8.8)	1 (0.2)	38 (7.1)	20 (3.7)	18 (3.4)	6 (1.1)	7 (1.3)	64 (11.9)
	2. 知的障害者	2 (1.7)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	4 (3.4)	3 (2.6)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	3 (1.0)	27 (8.6)	14 (4.4)	14 (4.4)	25 (7.9)	3 (1.0)	8 (2.5)	11 (3.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (3.3)	0 (-)	1 (3.3)	1 (3.3)	5 (16.7)	0 (-)	1 (3.3)	2 (6.7)
	5. 無回答	4 (9.1)	2 (4.5)	2 (4.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (4.5)	8 (18.2)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみても、前回と同じ傾向となっています。

■平日の日中(朝から夕方)を過ごす場所(3つまで)(経年変化)

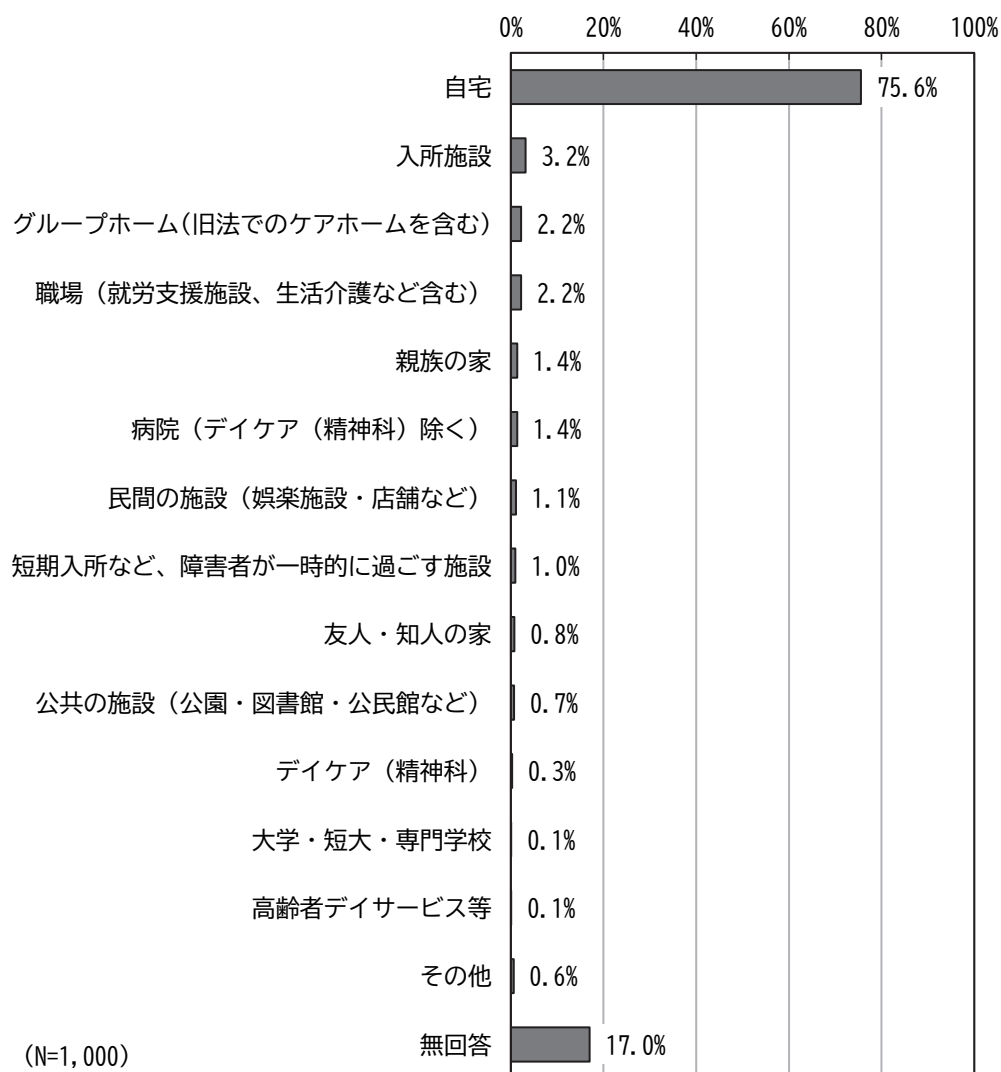
	回答者数	合 計	1. 自宅	2. 親族の家	3. 友人・知 人の家	4. 入所施設	5. グループ ホーム (旧法で のケア ホームを 含む)	6. 職場(就 労支援施 設、生活 介護など 含む)	7. 大学・短 大・専門 学校
令和5年度	1,000 (100.0)	1,428 (142.8)	681 (68.1)	26 (2.6)	17 (1.7)	41 (4.1)	26 (2.6)	287 (28.7)	3 (0.3)
令和2年度	1,066 (100.0)	1,538 (144.3)	717 (67.3)	36 (3.4)	16 (1.5)	35 (3.3)	11 (1.0)	295 (27.7)	8 (0.8)

	8. 高齢者デ イサービ ス等	9. デイケア (精神 科)	10. 病院(デ イケア (精神 科)除 く)	11. 公共の施 設(公 園・図書 館・公民 館など)	12. 民間の施 設(娯楽 施設・店 舗など)	13. 短期入所 など、障 害者が一 時的に過 ごす施設	14. その他	15. 無回答
令和5年度	54 (5.4)	31 (3.1)	54 (5.4)	36 (3.6)	48 (4.8)	11 (1.1)	21 (2.1)	92 (9.2)
令和2年度	61 (5.7)	24 (2.3)	61 (5.7)	46 (4.3)	44 (4.1)	17 (1.6)	54 (5.1)	113 (10.6)

④夜間(夕方から早朝)を過ごす場所 (問 10 イ)

夜間(夕方から早朝)を過ごす場所については、「自宅」が75.6%で最も多く、次いで「入所施設」が3.2%、「グループホーム(旧法でのケアホームを含む)」、「職場(就労支援施設、生活介護など含む)」が2.2%となっています。

■夜間(夕方から早朝)を過ごす場所(3つまで)



年齢別にみると、18～29歳は「自宅」が全体に比べ多くなっています。

■夜間(夕方から早朝)を過ごす場所(3つまで)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 自宅	2. 親族の家	3. 友人・知 人の家	4. 入所施設	5. グループ ホーム (旧法で のケア ホームを 含む)	6. 職場(就 労支援施 設、生活 介護など 含む)	7. 大学・短 大・専門 学校
全 体	1,000 (100.0)	1,077 (107.7)	756 (75.6)	14 (1.4)	8 (0.8)	32 (3.2)	22 (2.2)	22 (2.2)	1 (0.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	135 (115.4)	111 (94.9)	3 (2.6)	1 (0.9)	0 (-)	3 (2.6)	7 (6.0)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	117 (119.4)	80 (81.6)	4 (4.1)	1 (1.0)	0 (-)	2 (2.0)	3 (3.1)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	384 (108.5)	281 (79.4)	4 (1.1)	4 (1.1)	12 (3.4)	14 (4.0)	10 (2.8)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	157 (103.3)	111 (73.0)	2 (1.3)	1 (0.7)	6 (3.9)	1 (0.7)	2 (1.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	187 (101.6)	117 (63.6)	1 (0.5)	1 (0.5)	7 (3.8)	1 (0.5)	0 (-)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	84 (101.2)	51 (61.4)	0 (-)	0 (-)	7 (8.4)	1 (1.2)	0 (-)
	7. 無回答	12 (100.0)	13 (108.3)	5 (41.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

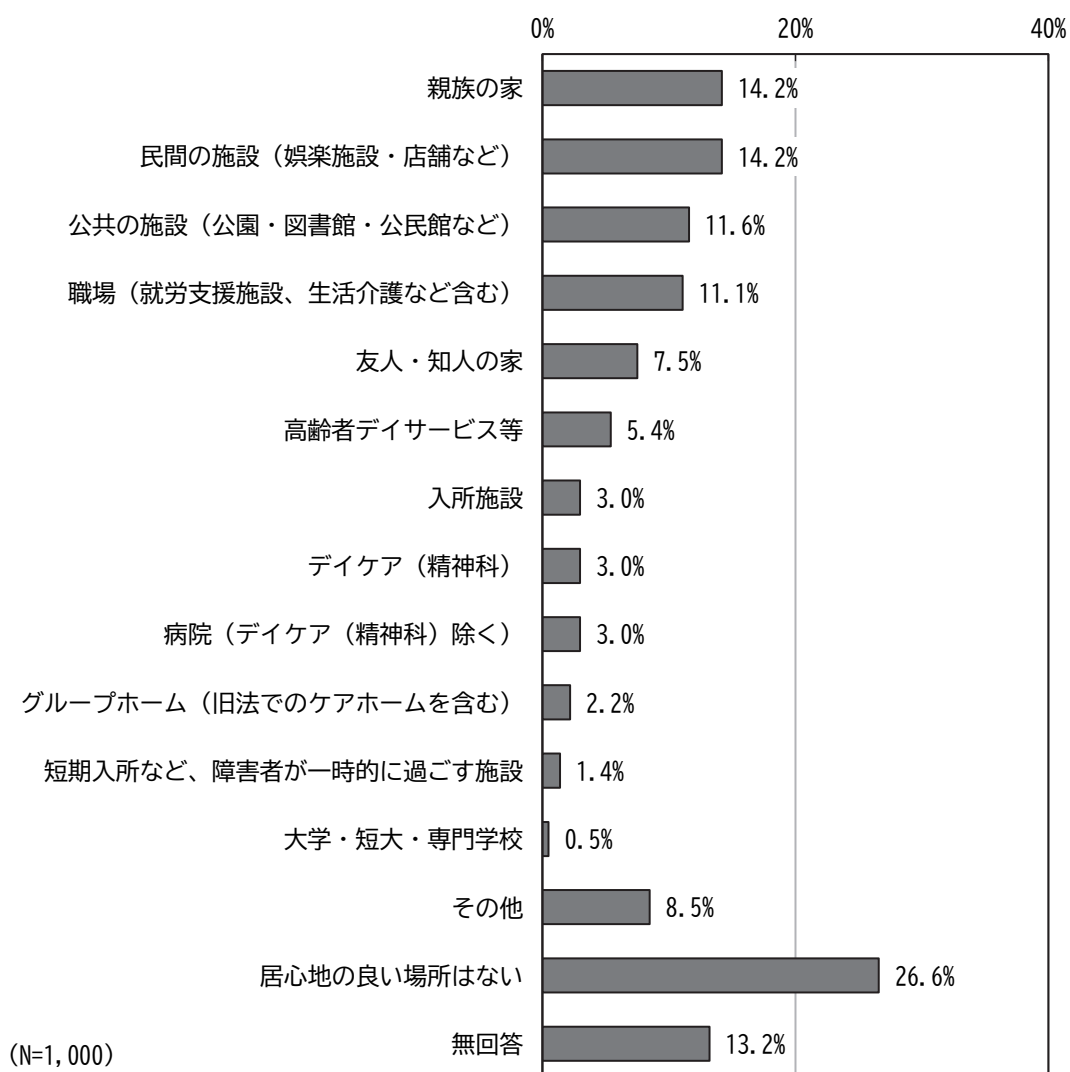
	8. 高齢者デ イサービ ス等	9. デイケア (精神 科)	10. 病院(デ イケア (精神 科)除 く)	11. 公共の施 設(公 園・図書 館・公民 館など)	12. 民間の施 設(娯楽 施設・店 舗など)	13. 短期入所 など、障 害者が一 時的に過 す施設	14. その他	15. 無回答
全 体	1 (0.1)	3 (0.3)	14 (1.4)	7 (0.7)	11 (1.1)	10 (1.0)	6 (0.6)	170 (17.0)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)	2 (1.7)	2 (1.7)	1 (0.9)	0 (-)
	2. 30～39歳	0 (-)	0 (-)	3 (3.1)	2 (2.0)	6 (6.1)	4 (4.1)	0 (-)
	3. 40～64歳	0 (-)	2 (0.6)	7 (2.0)	2 (0.6)	2 (0.6)	2 (0.6)	6 (1.7)
	4. 65～74歳	0 (-)	0 (-)	1 (0.7)	1 (0.7)	0 (-)	1 (0.7)	0 (-)
	5. 75～84歳	1 (0.5)	0 (-)	1 (0.5)	0 (-)	0 (-)	1 (0.5)	0 (-)
	6. 85歳以上	0 (-)	0 (-)	1 (1.2)	0 (-)	0 (-)	1 (1.2)	0 (-)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	7 (58.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤自宅以外で居心地の良い場所（問 11）

自宅以外で居心地の良い場所については、「親族の家」、「民間の施設（娯楽施設・店舗など）」が 14.2%で最も多く、次いで「公共の施設（公園・図書館・公民館など）」が 11.6%、「職場（就労支援施設、生活介護など含む）」が 11.1%となっています。

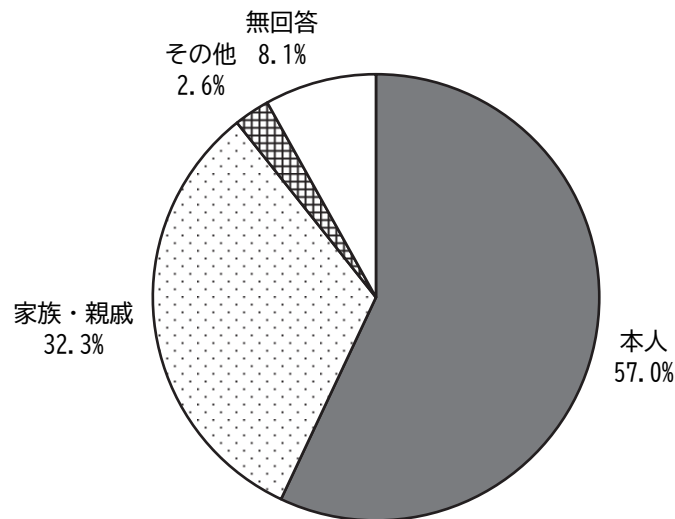
■ 自宅以外で居心地の良い場所（複数回答）



⑥収入や年金、手当てなど管理している人（問 12）

収入や年金、手当てなど管理している人については、「本人」が 57.0%で最も多く、次いで「家族・親戚」が 32.3%となっています。

■収入や年金、手当てなど管理している人



(N=1,000)

年齢別にみると、18～29 歳は「家族・親戚」が全体に比べ多くなっています。

■収入や年金、手当てなど管理している人（年齢別）

	合 計	1. 本人	2. 家族・親 戚	3. その他	4. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	570 (57.0)	323 (32.3)	26 (2.6)	81 (8.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	52 (44.4)	60 (51.3)	3 (2.6)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	54 (55.1)	36 (36.7)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	226 (63.8)	98 (27.7)	13 (3.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	93 (61.2)	40 (26.3)	2 (1.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	100 (54.3)	60 (32.6)	5 (2.7)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	43 (51.8)	26 (31.3)	1 (1.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	3 (25.0)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「家族・親戚」、精神障害者は「本人」が全体に比べ多くなっています。

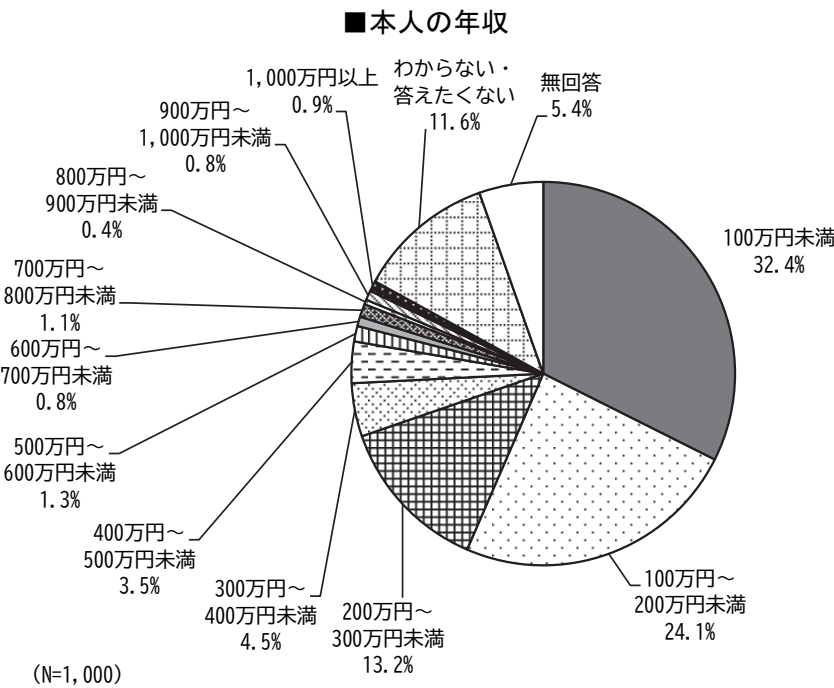
■収入や年金、手当てなど管理している人（障害種別）

		合 計	1. 本人	2. 家族・親 戚	3. その他	4. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	570 (57.0)	323 (32.3)	26 (2.6)	81 (8.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	313 (58.3)	168 (31.3)	6 (1.1)	50 (9.3)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	22 (19.0)	85 (73.3)	5 (4.3)	4 (3.4)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	216 (68.6)	74 (23.5)	10 (3.2)	15 (4.8)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	20 (66.7)	8 (26.7)	1 (3.3)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	14 (31.8)	14 (31.8)	4 (9.1)	12 (27.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦本人の年収（問 13）

本人の年収(賃金・年金等を含む)については、「100 万円未満」が 32.4%で最も多く、次いで「100 万円～200 万円未満」が 24.1%、「200 万円～300 万円未満」が 13.2%となっています。



性別にみると、女性は「100 万円未満」が全体に比べ多くなっています。

■本人の年収（性別）

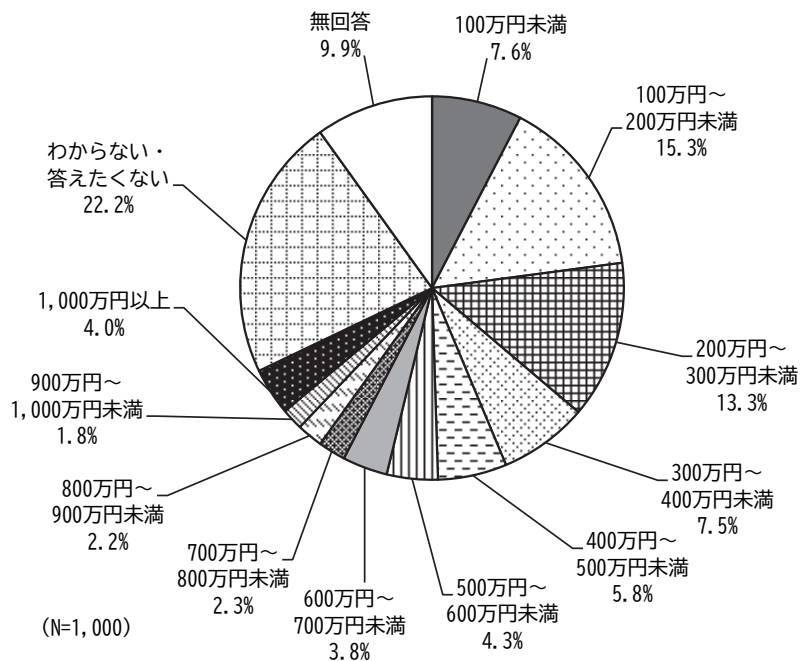
	合 計	1. 100万円未 満	2. 100万円～ 200万円未 満	3. 200万円～ 300万円未 満	4. 300万円～ 400万円未 満	5. 400万円～ 500万円未 満	6. 500万円～ 600万円未 満
全 体	1,000 (100.0)	324 (32.4)	241 (24.1)	132 (13.2)	45 (4.5)	35 (3.5)	13 (1.3)
問 1 性 別	1. 男性	513 (100.0)	121 (23.6)	130 (25.3)	92 (17.9)	27 (5.3)	25 (4.9)
	2. 女性	472 (100.0)	202 (42.8)	109 (23.1)	37 (7.8)	17 (3.6)	10 (2.1)
	3. その他	3 (100.0)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	2 (16.7)	3 (25.0)	1 (8.3)	0 (-)
	7. 600万円～ 700万円未 満	8. 700万円～ 800万円未 満	9. 800万円～ 900万円未 満	10. 900万円～ 1,000万円 未満	11. 1,000万円 以上	12. わからな い・答え たくない	13. 無回答
全 体	8 (0.8)	11 (1.1)	4 (0.4)	8 (0.8)	9 (0.9)	116 (11.6)	54 (5.4)
問 1 性 別	1. 男性	3 (0.6)	10 (1.9)	4 (0.8)	4 (0.8)	8 (1.6)	51 (9.9)
	2. 女性	4 (0.8)	1 (0.2)	0 (-)	4 (0.8)	1 (0.2)	63 (13.3)
	3. その他	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)
	4. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (8.3)	5 (41.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

⑧本人を含めた世帯全員の年収（問 14）

本人を含めた世帯全員の年収(賃金・年金等を含む)については、「100 万円～200 万円未満」が最も多く 15.3%、次いで「200 万円～300 万円未満」が 13.3%、「100 万円未満」が 7.6%となっています。

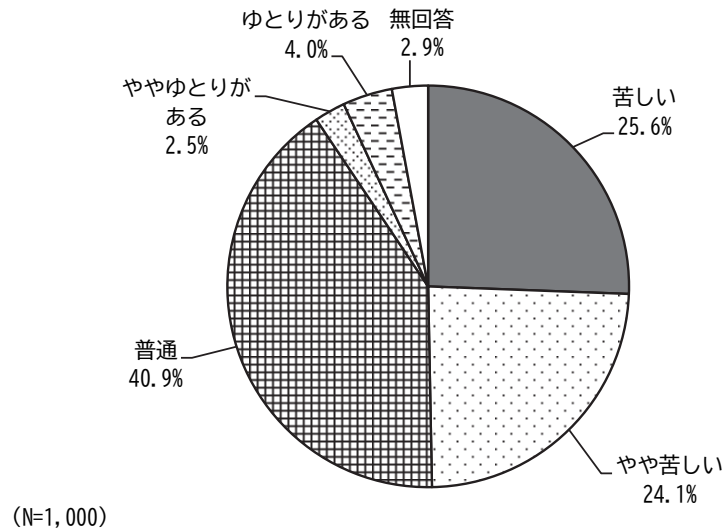
■本人を含めた世帯全員の年収



⑨現在の暮らしの経済的状況（問 15）

現在の暮らしの経済的状況については、「普通」が40.9%で最も多く、次いで「苦しい」が25.6%、「やや苦しい」が24.1%となっています。

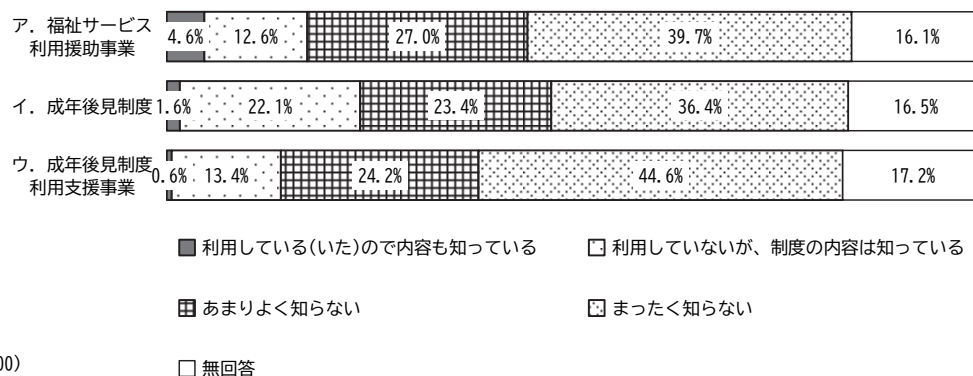
■現在の暮らしの経済的状況



⑩福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）・成年後見制度について（問 16）

福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）・成年後見制度については、いずれの事業・制度も「あまりよく知らない」または「まったく知らない」が多くなっています。

■福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）・成年後見制度について



障害種別にみると、いずれの事業・制度も精神障害者は「まったく知らない」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービス利用援助事業について（障害種別）

		合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らな い	4. まったく 知らない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	46 (4.6)	126 (12.6)	270 (27.0)	397 (39.7)	161 (16.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	19 (3.5)	73 (13.6)	152 (28.3)	182 (33.9)	111 (20.7)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	13 (11.2)	16 (13.8)	30 (25.9)	45 (38.8)	12 (10.3)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	14 (4.4)	26 (8.3)	87 (27.6)	163 (51.7)	25 (7.9)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	7 (23.3)	8 (26.7)	15 (50.0)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	3 (6.8)	7 (15.9)	7 (15.9)	11 (25.0)	16 (36.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

■成年後見制度について（障害種別）

		合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らな い	4. まったく 知らない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	16 (1.6)	221 (22.1)	234 (23.4)	364 (36.4)	165 (16.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	6 (1.1)	118 (22.0)	129 (24.0)	169 (31.5)	115 (21.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	4 (3.4)	32 (27.6)	31 (26.7)	37 (31.9)	12 (10.3)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	5 (1.6)	62 (19.7)	74 (23.5)	148 (47.0)	26 (8.3)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	13 (43.3)	5 (16.7)	12 (40.0)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	3 (6.8)	6 (13.6)	7 (15.9)	13 (29.5)	15 (34.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

■成年後見制度利用支援事業について（障害種別）

		合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らな い	4. まったく 知らない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	6 (0.6)	134 (13.4)	242 (24.2)	446 (44.6)	172 (17.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	2 (0.4)	70 (13.0)	144 (26.8)	204 (38.0)	117 (21.8)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	1 (0.9)	18 (15.5)	36 (31.0)	48 (41.4)	13 (11.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	2 (0.6)	39 (12.4)	64 (20.3)	180 (57.1)	30 (9.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	10 (33.3)	3 (10.0)	17 (56.7)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	1 (2.3)	4 (9.1)	9 (20.5)	15 (34.1)	15 (34.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より、いずれの事業・制度も「あまりよく知らない」が減少しています。

■福祉サービス利用援助事業について（経年変化）

	合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らな い	4. まったく 知らない	5. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	46 (4.6)	126 (12.6)	270 (27.0)	397 (39.7)	161 (16.1)
令和2年度	1,066 (100.0)	71 (6.7)	136 (12.8)	402 (37.7)	390 (36.6)	67 (6.3)

■成年後見制度について（経年変化）

	合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らな い	4. まったく 知らない	5. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	16 (1.6)	221 (22.1)	234 (23.4)	364 (36.4)	165 (16.5)
令和2年度	1,066 (100.0)	13 (1.2)	229 (21.5)	356 (33.4)	382 (35.8)	86 (8.1)

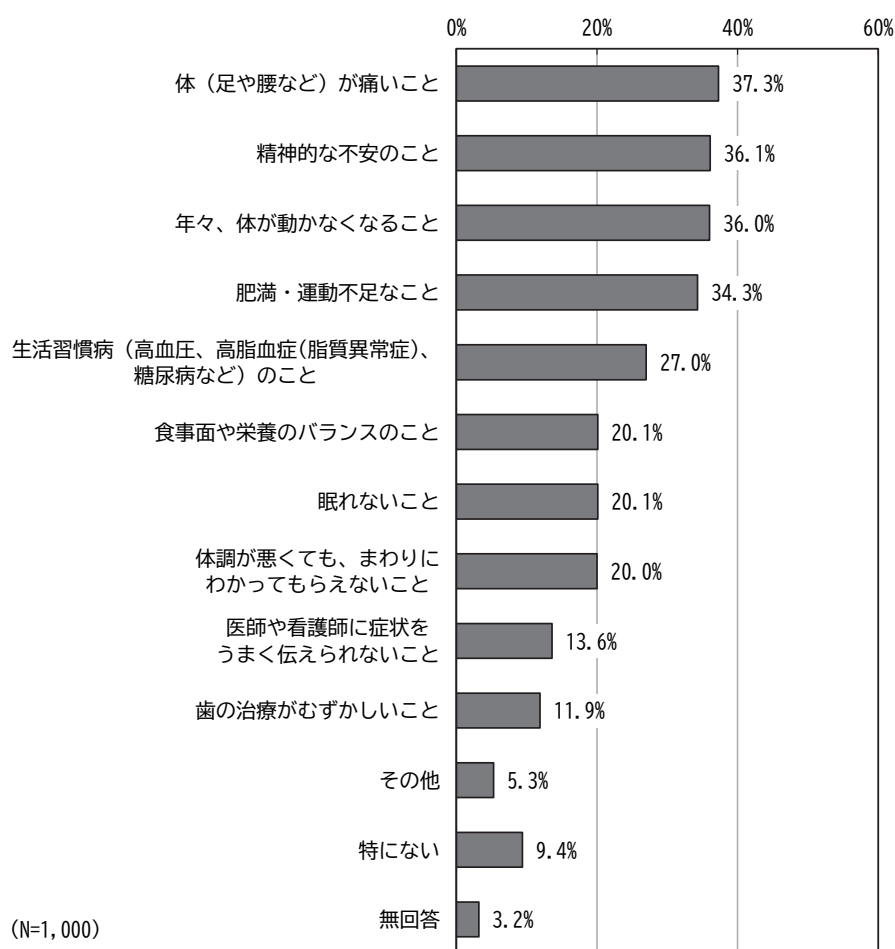
■成年後見制度利用支援事業について（経年変化）

	合 計	1. 利用して いる（い た）ので 内容も 知っている	2. 利用して いない が、制度 の内容は 知っている	3. あまりよ く知らない	4. まったく 知らない	5. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	6 (0.6)	134 (13.4)	242 (24.2)	446 (44.6)	172 (17.2)
令和2年度	1,066 (100.0)	6 (0.6)	118 (11.1)	382 (35.8)	476 (44.7)	84 (7.9)

⑪健康面で心配なこと（問 17）

健康面で心配なことについては、「体（足や腰など）が痛いこと」が 37.3%で最も多く、次いで「精神的な不安のこと」が 36.1%、「年々、体が動かなくなること」が 36.0%となっています。

■健康面で心配なこと（複数回答）



年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳は「精神的な不安のこと」、40～64 歳は「肥満・運動不足なこと」、「精神的な不安のこと」、75～84 歳、85 歳以上は「年々、体が動かなくなること」、「体(足や腰など)が痛いこと」が全体に比べ多くなっています。

■健康面で心配なこと(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 年々、体 が動かなくなること	2. 体(足や 腰など) が痛いこと	3. 肥満・運 動不足な こと	4. 食事面や 栄養のバ ランスの こと	5. 生活習慣 病(高血 圧、高脂 血症(脂 質異常 症)、糖 尿病な ど)のこ と	6. 精神的な 不安のこ と
全 体	1,000 (100.0)	2,743 (274.3)	360 (36.0)	373 (37.3)	343 (34.3)	201 (20.1)	270 (27.0)	361 (36.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	287 (245.3)	8 (6.8)	14 (12.0)	48 (41.0)	29 (24.8)	15 (12.8)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	263 (268.4)	11 (11.2)	15 (15.3)	41 (41.8)	25 (25.5)	19 (19.4)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	1,122 (316.9)	110 (31.1)	135 (38.1)	159 (44.9)	87 (24.6)	120 (33.9)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	360 (236.8)	62 (40.8)	64 (42.1)	41 (27.0)	21 (13.8)	39 (25.7)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	465 (252.7)	112 (60.9)	96 (52.2)	37 (20.1)	27 (14.7)	53 (28.8)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	206 (248.2)	54 (65.1)	43 (51.8)	14 (16.9)	10 (12.0)	21 (25.3)
	7. 無回答	12 (100.0)	40 (333.3)	3 (25.0)	6 (50.0)	3 (25.0)	2 (16.7)	3 (25.0)

	7. 眠れない こと	8. 歯の治療 がむずか しいこと	9. 体調が悪 くても、 まわりに わかって もらえな いこと	10. 医師や看 護師に症 状をうまく 伝えられ ないこと	11. その他	12. 特にない	13. 無回答
全 体	201 (20.1)	119 (11.9)	200 (20.0)	136 (13.6)	53 (5.3)	94 (9.4)	32 (3.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	24 (20.5)	7 (6.0)	34 (29.1)	20 (17.1)	7 (6.0)	2 (1.7)
	2. 30～39歳	16 (16.3)	12 (12.2)	26 (26.5)	21 (21.4)	6 (6.1)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	87 (24.6)	54 (15.3)	91 (25.7)	53 (15.0)	27 (7.6)	19 (5.4)
	4. 65～74歳	24 (15.8)	15 (9.9)	17 (11.2)	14 (9.2)	6 (3.9)	24 (15.8)
	5. 75～84歳	30 (16.3)	19 (10.3)	21 (11.4)	15 (8.2)	4 (2.2)	11 (6.0)
	6. 85歳以上	15 (18.1)	7 (8.4)	7 (8.4)	12 (14.5)	3 (3.6)	3 (3.6)
	7. 無回答	5 (41.7)	5 (41.7)	4 (33.3)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「年々、体が動かなくなること」、知的障害者は「医師や看護師に症状をうまく伝えられないこと」、「特にない」、精神障害者は「肥満・運動不足なこと」、「精神的な不安のこと」、「体調が悪くても、まわりにわかってもらえないこと」が全体に比べ多くなっています。

■健康面で心配なこと(複数回答)(障害種別)

	回答者数	合 計	1. 年々、体 が動か なくな ること	2. 体(足や 腰など) が痛い こと	3. 肥満・運 動不足 なこと	4. 食事面 や栄養 のバラ ンスの こと	5. 生活習慣 病(高血 圧、高脂 血症(脂 質異常 症)、糖 尿病な ど)のこ と	6. 精神的な 不安のこ と
全 体	1,000 (100.0)	2,743 (274.3)	360 (36.0)	373 (37.3)	343 (34.3)	201 (20.1)	270 (27.0)	361 (36.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	1,386 (258.1)	272 (50.7)	243 (45.3)	147 (27.4)	91 (16.9)	154 (28.7)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	265 (228.4)	13 (11.2)	21 (18.1)	49 (42.2)	24 (20.7)	26 (22.4)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	1,046 (332.1)	65 (20.6)	96 (30.5)	152 (48.3)	85 (27.0)	84 (26.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	81 (270.0)	5 (16.7)	11 (36.7)	8 (26.7)	10 (33.3)	7 (23.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	95 (215.9)	15 (34.1)	16 (36.4)	7 (15.9)	6 (13.6)	10 (22.7)

	7. 眠れない こと	8. 歯の治療 がむずか しいこと	9. 体調が悪 くても、 まわりに わかって もらえな いこと	10. 医師や看 護師に症 状をうま く伝えら れないこ と	11. その他	12. 特にない	13. 無回答
全 体	201 (20.1)	119 (11.9)	200 (20.0)	136 (13.6)	53 (5.3)	94 (9.4)	32 (3.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	94 (17.5)	51 (9.5)	80 (14.9)	51 (9.5)	25 (4.7)	21 (3.9)
	2. 知的障害者	12 (10.3)	14 (12.1)	23 (19.8)	28 (24.1)	5 (4.3)	24 (20.7)
	3. 精神障害者	87 (27.6)	48 (15.2)	97 (30.8)	59 (18.7)	23 (7.3)	20 (6.3)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	5 (16.7)	5 (16.7)	7 (23.3)	2 (6.7)	1 (3.3)	2 (6.7)
	5. 無回答	9 (20.5)	5 (11.4)	7 (15.9)	5 (11.4)	0 (-)	1 (2.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「眠れないこと」などが減少しています。

■健康面で心配なこと（複数回答）（経年変化）

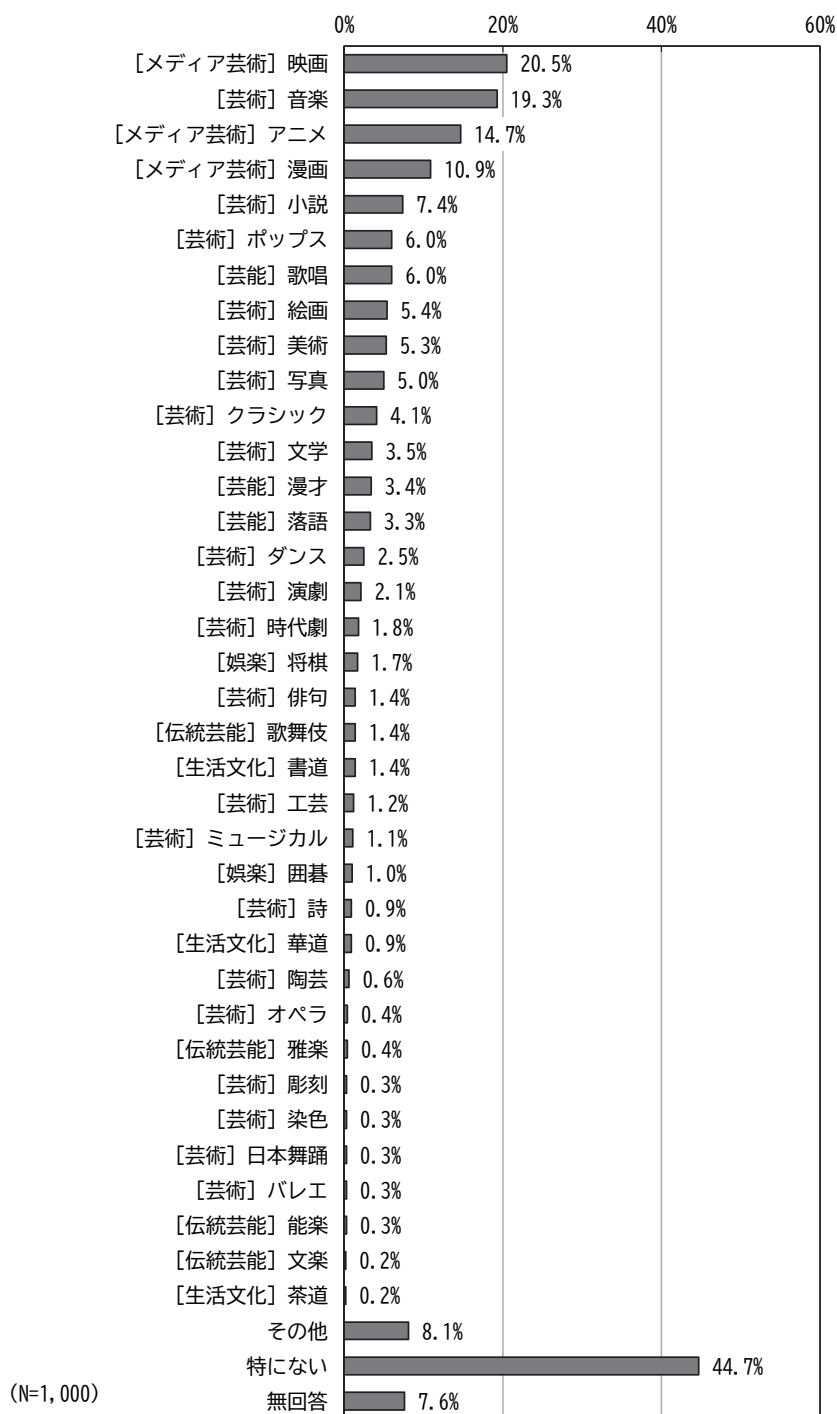
	回答者数	合 計	1. 年々、体 が動かな くなるこ と	2. 体（足や 腰など） が痛いこ と	3. 肥満・運 動不足な こと	4. 食事面や 栄養のバ ランスの こと	5. 生活習慣 病（高血 圧、高脂 血症（脂 質異常 症）、糖 尿病な ど）のこ と	6. 精神的な 不安のこ と
令和5年度	1,000 (100.0)	2,743 (274.3)	360 (36.0)	373 (37.3)	343 (34.3)	201 (20.1)	270 (27.0)	361 (36.1)
令和2年度	1,066 (100.0)	2,916 (273.5)	382 (35.8)	370 (34.7)	385 (36.1)	200 (18.8)	316 (29.6)	367 (34.4)

	7. 眠れない こと	8. 歯の治療 がむずか しいこと	9. 体調が悪 くても、 まわりに わかって もらえな いこと	10. 医師や看 護師に症 状をうまく 伝えられ ないこと	11. その他	12. 特にな い	13. 無回答
令和5年度	201 (20.1)	119 (11.9)	200 (20.0)	136 (13.6)	53 (5.3)	94 (9.4)	32 (3.2)
令和2年度	253 (23.7)	114 (10.7)	197 (18.5)	130 (12.2)	60 (5.6)	112 (10.5)	30 (2.8)

⑫現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（問 18）

現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）については、「映画」が 20.5%で最も多く、次いで「音楽」が 19.3%、「アニメ」が 14.7%となっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）



年齢別にみると、18～29 歳は「音楽」、「映画」、「漫画」、「アニメ」、30～39 歳は「漫画」、「アニメ」、85 歳以上は「特にない」が全体に比べ多くなっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）（年齢別）

		回答者数	合 計	1. 〔芸術〕 文学	2. 〔芸術〕 詩	3. 〔芸術〕 俳句	4. 〔芸術〕 小説	5. 〔芸術〕 音楽	6. 〔芸術〕 オペラ	7. 〔芸術〕 クラシック	8. 〔芸術〕 ポップス	9. 〔芸術〕 美術
全 体		1,000 (100.0)	1,959 (195.9)	35 (3.5)	9 (0.9)	14 (1.4)	74 (7.4)	193 (19.3)	4 (0.4)	41 (4.1)	60 (6.0)	53 (5.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	350 (299.1)	8 (6.8)	1 (0.9)	0 (-)	17 (14.5)	50 (42.7)	0 (-)	10 (8.5)	13 (11.1)	11 (9.4)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	244 (249.0)	4 (4.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	9 (9.2)	22 (22.4)	1 (1.0)	5 (5.1)	9 (9.2)	10 (10.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	719 (203.1)	12 (3.4)	3 (0.8)	2 (0.6)	33 (9.3)	75 (21.2)	1 (0.3)	15 (4.2)	33 (9.3)	23 (6.5)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	245 (161.2)	5 (3.3)	0 (-)	5 (3.3)	6 (3.9)	23 (15.1)	0 (-)	6 (3.9)	4 (2.6)	4 (2.6)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	269 (146.2)	5 (2.7)	1 (0.5)	5 (2.7)	8 (4.3)	17 (9.2)	1 (0.5)	4 (2.2)	1 (0.5)	3 (1.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	117 (141.0)	1 (1.2)	2 (2.4)	1 (1.2)	0 (-)	6 (7.2)	1 (1.2)	1 (-)	0 (-)	2 (2.4)
	7. 無回答	12 (100.0)	15 (125.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		10. 〔芸術〕 絵画	11. 〔芸術〕 彫刻	12. 〔芸術〕 工芸	13. 〔芸術〕 陶芸	14. 〔芸術〕 染色	15. 〔芸術〕 写真	16. 〔芸術〕 演劇	17. 〔芸術〕 時代劇	18. 〔芸術〕 ミュージカル	19. 〔芸術〕 日本舞踊
全 体		54 (5.4)	3 (0.3)	12 (1.2)	6 (0.6)	3 (0.3)	50 (5.0)	21 (2.1)	18 (1.8)	11 (1.1)	3 (0.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	11 (9.4)	0 (-)	3 (2.6)	2 (1.7)	1 (0.9)	8 (6.8)	3 (2.6)	0 (-)	5 (4.3)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	12 (12.2)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	1 (1.0)	8 (8.2)	4 (4.1)	0 (-)	1 (1.0)	0 (-)
	3. 40～64歳	18 (5.1)	0 (-)	3 (0.8)	1 (0.3)	0 (-)	22 (6.2)	9 (2.5)	2 (0.6)	4 (1.1)	0 (-)
	4. 65～74歳	2 (1.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (3.9)	1 (0.7)	6 (3.9)	1 (0.7)	1 (0.7)
	5. 75～84歳	10 (5.4)	1 (0.5)	2 (1.1)	1 (0.5)	1 (0.5)	4 (2.2)	3 (1.6)	8 (4.3)	0 (-)	0 (-)
	6. 85歳以上	1 (1.2)	0 (-)	2 (2.4)	0 (-)	0 (-)	2 (2.4)	1 (1.2)	2 (2.4)	0 (-)	1 (1.2)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		20. 〔芸術〕 バレエ	21. 〔芸術〕 ダンス	22. 〔メディア 芸術〕 映画	23. 〔メディア 芸術〕 漫画	24. 〔メディア 芸術〕 アニメ	25. 〔伝統芸 能〕 雅楽	26. 〔伝統芸 能〕 能楽	27. 〔伝統芸 能〕 文楽	28. 〔伝統芸 能〕 歌舞 伎	29.〔芸能〕 落語
全 体		3 (0.3)	25 (2.5)	205 (20.5)	109 (10.9)	147 (14.7)	4 (0.4)	3 (0.3)	2 (0.2)	14 (1.4)	33 (3.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	0 (-)	10 (8.5)	44 (37.6)	34 (29.1)	52 (44.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)
	2. 30～39歳	0 (-)	6 (6.1)	27 (27.6)	24 (24.5)	28 (28.6)	1 (1.0)	0 (-)	0 (-)	2 (2.0)	1 (1.0)
	3. 40～64歳	3 (0.8)	5 (1.4)	85 (24.0)	46 (13.0)	61 (17.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (1.1)	11 (3.1)
	4. 65～74歳	0 (-)	1 (0.7)	29 (19.1)	3 (2.0)	2 (1.3)	2 (1.3)	2 (1.3)	1 (0.7)	3 (2.0)	9 (5.9)
	5. 75～84歳	0 (-)	2 (1.1)	14 (7.6)	0 (-)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	0 (-)	1 (0.5)	9 (4.9)
	6. 85歳以上	0 (-)	1 (1.2)	5 (6.0)	0 (-)	1 (1.2)	0 (-)	0 (-)	1 (1.2)	3 (3.6)	3 (3.6)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	2 (16.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		30. 〔芸能〕 漫才	31. 〔芸能〕 歌唱	32. 〔生活文 化〕茶道	33. 〔生活文 化〕華道	34. 〔生活文 化〕書道	35. 〔娯楽〕 囲碁	36. 〔娯楽〕 将棋	37. その他	38. 特にない	39. 無回答
全 体		34 (3.4)	60 (6.0)	2 (0.2)	9 (0.9)	14 (1.4)	10 (1.0)	17 (1.7)	81 (8.1)	447 (44.7)	76 (7.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	6 (5.1)	15 (12.8)	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)	13 (11.1)	24 (20.5)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	2 (2.0)	6 (6.1)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	0 (-)	0 (-)	5 (5.1)	42 (42.9)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	15 (4.2)	11 (3.1)	1 (0.3)	1 (0.3)	6 (1.7)	0 (-)	7 (2.0)	29 (8.2)	158 (44.6)	20 (5.6)
	4. 65～74歳	4 (2.6)	12 (7.9)	0 (-)	2 (1.3)	2 (1.3)	4 (2.6)	3 (2.0)	16 (10.5)	72 (47.4)	8 (5.3)
	5. 75～84歳	4 (2.2)	14 (7.6)	0 (-)	3 (1.6)	2 (1.1)	3 (1.6)	6 (3.3)	8 (4.3)	96 (52.2)	29 (15.8)
	6. 85歳以上	3 (3.6)	2 (2.4)	0 (-)	1 (1.2)	3 (3.6)	2 (2.4)	0 (-)	9 (10.8)	50 (60.2)	10 (12.0)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	5 (41.7)	3 (25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、精神障害者は「音楽」、「漫画」、「アニメ」が全体に比べ多くなっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 〔芸術〕 文学	2. 〔芸術〕 詩	3. 〔芸術〕 俳句	4. 〔芸術〕 小説	5. 〔芸術〕 音楽	6. 〔芸術〕 オペラ	7. 〔芸術〕 クラシッ ク	8. 〔芸術〕 ポップス	9. 〔芸術〕 美術
全 体		1,000 (100.0)	1,959 (195.9)	35 (3.5)	9 (0.9)	14 (1.4)	74 (7.4)	193 (19.3)	4 (0.4)	41 (4.1)	60 (6.0)	53 (5.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	891 (165.9)	13 (2.4)	3 (0.6)	10 (1.9)	29 (5.4)	68 (12.7)	2 (0.4)	14 (2.6)	19 (3.5)	18 (3.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	207 (178.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (3.4)	25 (21.6)	0 (-)	3 (2.6)	5 (4.3)	5 (4.3)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	796 (252.7)	19 (6.0)	6 (1.9)	3 (1.0)	42 (13.3)	93 (29.5)	1 (0.3)	22 (7.0)	35 (11.1)	29 (9.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	90 (300.0)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)	3 (10.0)	10 (33.3)	1 (3.3)	2 (6.7)	4 (13.3)	2 (6.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	56 (127.3)	1 (2.3)	0 (-)	1 (2.3)	1 (2.3)	3 (6.8)	0 (-)	1 (2.3)	0 (-)	0 (-)

	10. 【芸術】 絵画	11. 【芸術】 彫刻	12. 【芸術】 工芸	13. 【芸術】 陶芸	14. 【芸術】 染色	15. 【芸術】 写真	16. 【芸術】 演劇	17. 【芸術】 時代劇	18. 【芸術】 ミュージ カル	19. 【芸術】 日本舞踊
全 体	54 (5.4)	3 (0.3)	12 (1.2)	6 (0.6)	3 (0.3)	50 (5.0)	21 (2.1)	18 (1.8)	11 (1.1)	3 (0.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	21 (3.9)	1 (0.2)	6 (1.1)	2 (0.4)	1 (0.2)	22 (4.1)	7 (1.3)	18 (3.4)	1 (0.2)
	2. 知的障害者	7 (6.0)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)	2 (1.7)
	3. 精神障害者	26 (8.3)	2 (0.6)	5 (1.6)	3 (1.0)	1 (0.3)	25 (7.9)	10 (3.2)	0 (-)	7 (2.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (10.0)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)

	20. 【芸術】 バレエ	21. 【芸術】 ダンス	22. 【メディア 芸術】 映画	23. 【メディア 芸術】 漫画	24. 【メディア 芸術】 アニメ	25. 【伝統芸 能】 雅楽	26. 【伝統芸 能】 能楽	27. 【伝統芸 能】 文楽	28. 【伝統芸 能】 歌舞 伎	29. 【芸能】 落語
全 体	3 (0.3)	25 (2.5)	205 (20.5)	109 (10.9)	147 (14.7)	4 (0.4)	3 (0.3)	2 (0.2)	14 (1.4)	33 (3.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (0.2)	8 (1.5)	90 (16.8)	26 (4.8)	32 (6.0)	3 (0.6)	3 (0.6)	2 (0.4)	7 (1.3)
	2. 知的障害者	0 (-)	10 (8.6)	20 (17.2)	14 (12.1)	27 (23.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.9)
	3. 精神障害者	2 (0.6)	6 (1.9)	93 (29.5)	68 (21.6)	88 (27.9)	1 (0.3)	0 (-)	0 (-)	4 (1.3)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	1 (3.3)	14 (46.7)	7 (23.3)	11 (36.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (6.7)
	5. 無回答	0 (-)	1 (2.3)	1 (2.3)	2 (4.5)	1 (2.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)

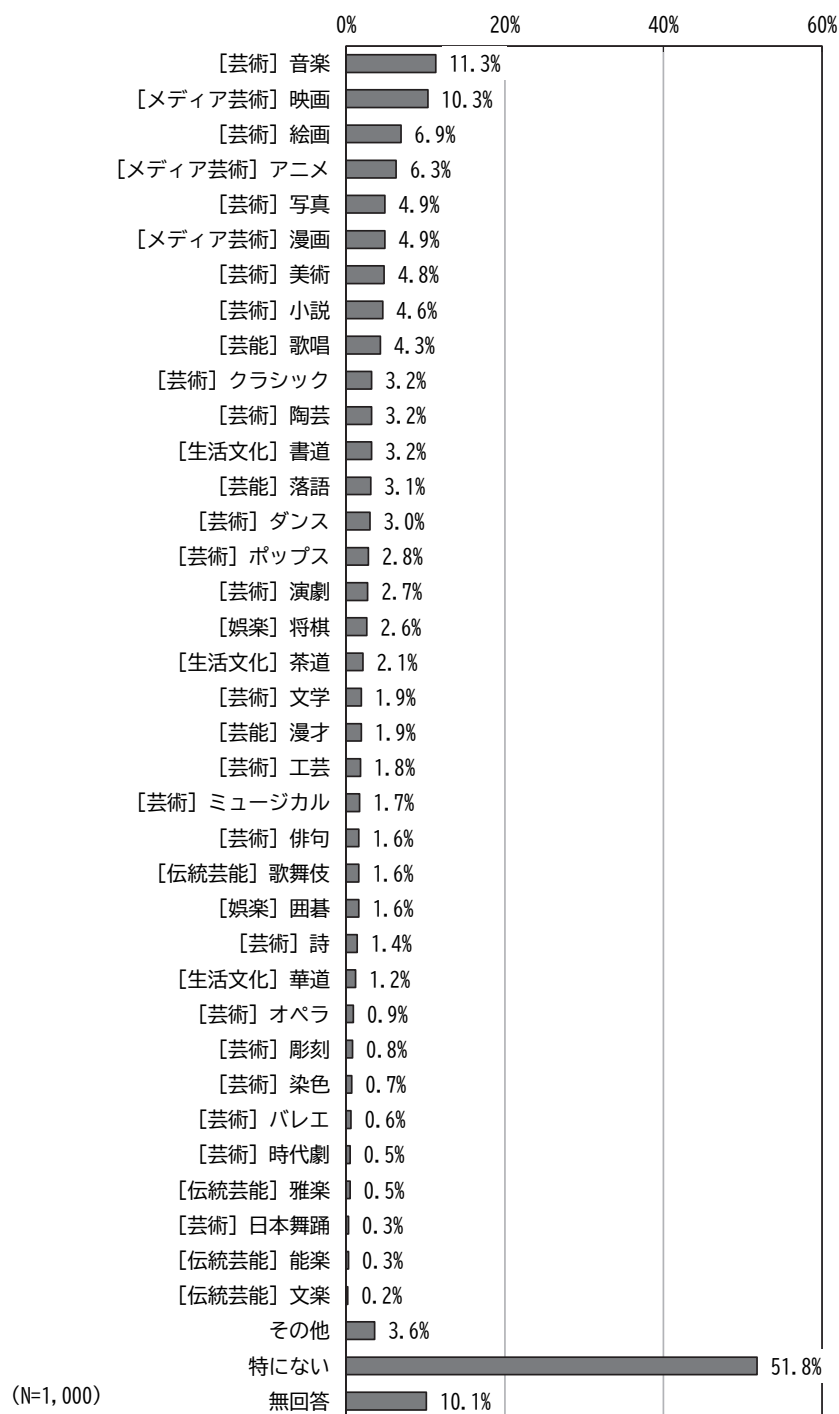
	30. 【芸能】 漫才	31. 【芸能】 歌唱	32. 【生活文 化】 茶道	33. 【生活文 化】 華道	34. 【生活文 化】 書道	35. 【娯楽】 囲碁	36. 【娯楽】 将棋	37. その他	38. 特にな	39. 無回答
全 体	34 (3.4)	60 (6.0)	2 (0.2)	9 (0.9)	14 (1.4)	10 (1.0)	17 (1.7)	81 (8.1)	447 (44.7)	76 (7.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	19 (3.5)	29 (5.4)	0 (-)	5 (0.9)	9 (1.7)	9 (1.7)	35 (6.5)	276 (51.4)	47 (8.8)
	2. 知的障害者	1 (0.9)	11 (9.5)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (-)	0 (8.6)	10 (42.2)	6 (5.2)
	3. 精神障害者	11 (3.5)	18 (5.7)	2 (0.6)	3 (1.0)	2 (0.6)	1 (0.3)	6 (1.9)	31 (9.8)	10 (3.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	4 (13.3)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (16.7)	9 (30.0)	1 (3.3)
	5. 無回答	0 (-)	3 (6.8)	0 (-)	1 (2.3)	2 (4.5)	0 (-)	2 (4.5)	17 (38.6)	14 (31.8)

注：()内はガッパ®数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑬今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）（問 19）

今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）については、「音楽」が11.3%で最も多く、次いで「映画」が10.3%、「絵画」が6.9%となっています。

■今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）



年齢別にみると、18～29 歳は「アニメ」、85 歳以上は「特にない」が全体に比べ多くなっています。

■今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 〔芸術〕 文学	2. 〔芸術〕 詩	3. 〔芸術〕 俳句	4. 〔芸術〕 小説	5. 〔芸術〕 音楽	6. 〔芸術〕 オペラ	7. 〔芸術〕 クラシック	8. 〔芸術〕 ポップス	9. 〔芸術〕 美術
全 体	1,000 (100.0)	1,692 (169.2)	19 (1.9)	14 (1.4)	16 (1.6)	46 (4.6)	113 (11.3)	9 (0.9)	32 (3.2)	28 (2.8)	48 (4.8)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	261 (223.1)	5 (4.3)	4 (3.4)	3 (2.6)	11 (9.4)	24 (20.5)	5 (4.3)	5 (5.1)	6 (10.3)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	199 (203.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	8 (8.2)	16 (16.3)	0 (-)	5 (5.1)	2 (7.1)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	630 (178.0)	7 (2.0)	6 (1.7)	3 (0.8)	15 (4.2)	42 (11.9)	3 (0.8)	13 (3.7)	17 (4.8)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	228 (150.0)	2 (1.3)	0 (-)	1 (0.7)	4 (2.6)	16 (10.5)	0 (-)	6 (3.9)	3 (3.9)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	252 (137.0)	2 (1.1)	2 (1.1)	6 (3.3)	6 (3.3)	12 (6.5)	0 (-)	1 (0.5)	0 (2.2)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	101 (121.7)	1 (1.2)	1 (1.2)	2 (2.4)	1 (1.2)	2 (2.4)	1 (1.2)	1 (-)	0 (1.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	21 (175.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)

	10. 〔芸術〕 絵画	11. 〔芸術〕 彫刻	12. 〔芸術〕 工芸	13. 〔芸術〕 陶芸	14. 〔芸術〕 染色	15. 〔芸術〕 写真	16. 〔芸術〕 演劇	17. 〔芸術〕 時代劇	18. 〔芸術〕 ミュージカル	19. 〔芸術〕 日本舞踊
全 体	69 (6.9)	8 (0.8)	18 (1.8)	32 (3.2)	7 (0.7)	49 (4.9)	27 (2.7)	5 (0.5)	17 (1.7)	3 (0.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	14 (12.0)	1 (0.9)	3 (2.6)	2 (1.7)	0 (-)	6 (5.1)	5 (4.3)	0 (-)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	9 (9.2)	3 (3.1)	3 (3.1)	2 (2.0)	2 (4.1)	4 (5.1)	5 (-)	0 (5.1)	0 (-)
	3. 40～64歳	25 (7.1)	4 (1.1)	7 (2.0)	19 (5.4)	4 (1.1)	23 (6.5)	11 (3.1)	1 (0.3)	6 (1.7)
	4. 65～74歳	7 (4.6)	0 (-)	1 (0.7)	2 (1.3)	0 (-)	7 (4.6)	3 (2.0)	1 (0.7)	1 (0.7)
	5. 75～84歳	12 (6.5)	0 (-)	1 (0.5)	5 (2.7)	1 (0.5)	8 (4.3)	3 (1.6)	1 (0.5)	0 (0.5)
	6. 85歳以上	2 (2.4)	0 (-)	3 (3.6)	1 (1.2)	0 (-)	0 (-)	0 (2.4)	2 (-)	1 (1.2)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)

	20. 〔芸術〕 バレエ	21. 〔芸術〕 ダンス	22. 〔メディア芸術〕 映画	23. 〔メディア芸術〕 漫画	24. 〔メディア芸術〕 アニメ	25. 〔伝統芸術〕 雅楽	26. 〔伝統芸術〕 能楽	27. 〔伝統芸術〕 文楽	28. 〔伝統芸術〕 歌舞伎	29. 〔芸能〕 落語
全 体	6 (0.6)	30 (3.0)	103 (10.3)	49 (4.9)	63 (6.3)	5 (0.5)	3 (0.3)	2 (0.2)	16 (1.6)	31 (3.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	2 (1.7)	6 (5.1)	20 (17.1)	16 (13.7)	22 (18.8)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (-)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	1 (1.0)	6 (6.1)	17 (17.3)	11 (11.2)	13 (13.3)	2 (2.0)	0 (-)	0 (3.1)	3 (1.0)
	3. 40～64歳	3 (0.8)	11 (3.1)	36 (10.2)	19 (5.4)	26 (7.3)	2 (0.6)	1 (0.3)	1 (0.3)	7 (4.2)
	4. 65～74歳	0 (-)	3 (2.0)	16 (10.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.7)	0 (1.3)	2 (5.3)
	5. 75～84歳	0 (-)	2 (1.1)	11 (6.0)	1 (0.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (0.5)	1 (2.7)
	6. 85歳以上	0 (-)	1 (1.2)	1 (1.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (1.2)	1 (2.4)	2 (2.4)
	7. 無回答	0 (-)	1 (8.3)	2 (16.7)	2 (16.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

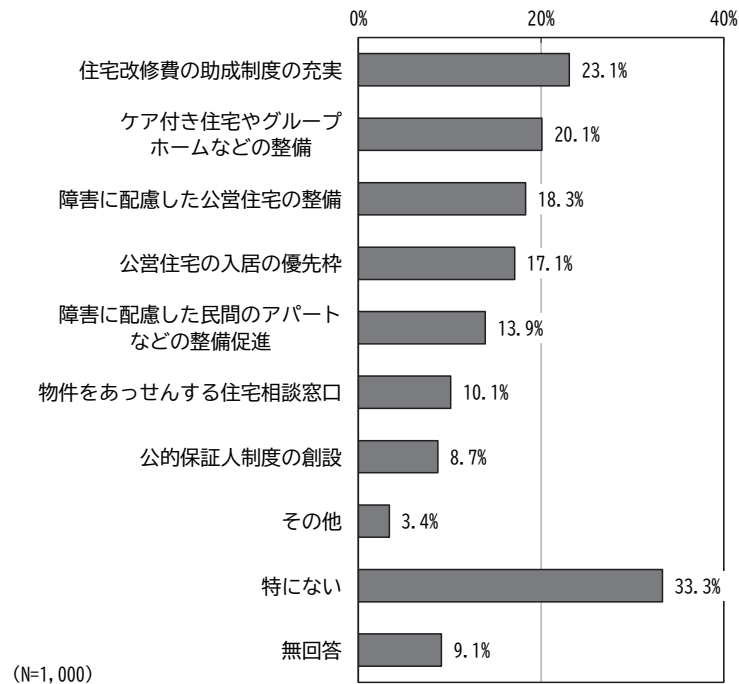
	30. 〔芸能〕 漫才	31. 〔芸能〕 歌唱	32. 〔生活文化〕 茶道	33. 〔生活文化〕 華道	34. 〔生活文化〕 書道	35. 〔娯楽〕 囲碁	36. 〔娯楽〕 将棋	37. その他	38. 特にない	39. 無回答
全 体	19 (1.9)	43 (4.3)	21 (2.1)	12 (1.2)	32 (3.2)	16 (1.6)	26 (2.6)	36 (3.6)	518 (51.8)	101 (10.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	1 (0.9)	12 (10.3)	4 (3.4)	1 (0.9)	3 (2.6)	0 (-)	1 (0.9)	3 (2.6)	51 (43.6)
	2. 30～39歳	1 (1.0)	4 (4.1)	6 (6.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	1 (2.0)	2 (1.0)	1 (44.9)	44 (8.2)
	3. 40～64歳	10 (2.8)	9 (2.5)	7 (2.0)	7 (2.0)	11 (3.1)	6 (1.7)	17 (3.1)	177 (50.0)	30 (8.5)
	4. 65～74歳	5 (3.3)	7 (4.6)	2 (1.3)	0 (-)	3 (2.0)	4 (2.6)	6 (3.9)	7 (4.6)	88 (9.9)
	5. 75～84歳	2 (1.1)	10 (5.4)	0 (-)	1 (0.5)	8 (4.3)	3 (1.6)	5 (2.7)	7 (3.8)	98 (53.3)
	6. 85歳以上	0 (-)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	6 (7.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	56 (67.5)	7 (8.4)
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	4 (33.3)	2 (16.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑭市の住宅対策として今後特に望むこと（問 20）

市の住宅対策として今後特に望むことについては、「住宅改修費の助成制度の充実」が23.1%で最も多く、次いで「ケア付き住宅やグループホームなどの整備」が20.1%、「障害に配慮した公営住宅の整備」が18.3%となっています。

■市の住宅対策として今後特に望むこと（複数回答）



障害種別にみると、知的障害者は「ケア付き住宅やグループホームなどの整備」が全体に比べて多くなっています。

■市の住宅対策として今後特に望むこと（複数回答）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. ケア付き 住宅やグ ループ ホームな どの整備	2. 物件を あっせん する住宅 相談窓口	3. 公的保証 人制度の 創設	4. 障害に配 慮した公 営住宅の 整備	5. 公営住宅 の入居の 優先枠	6. 住宅改修 費の助成 制度の充 実	7. 障害に配 慮した民 間のア パートな どの整備 促進	8. その他	9. 特にない	10. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	1,571 (157.1)	201 (20.1)	101 (10.1)	87 (8.7)	183 (18.3)	171 (17.1)	231 (23.1)	139 (13.9)	34 (3.4)	333 (33.3)	91 (9.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	794 (147.9)	95 (17.7)	32 (7.3)	90 (6.0)	72 (13.4)	149 (27.7)	62 (11.5)	11 (2.0)	183 (34.1)	61 (11.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	201 (173.3)	53 (45.7)	10 (8.6)	7 (6.0)	30 (25.9)	18 (15.5)	20 (17.2)	6 (5.2)	24 (20.7)	11 (9.5)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	540 (171.4)	51 (16.2)	50 (15.9)	45 (14.3)	65 (20.6)	77 (24.4)	58 (18.4)	19 (6.0)	104 (33.0)	13 (4.1)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	50 (166.7)	7 (23.3)	2 (6.7)	4 (13.3)	5 (16.7)	5 (16.7)	11 (36.7)	4 (13.3)	11 (36.7)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	61 (138.6)	11 (25.0)	4 (9.1)	1 (2.3)	6 (13.6)	4 (9.1)	5 (11.4)	4 (9.1)	17 (38.6)	9 (20.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみても、前回と同じ傾向となっています。

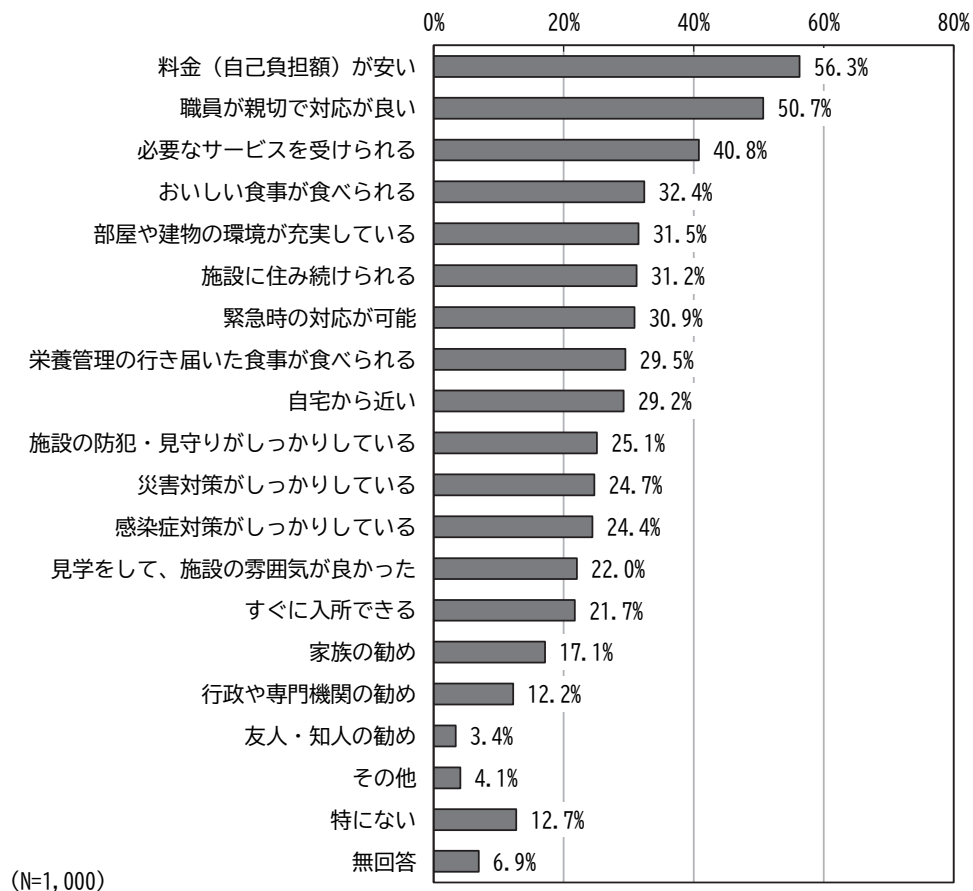
■市の住宅対策として今後特に望むこと（複数回答）（経年変化）

	回答者数	合 計	1. ケア付き 住宅やグ ループ ホームな どの整備	2. 物件を あっせん する住宅 相談窓口	3. 公的保証 人制度の 創設	4. 障害に配 慮した公 営住宅の 整備	5. 公営住宅 の入居の 優先枠	6. 住宅改修 費の助成 制度の充 実	7. 障害に配 慮した民 間のア パートな どの整備 促進	8. その他	9. 特にな い	10. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	1,571 (157.1)	201 (20.1)	101 (10.1)	87 (8.7)	183 (18.3)	171 (17.1)	231 (23.1)	139 (13.9)	34 (3.4)	333 (33.3)	91 (9.1)
令和2年度	1,066 (100.0)	1,698 (159.3)	233 (21.9)	124 (11.6)	100 (9.4)	198 (18.6)	177 (16.6)	223 (20.9)	154 (14.4)	31 (2.9)	349 (32.7)	109 (10.2)

⑮施設に入所する場合に重視する点（問 21）

施設に入所する場合に重視する点については、「料金（自己負担額）が安い」が56.3%で最も多く、次いで「職員が親切で対応が良い」が50.7%、「必要なサービスを受けられる」が40.8%となっています。

■施設に入所する場合に重視する点（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「必要なサービスを受けられる」、「施設の防犯・見守りがしっかりしている」、「部屋や建物の環境が充実している」、「見学をして、施設の雰囲気が良かった」が全体に比べ多くなっています。

■施設に入所する場合に重視する点(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 行政や専門機関の 勧め	2. 家族の勧め	3. 友人・知人の勧め	4. 自宅から近い	5. 必要なサービスを受けられる	6. 緊急時の対応が可能	7. 施設の防犯・見守りがしっかりしている	8. 職員が親切で対応が良い	9. 部屋や建物の環境が充実している
全 体	1,000 (100.0)	5,068 (506.8)	122 (12.2)	171 (17.1)	34 (3.4)	292 (29.2)	408 (40.8)	309 (30.9)	251 (25.1)	507 (50.7)	315 (31.5)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	705 (602.6)	12 (10.3)	23 (19.7)	9 (7.7)	44 (37.6)	62 (53.0)	39 (33.3)	42 (35.9)	52 (44.4)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	550 (561.2)	17 (17.3)	19 (19.4)	4 (4.1)	29 (29.6)	48 (49.0)	34 (34.7)	26 (26.5)	36 (36.7)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	1,797 (507.6)	38 (10.7)	46 (13.0)	10 (2.8)	94 (26.6)	142 (40.1)	110 (31.1)	89 (25.1)	115 (32.5)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	750 (493.4)	18 (11.8)	28 (18.4)	4 (2.6)	45 (29.6)	61 (40.1)	49 (32.2)	30 (19.7)	42 (27.6)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	898 (488.0)	28 (15.2)	44 (23.9)	4 (2.2)	54 (29.3)	70 (38.0)	60 (32.6)	49 (26.6)	48 (26.1)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	303 (365.1)	8 (9.6)	9 (10.8)	2 (2.4)	21 (25.3)	21 (25.3)	15 (18.1)	11 (13.3)	20 (24.1)
	7. 無回答	12 (100.0)	65 (541.7)	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	5 (41.7)	4 (33.3)	2 (16.7)	4 (33.3)	2 (16.7)

	10. 見学をして、施設の 雰囲気が良かった	11. 栄養管理の行き届いた食事が 食べられる	12. おいしい食事が食べられる	13. 料金(自己負担額)が安い	14. すぐに入所できる	15. 施設に住み続けられる	16. 災害対策がしっかりしている	17. 感染症対策がしっかりしている	18. その他	19. 特にない	20. 無回答
全 体	220 (22.0)	295 (29.5)	324 (32.4)	563 (56.3)	217 (21.7)	312 (31.2)	247 (24.7)	244 (24.4)	41 (4.1)	127 (12.7)	69 (6.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	39 (33.3)	43 (36.8)	48 (41.0)	67 (57.3)	15 (12.8)	42 (35.9)	39 (33.3)	36 (30.8)	5 (4.3)	15 (12.8)
	2. 30～39歳	31 (31.6)	27 (27.6)	35 (35.7)	51 (52.0)	23 (23.5)	38 (38.8)	29 (29.6)	25 (25.5)	4 (4.1)	12 (12.2)
	3. 40～64歳	84 (23.7)	105 (29.7)	126 (35.6)	204 (57.6)	75 (21.2)	118 (33.3)	90 (25.4)	86 (24.3)	20 (5.6)	47 (13.3)
	4. 65～74歳	24 (15.8)	38 (25.0)	46 (30.3)	92 (60.5)	45 (29.6)	53 (34.9)	31 (20.4)	38 (25.0)	5 (3.3)	18 (11.8)
	5. 75～84歳	30 (16.3)	60 (32.6)	47 (25.5)	101 (54.9)	43 (23.4)	45 (24.5)	42 (22.8)	40 (21.7)	4 (2.2)	20 (10.9)
	6. 85歳以上	9 (10.8)	18 (21.7)	18 (21.7)	40 (48.2)	14 (16.9)	11 (13.3)	12 (14.5)	15 (18.1)	2 (2.4)	15 (18.1)
	7. 無回答	3 (25.0)	4 (33.3)	4 (33.3)	8 (66.7)	2 (16.7)	5 (41.7)	4 (33.3)	4 (33.3)	1 (8.3)	3 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「自宅から近い」、「緊急時の対応が可能」、「施設の防犯・見守りがしっかりしている」、「職員が親切で対応が良い」、「栄養管理の行き届いた食事が食べられる」、「施設に住み続けられる」、「災害対策がしっかりしている」が全体に比べて多くなっています。

■施設に入所する場合に重視する点（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 行政や専門 機関の 勧め	2. 家族の勧め	3. 友人・知 人の勧め	4. 自宅から 近い	5. 必要な サービス を受けら れる	6. 緊急時の 対応が可 能	7. 施設の防 犯・見守 りがしっ かりして いる	8. 職員が親 切で対応 が良い	9. 部屋や建 物の環境 が充実し ている
全 体		1,000 (100.0)	5,068 (506.8)	122 (12.2)	171 (17.1)	34 (3.4)	292 (29.2)	408 (40.8)	309 (30.9)	251 (25.1)	507 (50.7)	315 (31.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	2,600 (484.2)	68 (12.7)	92 (17.1)	14 (2.6)	159 (29.6)	203 (37.8)	163 (30.4)	123 (22.9)	258 (48.0)	160 (29.8)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	745 (642.2)	13 (11.2)	28 (24.1)	3 (2.6)	55 (47.4)	55 (47.4)	48 (41.4)	43 (37.1)	78 (67.2)	46 (39.7)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	1,637 (519.7)	43 (13.7)	50 (15.9)	13 (4.1)	78 (24.8)	138 (43.8)	91 (28.9)	81 (25.7)	159 (50.5)	107 (34.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	151 (503.3)	3 (10.0)	5 (16.7)	3 (10.0)	8 (26.7)	14 (46.7)	10 (33.3)	7 (23.3)	16 (53.3)	8 (26.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	207 (470.5)	2 (4.5)	11 (25.0)	1 (2.3)	14 (31.8)	16 (36.4)	14 (31.8)	13 (29.5)	24 (54.5)	8 (18.2)

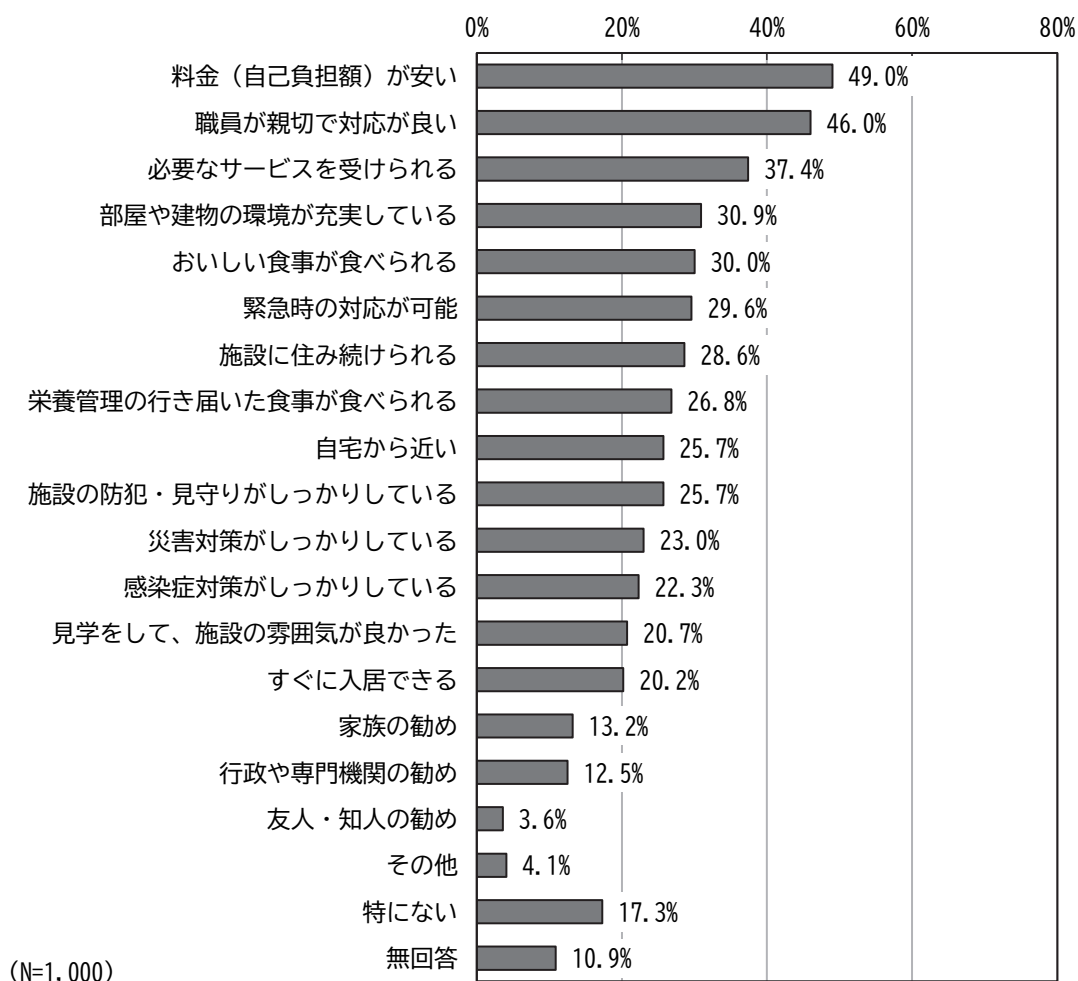
		10. 見学をし て、施設 の雰囲気 が良かった	11. 栄養管理 の行き届 いた食事 が食べら れる	12. おいしい 食事が食 べられる	13. 料金（自 己負担 額）が安 い	14. すぐに入 所できる	15. 施設に住 み続けら れる	16. 災害対策 がしっか りしてい る	17. 感染症対 策がしっ かりして いる	18. その他	19. 特にない	20. 無回答
全 体		220 (22.0)	295 (29.5)	324 (32.4)	563 (56.3)	217 (21.7)	312 (31.2)	247 (24.7)	244 (24.4)	41 (4.1)	127 (12.7)	69 (6.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	101 (18.8)	154 (28.7)	160 (29.8)	306 (57.0)	125 (23.3)	145 (27.0)	121 (22.5)	125 (23.3)	18 (3.4)	60 (11.2)	45 (8.4)
	2. 知的障害者	33 (28.4)	48 (41.4)	46 (39.7)	65 (56.0)	30 (25.9)	56 (48.3)	42 (36.2)	37 (31.9)	2 (1.7)	11 (9.5)	6 (5.2)
	3. 精神障害者	85 (27.0)	86 (27.3)	110 (34.9)	185 (58.7)	62 (19.7)	106 (33.7)	83 (26.3)	79 (25.1)	21 (6.7)	49 (15.6)	11 (3.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	4 (13.3)	8 (26.7)	13 (43.3)	17 (56.7)	4 (13.3)	12 (40.0)	5 (16.7)	5 (16.7)	3 (10.0)	6 (20.0)	0 (-)
	5. 無回答	8 (18.2)	14 (31.8)	12 (27.3)	18 (40.9)	10 (22.7)	11 (25.0)	8 (18.2)	11 (25.0)	0 (-)	4 (9.1)	8 (18.2)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩グループホームに入居する場合に重視する点（問 22）

グループホームに入居する場合に重視する点については、「料金（自己負担額）が安い」が49.0%で最も多く、次いで「職員が親切で対応が良い」が46.0%、「必要なサービスを受けられる」が37.4%となっています。

■グループホームに入居する場合に重視する点（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「必要なサービスを受けられる」、「施設の防犯・見守りがしっかりしている」、「職員が親切で対応が良い」、「部屋や建物の環境が充実している」、「おいしい食事が食べられる」、30～39歳は「職員が親切で対応が良い」、「施設に住み続けられる」が全体に比べ多くなっています。

■グループホームに入居する場合に重視する点(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 行政や専門機関の 勧め	2. 家族の勧め	3. 友人・知 人の勧め	4. 自宅から 近い	5. 必要な サービス を受けら れる	6. 緊急時の 対応が可 能	7. 施設の防 犯・見守 りがしっ かりして いる	8. 職員が親 切で対応 が良い	9. 部屋や建 物の環境 が充実し ている
全 体	1,000 (100.0)	4,775 (477.5)	125 (12.5)	132 (13.2)	36 (3.6)	257 (25.7)	374 (37.4)	296 (29.6)	257 (25.7)	460 (46.0)	309 (30.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	686 (586.3)	12 (10.3)	19 (16.2)	8 (6.8)	39 (33.3)	60 (51.3)	42 (35.9)	67 (57.3)	49 (41.9)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	533 (543.9)	16 (16.3)	14 (14.3)	4 (4.1)	31 (31.6)	43 (43.9)	32 (32.7)	55 (56.1)	35 (35.7)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	1,780 (502.8)	40 (11.3)	39 (11.0)	13 (3.7)	87 (24.6)	143 (40.4)	111 (31.4)	169 (47.7)	125 (35.3)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	681 (448.0)	17 (11.2)	23 (15.1)	4 (2.6)	35 (23.0)	46 (30.3)	42 (27.6)	30 (19.7)	41 (27.0)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	765 (415.8)	30 (16.3)	32 (17.4)	5 (2.7)	44 (23.9)	58 (31.5)	51 (27.7)	41 (22.3)	73 (39.7)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	259 (312.0)	9 (10.8)	3 (3.6)	2 (2.4)	15 (18.1)	19 (22.9)	14 (16.9)	12 (14.5)	15 (18.1)
	7. 無回答	12 (100.0)	71 (591.7)	1 (8.3)	2 (16.7)	0 (-)	6 (50.0)	5 (41.7)	4 (33.3)	5 (41.7)	4 (33.3)

	10. 見学をし て、施設 の雰囲気 が良かった	11. 栄養管理 の行き届 いた食事 が食べら れる	12. おいしい 食事が食 べられる	13. 料金(自 己負担 額)が安 い	14. すぐに入 居できる	15. 施設に住 み続けら れる	16. 災害対策 がしっか りしてい る	17. 感染症対 策がしっ かりして いる	18. その他	19. 特にな い	20. 無回答
全 体	207 (20.7)	268 (26.8)	300 (30.0)	490 (49.0)	202 (20.2)	286 (28.6)	230 (23.0)	223 (22.3)	41 (4.1)	173 (17.3)	109 (10.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	34 (29.1)	41 (35.0)	50 (42.7)	63 (53.8)	16 (13.7)	44 (37.6)	37 (31.6)	34 (29.1)	4 (3.4)	5 (4.3)
	2. 30～39歳	28 (28.6)	26 (26.5)	32 (32.7)	47 (48.0)	22 (22.4)	38 (38.8)	27 (27.6)	23 (23.5)	6 (6.1)	11 (11.2)
	3. 40～64歳	90 (25.4)	100 (28.2)	119 (33.6)	175 (49.4)	80 (22.6)	110 (31.1)	90 (25.4)	89 (25.1)	19 (5.4)	20 (5.6)
	4. 65～74歳	21 (13.8)	34 (22.4)	39 (25.7)	88 (57.9)	37 (24.3)	45 (29.6)	30 (19.7)	31 (20.4)	7 (4.6)	13 (8.6)
	5. 75～84歳	23 (12.5)	50 (27.2)	38 (20.7)	82 (44.6)	34 (18.5)	36 (19.6)	33 (17.9)	29 (15.8)	3 (1.6)	37 (20.1)
	6. 85歳以上	8 (9.6)	13 (15.7)	17 (20.5)	27 (32.5)	11 (13.3)	8 (9.6)	9 (10.8)	13 (15.7)	2 (2.4)	20 (24.1)
	7. 無回答	3 (25.0)	4 (33.3)	5 (41.7)	8 (66.7)	2 (16.7)	5 (41.7)	4 (33.3)	4 (33.3)	0 (-)	3 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「自宅から近い」、「必要なサービスを受けられる」、「緊急時の対応が可能」、「施設の防犯・見守りがしっかりしている」、「職員が親切で対応が良い」、「栄養管理の行き届いた食事が食べられる」、「おいしい食事が食べられる」、「施設に住み続けられる」、「災害対策がしっかりしている」が全体に比べ多くなっています。

■グループホームに入居する場合に重視する点(複数回答)(障害種別)

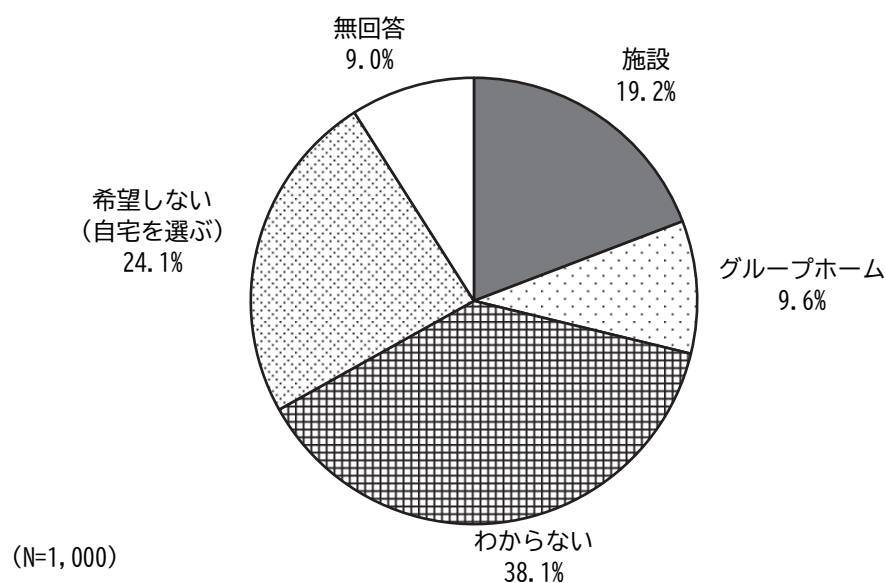
	回答者数	合 計	1. 行政や専門機関の 勧め	2. 家族の勧め	3. 友人・知 人の勧め	4. 自宅から 近い	5. 必要な サービス を受けら れる	6. 緊急時の 対応が可 能	7. 施設の防 犯・見守 りがしっ かりして いる	8. 職員が親 切で対応 が良い	9. 部屋や建 物の環境 が充実し ている
全 体	1,000 (100.0)	4,775 (477.5)	125 (12.5)	132 (13.2)	36 (3.6)	257 (25.7)	374 (37.4)	296 (29.6)	257 (25.7)	460 (46.0)	309 (30.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	2,330 (433.9)	69 (12.8)	66 (12.3)	16 (3.0)	129 (24.0)	175 (32.6)	146 (27.2)	222 (41.3)	147 (27.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	731 (630.2)	16 (13.8)	19 (16.4)	4 (3.4)	52 (44.8)	56 (48.3)	46 (39.7)	76 (65.5)	42 (36.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	1,612 (511.7)	40 (12.7)	45 (14.3)	13 (4.1)	79 (25.1)	133 (42.2)	96 (30.5)	84 (26.7)	113 (35.9)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	165 (550.0)	3 (10.0)	5 (16.7)	3 (10.0)	10 (33.3)	16 (53.3)	10 (33.3)	10 (33.3)	9 (30.0)
	5. 無回答	44 (100.0)	201 (456.8)	2 (4.5)	7 (15.9)	0 (-)	10 (22.7)	14 (31.8)	14 (31.8)	21 (47.7)	12 (27.3)
	10. 見学をし て、施設 の雰囲気 が良かった	11. 栄養管理 の行き届 いた食事 が食べら れる	12. おいしい 食事が食 べられる	13. 料金(自 己負担 額)が安 い	14. すぐに入 居できる	15. 施設に住 み続けら れる	16. 災害対策 がしっか りしてい る	17. 感染症対 策がしっ かりして いる	18. その他	19. 特にな い	20. 無回答
全 体	207 (20.7)	268 (26.8)	300 (30.0)	490 (49.0)	202 (20.2)	286 (28.6)	230 (23.0)	223 (22.3)	41 (4.1)	173 (17.3)	109 (10.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	88 (16.4)	128 (23.8)	137 (25.5)	256 (47.7)	107 (19.9)	125 (23.3)	109 (20.3)	108 (20.1)	18 (3.4)	91 (16.9)
	2. 知的障害者	31 (26.7)	47 (40.5)	49 (42.2)	63 (54.3)	30 (25.9)	55 (47.4)	39 (33.6)	36 (31.0)	3 (2.6)	12 (10.3)
	3. 精神障害者	88 (27.9)	84 (26.7)	105 (33.3)	159 (50.5)	65 (20.6)	103 (32.7)	78 (24.8)	76 (24.1)	21 (6.7)	59 (18.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	5 (16.7)	12 (40.0)	12 (40.0)	17 (56.7)	5 (16.7)	10 (33.3)	7 (23.3)	5 (16.7)	2 (6.7)	7 (23.3)
	5. 無回答	7 (15.9)	13 (29.5)	14 (31.8)	20 (45.5)	8 (18.2)	11 (25.0)	8 (18.2)	10 (22.7)	0 (-)	7 (15.9)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑰施設への入所、グループホームへの入居希望（問 23）

施設への入所、グループホームへの入居希望については、「わからない」が38.1%で最も多く、次いで「希望しない（自宅を選ぶ）」が24.1%、「施設」が19.2%となっています。

■施設への入所、グループホームへの入居希望



障害種別にみると、知的障害者は「グループホーム」が全体に比べ多くなっています。

■施設への入所、グループホームへの入居希望（障害種別）

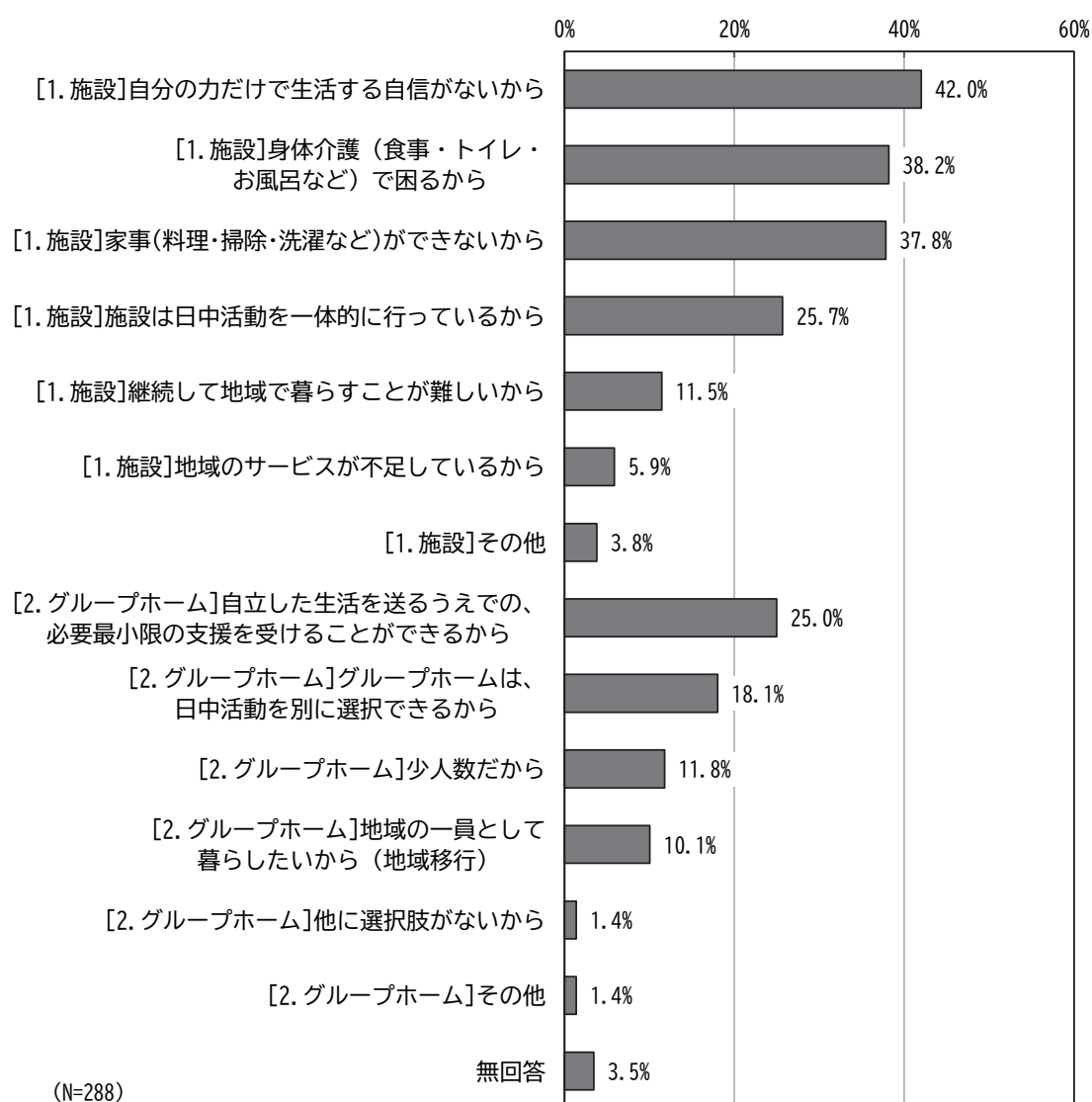
		合 計	1. 施設	2. グループ ホーム	3. わから ない	4. 希望しな い (自宅 を選ぶ)	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	192 (19.2)	96 (9.6)	381 (38.1)	241 (24.1)	90 (9.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	130 (24.2)	28 (5.2)	200 (37.2)	123 (22.9)	56 (10.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	31 (26.7)	28 (24.1)	35 (30.2)	15 (12.9)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	31 (9.8)	40 (12.7)	134 (42.5)	96 (30.5)	14 (4.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	6 (20.0)	1 (3.3)	11 (36.7)	11 (36.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	8 (18.2)	5 (11.4)	10 (22.7)	8 (18.2)	13 (29.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩施設・グループホームを選んだ理由（問 23 - 1）

問 23 で「施設」、「グループホーム」と回答した方に、施設・グループホームを選んだ理由をきいたところ、「施設」は「自分の力だけで生活する自信がないから」が 42.0%、「グループホーム」は「自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから」が 25.0%で最も多くなっています。

■施設・グループホームを選んだ理由（複数回答）



年齢別にみると、18～29 歳はグループホームを選んだ理由として「グループホームは、日中活動を別に選択できるから」、「自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから」、30～39 歳は「少人数だから」、65～74 歳は施設を選んだ理由として「施設は日中活動を一体的に行っているから」、75～84 歳は「身体介護（食事・トイレ・お風呂など）で困るから」、85 歳以上は「家事（料理・掃除・洗濯など）ができないから」、「身体介護（食事・トイレ・お風呂など）で困るから」、「自分の力だけで生活する自信がないから」が全体に比べ多くなっています。

■施設・グループホームを選んだ理由（複数回答）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. [1.施設]施設は日中活動を一体的に行っているから	2. [1.施設]家事（料理・掃除・洗濯など）ができないから	3. [1.施設]身体介護（食事・トイレ・お風呂など）で困るから	4. [1.施設]自分の力だけで生活する自信がないから	5. [1.施設]地域のサービスが不足しているから	6. [1.施設]地域で暮らすことが難しいから	7. [1.施設]その他	8. [2.グループホーム]グループホームは、日中活動を別に選択できるから	9. [2.グループホーム]地域の一員として暮らしたいから（地域移行）	10. [2.グループホーム]自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから	11. [2.グループホーム]少人数だから	12. [2.グループホーム]他に選択肢がないから	13. [2.グループホーム]その他	14. 無回答
全 体	288	680	74	109	110	121	17	33	11	52	29	72	34	4	4	10
	(100.0)	(236.1)	(25.7)	(37.8)	(38.2)	(42.0)	(5.9)	(11.5)	(3.8)	(18.1)	(10.1)	(25.0)	(11.8)	(1.4)	(1.4)	(3.5)
問 2	45	104	5	8	9	14	1	3	2	16	9	25	9	0	2	1
1. 18～29歳	(100.0)	(231.1)	(11.1)	(17.8)	(20.0)	(31.1)	(2.2)	(6.7)	(4.4)	(35.6)	(20.0)	(55.6)	(20.0)	(-)	(4.4)	(2.2)
2. 30～39歳	27	70	6	10	9	12	3	3	1	4	5	8	7	1	0	1
	(100.0)	(259.3)	(22.2)	(37.0)	(33.3)	(44.4)	(11.1)	(11.1)	(3.7)	(14.8)	(18.5)	(29.6)	(25.9)	(3.7)	(-)	(3.7)
3. 40～64歳	81	185	17	28	26	30	7	13	2	17	8	21	11	1	0	4
	(100.0)	(228.4)	(21.0)	(34.6)	(32.1)	(37.0)	(8.6)	(16.0)	(2.5)	(21.0)	(9.9)	(25.9)	(13.6)	(1.2)	(-)	(4.9)
4. 65～74歳	45	107	18	20	20	21	2	5	2	5	3	8	2	1	0	0
	(100.0)	(237.8)	(40.0)	(44.4)	(44.4)	(46.7)	(4.4)	(11.1)	(4.4)	(11.1)	(6.7)	(17.8)	(4.4)	(2.2)	(-)	(-)
5. 75～84歳	63	150	22	30	32	31	3	7	2	7	3	7	4	0	0	2
	(100.0)	(238.1)	(34.9)	(47.6)	(50.8)	(49.2)	(4.8)	(11.1)	(3.2)	(11.1)	(4.8)	(11.1)	(6.3)	(-)	(-)	(3.2)
6. 85歳以上	23	55	6	12	13	12	1	2	2	2	1	2	0	0	1	1
	(100.0)	(239.1)	(26.1)	(52.2)	(56.5)	(52.2)	(4.3)	(8.7)	(8.7)	(8.7)	(4.3)	(8.7)	(-)	(-)	(4.3)	(4.3)
7. 無回答	4	9	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1
	(100.0)	(225.0)	(-)	(25.0)	(25.0)	(25.0)	(-)	(-)	(-)	(25.0)	(-)	(25.0)	(25.0)	(25.0)	(25.0)	(25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は施設を選んだ理由として「身体介護（食事・トイレ・お風呂など）で困るから」、知的障害者はグループホームを選んだ理由として「グループホームは、日中活動を別に選択できるから」、「自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから」、精神障害者は「自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから」、「少人数だから」が全体に比べ多くなっています。

■施設・グループホームを選んだ理由（複数回答）（障害種別）

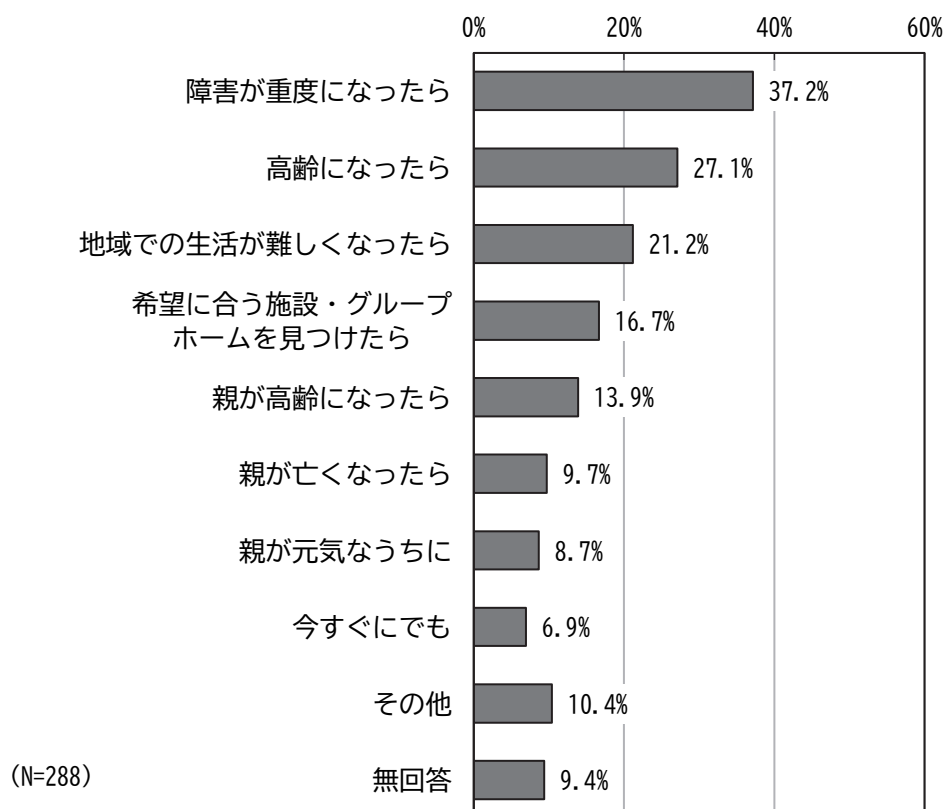
	回答者数	合 計	1. [1.施設]施設は日中活動を一体的に行っているから	2. [1.施設]家事（料理・掃除・洗濯など）ができないから	3. [1.施設]身体介護（食事・トイレ・お風呂など）で困るから	4. [1.施設]自分の力だけで生活する自信がないから	5. [1.施設]地域のサービスが不足しているから	6. [1.施設]地域で暮らすことが難しいから	7. [1.施設]その他	8. [2.グループホーム]グループホームは、日中活動を別に選択できるから	9. [2.グループホーム]地域の一員として暮らしたいから（地域移行）	10. [2.グループホーム]自立した生活を送るうえでの、必要最小限の支援を受けることができるから	11. [2.グループホーム]少人数だから	12. [2.グループホーム]他に選択肢がないから	13. [2.グループホーム]その他	14. 無回答
全 体	288	680	74	109	110	121	17	33	11	52	29	72	34	4	4	10
	(100.0)	(236.1)	(25.7)	(37.8)	(38.2)	(42.0)	(5.9)	(11.5)	(3.8)	(18.1)	(10.1)	(25.0)	(11.8)	(1.4)	(1.4)	(3.5)
問 3	158	383	54	75	81	77	12	21	4	16	9	21	6	0	1	6
1. 身体障害者	(100.0)	(242.4)	(34.2)	(47.5)	(51.3)	(48.7)	(7.6)	(13.3)	(2.5)	(10.1)	(5.7)	(13.3)	(3.8)	(-)	(0.6)	(3.8)
2. 知的障害者	59	162	13	23	21	24	5	11	1	20	8	22	10	1	1	2
	(100.0)	(274.6)	(22.0)	(39.0)	(35.6)	(40.7)	(8.5)	(18.6)	(1.7)	(33.9)	(13.6)	(37.3)	(16.9)	(1.7)	(1.7)	(3.4)
3. 精神障害者	71	155	10	13	9	21	4	7	5	18	14	31	17	2	2	2
	(100.0)	(218.3)	(14.1)	(18.3)	(12.7)	(29.6)	(5.6)	(9.9)	(7.0)	(25.4)	(19.7)	(43.7)	(23.9)	(2.8)	(2.8)	(2.8)
4. 上記の手帳や自立支援医療はない	7	15	2	2	5	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	(100.0)	(214.3)	(28.6)	(28.6)	(71.4)	(71.4)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(14.3)	(-)	(-)	(-)	(-)
5. 無回答	13	30	2	5	5	4	0	1	2	1	0	3	3	1	1	2
	(100.0)	(230.8)	(15.4)	(38.5)	(38.5)	(30.8)	(-)	(7.7)	(15.4)	(7.7)	(-)	(23.1)	(23.1)	(7.7)	(7.7)	(15.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑱施設・グループホームへ入る時期（問 23 - 2）

問 23 で「施設」「グループホーム」と回答した方に、施設・グループホームへ入る時期についてきいたところ、「障害が重度になったら」が 37.2%で最も多く、次いで「高齢になったら」が 27.1%、「地域での生活が難しくなったら」が 21.2%となっています。

■施設・グループホームへ入る時期（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「親が元気なうちに」、「親が高齢になったら」、「親が亡くなった」、「希望に合う施設・グループホームを見つけたら」、30～39歳は「親が高齢になったら」、75～84歳は「障害が重度になったら」、「高齢になったら」が全体に比べ多くなっています。

■施設・グループホームへ入る時期(複数回答)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 今すぐ でも	2. 障害が重 度になっ たら	3. 高齢に なったら	4. 地域での 生活が難 しくなっ たら	5. 親が元気 なうちに	6. 親が高齢 になっ たら	7. 親が亡く なったら	8. 希望に合 う施設・ グループ ホームを 見つけた ら	9. その他	10. 無回答
全 体		288 (100.0)	464 (161.1)	20 (6.9)	107 (37.2)	78 (27.1)	61 (21.2)	25 (8.7)	40 (13.9)	28 (9.7)	48 (16.7)	30 (10.4)	27 (9.4)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	45 (100.0)	84 (186.7)	3 (6.7)	10 (22.2)	8 (17.8)	7 (15.6)	9 (20.0)	15 (33.3)	11 (24.4)	14 (31.1)	6 (13.3)	1 (2.2)
	2. 30～39歳	27 (100.0)	45 (166.7)	4 (14.8)	7 (25.9)	4 (14.8)	6 (22.2)	3 (11.1)	9 (33.3)	4 (14.8)	5 (18.5)	1 (3.7)	2 (7.4)
	3. 40～64歳	81 (100.0)	149 (184.0)	5 (6.2)	33 (40.7)	24 (29.6)	25 (30.9)	13 (16.0)	14 (17.3)	12 (14.8)	11 (13.6)	7 (8.6)	5 (6.2)
	4. 65～74歳	45 (100.0)	59 (131.1)	4 (8.9)	16 (35.6)	12 (26.7)	7 (15.6)	0 (-)	2 (4.4)	1 (2.2)	7 (15.6)	5 (11.1)	5 (11.1)
	5. 75～84歳	63 (100.0)	95 (150.8)	3 (4.8)	31 (49.2)	25 (39.7)	13 (20.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (14.3)	5 (7.9)	9 (14.3)
	6. 85歳以上	23 (100.0)	28 (121.7)	1 (4.3)	9 (39.1)	4 (17.4)	3 (13.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (8.7)	5 (21.7)	4 (17.4)
	7. 無回答	4 (100.0)	4 (100.0)	0 (-)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (25.0)	1 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「障害が重度になったら」、知的障害者は「親が元気なうちに」、「親が高齢になったら」、「親が亡くなった」、「希望に合う施設・グループホームを見つけたら」、精神障害者は「地域での生活が難しくなったら」が全体に比べ多くなっています。

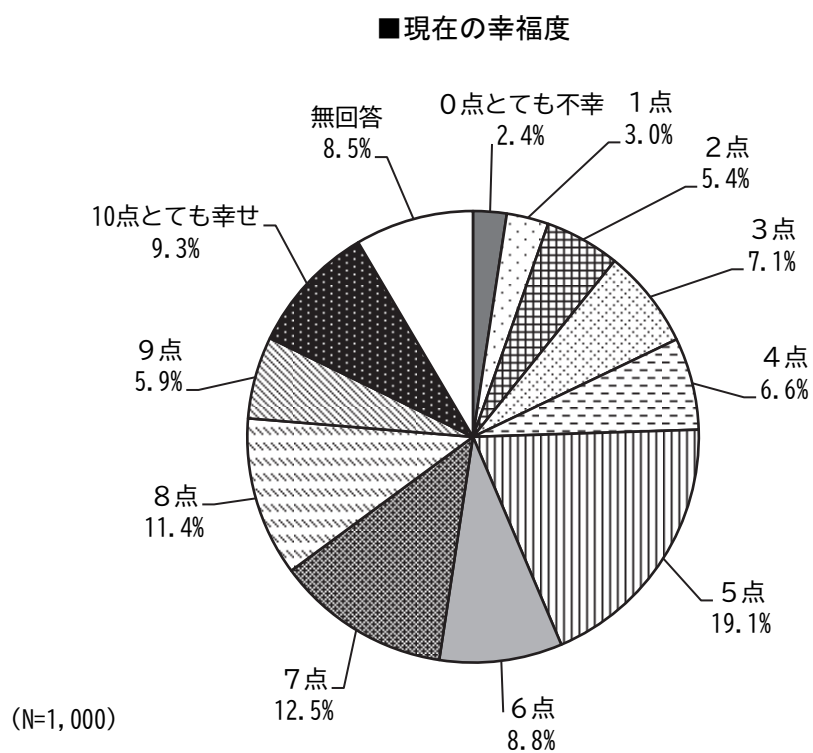
■施設・グループホームへ入る時期(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 今すぐ でも	2. 障害が重 度になっ たら	3. 高齢に なったら	4. 地域での 生活が難 しくなっ たら	5. 親が元気 なうちに	6. 親が高齢 になっ たら	7. 親が亡く なったら	8. 希望に合 う施設・ グループ ホームを 見つけた ら	9. その他	10. 無回答
全 体		288 (100.0)	464 (161.1)	20 (6.9)	107 (37.2)	78 (27.1)	61 (21.2)	25 (8.7)	40 (13.9)	28 (9.7)	48 (16.7)	30 (10.4)	27 (9.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	158 (100.0)	239 (151.3)	8 (5.1)	75 (47.5)	49 (31.0)	35 (22.2)	4 (2.5)	7 (4.4)	7 (4.4)	20 (12.7)	13 (8.2)	21 (13.3)
	2. 知的障害者	59 (100.0)	109 (184.7)	7 (11.9)	3 (5.1)	11 (18.6)	7 (11.9)	18 (30.5)	28 (47.5)	13 (22.0)	16 (27.1)	5 (8.5)	1 (1.7)
	3. 精神障害者	71 (100.0)	135 (190.1)	7 (9.9)	27 (38.0)	17 (23.9)	24 (33.8)	6 (8.5)	12 (16.9)	14 (19.7)	13 (18.3)	12 (16.9)	3 (4.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	7 (100.0)	8 (114.3)	0 (-)	3 (42.9)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (28.6)
	5. 無回答	13 (100.0)	17 (130.8)	1 (7.7)	3 (23.1)	4 (30.8)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	3 (23.1)	3 (23.1)	1 (7.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩現在の幸福度（問 24）

現在どの程度幸せかについては、「5点」が19.1%で最も多く、次いで「7点」が12.5%、「8点」が11.4%となっています。

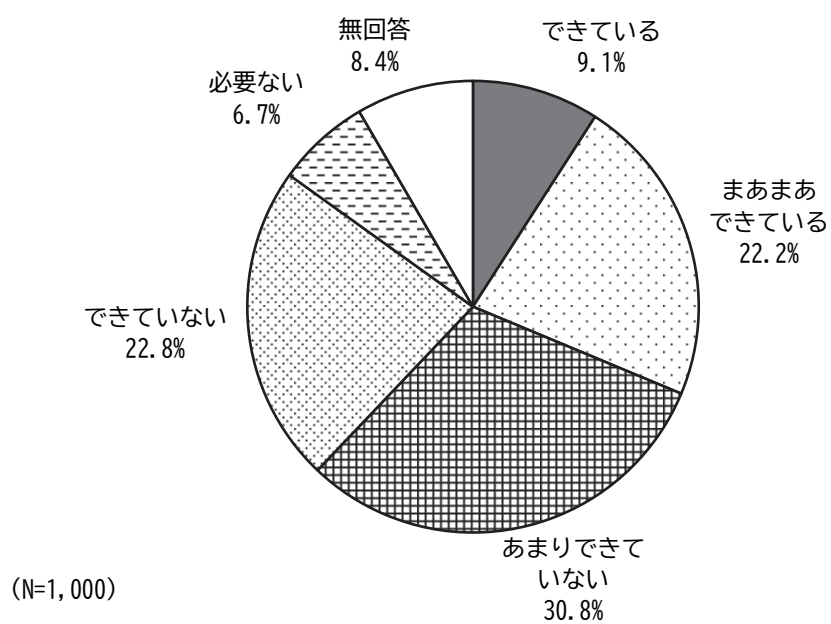


(3) 相談や情報などについて

①福祉サービス情報の伝達の程度 (問 25)

必要とする福祉サービスの情報を十分に入手できているかについては、「あまりできていない」が 30.8%で最も多く、次いで「できていない」が 22.8%、「まあまあできている」が 22.2%となっています。

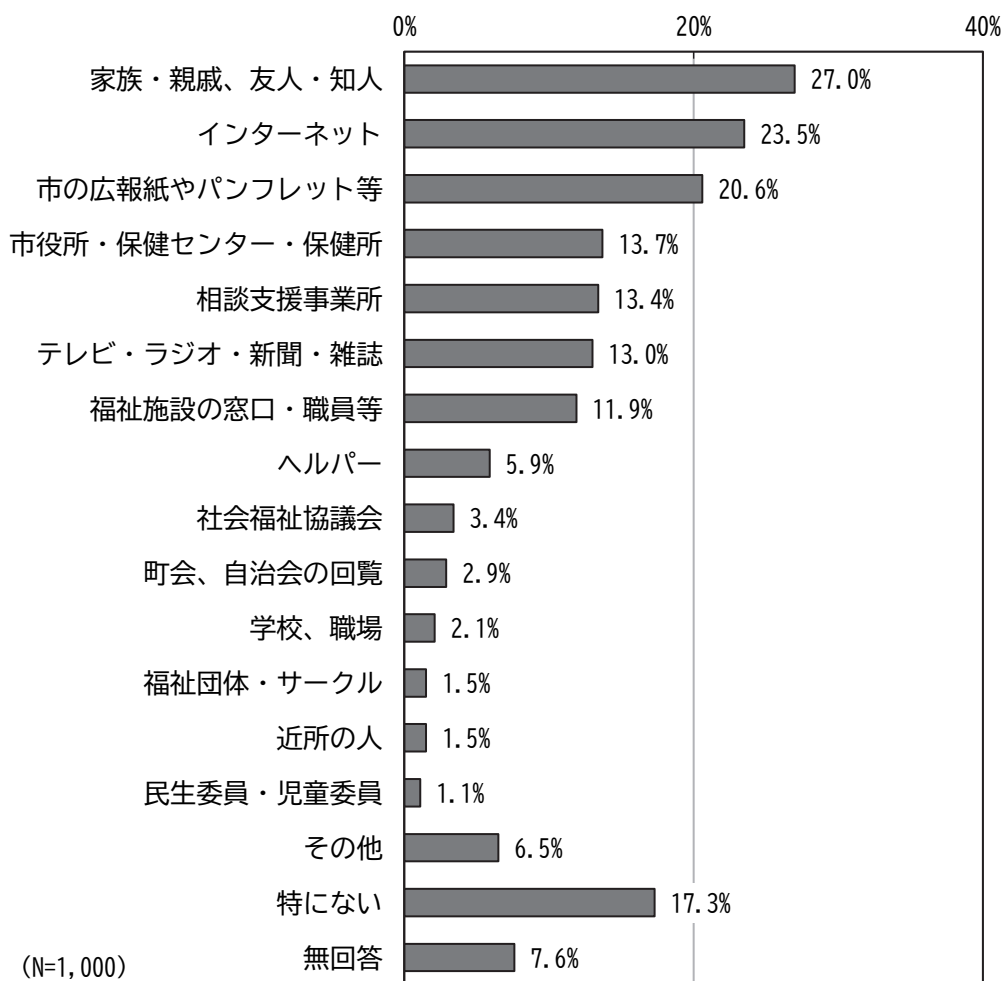
■福祉サービス情報の伝達の程度



②福祉サービスに関する情報の入手先（問 26）

福祉サービスに関する情報の入手先については、「家族・親戚、友人・知人」が 27.0%で最も多く、次いで「インターネット」が 23.5%、「市の広報紙やパンフレット等」が 20.6%となっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（3つまで）



年齢別にみると、18～29歳は「家族・親戚、友人・知人」、「相談支援事業所」、30～39歳は「インターネット」、「相談支援事業所」、40～64歳は「インターネット」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先(3つまで)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 家族・親 戚、友 人・知人	2. テレビ・ ラジオ・ 新聞・雑 誌	3. インター ネット	4. 市の広報 紙やパン フレット 等	5. 福祉施設 の窓口・ 職員等	6. 福祉団 体・サー クル	7. 社会福祉 協議会	8. 市役所・ 保健セン ター・保 健所
全 体	1,000 (100.0)	1,729 (172.9)	270 (27.0)	130 (13.0)	235 (23.5)	206 (20.6)	119 (11.9)	15 (1.5)	34 (3.4)	137 (13.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	225 (192.3)	44 (37.6)	9 (7.7)	36 (30.8)	17 (14.5)	19 (16.2)	3 (2.6)	23 (19.7)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	201 (205.1)	30 (30.6)	10 (10.2)	39 (39.8)	23 (23.5)	15 (15.3)	4 (4.1)	19 (19.4)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	596 (168.4)	77 (21.8)	34 (9.6)	119 (33.6)	73 (20.6)	43 (12.1)	4 (1.1)	52 (14.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	259 (170.4)	34 (22.4)	26 (17.1)	28 (18.4)	36 (23.7)	15 (9.9)	2 (1.3)	18 (11.8)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	325 (176.6)	57 (31.0)	39 (21.2)	10 (5.4)	45 (24.5)	20 (10.9)	2 (1.1)	22 (12.0)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	110 (132.5)	26 (31.3)	11 (13.3)	2 (2.4)	11 (13.3)	6 (7.2)	0 (-)	3 (3.6)
	7. 無回答	12 (100.0)	13 (108.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)

	9. 相談支援 事業所	10. 民生委 員・児童 委員	11. 学校、職 場	12. ヘルパー	13. 町会、自 治会の回 覧	14. 近所の人	15. その他	16. 特にな	17. 無回答
全 体	134 (13.4)	11 (1.1)	21 (2.1)	59 (5.9)	29 (2.9)	15 (1.5)	65 (6.5)	173 (17.3)	76 (7.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	31 (26.5)	0 (-)	6 (5.1)	6 (5.1)	0 (-)	0 (-)	6 (5.1)	15 (12.8)
	2. 30～39歳	24 (24.5)	0 (-)	6 (6.1)	3 (3.1)	1 (1.0)	0 (-)	5 (5.1)	15 (15.3)
	3. 40～64歳	33 (9.3)	2 (0.6)	8 (2.3)	15 (4.2)	7 (2.0)	2 (0.6)	29 (8.2)	65 (18.4)
	4. 65～74歳	16 (10.5)	0 (-)	0 (-)	8 (5.3)	9 (5.9)	3 (2.0)	12 (7.9)	31 (20.4)
	5. 75～84歳	18 (9.8)	5 (2.7)	1 (0.5)	20 (10.9)	10 (5.4)	9 (4.9)	7 (3.8)	29 (15.8)
	6. 85歳以上	11 (13.3)	4 (4.8)	0 (-)	6 (7.2)	2 (2.4)	1 (1.2)	6 (7.2)	14 (16.9)
	7. 無回答	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「家族・親戚、友人・知人」、「相談支援事業所」、精神障害者は「インターネット」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（3つまで）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 家族・親 戚、友 人・知人	2. テレビ・ ラジオ・ 新聞・雑 誌	3. インター ネット	4. 市の広報 紙やパン フレット 等	5. 福祉施設 の窓口・ 職員等	6. 福祉団 体・サー クル	7. 社会福祉 協議会	8. 市役所・ 保健セン ター・保 健所
全 体	1,000 (100.0)	1,729 (172.9)	270 (27.0)	130 (13.0)	235 (23.5)	206 (20.6)	119 (11.9)	15 (1.5)	34 (3.4)	137 (13.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	923 (171.9)	146 (27.2)	87 (16.2)	93 (17.3)	124 (23.1)	59 (11.0)	6 (1.1)	18 (3.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	232 (200.0)	50 (43.1)	8 (6.9)	16 (13.8)	23 (19.8)	25 (21.6)	4 (3.4)	8 (6.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	552 (175.2)	75 (23.8)	29 (9.2)	115 (36.5)	60 (19.0)	37 (11.7)	4 (1.3)	8 (2.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	47 (156.7)	5 (16.7)	2 (6.7)	15 (50.0)	8 (26.7)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	72 (163.6)	13 (29.5)	5 (11.4)	4 (9.1)	3 (6.8)	3 (9.1)	1 (2.3)	3 (6.8)

	9. 相談支援 事業所	10. 民生委 員・児童 委員	11. 学校、職 場	12. ヘルパー	13. 町会、自 治会の回 覧	14. 近所の人	15. その他	16. 特にない	17. 無回答
全 体	134 (13.4)	11 (1.1)	21 (2.1)	59 (5.9)	29 (2.9)	15 (1.5)	65 (6.5)	173 (17.3)	76 (7.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	61 (11.4)	8 (1.5)	5 (0.9)	41 (7.6)	26 (4.8)	14 (2.6)	32 (6.0)	92 (17.1)
	2. 知的障害者	37 (31.9)	0 (-)	6 (5.2)	8 (6.9)	2 (1.7)	0 (-)	4 (3.4)	14 (12.1)
	3. 精神障害者	44 (14.0)	1 (0.3)	8 (2.5)	9 (2.9)	2 (0.6)	0 (-)	28 (8.9)	59 (18.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	3 (10.0)	0 (-)	2 (6.7)	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (20.0)	6 (-)
	5. 無回答	7 (15.9)	2 (4.5)	0 (-)	9 (20.5)	1 (2.3)	1 (2.3)	4 (9.1)	4 (18.2)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「インターネット」、「相談支援事業所」が増加し、「家族・親戚、友人・知人」が減少しています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（3つまで）（経年変化）

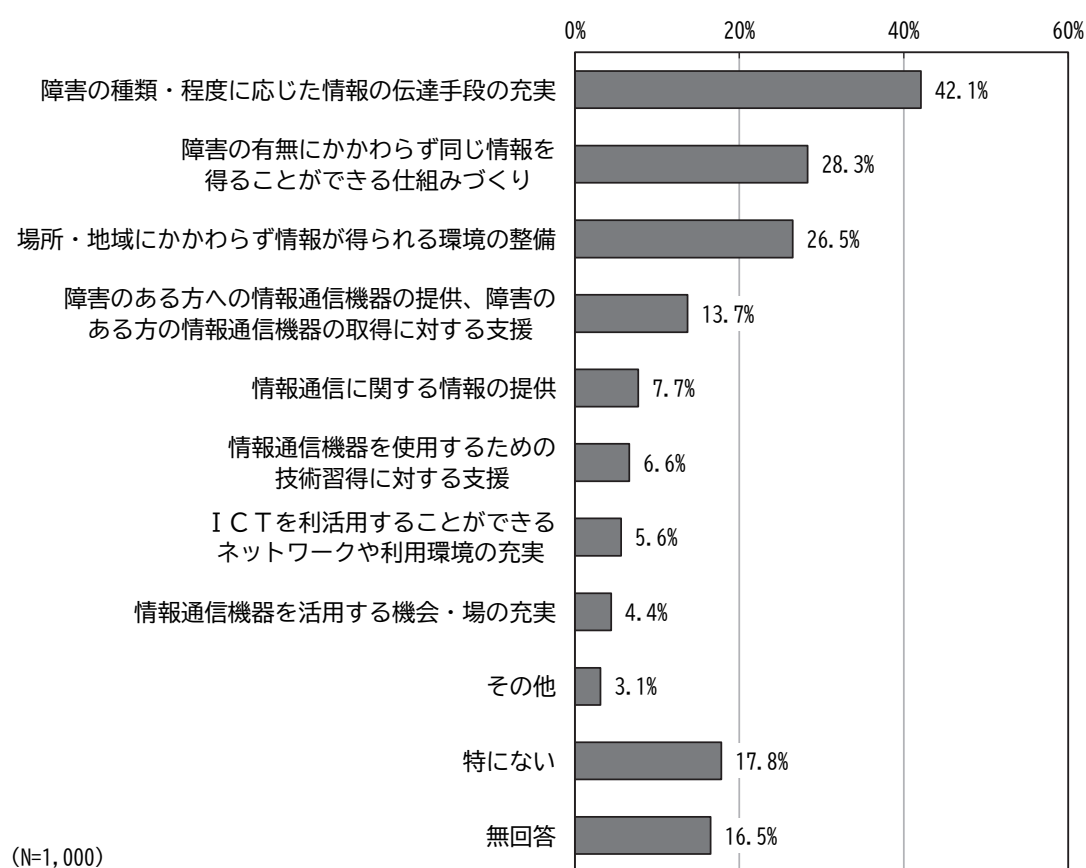
	回答者数	合 計	1. 家族・親 戚、友 人・知人	2. テレビ・ ラジオ・ 新聞・雑 誌	3. インター ネット	4. 市の広報 紙やパン フレット 等	5. 福祉施設 の窓口・ 職員等	6. 福祉団 体・サー クル	7. 社会福祉 協議会	8. 市役所・ 保健セン ター・保 健所
令和5年度	1,000 (100.0)	1,729 (172.9)	270 (27.0)	130 (13.0)	235 (23.5)	206 (20.6)	119 (11.9)	15 (1.5)	34 (3.4)	137 (13.7)
令和2年度	1,066 (100.0)	1,833 (172.0)	329 (30.9)	163 (15.3)	220 (20.6)	244 (22.9)	134 (12.6)	23 (2.2)	42 (3.9)	142 (13.3)

	9. 相談支援 事業所	10. 民生委 員・児童 委員	11. 学校、職 場	12. ヘルパー	13. 町会、自 治会の回 覧	14. 近所の人	15. その他	16. 特にない	17. 無回答
令和5年度	134 (13.4)	11 (1.1)	21 (2.1)	59 (5.9)	29 (2.9)	15 (1.5)	65 (6.5)	173 (17.3)	76 (7.6)
令和2年度	105 (9.8)	17 (1.6)	19 (1.8)	46 (4.3)	27 (2.5)	17 (1.6)	49 (4.6)	186 (17.4)	70 (6.6)

③情報の取得利用や意思疎通において必要な施策（問 27）

情報の取得利用や意思疎通において必要な施策について、「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」が42.1%で最も多く、次いで「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」が28.3%、「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」が26.5%となっています。

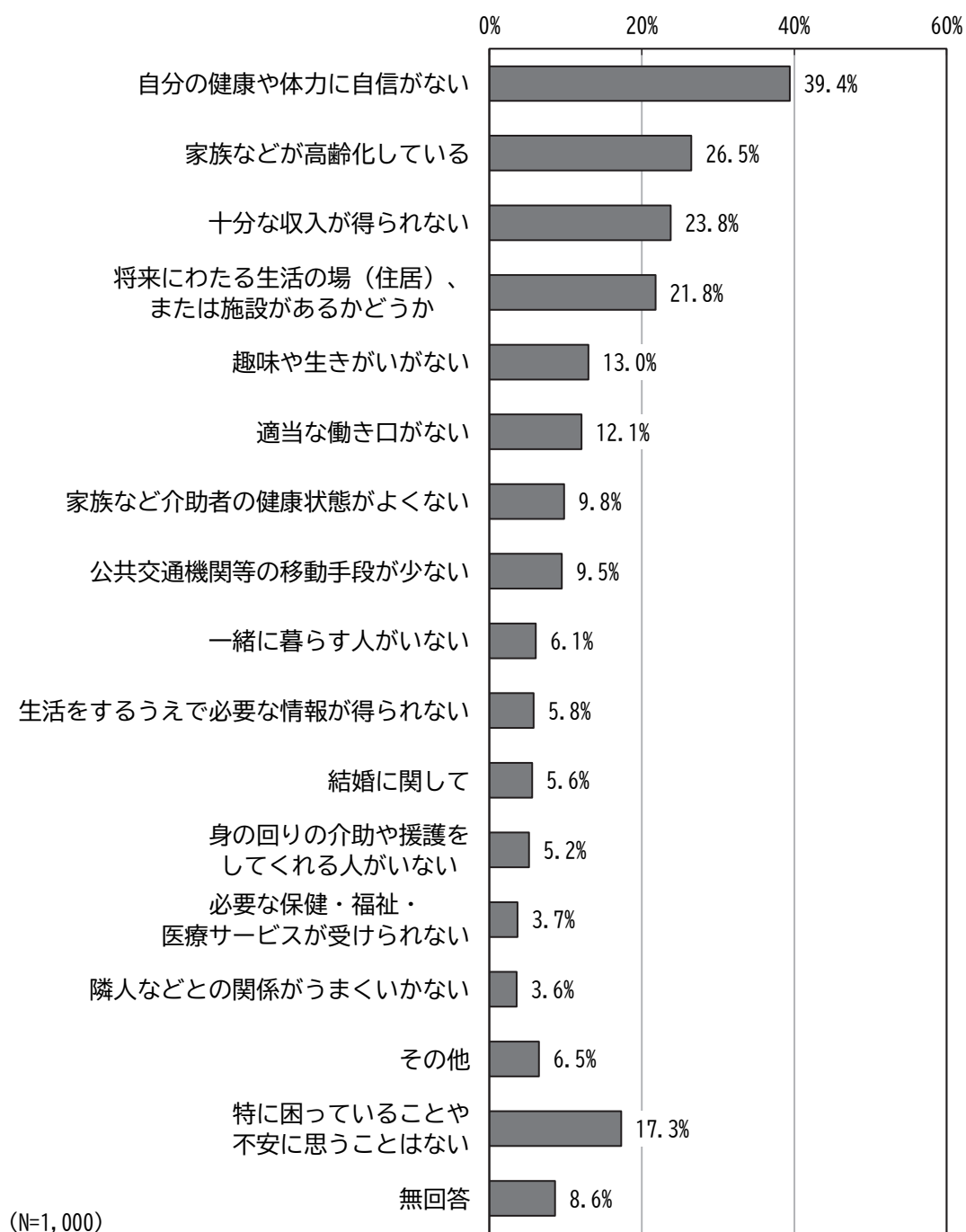
■情報の取得利用や意思疎通において必要な施策



④現在の生活で困っていることや不安に思っていること（問 28）

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、「自分の健康や体力に自信がない」が 39.4%で最も多く、次いで「家族などが高齢化している」が 26.5%、「十分な収入が得られない」が 23.8%となっています。

■現在の生活で困っていることや不安に思っていること（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、30～39歳は「家族などが高齢化している」、「結婚に関して」、「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、40～64歳は「十分な収入が得られない」が全体に比べて多くなっています。

■現在の生活で困っていることや不安に思っていること(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 身の回りの 介助や 援護をして くれる 人がいない	2. 一緒に暮 らす人が いない	3. 公共交通 機関等の 移動手段 が少ない	4. 適当な働 き口がな い	5. 十分な収 入が得ら れない	6. 趣味や生 きがい がない	7. 生活をする うえで 必要な情 報が得ら れない	8. 自分の健 康や体力 に自信が ない
全 体	1,000 (100.0)	2,183 (218.3)	52 (5.2)	61 (6.1)	95 (9.5)	121 (12.1)	238 (23.8)	130 (13.0)	58 (5.8)	394 (39.4)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	1 (0.9)	4 (3.4)	6 (5.1)	21 (17.9)	39 (33.3)	22 (18.8)	3 (2.6)	34 (29.1)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	2 (2.0)	5 (5.1)	8 (8.2)	17 (17.3)	29 (29.6)	13 (13.3)	8 (8.2)	38 (38.8)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	26 (7.3)	32 (9.0)	35 (9.9)	65 (18.4)	121 (34.2)	61 (17.2)	26 (7.3)	163 (46.0)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	6 (3.9)	6 (3.9)	12 (7.9)	10 (6.6)	23 (15.1)	15 (9.9)	7 (4.6)	49 (32.2)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	10 (5.4)	11 (6.0)	24 (13.0)	7 (3.8)	15 (8.2)	11 (6.0)	9 (4.9)	71 (38.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	6 (7.2)	2 (2.4)	8 (9.6)	0 (-)	8 (9.6)	6 (7.2)	3 (3.6)	35 (42.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	4 (33.3)

	9. 家族など 介助者の 健康状態 がよくな い	10. 家族など が高齢化 している	11. 隣人など との関係 がうまく いかない	12. 必要な保 健・福 祉・医療 サービス が受けら れない	13. 結婚に関 して	14. 将来にわ たる生活 の場(住 居)、ま たは施設 があるか どうか	15. その他	16. 特に困っ ているこ とや不安 に思うこ とはない	17. 無回答
全 体	98 (9.8)	265 (26.5)	36 (3.6)	37 (3.7)	56 (5.6)	218 (21.8)	65 (6.5)	173 (17.3)	86 (8.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	9 (7.7)	21 (17.9)	4 (3.4)	4 (3.4)	17 (14.5)	47 (40.2)	11 (9.4)	5 (4.3)
	2. 30～39歳	11 (11.2)	41 (41.8)	5 (5.1)	4 (4.1)	16 (16.3)	35 (35.7)	9 (9.2)	4 (4.1)
	3. 40～64歳	35 (9.9)	101 (28.5)	21 (5.9)	17 (4.8)	19 (5.4)	87 (24.6)	34 (9.6)	25 (7.1)
	4. 65～74歳	10 (6.6)	30 (19.7)	3 (2.0)	6 (3.9)	1 (0.7)	20 (13.2)	5 (3.3)	19 (12.5)
	5. 75～84歳	21 (11.4)	48 (26.1)	3 (1.6)	3 (1.6)	2 (1.1)	19 (10.3)	2 (1.1)	23 (12.5)
	6. 85歳以上	10 (12.0)	20 (24.1)	0 (-)	3 (3.6)	0 (-)	8 (9.6)	3 (3.6)	8 (9.6)
	7. 無回答	2 (16.7)	4 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	2 (16.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「家族などが高齢化している」、「将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか」、精神障害者は「適当な働き口がない」、「十分な収入が得られない」が全体に比べ多くなっています。

■現在の生活で困っていることや不安に思っていること(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 身の回りの 介助や援護を してくれる 人がいない	2. 一緒に暮 らす人が いない	3. 公共交通 機関等の 移動手段 が少ない	4. 適当な働 き口がな い	5. 十分な収 入が得ら れない	6. 趣味や生 きがい がない	7. 生活をす るうえで 必要な情 報が得ら れない	8. 自分の健 康や体力 に自信が ない
全 体		1,000 (100.0)	2,183 (218.3)	52 (5.2)	61 (6.1)	95 (9.5)	121 (12.1)	238 (23.8)	130 (13.0)	58 (5.8)	394 (39.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	1,032 (192.2)	30 (5.6)	31 (5.8)	66 (12.3)	34 (6.3)	87 (16.2)	41 (7.6)	33 (6.1)	214 (39.9)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	249 (214.7)	1 (0.9)	4 (3.4)	9 (7.8)	10 (8.6)	24 (20.7)	14 (12.1)	6 (5.2)	20 (17.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	872 (276.8)	18 (5.7)	26 (8.3)	15 (4.8)	72 (22.9)	117 (37.1)	69 (21.9)	23 (7.3)	153 (48.6)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	61 (203.3)	2 (6.7)	1 (3.3)	3 (10.0)	6 (20.0)	11 (36.7)	2 (6.7)	1 (3.3)	10 (33.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	90 (204.5)	2 (4.5)	2 (4.5)	6 (13.6)	4 (9.1)	8 (18.2)	10 (22.7)	3 (6.8)	13 (29.5)

		9. 家族など 介助者の 健康状態 がよくない	10. 家族など が高齢化 している	11. 隣人など との関係 がうまく いかない	12. 必要な保 健・福祉・医療 サービスが 受けられない	13. 結婚に関 して	14. 将来にわた る生活の場 (住居)、ま たは施設 があるか どうか	15. その他	16. 特に困っ ているこ とや不安 に思っ たこと はない	17. 無回答
全 体		98 (9.8)	265 (26.5)	36 (3.6)	37 (3.7)	56 (5.6)	218 (21.8)	65 (6.5)	173 (17.3)	86 (8.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	54 (10.1)	130 (24.2)	8 (1.5)	24 (4.5)	9 (1.7)	87 (16.2)	21 (3.9)	109 (20.3)	54 (10.1)
	2. 知的障害者	18 (15.5)	45 (38.8)	6 (5.2)	6 (5.2)	6 (5.2)	42 (36.2)	8 (6.9)	22 (19.0)	8 (6.9)
	3. 精神障害者	28 (8.9)	90 (28.6)	26 (8.3)	13 (4.1)	42 (13.3)	97 (30.8)	34 (10.8)	31 (9.8)	18 (5.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	3 (10.0)	5 (16.7)	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)	6 (20.0)	3 (10.0)	7 (23.3)	0 (-)
	5. 無回答	7 (15.9)	12 (27.3)	0 (-)	1 (2.3)	1 (2.3)	5 (11.4)	2 (4.5)	7 (15.9)	7 (15.9)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「適当な働き口がない」、「十分な収入が得られない」が増加し、「特に困っていることや不安に思うことはない」が減少しています。

■現在の生活で困っていることや不安に思っていること（複数回答）（経年変化）

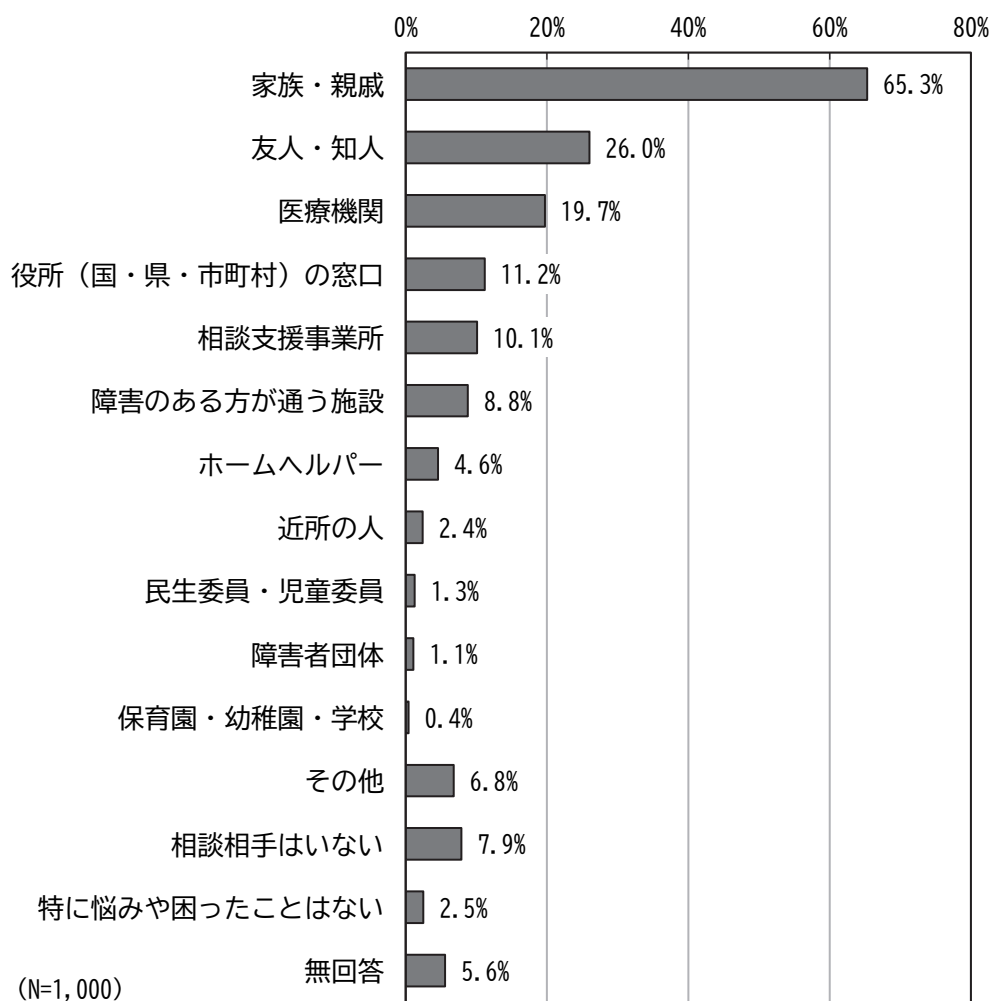
	回答者数	合 計	1. 身の回りの 介助や 援護をし てくれる 人がいな い	2. 一緒に暮 らす人が いない	3. 公共交通 機関等の 移動手段 が少ない	4. 適当な働 き口がな い	5. 十分な収 入が得ら れない	6. 趣味や生 きがい がない	7. 生活をす るうえで 必要な情 報が得ら れない	8. 自分の健 康や体力 に自信が ない
令和5年度	1,000 (100.0)	2,183 (218.3)	52 (5.2)	61 (6.1)	95 (9.5)	121 (12.1)	238 (23.8)	130 (13.0)	58 (5.8)	394 (39.4)
令和2年度	1,066 (100.0)	2,189 (205.3)	59 (5.5)	46 (4.3)	91 (8.5)	93 (8.7)	222 (20.8)	141 (13.2)	54 (5.1)	405 (38.0)

	9. 家族など 介助者の 健康状態 がよくな い	10. 家族など が高齢化 している	11. 隣人など との関係 がうまく いかない	12. 必要な保 健・福 祉・医療 サービス が受けら れない	13. 結婚に関 して	14. 将来にわた る生活の場 （住居）、ま たは施設 があるか どうか	15. その他	16. 特に困っ ているこ とや不安 に思うこ とはない	17. 無回答
令和5年度	98 (9.8)	265 (26.5)	36 (3.6)	37 (3.7)	56 (5.6)	218 (21.8)	65 (6.5)	173 (17.3)	86 (8.6)
令和2年度	86 (8.1)	264 (24.8)	37 (3.5)	38 (3.6)	55 (5.2)	208 (19.5)	58 (5.4)	240 (22.5)	92 (8.6)

⑤悩みや困ったことの相談先（問 29）

悩みや困ったことの相談先については、「家族・親戚」が65.3%で最も多く、次いで「友人・知人」が26.0%、「医療機関」が19.7%となっています。

■悩みや困ったことの相談先（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「相談支援事業所」、「障害のある方が通う施設」、30～39歳は「医療機関」が全体に比べ多くなっています。

■悩みや困ったことの相談先(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 家族・親 戚	2. 友人・知 人	3. 近所の人	4. 保育園・ 幼稚園・ 学校	5. 役所 (国・ 県・市町 村)の窓 口	6. 相談支援 事業所	7. ホームヘ ルパー
全 体	1,000 (100.0)	1,737 (173.7)	653 (65.3)	260 (26.0)	24 (2.4)	4 (0.4)	112 (11.2)	101 (10.1)	46 (4.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	237 (202.6)	81 (69.2)	38 (32.5)	2 (1.7)	2 (1.7)	13 (11.1)	24 (20.5)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	197 (201.0)	66 (67.3)	27 (27.6)	0 (-)	1 (1.0)	12 (12.2)	16 (16.3)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	632 (178.5)	213 (60.2)	113 (31.9)	7 (2.0)	1 (0.3)	46 (13.0)	33 (9.3)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	231 (152.0)	96 (63.2)	41 (27.0)	4 (2.6)	0 (-)	15 (9.9)	6 (3.9)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	292 (158.7)	131 (71.2)	30 (16.3)	8 (4.3)	0 (-)	24 (13.0)	13 (7.1)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	128 (154.2)	59 (71.1)	9 (10.8)	3 (3.6)	0 (-)	1 (1.2)	8 (9.6)
	7. 無回答	12 (100.0)	20 (166.7)	7 (58.3)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)

	8. 障害の ある方 が通 う施設	9. 医療機 関	10. 民生 委員 ・児童 委員	11. 障害 者団 体	12. その他	13. 相談 相手 はい ない	14. 特に 悩み や困 った こと はな い	15. 無回 答
全 体	88 (8.8)	197 (19.7)	13 (1.3)	11 (1.1)	68 (6.8)	79 (7.9)	25 (2.5)	56 (5.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	22 (18.8)	22 (18.8)	0 (-)	1 (0.9)	15 (12.8)	8 (6.8)	2 (1.7)
	2. 30～39歳	15 (15.3)	34 (34.7)	0 (-)	3 (3.1)	4 (4.1)	9 (9.2)	0 (-)
	3. 40～64歳	36 (10.2)	74 (20.9)	2 (0.6)	5 (1.4)	28 (7.9)	37 (10.5)	7 (2.0)
	4. 65～74歳	5 (3.3)	22 (14.5)	0 (-)	1 (0.7)	5 (3.3)	11 (7.2)	8 (5.3)
	5. 75～84歳	6 (3.3)	30 (16.3)	6 (3.3)	0 (-)	5 (2.7)	8 (4.3)	5 (2.7)
	6. 85歳以上	3 (3.6)	11 (13.3)	5 (6.0)	1 (1.2)	9 (10.8)	5 (6.0)	3 (3.6)
	7. 無回答	1 (8.3)	4 (33.3)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)	1 (8.3)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「相談支援事業所」、「障害のある方が通う施設」、精神障害者は「医療機関」が全体に比べ多くなっています。

■悩みや困ったことの相談先(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 家族・親 戚	2. 友人・知 人	3. 近所の人	4. 保育園・ 幼稚園・ 学校	5. 役所 (国・ 県・市町 村)の窓 口	6. 相談支援 事業所	7. ホームヘ ルパー
全 体		1,000 (100.0)	1,737 (173.7)	653 (65.3)	260 (26.0)	24 (2.4)	4 (0.4)	112 (11.2)	101 (10.1)	46 (4.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	874 (162.8)	373 (69.5)	130 (24.2)	17 (3.2)	0 (-)	54 (10.1)	41 (7.6)	28 (5.2)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	225 (194.0)	85 (73.3)	18 (15.5)	3 (2.6)	0 (-)	16 (13.8)	34 (29.3)	4 (3.4)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	599 (190.2)	179 (56.8)	99 (31.4)	3 (1.0)	4 (1.3)	41 (13.0)	33 (10.5)	10 (3.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	48 (160.0)	20 (66.7)	10 (33.3)	0 (-)	0 (-)	2 (6.7)	2 (6.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	74 (168.2)	29 (65.9)	9 (20.5)	1 (2.3)	0 (-)	4 (9.1)	3 (6.8)	6 (13.6)

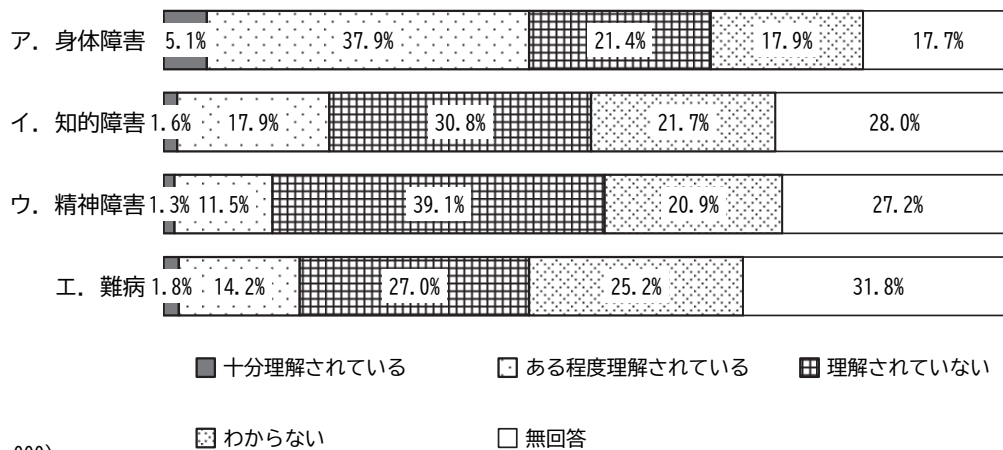
		8. 障害のあ る方が通 う施設	9. 医療機関	10. 民生委 員・児童 委員	11. 障害者団 体	12. その他	13. 相談相手 はいない	14. 特に悩み や困った ことはな い	15. 無回答
全 体		88 (8.8)	197 (19.7)	13 (1.3)	11 (1.1)	68 (6.8)	79 (7.9)	25 (2.5)	56 (5.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	25 (4.7)	83 (15.5)	10 (1.9)	3 (0.6)	28 (5.2)	32 (6.0)	18 (3.4)	32 (6.0)
	2. 知的障害者	31 (26.7)	7 (6.0)	0 (-)	3 (2.6)	10 (8.6)	6 (5.2)	1 (0.9)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	36 (11.4)	103 (32.7)	2 (0.6)	6 (1.9)	28 (8.9)	39 (12.4)	2 (0.6)	14 (4.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	2 (6.7)	4 (13.3)	0 (-)	0 (-)	3 (10.0)	3 (10.0)	1 (3.3)	0 (-)
	5. 無回答	4 (9.1)	6 (13.6)	1 (2.3)	0 (-)	3 (6.8)	0 (-)	3 (6.8)	5 (11.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥市民の障害者への理解度（問 30）

市民の障害者への理解度については、身体障害は「ある程度理解されている」、知的障害、精神障害、難病は「理解されていない」が最も多くなっています。

■市民の障害者への理解度



知的障害について年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳は「理解されていない」が全体に比べ多くなっています。

■市民の障害者への理解度（知的障害）（年齢別）

	合 計	1. 十分理解されている	2. ある程度理解されている	3. 理解されていない	4. わからない	5. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	16 (1.6)	179 (17.9)	308 (30.8)	217 (21.7)	280 (28.0)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	4 (3.4)	32 (27.4)	57 (48.7)	13 (11.1)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	3 (3.1)	14 (14.3)	45 (45.9)	25 (25.5)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	6 (1.7)	73 (20.6)	134 (37.9)	74 (20.9)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	1 (0.7)	19 (12.5)	37 (24.3)	46 (30.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	1 (0.5)	29 (15.8)	17 (9.2)	38 (20.7)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	1 (1.2)	12 (14.5)	14 (16.9)	21 (25.3)
	7. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	0 (-)	4 (33.3)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

精神障害（発達障害・高次脳機能障害含む）について年齢別にみると、18～29歳、30～39歳、40～64歳は「理解されていない」が全体に比べ多くなっています。

■市民の障害者への理解度（精神障害（発達障害・高次脳機能障害含む））（年齢別）

		合 計	1. 十分理解 されている	2. ある程度 理解されて いる	3. 理解され ていない	4. わからな い	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	13 (1.3)	115 (11.5)	391 (39.1)	209 (20.9)	272 (27.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	1 (0.9)	16 (13.7)	75 (64.1)	17 (14.5)	8 (6.8)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	0 (-)	9 (9.2)	53 (54.1)	19 (19.4)	17 (17.3)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	7 (2.0)	45 (12.7)	179 (50.6)	64 (18.1)	59 (16.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	1 (0.7)	15 (9.9)	42 (27.6)	46 (30.3)	48 (31.6)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	1 (0.5)	20 (10.9)	24 (13.0)	40 (21.7)	99 (53.8)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	3 (3.6)	9 (10.8)	13 (15.7)	23 (27.7)	35 (42.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	1 (8.3)	5 (41.7)	0 (-)	6 (50.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

知的障害について障害種別にみると、知的障害者は「理解されていない」が全体に比べ多くなっています。

■市民の障害者への理解度（知的障害）（障害種別）

		合 計	1. 十分理解 されている	2. ある程度 理解されて いる	3. 理解され ていない	4. わからな い	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	16 (1.6)	179 (17.9)	308 (30.8)	217 (21.7)	280 (28.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	4 (0.7)	89 (16.6)	124 (23.1)	124 (23.1)	196 (36.5)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	1 (0.9)	25 (21.6)	63 (54.3)	20 (17.2)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	11 (3.5)	59 (18.7)	115 (36.5)	69 (21.9)	61 (19.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	9 (30.0)	15 (50.0)	5 (16.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	1 (2.3)	6 (13.6)	13 (29.5)	6 (13.6)	18 (40.9)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

精神障害（発達障害・高次脳機能障害含む）について障害種別にみると、精神障害者は「理解されていない」が全体に比べ多くなっています。

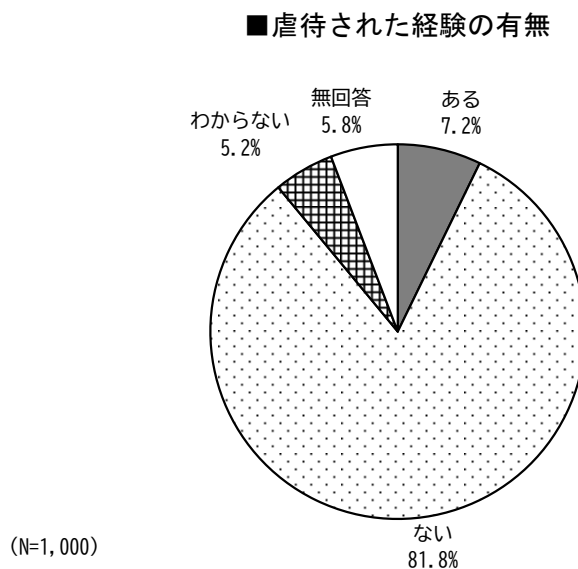
■市民の障害者への理解度（精神障害（発達障害・高次脳機能障害含む））（障害種別）

		合 計	1. 十分理解 されてい る	2. ある程度 理解され ている	3. 理解され ていない	4. わからな い	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	13 (1.3)	115 (11.5)	391 (39.1)	209 (20.9)	272 (27.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	9 (1.7)	59 (11.0)	141 (26.3)	135 (25.1)	193 (35.9)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	0 (-)	12 (10.3)	46 (39.7)	18 (15.5)	40 (34.5)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	6 (1.9)	43 (13.7)	193 (61.3)	52 (16.5)	21 (6.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	4 (13.3)	19 (63.3)	6 (20.0)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	1 (2.3)	5 (11.4)	11 (25.0)	6 (13.6)	21 (47.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

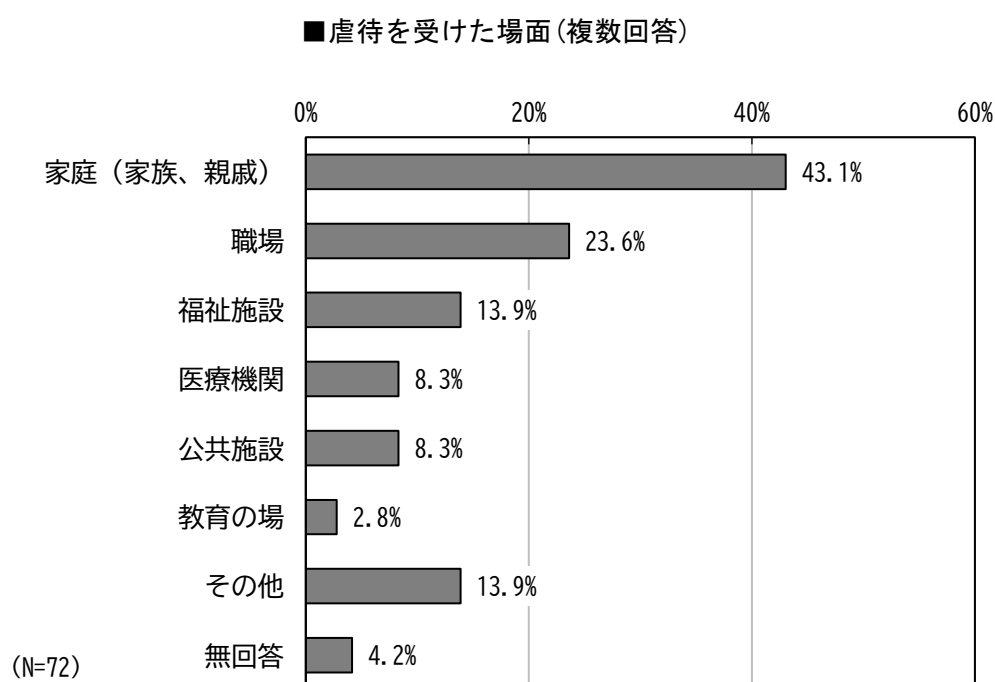
⑦虐待された経験の有無（問 31）

虐待された経験の有無については、「ない」が 81.8%、「ある」が 7.2%となっています。



⑧虐待を受けた場面（問 31 - 1）

問 31 で「ある」と回答した方に、具体的にどのような場面で虐待を受けたかきいたところ、「家庭(家族、親戚)」が 43.1%で最も多く、次いで「職場」が 23.6%、「福祉施設」が 13.9%となっています。



性別にみると、女性は「家庭(家族、親戚)」が全体に比べ多くなっています。

■虐待を受けた場面(複数回答)(性別)

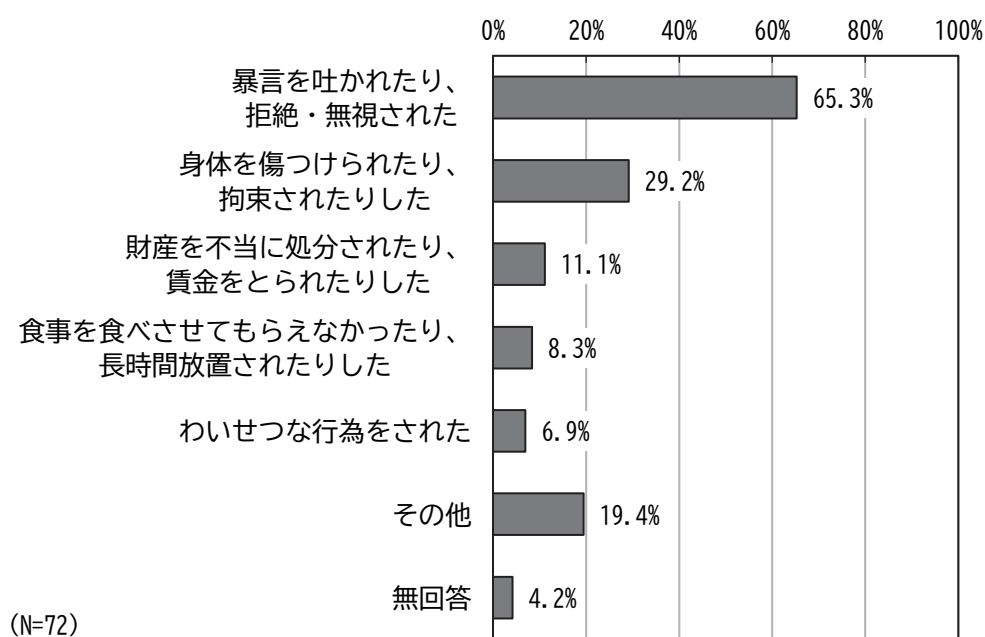
		回答者数	合 計	1. 教育の場	2. 福祉施設	3. 医療機関	4. 公共施設	5. 職場	6. 家庭(家族、親戚)	7. その他	8. 無回答
全 体		72 (100.0)	85 (118.1)	2 (2.8)	10 (13.9)	6 (8.3)	6 (8.3)	17 (23.6)	31 (43.1)	10 (13.9)	3 (4.2)
問 1 性 別	1. 男性	28 (100.0)	34 (121.4)	1 (3.6)	5 (17.9)	3 (10.7)	3 (10.7)	8 (28.6)	6 (21.4)	6 (21.4)	2 (7.1)
	2. 女性	44 (100.0)	51 (115.9)	1 (2.3)	5 (11.4)	3 (6.8)	3 (6.8)	9 (20.5)	25 (56.8)	4 (9.1)	1 (2.3)
	3. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑨虐待の内容(問31-2)

問31で「ある」と回答した方に、具体的にどのような虐待を受けたかきいたところ、「暴言を吐かれたり、拒絶・無視された」が65.3%で最も多く、次いで「身体を傷つけられたり、拘束されたりした」が29.2%、「財産を不当に処分されたり、賃金をとられたりした」が11.1%となっています。

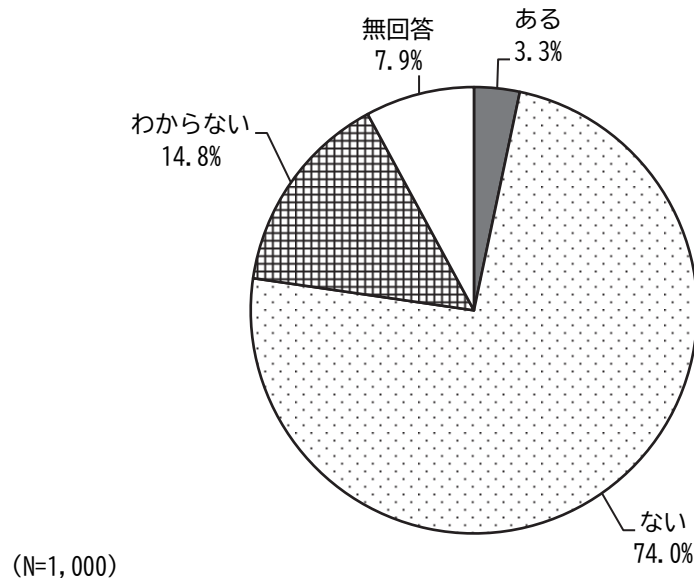
■虐待の内容(複数回答)



⑩虐待現場の目撃経験の有無（問 32）

虐待現場の目撃経験の有無については、「ある」が 3.3%、「ない」が 74.0%、「わからない」が 14.8%となっています。

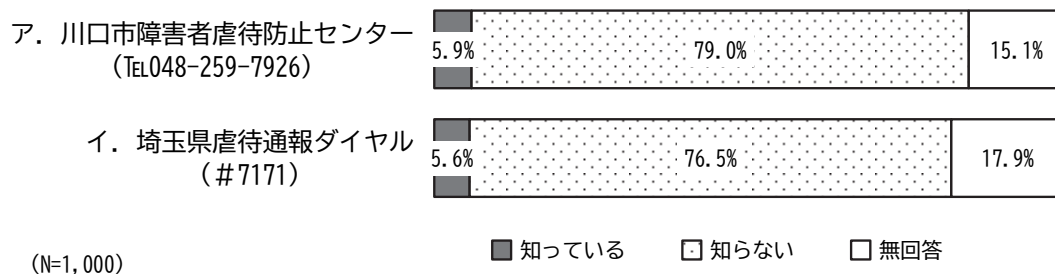
■虐待現場の目撃経験の有無



⑪虐待相談窓口の認知度（問 33）

虐待相談窓口の認知度について、川口市障害者虐待防止センターを「知っている」が 5.9%、「知らない」が 79.0%、埼玉県虐待通報ダイヤルを「知っている」が 5.6%、「知らない」が 76.5%となっています。

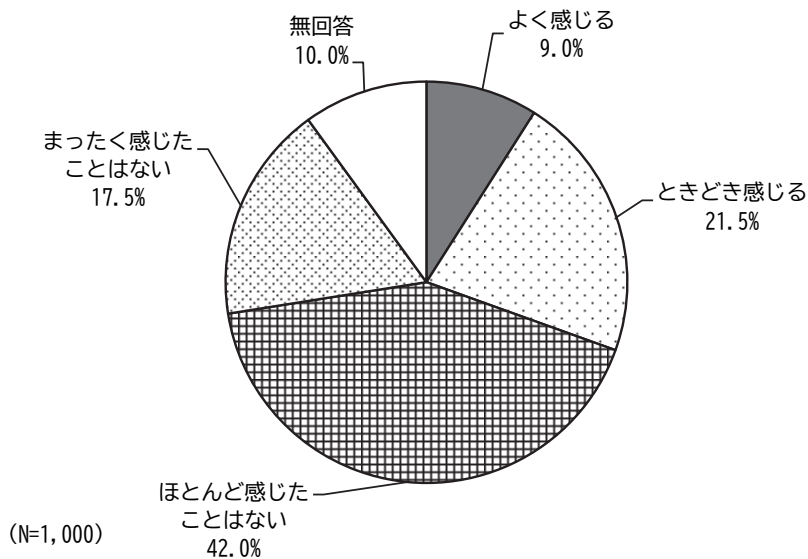
■虐待相談窓口の認知度



⑫日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（問 34）

日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無については、「ほとんど感じたことはない」が42.0%で最も多く、次いで「ときどき感じる」が21.5%、「まったく感じたことはない」が17.5%となっています。

■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無



年齢別にみると、30～39歳は「ときどき感じる」が全体に比べ多くなっています。

■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（年齢別）

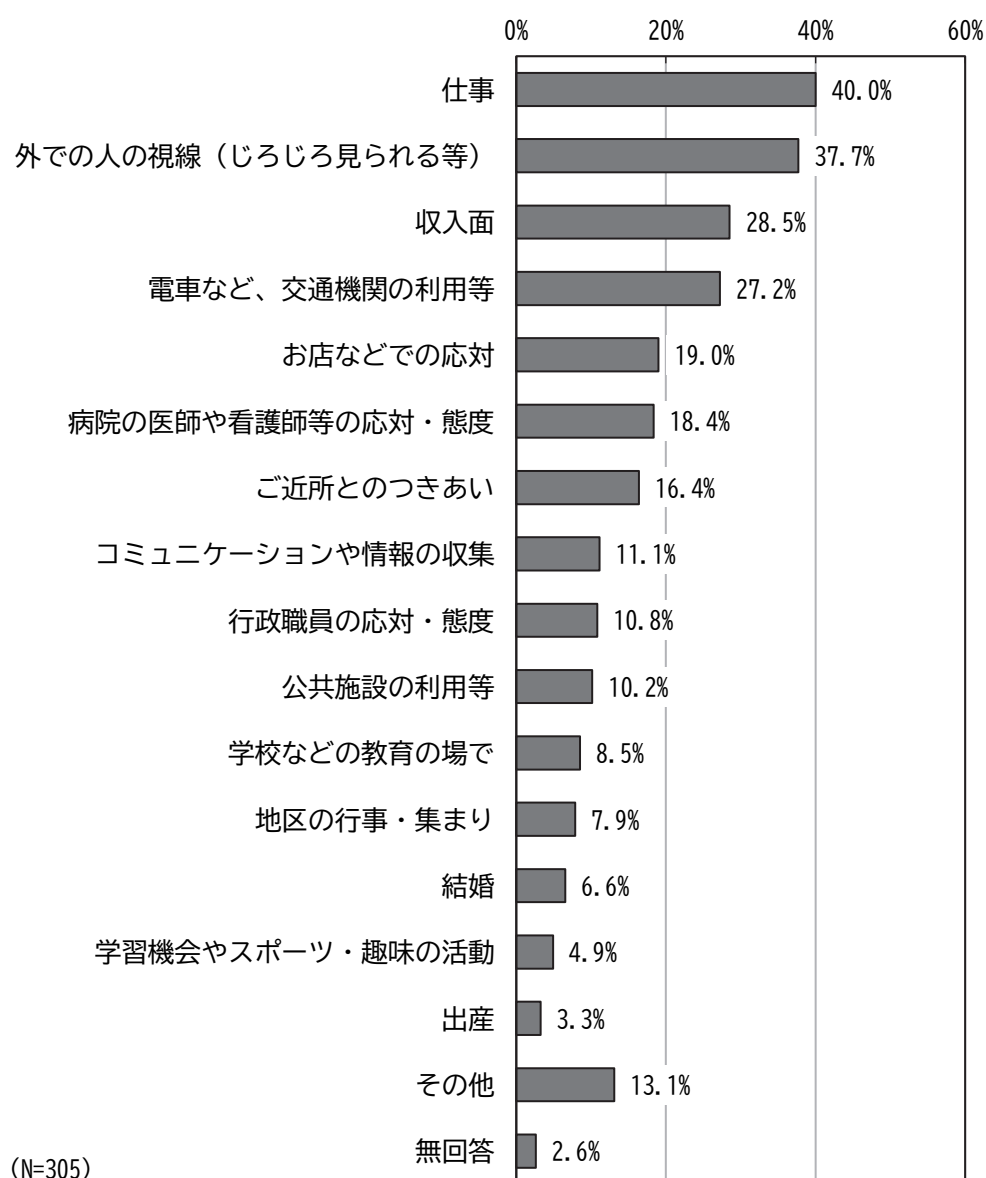
		合 計	1. よく感じる	2. ときどき 感じる	3. ほとんど 感じたこ とはない	4. まったく 感じたこ とはない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	90 (9.0)	215 (21.5)	420 (42.0)	175 (17.5)	100 (10.0)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	20 (17.1)	31 (26.5)	44 (37.6)	16 (13.7)	6 (5.1)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	8 (8.2)	45 (45.9)	27 (27.6)	10 (10.2)	8 (8.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	50 (14.1)	95 (26.8)	136 (38.4)	51 (14.4)	22 (6.2)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	4 (2.6)	21 (13.8)	77 (50.7)	30 (19.7)	20 (13.2)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	3 (1.6)	14 (7.6)	94 (51.1)	45 (24.5)	28 (15.2)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	3 (3.6)	6 (7.2)	41 (49.4)	22 (26.5)	11 (13.3)
	7. 無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	3 (25.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	5 (41.7)

注：()内はガッパⅡ数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑬差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（問 34 - 1）

問 34 で「よく感じる」または「ときどき感じる」と回答した方に、どのような場面で差別や偏見、疎外感、気になることがあったかきいたところ、「仕事」が 40.0%で最も多く、次いで「外での人の視線（じろじろ見られる等）」が 37.7%、「収入面」が 28.5%となっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「学校などの教育の場で」、「仕事」、「収入面」、「外での人の視線（じろじろ見られる等）」、65～74歳は「ご近所とのつきあい」、85歳以上は「行政職員の応対・態度」、「電車など、交通機関の利用等」が全体に比べ多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 学校などの 教育の 場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医 師や看護 師等の応 対・態度	5. コミュニ ケーショ ンや情報 の収集	6. 学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	7. ご近所と のつきあ い	8. 地区の行 事・集ま り
全 体	305 (100.0)	812 (266.2)	26 (8.5)	122 (40.0)	87 (28.5)	56 (18.4)	34 (11.1)	15 (4.9)	50 (16.4)	24 (7.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	51 (100.0)	182 (356.9)	10 (19.6)	27 (52.9)	25 (49.0)	12 (23.5)	7 (13.7)	4 (7.8)	5 (9.8)
	2. 30～39歳	53 (100.0)	143 (269.8)	4 (7.5)	23 (43.4)	16 (30.2)	8 (15.1)	8 (15.1)	4 (7.5)	8 (15.1)
	3. 40～64歳	145 (100.0)	371 (255.9)	9 (6.2)	63 (43.4)	38 (26.2)	26 (17.9)	16 (11.0)	5 (3.4)	26 (17.9)
	4. 65～74歳	25 (100.0)	56 (224.0)	2 (8.0)	4 (16.0)	4 (16.0)	6 (24.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	8 (32.0)
	5. 75～84歳	17 (100.0)	26 (152.9)	0 (-)	2 (11.8)	0 (-)	2 (11.8)	0 (-)	0 (-)	1 (5.9)
	6. 85歳以上	9 (100.0)	23 (255.6)	1 (11.1)	2 (22.2)	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)
	7. 無回答	5 (100.0)	11 (220.0)	0 (-)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)

	9. 外での人 の視線 (じろじ ろ見られ る等)	10. お店など での応対	11. 行政職員 の応対・ 態度	12. 電車な ど、交通 機関の利 用等	13. 公共施設 の利用等	14. 結婚	15. 出産	16. その他	17. 無回答
全 体	115 (37.7)	58 (19.0)	33 (10.8)	83 (27.2)	31 (10.2)	20 (6.6)	10 (3.3)	40 (13.1)	8 (2.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	28 (54.9)	10 (19.6)	6 (11.8)	18 (35.3)	9 (17.6)	8 (15.7)	4 (7.8)	5 (9.8)
	2. 30～39歳	24 (45.3)	8 (15.1)	5 (9.4)	14 (26.4)	4 (7.5)	6 (11.3)	3 (5.7)	5 (9.4)
	3. 40～64歳	47 (32.4)	35 (24.1)	14 (9.7)	41 (28.3)	16 (11.0)	1 (0.7)	2 (1.4)	20 (13.8)
	4. 65～74歳	8 (32.0)	3 (12.0)	3 (12.0)	3 (12.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	0 (-)	5 (20.0)
	5. 75～84歳	5 (29.4)	2 (11.8)	3 (17.6)	3 (17.6)	0 (-)	1 (5.9)	0 (-)	2 (11.8)
	6. 85歳以上	2 (22.2)	0 (-)	2 (22.2)	4 (44.4)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	2 (22.2)
	7. 無回答	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0)	1 (20.0)	3 (60.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「外での人の視線（じろじろ見られる等）」、「電車など、交通機関の利用等」、精神障害者は「仕事」が全体に比べ多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答) (障害種別)

	回答者数	合 計	1. 学校などの教育の場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医師や看護師等の応対・態度	5. コミュニケーションや情報の収集	6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動	7. ご近所とのつきあい	8. 地区の行事・集まり
全 体	305 (100.0)	812 (266.2)	26 (8.5)	122 (40.0)	87 (28.5)	56 (18.4)	34 (11.1)	15 (4.9)	50 (16.4)	24 (7.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	105 (100.0)	268 (255.2)	5 (4.8)	24 (22.9)	17 (16.2)	15 (14.3)	10 (9.5)	6 (5.7)	17 (16.2)
	2. 知的障害者	48 (100.0)	137 (285.4)	4 (8.3)	16 (33.3)	11 (22.9)	7 (14.6)	7 (14.6)	6 (12.5)	6 (12.5)
	3. 精神障害者	153 (100.0)	446 (291.5)	17 (11.1)	78 (51.0)	57 (37.3)	33 (21.6)	21 (13.7)	6 (3.9)	32 (20.9)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	13 (100.0)	28 (215.4)	2 (15.4)	10 (76.9)	5 (38.5)	2 (15.4)	2 (15.4)	0 (-)	1 (7.7)
	5. 無回答	6 (100.0)	16 (266.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7)

	9. 外での人の視線（じろじろ見られる等）	10. お店などでの応対	11. 行政職員の応対・態度	12. 電車など、交通機関の利用等	13. 公共施設の利用等	14. 結婚	15. 出産	16. その他	17. 無回答
全 体	115 (37.7)	58 (19.0)	33 (10.8)	83 (27.2)	31 (10.2)	20 (6.6)	10 (3.3)	40 (13.1)	8 (2.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	44 (41.9)	29 (27.6)	13 (12.4)	38 (36.2)	14 (13.3)	4 (3.8)	2 (1.9)	11 (10.5)
	2. 知的障害者	31 (64.6)	12 (25.0)	3 (6.3)	18 (37.5)	8 (16.7)	1 (2.1)	1 (2.1)	2 (4.2)
	3. 精神障害者	51 (33.3)	25 (16.3)	18 (11.8)	34 (22.2)	14 (9.2)	16 (10.5)	8 (5.2)	26 (17.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	2 (15.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	0 (-)	2 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「収入面」、「電車など、交通機関の利用等」が増加し、「学校などの教育の場で」、「ご近所とのつきあい」が減少しています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答) (経年変化)

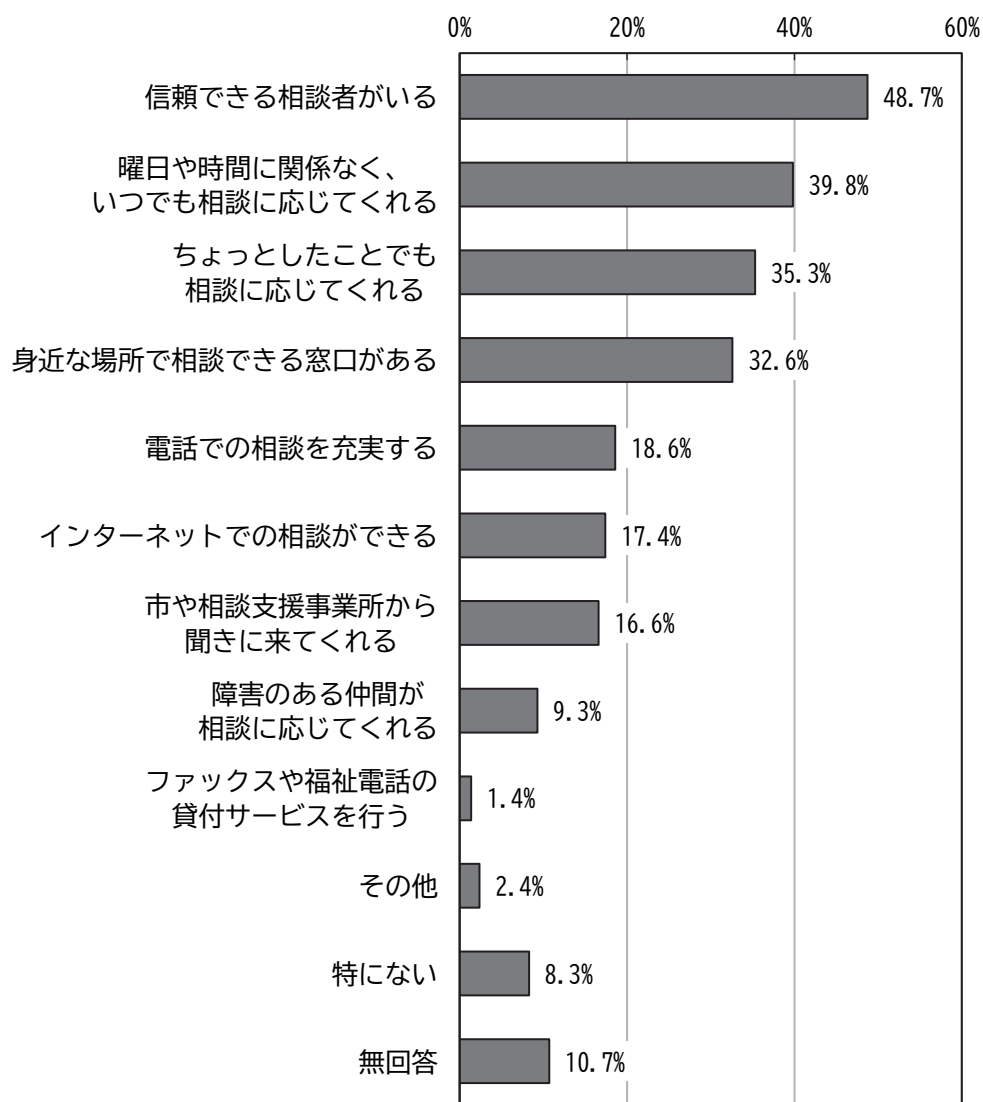
	回答者数	合 計	1. 学校などの教育の場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医師や看護師等の応対・態度	5. コミュニケーションや情報の収集	6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動	7. ご近所とのつきあい	8. 地区の行事・集まり
令和5年度	305 (100.0)	812 (266.2)	26 (8.5)	122 (40.0)	87 (28.5)	56 (18.4)	34 (11.1)	15 (4.9)	50 (16.4)	24 (7.9)
令和2年度	335 (100.0)	884 (263.9)	55 (16.4)	126 (37.6)	73 (21.8)	60 (17.9)	45 (13.4)	19 (5.7)	71 (21.2)	32 (9.6)

	9. 外での人の視線（じろじろ見られる等）	10. お店などでの応対	11. 行政職員の応対・態度	12. 電車など、交通機関の利用等	13. 公共施設の利用等	14. 結婚	15. 出産	16. その他	17. 無回答
令和5年度	115 (37.7)	58 (19.0)	33 (10.8)	83 (27.2)	31 (10.2)	20 (6.6)	10 (3.3)	40 (13.1)	8 (2.6)
令和2年度	123 (36.7)	71 (21.2)	35 (10.4)	76 (22.7)	31 (9.3)	24 (7.2)	7 (2.1)	27 (8.1)	9 (2.7)

⑭相談しやすい体制をつくるために必要なこと（問 35）

相談しやすい体制をつくるために必要なことについては、「信頼できる相談者がいる」が48.7%で最も多く、次いで「曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる」が39.8%、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が35.3%となっています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「信頼できる相談者がいる」、「障害のある仲間が相談に応じてくれる」、「身近な場所で相談できる窓口がある」、「インターネットでの相談ができる」、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」、30～39歳は「信頼できる相談者がいる」、「インターネットでの相談ができる」、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が全体に比べ多くなっています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと(複数回答)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる	2. 信頼できる相談者がいる	3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる	4. 身近な場所で相談できる窓口がある	5. 市や相談支援事業所から聞きに来てくれる
全 体		1,000 (100.0)	2,411 (241.1)	398 (39.8)	487 (48.7)	93 (9.3)	326 (32.6)	166 (16.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	366 (312.8)	54 (46.2)	78 (66.7)	23 (19.7)	52 (44.4)	27 (23.1)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	279 (284.7)	44 (44.9)	65 (66.3)	11 (11.2)	32 (32.7)	19 (19.4)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	921 (260.2)	154 (43.5)	191 (54.0)	41 (11.6)	117 (33.1)	58 (16.4)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	301 (198.0)	56 (36.8)	57 (37.5)	7 (4.6)	46 (30.3)	19 (12.5)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	371 (201.6)	69 (37.5)	61 (33.2)	9 (4.9)	54 (29.3)	32 (17.4)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	146 (175.9)	20 (24.1)	30 (36.1)	0 (-)	20 (24.1)	10 (12.0)
	7. 無回答	12 (100.0)	27 (225.0)	1 (8.3)	5 (41.7)	2 (16.7)	5 (41.7)	1 (8.3)

		6. インターネットでの相談ができる	7. 電話での相談を充実する	8. ファックスや福祉電話の貸付サービスを行う	9. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる	10. その他	11. 特にない	12. 無回答
全 体		174 (17.4)	186 (18.6)	14 (1.4)	353 (35.3)	24 (2.4)	83 (8.3)	107 (10.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	38 (32.5)	21 (17.9)	3 (2.6)	59 (50.4)	4 (3.4)	3 (2.6)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	34 (34.7)	14 (14.3)	0 (-)	46 (46.9)	4 (4.1)	4 (4.1)	6 (6.1)
	3. 40～64歳	85 (24.0)	75 (21.2)	8 (2.3)	129 (36.4)	9 (2.5)	27 (7.6)	27 (7.6)
	4. 65～74歳	5 (3.3)	23 (15.1)	2 (1.3)	42 (27.6)	0 (-)	24 (15.8)	20 (13.2)
	5. 75～84歳	8 (4.3)	36 (19.6)	1 (0.5)	51 (27.7)	5 (2.7)	15 (8.2)	30 (16.3)
	6. 85歳以上	2 (2.4)	14 (16.9)	0 (-)	22 (26.5)	2 (2.4)	10 (12.0)	16 (19.3)
	7. 無回答	2 (16.7)	3 (25.0)	0 (-)	4 (33.3)	0 (-)	0 (-)	4 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は、「市や相談事業所から聞きに来てくれる」、精神障害者は「信頼できる相談者がいる」、「インターネットでの相談ができる」が全体に比べ多くなっています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと(複数回答)(障害種別)

	回答者数	合 計	1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる	2. 信頼できる相談者がいる	3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる	4. 身近な場所で相談できる窓口がある	5. 市や相談支援事業所から聞きに来てくれる
全 体	1,000 (100.0)	2,411 (241.1)	398 (39.8)	487 (48.7)	93 (9.3)	326 (32.6)	166 (16.6)
問 3 障害種別	1. 身体障害者	537 (100.0)	1,157 (215.5)	195 (36.3)	210 (39.1)	38 (7.1)	159 (29.6)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	286 (246.6)	50 (43.1)	59 (50.9)	11 (9.5)	37 (31.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	915 (290.5)	152 (48.3)	201 (63.8)	46 (14.6)	117 (37.1)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	93 (310.0)	15 (50.0)	21 (70.0)	4 (13.3)	14 (46.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	80 (181.8)	10 (22.7)	19 (43.2)	2 (4.5)	9 (20.5)

	6. インターネットでの相談ができる	7. 電話での相談を充実する	8. ファックスや福祉電話の貸付サービスを行う	9. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる	10. その他	11. 特にない	12. 無回答
全 体	174 (17.4)	186 (18.6)	14 (1.4)	353 (35.3)	24 (2.4)	83 (8.3)	107 (10.7)
問 3 障害種別	1. 身体障害者	56 (10.4)	106 (19.7)	9 (1.7)	163 (30.4)	9 (1.7)	56 (13.8)
	2. 知的障害者	17 (14.7)	15 (12.9)	0 (-)	45 (38.8)	2 (1.7)	6 (10.3)
	3. 精神障害者	95 (30.2)	63 (20.0)	4 (1.3)	138 (43.8)	12 (3.8)	15 (4.8)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	12 (40.0)	4 (13.3)	1 (3.3)	12 (40.0)	2 (6.7)	3 (-)
	5. 無回答	0 (-)	7 (15.9)	0 (-)	13 (29.5)	0 (-)	4 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「インターネットでの相談ができる」、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が増加し、「信頼できる相談者がいる」が減少しています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと(複数回答)(経年変化)

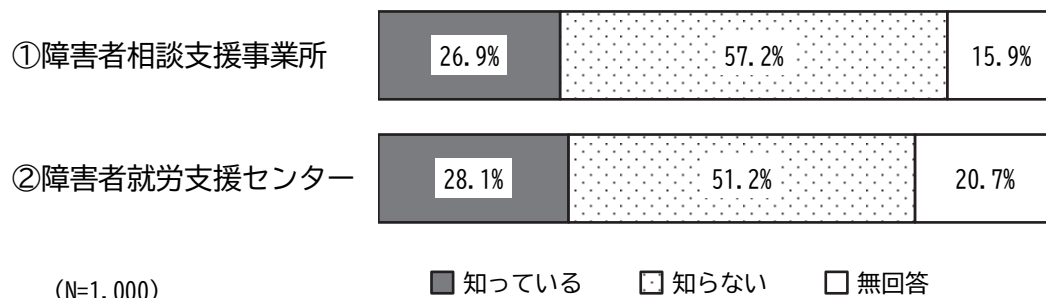
	回答者数	合 計	1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる	2. 信頼できる相談者がいる	3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる	4. 身近な場所で相談できる窓口がある	5. 市や相談支援事業所から聞きに来てくれる
令和5年度	1,000 (100.0)	2,411 (241.1)	398 (39.8)	487 (48.7)	93 (9.3)	326 (32.6)	166 (16.6)
令和2年度	1,066 (100.0)	2,527 (237.1)	398 (37.3)	564 (52.9)	108 (10.1)	368 (34.5)	165 (15.5)

	6. インターネットでの相談ができる	7. 電話での相談を充実する	8. ファックスや福祉電話の貸付サービスを行う	9. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる	10. その他	11. 特にない	12. 無回答
令和5年度	174 (17.4)	186 (18.6)	14 (1.4)	353 (35.3)	24 (2.4)	83 (8.3)	107 (10.7)
令和2年度	149 (14.0)	188 (17.6)	23 (2.2)	340 (31.9)	29 (2.7)	107 (10.0)	88 (8.3)

⑮相談支援事業所・就労支援センターの認知度（問 36 ア）

相談支援事業所・就労支援センターの認知度は、いずれも「知らない」が最も多くなっています。

■相談支援事業所・就労支援センターの認知度



相談支援事業所について年齢別にみると、18～29歳、30～39歳は「知っている」、65～74歳は「知らない」が全体に比べ多くなっています。

■相談支援事業所の認知度（年齢別）

		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	269 (26.9)	572 (57.2)	159 (15.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	63 (53.8)	46 (39.3)	8 (6.8)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	38 (38.8)	50 (51.0)	10 (10.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	96 (27.1)	213 (60.2)	45 (12.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	20 (13.2)	106 (69.7)	26 (17.1)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	36 (19.6)	105 (57.1)	43 (23.4)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	14 (16.9)	47 (56.6)	22 (26.5)
	7. 無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	5 (41.7)	5 (41.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

相談支援事業所について障害種別にみると、知的障害者は「知っている」が全体に比べ多くなっています。

■相談支援事業所の認知度（障害種別）

		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	269 (26.9)	572 (57.2)	159 (15.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	111 (20.7)	335 (62.4)	91 (16.9)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	60 (51.7)	35 (30.2)	21 (18.1)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	104 (33.0)	183 (58.1)	28 (8.9)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	9 (30.0)	20 (66.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	7 (15.9)	17 (38.6)	20 (45.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

相談支援事業所について経年変化をみると、前回より「知らない」が増加しています。

■相談支援事業所の認知度（経年変化）

	合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	269 (26.9)	572 (57.2)	159 (15.9)
令和2年度	1,066 (100.0)	301 (28.2)	540 (50.7)	225 (21.1)

就労支援センターについて年齢別にみると、18～29歳、30～39歳は「知っている」、65～74歳は「知らない」が全体に比べ多くなっています。

■就労支援センターの認知度（年齢別）

		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	281 (28.1)	512 (51.2)	207 (20.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	69 (59.0)	41 (35.0)	7 (6.0)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	46 (46.9)	43 (43.9)	9 (9.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	108 (30.5)	195 (55.1)	51 (14.4)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	26 (17.1)	97 (63.8)	29 (19.1)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	23 (12.5)	90 (48.9)	71 (38.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	8 (9.6)	42 (50.6)	33 (39.8)
	7. 無回答	12 (100.0)	1 (8.3)	4 (33.3)	7 (58.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

就労支援センターについて障害種別にみると、知的障害者、精神障害者は「知っている」が全体に比べ多くなっています。

■就労支援センターの認知度（障害種別）

		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	281 (28.1)	512 (51.2)	207 (20.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	96 (17.9)	307 (57.2)	134 (25.0)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	53 (45.7)	40 (34.5)	23 (19.8)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	127 (40.3)	156 (49.5)	32 (10.2)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	11 (36.7)	17 (56.7)	2 (6.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	6 (13.6)	14 (31.8)	24 (54.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

就労支援センターについて経年変化をみると、前回より「知らない」が増加しています。

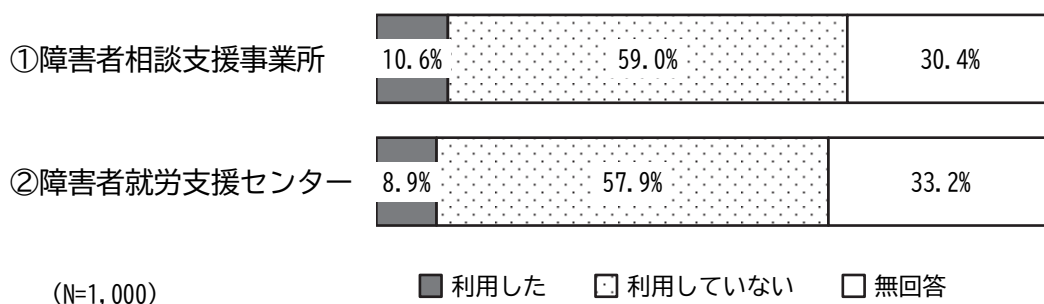
■就労支援センターの認知度（経年変化）

	合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	281 (28.1)	512 (51.2)	207 (20.7)
令和2年度	1,066 (100.0)	296 (27.8)	460 (43.2)	310 (29.1)

⑩相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無（問 36 イ）

相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無は、いずれも「利用していない」が最も多くなっています。

■相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無



相談支援事業所について年齢別にみると、18～29歳は「利用した」が全体に比べ多くなっています。

■相談支援事業所の利用の有無（年齢別）

		合 計	1. 利用した	2. 利用して いない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	106 (10.6)	590 (59.0)	304 (30.4)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	37 (31.6)	68 (58.1)	12 (10.3)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	18 (18.4)	61 (62.2)	19 (19.4)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	39 (11.0)	225 (63.6)	90 (25.4)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	2 (1.3)	100 (65.8)	50 (32.9)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	5 (2.7)	97 (52.7)	82 (44.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	5 (6.0)	33 (39.8)	45 (54.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	6 (50.0)	6 (50.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

相談支援事業所について障害種別にみると、知的障害者は「利用した」が全体に比べ多くなっています。

■相談支援事業所の利用の有無（障害種別）

		合 計	1. 利用した	2. 利用して いない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	106 (10.6)	590 (59.0)	304 (30.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	30 (5.6)	320 (59.6)	187 (34.8)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	47 (40.5)	38 (32.8)	31 (26.7)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	46 (14.6)	207 (65.7)	62 (19.7)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	1 (3.3)	25 (83.3)	4 (13.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	1 (2.3)	19 (43.2)	24 (54.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

就労支援センターについて年齢別にみると、18～29歳は「利用した」が全体に比べ多くなっています。

■就労支援センターの利用の有無（年齢別）

		合 計	1. 利用した	2. 利用して いない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	89 (8.9)	579 (57.9)	332 (33.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	29 (24.8)	78 (66.7)	10 (8.5)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	18 (18.4)	65 (66.3)	15 (15.3)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	34 (9.6)	225 (63.6)	95 (26.8)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	5 (3.3)	93 (61.2)	54 (35.5)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	1 (0.5)	82 (44.6)	101 (54.9)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	2 (2.4)	31 (37.3)	50 (60.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	5 (41.7)	7 (58.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

就労支援センターについて障害種別にみると、知的障害者は「利用した」が全体に比べ多くなっています。

■就労支援センターの利用の有無（障害種別）

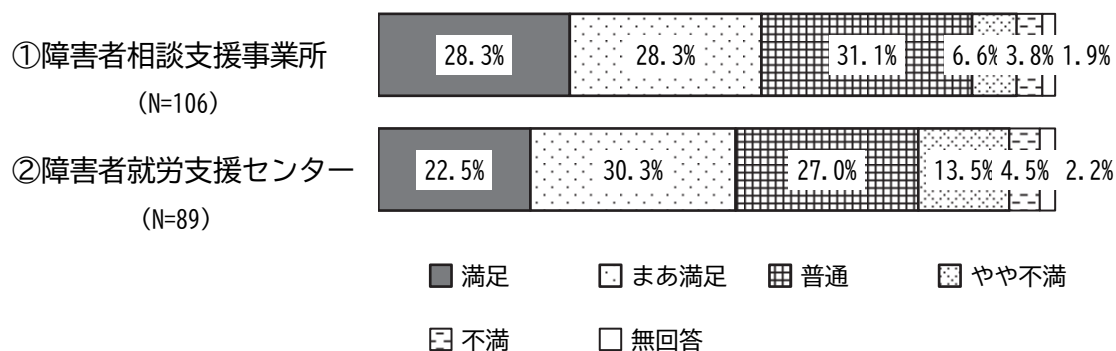
		合 計	1. 利用した	2. 利用して いない	3. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	89 (8.9)	579 (57.9)	332 (33.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	15 (2.8)	307 (57.2)	215 (40.0)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	28 (24.1)	55 (47.4)	33 (28.4)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	52 (16.5)	202 (64.1)	61 (19.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	2 (6.7)	23 (76.7)	5 (16.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	0 (-)	17 (38.6)	27 (61.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑰相談支援事業所・就労支援センターの満足度（問 36 ウ）

問 36 イで「利用した」と回答した方に、利用しての満足度をきいたところ、障害者相談支援事業所は「普通」、障害者就労支援センターは「まあ満足」が最も多くなっています。

■相談事業所・就労支援センターの満足度

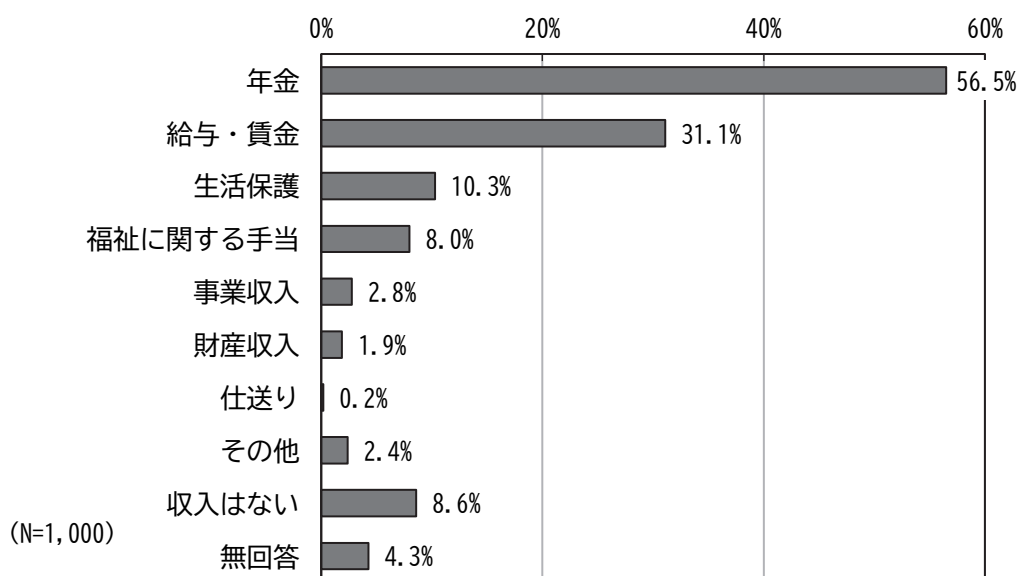


（４）仕事について

①収入（問 37）

収入については、「年金」が 56.5%で最も多く、次いで「給与・賃金」が 31.1%、「生活保護」が 10.3%となっています。

■収入（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「給与・賃金」、「収入がない」、30～39歳は「給与・賃金」、「福祉に関する手当」、40～64歳は「給与・賃金」、65～74歳、75～84歳、85歳以上は「年金」が全体に比べ多くなっています。

■収入(複数回答)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 給与・賃 金	2. 事業収入	3. 財産収入	4. 年金	5. 福祉に関 する手当	6. 生活保護	7. 仕送り	8. その他	9. 収入はな い	10. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	1,261 (126.1)	311 (31.1)	28 (2.8)	19 (1.9)	565 (56.5)	80 (8.0)	103 (10.3)	2 (0.2)	24 (2.4)	86 (8.6)	43 (4.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	147 (125.6)	64 (54.7)	1 (0.9)	1 (0.9)	34 (29.1)	13 (11.1)	6 (5.1)	0 (-)	2 (1.7)	24 (20.5)	2 (1.7)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	137 (139.8)	49 (50.0)	4 (4.1)	1 (1.0)	46 (46.9)	18 (18.4)	6 (6.1)	0 (-)	1 (1.0)	10 (10.2)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	454 (128.2)	155 (43.8)	7 (2.0)	3 (0.8)	134 (37.9)	34 (9.6)	59 (16.7)	1 (0.3)	12 (3.4)	36 (10.2)	13 (3.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	202 (132.9)	30 (19.7)	6 (3.9)	5 (3.3)	125 (82.2)	6 (3.9)	15 (9.9)	0 (-)	2 (1.3)	5 (3.3)	8 (5.3)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	212 (115.2)	10 (5.4)	7 (3.8)	5 (2.7)	148 (80.4)	6 (3.3)	13 (7.1)	1 (0.5)	6 (3.3)	5 (2.7)	11 (6.0)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	93 (112.0)	1 (1.2)	3 (3.6)	4 (4.8)	71 (85.5)	2 (2.4)	2 (2.4)	0 (-)	1 (1.2)	5 (6.0)	4 (4.8)
	7. 無回答	12 (100.0)	16 (133.3)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	7 (58.3)	1 (8.3)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	3 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「年金」、知的障害者、精神障害者は「給与・賃金」が全体に比べ多くなっています。

■収入(複数回答)(障害種別)

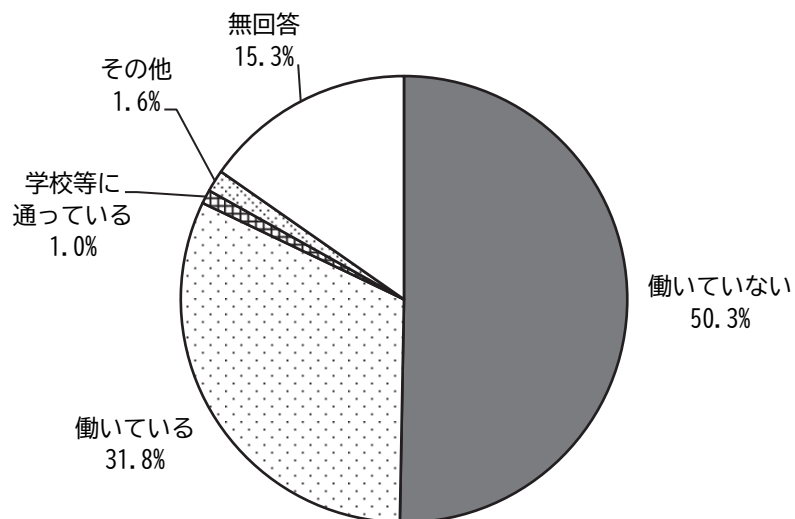
		回答者数	合 計	1. 給与・賃 金	2. 事業収入	3. 財産収入	4. 年金	5. 福祉に関 する手当	6. 生活保護	7. 仕送り	8. その他	9. 収入はな い	10. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	1,261 (126.1)	311 (31.1)	28 (2.8)	19 (1.9)	565 (56.5)	80 (8.0)	103 (10.3)	2 (0.2)	24 (2.4)	86 (8.6)	43 (4.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	651 (121.2)	109 (20.3)	19 (3.5)	14 (2.6)	378 (70.4)	31 (5.8)	38 (7.1)	1 (0.2)	12 (2.2)	25 (4.7)	24 (4.5)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	172 (148.3)	60 (51.7)	1 (0.9)	0 (-)	71 (61.2)	20 (17.2)	7 (6.0)	0 (-)	1 (0.9)	9 (7.8)	3 (2.6)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	407 (129.2)	132 (41.9)	5 (1.6)	2 (0.6)	117 (37.1)	30 (9.5)	60 (19.0)	0 (-)	12 (3.8)	39 (12.4)	10 (3.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	36 (120.0)	15 (50.0)	2 (6.7)	2 (6.7)	5 (16.7)	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	11 (36.7)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	54 (122.7)	8 (18.2)	2 (4.5)	1 (2.3)	22 (50.0)	3 (6.8)	4 (9.1)	1 (2.3)	0 (-)	6 (13.6)	7 (15.9)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②就労状況（問 38）

就労状況については、「働いていない」が50.3%で最も多く、次いで「働いている」が31.8%となっています。

■就労状況



(N=1,000)

年齢別にみると、18～29歳、30～39歳、40～64歳は「働いている」、75～84歳、85歳以上は「働いていない」が全体に比べ多くなっています。

■就労状況（年齢別）

		合 計	1. 働いてい ない	2. 働いてい る	3. 学校等に 通ってい る	4. その他	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	503 (50.3)	318 (31.8)	10 (1.0)	16 (1.6)	153 (15.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	35 (29.9)	67 (57.3)	9 (7.7)	2 (1.7)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	37 (37.8)	47 (48.0)	0 (-)	6 (6.1)	8 (8.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	164 (46.3)	153 (43.2)	1 (0.3)	7 (2.0)	29 (8.2)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	83 (54.6)	34 (22.4)	0 (-)	0 (-)	35 (23.0)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	118 (64.1)	15 (8.2)	0 (-)	0 (-)	51 (27.7)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	58 (69.9)	0 (-)	0 (-)	1 (1.2)	24 (28.9)
	7. 無回答	12 (100.0)	8 (66.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「働いている」が全体に比べ多くなっています。

■就労状況（障害種別）

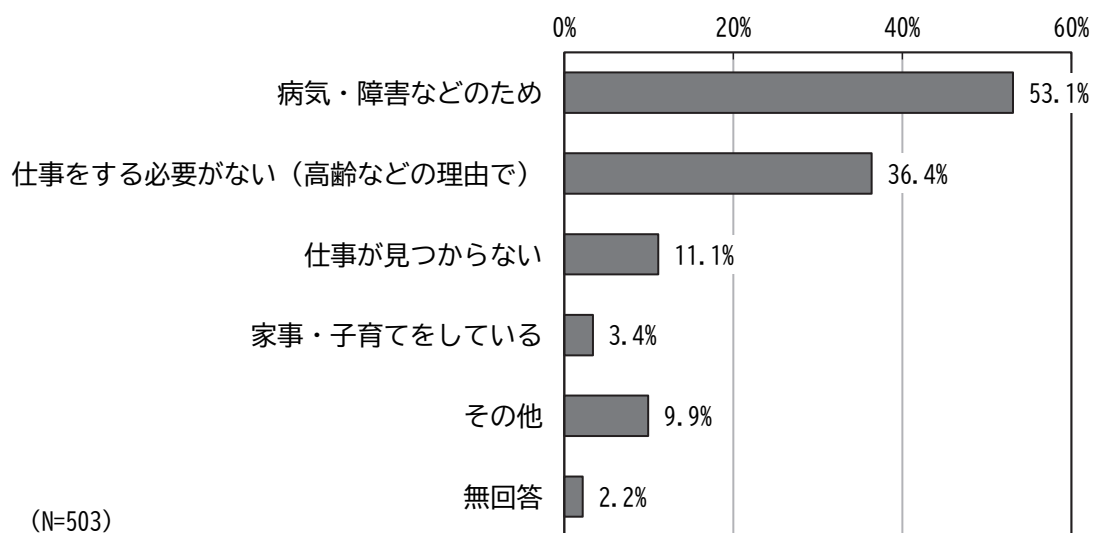
		合 計	1. 働いてい ない	2. 働いてい る	3. 学校等に 通ってい る	4. その他	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	503 (50.3)	318 (31.8)	10 (1.0)	16 (1.6)	153 (15.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	311 (57.9)	118 (22.0)	1 (0.2)	4 (0.7)	103 (19.2)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	34 (29.3)	64 (55.2)	2 (1.7)	5 (4.3)	11 (9.5)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	145 (46.0)	127 (40.3)	6 (1.9)	8 (2.5)	29 (9.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	12 (40.0)	16 (53.3)	2 (6.7)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	23 (52.3)	5 (11.4)	0 (-)	2 (4.5)	14 (31.8)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③働かない理由（問 38 - 1）

問 38 で「働いていない」と回答した方に、働かない理由をきいたところ、「病気・障害などのため」が 53.1%で最も多く、次いで「仕事をする必要がない(高齢などの理由で)」が 36.4%、「仕事が見つからない」が 11.1%となっています。

■働かない理由(複数回答)



年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳は「病気・障害などのため」、「仕事が見つからない」、40～64 歳は「病気・障害などのため」、65～74 歳、75～84 歳、85 歳以上は「仕事をする必要がない(高齢などの理由で)」が全体に比べ多くなっています。

■働かない理由(複数回答)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 家事・子 育てをし ている	2. 病気・障 害などの ため	3. 仕事が見 つからな い	4. 仕事をする 必要が ない(高 齢などの 理由で)	5. その他	6. 無回答
全 体		503 (100.0)	584 (116.1)	17 (3.4)	267 (53.1)	56 (11.1)	183 (36.4)	50 (9.9)	11 (2.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	35 (100.0)	40 (114.3)	2 (5.7)	24 (68.6)	9 (25.7)	0 (-)	5 (14.3)	0 (-)
	2. 30～39歳	37 (100.0)	48 (129.7)	4 (10.8)	28 (75.7)	10 (27.0)	0 (-)	5 (13.5)	1 (2.7)
	3. 40～64歳	164 (100.0)	187 (114.0)	10 (6.1)	125 (76.2)	27 (16.5)	6 (3.7)	18 (11.0)	1 (0.6)
	4. 65～74歳	83 (100.0)	97 (116.9)	0 (-)	40 (48.2)	6 (7.2)	44 (53.0)	6 (7.2)	1 (1.2)
	5. 75～84歳	118 (100.0)	135 (114.4)	1 (0.8)	34 (28.8)	1 (0.8)	87 (73.7)	6 (5.1)	6 (5.1)
	6. 85歳以上	58 (100.0)	66 (113.8)	0 (-)	10 (17.2)	2 (3.4)	43 (74.1)	10 (17.2)	1 (1.7)
	7. 無回答	8 (100.0)	11 (137.5)	0 (-)	6 (75.0)	1 (12.5)	3 (37.5)	0 (-)	1 (12.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「仕事をする必要がない(高齢などの理由で)」、知的障害者は「病気・障害などのため」、「仕事が見つからない」、精神障害者は「病気・障害などのため」が全体に比べ多くなっています。

■働かない理由(複数回答)(障害種別)

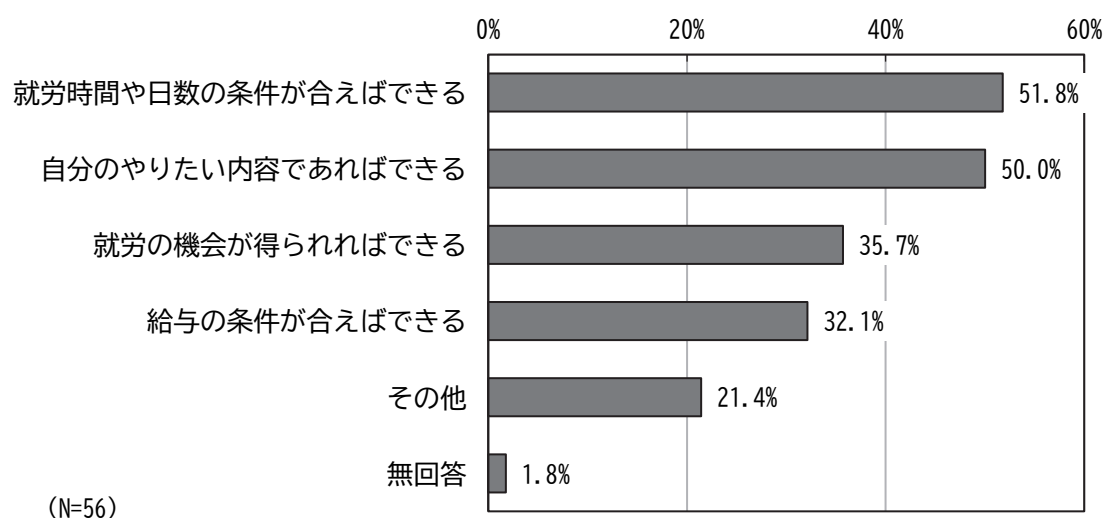
		回答者数	合 計	1. 家事・子 育てをし ている	2. 病気・障 害などの ため	3. 仕事が見 つからな い	4. 仕事をする 必要が ない(高 齢などの 理由で)	5. その他	6. 無回答
全 体		503 (100.0)	584 (116.1)	17 (3.4)	267 (53.1)	56 (11.1)	183 (36.4)	50 (9.9)	11 (2.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	311 (100.0)	354 (113.8)	6 (1.9)	137 (44.1)	16 (5.1)	163 (52.4)	26 (8.4)	6 (1.9)
	2. 知的障害者	34 (100.0)	40 (117.6)	1 (2.9)	22 (64.7)	10 (29.4)	0 (-)	6 (17.6)	1 (2.9)
	3. 精神障害者	145 (100.0)	175 (120.7)	8 (5.5)	110 (75.9)	29 (20.0)	10 (6.9)	17 (11.7)	1 (0.7)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	12 (100.0)	14 (116.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	3 (25.0)	3 (25.0)	1 (8.3)
	5. 無回答	23 (100.0)	26 (113.0)	0 (-)	11 (47.8)	4 (17.4)	8 (34.8)	1 (4.3)	2 (8.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④就労条件（問 38 - 2）

問 38 - 1 で「仕事が見つからない」と回答した方に、どのような条件であれば就労できるかきいたところ、「就労時間や日数の条件が合えばできる」が 51.8%で最も多く、次いで「自分のやりたい内容であればできる」が 50.0%、「就労の機会が得られればできる」が 35.7%、「給与の条件が合えばできる」が 32.1%となっています。

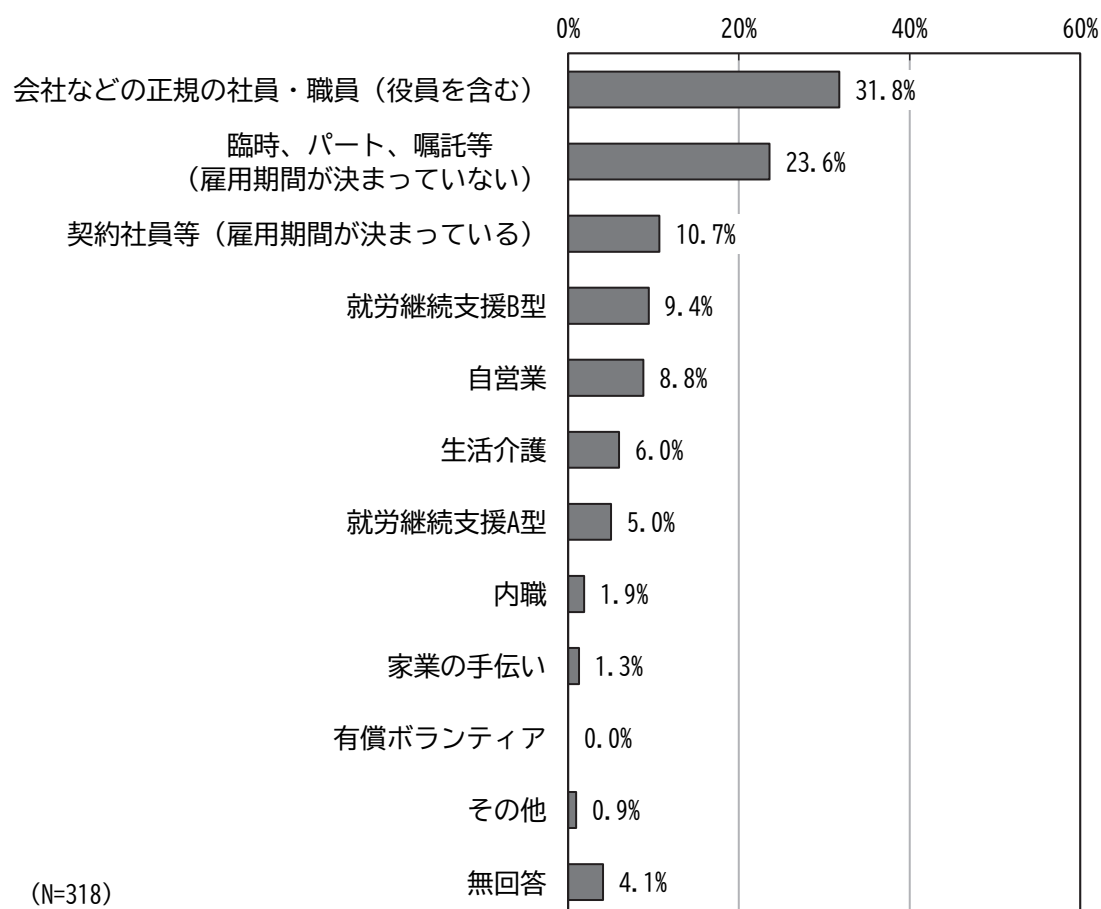
■仕事が見つからない理由（複数回答）



⑤就労形態（問 38 - 3）

問 38 で「働いている」と回答した方に、就労形態をきいたところ、「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」が 31.8%で最も多く、次いで「臨時、パート、嘱託等（雇用期間が決まっていない）」が 23.6%、「契約社員等（雇用期間が決まっている）」が 10.7%となっています。

■就労形態（複数回答）



年齢別にみると、30～39 歳、40～64 歳は「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」、65～74 歳、75～84 歳は「自営業」が全体に比べ多くなっています。

■就労形態（複数回答）（年齢別）

		回答者数	合 計	1. 自営業	2. 家業の手 伝い	3. 会社など の正規の 社員・職 員（役員 を含む）	4. 契約社員 等（雇用 期間が決 まっている）	5. 臨時、 パート、 嘱託等 （雇用期 間が決ま っていない）	6. 有償ボラ ンティア	7. 内職	8. 就労継続 支援A型	9. 就労継続 支援B型	10. 生活介護	11. その他	12. 無回答
全 体		318 (100.0)	329 (103.5)	28 (8.8)	4 (1.3)	101 (31.8)	34 (10.7)	75 (23.6)	0 (-)	6 (1.9)	16 (5.0)	30 (9.4)	19 (6.0)	3 (0.9)	13 (4.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	67 (100.0)	68 (101.5)	0 (-)	0 (-)	11 (16.4)	7 (10.4)	22 (32.8)	0 (-)	1 (1.5)	3 (4.5)	13 (19.4)	10 (14.9)	1 (1.5)	0 (-)
	2. 30～39歳	47 (100.0)	49 (104.3)	2 (4.3)	2 (4.3)	20 (42.6)	6 (12.8)	6 (12.8)	0 (-)	1 (2.1)	1 (2.1)	4 (8.5)	6 (12.8)	0 (-)	1 (2.1)
	3. 40～64歳	153 (100.0)	159 (103.9)	10 (6.5)	1 (0.7)	64 (41.8)	15 (9.8)	31 (20.3)	0 (-)	4 (2.6)	12 (7.8)	11 (7.2)	3 (2.0)	2 (1.3)	6 (3.9)
	4. 65～74歳	34 (100.0)	36 (105.9)	9 (26.5)	0 (-)	5 (14.7)	5 (14.7)	11 (32.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (5.9)	0 (-)	0 (-)	4 (11.8)
	5. 75～84歳	15 (100.0)	15 (100.0)	7 (46.7)	1 (6.7)	0 (-)	1 (6.7)	4 (26.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (13.3)
	6. 85歳以上	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	7. 無回答	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「就労継続支援 B 型」、「生活介護」が全体に比べ多くなっています。

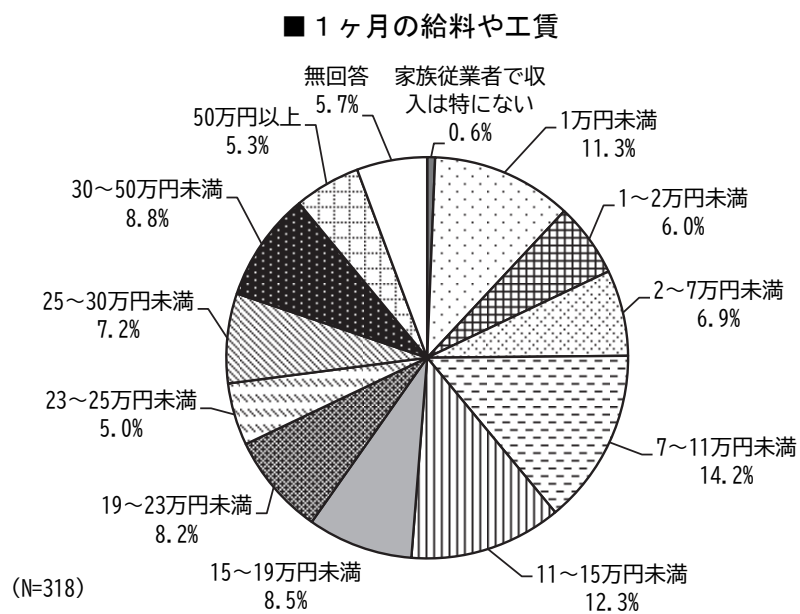
■就労形態（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 自営業	2. 家業の手 伝い	3. 会社など の正規の 社員・職 員（役員 を含む）	4. 契約社員 等（雇用 期間が決 まっている）	5. 臨時、 パート、 嘱託等 （雇用期 間が決ま っていない）	6. 有償ボラ ンティア	7. 内職	8. 就労継続 支援A型	9. 就労継続 支援B型	10. 生活介護	11. その他	12. 無回答
全 体		318 (100.0)	329 (103.5)	28 (8.8)	4 (1.3)	101 (31.8)	34 (10.7)	75 (23.6)	0 (-)	6 (1.9)	16 (5.0)	30 (9.4)	19 (6.0)	3 (0.9)	13 (4.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	118 (100.0)	122 (103.4)	21 (17.8)	0 (-)	43 (36.4)	13 (11.0)	29 (24.6)	0 (-)	1 (0.8)	2 (1.7)	3 (2.5)	3 (2.5)	1 (0.8)	6 (5.1)
	2. 知的障害者	64 (100.0)	65 (101.6)	0 (-)	1 (1.6)	6 (9.4)	3 (4.7)	16 (25.0)	0 (-)	0 (-)	3 (4.7)	17 (26.6)	19 (29.7)	0 (-)	0 (-)
	3. 精神障害者	127 (100.0)	132 (103.9)	5 (3.9)	1 (0.8)	42 (33.1)	17 (13.4)	31 (24.4)	0 (-)	4 (3.1)	12 (9.4)	14 (11.0)	0 (-)	2 (1.6)	4 (3.1)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	16 (100.0)	18 (112.5)	2 (12.5)	1 (6.3)	10 (62.5)	2 (12.5)	6 (37.5)	0 (-)	1 (6.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (6.3)
	5. 無回答	5 (100.0)	5 (100.0)	0 (-)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥ 1ヶ月の給料や工賃（問 38 - 4）

問 38 で「働いている」と回答した方に、1ヶ月の給料や工賃をきいたところ、「7～11万円未満」が14.2%で最も多く、次いで「11～15万円未満」が12.3%、「1万円未満」が11.3%となっています。



障害種別にみると、知的障害者は「1万円未満」が全体に比べ多くなっています。

■ 1ヶ月の給料や工賃（障害種別）

		合 計	1. 家族従業者で収入は特にな い	2. 1万円未満	3. 1～2万円 未満	4. 2～7万円 未満	5. 7～11万円 未満	6. 11～15万 円未満
全 体		318 (100.0)	2 (0.6)	36 (11.3)	19 (6.0)	22 (6.9)	45 (14.2)	39 (12.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	118 (100.0)	0 (-)	6 (5.1)	1 (0.8)	8 (6.8)	17 (14.4)	12 (10.2)
	2. 知的障害者	64 (100.0)	0 (-)	25 (39.1)	9 (14.1)	6 (9.4)	8 (12.5)	11 (17.2)
	3. 精神障害者	127 (100.0)	1 (0.8)	9 (7.1)	10 (7.9)	9 (7.1)	22 (17.3)	15 (11.8)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	16 (100.0)	0 (-)	1 (6.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (6.3)
	5. 無回答	5 (100.0)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)

		7. 15～19万 円未満	8. 19～23万 円未満	9. 23～25万 円未満	10. 25～30万 円未満	11. 30～50万 円未満	12. 50万円以 上	13. 無回答
全 体		27 (8.5)	26 (8.2)	16 (5.0)	23 (7.2)	28 (8.8)	17 (5.3)	18 (5.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	11 (9.3)	9 (7.6)	7 (5.9)	13 (11.0)	14 (11.9)	12 (10.2)	8 (6.8)
	2. 知的障害者	3 (4.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (3.1)
	3. 精神障害者	13 (10.2)	16 (12.6)	7 (5.5)	8 (6.3)	8 (6.3)	3 (2.4)	6 (4.7)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	0 (-)	1 (6.3)	2 (12.5)	2 (12.5)	6 (37.5)	2 (12.5)	1 (6.3)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0)

注：()内はカブール数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

経年変化をみると、前回より「11万円～15万円未満」が増加しています。

■ 1ヶ月の給料や工賃（経年変化）

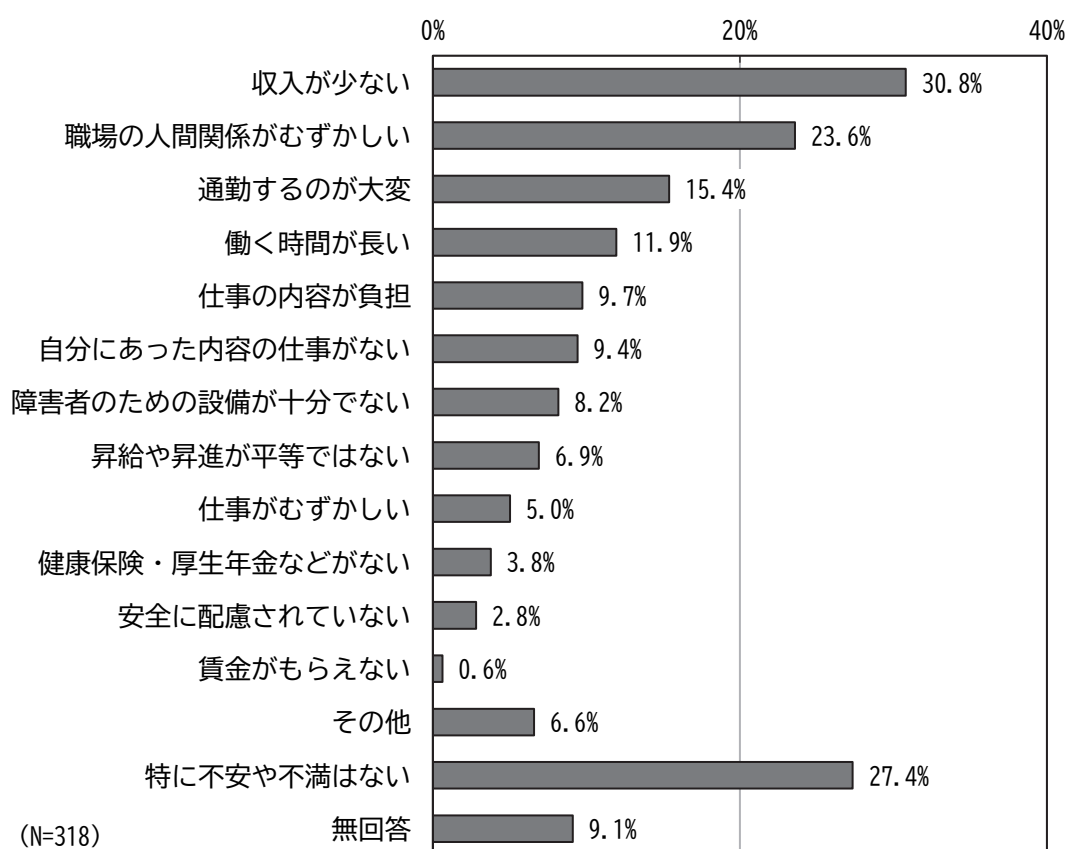
	合 計	1. 家族従業者で収入は特にな い	2. 1万円未満	3. 1～2万円 未満	4. 2～7万円 未満	5. 7～11万円 未満	6. 11～15万 円未満
令和5年度	318 (100.0)	2 (0.6)	36 (11.3)	19 (6.0)	22 (6.9)	45 (14.2)	39 (12.3)
令和2年度	355 (100.0)	6 (1.7)	33 (9.3)	13 (3.7)	34 (9.6)	58 (16.3)	33 (9.3)

	7. 15～19万 円未満	8. 19～23万 円未満	9. 23～25万 円未満	10. 25～30万 円未満	11. 30～50万 円未満	12. 50万円以 上	13. 無回答
令和5年度	27 (8.5)	26 (8.2)	16 (5.0)	23 (7.2)	28 (8.8)	17 (5.3)	18 (5.7)
令和2年度	36 (10.1)	28 (7.9)	14 (3.9)	26 (7.3)	33 (9.3)	9 (2.5)	32 (9.0)

⑦仕事をするうえでの不安や不満（問 38 - 5）

問 38 で「働いている」と回答した方に、仕事をするうえでの不安や不満をきいたところ、「収入が少ない」が 30.8%で最も多く、次いで「職場の人間関係がむずかしい」が 23.6%、「通勤するのが大変」が 15.4%となっています。

■仕事をするうえでの不安や不満（複数回答）



障害種別にみると、知的障害者は「特に不安や不満はない」、精神障害者は「職場の人間関係がむずかしい」が全体に比べ多くなっています。

■仕事をするうえでの不安や不満(複数回答)(障害種別)

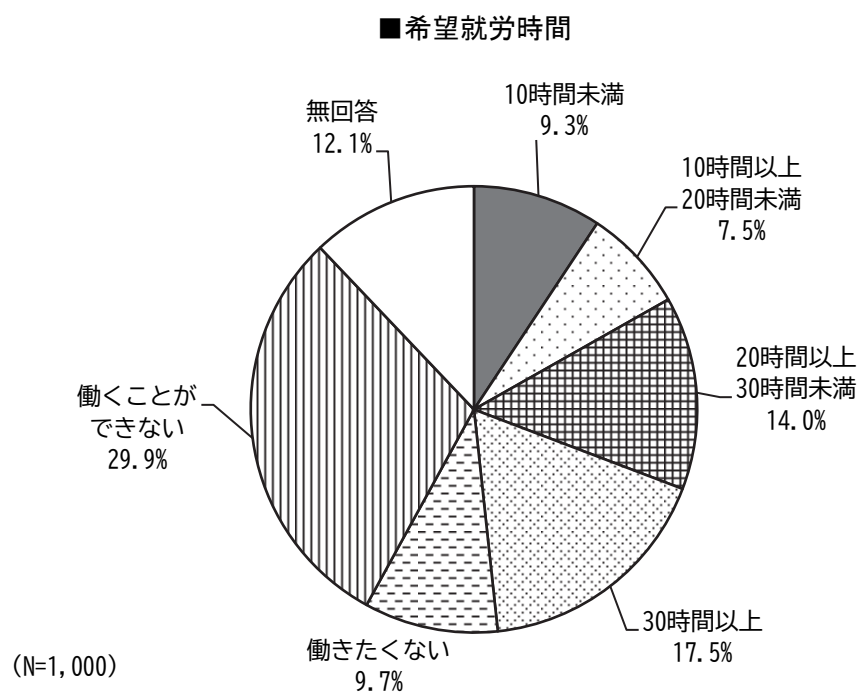
		回答者数	合 計	1. 障害者の ための設 備が十分 でない	2. 安全に配 慮されて いない	3. 通勤する のが大変	4. 自分に あった内 容の仕事 がない	5. 職場の人 間関係が むずかし い	6. 昇給や昇 進が平等 ではない	7. 収入が少 ない
全 体		318 (100.0)	545 (171.4)	26 (8.2)	9 (2.8)	49 (15.4)	30 (9.4)	75 (23.6)	22 (6.9)	98 (30.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	118 (100.0)	179 (151.7)	12 (10.2)	4 (3.4)	20 (16.9)	9 (7.6)	17 (14.4)	4 (3.4)	32 (27.1)
	2. 知的障害者	64 (100.0)	83 (129.7)	3 (4.7)	1 (1.6)	7 (10.9)	4 (6.3)	7 (10.9)	1 (1.6)	18 (28.1)
	3. 精神障害者	127 (100.0)	270 (212.6)	12 (9.4)	3 (2.4)	21 (16.5)	19 (15.0)	49 (38.6)	15 (11.8)	50 (39.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	16 (100.0)	25 (156.3)	1 (6.3)	1 (6.3)	2 (12.5)	0 (-)	4 (25.0)	2 (12.5)	1 (6.3)
	5. 無回答	5 (100.0)	5 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)

		8. 賃金がも らえない	9. 健康保 険・厚生 年金など がない	10. 仕事がむ ずかしい	11. 仕事の内 容が負担	12. 働く時間 が長い	13. その他	14. 特に不安 や不満は ない	15. 無回答
全 体		2 (0.6)	12 (3.8)	16 (5.0)	31 (9.7)	38 (11.9)	21 (6.6)	87 (27.4)	29 (9.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	0 (-)	2 (1.7)	3 (2.5)	7 (5.9)	12 (10.2)	4 (3.4)	40 (33.9)	13 (11.0)
	2. 知的障害者	1 (1.6)	1 (1.6)	1 (1.6)	1 (1.6)	1 (1.6)	3 (4.7)	26 (40.6)	8 (12.5)
	3. 精神障害者	1 (0.8)	9 (7.1)	12 (9.4)	21 (16.5)	22 (17.3)	13 (10.2)	17 (13.4)	6 (4.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (12.5)	3 (18.8)	2 (12.5)	6 (37.5)	1 (6.3)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	3 (60.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑧希望就労時間（問 39）

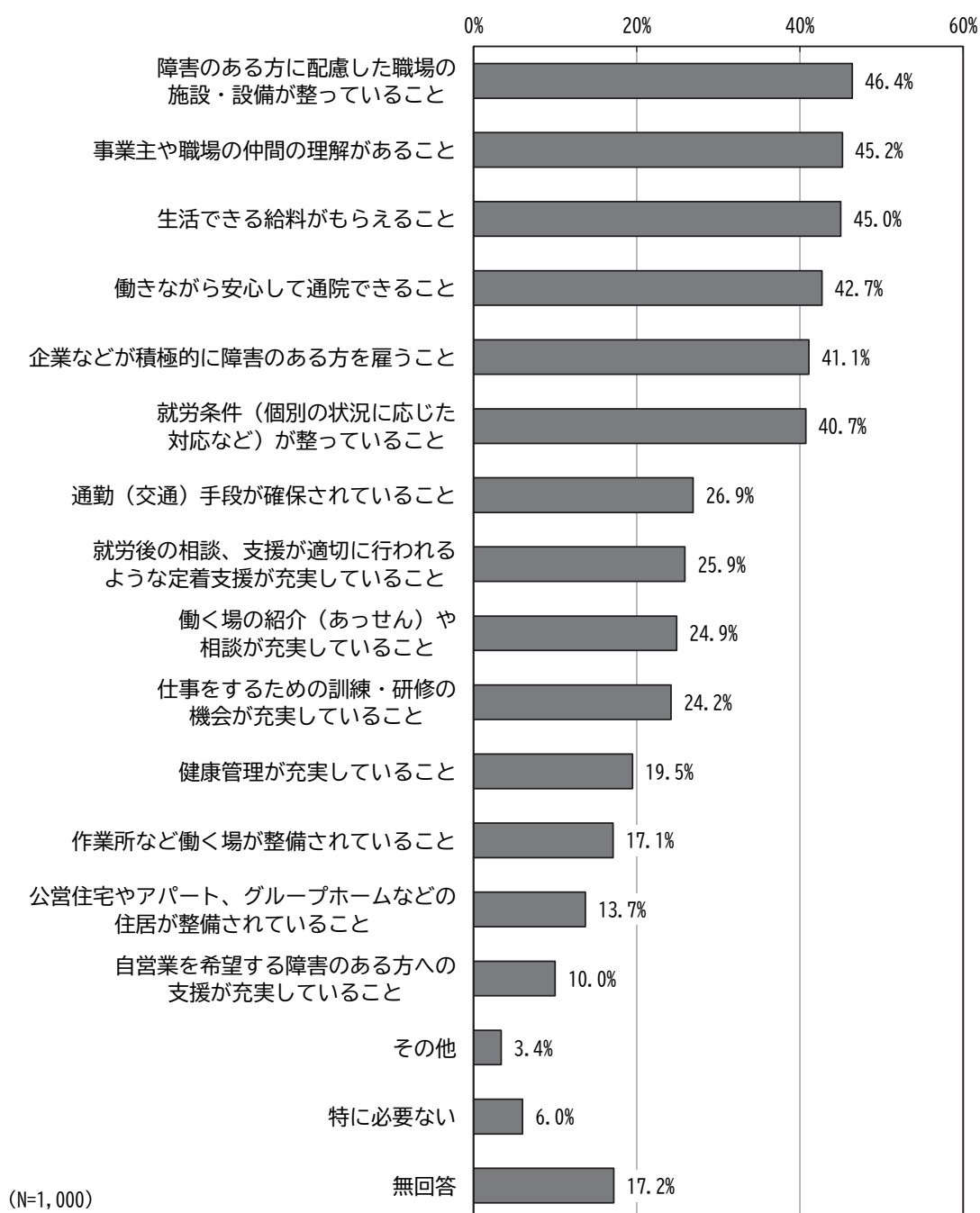
1 週当たり何時間働きたいか聞いたところ、「働くことができない」が 29.9%で最も多く、次いで「30 時間以上」が 17.5%、「20 時間以上 30 時間未満」が 14.0%となっています。



⑨障害のある方が働くために必要なこと（問 40）

障害のある方が働くために必要なことについては、「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」が46.4%で最も多く、次いで「事業主や職場の仲間の理解があること」が45.2%、「生活できる給料がもらえること」が45.0%となっています。

■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」、「就労条件(個別の状況に応じた対応など)が整っていること」、「生活できる給料がもらえること」、「事業主や職場の仲間の理解があること」、「仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること」、「働く場の紹介(あっせん)や相談が充実していること」、「作業所など働く場が整備されていること」、「就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること」、30～39歳は「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」、「就労条件(個別の状況に応じた対応など)が整っていること」、「生活できる給料がもらえること」、「仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること」、「健康管理が充実していること」、「働きながら安心して通院できること」「就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が働くために必要なこと(複数回答)(年齢別)

		回答者数	合 計	1. 企業などが積極的に 障害のある方を 雇うこと	2. 障害のある方に配 慮した職場の施 設・設備が整って いること	3. 就労条件 (個別の 状況に応 じた対応 など)が 整っている こと	4. 生活できる 給料が もらえる こと	5. 事業主や 職場の仲 間の理解 があるこ と	6. 仕事をす るための 訓練・研 修の機会 が充実し ているこ と	7. 自営業を 希望する 障害のある 方への 支援が充 実している こと	8. 通勤(交 通)手段 が確保さ れている こと
全 体		1,000 (100.0)	4,499 (449.9)	411 (41.1)	464 (46.4)	407 (40.7)	450 (45.0)	452 (45.2)	242 (24.2)	100 (10.0)	269 (26.9)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	712 (608.5)	55 (47.0)	79 (67.5)	66 (56.4)	78 (66.7)	80 (68.4)	46 (39.3)	16 (13.7)	41 (35.0)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	548 (559.2)	49 (50.0)	58 (59.2)	55 (56.1)	56 (57.1)	53 (54.1)	34 (34.7)	11 (11.2)	31 (31.6)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	1,747 (493.5)	168 (47.5)	169 (47.7)	168 (47.5)	191 (54.0)	173 (48.9)	96 (27.1)	39 (11.0)	108 (30.5)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	587 (386.2)	61 (40.1)	65 (42.8)	48 (31.6)	49 (32.2)	58 (38.2)	22 (14.5)	13 (8.6)	42 (27.6)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	624 (339.1)	57 (31.0)	64 (34.8)	50 (27.2)	51 (27.7)	60 (32.6)	27 (14.7)	14 (7.6)	37 (20.1)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	224 (269.9)	18 (21.7)	25 (30.1)	15 (18.1)	20 (24.1)	22 (26.5)	13 (15.7)	5 (6.0)	7 (8.4)
	7. 無回答	12 (100.0)	57 (475.0)	3 (25.0)	4 (33.3)	5 (41.7)	5 (41.7)	6 (50.0)	4 (33.3)	2 (16.7)	3 (25.0)

		9. 働く場の 紹介 (あっせ ん)や相 談が充 実して いるこ と	10. 健康管 理が充 実して いるこ と	11. 働きな がら安 心して 通院で できる こと	12. 作業所 など働 く場が 整備さ れている こと	13. 公営住 宅やア パート 、グル ープ ホーム などの 住居が 整備さ れている こと	14. 就労後 の相談 、支援 が適切 に行わ れるよ うな定 着支援 が充実 している こと	15. その他	16. 特に必 要な い	17. 無回答
全 体		249 (24.9)	195 (19.5)	427 (42.7)	171 (17.1)	137 (13.7)	259 (25.9)	34 (3.4)	60 (6.0)	172 (17.2)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	42 (35.9)	30 (25.6)	58 (49.6)	35 (29.9)	21 (17.9)	57 (48.7)	6 (5.1)	1 (0.9)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	34 (34.7)	29 (29.6)	52 (53.1)	19 (19.4)	16 (16.3)	36 (36.7)	5 (5.1)	4 (4.1)	6 (6.1)
	3. 40～64歳	99 (28.0)	74 (20.9)	185 (52.3)	57 (16.1)	57 (16.1)	105 (29.7)	8 (2.3)	17 (4.8)	33 (9.3)
	4. 65～74歳	35 (23.0)	25 (16.4)	61 (40.1)	23 (15.1)	17 (11.2)	23 (15.1)	0 (-)	14 (9.2)	31 (20.4)
	5. 75～84歳	28 (15.2)	27 (14.7)	55 (29.9)	25 (13.6)	15 (8.2)	29 (15.8)	8 (4.3)	15 (8.2)	62 (33.7)
	6. 85歳以上	9 (10.8)	8 (9.6)	11 (13.3)	9 (10.8)	7 (8.4)	6 (7.2)	6 (7.2)	9 (10.8)	34 (41.0)
	7. 無回答	2 (16.7)	2 (16.7)	5 (41.7)	3 (25.0)	4 (33.3)	3 (25.0)	1 (8.3)	0 (-)	5 (41.7)

注:()内はワグブル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」、「作業所など働く場が整備されていること」、「就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること」、精神障害者は「就労条件(個別の状況に応じた対応など)が整っていること」、「生活できる給料がもらえること」、「事業主や職場の仲間の理解があること」、「働きながら安心して通院できること」、「就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が働くために必要なこと(複数回答)(障害種別)

	回答者数	合 計	1. 企業などが積極的に障害のある方を雇うこと	2. 障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること	3. 就労条件(個別の状況に応じた対応など)が整っていること	4. 生活できる給料がもらえること	5. 事業主や職場の仲間の理解があること	6. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること	7. 自営業を希望する障害のある方への支援が充実していること	8. 通勤(交通)手段が確保されていること
全 体	1,000 (100.0)	4,499 (449.9)	411 (41.1)	464 (46.4)	407 (40.7)	450 (45.0)	452 (45.2)	242 (24.2)	100 (10.0)	269 (26.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	2,060 (383.6)	201 (37.4)	226 (42.1)	177 (33.0)	188 (35.0)	213 (39.7)	97 (18.1)	46 (8.6)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	586 (505.2)	50 (43.1)	70 (60.3)	47 (40.5)	57 (49.1)	58 (50.0)	31 (26.7)	13 (11.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	1,739 (552.1)	154 (48.9)	160 (50.8)	172 (54.6)	197 (62.5)	176 (55.9)	105 (33.3)	36 (11.4)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	184 (613.3)	17 (56.7)	18 (60.0)	16 (53.3)	18 (60.0)	17 (56.7)	14 (46.7)	5 (16.7)
	5. 無回答	44 (100.0)	150 (340.9)	10 (22.7)	14 (31.8)	12 (27.3)	13 (29.5)	11 (25.0)	8 (18.2)	4 (9.1)

	9. 働く場の紹介(あっせん)や相談が充実していること	10. 健康管理が充実していること	11. 働きながら安心して通院できること	12. 作業所など働く場が整備されていること	13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること	14. 就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること	15. その他	16. 特に必要ない	17. 無回答
全 体	249 (24.9)	195 (19.5)	427 (42.7)	171 (17.1)	137 (13.7)	259 (25.9)	34 (3.4)	60 (6.0)	172 (17.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	103 (19.2)	88 (16.4)	186 (34.6)	77 (14.3)	56 (10.4)	88 (16.4)	18 (3.4)	35 (6.5)
	2. 知的障害者	25 (21.6)	32 (27.6)	45 (38.8)	32 (27.6)	25 (21.6)	44 (37.9)	4 (3.4)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	108 (34.3)	76 (24.1)	185 (58.7)	56 (17.8)	55 (17.5)	124 (39.4)	11 (3.5)	14 (4.4)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	15 (50.0)	9 (30.0)	19 (63.3)	7 (23.3)	4 (13.3)	10 (33.3)	2 (6.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	7 (15.9)	4 (9.1)	10 (22.7)	8 (18.2)	6 (13.6)	7 (15.9)	1 (2.3)	5 (11.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(5) 福祉サービスについて

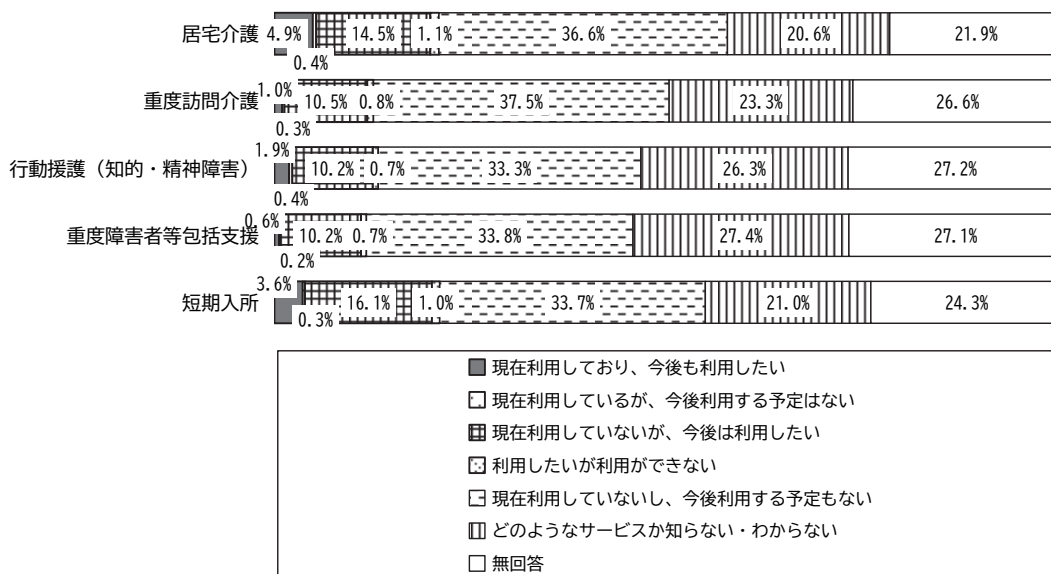
①各福祉サービスの利用状況・利用意向（問 41）

各福祉サービスの利用状況・利用意向については、川口市障害者相談支援センターを除いて、「現在利用していないし、今後利用する予定もない」が最も多くなっています。

■各福祉サービスの利用状況・利用意向

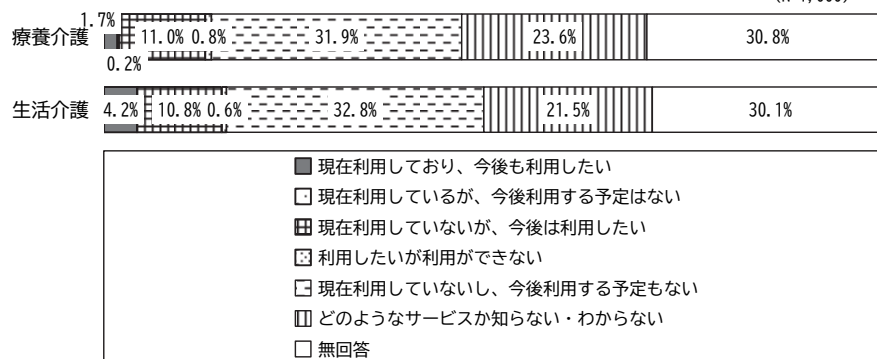
在宅で暮らす方に対して

(N=1,000)



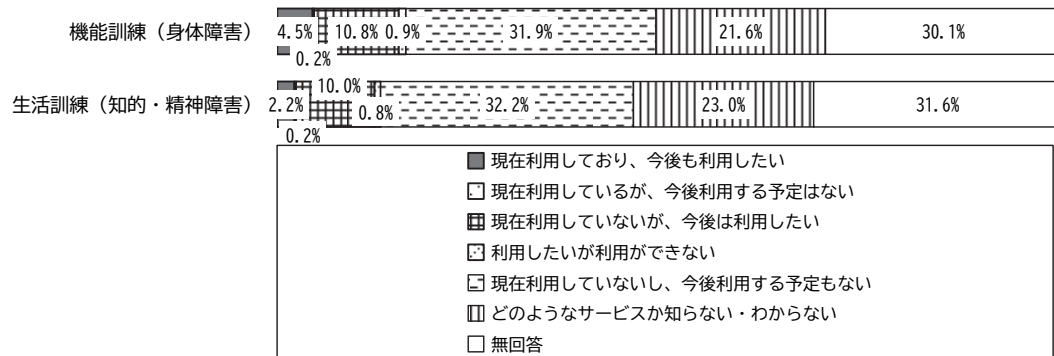
常時介護が必要な方に対して

(N=1,000)



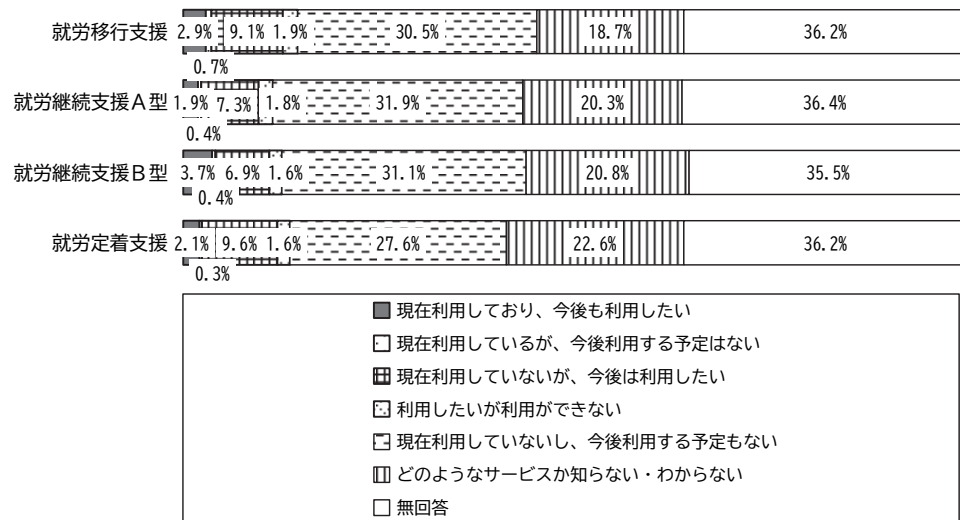
地域での自立生活を希望する方に対して

(N=1,000)



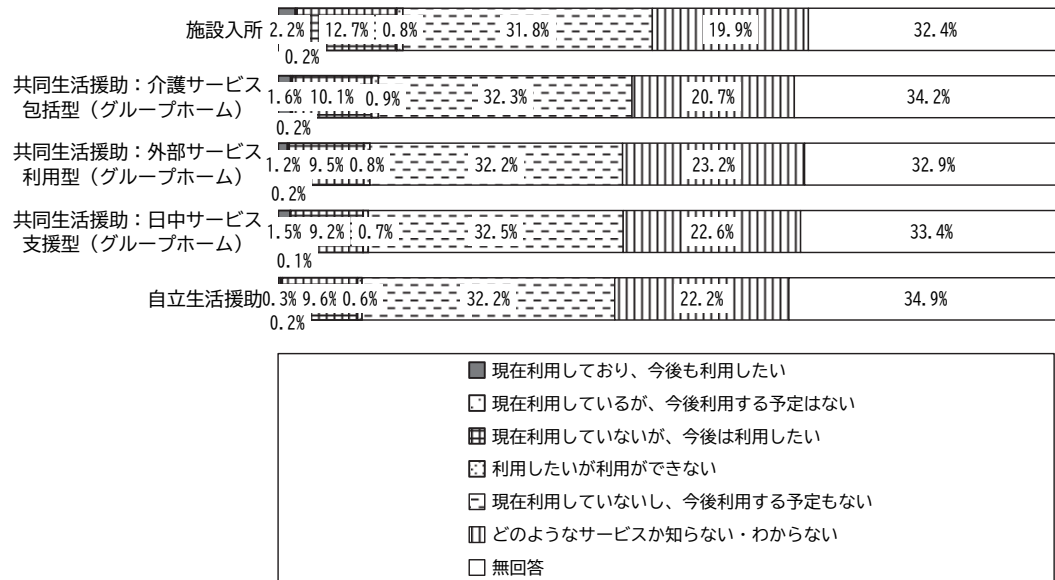
就労を希望する方に対して

(N=1,000)



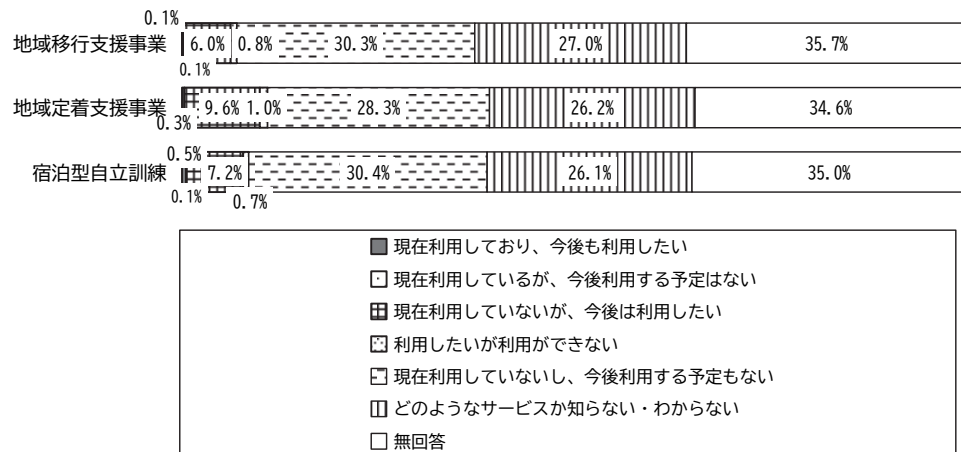
施設入所、居宅支援を希望する方に対して

(N=1,000)



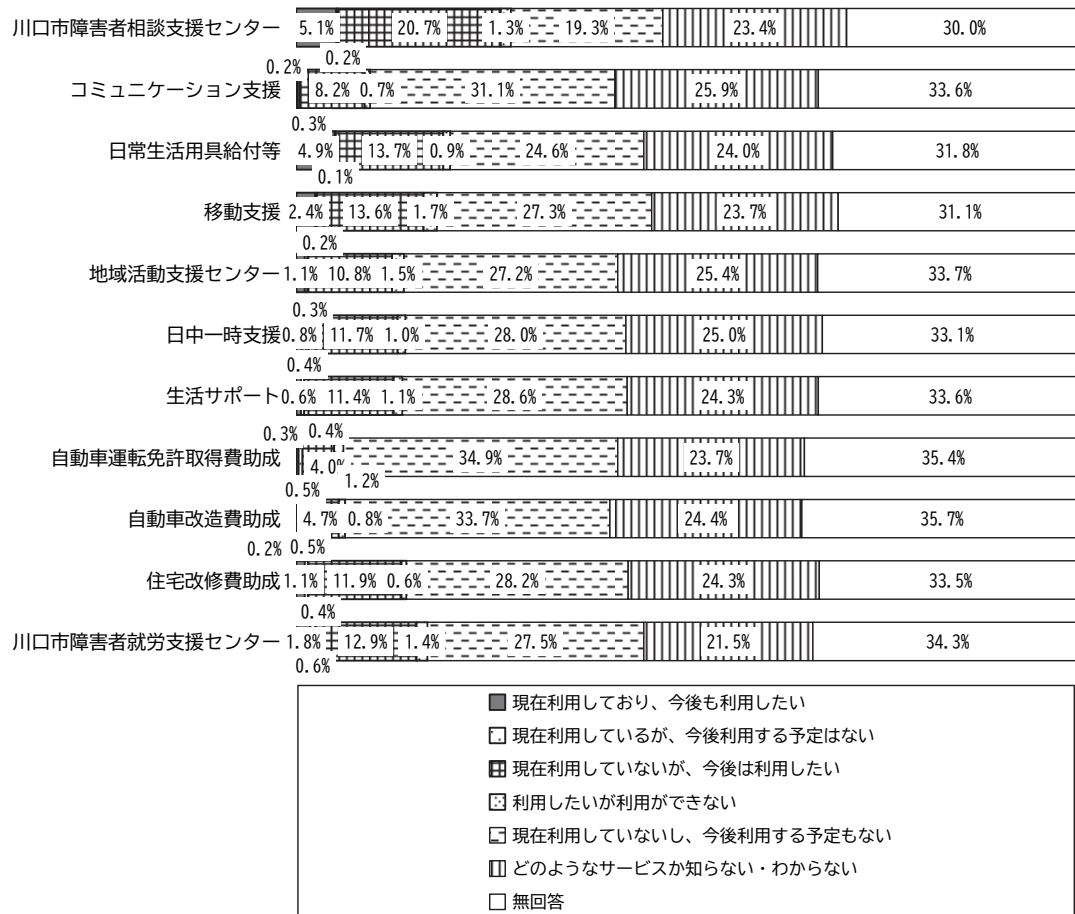
地域での自立生活を希望する方に対して

(N=1,000)



その他の日常生活支援を希望する方に対して

(N=1,000)



各福祉サービスの障害支援区分別の利用状況・利用意向は以下のとおりです。

■居宅介護の利用状況・利用意向（障害支援区分）

	合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していない が、今後 は利用 したい	4. 利用した いが利用 できない	5. 現在利用 していない し、今後 利用する 予定も ない	6. どのよう なサービ スカ知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	49 (4.9)	4 (0.4)	145 (14.5)	11 (1.1)	366 (36.6)	206 (20.6)	219 (21.9)
問 5 障 害 支 援 区 分	1. 区分 1	24 (100.0)	2 (8.3)	0 (-)	3 (12.5)	1 (4.2)	8 (33.3)	2 (33.3)
	2. 区分 2	32 (100.0)	4 (12.5)	0 (-)	2 (6.3)	0 (-)	13 (40.6)	4 (12.5)
	3. 区分 3	12 (100.0)	2 (16.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	0 (-)	3 (25.0)	1 (8.3)
	4. 区分 4	14 (100.0)	2 (14.3)	0 (-)	2 (14.3)	0 (-)	2 (14.3)	2 (42.9)
	5. 区分 5	15 (100.0)	4 (26.7)	0 (-)	2 (13.3)	0 (-)	4 (26.7)	0 (33.3)
	6. 区分 6	32 (100.0)	10 (31.3)	0 (-)	10 (31.3)	1 (3.1)	3 (9.4)	2 (6.3)
	7. 非該当	33 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (9.1)	0 (-)	19 (57.6)	9 (27.3)
	8. 認定審査を受けたことはない	106 (100.0)	2 (1.9)	1 (0.9)	18 (17.0)	1 (0.9)	51 (48.1)	21 (19.8)
	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (100.0)
	10. わからない	527 (100.0)	15 (2.8)	2 (0.4)	72 (13.7)	6 (1.1)	204 (38.7)	138 (26.2)
	11. 無回答	203 (100.0)	8 (3.9)	0 (-)	30 (14.8)	2 (1.0)	59 (29.1)	27 (13.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

■短期入所の利用状況・利用意向（障害支援区分）

	合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していない が、今後 は利用 したい	4. 利用した いが利用 できない	5. 現在利用 していない し、今後 利用する 予定も ない	6. どのよう なサービ スカ知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	36 (3.6)	3 (0.3)	161 (16.1)	10 (1.0)	337 (33.7)	210 (21.0)	243 (24.3)
問 5 障 害 支 援 区 分	1. 区分 1	24 (100.0)	0 (-)	0 (-)	5 (20.8)	1 (4.2)	9 (37.5)	3 (12.5)
	2. 区分 2	32 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (9.4)	0 (-)	13 (40.6)	5 (15.6)
	3. 区分 3	12 (100.0)	2 (16.7)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	4 (33.3)	0 (25.0)
	4. 区分 4	14 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (21.4)	1 (7.1)	2 (14.3)	1 (7.1)
	5. 区分 5	15 (100.0)	2 (13.3)	0 (-)	5 (33.3)	0 (-)	4 (26.7)	0 (26.7)
	6. 区分 6	32 (100.0)	10 (31.3)	0 (-)	13 (40.6)	0 (-)	2 (6.3)	2 (6.3)
	7. 非該当	33 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (9.1)	0 (-)	19 (57.6)	9 (27.3)
	8. 認定審査を受けたことはない	106 (100.0)	1 (0.9)	0 (-)	18 (17.0)	2 (1.9)	43 (40.6)	27 (25.5)
	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (100.0)
	10. わからない	527 (100.0)	17 (3.2)	3 (0.6)	73 (13.9)	3 (0.6)	190 (36.1)	135 (25.6)
	11. 無回答	203 (100.0)	4 (2.0)	0 (-)	35 (17.2)	3 (1.5)	51 (25.1)	28 (13.8)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

■生活介護の利用状況・利用意向（障害支援区分）

	合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していな いが、今 後は利用 したい	4. 利用した いが利用 ができな い	5. 現在利用 していな いし、今 後利用す る予定も ない	6. どのよう なサービ スか知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	42 (4.2)	0 (-)	108 (10.8)	6 (0.6)	328 (32.8)	215 (21.5)	301 (30.1)
問 5 障 害 支 援 区 分	1. 区分1	24 (100.0)	2 (8.3)	0 (-)	4 (16.7)	1 (4.2)	9 (37.5)	2 (8.3)
	2. 区分2	32 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (3.1)	0 (-)	12 (37.5)	7 (21.9)
	3. 区分3	12 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	5 (41.7)	0 (-)
	4. 区分4	14 (100.0)	1 (7.1)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	2 (14.3)	3 (21.4)
	5. 区分5	15 (100.0)	6 (40.0)	0 (-)	0 (6.7)	0 (-)	3 (20.0)	1 (6.7)
	6. 区分6	32 (100.0)	17 (53.1)	0 (-)	2 (6.3)	0 (-)	3 (9.4)	2 (6.3)
	7. 非該当	33 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (9.1)	1 (3.0)	17 (51.5)	10 (30.3)
	8. 認定審査を受けたことはない	106 (100.0)	1 (0.9)	0 (-)	13 (12.3)	1 (0.9)	44 (41.5)	28 (26.4)
	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	10. わからない	527 (100.0)	12 (2.3)	0 (-)	60 (11.4)	1 (0.2)	181 (34.3)	139 (26.4)
	11. 無回答	203 (100.0)	3 (1.5)	0 (-)	20 (9.9)	2 (1.0)	52 (25.6)	23 (11.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

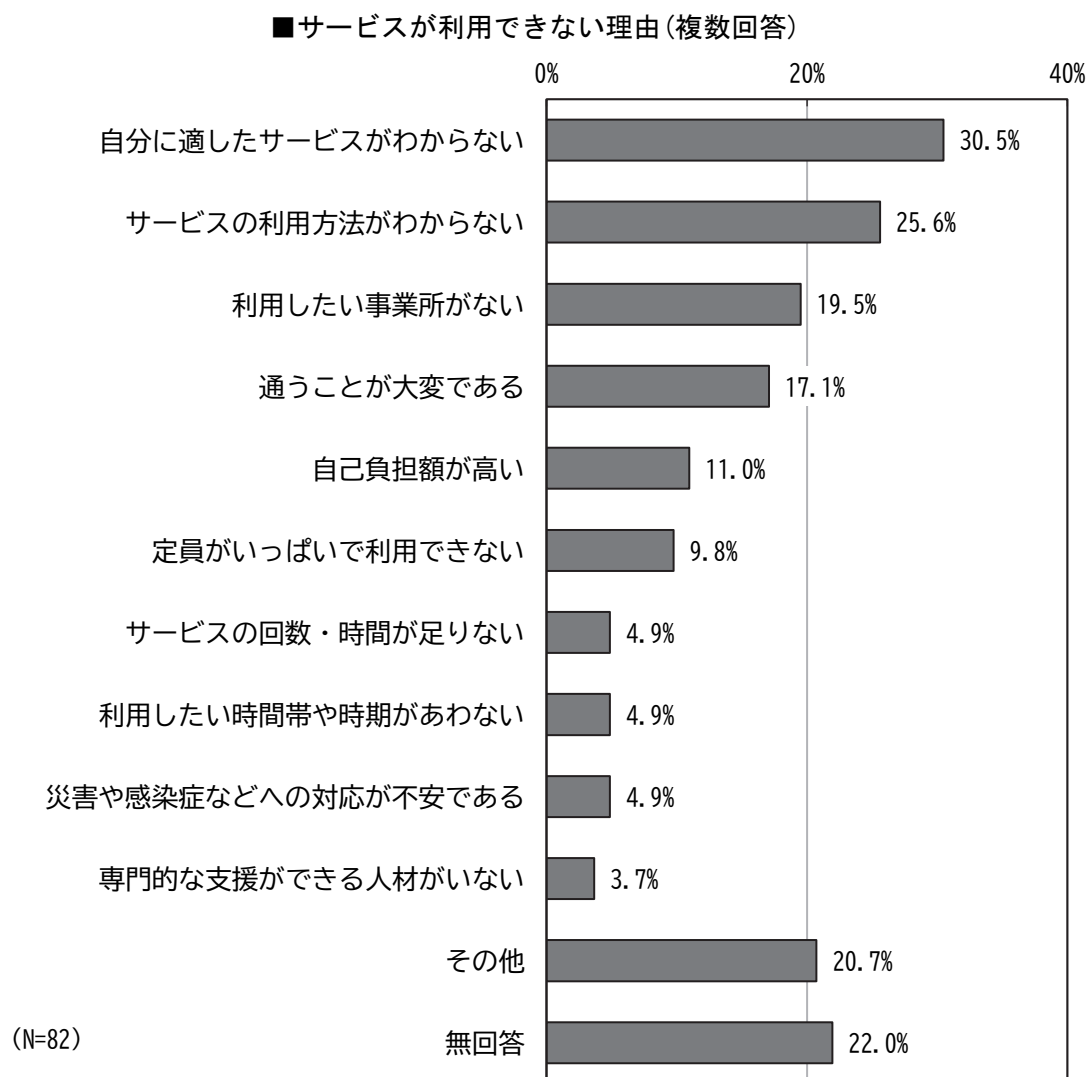
■施設入所の利用状況・利用意向（障害支援区分）

	合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していな いが、今 後は利用 したい	4. 利用した いが利用 ができな い	5. 現在利用 していな いし、今 後利用す る予定も ない	6. どのよう なサービ スか知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	22 (2.2)	2 (0.2)	127 (12.7)	8 (0.8)	318 (31.8)	199 (19.9)	324 (32.4)
問 5 障 害 支 援 区 分	1. 区分1	24 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (12.5)	1 (4.2)	11 (45.8)	1 (4.2)
	2. 区分2	32 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (3.1)	0 (-)	13 (40.6)	5 (15.6)
	3. 区分3	12 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	4 (33.3)	0 (-)
	4. 区分4	14 (100.0)	1 (7.1)	0 (-)	3 (21.4)	1 (7.1)	1 (7.1)	2 (14.3)
	5. 区分5	15 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (20.0)	1 (6.7)	6 (40.0)	1 (6.7)
	6. 区分6	32 (100.0)	2 (6.3)	0 (-)	15 (46.9)	1 (3.1)	4 (12.5)	1 (3.1)
	7. 非該当	33 (100.0)	1 (3.0)	0 (-)	1 (3.0)	0 (-)	16 (48.5)	10 (30.3)
	8. 認定審査を受けたことはない	106 (100.0)	2 (1.9)	0 (-)	14 (13.2)	0 (-)	42 (39.6)	25 (23.6)
	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	10. わからない	527 (100.0)	13 (2.5)	2 (0.4)	60 (11.4)	4 (0.8)	176 (33.4)	129 (24.5)
	11. 無回答	203 (100.0)	3 (1.5)	0 (-)	24 (11.8)	0 (-)	45 (22.2)	25 (12.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②福祉サービスが利用できない理由（問 41-1）

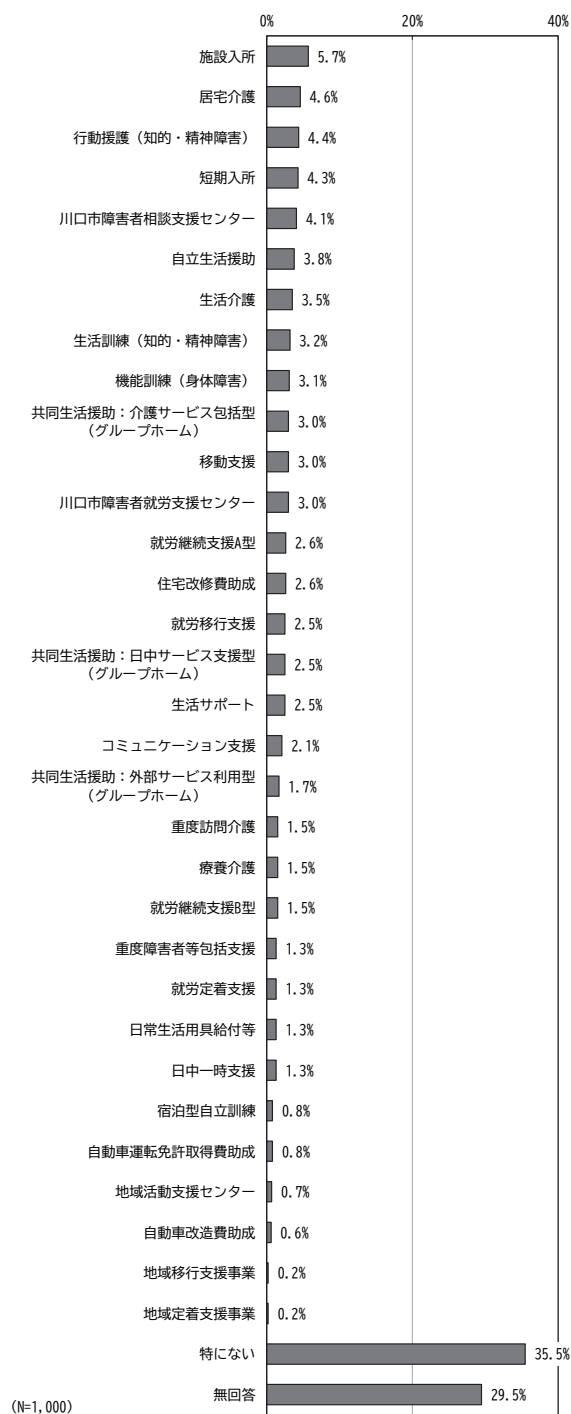
問 41 で 1 つでも「利用したいが利用できない」と回答した方に理由を聞いたところ、「自分に適したサービスがわからない」が 30.5%で最も多く、次いで「サービスの利用方法がわからない」が 25.6%となっています。



③各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの（問 42）

各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うものについては、「特にない」が 35.3%で最も多く、次いで「施設入所」が 5.7%、「居宅介護」が 4.6%、「行動援護（知的・精神障害）」が 4.4%となっています。

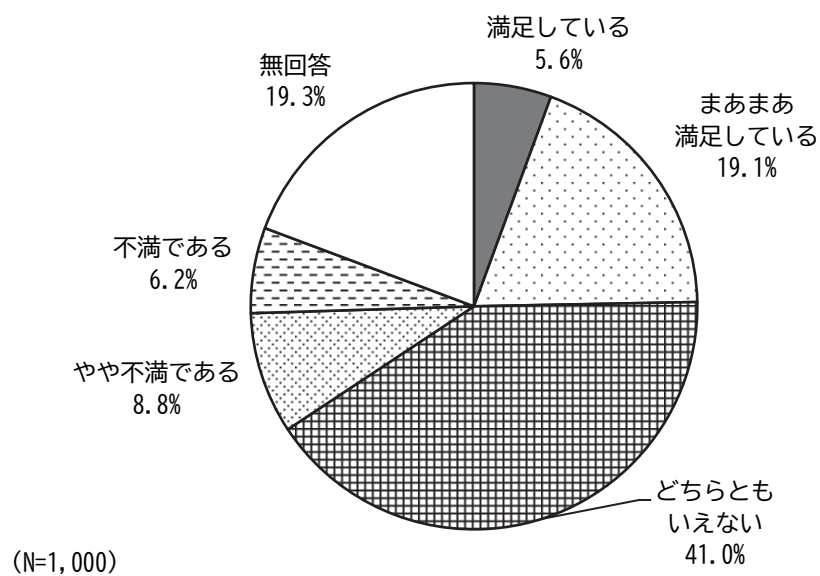
■各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの（3つまで）



④障害者施策についての満足度（問 43）

川口市の障害者施策についての満足度を聞いたところ、「どちらともいえない」が41.0%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が19.1%、「やや不満である」が8.8%となっています。

■障害者施策についての満足度

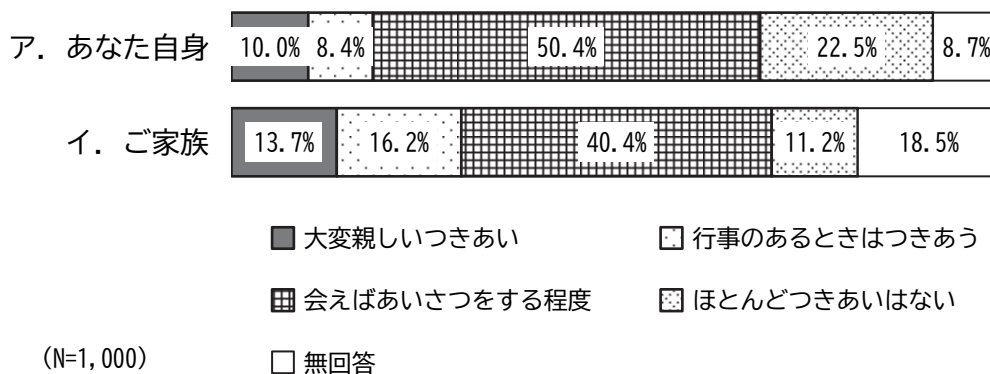


(6) まちづくり・地域生活について

①隣近所とのつきあいの程度 (問 44)

隣近所とのつきあいの程度については、「会えばあいさつをする程度」が最も多くなっています。

■隣近所とのつきあいの程度



あなた自身の隣近所とのつきあいの程度について障害種別にみると、知的障害者は「ほとんどつきあいはない」が全体に比べ多くなっています。

■あなた自身の隣近所とのつきあいの程度 (障害種別)

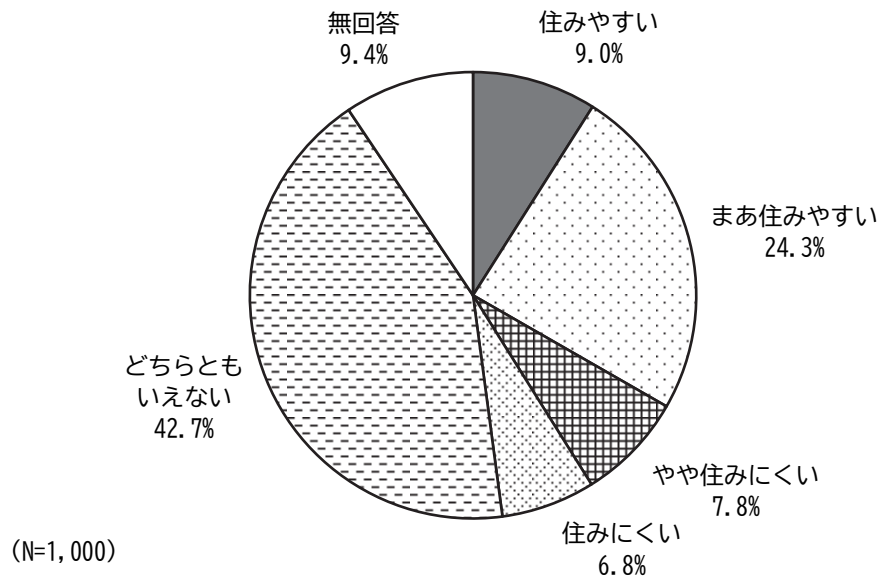
		合 計	1. 大変親しい つきあい	2. 行事のある ときは つきあう	3. 会えばあ いさつを する程度	4. ほとんど つきあい はない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	100 (10.0)	84 (8.4)	504 (50.4)	225 (22.5)	87 (8.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	71 (13.2)	60 (11.2)	265 (49.3)	84 (15.6)	57 (10.6)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	11 (9.5)	3 (2.6)	56 (48.3)	42 (36.2)	4 (3.4)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	14 (4.4)	20 (6.3)	162 (51.4)	102 (32.4)	17 (5.4)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	2 (6.7)	1 (3.3)	24 (80.0)	3 (10.0)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	7 (15.9)	3 (6.8)	14 (31.8)	10 (22.7)	10 (22.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②障害者にとっての川口市の住みやすさ（問 45）

障害者にとっての川口市の住みやすさについては、「どちらともいえない」が 42.7%で最も多く、次いで「まあ住みやすい」が 24.3%、「住みやすい」が 9.0%となっています。

■障害者にとっての川口市の住みやすさ



経年変化をみても、前回と同じ傾向となっています。

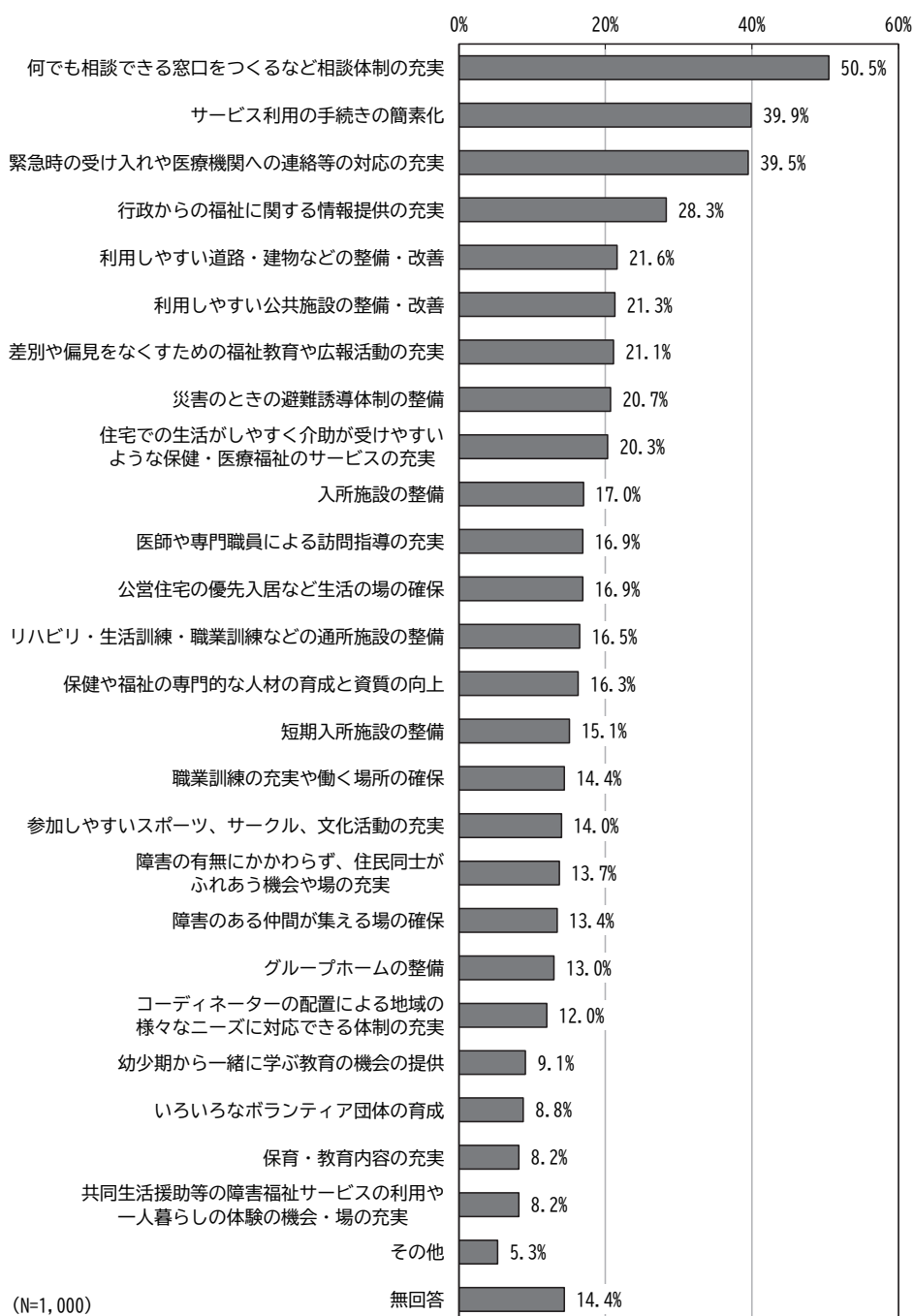
■障害者にとっての川口市の住みやすさ（経年比較）

	合 計	1. 住みやす い	2. まあ住み やすい	3. やや住み にくい	4. 住みにく い	5. どちらと もいえない	6. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	90 (9.0)	243 (24.3)	78 (7.8)	68 (6.8)	427 (42.7)	94 (9.4)
令和2年度	1,066 (100.0)	117 (11.0)	246 (23.1)	96 (9.0)	63 (5.9)	449 (42.1)	95 (8.9)

③障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（問 46）

障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が50.5%で最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が39.9%、「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」が39.5%となっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）



年齢別にみると、18～29歳は「サービス利用の手続きの簡素化」、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」、「参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実」、「短期入所施設の整備」、「入所施設の整備」、「グループホームの整備」、「幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供」、「共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実」、「職業訓練の充実や働く場所の確保」、「障害のある仲間が集える場の確保」、「障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実」、「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」、30～39歳は「サービス利用の手続きの簡素化」、「利用しやすい公共施設の整備・改善」、「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」が全体に比べ多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	3. サービス利用の手続きの簡素化	4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実	7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	8. いろいろなボランティア団体の育成	9. 住宅での生活がしやすいよう保健・医療福祉のサービスの充実	10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	11. 短期入所施設の整備	12. 入所施設の整備	13. グループホームの整備
全 体	1,000 (100.0)	4,964 (496.4)	505 (50.5)	395 (39.5)	399 (39.9)	283 (28.3)	163 (16.3)	120 (12.0)	140 (14.0)	88 (8.8)	203 (20.3)	169 (16.9)	151 (15.1)	170 (17.0)	130 (13.0)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	831 (710.3)	70 (59.8)	48 (41.0)	60 (51.3)	46 (39.3)	28 (23.9)	22 (18.8)	30 (25.6)	12 (10.3)	24 (20.5)	17 (14.5)	30 (25.6)	37 (31.6)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	612 (624.5)	53 (54.1)	45 (45.9)	52 (53.1)	35 (35.7)	25 (25.5)	16 (16.3)	17 (17.3)	13 (13.3)	19 (19.4)	16 (16.3)	19 (19.4)	21 (19.4)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	1,899 (536.4)	192 (54.2)	139 (39.3)	152 (42.9)	109 (30.8)	68 (19.2)	55 (15.5)	48 (13.6)	34 (9.6)	75 (21.2)	67 (18.9)	54 (15.3)	63 (17.8)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	618 (406.6)	70 (46.1)	54 (35.5)	55 (36.2)	41 (27.0)	18 (11.8)	12 (7.9)	20 (13.2)	11 (7.2)	26 (17.1)	24 (15.8)	22 (14.5)	21 (13.8)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	703 (382.1)	88 (47.8)	76 (41.3)	52 (28.3)	35 (19.0)	16 (8.7)	8 (4.3)	19 (10.3)	12 (6.5)	47 (25.5)	30 (16.3)	18 (9.8)	23 (12.5)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	230 (277.1)	27 (32.5)	28 (33.7)	24 (28.9)	12 (14.5)	6 (7.2)	4 (4.8)	4 (4.8)	4 (12.0)	10 (13.3)	11 (8.4)	7 (3.6)	3 (1.2)
	7. 無回答	12 (100.0)	71 (591.7)	5 (41.7)	5 (41.7)	4 (33.3)	5 (41.7)	2 (16.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	2 (33.3)	4 (8.3)	1 (16.7)	3 (25.0)

	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供	16. 保育・教育内容の充実	17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保	19. 障害のある仲間が集える場の確保	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保	24. 災害のときの避難誘導体制の整備	25. 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実	26. その他	27. 無回答
全 体	165 (16.5)	91 (9.1)	82 (8.2)	82 (8.2)	144 (14.4)	134 (13.4)	213 (21.3)	137 (13.7)	216 (21.6)	169 (16.9)	207 (20.7)	211 (21.1)	53 (5.3)	144 (14.4)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	30 (25.6)	30 (25.6)	18 (15.4)	24 (20.5)	37 (31.6)	30 (25.6)	34 (29.1)	30 (25.6)	27 (23.1)	21 (17.9)	30 (25.6)	50 (42.7)	8 (6.8)
	2. 30～39歳	20 (20.4)	12 (12.2)	12 (12.2)	9 (9.2)	23 (23.5)	17 (17.3)	31 (31.6)	17 (17.3)	29 (29.6)	22 (22.4)	24 (24.5)	33 (33.7)	7 (7.1)
	3. 40～64歳	56 (15.8)	35 (9.9)	36 (10.2)	38 (10.7)	64 (18.1)	50 (14.1)	77 (21.8)	45 (12.7)	91 (25.7)	79 (22.3)	81 (22.9)	81 (22.9)	20 (5.6)
	4. 65～74歳	23 (15.1)	5 (3.3)	6 (3.9)	5 (3.3)	10 (6.6)	16 (10.5)	27 (17.8)	12 (7.9)	29 (19.1)	26 (17.1)	25 (16.4)	17 (11.2)	5 (3.3)
	5. 75～84歳	28 (15.2)	8 (4.3)	8 (4.3)	5 (2.7)	6 (3.3)	16 (8.7)	31 (16.8)	23 (12.5)	27 (14.7)	14 (7.6)	32 (17.4)	22 (12.0)	9 (4.9)
	6. 85歳以上	7 (8.4)	0 (-)	1 (1.2)	0 (-)	2 (2.4)	2 (2.4)	11 (13.3)	6 (7.2)	10 (12.0)	5 (6.0)	13 (15.7)	4 (4.8)	3 (3.6)
	7. 無回答	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	2 (16.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	4 (33.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	2 (33.3)	4 (8.3)	1 (33.3)

注：()内はワット数数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「短期入所施設の整備」、「入所施設の整備」、「グループホームの整備」、「共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実」、「差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実」が全体に比べて多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（５つまで）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	3. サービスの利用の継続性の向上	4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	6. コーディネーターの配置による地域の様々ニーズに対応できる体制の充実	7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	8. いろいろなボランティア団体の育成	9. 住宅での生活がしやすいよう介助が受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実	10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	11. 短期入所施設の整備	12. 入所施設の整備	13. グループホームの整備
全 体	1,000 (100.0)	4,964 (496.4)	505 (50.5)	395 (39.5)	399 (39.9)	283 (28.3)	163 (16.3)	120 (12.0)	140 (14.0)	88 (8.8)	203 (20.3)	169 (16.9)	151 (15.1)	170 (17.0)	130 (13.0)
問 3	537 (100.0)	2,307 (429.6)	241 (44.9)	226 (42.1)	196 (36.5)	136 (25.3)	57 (10.6)	50 (9.3)	62 (11.5)	38 (7.1)	117 (21.8)	86 (16.0)	68 (12.7)	77 (14.3)	38 (7.1)
障 害 種 別	116 (100.0)	722 (622.4)	61 (52.6)	48 (41.4)	51 (44.0)	31 (26.7)	24 (20.7)	17 (14.7)	22 (19.0)	7 (6.0)	20 (17.2)	16 (13.8)	43 (37.1)	46 (39.7)	40 (34.5)
1. 身体障害者	315 (100.0)	1,806 (573.3)	188 (59.7)	115 (36.5)	141 (44.8)	110 (34.9)	76 (24.1)	50 (15.9)	55 (17.5)	35 (11.1)	63 (20.0)	57 (18.1)	42 (13.3)	50 (15.9)	53 (16.8)
2. 知的障害者	30 (100.0)	192 (640.0)	18 (60.0)	13 (43.3)	16 (53.3)	10 (33.3)	5 (16.7)	7 (23.3)	4 (13.3)	6 (20.0)	7 (23.3)	9 (30.0)	4 (13.3)	3 (10.0)	3 (10.0)
3. 精神障害者	44 (100.0)	211 (479.5)	18 (40.9)	14 (31.8)	11 (25.0)	7 (15.9)	6 (13.6)	5 (11.4)	6 (13.6)	6 (13.6)	9 (20.5)	9 (20.5)	9 (20.5)	5 (11.4)	7 (15.9)
4. 上記の手帳や自立支援医療はない															
5. 無回答															

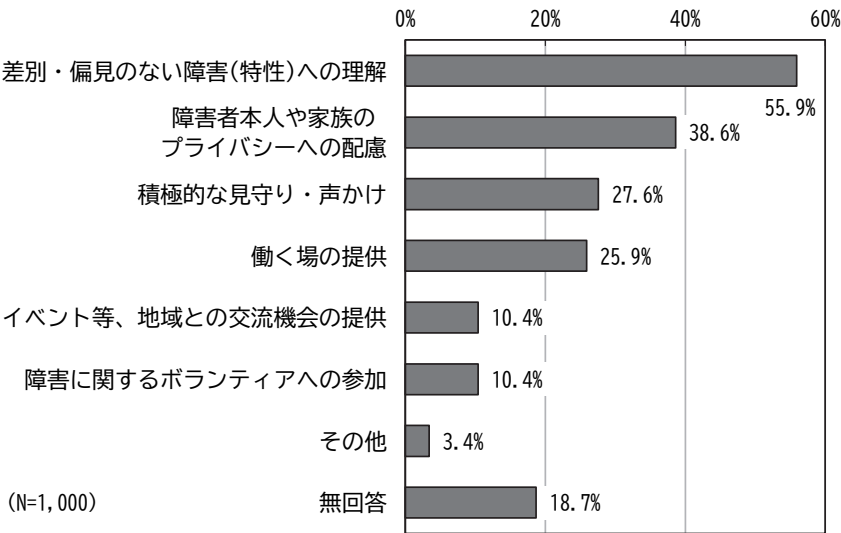
	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の提供	16. 保育・教育内容の充実	17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保	19. 障害のある仲間が集える場の確保	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保	24. 災害のときの避難誘導体制の整備	25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実	26. その他	27. 無回答
全 体	165 (16.5)	91 (9.1)	82 (8.2)	82 (8.2)	144 (14.4)	134 (13.4)	213 (21.3)	137 (13.7)	216 (21.6)	169 (16.9)	207 (20.7)	211 (21.1)	53 (5.3)	144 (14.4)
問 3	88 (16.4)	28 (5.2)	29 (5.4)	22 (4.1)	42 (7.8)	48 (8.9)	105 (19.6)	61 (11.4)	114 (21.2)	70 (13.0)	114 (21.2)	72 (13.4)	20 (3.7)	102 (19.0)
障 害 種 別	24 (20.7)	19 (16.4)	10 (8.6)	22 (19.0)	21 (18.1)	24 (20.7)	29 (25.0)	26 (22.4)	23 (19.8)	16 (13.8)	31 (26.7)	43 (37.1)	3 (2.6)	5 (4.3)
1. 身体障害者	50 (15.9)	37 (11.7)	34 (10.8)	37 (11.7)	76 (24.1)	61 (19.4)	74 (23.5)	47 (14.9)	74 (23.5)	77 (24.4)	59 (18.7)	92 (29.2)	29 (9.2)	24 (7.6)
2. 知的障害者	7 (23.3)	5 (16.7)	7 (23.3)	3 (10.0)	7 (23.3)	6 (20.0)	10 (33.3)	6 (20.0)	11 (36.7)	7 (23.3)	7 (23.3)	10 (33.3)	1 (3.3)	0 (-)
3. 精神障害者	7 (15.9)	6 (13.6)	5 (11.4)	4 (9.1)	5 (11.4)	8 (18.2)	8 (18.2)	8 (18.2)	7 (15.9)	5 (11.4)	10 (22.7)	6 (13.6)	4 (9.1)	16 (36.4)
4. 上記の手帳や自立支援医療はない														
5. 無回答														

注：()内は割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（問 47）

障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待することについては、「差別・偏見のない障害(特性)への理解」が 55.9%で最も多く、次いで「障害者本人や家族のプライバシーへの配慮」が 38.6%、「積極的な見守り・声かけ」が 27.6%となっています。

■障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（複数回答）



年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳は「差別・偏見のない障害(特性)への理解」、「働く場の提供」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（複数回答）

（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 差別・偏見のない 障害（特 性）への 理解	2. 障害者本 人や家族 のプライ バシーへの 配慮	3. 積極的な 見守り・ 声かけ	4. イベント 等、地域 との交流 機会の提 供	5. 障害に関 するボラ ンティア への参加	6. 働く場の 提供	7. その他	8. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	1,909 (190.9)	559 (55.9)	386 (38.6)	276 (27.6)	104 (10.4)	104 (10.4)	259 (25.9)	34 (3.4)	187 (18.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	283 (100.0)	97 (82.9)	56 (47.9)	37 (31.6)	17 (14.5)	14 (12.0)	58 (49.6)	3 (2.6)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	66 (67.3)	39 (39.8)	31 (31.6)	13 (13.3)	15 (15.3)	37 (37.8)	6 (6.1)	9 (9.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	225 (63.6)	150 (42.4)	76 (21.5)	35 (9.9)	38 (10.7)	118 (33.3)	9 (2.5)	46 (13.0)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	72 (47.4)	52 (34.2)	41 (27.0)	19 (12.5)	16 (10.5)	28 (18.4)	6 (3.9)	35 (23.0)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	65 (35.3)	64 (34.8)	62 (33.7)	14 (7.6)	12 (6.5)	12 (6.5)	6 (3.3)	62 (33.7)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	28 (33.7)	20 (24.1)	27 (32.5)	5 (6.0)	7 (8.4)	5 (6.0)	3 (3.6)	29 (34.9)
	7. 無回答	12 (100.0)	6 (50.0)	5 (41.7)	2 (16.7)	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	5 (41.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「差別・偏見のない障害(特性)への理解」、精神障害者は「差別・偏見のない障害(特性)への理解」、「働く場の提供」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること(複数回答)
(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 差別・偏見のない 障害(特性)への 理解	2. 障害者本人や家族 のブライバシーへの 配慮	3. 積極的な 見守り・ 声かけ	4. イベント 等、地域 との交流 機会の提 供	5. 障害に関 するボラ ンティア への参加	6. 働く場の 提供	7. その他	8. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	1,909 (190.9)	559 (55.9)	386 (38.6)	276 (27.6)	104 (10.4)	104 (10.4)	259 (25.9)	34 (3.4)	187 (18.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	929 (173.0)	253 (47.1)	180 (33.5)	153 (28.5)	53 (9.9)	50 (9.3)	86 (16.0)	17 (3.2)	137 (25.5)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	256 (220.7)	89 (76.7)	46 (39.7)	39 (33.6)	20 (17.2)	21 (18.1)	31 (26.7)	2 (1.7)	8 (6.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	682 (216.5)	216 (68.6)	149 (47.3)	75 (23.8)	31 (9.8)	34 (10.8)	134 (42.5)	14 (4.4)	29 (9.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	70 (233.3)	22 (73.3)	18 (60.0)	7 (23.3)	4 (13.3)	5 (16.7)	13 (43.3)	1 (3.3)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	73 (165.9)	13 (29.5)	12 (27.3)	17 (38.6)	4 (9.1)	4 (9.1)	5 (11.4)	2 (4.5)	16 (36.4)

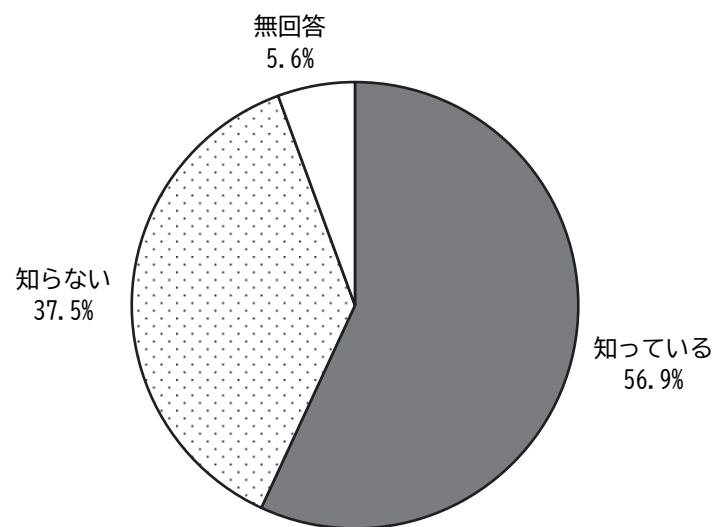
注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(7) 災害時について

①災害時の避難先の認知（問 48）

災害時の避難先の認知については、「知っている」が 56.9%、「知らない」が 37.5%となっています。

■災害時の避難先の認知



(N=1,000)

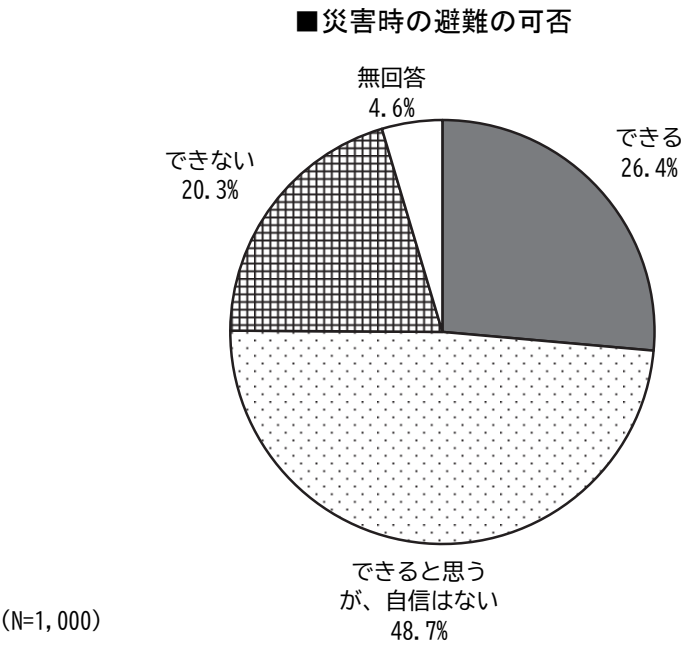
経年変化をみると、前回より「知っている」が少なくなり、「知らない」が増えています。

■災害時の避難先の認知（経年変化）

	合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	569 (56.9)	375 (37.5)	56 (5.6)
令和2年度	1,066 (100.0)	628 (58.9)	383 (35.9)	55 (5.2)

②災害時の避難の可否（問 49）

災害時の避難の可否については、「できると思うが、自信はない」が 48.7%で最も多く、次いで「できる」が 26.4%、「できない」が 20.3%となっています。



年齢別にみると、18～29 歳は「できると思うが、自信はない」、85 歳以上は「できない」が全体に比べ多くなっています。

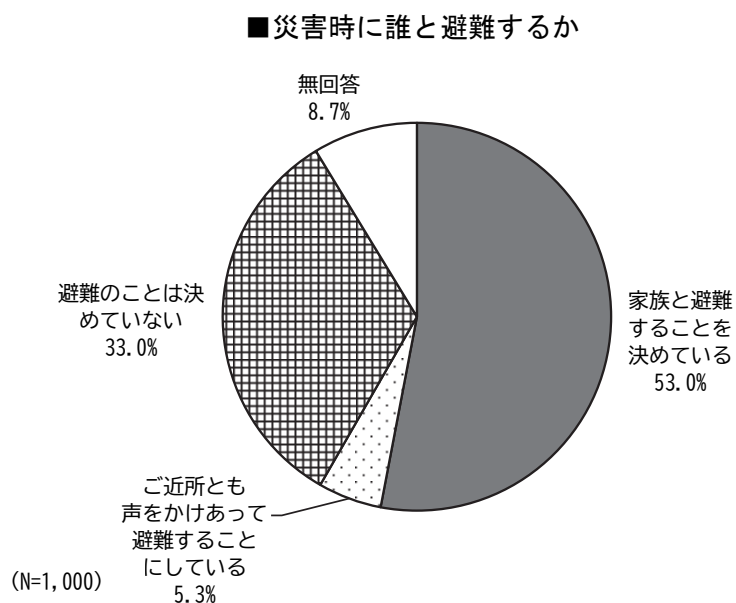
■災害時の避難の可否（年齢別）

		合 計	1. できる	2. できると思うが、 自信はない	3. できない	4. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	264 (26.4)	487 (48.7)	203 (20.3)	46 (4.6)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	28 (23.9)	73 (62.4)	15 (12.8)	1 (0.9)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	25 (25.5)	48 (49.0)	24 (24.5)	1 (1.0)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	117 (33.1)	158 (44.6)	62 (17.5)	17 (4.8)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	38 (25.0)	74 (48.7)	31 (20.4)	9 (5.9)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	45 (24.5)	87 (47.3)	40 (21.7)	12 (6.5)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	9 (10.8)	39 (47.0)	30 (36.1)	5 (6.0)
	7. 無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	8 (66.7)	1 (8.3)	1 (8.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③災害時に誰と避難するか（問 50）

災害時に誰と避難するかについては、「家族と避難することを決めている」が 53.0%で最も多く、次いで「避難のことは決めていない」が 33.0%、「ご近所とも声をかけあって避難することになっている」が 5.3%となっています。



年齢別にみると、18～29 歳は「家族と避難することを決めている」が全体に比べ多くなっています。

■災害時に誰と避難するか（年齢別）

		合 計	1. 家族と避難 することを決 めている	2. ご近所と も声をか けあって 避難する ことにし ている	3. 避難のこ とは決め ていない	4. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	530 (53.0)	53 (5.3)	330 (33.0)	87 (8.7)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	75 (64.1)	2 (1.7)	36 (30.8)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	54 (55.1)	3 (3.1)	39 (39.8)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	173 (48.9)	20 (5.6)	134 (37.9)	27 (7.6)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	75 (49.3)	8 (5.3)	52 (34.2)	17 (11.2)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	105 (57.1)	13 (7.1)	46 (25.0)	20 (10.9)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	42 (50.6)	6 (7.2)	21 (25.3)	14 (16.9)
	7. 無回答	12 (100.0)	6 (50.0)	1 (8.3)	2 (16.7)	3 (25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「家族と避難することを決めている」、精神障害者は「避難のことは決めている」が全体に比べ多くなっています。

■災害時に誰と避難するか（障害種別）

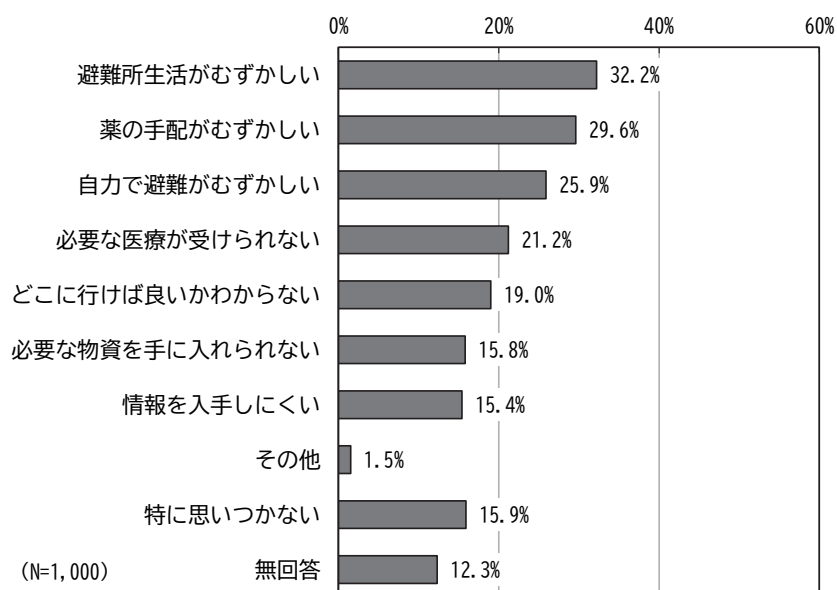
		合 計	1. 家族と避難 することを決 めている	2. ご近所と も声をかけ あって避難 することに している	3. 避難のこ とは決め ていない	4. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	530 (53.0)	53 (5.3)	330 (33.0)	87 (8.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	299 (55.7)	28 (5.2)	154 (28.7)	56 (10.4)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	85 (73.3)	3 (2.6)	21 (18.1)	7 (6.0)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	142 (45.1)	16 (5.1)	141 (44.8)	16 (5.1)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	15 (50.0)	3 (10.0)	12 (40.0)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	17 (38.6)	5 (11.4)	11 (25.0)	11 (25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なこと（問 51）

大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なことについては、「避難所生活がむずかしい」が32.2%で最も多く、次いで「薬の手配がむずかしい」が29.6%、「自力で避難がむずかしい」が25.9%となっています。

■大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なこと（複数回答）



年齢別にみると、30～39歳は「薬の手配がむずかしい」、85歳以上は「自力で避難がむずかしい」が全体に比べ多くなっています。

■大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なこと（複数回答）（年齢別）

		回答者数	合 計	1. 自力で避難がむずかしい	2. 避難所生活がむずかしい	3. 薬の手配がむずかしい	4. 情報を入りにくい	5. 必要な医療が受けられない	6. 必要な物資を手に入れられない	7. どこに行けば良いかわからない	8. その他	9. 特に思いつかない	10. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	1,888 (188.8)	259 (25.9)	322 (32.2)	296 (29.6)	154 (15.4)	212 (21.2)	158 (15.8)	190 (19.0)	15 (1.5)	159 (15.9)	123 (12.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	216 (184.6)	26 (22.2)	38 (32.5)	44 (37.6)	18 (15.4)	22 (18.8)	12 (10.3)	22 (18.8)	2 (1.7)	27 (23.1)	5 (4.3)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	206 (210.2)	27 (27.6)	41 (41.8)	44 (44.9)	14 (14.3)	21 (21.4)	19 (19.4)	20 (20.4)	0 (-)	13 (13.3)	7 (7.1)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	698 (197.2)	73 (20.6)	120 (33.9)	111 (31.4)	69 (19.5)	78 (22.0)	68 (19.2)	72 (20.3)	11 (3.1)	66 (18.6)	30 (8.5)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	277 (182.2)	34 (22.4)	48 (31.6)	43 (28.3)	19 (12.5)	34 (22.4)	25 (16.4)	29 (19.1)	0 (-)	23 (15.1)	22 (14.5)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	323 (175.5)	62 (33.7)	42 (22.8)	41 (22.3)	21 (11.4)	40 (21.7)	23 (12.5)	32 (17.4)	1 (0.5)	22 (12.0)	39 (21.2)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	148 (178.3)	36 (43.4)	29 (34.9)	12 (14.5)	11 (13.3)	14 (16.9)	10 (12.0)	14 (16.9)	1 (1.2)	5 (6.0)	16 (19.3)
	7. 無回答	12 (100.0)	20 (166.7)	1 (8.3)	4 (33.3)	1 (8.3)	2 (16.7)	3 (25.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	3 (25.0)	4 (33.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「自力で避難がむずかしい」、「避難所生活がむずかしい」、精神障害者は「薬の手配がむずかしい」が全体に比べ多くなっています。

■大規模な災害が起きた場合に障害があるがゆえに心配なこと（複数回答）（障害種別）

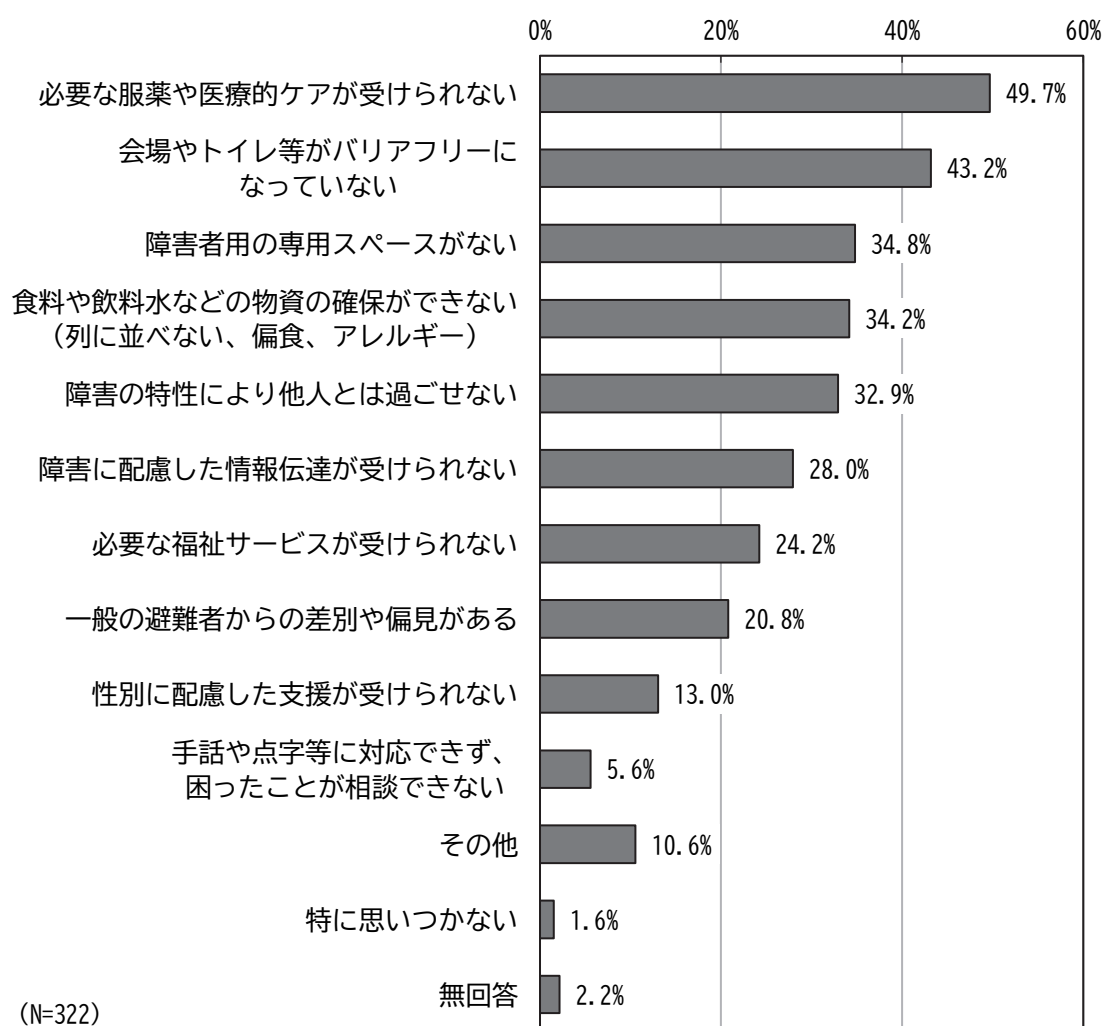
		回答者数	合 計	1. 自力で避難がむずかしい	2. 避難所生活がむずかしい	3. 薬の手配がむずかしい	4. 情報を入力しにくい	5. 必要な医療が受けられない	6. 必要な物資を手に入れられない	7. どこに行けば良いかわからない	8. その他	9. 特に思いつかない	10. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	1,888 (188.8)	259 (25.9)	322 (32.2)	296 (29.6)	154 (15.4)	212 (21.2)	158 (15.8)	190 (19.0)	15 (1.5)	159 (15.9)	123 (12.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	1,041 (193.9)	180 (33.5)	182 (33.9)	140 (26.1)	72 (13.4)	133 (24.8)	91 (16.9)	97 (18.1)	7 (1.3)	58 (10.8)	81 (15.1)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	262 (225.9)	55 (47.4)	51 (44.0)	30 (25.9)	28 (24.1)	21 (18.1)	23 (19.8)	31 (26.7)	2 (1.7)	15 (12.9)	6 (5.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	579 (183.8)	34 (10.8)	86 (27.3)	138 (43.8)	55 (17.5)	65 (20.6)	48 (15.2)	59 (18.7)	5 (1.6)	64 (20.3)	25 (7.9)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	30 (100.0)	41 (136.7)	4 (13.3)	5 (16.7)	3 (10.0)	2 (6.7)	4 (13.3)	2 (6.7)	2 (6.7)	1 (3.3)	17 (56.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	71 (161.4)	12 (27.3)	16 (36.4)	6 (13.6)	2 (4.5)	3 (6.8)	3 (6.8)	9 (20.5)	0 (-)	8 (18.2)	12 (27.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤避難所生活で不安なこと（問 51 - 1）

問 51 で「避難所生活が難しい」と回答した方に、避難所生活で不安なことをきいたところ、「必要な服薬や医療的ケアが受けられない」が 49.7%で最も多く、次いで「会場やトイレ等がバリアフリーになっていない」が 43.2%、「障害者用の専用スペースがない」が 34.8%となっています。

■避難所生活で不安なこと（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「会場やトイレ等がバリアフリーになっていない」、知的障害者は「障害の特性により他人とは過ごせない」、「一般の避難者からの差別や偏見がある」、「障害者用の専用スペースがない」、精神障害者は「必要な服薬や医療的ケアが受けられない」、「障害の特性により他人とは過ごせない」が全体に比べ多くなっています。

■避難所生活で不安なこと(複数回答)(障害種別)

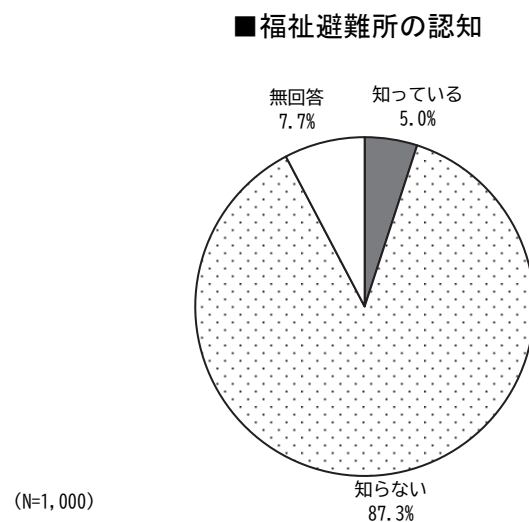
		回答者数	合 計	1. 会場やトイレ等がバリアフリーになっていない	2. 性別に配慮した支援が受けられない	3. 手話や点字等に対応できず、困ったことが相談できない	4. 障害に配慮した情報伝達が受けられない	5. 必要な福祉サービスが受けられない	6. 必要な服薬や医療的ケアが受けられない
全 体		322 (100.0)	968 (300.6)	139 (43.2)	42 (13.0)	18 (5.6)	90 (28.0)	78 (24.2)	160 (49.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	182 (100.0)	554 (304.4)	108 (59.3)	19 (10.4)	11 (6.0)	48 (26.4)	48 (26.4)	90 (49.5)
	2. 知的障害者	51 (100.0)	181 (354.9)	14 (27.5)	8 (15.7)	3 (5.9)	17 (33.3)	14 (27.5)	20 (39.2)
	3. 精神障害者	86 (100.0)	264 (307.0)	15 (17.4)	19 (22.1)	4 (4.7)	27 (31.4)	18 (20.9)	53 (61.6)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	5 (100.0)	13 (260.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	2 (40.0)
	5. 無回答	16 (100.0)	36 (225.0)	7 (43.8)	1 (6.3)	1 (6.3)	5 (31.3)	2 (12.5)	5 (31.3)

		7. 障害の特性により他人とは過ごせない	8. 一般の避難者からの差別や偏見がある	9. 障害者用の専用スペースがない	10. 食料や飲料水などの物資の確保ができない (列に並べない、偏食、アレルギー)	11. その他	12. 特に思いつかない	13. 無回答
全 体		106 (32.9)	67 (20.8)	112 (34.8)	110 (34.2)	34 (10.6)	5 (1.6)	7 (2.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	35 (19.2)	28 (15.4)	75 (41.2)	66 (36.3)	17 (9.3)	5 (2.7)	4 (2.2)
	2. 知的障害者	30 (58.8)	21 (41.2)	28 (54.9)	21 (41.2)	4 (7.8)	0 (-)	1 (2.0)
	3. 精神障害者	47 (54.7)	23 (26.7)	18 (20.9)	27 (31.4)	13 (15.1)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	2 (12.5)	2 (12.5)	3 (18.8)	5 (31.3)	1 (6.3)	0 (-)	2 (12.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

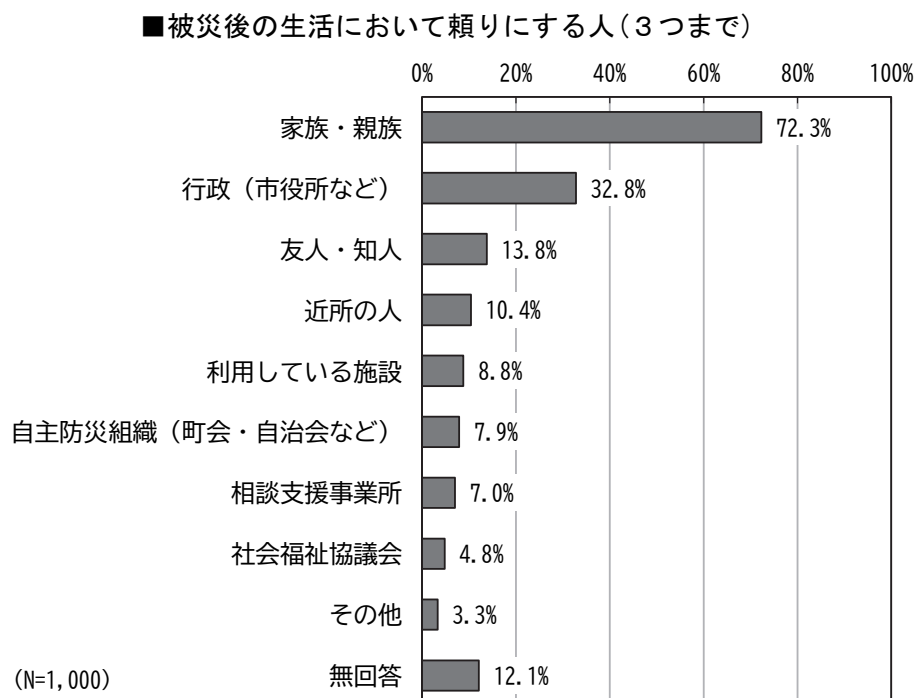
⑥福祉避難所の認知（問 52）

福祉避難所の認知については、「知らない」が 87.3%、「知っている」が 5.0%となっています。



⑦被災後の生活において頼りにする人（問 53）

被災後の生活において頼りにする人については、「家族・親族」が 72.3%で最も多く、次いで「行政(市役所など)」が 32.8%、「友人・知人」が 13.8%となっています。



年齢別にみると、18～29 歳は「家族・親族」が全体に比べ多くなっています。

■被災後の生活において頼りにする人(3つまで) (年齢別)

	回答者数	合 計	1. 家族・親 族	2. 近所の人	3. 友人・知 人	4. 自主防災 組織(町 会・自治 会など)	5. 社会福祉 協議会	6. 行政(市 役所な ど)	7. 相談支援 事業所	8. 利用して いる施設	9. その他	10. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	1,732 (173.2)	723 (72.3)	104 (10.4)	138 (13.8)	79 (7.9)	48 (4.8)	328 (32.8)	70 (7.0)	88 (8.8)	33 (3.3)	121 (12.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	216 (184.6)	102 (87.2)	14 (12.0)	22 (18.8)	10 (8.5)	1 (0.9)	34 (29.1)	12 (8.5)	4 (10.3)	7 (6.0)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	181 (184.7)	77 (78.6)	7 (7.1)	17 (17.3)	7 (7.1)	2 (2.0)	38 (38.8)	10 (10.2)	4 (12.2)	7 (7.1)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	601 (169.8)	246 (69.5)	28 (7.9)	61 (17.2)	20 (5.6)	15 (4.2)	126 (35.6)	23 (6.5)	19 (5.4)	29 (8.2)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	260 (171.1)	106 (69.7)	14 (9.2)	18 (11.8)	14 (9.2)	12 (7.9)	49 (32.2)	10 (6.6)	14 (9.2)	21 (13.8)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	335 (182.1)	134 (72.8)	31 (16.8)	18 (9.8)	18 (9.8)	16 (8.7)	64 (34.8)	12 (6.5)	9 (4.9)	32 (17.4)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	122 (147.0)	49 (59.0)	10 (12.0)	2 (2.4)	10 (12.0)	2 (2.4)	14 (16.9)	3 (3.6)	7 (8.4)	22 (26.5)
	7. 無回答	12 (100.0)	17 (141.7)	9 (75.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (25.0)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	3 (25.0)

注:()内はカギル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「家族・親族」、「利用している施設」が全体に比べ多くなっています。

■被災後の生活において頼りにする人(3つまで) (障害種別)

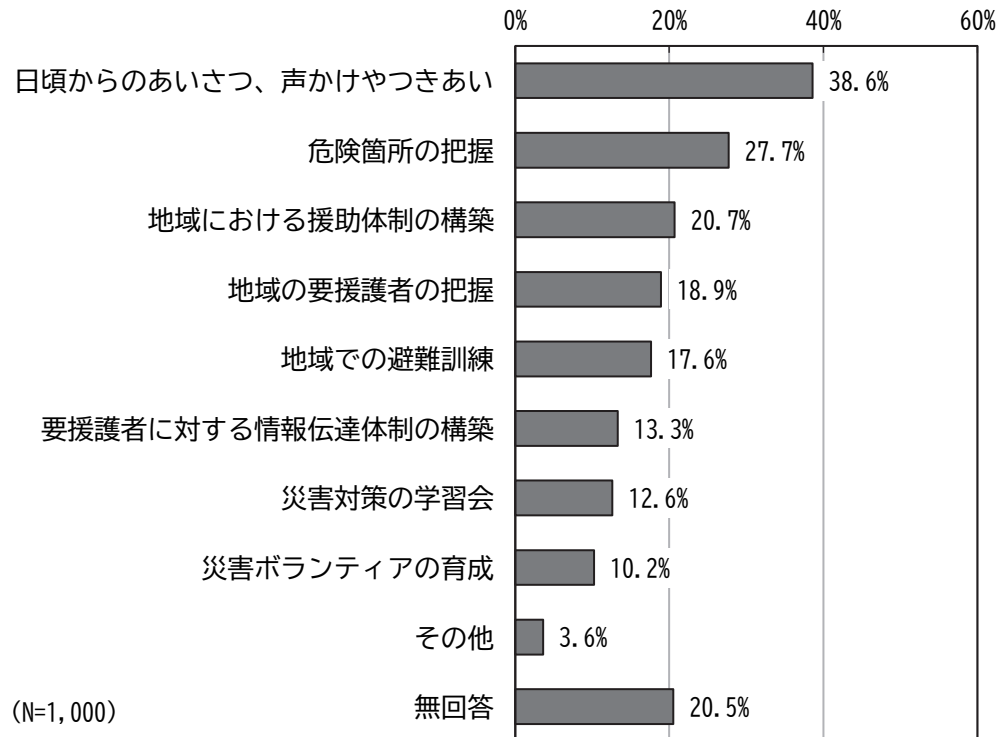
	回答者数	合 計	1. 家族・親 族	2. 近所の人	3. 友人・知 人	4. 自主防災 組織(町 会・自治 会など)	5. 社会福祉 協議会	6. 行政(市 役所な ど)	7. 相談支援 事業所	8. 利用して いる施設	9. その他	10. 無回答
全 体	1,000 (100.0)	1,732 (173.2)	723 (72.3)	104 (10.4)	138 (13.8)	79 (7.9)	48 (4.8)	328 (32.8)	70 (7.0)	88 (8.8)	33 (3.3)	121 (12.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	917 (170.8)	396 (73.7)	67 (12.5)	60 (11.2)	47 (8.8)	30 (5.6)	161 (30.0)	29 (5.4)	36 (6.7)	77 (14.3)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	220 (189.7)	103 (88.8)	14 (12.1)	12 (10.3)	7 (6.0)	4 (3.4)	33 (28.4)	16 (13.8)	22 (19.0)	6 (5.2)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	545 (173.0)	212 (67.3)	22 (7.0)	60 (19.0)	22 (7.0)	11 (3.5)	123 (39.0)	27 (8.6)	25 (7.9)	28 (8.9)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	55 (183.3)	21 (70.0)	3 (10.0)	8 (26.7)	5 (16.7)	1 (3.3)	10 (33.3)	1 (3.3)	4 (13.3)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	71 (161.4)	28 (63.6)	2 (4.5)	5 (11.4)	2 (4.5)	3 (6.8)	12 (27.3)	3 (6.8)	4 (9.1)	11 (25.0)

注:()内はカギル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑧地域における災害時の備えとして重要なこと（問 54）

地域における災害時の備えとして重要なことについては、「日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が38.6%で最も多く、次いで「危険箇所の把握」が27.7%、「地域における援助体制の構築」が20.7%となっています。

■地域における災害時の備えとして重要なこと（3つまで）



経年変化をみると、前回から「災害対策ボランティアの育成」が減少しています。

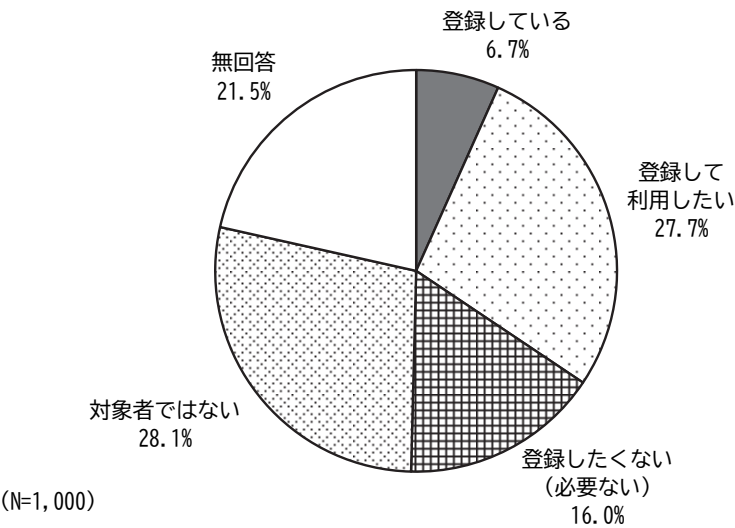
■地域における災害時の備えとして重要なこと（3つまで）（経年変化）

	回答者数	合 計	1. 災害対策 の学習会	2. 日頃から のあいさ つ、声か けやつき あい	3. 地域での 避難訓練	4. 危険箇所 の把握	5. 地域にお ける援助 体制の構 築	6. 地域の要 援護者の 把握	7. 要援護者 に対する 情報伝達 体制の構 築	8. 災害ボラ ンティア の育成	9. その他	10. 無回答
令和5年度	1,000 (100.0)	1,837 (183.7)	126 (12.6)	386 (38.6)	176 (17.6)	277 (27.7)	207 (20.7)	189 (18.9)	133 (13.3)	102 (10.2)	36 (3.6)	205 (20.5)
令和2年度	1,066 (100.0)	2,072 (194.4)	144 (13.5)	440 (41.3)	216 (20.3)	312 (29.3)	227 (21.3)	227 (21.3)	158 (14.8)	143 (13.4)	20 (1.9)	185 (17.4)

⑨「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向（問 55）

「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向については、「対象者ではない」が28.1%で最も多く、次いで「登録して利用したい」が27.7%、「登録したくない(必要ない)」が16.0%となっています。

■「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向



年齢別にみると、18～29歳、30～39歳は「対象者ではない」が全体に比べ多くなっています。

■「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向（年齢別）

		合 計	1. 登録して いる	2. 登録して 利用した い	3. 登録した くない (必要ない)	4. 対象者で はない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	67 (6.7)	277 (27.7)	160 (16.0)	281 (28.1)	215 (21.5)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	2 (1.7)	32 (27.4)	12 (10.3)	55 (47.0)	16 (13.7)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	5 (5.1)	25 (25.5)	14 (14.3)	43 (43.9)	11 (11.2)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	26 (7.3)	81 (22.9)	68 (19.2)	127 (35.9)	52 (14.7)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	13 (8.6)	39 (25.7)	32 (21.1)	26 (17.1)	42 (27.6)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	13 (7.1)	68 (37.0)	23 (12.5)	20 (10.9)	60 (32.6)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	8 (9.6)	29 (34.9)	8 (9.6)	8 (9.6)	30 (36.1)
	7. 無回答	12 (100.0)	0 (-)	3 (25.0)	3 (25.0)	2 (16.7)	4 (33.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、精神障害者は「対象者ではない」が全体に比べ多くなっています。

■「川口市避難行動要支援者登録制度」の利用意向（障害種別）

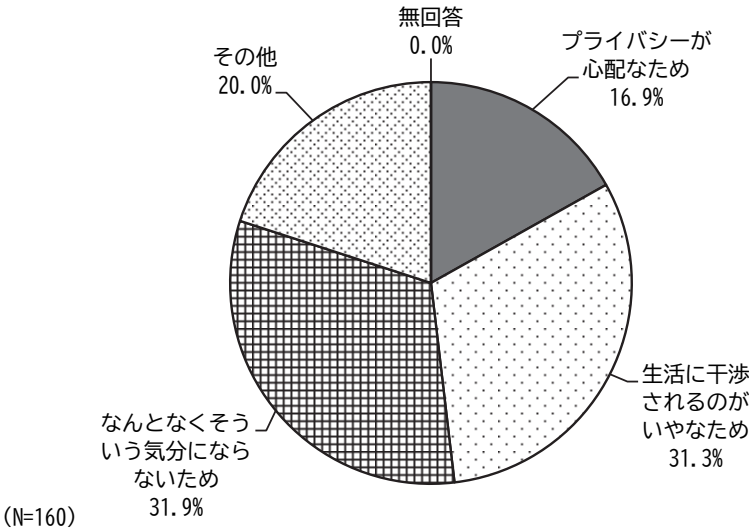
		合 計	1. 登録して いる	2. 登録して 利用した い	3. 登録した くない (必要 ない)	4. 対象者 ではない	5. 無回答
全 体		1,000 (100.0)	67 (6.7)	277 (27.7)	160 (16.0)	281 (28.1)	215 (21.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	47 (8.8)	172 (32.0)	77 (14.3)	105 (19.6)	136 (25.3)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	15 (12.9)	39 (33.6)	14 (12.1)	33 (28.4)	15 (12.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	11 (3.5)	62 (19.7)	68 (21.6)	122 (38.7)	52 (16.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	0 (-)	6 (20.0)	0 (-)	23 (76.7)	1 (3.3)
	5. 無回答	44 (100.0)	3 (6.8)	17 (38.6)	5 (11.4)	5 (11.4)	14 (31.8)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩「川口市避難行動要支援者登録制度」に登録したくない理由（問 55-1）

問 55 で「登録したくない(必要ない)」と回答した方に、登録したくない理由をきいたところ、「なんとなくそういう気分にならないため」が 31.9%で最も多く、次いで「生活に干渉されるのがいやなため」が 31.3%、「プライバシーが心配なため」が 16.9%となっています。

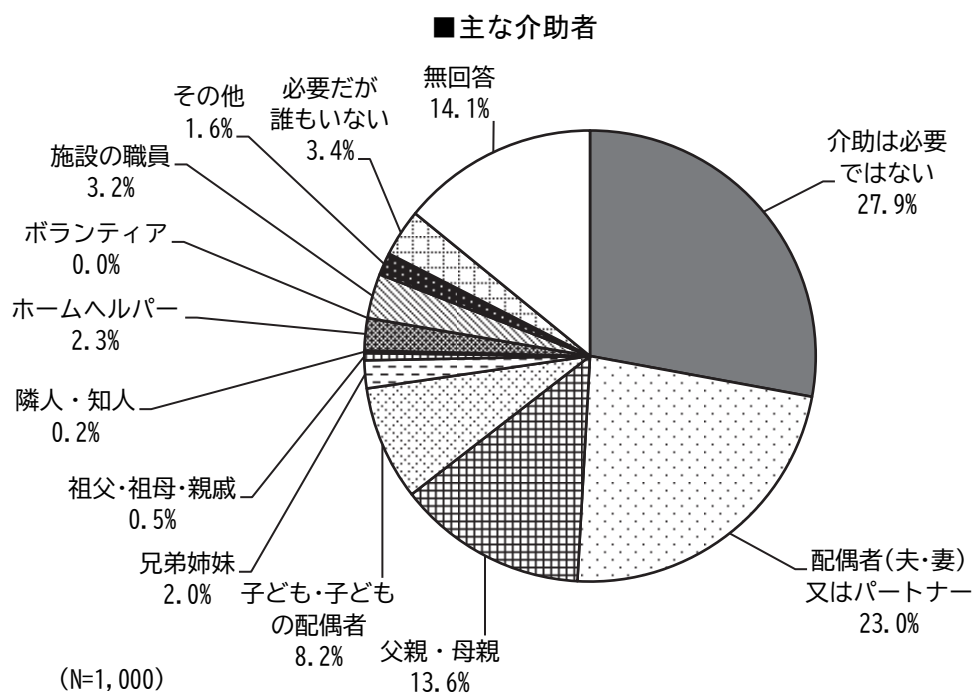
■「川口市避難行動要支援者登録制度」に登録したくない理由



(8) 介助者のことについて

①主な介助者（問 56）

主な介助者については、「介助は必要ではない」が 27.9%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)又はパートナー」が 23.0%、「父親・母親」が 13.6%となっています。



年齢別にみると、18～29 歳、30～39 歳は「介助は必要ではない」、「父親・母親」、65～74 歳、75～84 歳は「配偶者(夫・妻)又はパートナー」、85 歳以上は「子ども・子どもの配偶者」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者（年齢別）

		合 計	1. 介助は必要ではない	2. 配偶者 (夫・妻)又は パートナ－	3. 父親・母親	4. 子ども・ 子どもの 配偶者	5. 兄弟姉妹	6. 祖父・祖母・親戚
全 体		1,000 (100.0)	279 (27.9)	230 (23.0)	136 (13.6)	82 (8.2)	20 (2.0)	5 (0.5)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	117 (100.0)	45 (38.5)	3 (2.6)	58 (49.6)	0 (-)	1 (0.9)	2 (1.7)
	2. 30～39歳	98 (100.0)	39 (39.8)	8 (8.2)	36 (36.7)	1 (1.0)	0 (-)	2 (2.0)
	3. 40～64歳	354 (100.0)	129 (36.4)	72 (20.3)	37 (10.5)	12 (3.4)	14 (4.0)	0 (-)
	4. 65～74歳	152 (100.0)	36 (23.7)	54 (35.5)	2 (1.3)	13 (8.6)	1 (0.7)	1 (0.7)
	5. 75～84歳	184 (100.0)	22 (12.0)	74 (40.2)	2 (1.1)	26 (14.1)	4 (2.2)	0 (-)
	6. 85歳以上	83 (100.0)	6 (7.2)	17 (20.5)	0 (-)	30 (36.1)	0 (-)	0 (-)
	7. 無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		7. 隣人・知人	8. ホームヘルパー	9. ボランティア	10. 施設の職員	11. その他	12. 必要だが誰もいない	13. 無回答
全 体		2 (0.2)	23 (2.3)	0 (-)	32 (3.2)	16 (1.6)	34 (3.4)	141 (14.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	4 (3.4)
	2. 30～39歳	1 (1.0)	1 (1.0)	0 (-)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (2.0)	6 (6.1)
	3. 40～64歳	1 (0.3)	11 (3.1)	0 (-)	11 (3.1)	6 (1.7)	23 (6.5)	38 (10.7)
	4. 65～74歳	0 (-)	2 (1.3)	0 (-)	6 (3.9)	1 (0.7)	4 (2.6)	32 (21.1)
	5. 75～84歳	0 (-)	4 (2.2)	0 (-)	4 (2.2)	4 (2.2)	3 (1.6)	41 (22.3)
	6. 85歳以上	0 (-)	3 (3.6)	0 (-)	8 (9.6)	2 (2.4)	1 (1.2)	16 (19.3)
	7. 無回答	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	4 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「配偶者(夫・妻)又はパートナー」、知的障害者は「父親・母親」、精神障害者は「介助は必要ではない」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者（障害種別）

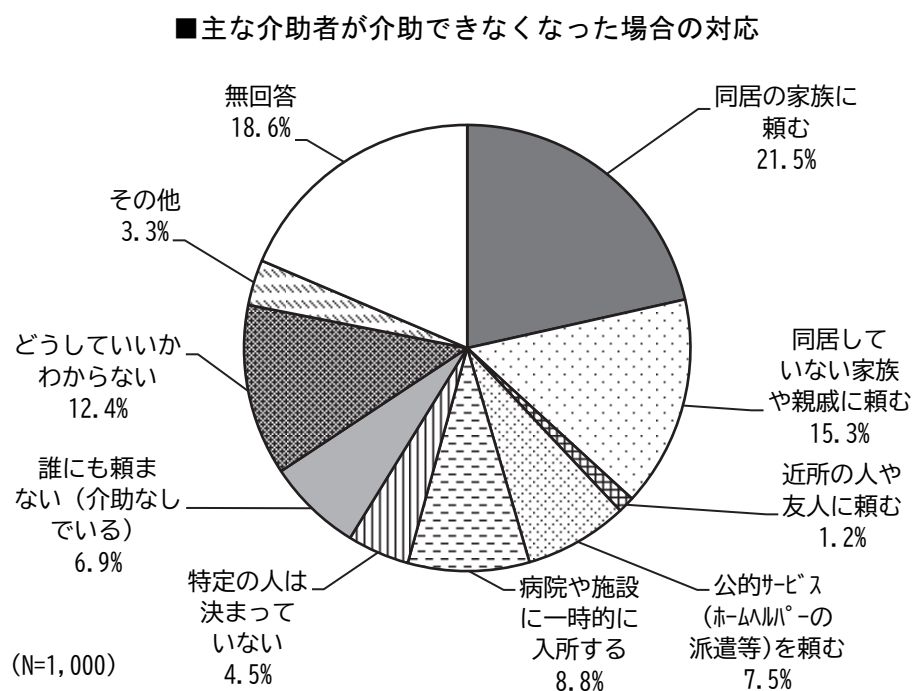
		合 計	1. 介助は必要ではない	2. 配偶者 (夫・妻)又は パート ナー	3. 父親・母 親	4. 子ども・ 子どもの 配偶者	5. 兄弟姉妹	6. 祖父・祖 母・親戚
全 体		1,000 (100.0)	279 (27.9)	230 (23.0)	136 (13.6)	82 (8.2)	20 (2.0)	5 (0.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	537 (100.0)	100 (18.6)	182 (33.9)	30 (5.6)	64 (11.9)	12 (2.2)	0 (-)
	2. 知的障害者	116 (100.0)	17 (14.7)	4 (3.4)	69 (59.5)	1 (0.9)	3 (2.6)	1 (0.9)
	3. 精神障害者	315 (100.0)	149 (47.3)	32 (10.2)	57 (18.1)	8 (2.5)	5 (1.6)	3 (1.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	30 (100.0)	16 (53.3)	5 (16.7)	0 (-)	2 (6.7)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	44 (100.0)	4 (9.1)	10 (22.7)	3 (6.8)	9 (20.5)	1 (2.3)	1 (2.3)

		7. 隣人・知 人	8. ホームヘルパー	9. ボランティア	10. 施設の職員	11. その他	12. 必要だが 誰もいない	13. 無回答
全 体		2 (0.2)	23 (2.3)	0 (-)	32 (3.2)	16 (1.6)	34 (3.4)	141 (14.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (0.2)	18 (3.4)	0 (-)	17 (3.2)	8 (1.5)	9 (1.7)	96 (17.9)
	2. 知的障害者	0 (-)	1 (0.9)	0 (-)	8 (6.9)	2 (1.7)	4 (3.4)	6 (5.2)
	3. 精神障害者	1 (0.3)	4 (1.3)	0 (-)	2 (0.6)	3 (1.0)	19 (6.0)	32 (10.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)	2 (6.7)	2 (6.7)	0 (-)	2 (6.7)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (11.4)	1 (2.3)	3 (6.8)	7 (15.9)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

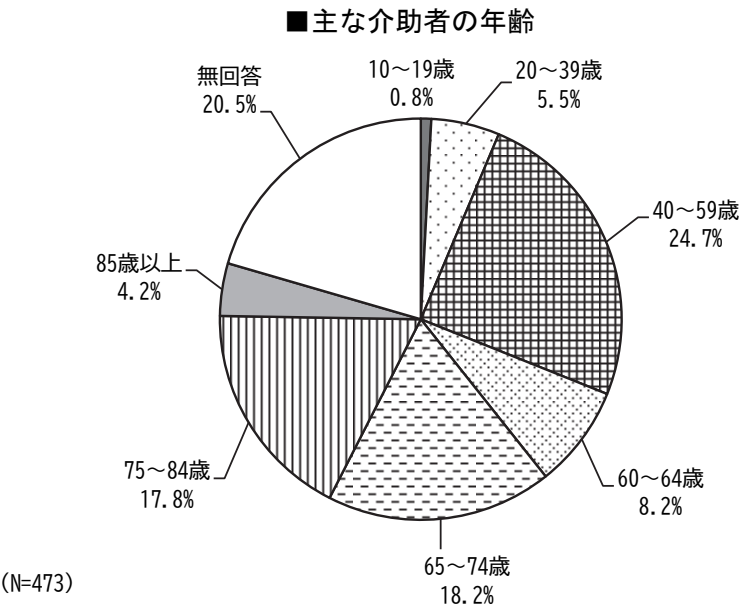
②主な介助者が介助できなくなった場合の対応（問 57）

主な介助者が介助できなくなった場合の対応（これまでそのようなことがなかった方は今後のことを想定して回答）については、「同居の家族に頼む」が21.5%で最も多く、次いで「同居していない家族や親戚に頼む」が15.3%、「どうしていいかわからない」が12.4%となっています。



③主な介助者の年齢（問 58）（※以降の設問は親族である介助者が回答）

主な介助者の年齢については、「40～59 歳」が 24.7%で最も多く、次いで「65～74 歳」が 18.2%、「75～84 歳」が 17.8%となっています。



年齢別にみると、18～29 歳は「40～59 歳」、30～39 歳は「20～39 歳」、40～64 歳は「40～59 歳」、65～74 歳は「65～74 歳」、75～84 歳は「75～84 歳」、85 歳以上は「85 歳以上」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者の年齢（年齢別）

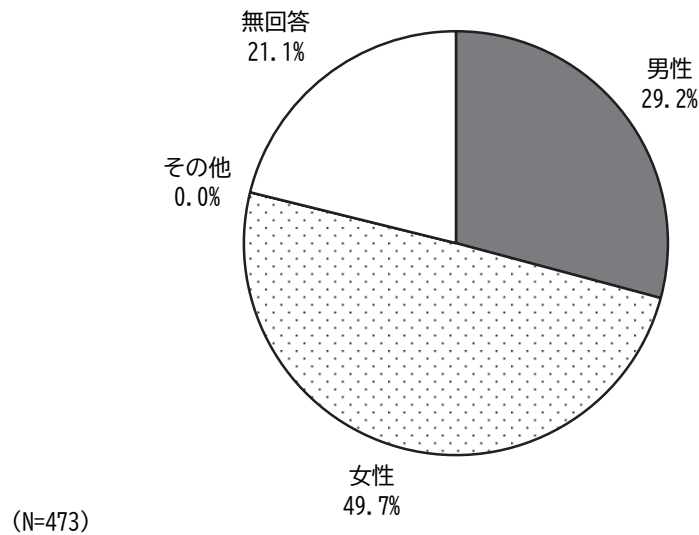
		合 計	1. 10～19歳	2. 20～39歳	3. 40～59歳	4. 60～64歳	5. 65～74歳	6. 75～84歳	7. 85歳以上	8. 無回答
全 体		473 (100.0)	4 (0.8)	26 (5.5)	117 (24.7)	39 (8.2)	86 (18.2)	84 (17.8)	20 (4.2)	97 (20.5)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	64 (100.0)	4 (6.3)	9 (14.1)	33 (51.6)	8 (12.5)	4 (6.3)	1 (1.6)	0 (-)	5 (7.8)
	2. 30～39歳	47 (100.0)	0 (-)	11 (23.4)	3 (6.4)	5 (10.6)	11 (23.4)	1 (2.1)	1 (2.1)	15 (31.9)
	3. 40～64歳	135 (100.0)	0 (-)	5 (3.7)	54 (40.0)	15 (11.1)	10 (7.4)	13 (9.6)	1 (0.7)	37 (27.4)
	4. 65～74歳	71 (100.0)	0 (-)	1 (1.4)	8 (11.3)	3 (4.2)	45 (63.4)	2 (2.8)	0 (-)	12 (16.9)
	5. 75～84歳	106 (100.0)	0 (-)	0 (-)	9 (8.5)	2 (1.9)	13 (12.3)	60 (56.6)	4 (3.8)	18 (17.0)
	6. 85歳以上	47 (100.0)	0 (-)	0 (-)	10 (21.3)	6 (12.8)	3 (6.4)	6 (12.8)	14 (29.8)	8 (17.0)
	7. 無回答	3 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	2 (66.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④主な介助者の性別（問 59）

主な介助者の性別については、「女性」が 49.7%、「男性」が 29.2%となっています。

■主な介助者の性別



年齢別にみると、18～29 歳は「女性」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者の性別（年齢別）

		合 計	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答
全 体		473 (100.0)	138 (29.2)	235 (49.7)	0 (-)	100 (21.1)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	64 (100.0)	13 (20.3)	46 (71.9)	0 (-)	5 (7.8)
	2. 30～39歳	47 (100.0)	13 (27.7)	18 (38.3)	0 (-)	16 (34.0)
	3. 40～64歳	135 (100.0)	41 (30.4)	57 (42.2)	0 (-)	37 (27.4)
	4. 65～74歳	71 (100.0)	23 (32.4)	35 (49.3)	0 (-)	13 (18.3)
	5. 75～84歳	106 (100.0)	36 (34.0)	51 (48.1)	0 (-)	19 (17.9)
	6. 85歳以上	47 (100.0)	12 (25.5)	27 (57.4)	0 (-)	8 (17.0)
	7. 無回答	3 (100.0)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	2 (66.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「女性」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者の性別（障害種別）

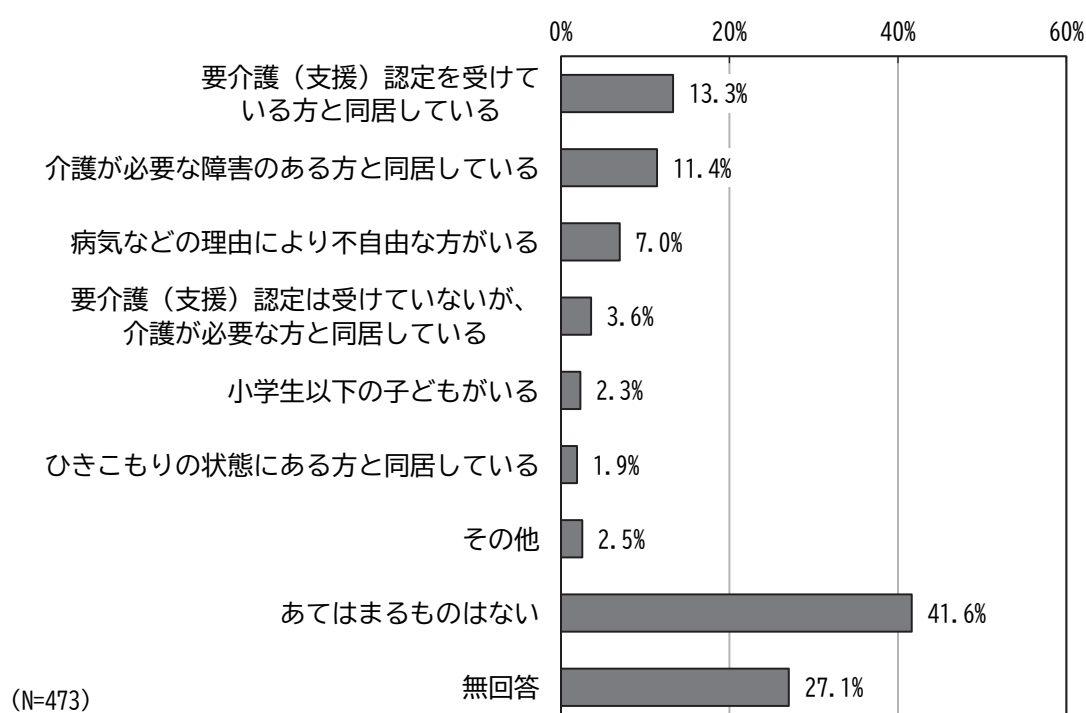
		合 計	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答
全 体		473 (100.0)	138 (29.2)	235 (49.7)	0 (-)	100 (21.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	288 (100.0)	88 (30.6)	138 (47.9)	0 (-)	62 (21.5)
	2. 知的障害者	78 (100.0)	20 (25.6)	47 (60.3)	0 (-)	11 (14.1)
	3. 精神障害者	105 (100.0)	31 (29.5)	50 (47.6)	0 (-)	24 (22.9)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	7 (100.0)	2 (28.6)	3 (42.9)	0 (-)	2 (28.6)
	5. 無回答	24 (100.0)	7 (29.2)	12 (50.0)	0 (-)	5 (20.8)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤本調査のあて名の方とあなたを除いた世帯の状況（問 60）

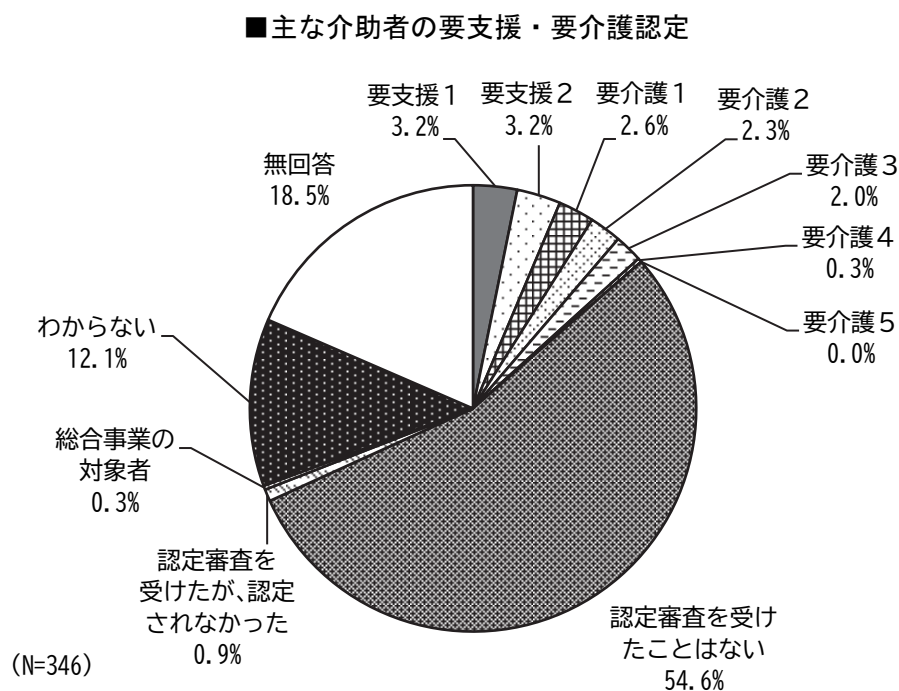
問 56 で「配偶者（夫・妻）又はパートナー」、「父親・母親」、「子ども・子どもの配偶者」「兄弟姉妹」、「祖父・祖母・親戚」と回答した方に、本調査のあて名の方とあなたを除いた世帯の状況をきいたところ、「要介護（支援）認定を受けている方と同居している」が 13.3%で最も多く、次いで「介護が必要な障害のある方と同居している」が 11.4%、「病気などの理由により不自由な方がいる」が 7.0%となっています。

■本調査のあて名の方とあなたを除いた世帯の状況（複数回答）



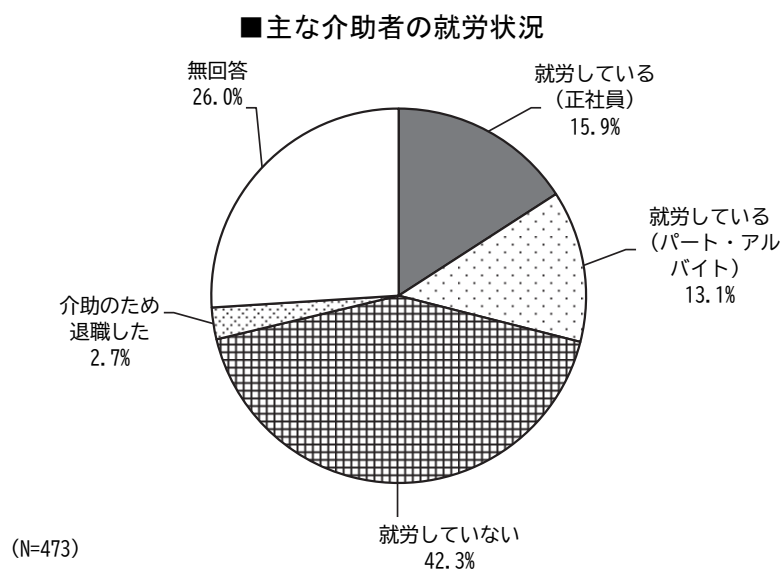
⑥主な介助者の要支援・要介護認定（問 61）

40 歳以上の主な介助者の方に、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けているかきいたところ、「認定審査を受けたことはない」が 54.6%で最も多く、次いで「わからない」が 12.1%となっています。



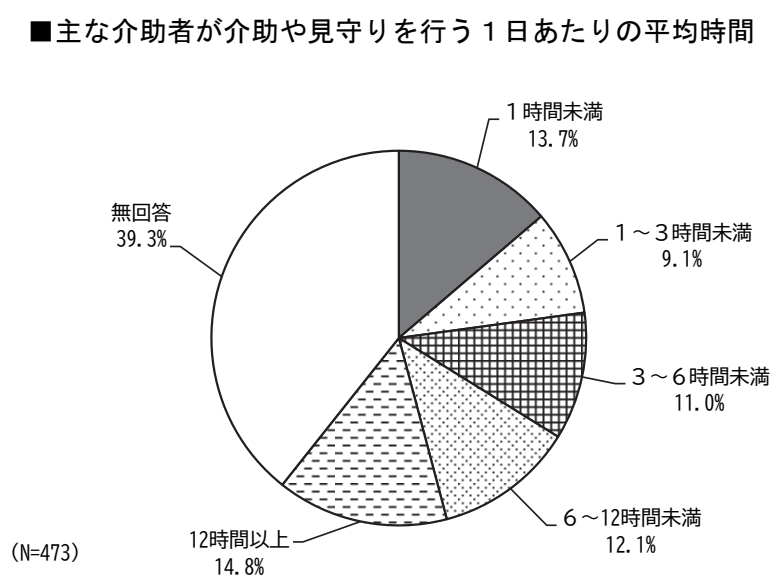
⑦主な介助者の就労状況（問 62）

主な介助者の就労状況については、「就労していない」が 42.3%で最も多く、次いで「就労している（正社員）」が 15.9%、「就労している（パート・アルバイト）」が 13.1%となっています。



⑧主な介助者が介助や見守りを行う 1 日あたりの平均時間（問 63）

主な介助者が介助や見守りを行う 1 日あたりの平均時間については、「12 時間以上」が 14.8%で最も多く、次いで「1 時間未満」が 13.7%、「6～12 時間未満」が 12.1%となっています。



経年変化をみても、前回と同じ傾向となっています。

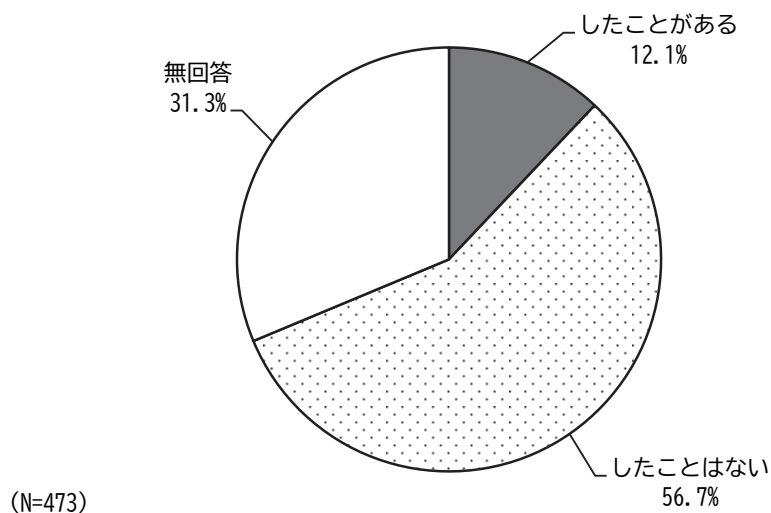
■主な介助者が介助や見守りを行う１日あたりの平均時間（経年変化）

	合 計	1. 1 時間未 満	2. 1 ～ 3 時 間未満	3. 3 ～ 6 時 間未満	4. 6 ～ 12 時 間未満	5. 12 時間以 上	6. 無回答
令和 5 年度	473 (100.0)	65 (13.7)	43 (9.1)	52 (11.0)	57 (12.1)	70 (14.8)	186 (39.3)
令和 2 年度	513 (100.0)	80 (15.6)	48 (9.4)	44 (8.6)	55 (10.7)	75 (14.6)	211 (41.1)

⑨主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無（問 64）

主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無については、「したことはない」が56.7%、「したことがある」が12.1%となっています。

■主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無



年齢別にみると、18～29歳は「したことがある」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無（年齢別）

		合 計	1. したこと がある	2. したこと はない	3. 無回答
全 体		473 (100.0)	57 (12.1)	268 (56.7)	148 (31.3)
問 2 年 齢	1. 18～29歳	64 (100.0)	20 (31.3)	38 (59.4)	6 (9.4)
	2. 30～39歳	47 (100.0)	6 (12.8)	22 (46.8)	19 (40.4)
	3. 40～64歳	135 (100.0)	11 (8.1)	79 (58.5)	45 (33.3)
	4. 65～74歳	71 (100.0)	7 (9.9)	45 (63.4)	19 (26.8)
	5. 75～84歳	106 (100.0)	7 (6.6)	59 (55.7)	40 (37.7)
	6. 85歳以上	47 (100.0)	6 (12.8)	24 (51.1)	17 (36.2)
	7. 無回答	3 (100.0)	0 (-)	1 (33.3)	2 (66.7)

注:()内はカプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「したことがある」が全体に比べ多くなっています。

■主な介助者が、介助していて強く叱ったり、叩いたりした経験の有無（障害種別）

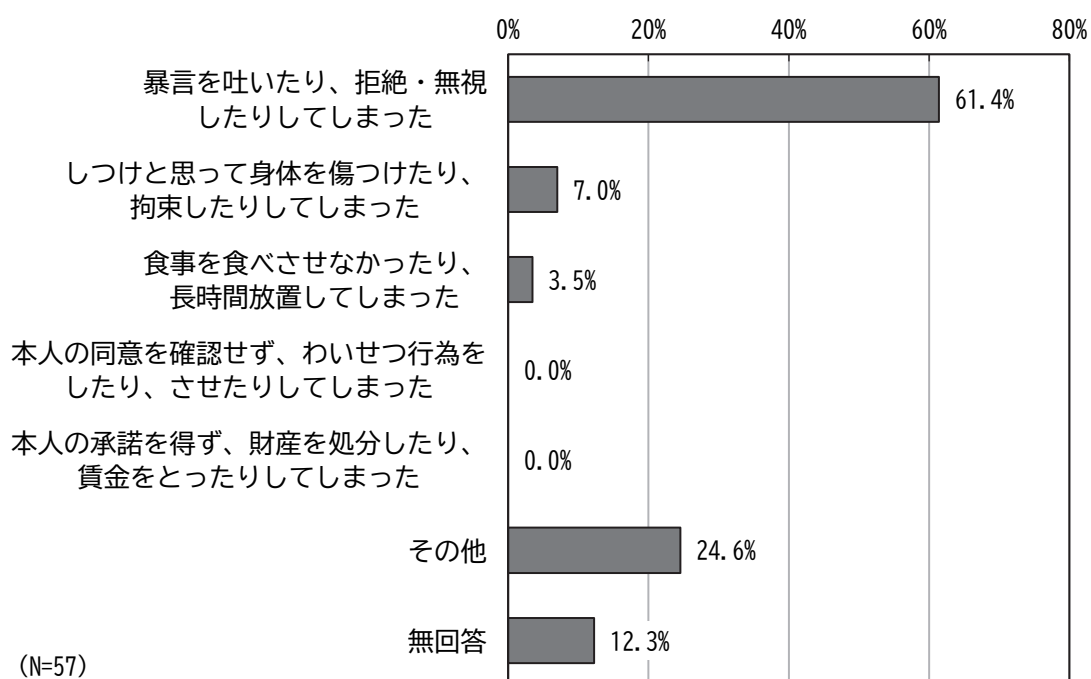
		合 計	1. したことが ある	2. したことは ない	3. 無回答
全 体		473 (100.0)	57 (12.1)	268 (56.7)	148 (31.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	288 (100.0)	26 (9.0)	164 (56.9)	98 (34.0)
	2. 知的障害者	78 (100.0)	20 (25.6)	46 (59.0)	12 (15.4)
	3. 精神障害者	105 (100.0)	12 (11.4)	62 (59.0)	31 (29.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	7 (100.0)	0 (-)	5 (71.4)	2 (28.6)
	5. 無回答	24 (100.0)	2 (8.3)	13 (54.2)	9 (37.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩主な介助者が強く叱ったり、叩いたりした具体的な内容（問 64 - 1）

問 64 で「したことがある」と回答した方に、具体的にどのようなことをしてしまったかきいたところ、「暴言を吐いたり、拒絶・無視したりしてしまった」が 61.4%で最も多く、次いで「しつけと思って身体を傷つけたり、拘束したりしてしまった」が 7.0%となっています。

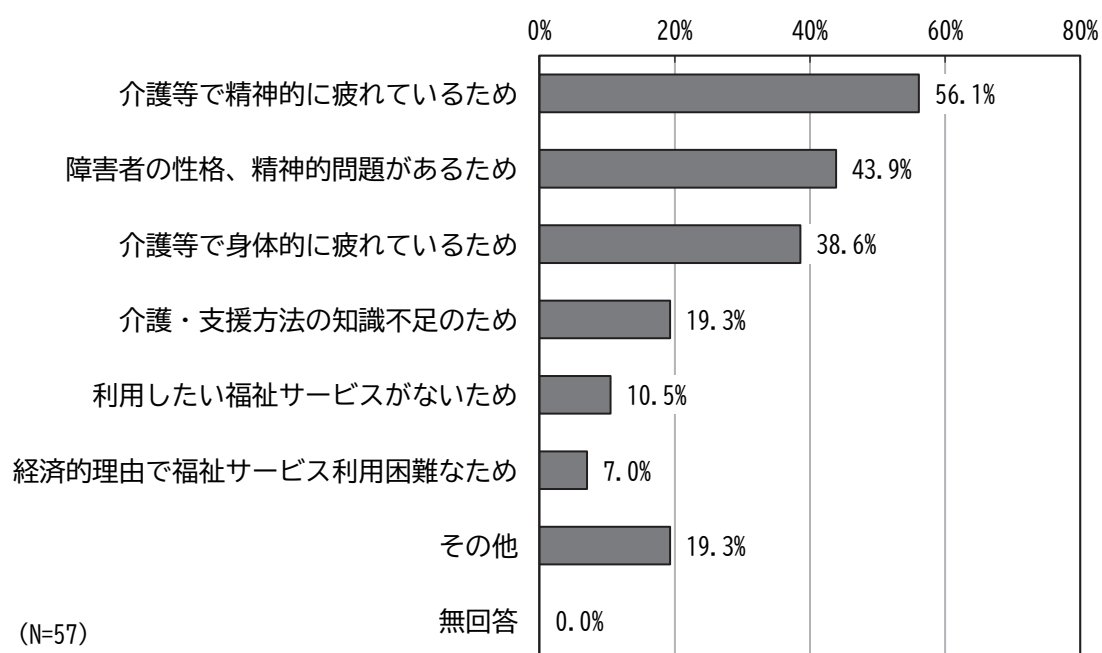
■主な介助者が強く叱ったり、叩いたりした具体的な内容(複数回答)



⑪主な介助者が強く叱ったり、叩いたりしてしまう要因（問 64 - 2）

問 64 で「したことがある」と回答した方に、そのようなことをしてしまう要因をきいたところ、「介護等で精神的に疲れているため」が 56.1%で最も多く、次いで「障害者の性格、精神的問題があるため」が 43.9%、「介護等で身体的に疲れているため」が 38.6%となっています。

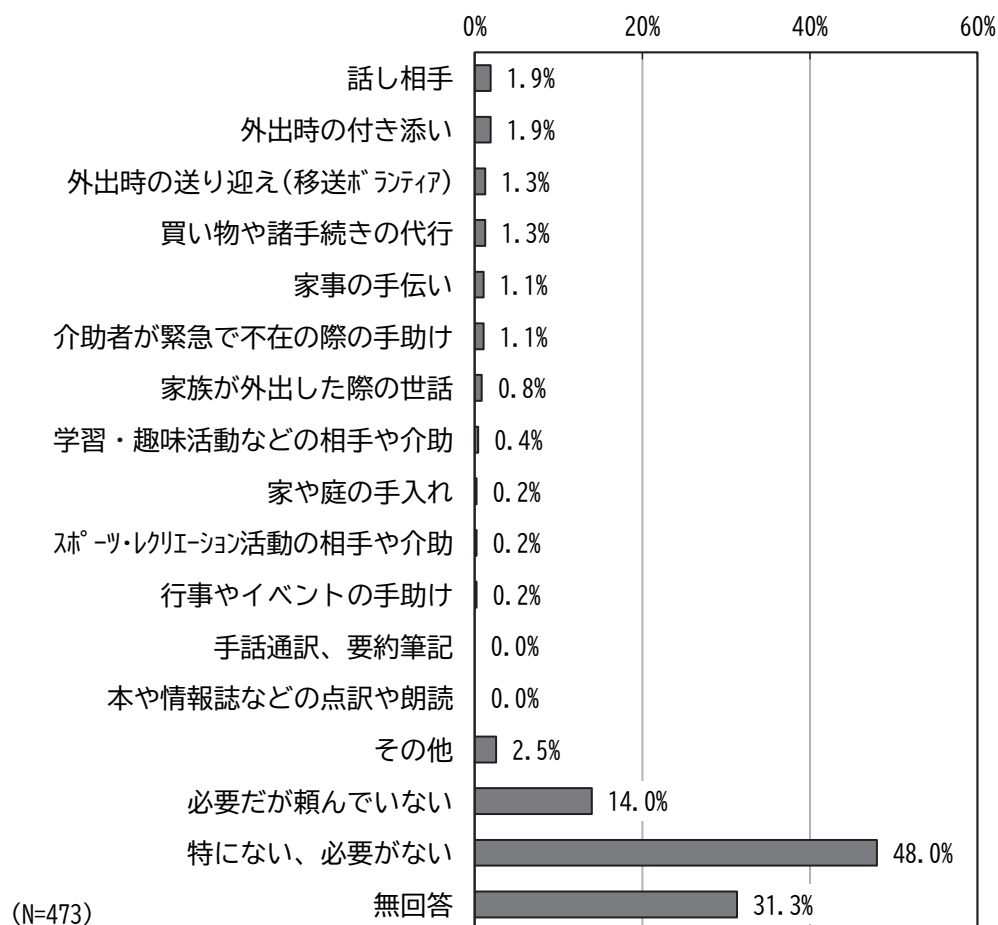
■主な介助者が強く叱ったり、叩いたりしてしまう要因（複数回答）



⑫主な介助者がボランティアなどに支援を頼んでいること（問 65）

主な介助者がボランティアなどに支援を頼んでいることについては、「特にない、必要がない」が48.0%で最も多く、次いで「話し相手」、「外出時の付き添い」が1.9%、「外出時の送り迎え（移送ボランティア）」、「買い物や諸手続きの代行」が1.3%となっています。

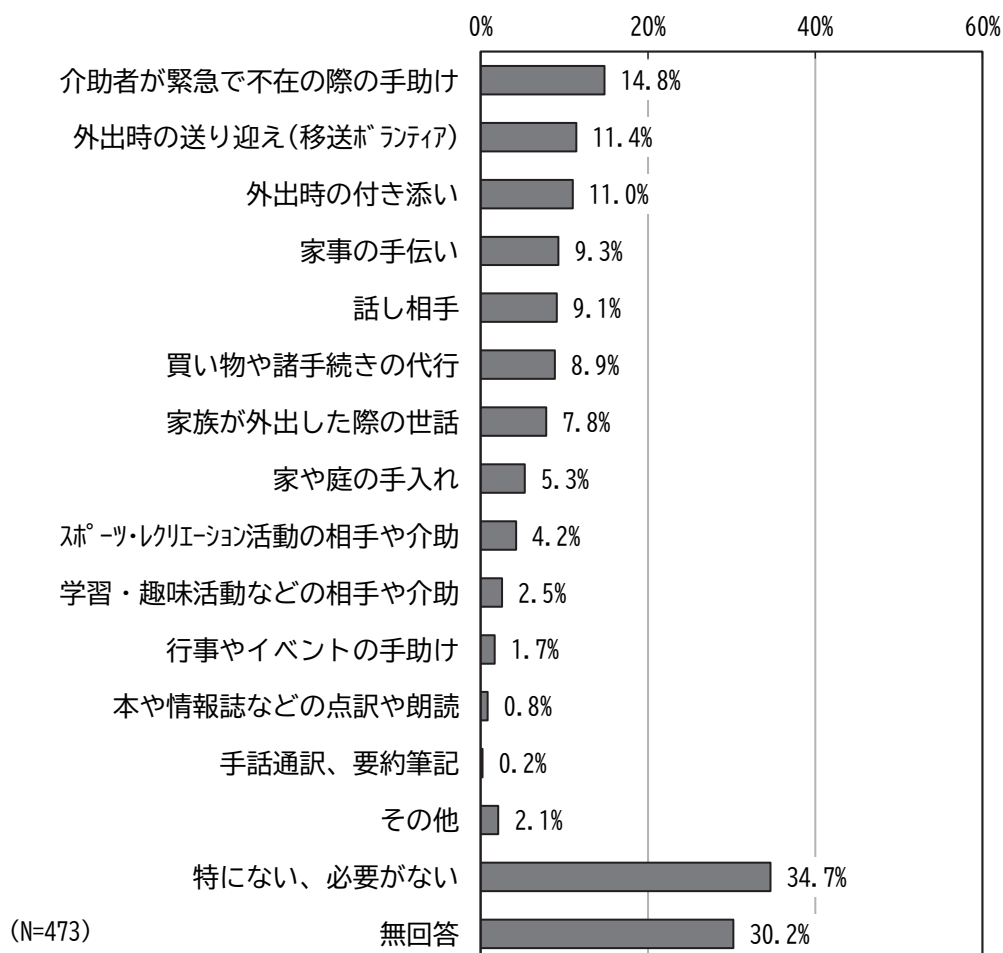
■主な介助者がボランティアなどに支援を頼んでいること（複数回答）



⑬主な介助者が今後ボランティアなどに頼みたい支援（問 66）

主な介助者が今後ボランティアなどに頼みたい支援については、「特にない、必要がない」が 34.7%で最も多く、次いで「介助者が緊急で不在の際の手助け」が 14.8%、「外出時の送り迎え(移送ボランティア)」が 11.4%、「外出時の付き添い」が 11.0%となっています。

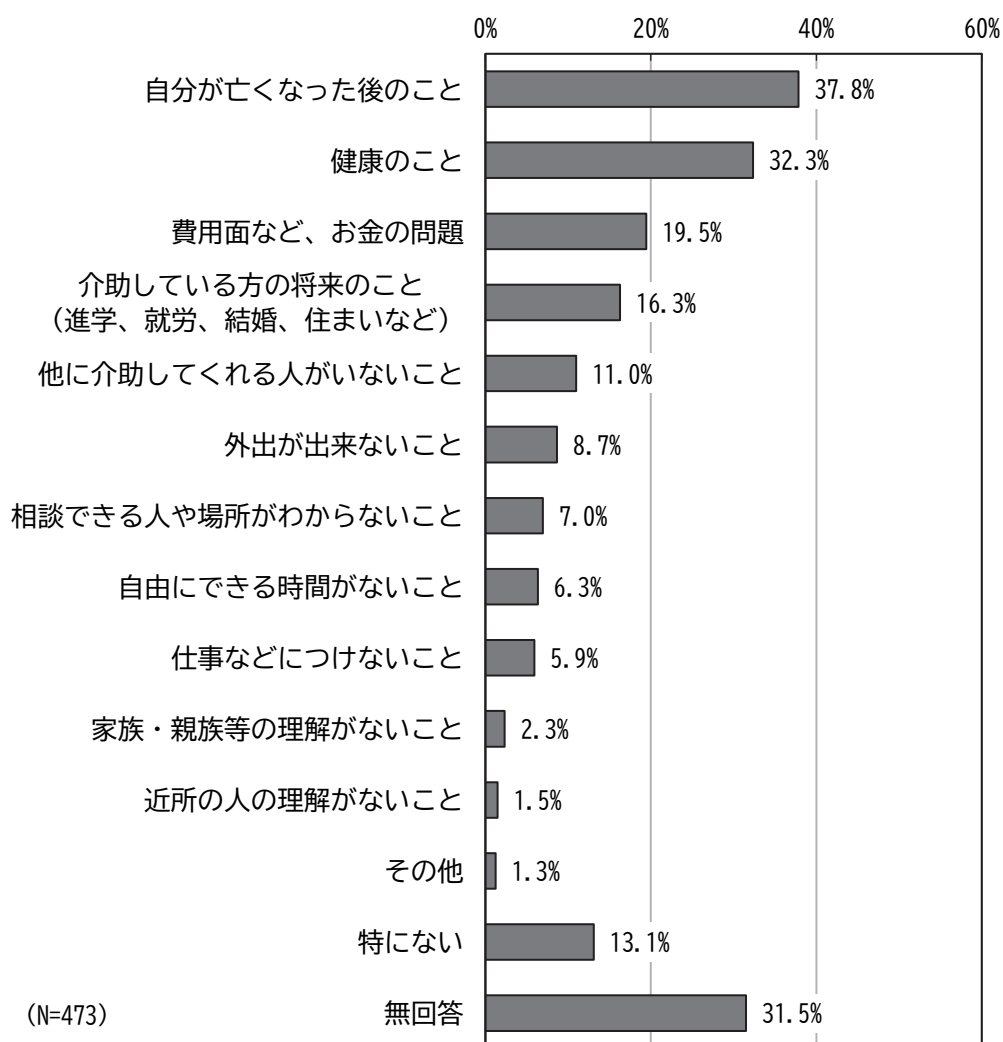
■主な介助者が今後ボランティアなどに頼みたい支援(複数回答)



⑭介助者の立場として困っていること（問 67）

介助者の立場として困っていることについては、「自分が亡くなった後のこと」が37.8%で最も多く、次いで「健康のこと」が32.3%、「費用面など、お金の問題」が19.5%となっています。

■介助者の立場として困っていること（複数回答）



年齢別にみると、18～29歳は「介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）」、「自分が亡くなった後のこと」、「費用面など、お金の問題」30～39歳は「介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）」が全体に比べ多くなっています。

■介助者の立場として困っていること（複数回答）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 介助して いる方の 将来のこ と（進 学、就 労、結 婚、住ま いなど）	2. 自分が亡 くなった 後のこと	3. 健康のこ と	4. 自由にで きる時間 がないこ と	5. 家族・親 族等の理 解がない こと	6. 近所の人 の理解が ないこと
全	473 (100.0)	920 (194.5)	77 (16.3)	179 (37.8)	153 (32.3)	30 (6.3)	11 (2.3)	7 (1.5)
1. 18～29歳	64 (100.0)	191 (298.4)	40 (62.5)	47 (73.4)	20 (31.3)	5 (7.8)	5 (7.8)	2 (3.1)
2. 30～39歳	47 (100.0)	102 (217.0)	14 (29.8)	22 (46.8)	19 (40.4)	4 (8.5)	0 (-)	2 (4.3)
3. 40～64歳	135 (100.0)	271 (200.7)	18 (13.3)	44 (32.6)	41 (30.4)	9 (6.7)	6 (4.4)	3 (2.2)
4. 65～74歳	71 (100.0)	117 (164.8)	3 (4.2)	24 (33.8)	18 (25.4)	3 (4.2)	0 (-)	0 (-)
5. 75～84歳	106 (100.0)	160 (150.9)	2 (1.9)	30 (28.3)	38 (35.8)	3 (2.8)	0 (-)	0 (-)
6. 85歳以上	47 (100.0)	73 (155.3)	0 (-)	11 (23.4)	16 (34.0)	5 (10.6)	0 (-)	0 (-)
7. 無回答	3 (100.0)	6 (200.0)	0 (-)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)

	7. 外出が出 来ないこ と	8. 仕事など につけな いこと	9. 他に介助 してくれ る人がい ないこと	10. 費用面な ど、お金 の問題	11. 相談でき る人や場 所がわか らないこ と	12. その他	13. 特にな い	14. 無回答
全	41 (8.7)	28 (5.9)	52 (11.0)	92 (19.5)	33 (7.0)	6 (1.3)	62 (13.1)	149 (31.5)
1. 18～29歳	11 (17.2)	8 (12.5)	12 (18.8)	21 (32.8)	8 (12.5)	1 (1.6)	3 (4.7)	8 (12.5)
2. 30～39歳	5 (10.6)	2 (4.3)	5 (10.6)	8 (17.0)	3 (6.4)	0 (-)	1 (2.1)	17 (36.2)
3. 40～64歳	11 (8.1)	11 (8.1)	18 (13.3)	35 (25.9)	12 (8.9)	2 (1.5)	18 (13.3)	43 (31.9)
4. 65～74歳	5 (7.0)	4 (5.6)	7 (9.9)	11 (15.5)	4 (5.6)	1 (1.4)	15 (21.1)	22 (31.0)
5. 75～84歳	3 (2.8)	0 (-)	6 (5.7)	14 (13.2)	5 (4.7)	2 (1.9)	15 (14.2)	42 (39.6)
6. 85歳以上	5 (10.6)	3 (6.4)	4 (8.5)	3 (6.4)	1 (2.1)	0 (-)	10 (21.3)	15 (31.9)
7. 無回答	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、知的障害者は「介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）」、「自分が亡くなった後のこと」、「他に介助してくれる人がいないこと」、精神障害者は「介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）」、「費用面など、お金の問題」が全体に比べ多くなっています。

■介助者の立場として困っていること（複数回答）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 介助して いる方の 将来のこ と（進 学、就 労、結 婚、住 まいなど）	2. 自分が亡 くなった 後のこと	3. 健康のこ と	4. 自由にで きる時間 がないこ と	5. 家族・親 族等の理 解がない こと	6. 近所の人 の理解が ないこと
全 体	473 (100.0)	920 (194.5)	77 (16.3)	179 (37.8)	153 (32.3)	30 (6.3)	11 (2.3)	7 (1.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	288 (100.0)	509 (176.7)	21 (7.3)	90 (31.3)	96 (33.3)	21 (7.3)	5 (1.7)
	2. 知的障害者	78 (100.0)	210 (269.2)	33 (42.3)	55 (70.5)	33 (42.3)	6 (7.7)	2 (2.6)
	3. 精神障害者	105 (100.0)	251 (239.0)	36 (34.3)	44 (41.9)	32 (30.5)	5 (4.8)	6 (5.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	7 (100.0)	9 (128.6)	1 (14.3)	3 (42.9)	1 (14.3)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	24 (100.0)	40 (166.7)	1 (4.2)	7 (29.2)	9 (37.5)	0 (-)	1 (4.2)

	7. 外出が出 来ないこ と	8. 仕事など につけな いこと	9. 他に介助 してくれ る人がい ないこと	10. 費用面な ど、お金 の問題	11. 相談でき る人や場 所がわか らないこ と	12. その他	13. 特にな い	14. 無回答
全 体	41 (8.7)	28 (5.9)	52 (11.0)	92 (19.5)	33 (7.0)	6 (1.3)	62 (13.1)	149 (31.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	25 (8.7)	12 (4.2)	26 (9.0)	45 (15.6)	16 (5.6)	3 (1.0)	51 (17.7)
	2. 知的障害者	11 (14.1)	7 (9.0)	19 (24.4)	19 (24.4)	5 (6.4)	2 (2.6)	4 (5.1)
	3. 精神障害者	12 (11.4)	13 (12.4)	12 (11.4)	36 (34.3)	13 (12.4)	1 (1.0)	6 (5.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (14.3)	0 (-)	0 (-)	1 (14.3)
	5. 無回答	1 (4.2)	1 (4.2)	3 (12.5)	3 (12.5)	2 (8.3)	0 (-)	1 (4.2)

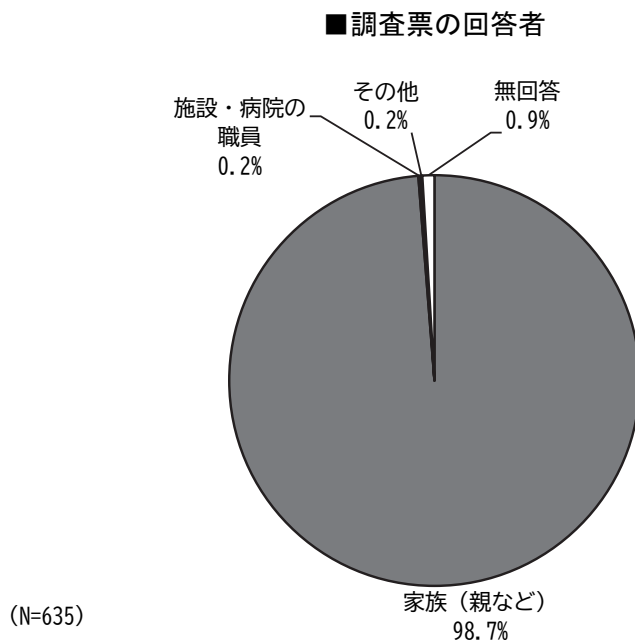
注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

2. 子ども

(1) 基本属性

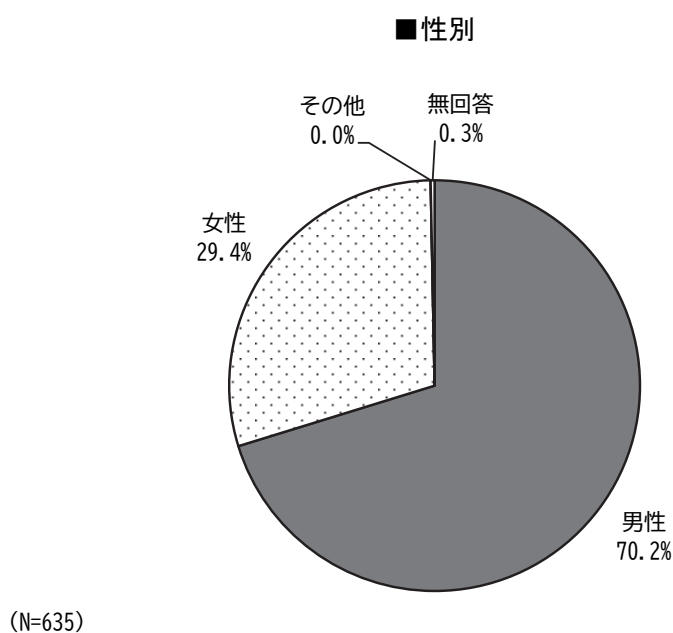
①調査票の回答者

調査票の回答者については、「家族(親など)」が98.7%となっています。



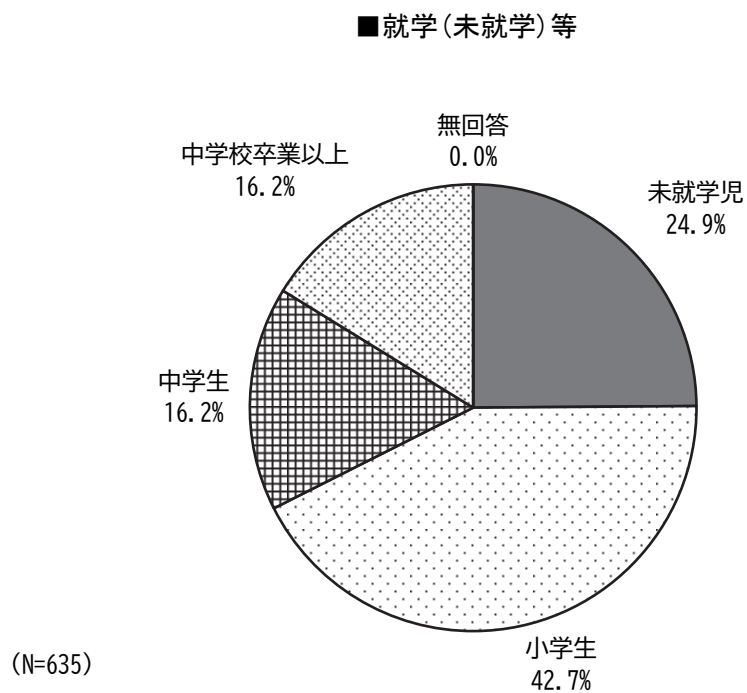
②性別 (問1)

性別については、「男性」が70.2%、「女性」が29.4%となっています。



③就学(未就学)等（問2）

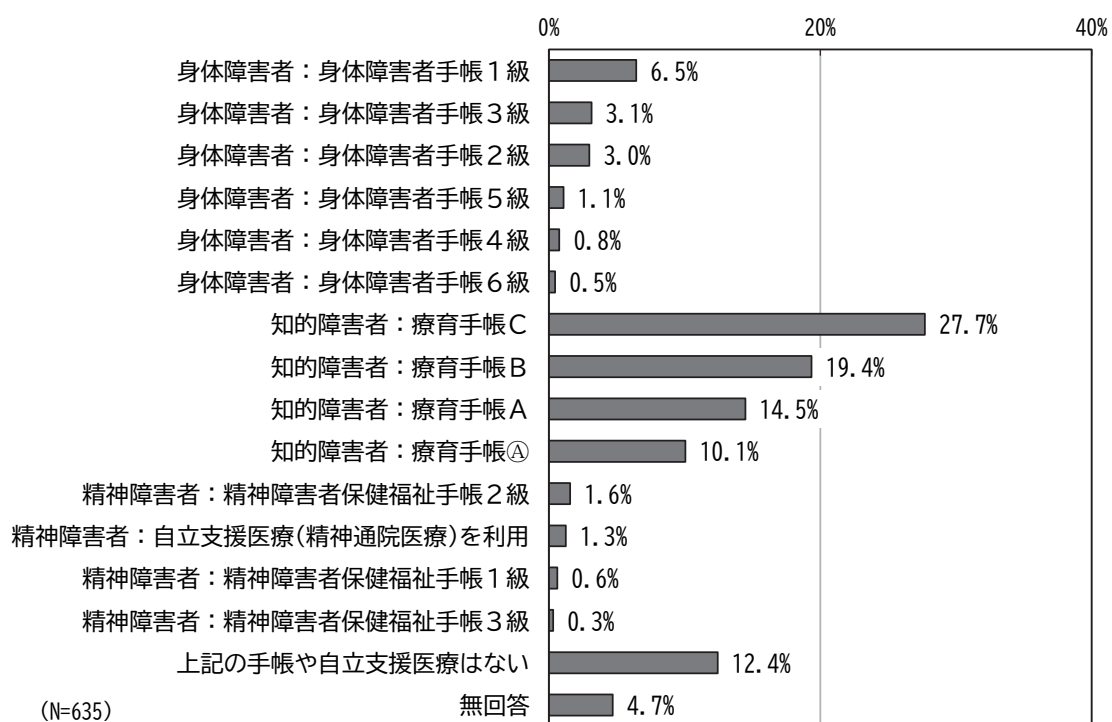
令和5年7月1日現在の就学(未就学)等については、「小学生」が42.7%で最も多く、次いで「未就学児」が24.9%、「中学生」、「中学校卒業以上」が16.2%となっています。



④所持している手帳等（問3）

所持している手帳等については、身体障害者は「身体障害者手帳1級」が6.5%、知的障害者は「療育手帳C」が27.7%、精神障害者は「精神障害者保健福祉手帳2級」が1.6%で最も多くなっています。

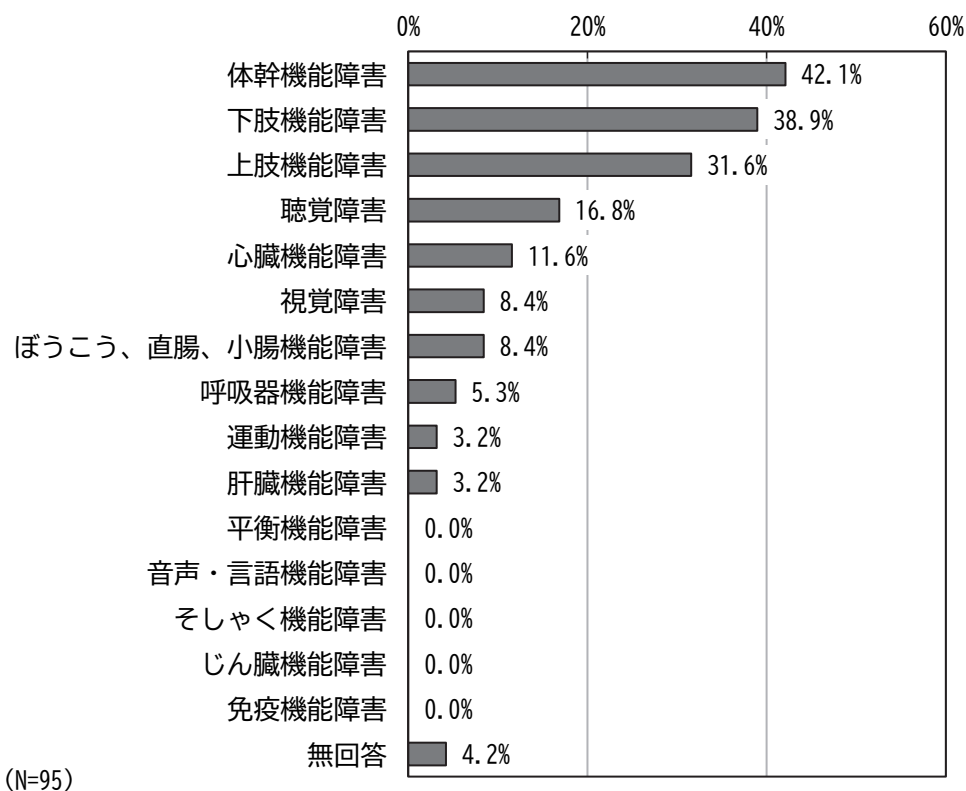
■所持している手帳等（複数回答）



⑤手帳に記されている障害（問4）

問3で身体障害者手帳に○をつけた方に、手帳に記されている障害をきいたところ、「体幹機能障害」が42.1%で最も多く、次いで「下肢機能障害」が38.9%、「上肢機能障害」が31.6%となっています。

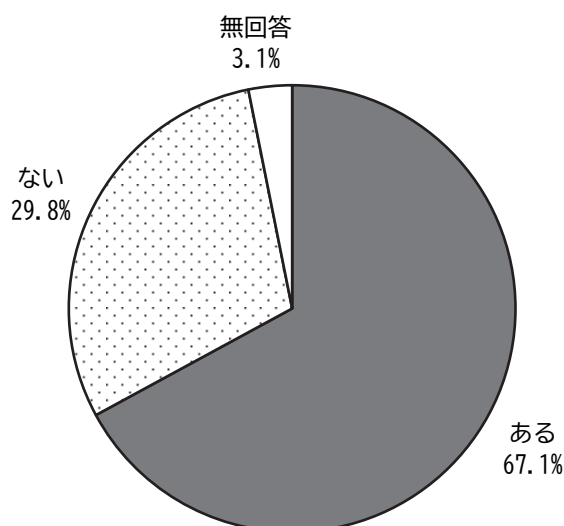
■手帳に記されている障害（複数回答）



⑥「発達障害」の診断の有無（問5）

「発達障害」の診断の有無については、「ある」が67.1%、「ない」が29.8%となっています。

■「発達障害」の診断の有無



(N=635)

就学別にみると、未就学児は「ない」が全体に比べ多くなっています。

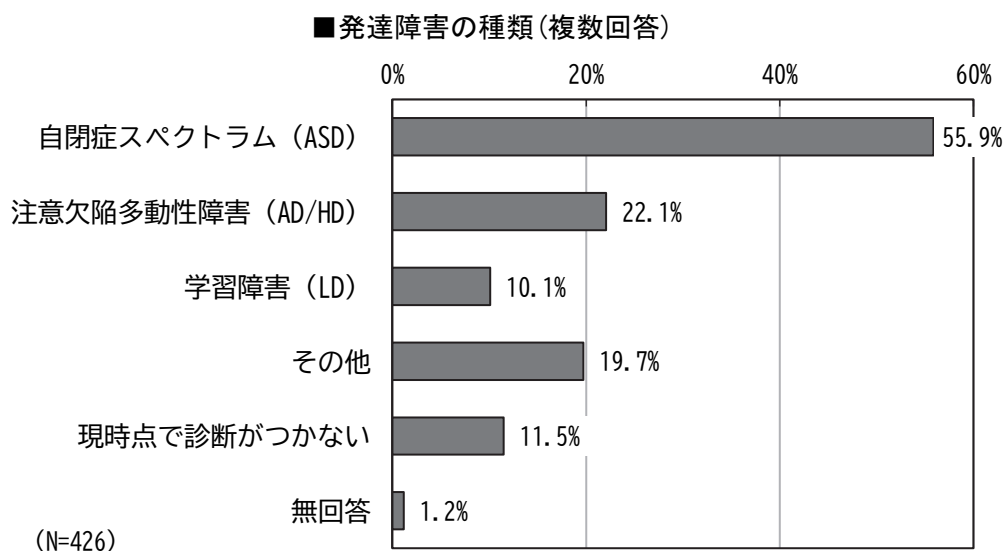
■「発達障害」の診断の有無（就学別）

		合 計	1. ある	2. ない	3. 無回答
全 体		635 (100.0)	426 (67.1)	189 (29.8)	20 (3.1)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	82 (51.9)	71 (44.9)	5 (3.2)
	2. 小学生	271 (100.0)	203 (74.9)	62 (22.9)	6 (2.2)
	3. 中学生	103 (100.0)	74 (71.8)	24 (23.3)	5 (4.9)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	67 (65.0)	32 (31.1)	4 (3.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦発達障害の種類（問５－１）

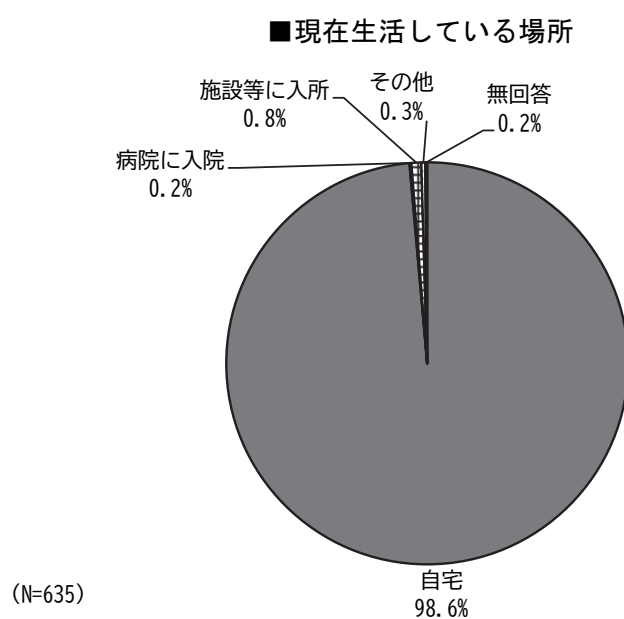
問５で「ある」と回答した方に、発達障害の種類をきいたところ、「自閉症スペクトラム（ASD）」が 55.9%で最も多く、次いで「注意欠陥多動性障害（AD/HD）」が 22.1%、「学習障害（LD）」が 10.1%となっています。



（２）家庭のことについて

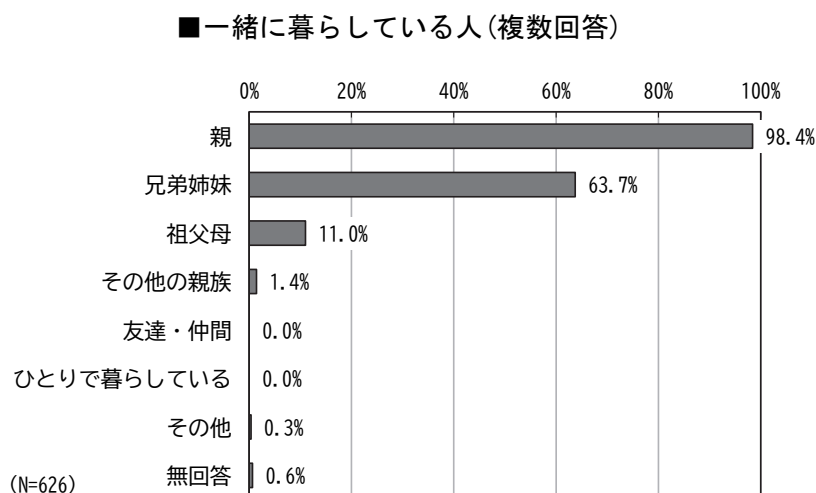
①現在生活している場所（問６）

現在生活している場所については、「自宅」が 98.6%、「施設等に入所」が 0.8%となっています。



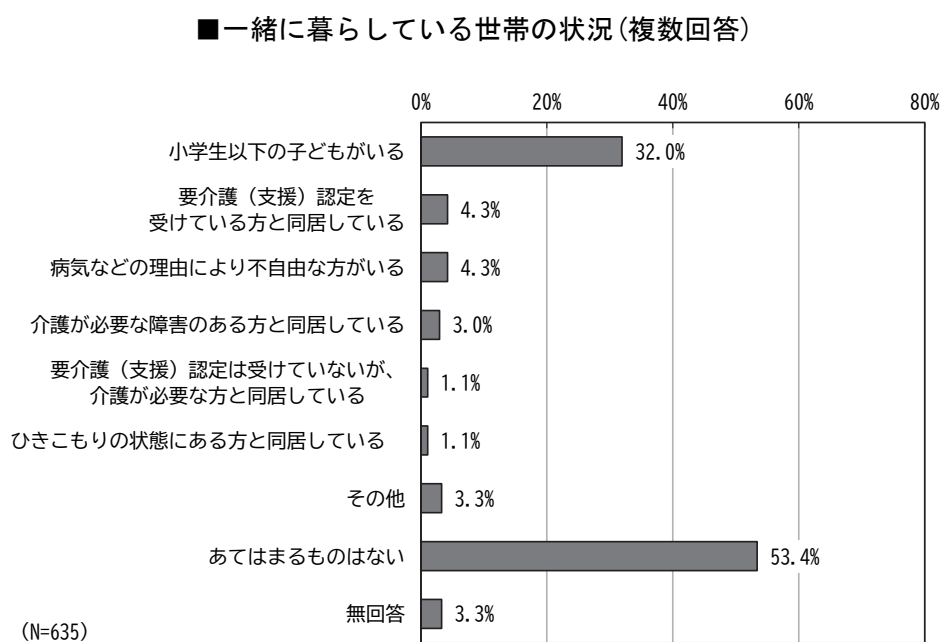
②一緒に暮らしている人（問6 - 1）

問6で「自宅」と回答した方に、一緒に暮らしている人（子どもからみた属性）をきいたところ、「親」が98.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が63.7%、「祖父母」が11.0%となっています。



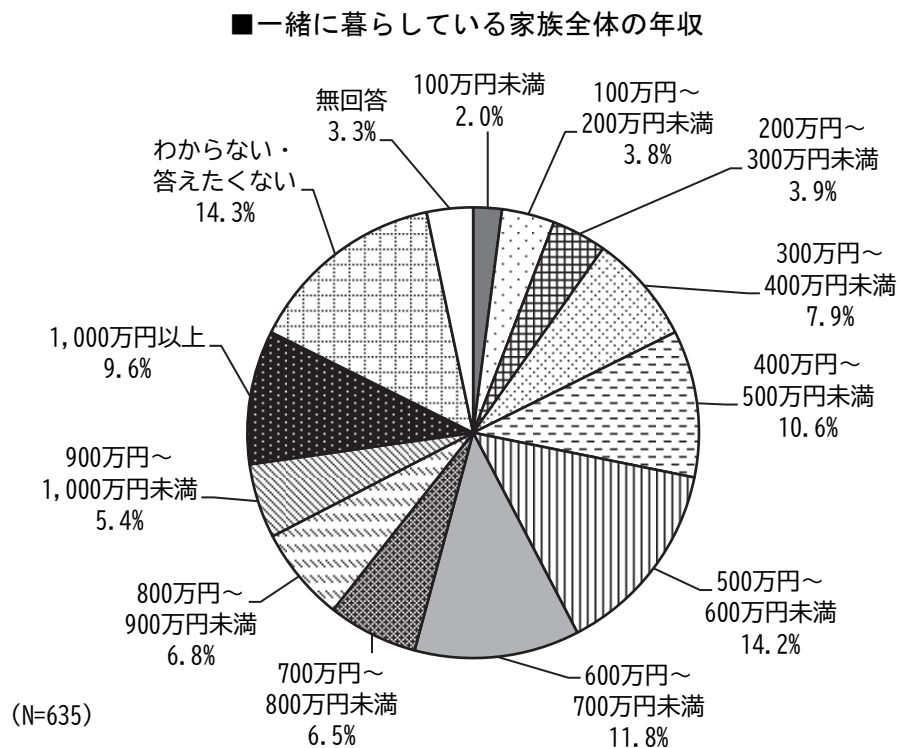
③一緒に暮らしている世帯の状況（問7）

一緒に暮らしている世帯の状況については、「小学生以下の子どもがいる」が32.0%で最も多く、次いで「要介護（支援）認定を受けている方と同居している」、「病気などの理由により不自由な方がいる」が4.3%となっています。



④一緒に暮らしている家族全体の年収（問8）

一緒に暮らしている家族全体の年収（世帯年収）（賃金・年金等を含む）については、「500万円～600万円未満」が14.2%で最も多く、次いで「600万円～700万円未満」が11.8%、「400万円～500万円未満」が10.6%となっています。

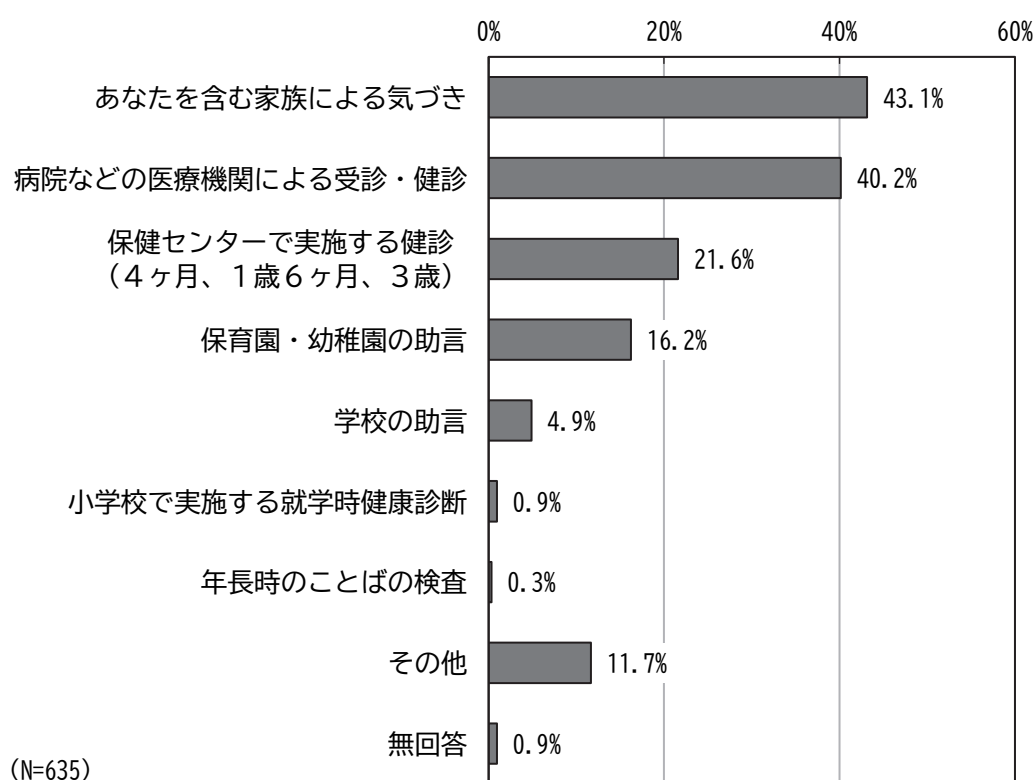


(3) 障害に気づいた時期について

①障害や発達課題などに気づいたきっかけ（問9）

障害や発達課題などに気づいたきっかけについては、「あなたを含む家族による気づき」が43.1%で最も多く、次いで「病院などの医療機関による受診・健診」が40.2%、「保健センターで実施する健診（4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳）」が21.6%となっています。

■障害や発達課題などに気づいたきっかけ（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「病院などの医療機関による受診・健診」、精神障害者は「保育園・幼稚園の助言」が全体に比べ多くなっています。

■障害や発達課題などに気づいたきっかけ(複数回答)(障害種別)

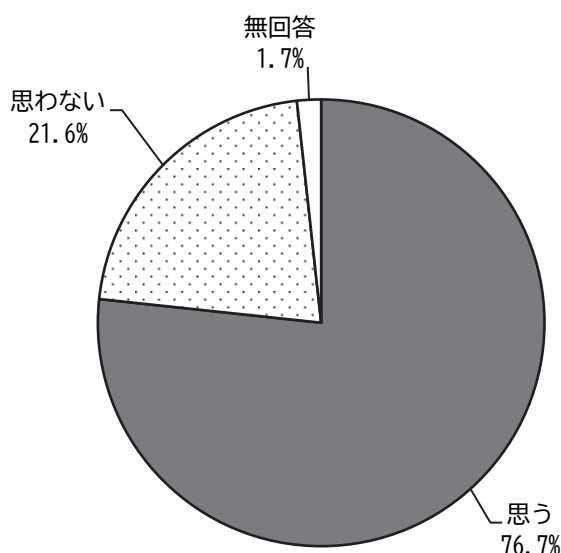
		回答者数	合 計	1. 病院などの医療機関による 受診・健診	2. 保健センターで実施する健 診（4ヶ月、1歳6ヶ月、 3歳）	3. 小学校で実施する就学時健 康診断	4. 年長時のことばの 検査	5. 保育園・幼稚園の 助言	6. 学校の助 言	7. あなたを含む家族による気 づき	8. その他	9. 無回答
全 体		635 (100.0)	888 (139.8)	255 (40.2)	137 (21.6)	6 (0.9)	2 (0.3)	103 (16.2)	31 (4.9)	274 (43.1)	74 (11.7)	6 (0.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	114 (120.0)	65 (68.4)	2 (2.1)	0 (-)	0 (-)	2 (2.1)	0 (-)	21 (22.1)	23 (24.2)	1 (1.1)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	641 (140.9)	182 (40.0)	116 (25.5)	4 (0.9)	2 (0.4)	67 (14.7)	21 (4.6)	197 (43.3)	49 (10.8)	3 (0.7)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	34 (154.5)	7 (31.8)	4 (18.2)	0 (-)	0 (-)	6 (27.3)	3 (13.6)	10 (45.5)	3 (13.6)	1 (4.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	110 (139.2)	22 (27.8)	9 (11.4)	2 (2.5)	0 (-)	22 (27.8)	6 (7.6)	42 (53.2)	5 (6.3)	2 (2.5)
	5. 無回答	30 (100.0)	50 (166.7)	7 (23.3)	10 (33.3)	0 (-)	0 (-)	8 (26.7)	4 (13.3)	17 (56.7)	4 (13.3)	0 (-)

注:()内はサグ#数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②障害や発達課題などに早く気づけたと思うか(問10)

障害や発達課題などに早く気づけたと思うかについては、「思う」が76.7%、「思わない」が21.6%となっています。

■障害や発達課題などに早く気づけたと思うか



(N=635)

就学別にみると、未就学児は「思う」、中学校卒業以上は「思わない」が全体に比べ多くなっています。

■発達障害の種類(複数回答)(就学別)

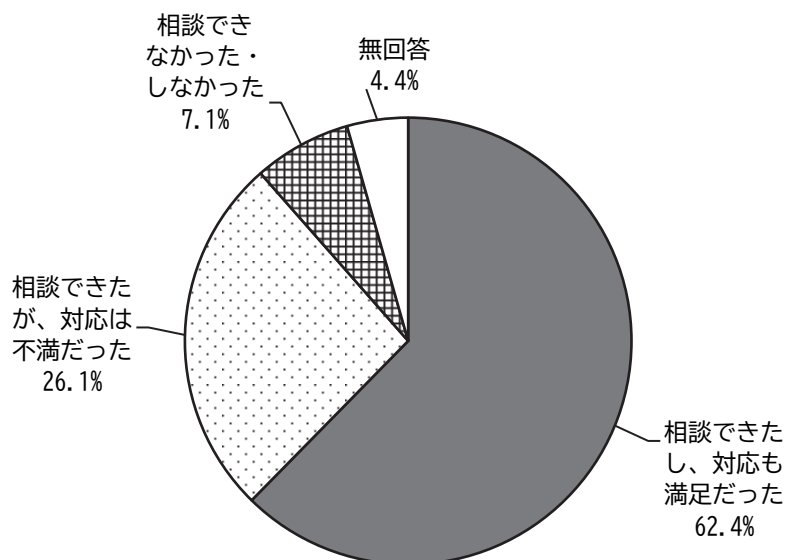
		合 計	1. 思う	2. 思わない	3. 無回答
全 体		635 (100.0)	487 (76.7)	137 (21.6)	11 (1.7)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	138 (87.3)	18 (11.4)	2 (1.3)
	2. 小学生	271 (100.0)	213 (78.6)	54 (19.9)	4 (1.5)
	3. 中学生	103 (100.0)	70 (68.0)	30 (29.1)	3 (2.9)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	66 (64.1)	35 (34.0)	2 (1.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③障害や発達課題などに気づいた際の市役所や専門機関等への相談状況(問11)

障害や発達課題などに気づいた際の市役所や専門機関等への相談状況については、「相談できたし、対応も満足だった」が62.4%で最も多く、次いで「相談できたが、対応は不満だった」が26.1%、「相談できなかった・しなかった」が7.1%となっています。

■障害や発達課題などに気づいた際の市役所や専門機関等への相談状況

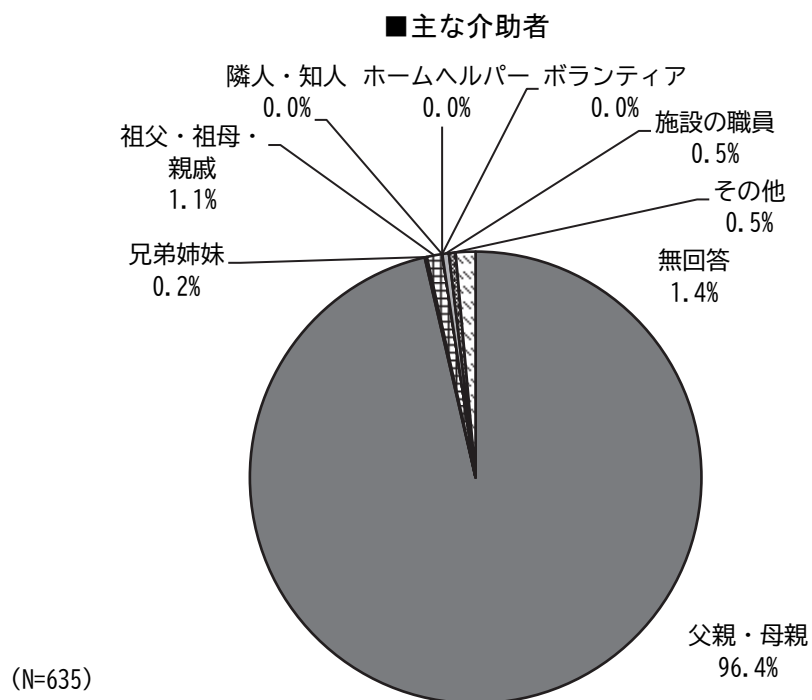


(N=635)

(4) 主な介助者について

①主な介助者（問 12）

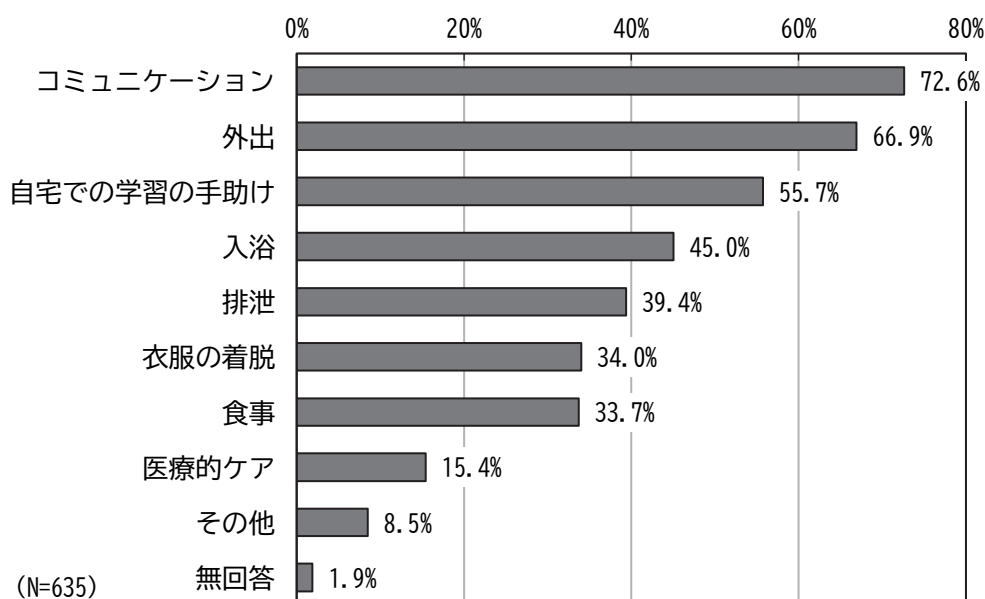
主な介助者については、「父親・母親」が 96.4%となっています。



②障害があることが理由で支援を必要とする項目（問 13）

障害があることが理由で支援を必要とする項目については、「コミュニケーション」が72.6%で最も多く、次いで「外出」が66.9%、「自宅での学習の手助け」が55.7%となっています。

■障害があることが理由で支援を必要とする項目（複数回答）



年齢別にみると、未就学児は「食事」、「排泄」、「入浴」、「衣服の着脱」、中学生は「自宅での学習の手助け」が全体に比べ多くなっています。

■障害があることが理由で支援を必要とする項目（複数回答）（就学別）

		回答者数	合 計	1. 食事	2. 排泄	3. 入浴	4. 衣服の着脱	5. 医療的ケア	6. コミュニケーション	7. 外出	8. 自宅での学習の手助け	9. その他	10. 無回答
問 2 就 学	全 体	635 (100.0)	2,370 (373.2)	214 (33.7)	250 (39.4)	286 (45.0)	216 (34.0)	98 (15.4)	461 (72.6)	425 (66.9)	354 (55.7)	54 (8.5)	12 (1.9)
	1. 未就学児	158 (100.0)	700 (443.0)	88 (55.7)	100 (63.3)	95 (60.1)	88 (55.7)	23 (14.6)	125 (79.1)	104 (65.8)	62 (39.2)	12 (7.6)	3 (1.9)
	2. 小学生	271 (100.0)	1,060 (391.1)	90 (33.2)	106 (39.1)	135 (49.8)	87 (32.1)	41 (15.1)	209 (77.1)	188 (69.4)	177 (65.3)	22 (8.1)	5 (1.8)
	3. 中学生	103 (100.0)	359 (348.5)	22 (21.4)	26 (25.2)	35 (34.0)	28 (27.2)	22 (21.4)	65 (63.1)	71 (68.9)	76 (73.8)	12 (11.7)	2 (1.9)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	251 (243.7)	14 (13.6)	18 (17.5)	21 (20.4)	13 (12.6)	12 (11.7)	62 (60.2)	62 (60.2)	39 (37.9)	8 (7.8)	2 (1.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はカギ括弧数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「食事」、「排泄」、「入浴」、「衣服の着脱」、「医療的ケア」、知的障害者は「外出」、精神障害者は「医療的ケア」が全体に比べ多くなっています。

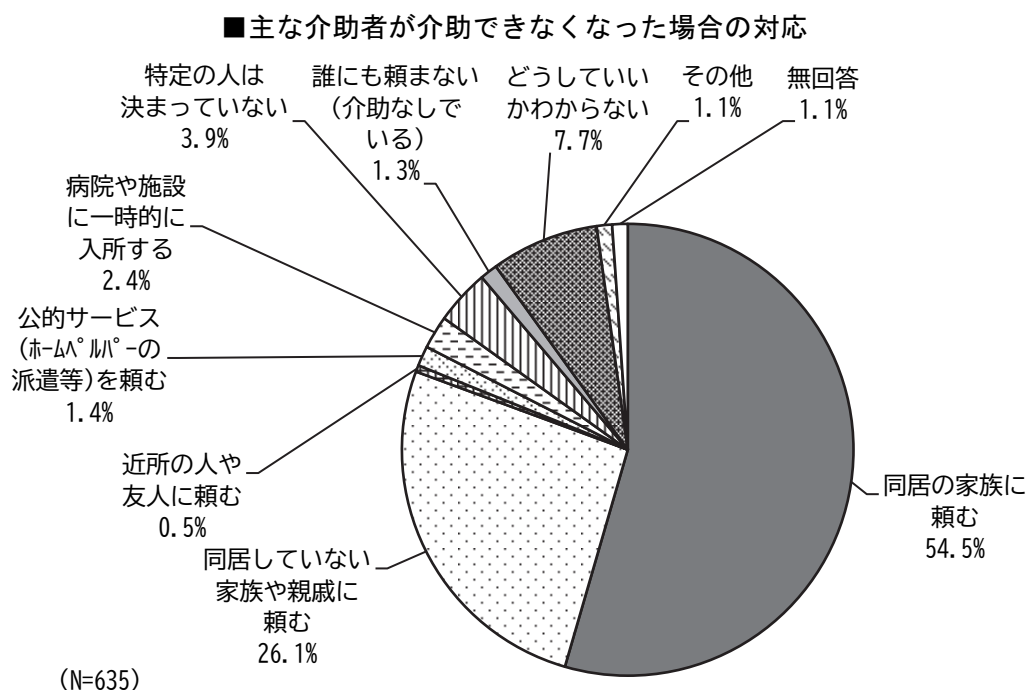
■障害があることが理由で支援を必要とする項目(複数回答)(障害種別)

	回答者数	合 計	1. 食事	2. 排泄	3. 入浴	4. 衣服の着脱	5. 医療的ケア	6. コミュニケーション	7. 外出	8. 自宅での学習の 手助け	9. その他	10. 無回答
全 体	635 (100.0)	2,370 (373.2)	214 (33.7)	250 (39.4)	286 (45.0)	216 (34.0)	98 (15.4)	461 (72.6)	425 (66.9)	354 (55.7)	54 (8.5)	12 (1.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	46 (48.4)	54 (56.8)	55 (57.9)	50 (52.6)	34 (35.8)	46 (48.4)	67 (70.5)	42 (44.2)	12 (12.6)	1 (1.1)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	180 (418.0)	207 (39.6)	241 (53.0)	180 (39.6)	71 (15.6)	353 (77.6)	352 (77.4)	281 (61.8)	32 (7.0)	5 (1.1)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	58 (263.6)	2 (9.1)	2 (9.1)	3 (13.6)	2 (9.1)	6 (27.3)	16 (72.7)	10 (54.5)	4 (18.2)	1 (4.5)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	155 (196.2)	6 (7.6)	9 (11.4)	8 (10.1)	5 (6.3)	2 (2.5)	59 (74.7)	19 (24.1)	34 (43.0)	10 (12.7)
	5. 無回答	30 (100.0)	87 (290.0)	7 (23.3)	8 (26.7)	9 (30.0)	7 (23.3)	3 (10.0)	22 (73.3)	14 (46.7)	13 (43.3)	2 (6.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③主な介助者が介助できなくなった場合の対応 (問 14)

主な介助者が介助できなくなった場合の対応 (これまでそのようなことがなかった方は今後のことを想定して回答) については、「同居の家族に頼む」が 54.5%で最も多く、次いで「同居していない家族や親戚に頼む」が 26.1%、「どうしていいかわからない」が 7.7%となっています。



経年変化をみると、前回より「同居の家族に頼む」が増加し、「どうしていいかわからない」が減少しています。

■主な介助者が介助できなくなった場合の対応（経年変化）

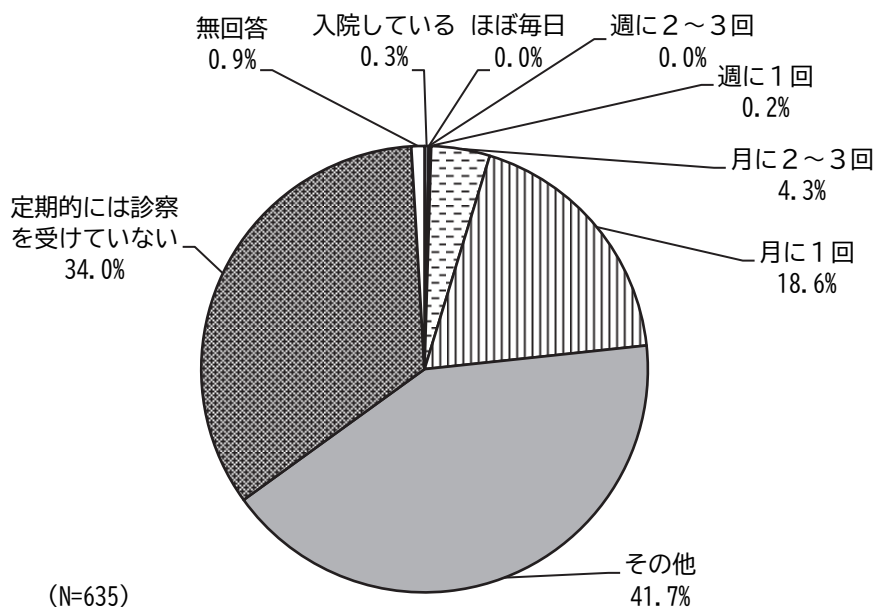
	合 計	1. 同居の家族に頼む	2. 同居していない家族や親戚に頼む	3. 近所の人や友人に頼む	4. 公的サービス（ホームヘルパーの派遣等）を頼む	5. 病院や施設に一時的に入所する	6. 特定の人には決まっていらない	7. 誰にも頼まない（介助なしでいる）	8. どうしていいかわからない	9. その他	10. 無回答
令和5年度	635 (100.0)	346 (54.5)	166 (26.1)	3 (0.5)	9 (1.4)	15 (2.4)	25 (3.9)	8 (1.3)	49 (7.7)	7 (1.1)	7 (1.1)
令和2年度	530 (100.0)	265 (50.0)	136 (25.7)	5 (0.9)	11 (2.1)	24 (4.5)	14 (2.6)	7 (1.3)	61 (11.5)	3 (0.6)	4 (0.8)

（５）医療について

①定期的な診察の受診状況（問 15）

定期的な診察の受診状況については、「定期的には診察を受けていない」が 34.0%で最も多く、次いで「月に1回」が 18.6%、「月に2～3回」が 4.3%となっています。

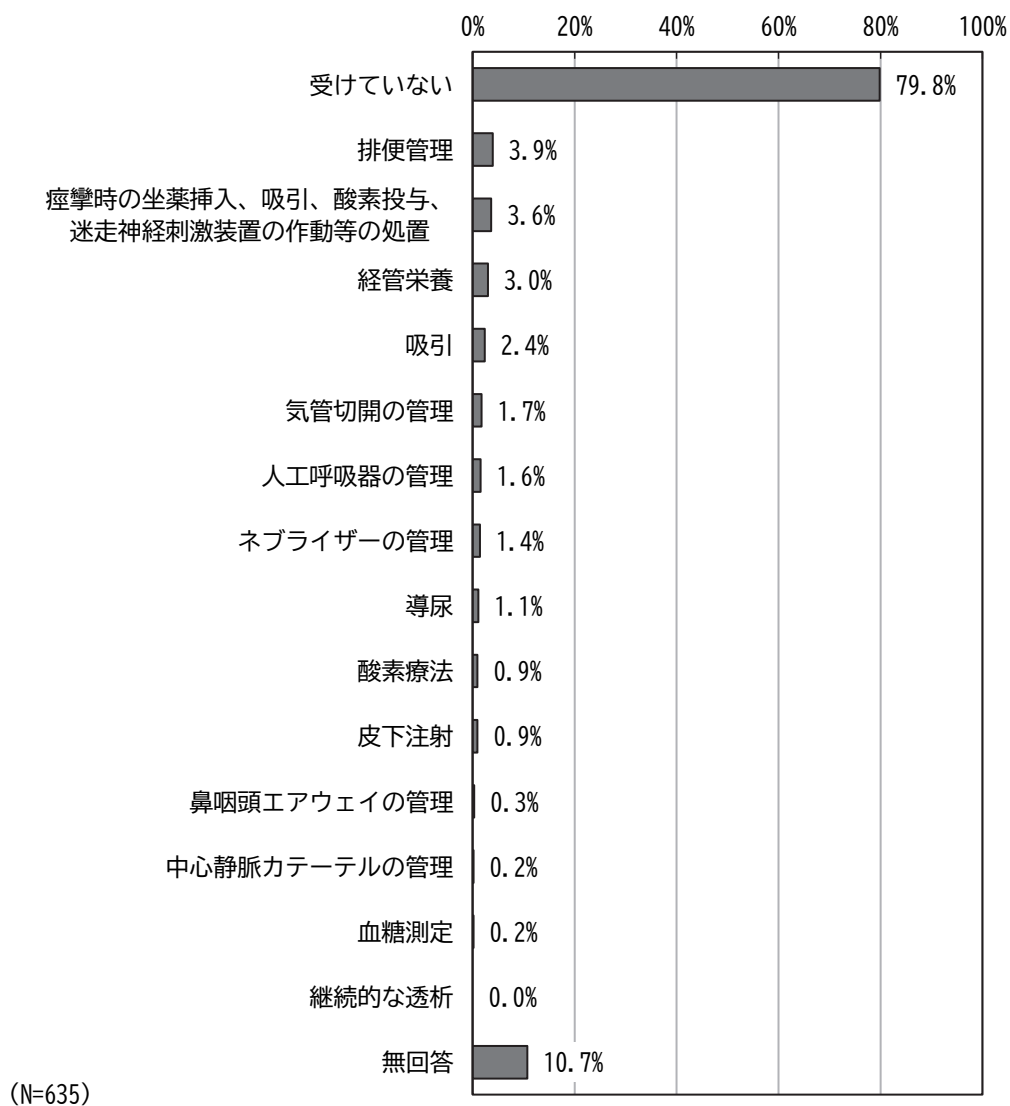
■定期的な診察の受診状況



②受けている「医療的なケア」の種類（問 16）

受けている「医療的なケア」の種類については、「受けていない」が 79.8%で最も多く、次いで「排便管理」が 3.9%で最も多く、次いで「痙攣時の坐薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置」が 3.6%、「経管栄養」が 3.0%となっています。

■「医療的なケア」の状況（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「吸引」、「経管栄養」、「排便管理」、「痙攣時の坐薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置」が全体に比べ多くなっています。

■「医療的なケア」の状況（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 受けてい ない	2. 人工呼吸 器の管理	3. 気管切開 の管理	4. 鼻咽頭工 アウェイ の管理	5. 酸素療法	6. 吸引	7. ネブライ ザーの管 理
全 体		635 (100.0)	710 (111.8)	507 (79.8)	10 (1.6)	11 (1.7)	2 (0.3)	6 (0.9)	15 (2.4)	9 (1.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	161 (169.5)	57 (60.0)	9 (9.5)	10 (10.5)	1 (1.1)	6 (6.3)	13 (13.7)	6 (6.3)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	498 (109.5)	375 (82.4)	4 (0.9)	6 (1.3)	2 (0.4)	3 (0.7)	10 (2.2)	5 (1.1)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	22 (100.0)	19 (86.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	79 (100.0)	65 (82.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (2.5)
	5. 無回答	30 (100.0)	31 (103.3)	23 (76.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

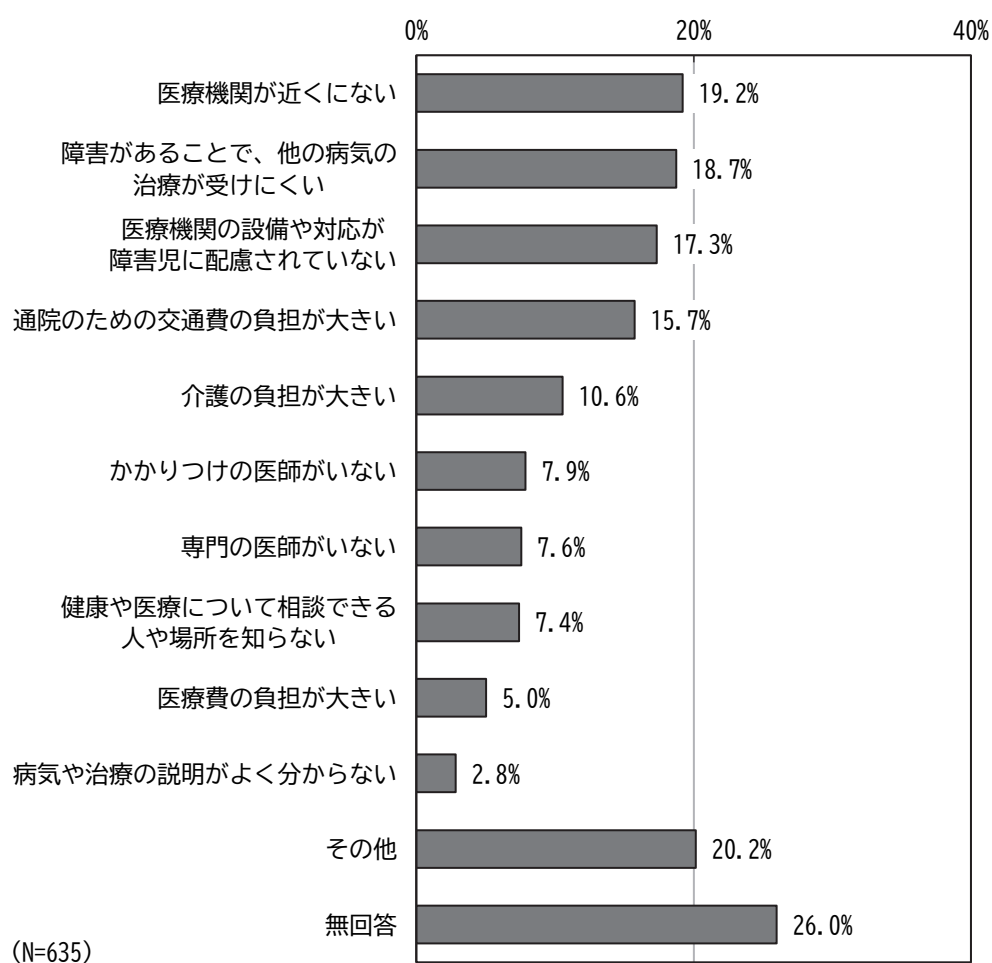
		8. 経管栄養	9. 中心静脈 カテーテ ルの管理	10. 皮下注射	11. 血糖測定	12. 継続的な 透析	13. 導尿	14. 排便管理	15. 痙攣時の 坐薬挿 入、吸 引、酸素 投与、迷 走神経刺 激装置の 作動等の 処置	16. 無回答
全 体		19 (3.0)	1 (0.2)	6 (0.9)	1 (0.2)	0 (-)	7 (1.1)	25 (3.9)	23 (3.6)	68 (10.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	16 (16.8)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (6.3)	15 (15.8)	15 (15.8)	7 (7.4)
	2. 知的障害者	11 (2.4)	1 (0.2)	5 (1.1)	1 (0.2)	0 (-)	1 (0.2)	14 (3.1)	14 (3.1)	46 (10.1)
	3. 精神障害者	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (4.5)	0 (-)	2 (9.1)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	1 (1.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (1.3)	0 (-)	10 (12.7)
	5. 無回答	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (6.7)	1 (3.3)	4 (13.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③健康の維持や医療に関することで困っていること（問 17）

健康の維持や医療に関することで困っていることについては、「医療機関が近くにない」が 19.2%で最も多く、次いで「障害があることで、他の病気の治療が受けにくい」が 18.7%、「医療機関の設備や対応が障害児に配慮されていない」が 17.3%、「通院のための交通費の負担が大きい」が 15.7%となっています。

■健康の維持や医療に関することで困っていること（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「医療機関が近くにない」、「介護の負担が大きい」、「通院のための交通費の負担が大きい」、精神障害者は「医療費の負担が大きい」、「通院のための交通費の負担が大きい」が全体に比べ多くなっています。

■健康の維持や医療に関することで困っていること（複数回答）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 医療機関が近くにない	2. 病気や治療の説明がよく分からない	3. かかりつけの医師がいない	4. 専門の医師がいない	5. 医療機関の設備や対応が障害児に配慮されていない	6. 障害があることで、他の病気の治療が受けにくい	7. 健康や医療について相談できる人や場所を知らない	8. 医療費の負担が大きい	9. 介護の負担が大きい	10. 通院のための交通費の負担が大きい	11. その他	12. 無回答
全 体	635 (100.0)	1,006 (158.4)	122 (19.2)	18 (2.8)	50 (7.9)	48 (7.6)	110 (17.3)	119 (18.7)	47 (7.4)	32 (5.0)	67 (10.6)	100 (15.7)	128 (20.2)	165 (26.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	171 (180.0)	29 (30.5)	1 (1.1)	4 (4.2)	6 (6.3)	17 (17.9)	5 (5.3)	7 (7.4)	12 (12.6)	23 (24.2)	34 (35.8)	21 (22.1)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	756 (166.2)	85 (18.7)	15 (3.3)	40 (8.8)	35 (7.7)	96 (21.1)	106 (23.3)	36 (7.9)	21 (4.6)	54 (11.9)	70 (15.4)	96 (21.1)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	37 (168.2)	4 (18.2)	1 (4.5)	0 (-)	0 (-)	2 (9.1)	4 (18.2)	2 (9.1)	4 (18.2)	1 (4.5)	6 (27.3)	9 (40.9)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	93 (117.7)	10 (12.7)	2 (2.5)	3 (3.8)	5 (6.3)	5 (6.3)	4 (5.1)	3 (3.8)	1 (1.3)	0 (-)	3 (3.8)	16 (20.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	45 (150.0)	5 (16.7)	1 (3.3)	4 (13.3)	6 (20.0)	3 (10.0)	4 (13.3)	3 (10.0)	1 (3.3)	1 (3.3)	4 (13.3)	10 (33.3)

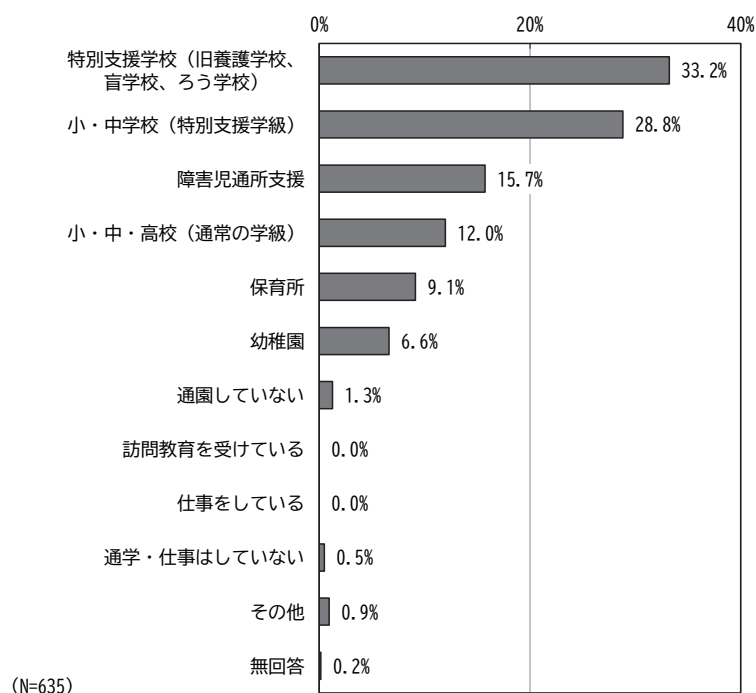
注:()内はワッル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

（６）教育について

①現在の通園・通学（訪問教育）または通勤の状況（問 18）

現在の通園・通学（訪問教育）または通勤の状況については、「特別支援学校（旧養護学校、盲学校、ろう学校）」が 33.2%で最も多く、次いで「小・中学校（特別支援学級）」が 28.8%、「障害児通所支援」が 15.7%となっています。

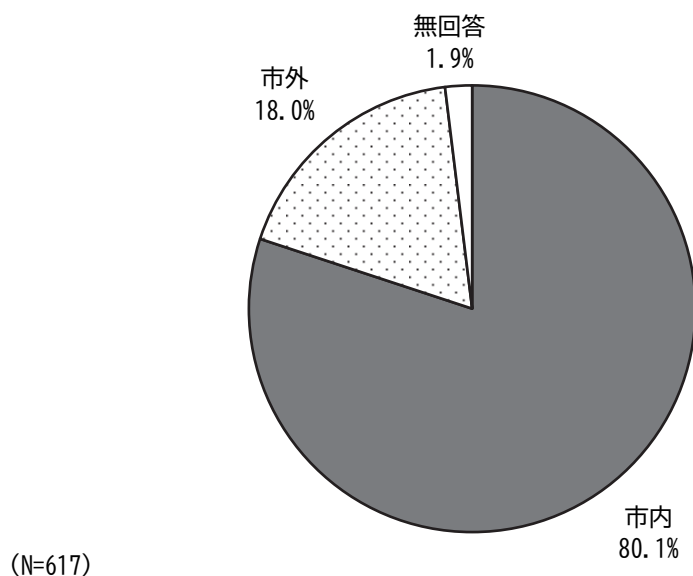
■現在の通園・通学（訪問教育）または通勤の状況



②通園・通学先の場所（問 19）

問 18 で通園・通学と回答した方に、通園・通学先の場所をきいたところ、「市内」が 80.1%、「市外」が 18.0%となっています。

■通園・通学先の場所



年齢別にみると、未就学児、小学生は「市内」、中学校卒業以上は「市外」が全体に比べて多くなっています。

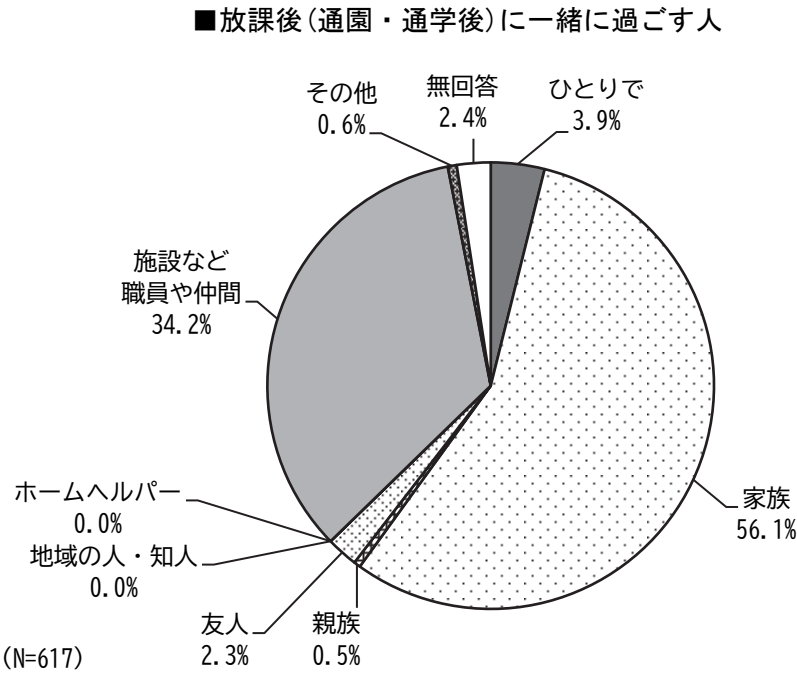
■通園・通学先の場所（就学別）

		合 計	1. 市内	2. 市外	3. 無回答
全 体		617 (100.0)	494 (80.1)	111 (18.0)	12 (1.9)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	143 (95.3)	7 (4.7)	0 (-)
	2. 小学生	271 (100.0)	250 (92.3)	17 (6.3)	4 (1.5)
	3. 中学生	101 (100.0)	88 (87.1)	9 (8.9)	4 (4.0)
	4. 中学校卒業以上	95 (100.0)	13 (13.7)	78 (82.1)	4 (4.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③放課後(通園・通学後)と一緒に過ごす人(問 20 ア)

問 18 で通園・通学と回答した方に、放課後(通園・通学後)と一緒に過ごす人をきいたところ、「家族」が 56.1%で最も多く、次いで「施設など職員や仲間」が 34.2%、「ひとりで」が 3.9%となっています。



年齢別にみると、未就学児は「家族」、小学生は「施設など職員や仲間」が全体に比べ多くなっています。

■放課後(通園・通学後)と一緒に過ごす人(就学別)

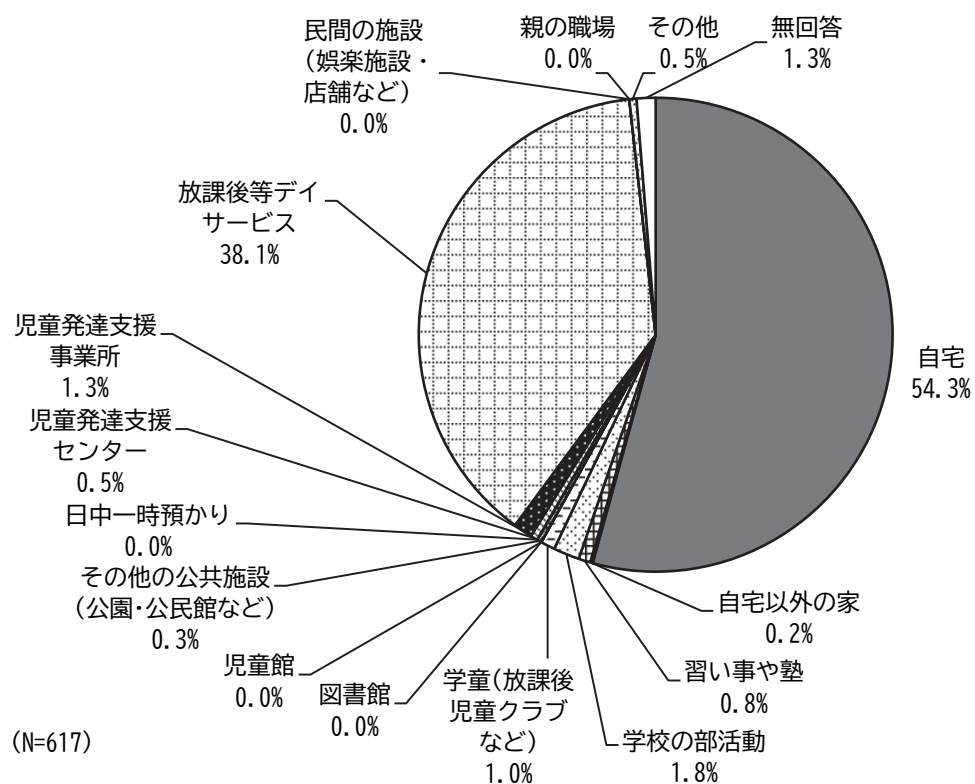
		合 計	1. ひとりで	2. 家族	3. 親族	4. 友人	5. 地域の 人・知人	6. ホームヘルパー	7. 施設など 職員や仲間	8. その他	9. 無回答
全 体		617 (100.0)	24 (3.9)	346 (56.1)	3 (0.5)	14 (2.3)	0 (-)	0 (-)	211 (34.2)	4 (0.6)	15 (2.4)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	0 (-)	146 (97.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (2.0)	0 (-)	1 (0.7)
	2. 小学生	271 (100.0)	7 (2.6)	105 (38.7)	2 (0.7)	8 (3.0)	0 (-)	0 (-)	137 (50.6)	2 (0.7)	10 (3.7)
	3. 中学生	101 (100.0)	7 (6.9)	44 (43.6)	0 (-)	4 (4.0)	0 (-)	0 (-)	42 (41.6)	2 (2.0)	2 (2.0)
	4. 中学校卒業以上	95 (100.0)	10 (10.5)	51 (53.7)	1 (1.1)	2 (2.1)	0 (-)	0 (-)	29 (30.5)	0 (-)	2 (2.1)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④放課後(通園・通学後)を過ごす場所(問 20 イ)

問 18 で通園・通学と回答した方に、放課後(通園・通学後)を過ごす場所をきいたところ、「自宅」が 54.3%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が 38.1%となっています。

■放課後(通園・通学後)を過ごす場所



年齢別にみると、未就学児は「自宅」、小学生、中学生は「放課後等デイサービス」が全体に比べ多くなっています。

■放課後(通園・通学後)を過ごす場所(就学別)

	合 計	1. 自宅	2. 自宅以外の家	3. 習い事や塾	4. 学校の部活動	5. 学童(放課後児童クラブなど)	6. 図書館	7. 児童館	8. その他の公共施設(公園・公民館など)
全 体	617 (100.0)	335 (54.3)	1 (0.2)	5 (0.8)	11 (1.8)	6 (1.0)	0 (-)	0 (-)	2 (0.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	141 (94.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 小学生	271 (100.0)	98 (36.2)	1 (0.4)	3 (1.1)	0 (-)	6 (2.2)	0 (-)	2 (0.7)
	3. 中学生	101 (100.0)	41 (40.6)	0 (-)	2 (2.0)	5 (5.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 中学校卒業以上	95 (100.0)	55 (57.9)	0 (-)	0 (-)	6 (6.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

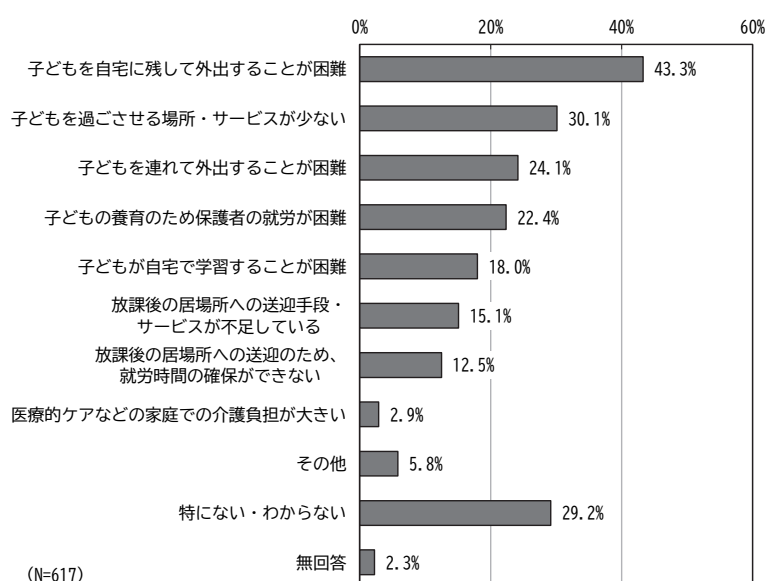
	9. 日中一時預かり	10. 児童発達支援センター	11. 児童発達支援事業所	12. 放課後等デイサービス	13. 民間の施設(娯楽施設・店舗など)	14. 親の職場	15. その他	16. 無回答
全 体	0 (-)	3 (0.5)	8 (1.3)	235 (38.1)	0 (-)	0 (-)	3 (0.5)	8 (1.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	0 (-)	2 (1.3)	5 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (1.3)
	2. 小学生	0 (-)	1 (0.4)	2 (0.7)	154 (56.8)	0 (-)	0 (-)	1 (1.1)
	3. 中学生	0 (-)	0 (-)	1 (1.0)	49 (48.5)	0 (-)	0 (-)	2 (1.0)
	4. 中学校卒業以上	0 (-)	0 (-)	0 (-)	32 (33.7)	0 (-)	0 (-)	2 (2.1)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥放課後や学校のない日に特に困っていること（問 22）

問 18 で通園・通学と回答した方に、放課後や学校のない日に特に困っていることをきいたところ、「子どもを自宅に残して外出することが困難」が 43.3%で最も多く、次いで「子どもを過ごさせる場所・サービスが少ない」が 30.1%、「子どもを連れて外出することが困難」が 24.1%となっています。

■放課後や学校のない日に特に困っていること（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「子どもを過ごさせる場所・サービスが少ない」、「子どもを連れて外出することが困難」、「子どもの養育のため保護者の就労が困難」、中学校卒業以上は「特にない・わからない」が全体に比べ多くなっています。

■放課後や学校のない日に特に困っていること（複数回答）（就学別）

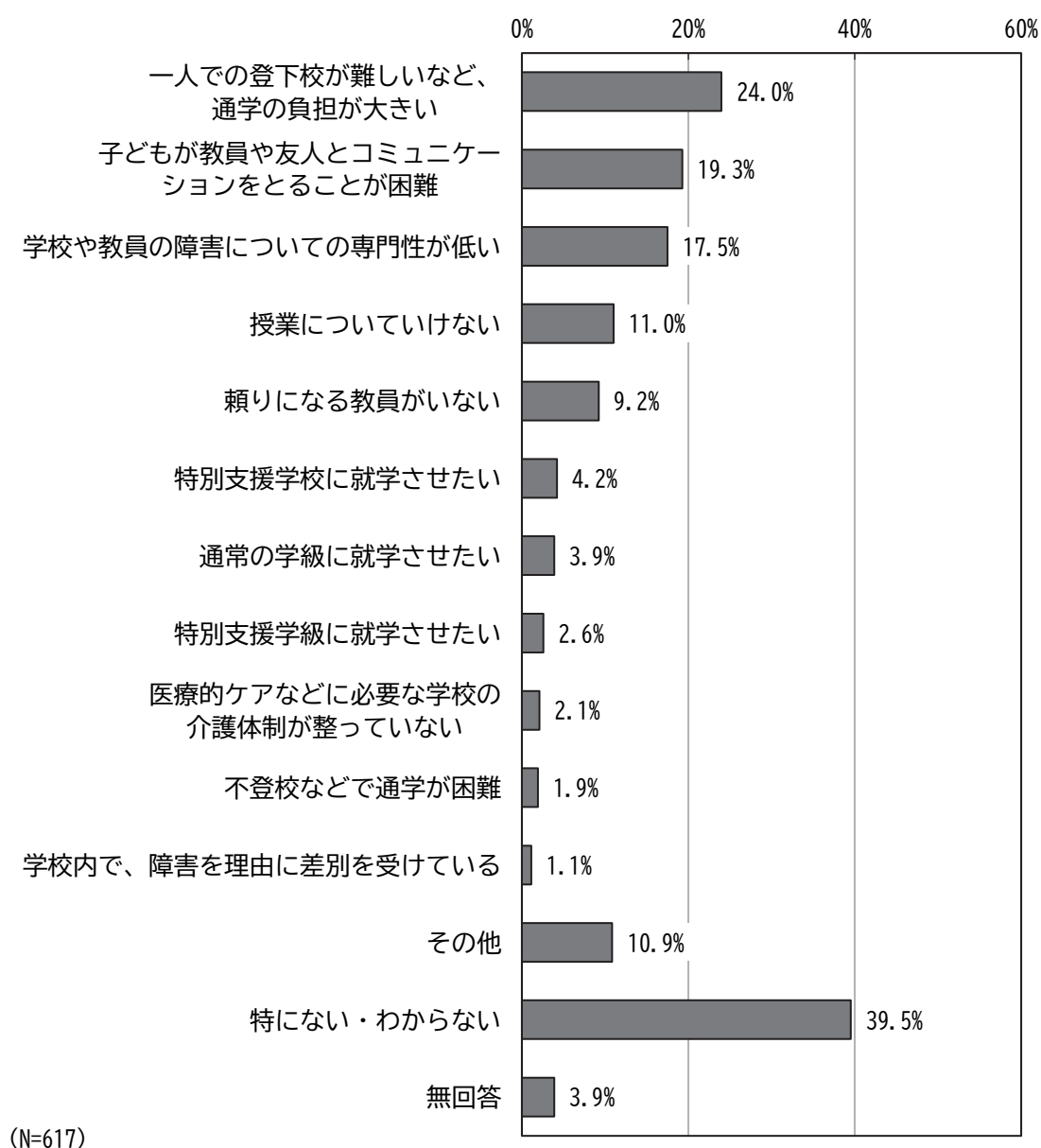
		回答者数	合 計	1. 子どもを 過ごさせ る場所・ サービス が少ない	2. 放課後の 居場所へ の送迎手 段・サー ビスが不 足してい る	3. 医療的ケ アなどの 家庭での 介護負担 が大きい	4. 子どもが 自宅で学 習するこ とが困難	5. 子どもを 自宅に残 して外出 することが 困難	6. 子どもを 連れて外 出するこ とが困難	7. 放課後の 居場所へ の送迎の ため、就 労時間の 確保がで きない	8. 子どもの 養育のた め保護者 の就労が 困難	9. その他	10. 特にな い・わか らない	11. 無回答
全 体		617 (100.0)	1,269 (205.7)	186 (30.1)	93 (15.1)	18 (2.9)	111 (18.0)	267 (43.3)	149 (24.1)	77 (12.5)	138 (22.4)	36 (5.8)	180 (29.2)	14 (2.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	366 (244.0)	66 (44.0)	30 (20.0)	8 (5.3)	18 (12.0)	72 (48.0)	55 (36.7)	24 (16.0)	51 (34.0)	4 (2.7)	33 (22.0)	5 (3.3)
	2. 小学生	271 (100.0)	594 (219.2)	90 (33.2)	43 (15.9)	6 (2.2)	53 (19.6)	141 (52.0)	69 (25.5)	40 (14.8)	63 (23.2)	19 (7.0)	65 (24.0)	5 (1.8)
	3. 中学生	101 (100.0)	167 (165.3)	15 (14.9)	13 (12.9)	2 (2.0)	26 (25.7)	35 (34.7)	15 (14.9)	8 (7.9)	14 (13.9)	8 (7.9)	30 (29.7)	1 (1.0)
	4. 中学校卒業以上	95 (100.0)	142 (149.5)	15 (15.8)	7 (7.4)	2 (2.1)	14 (14.7)	19 (20.0)	10 (10.5)	5 (5.3)	10 (10.5)	5 (5.3)	52 (54.7)	3 (3.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦学校生活で特に困っていること（問 23）

問 18 で通園・通学と回答した方に、学校生活で特に困っていることをきいたところ、「一人での登下校が難しいなど、通学の負担が大きい」が 24.0%で最も多く、次いで「子どもが教員や友人とコミュニケーションをとることが困難」が 19.3%、「学校や教員の障害についての専門性が低い」が 17.5%となっています。

■学校生活で特に困っていること（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「特別支援学校に就学させたい」、小学生は「一人での登下校が難しいなど、通学の負担が大きい」が全体に比べ多くなっています。

■学校生活で特に困っていること（複数回答）（就学別）

		回答者数	合 計	1. 学校内 で、障害 を理由に 差別を受 けている	2. 頼りにな る教員が いない	3. 学校や教 員の障害 について の専門性 が低い	4. 子どもが 教員や友 人とコ ミュニ ケーショ ンをとる ことが困 難	5. 授業につ いていけ ない	6. 医療的ケ アなどに 必要な学 校の介護 体制が 整ってい ない
全 体		617 (100.0)	933 (151.2)	7 (1.1)	57 (9.2)	108 (17.5)	119 (19.3)	68 (11.0)	13 (2.1)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	226 (150.7)	0 (-)	7 (4.7)	21 (14.0)	37 (24.7)	12 (8.0)	4 (2.7)
	2. 小学生	271 (100.0)	457 (168.6)	5 (1.8)	37 (13.7)	61 (22.5)	61 (22.5)	42 (15.5)	5 (1.8)
	3. 中学生	101 (100.0)	142 (140.6)	1 (1.0)	9 (8.9)	20 (19.8)	12 (11.9)	11 (10.9)	2 (2.0)
	4. 中学校卒業以上	95 (100.0)	108 (113.7)	1 (1.1)	4 (4.2)	6 (6.3)	9 (9.5)	3 (3.2)	2 (2.1)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

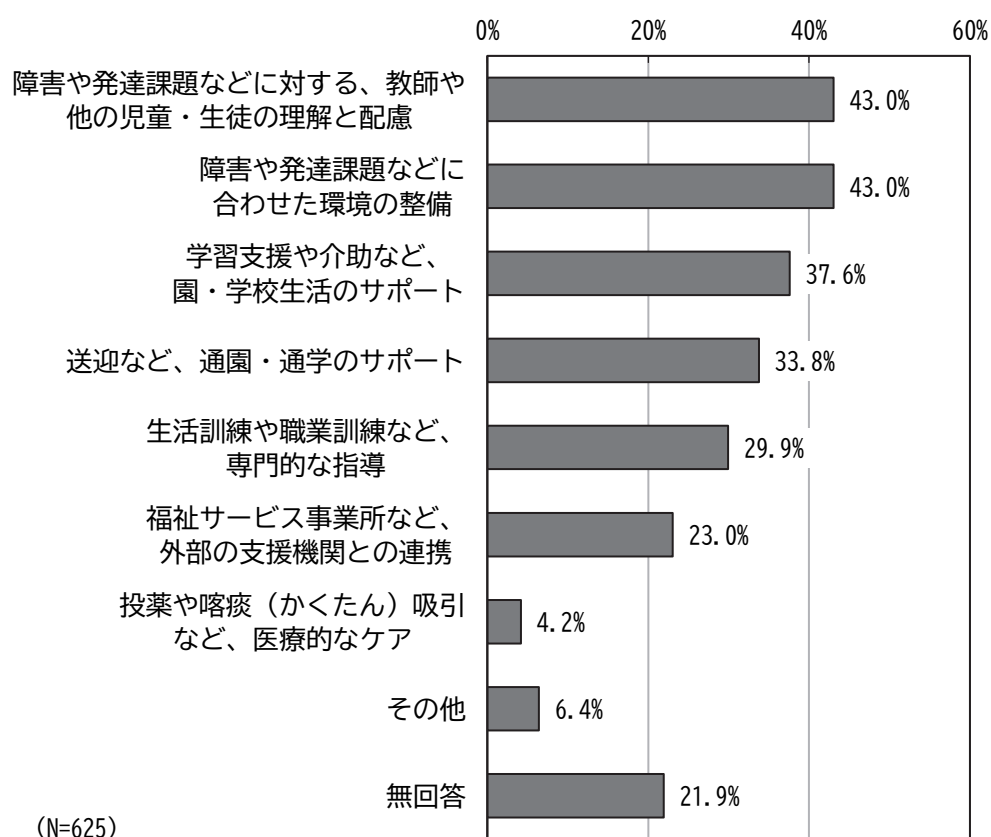
		7. 一人での 登下校が 難しいな ど、通学 の負担が 大きい	8. 不登校な どで通学 が困難	9. 通常の学 級に就学 させたい	10. 特別支援 学級に就 学させたい	11. 特別支援 学校に就 学させたい	12. その他	13. 特にな い・わか らない	14. 無回答
全 体		148 (24.0)	12 (1.9)	24 (3.9)	16 (2.6)	26 (4.2)	67 (10.9)	244 (39.5)	24 (3.9)
問 2 就 学	1. 未就学児	19 (12.7)	1 (0.7)	8 (5.3)	13 (8.7)	22 (14.7)	11 (7.3)	54 (36.0)	17 (11.3)
	2. 小学生	98 (36.2)	6 (2.2)	11 (4.1)	2 (0.7)	2 (0.7)	37 (13.7)	86 (31.7)	4 (1.5)
	3. 中学生	21 (20.8)	2 (2.0)	3 (3.0)	1 (1.0)	2 (2.0)	13 (12.9)	43 (42.6)	2 (2.0)
	4. 中学校卒業以上	10 (10.5)	3 (3.2)	2 (2.1)	0 (-)	0 (-)	6 (6.3)	61 (64.2)	1 (1.1)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑧園や学校に通う上で求めること（複数回答）（問 24）

問 18 で「仕事をしている」、「通学・仕事はしていない」、「その他」以外と回答した方に、園や学校に通う上で求めることをきいたところ、「障害や発達課題などに対する、教師や他の児童・生徒の理解と配慮」、「障害や発達課題などに合わせた環境の整備」が 43.0%で最も多く、次いで「学習支援や介助など、園・学校生活のサポート」が 37.6%となっています。

■園や学校に通う上で求めること（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「送迎など、通園・通学のサポート」、「投薬や喀痰(かくたん)吸引など、医療的なケア」、精神障害者は「障害や発達課題などに対する、教師や他の児童・生徒の理解と配慮」が全体に比べ多くなっています。

■園や学校に通う上で求めること(複数回答)(障害種別)

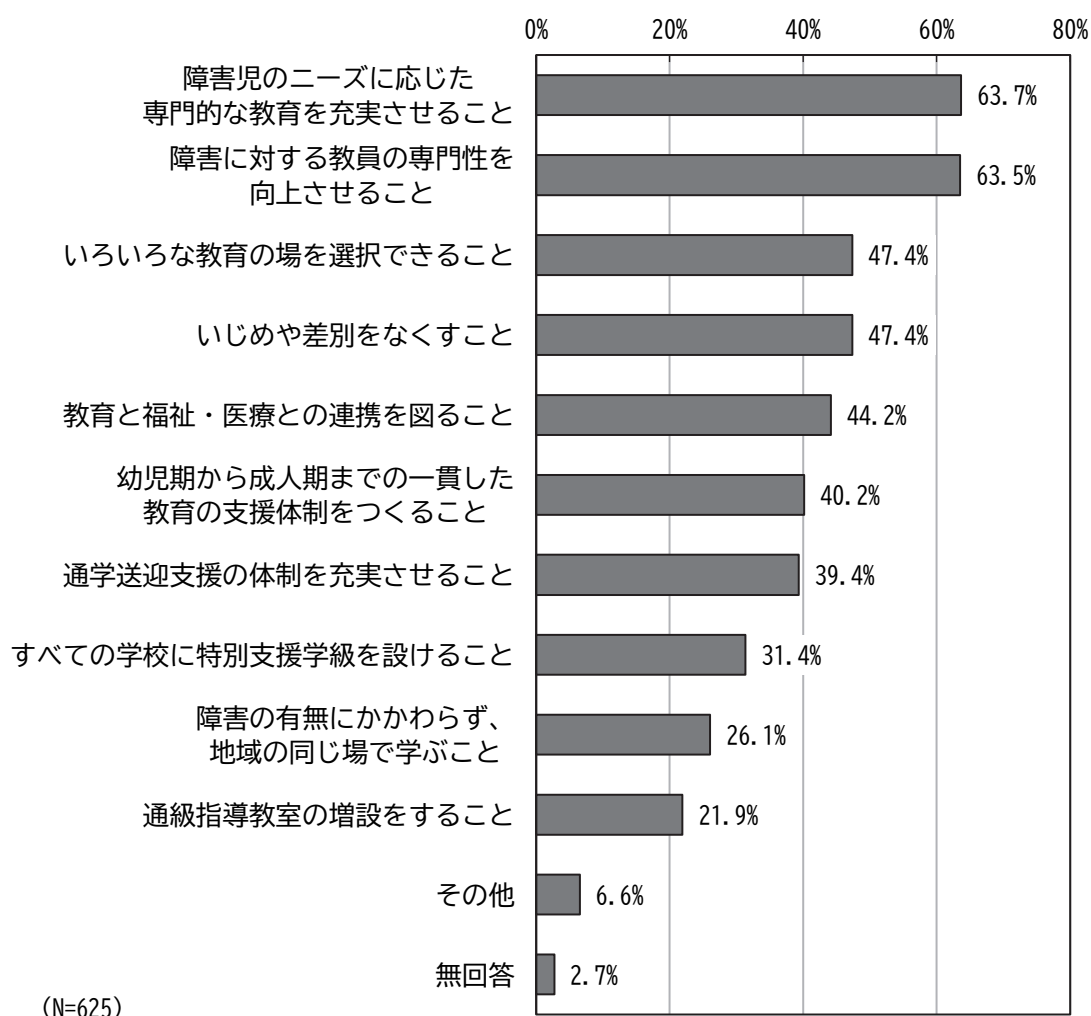
		回答者数	合 計	1. 送迎な ど、通 園・通学 のサポー ト	2. 学習支援 や介助な ど、園・ 学校生活 のサポー ト	3. 生活訓練 や職業訓 練など、 専門的な 指導	4. 投薬や喀 痰(かく たん)吸 引など、 医療的な ケア	5. 福祉サー ビス事業 所など、 外部の支 援機関と の連携	6. 障害や発 達課題な どに対す る、教師 や他の児 童・生徒 の理解と 配慮	7. 障害や発 達課題な どに合わ せた環境 の整備	8. その他	9. 無回答
全 体		625 (100.0)	1,518 (242.9)	211 (33.8)	235 (37.6)	187 (29.9)	26 (4.2)	144 (23.0)	269 (43.0)	269 (43.0)	40 (6.4)	137 (21.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	94 (100.0)	226 (240.4)	44 (46.8)	28 (29.8)	21 (22.3)	15 (16.0)	24 (25.5)	31 (33.0)	32 (34.0)	10 (10.6)	21 (22.3)
	2. 知的障害者	448 (100.0)	1,138 (254.0)	171 (38.2)	173 (38.6)	158 (35.3)	20 (4.5)	113 (25.2)	192 (42.9)	200 (44.6)	24 (5.4)	87 (19.4)
	3. 精神障害者	21 (100.0)	50 (238.1)	5 (23.8)	6 (28.6)	6 (28.6)	0 (-)	6 (28.6)	12 (57.1)	10 (47.6)	1 (4.8)	4 (19.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	77 (100.0)	171 (222.1)	13 (16.9)	34 (44.2)	13 (16.9)	1 (1.3)	12 (15.6)	37 (48.1)	34 (44.2)	6 (7.8)	21 (27.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	63 (210.0)	6 (20.0)	9 (30.0)	5 (16.7)	0 (-)	5 (16.7)	16 (53.3)	13 (43.3)	2 (6.7)	7 (23.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑨これからの障害児の学校教育で特に大切と思うこと（問 25）

問 18 で「仕事をしている」、「通学・仕事はしていない」、「その他」以外と回答した方に、これからの障害児の学校教育で特に大切と思うことをきいたところ、「障害児のニーズに応じた専門的な教育を充実させること」が 63.7%で最も多く、次いで「障害に対する教員の専門性を向上させること」が 63.5%、「いろいろな教育の場を選択できること」、「いじめや差別をなくすこと」が 47.4%となっています。

■ これからの障害児の学校教育で特に大切と思うこと（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「いじめや差別をなくすこと」が全体に比べ多くなっています。

■これからの障害児の学校教育で特に大切と思うこと（複数回答）（就学別）

		回答者数	合 計	1. 障害の有 無にかか わらず、 地域の同 じ場で学 ぶこと	2. 障害児の ニーズに 応じた専 門的な教 育を充実 させるこ と	3. いろい ろな教育 の場を選 択できる こと	4. 障害に対 する教員 の専門性 を向上さ せること	5. 教育と福 祉・医療 との連携 を図るこ と
全 体		625 (100.0)	2,714 (434.2)	163 (26.1)	398 (63.7)	296 (47.4)	397 (63.5)	276 (44.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	157 (100.0)	745 (474.5)	38 (24.2)	105 (66.9)	81 (51.6)	101 (64.3)	84 (53.5)
	2. 小学生	271 (100.0)	1,194 (440.6)	73 (26.9)	182 (67.2)	128 (47.2)	182 (67.2)	115 (42.4)
	3. 中学生	101 (100.0)	404 (400.0)	28 (27.7)	64 (63.4)	47 (46.5)	60 (59.4)	40 (39.6)
	4. 中学校卒業以上	96 (100.0)	371 (386.5)	24 (25.0)	47 (49.0)	40 (41.7)	54 (56.3)	37 (38.5)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

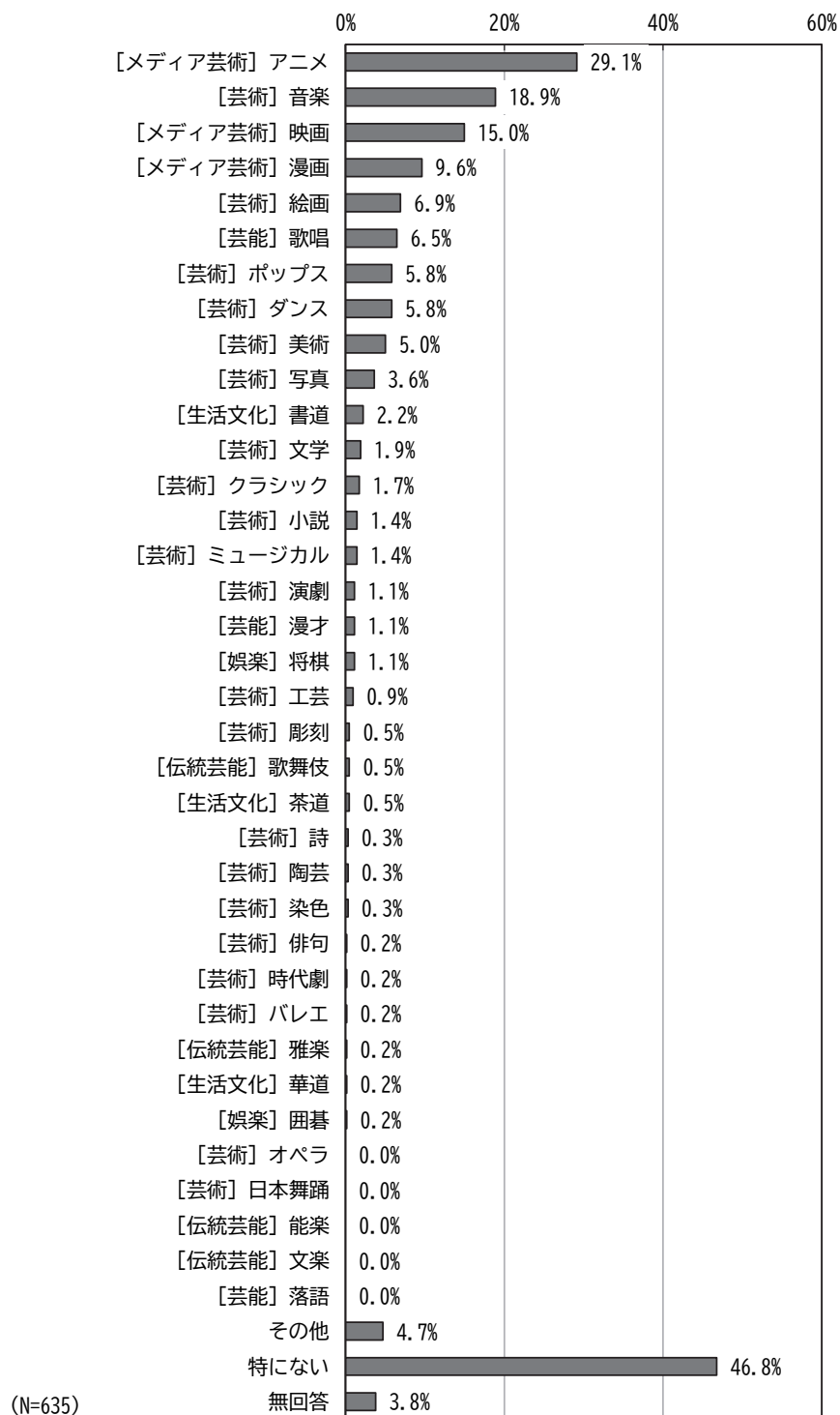
		6. 幼児期か ら成人期 までの一 貫した教 育の支援 体制をつ くること	7. すべての 学校に特 別支援学 級を設け ること	8. 通学送迎 支援の体 制を充実 させるこ と	9. いじめや 差別をな くすこと	10. 通級指導 教室の増 設をする こと	11. その他	12. 無回答
全 体		251 (40.2)	196 (31.4)	246 (39.4)	296 (47.4)	137 (21.9)	41 (6.6)	17 (2.7)
問 2 就 学	1. 未就学児	64 (40.8)	53 (33.8)	64 (40.8)	94 (59.9)	48 (30.6)	9 (5.7)	4 (2.5)
	2. 小学生	107 (39.5)	87 (32.1)	117 (43.2)	123 (45.4)	52 (19.2)	20 (7.4)	8 (3.0)
	3. 中学生	37 (36.6)	29 (28.7)	38 (37.6)	36 (35.6)	18 (17.8)	7 (6.9)	0 (-)
	4. 中学校卒業以上	43 (44.8)	27 (28.1)	27 (28.1)	43 (44.8)	19 (19.8)	5 (5.2)	5 (5.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（問 26）

現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）については、「アニメ」が29.1%で最も多く、次いで「音楽」が18.9%、「映画」が15.0%となっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）



障害種別にみると、精神障害者は「小説」、「音楽」、「写真」、「映画」、「漫画」、「アニメ」、「歌唱」が全体に比べ多くなっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. [芸術] 文学	2. [芸術] 詩	3. [芸術] 俳句	4. [芸術] 小説	5. [芸術] 音楽	6. [芸術] オペラ	7. [芸術] クラシッ ク	8. [芸術] ポップス	9. [芸術] 美術
全 体		635 (100.0)	1,129 (177.8)	12 (1.9)	2 (0.3)	1 (0.2)	9 (1.4)	120 (18.9)	0 (-)	11 (1.7)	37 (5.8)	32 (5.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	192 (202.1)	3 (3.2)	1 (1.1)	1 (1.1)	1 (1.1)	22 (23.2)	0 (-)	2 (2.1)	7 (7.4)	7 (7.4)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	746 (164.0)	3 (0.7)	1 (0.2)	0 (-)	4 (0.9)	81 (17.8)	0 (-)	8 (1.8)	26 (5.7)	20 (4.4)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	71 (322.7)	1 (4.5)	0 (-)	0 (-)	3 (13.6)	7 (31.8)	0 (-)	1 (4.5)	3 (13.6)	1 (4.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	155 (196.2)	2 (2.5)	0 (-)	0 (-)	2 (2.5)	17 (21.5)	0 (-)	1 (1.3)	4 (5.1)	5 (6.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	55 (183.3)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)	1 (3.3)	2 (6.7)	0 (-)	0 (-)	1 (3.3)	1 (3.3)

		10. [芸術] 絵画	11. [芸術] 彫刻	12. [芸術] 工芸	13. [芸術] 陶芸	14. [芸術] 染色	15. [芸術] 写真	16. [芸術] 演劇	17. [芸術] 時代劇	18. [芸術] ミュージ カル	19. [芸術] 日本舞踊
全 体		44 (6.9)	3 (0.5)	6 (0.9)	2 (0.3)	2 (0.3)	23 (3.6)	7 (1.1)	1 (0.2)	9 (1.4)	0 (-)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	8 (8.4)	1 (1.1)	1 (1.1)	1 (1.1)	0 (-)	5 (5.3)	2 (2.1)	0 (-)	3 (3.2)	0 (-)
	2. 知的障害者	27 (5.9)	1 (0.2)	4 (0.9)	2 (0.4)	2 (0.4)	11 (2.4)	2 (0.4)	0 (-)	5 (1.1)	0 (-)
	3. 精神障害者	3 (13.6)	0 (-)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (-)	3 (13.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	10 (12.7)	0 (-)	2 (2.5)	0 (-)	0 (-)	3 (3.8)	2 (2.5)	1 (1.3)	2 (2.5)	0 (-)
	5. 無回答	1 (3.3)	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (6.7)	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		20. [芸術] バレエ	21. [芸術] ダンス	22. [メディア 芸術] 映画	23. [メディア 芸術] 漫画	24. [メディア 芸術] アニメ	25. [伝統芸 能] 雅楽	26. [伝統芸 能] 能楽	27. [伝統芸 能] 文楽	28. [伝統芸 能] 歌舞 伎	29. [芸能] 落語
全 体		1 (0.2)	37 (5.8)	95 (15.0)	61 (9.6)	185 (29.1)	1 (0.2)	0 (-)	0 (-)	3 (0.5)	0 (-)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	0 (-)	5 (5.3)	15 (15.8)	10 (10.5)	24 (25.3)	1 (1.1)	0 (-)	0 (-)	2 (2.1)	0 (-)
	2. 知的障害者	1 (0.2)	28 (6.2)	62 (13.6)	30 (6.6)	112 (24.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (0.4)	0 (-)
	3. 精神障害者	0 (-)	2 (9.1)	8 (36.4)	6 (27.3)	12 (54.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (4.5)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	3 (3.8)	11 (13.9)	16 (20.3)	35 (44.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	2 (6.7)	8 (26.7)	3 (10.0)	10 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

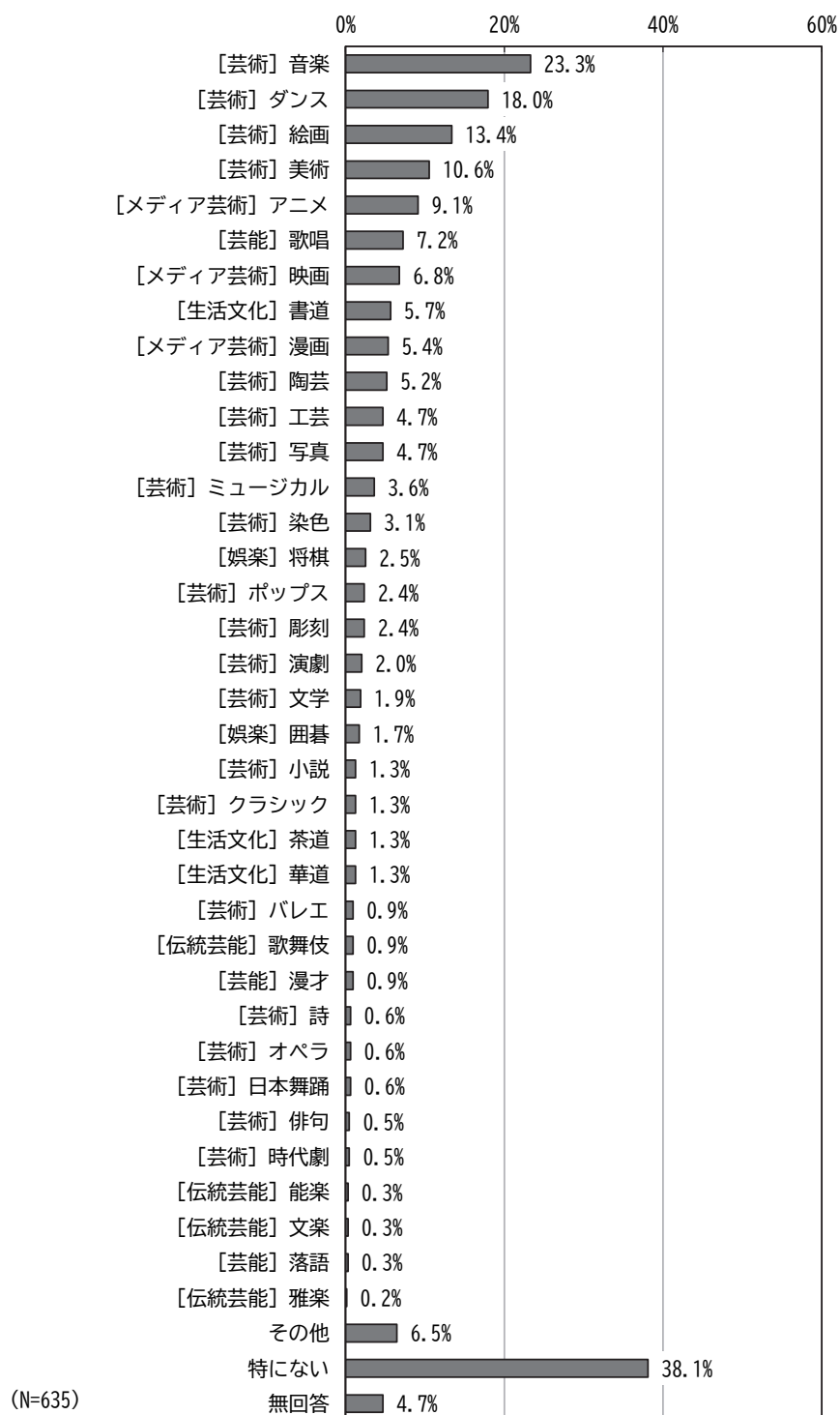
		30. [芸能] 漫才	31. [芸能] 歌唱	32. [生活文 化] 茶道	33. [生活文 化] 華道	34. [生活文 化] 書道	35. [娯楽] 囲碁	36. [娯楽] 将棋	37. その他	38. 特にない	39. 無回答
全 体		7 (1.1)	41 (6.5)	3 (0.5)	1 (0.2)	14 (2.2)	1 (0.2)	7 (1.1)	30 (4.7)	297 (46.8)	24 (3.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	2 (2.1)	8 (8.4)	3 (3.2)	1 (1.1)	4 (4.2)	0 (-)	1 (1.1)	4 (4.2)	42 (44.2)	5 (5.3)
	2. 知的障害者	5 (1.1)	25 (5.5)	1 (0.2)	0 (-)	8 (1.8)	0 (-)	2 (0.4)	27 (5.9)	228 (50.1)	18 (4.0)
	3. 精神障害者	0 (-)	6 (27.3)	1 (4.5)	0 (-)	1 (4.5)	0 (-)	2 (9.1)	1 (4.5)	7 (31.8)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	7 (8.9)	0 (-)	0 (-)	1 (1.3)	1 (1.3)	3 (3.8)	1 (1.3)	25 (31.6)	1 (1.3)
	5. 無回答	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	16 (53.3)	2 (6.7)

注：()内はガッパ®数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑪今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）（問 27）

今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）については、「音楽」が23.3%で最も多く、次いで「ダンス」が18.0%、「絵画」が13.4%となっています。

■今後、取り組んでみたい文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）



性別にみると、女性は「ダンス」が全体に比べ多くなっています。

■現在、取り組んでいる文化芸術活動（鑑賞含む）（複数回答）（性別）

		回答者数	合 計	1. 〔芸術〕 文学	2. 〔芸術〕 詩	3. 〔芸術〕 俳句	4. 〔芸術〕 小説	5. 〔芸術〕 音楽	6. 〔芸術〕 オペラ	7. 〔芸術〕 クラシッ ク	8. 〔芸術〕 ポップス	9. 〔芸術〕 美術
全 体		635 (100.0)	1,237 (194.8)	12 (1.9)	4 (0.6)	3 (0.5)	8 (1.3)	148 (23.3)	4 (0.6)	8 (1.3)	15 (2.4)	67 (10.6)
問 1 性別	1. 男性	446 (100.0)	815 (182.7)	10 (2.2)	3 (0.7)	3 (0.7)	5 (1.1)	102 (22.9)	2 (0.4)	6 (1.3)	11 (2.5)	40 (9.0)
	2. 女性	187 (100.0)	420 (224.6)	2 (1.1)	1 (0.5)	0 (-)	3 (1.6)	46 (24.6)	2 (1.1)	2 (1.1)	4 (2.1)	26 (13.9)
	3. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)

		10. 〔芸術〕 絵画	11. 〔芸術〕 彫刻	12. 〔芸術〕 工芸	13. 〔芸術〕 陶芸	14. 〔芸術〕 染色	15. 〔芸術〕 写真	16. 〔芸術〕 演劇	17. 〔芸術〕 時代劇	18. 〔芸術〕 ミュージカル	19. 〔芸術〕 日本舞踊
全 体		85 (13.4)	15 (2.4)	30 (4.7)	33 (5.2)	20 (3.1)	30 (4.7)	13 (2.0)	3 (0.5)	23 (3.6)	4 (0.6)
問 1 性別	1. 男性	49 (11.0)	10 (2.2)	19 (4.3)	20 (4.5)	9 (2.0)	21 (4.7)	5 (1.1)	2 (0.4)	11 (2.5)	3 (0.7)
	2. 女性	36 (19.3)	5 (2.7)	11 (5.9)	13 (7.0)	11 (5.9)	9 (4.8)	8 (4.3)	1 (0.5)	12 (6.4)	1 (0.5)
	3. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		20. 〔芸術〕 バレエ	21. 〔芸術〕 ダンス	22. 〔メディア 芸術〕 映画	23. 〔メディア 芸術〕 漫画	24. 〔メディア 芸術〕 アニメ	25. 〔伝統芸 能〕 雅楽	26. 〔伝統芸 能〕 能楽	27. 〔伝統芸 能〕 文楽	28. 〔伝統芸 能〕 歌舞 伎	29. 〔芸能〕 落語
全 体		6 (0.9)	114 (18.0)	43 (6.8)	34 (5.4)	58 (9.1)	1 (0.2)	2 (0.3)	2 (0.3)	6 (0.9)	2 (0.3)
問 1 性 別	1. 男性	2 (0.4)	56 (12.6)	31 (7.0)	18 (4.0)	34 (7.6)	1 (0.2)	2 (0.4)	2 (0.4)	6 (1.3)	2 (0.4)
	2. 女性	4 (2.1)	58 (31.0)	12 (6.4)	16 (8.6)	23 (12.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	3. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		30. 〔芸能〕 漫才	31. 〔芸能〕 歌唱	32. 〔生活文 化〕 茶道	33. 〔生活文 化〕 華道	34. 〔生活文 化〕 書道	35. 〔娯楽〕 囲碁	36. 〔娯楽〕 将棋	37. その他	38. 特にない	39. 無回答
全 体		6 (0.9)	46 (7.2)	8 (1.3)	8 (1.3)	36 (5.7)	11 (1.7)	16 (2.5)	41 (6.5)	242 (38.1)	30 (4.7)
問 1 性 別	1. 男性	5 (1.1)	29 (6.5)	3 (0.7)	4 (0.9)	22 (4.9)	11 (2.5)	16 (3.6)	27 (6.1)	190 (42.6)	23 (5.2)
	2. 女性	1 (0.5)	17 (9.1)	5 (2.7)	4 (2.1)	14 (7.5)	0 (-)	0 (-)	14 (7.5)	52 (27.8)	7 (3.7)
	3. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

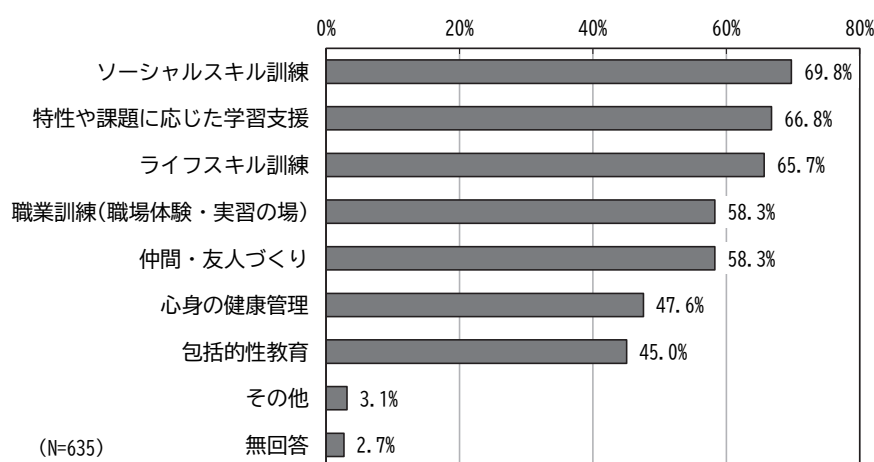
注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(7) 就労について

①卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育の期間に必要な
 と思う支援（問28）

卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育の期間に必要なと思う支援をきいたところ、「ソーシャルスキル訓練」が69.8%で最も多く、次いで「特性や課題に応じた学習支援」が66.8%、「ライフスキル訓練」が65.7%となっています。

■卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、
 義務教育の期間に必要なと思う支援（複数回答）



障害種別にみると、精神障害者は「心身の健康管理」が全体に比べ多くなっています。

■卒業後に円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育の期間に必要なと思う支援
 （複数回答）（障害種別）

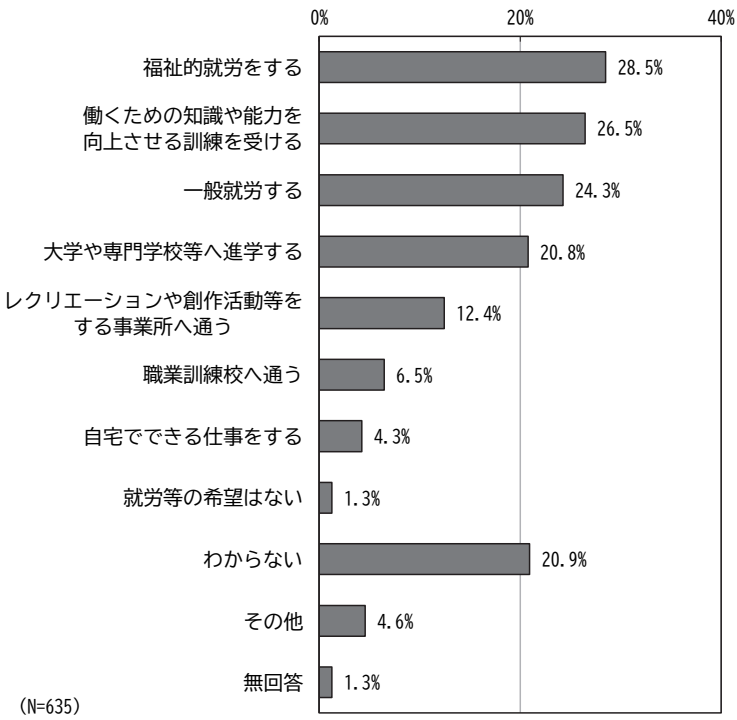
		回答者数	合 計	1. 特性や課 題に応じ た学習支 援	2. 職業訓練 (職場体 験・実習 の場)	3. ソーシャ ルスキル 訓練	4. ライフス キル訓練	5. 心身の健 康管理	6. 包括的性 教育	7. 仲間・友 人づくり	8. その他	9. 無回答
全 体		635 (100.0)	2,649 (417.2)	424 (66.8)	370 (58.3)	443 (69.8)	417 (65.7)	302 (47.6)	286 (45.0)	370 (58.3)	20 (3.1)	17 (2.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	310 (326.3)	46 (48.4)	40 (42.1)	47 (49.5)	40 (42.1)	46 (48.4)	23 (24.2)	57 (60.0)	4 (4.2)	7 (7.4)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	1,969 (432.7)	315 (69.2)	288 (63.3)	320 (70.3)	331 (72.7)	223 (49.0)	213 (46.8)	255 (56.0)	17 (3.7)	7 (1.5)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	95 (431.8)	15 (68.2)	14 (63.6)	16 (72.7)	11 (50.0)	14 (63.6)	11 (50.0)	13 (59.1)	1 (4.5)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	316 (400.0)	56 (70.9)	36 (45.6)	61 (77.2)	36 (45.6)	34 (43.0)	37 (46.8)	53 (67.1)	1 (1.3)	2 (2.5)
	5. 無回答	30 (100.0)	133 (443.3)	23 (76.7)	19 (63.3)	23 (76.7)	18 (60.0)	13 (43.3)	16 (53.3)	19 (63.3)	0 (-)	2 (6.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望（問 29）

将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望をきいたところ、「福祉的就労をする」が28.5%で最も多く、次いで「働くための知識や能力を向上させる訓練を受ける」が26.5%、「一般就労する」が24.3%となっています。

■将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望（2つまで）



障害種別にみると、精神障害者は「一般就労する」、「大学や専門学校等へ進学する」が全体に比べ多くなっています。

■将来的に高等学校などを卒業した後の進路希望（2つまで）（障害種別）

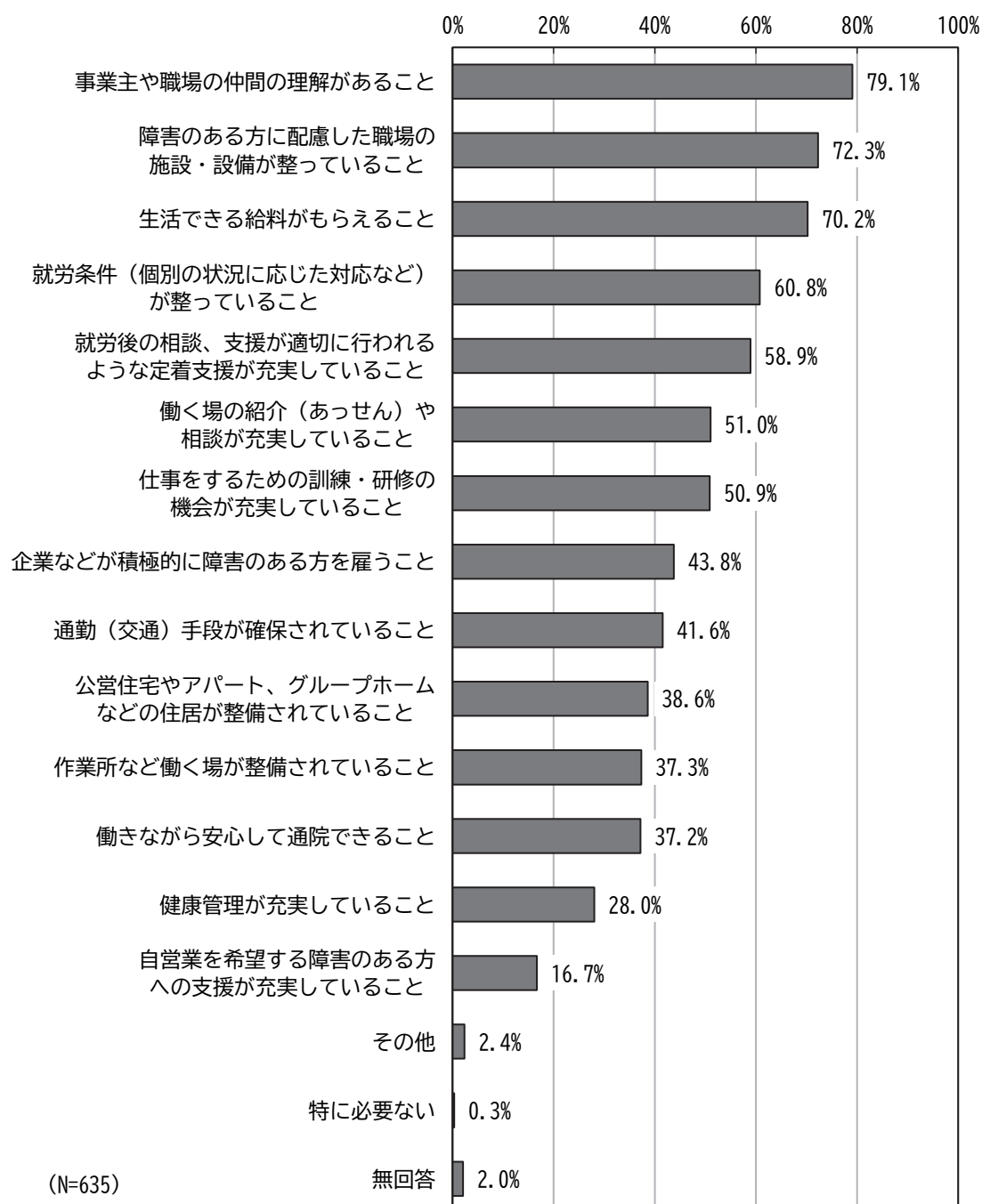
		回答者数	合 計	1. 一般就労 する	2. 働くための知識や能力を向上させる訓練を受ける	3. 福祉的就労をする	4. レクリエーションや創作活動等をする事業所へ通う	5. 職業訓練校へ通う	6. 大学や専門学校等へ進学する	7. 自宅でできる仕事をする	8. 就労等の希望はない	9. わからない	10. その他	11. 無回答
全 体		635 (100.0)	960 (151.2)	154 (24.3)	168 (26.5)	181 (28.5)	79 (12.4)	41 (6.5)	132 (20.8)	27 (4.3)	8 (1.3)	133 (20.9)	29 (4.6)	8 (1.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	131 (137.9)	10 (10.5)	20 (21.1)	17 (17.9)	11 (11.6)	6 (6.3)	26 (27.4)	5 (5.3)	4 (4.2)	21 (22.1)	8 (8.4)	3 (3.2)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	704 (154.7)	111 (24.4)	135 (29.7)	164 (36.0)	76 (16.7)	30 (6.6)	48 (10.5)	20 (4.4)	6 (1.3)	94 (20.7)	17 (3.7)	3 (0.7)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	37 (168.2)	11 (50.0)	4 (18.2)	4 (18.2)	2 (9.1)	2 (9.1)	9 (40.9)	1 (4.5)	0 (-)	4 (18.2)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	113 (143.0)	22 (27.8)	11 (13.9)	6 (7.6)	0 (-)	4 (5.1)	41 (51.9)	3 (3.8)	0 (-)	20 (25.3)	5 (6.3)	1 (1.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	43 (143.3)	11 (36.7)	7 (23.3)	3 (10.0)	0 (-)	2 (6.7)	12 (40.0)	0 (-)	1 (3.3)	5 (16.7)	1 (3.3)	1 (3.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③障害のある方が働くために必要なこと（問 30）

障害のある方が働くために必要なことについては、「事業主や職場の仲間の理解があること」が79.1%で最も多く、次いで「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」が72.3%、「生活できる給料がもらえること」が70.2%となっています。

■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「働きながら安心して通院できること」、精神障害者は「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」、「生活できる給料がもらえること」、「健康管理が充実していること」、「働きながら安心して通院できること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 企業などが積極的に障害のある方を雇うこと	2. 障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること	3. 就労条件（個別の状況に応じた対応など）が整っていること	4. 生活できる給料がもらえること	5. 事業主や職場の仲間の理解があること	6. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること	7. 自営業を希望する障害のある方への支援が充実していること	8. 通勤（交通）手段が確保されていること
全 体		635 (100.0)	4,388 (691.0)	278 (43.8)	459 (72.3)	386 (60.8)	446 (70.2)	502 (79.1)	323 (50.9)	106 (16.7)	264 (41.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	620 (652.6)	35 (36.8)	66 (69.5)	56 (58.9)	60 (63.2)	72 (75.8)	40 (42.1)	17 (17.9)	42 (44.2)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	3,260 (716.5)	201 (44.2)	338 (74.3)	276 (60.7)	324 (71.2)	364 (80.0)	242 (53.2)	72 (15.8)	211 (46.4)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	156 (709.1)	11 (50.0)	19 (86.4)	15 (68.2)	19 (86.4)	18 (81.8)	10 (45.5)	3 (13.6)	7 (31.8)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	454 (574.7)	32 (40.5)	51 (64.6)	48 (60.8)	53 (67.1)	56 (70.9)	37 (46.8)	14 (17.7)	16 (20.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	222 (740.0)	16 (53.3)	21 (70.0)	21 (70.0)	21 (70.0)	26 (86.7)	18 (60.0)	8 (26.7)	10 (33.3)

		9. 働く場の紹介（あっせん）や相談が充実していること	10. 健康管理が充実していること	11. 働きながら安心して通院できること	12. 作業所など働く場が整備されていること	13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること	14. 就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること	15. その他	16. 特に必要ない	17. 無回答
全 体		324 (51.0)	178 (28.0)	236 (37.2)	237 (37.3)	245 (38.6)	374 (58.9)	15 (2.4)	2 (0.3)	13 (2.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	39 (41.1)	26 (27.4)	60 (63.2)	29 (30.5)	28 (29.5)	45 (47.4)	1 (1.1)	0 (-)	4 (4.2)
	2. 知的障害者	245 (53.8)	131 (28.8)	155 (34.1)	191 (42.0)	197 (43.3)	293 (64.4)	13 (2.9)	2 (0.4)	5 (1.1)
	3. 精神障害者	10 (45.5)	9 (40.9)	11 (50.0)	6 (27.3)	4 (18.2)	13 (59.1)	1 (4.5)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	36 (45.6)	17 (21.5)	27 (34.2)	14 (17.7)	15 (19.0)	33 (41.8)	2 (2.5)	0 (-)	3 (3.8)
	5. 無回答	15 (50.0)	11 (36.7)	11 (36.7)	12 (40.0)	14 (46.7)	17 (56.7)	0 (-)	0 (-)	1 (3.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(8) 福祉サービスについて

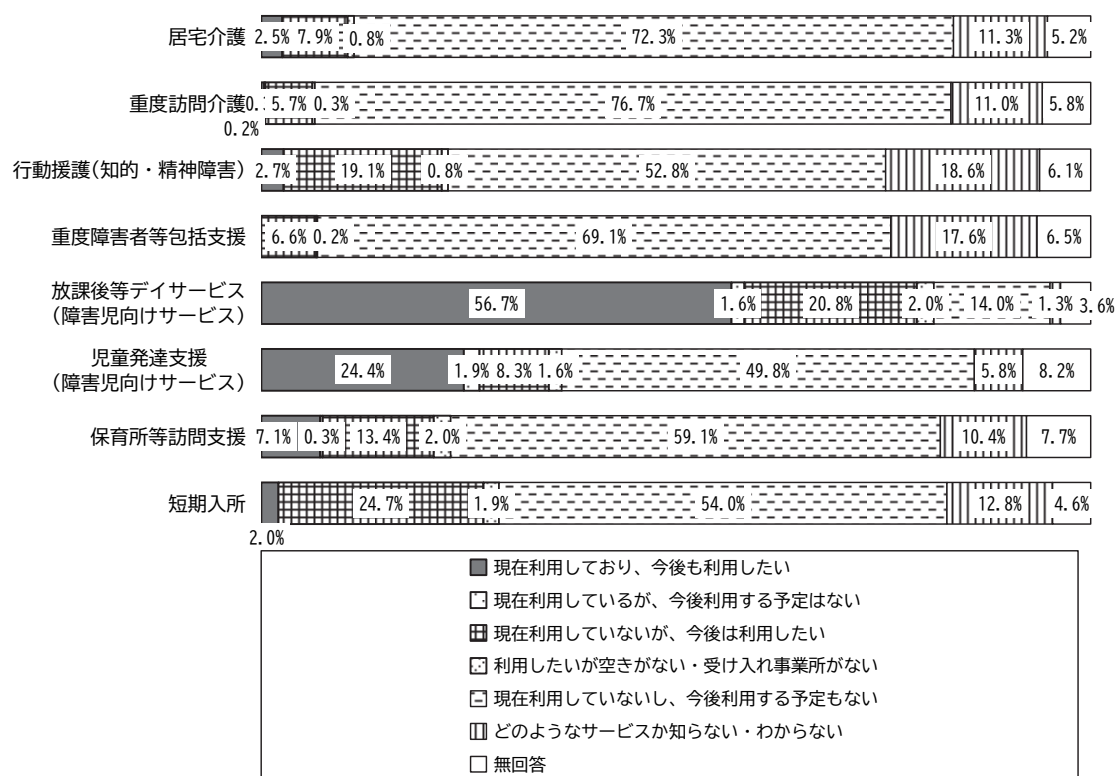
①各福祉サービスの利用状況・利用意向（問 31）

各福祉サービスの利用状況・利用意向については、「現在利用しており、今後も利用したい」が最も多いのは「放課後等デイサービス(障害児向けサービス)」、「現在利用していないが、今後は利用したい」が最も多いのは「川口市障害者就労支援センター」となっています。

■各福祉サービスの利用状況・利用意向

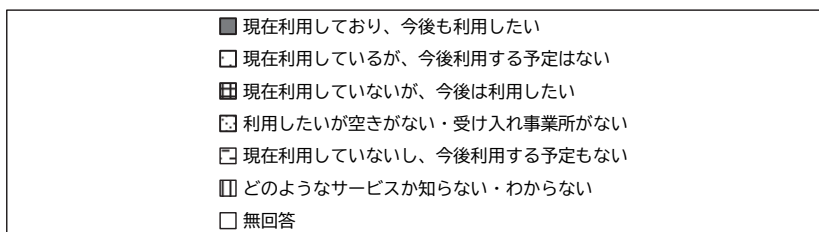
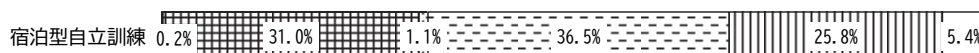
在宅で暮らす方に対して

(N=635)



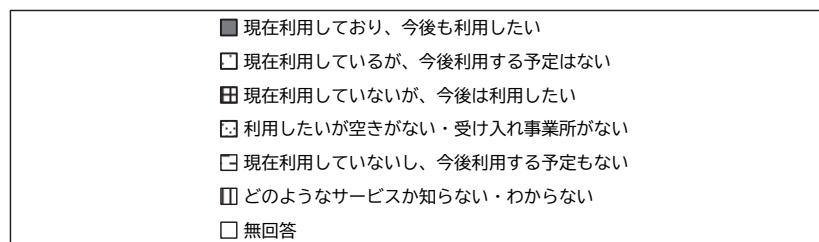
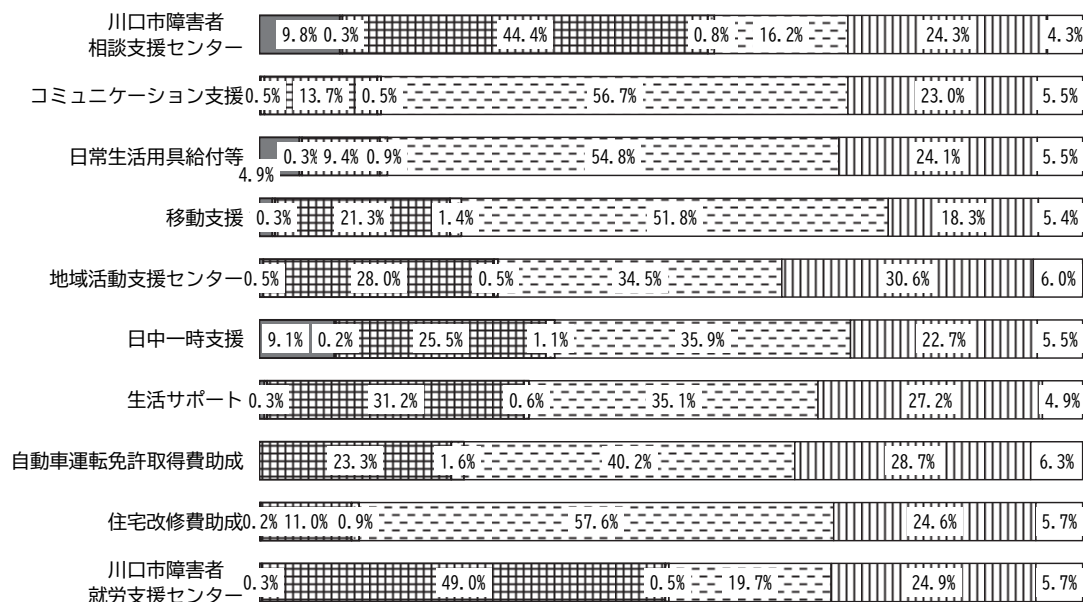
地域での自立生活を希望する方に対して

(N=635)



その他の日常生活支援を希望する方に対して

(N=635)



各福祉サービスの就学別の利用状況・利用意向は以下のとおりです。

放課後等デイサービスについて、未就学児は「現在利用していないが、今後は利用したい」、小学生、中学生は「現在利用しており、今後も利用したい」、中学校卒業以上は「現在利用していないし、今後利用する予定もない」が全体に比べ多くなっています。

■放課後等デイサービスの利用状況・利用意向（就学別）

		合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していない が、今後 は利用 したい	4. 利用した いが利用 がで きな い	5. 現在利用 していない し、今後 利用する 予定も ない	6. どのよう なサービ スカ知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体		635 (100.0)	360 (56.7)	10 (1.6)	132 (20.8)	13 (2.0)	89 (14.0)	8 (1.3)	23 (3.6)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	6 (3.8)	0 (-)	109 (69.0)	5 (3.2)	21 (13.3)	5 (3.2)	12 (7.6)
	2. 小学生	271 (100.0)	232 (85.6)	4 (1.5)	13 (4.8)	3 (1.1)	15 (5.5)	0 (-)	4 (1.5)
	3. 中学生	103 (100.0)	72 (69.9)	1 (1.0)	7 (6.8)	2 (1.9)	15 (14.6)	3 (2.9)	3 (2.9)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	50 (48.5)	5 (4.9)	3 (2.9)	3 (2.9)	38 (36.9)	0 (-)	4 (3.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

児童発達支援について、未就学児は「現在利用しており、今後も利用したい」、中学校卒業以上は「現在利用していないし、今後も利用する予定もない」が全体に比べ多くなっています。

■児童発達支援の利用状況・利用意向（就学別）

		合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していない が、今後 は利用 したい	4. 利用した いが利用 がで きな い	5. 現在利用 していない し、今後 利用する 予定も ない	6. どのよう なサービ スカ知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体		635 (100.0)	155 (24.4)	12 (1.9)	53 (8.3)	10 (1.6)	316 (49.8)	37 (5.8)	52 (8.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	106 (67.1)	5 (3.2)	19 (12.0)	2 (1.3)	16 (10.1)	4 (2.5)	6 (3.8)
	2. 小学生	271 (100.0)	35 (12.9)	4 (1.5)	24 (8.9)	6 (2.2)	161 (59.4)	17 (6.3)	24 (8.9)
	3. 中学生	103 (100.0)	9 (8.7)	3 (2.9)	8 (7.8)	1 (1.0)	57 (55.3)	11 (10.7)	14 (13.6)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	5 (4.9)	0 (-)	2 (1.9)	1 (1.0)	82 (79.6)	5 (4.9)	8 (7.8)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

保育所等訪問支援について、未就学児は「現在利用していないが、今後は利用したい」、中学校卒業以上は「現在利用していないし、今後利用する予定もない」が全体に比べて多くなっています。

■保育所等訪問支援の利用状況・利用意向（就学別）

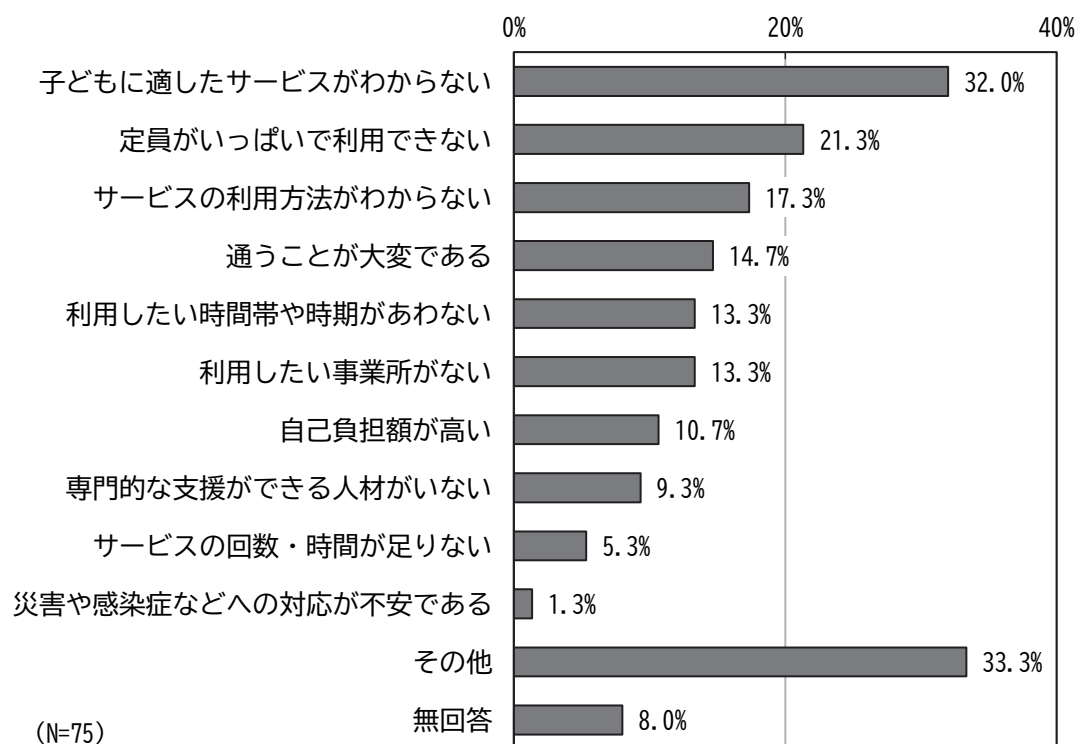
	合 計	1. 現在利用 しており、今後 も利用し たい	2. 現在利用 している が、今後 利用する 予定はな い	3. 現在利用 していない が、今後 は利用 したい	4. 利用した いが利用 ができな い	5. 現在利用 していない し、今後 利用する 予定も ない	6. どのよう なサービ スカ知ら ない・わ からない	7. 無回答
全 体	635 (100.0)	45 (7.1)	2 (0.3)	85 (13.4)	13 (2.0)	375 (59.1)	66 (10.4)	49 (7.7)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	26 (16.5)	1 (0.6)	49 (31.0)	6 (3.8)	46 (29.1)	20 (12.7)
	2. 小学生	271 (100.0)	17 (6.3)	1 (0.4)	28 (10.3)	4 (1.5)	177 (65.3)	25 (9.2)
	3. 中学生	103 (100.0)	0 (-)	0 (-)	7 (6.8)	2 (1.9)	64 (62.1)	16 (15.5)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	2 (1.9)	0 (-)	1 (1.0)	1 (1.0)	88 (85.4)	5 (4.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②福祉サービスが利用できない理由（問 32）

問 31 で 1 つでも「利用したいが利用できない」と回答した方に理由を聞いたところ、「子どもに適したサービスがわからない」が 32.0%で最も多く、次いで「定員がいっぱいで利用できない」が 21.3%となっています。

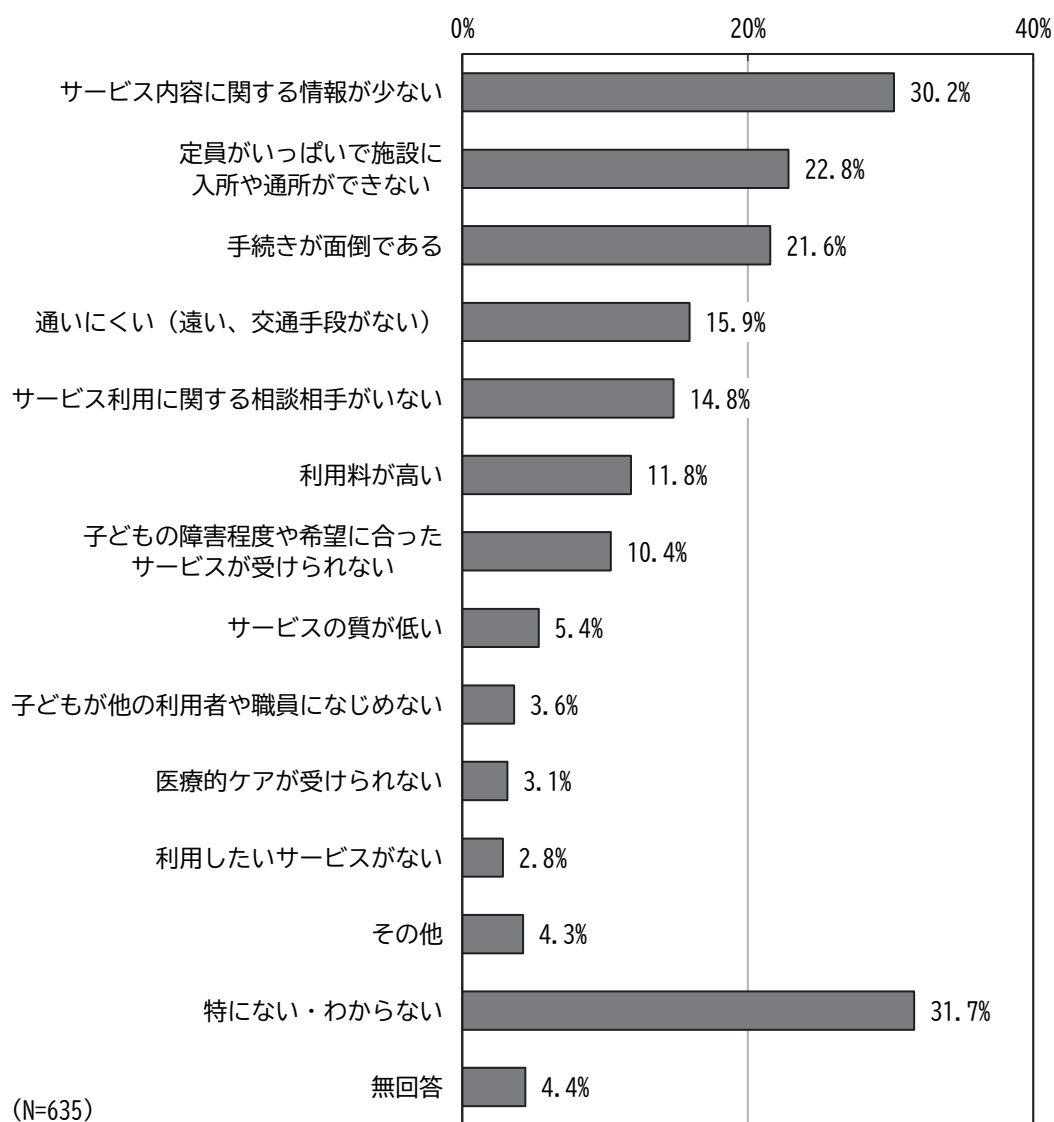
■ サービスが利用できない理由（複数回答）



③福祉サービスを利用するにあたり困っていること（問 33）

福祉サービスを利用するにあたり困っていることについては、「サービス内容に関する情報が少ない」が30.2%で最も多く、次いで「定員がいっぱいで施設に入所や通所ができない」が22.8%、「手続きが面倒である」が21.6%となっています。

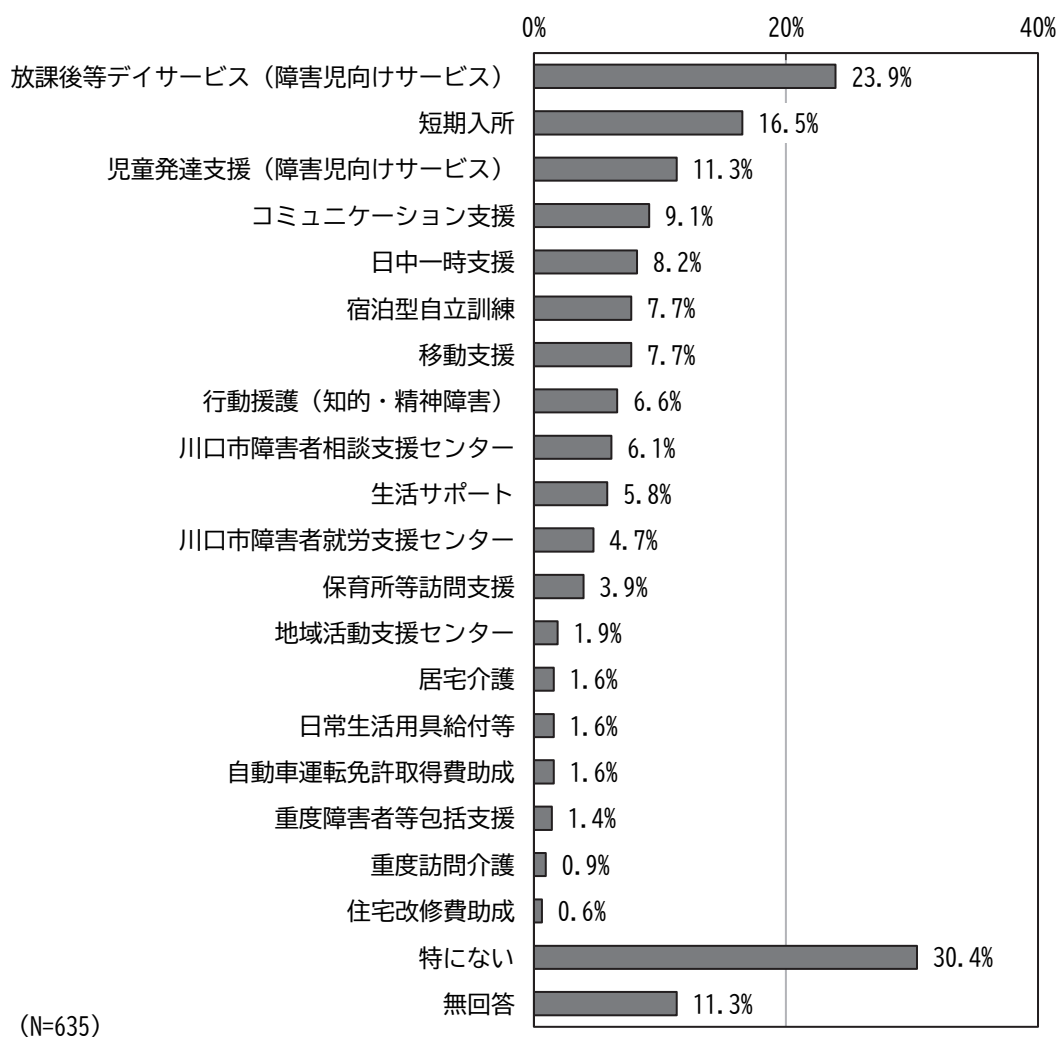
■福祉サービスを利用するにあたり困っていること（複数回答）



④各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの（問 34）

各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うものについては、「放課後等デイサービス（障害児向けサービス）」が 23.9%で最も多く、次いで「短期入所」が 16.5%、「児童発達支援（障害児向けサービス）」が 11.3%となっています。

■各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの（3つまで）



就学別にみると、未就学児は「児童発達支援（障害児向けサービス）」が全体に比べ多くなっています。

■各福祉サービスについて川口市内で不足していると思うもの（3つまで）（就学別）

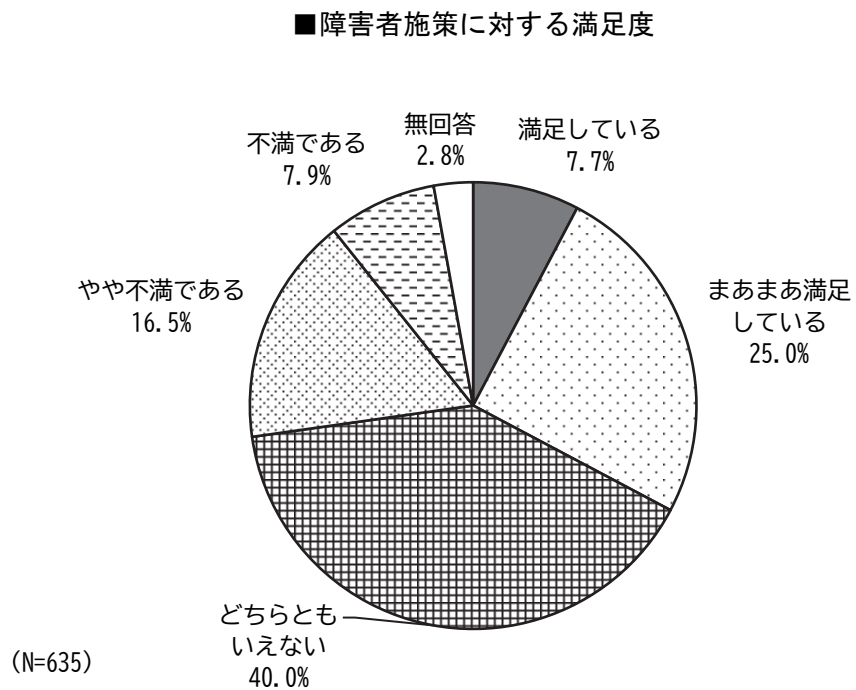
		回答者数	合 計	1. 居宅介護	2. 重度訪問 介護	3. 行動援護 （知的・ 精神障 害）	4. 重度障害 者等包括 支援	5. 放課後等 デイサー ビス（障 害児向け サービ ス）	6. 児童発達 支援（障 害児向け サービ ス）	7. 保育所等 訪問支援	8. 短期入所	9. 宿泊型自 立訓練	10. 川口市障 害者相談 支援セン ター
全 体		635 (100.0)	1,036 (163.1)	10 (1.6)	6 (0.9)	42 (6.6)	9 (1.4)	152 (23.9)	72 (11.3)	25 (3.9)	105 (16.5)	49 (7.7)	39 (6.1)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	267 (169.0)	4 (2.5)	1 (0.6)	3 (1.9)	1 (0.6)	50 (31.6)	42 (26.6)	15 (9.5)	15 (9.5)	6 (3.8)	5 (3.2)
	2. 小学生	271 (100.0)	447 (164.9)	2 (0.7)	0 (-)	14 (5.2)	3 (1.1)	84 (31.0)	21 (7.7)	8 (3.0)	49 (18.1)	23 (8.5)	18 (6.6)
	3. 中学生	103 (100.0)	171 (166.0)	3 (2.9)	3 (2.9)	13 (12.6)	5 (4.9)	12 (11.7)	5 (4.9)	2 (1.9)	24 (23.3)	14 (13.6)	6 (5.8)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	151 (146.6)	1 (1.0)	2 (1.9)	12 (11.7)	0 (-)	6 (5.8)	4 (3.9)	0 (-)	17 (16.5)	6 (5.8)	10 (9.7)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		11. コミュニ ケーシ ョン支援	12. 日常生活 用具給付 等	13. 移動支援	14. 地域活動 支援セン ター	15. 日中一時 支援	16. 生活サ ポート	17. 自動車運 転免許取 得費助成	18. 住宅改修 費助成	19. 川口市障 害者就労 支援セン ター	20. 特にない	21. 無回答
全 体		58 (9.1)	10 (1.6)	49 (7.7)	12 (1.9)	52 (8.2)	37 (5.8)	10 (1.6)	4 (0.6)	30 (4.7)	193 (30.4)	72 (11.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	16 (10.1)	5 (3.2)	10 (6.3)	4 (2.5)	12 (7.6)	10 (6.3)	0 (-)	1 (0.6)	2 (1.3)	43 (27.2)	22 (13.9)
	2. 小学生	26 (9.6)	5 (1.8)	17 (6.3)	3 (1.1)	32 (11.8)	17 (6.3)	3 (1.1)	0 (-)	12 (4.4)	84 (31.0)	26 (9.6)
	3. 中学生	5 (4.9)	0 (-)	12 (11.7)	4 (3.9)	6 (5.8)	8 (7.8)	2 (1.9)	2 (1.9)	6 (5.8)	30 (29.1)	9 (8.7)
	4. 中学校卒業以上	11 (10.7)	0 (-)	10 (9.7)	1 (1.0)	2 (1.9)	2 (1.9)	5 (4.9)	1 (1.0)	10 (9.7)	36 (35.0)	15 (14.6)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④障害者施策に対する満足度（問 35）

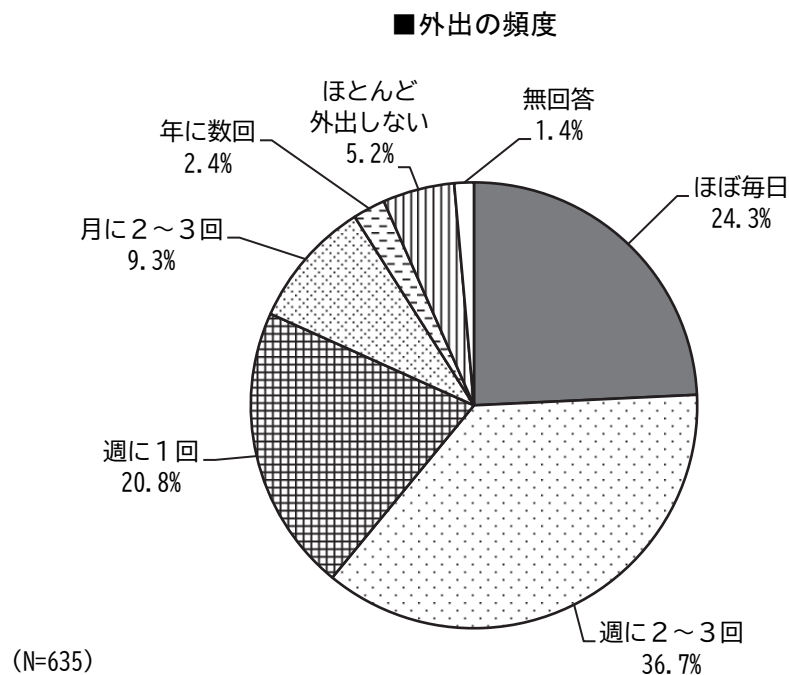
川口市の障害者施策に対する満足度について、「どちらともいえない」が40.0%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が25.0%、「やや不満である」が16.5%となっています。



(9) 外出について

①外出の頻度 (問 36)

外出の頻度(通学、通園・通所・通院での外出を除く)については、「週に2～3回」が36.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が24.3%、「週に1回」が20.8%となっています。



障害種別にみると、精神障害者は「週に1回」が全体に比べ多くなっています。

■外出の頻度 (障害種別)

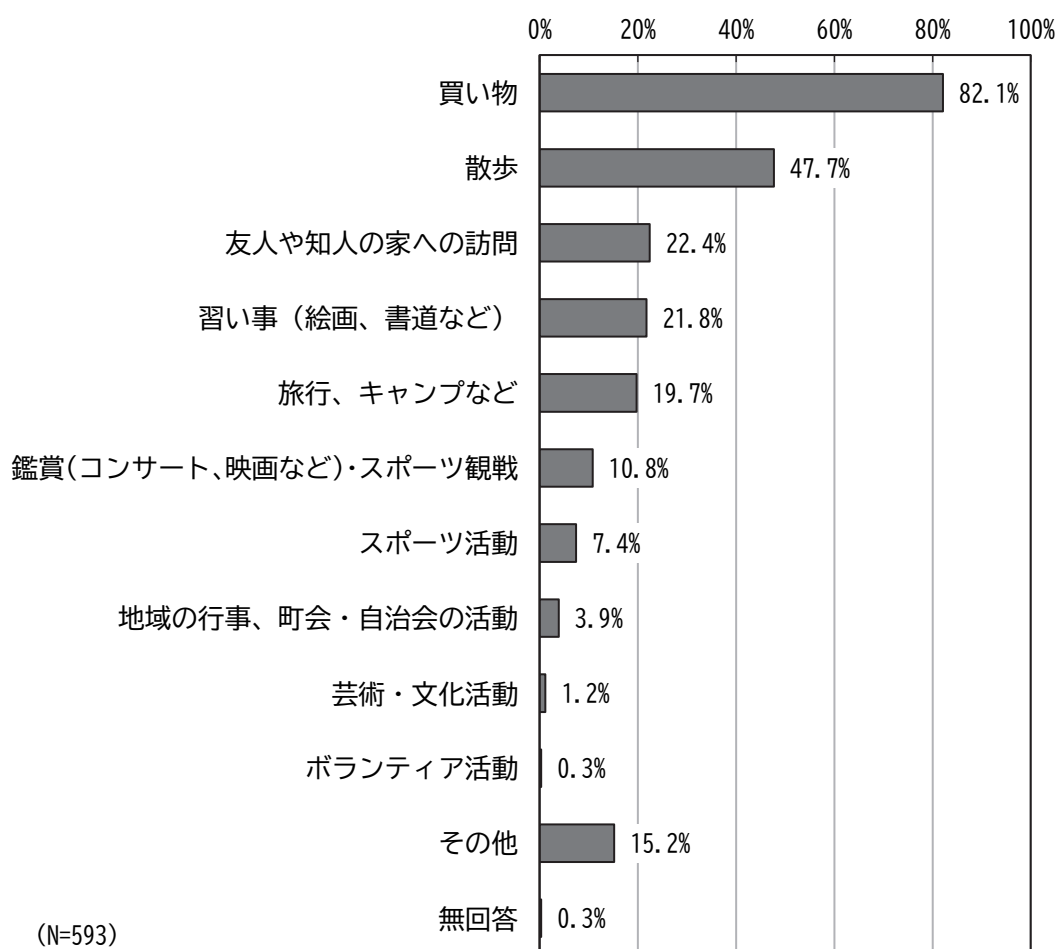
		合 計	1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回	3. 週に1回	4. 月に2～3回	5. 年に数回	6. ほとんど外出しない	7. 無回答
全 体		635 (100.0)	154 (24.3)	233 (36.7)	132 (20.8)	59 (9.3)	15 (2.4)	33 (5.2)	9 (1.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	20 (21.1)	30 (31.6)	21 (22.1)	8 (8.4)	8 (8.4)	6 (6.3)	2 (2.1)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	108 (23.7)	159 (34.9)	103 (22.6)	43 (9.5)	9 (2.0)	26 (5.7)	7 (1.5)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	2 (9.1)	7 (31.8)	8 (36.4)	3 (13.6)	0 (-)	0 (-)	2 (9.1)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	20 (25.3)	39 (49.4)	8 (10.1)	7 (8.9)	0 (-)	4 (5.1)	1 (1.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	13 (43.3)	11 (36.7)	4 (13.3)	1 (3.3)	0 (-)	1 (3.3)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②主な外出の目的（問 36 - 1）

問 36 で「ほとんど外出しない」以外を回答した方に、主な外出の目的(通学、通園・通所・通院での外出を除く)をきいたところ、「買い物」が 82.1%で最も多く、次いで「散歩」が 47.7%、「友人や知人の家への訪問」が 22.4%となっています。

■主な外出の目的(複数回答)



就学別にみると、未就学児は「散歩」が全体に比べ多くなっています。

■主な外出の目的(複数回答)(就学別)

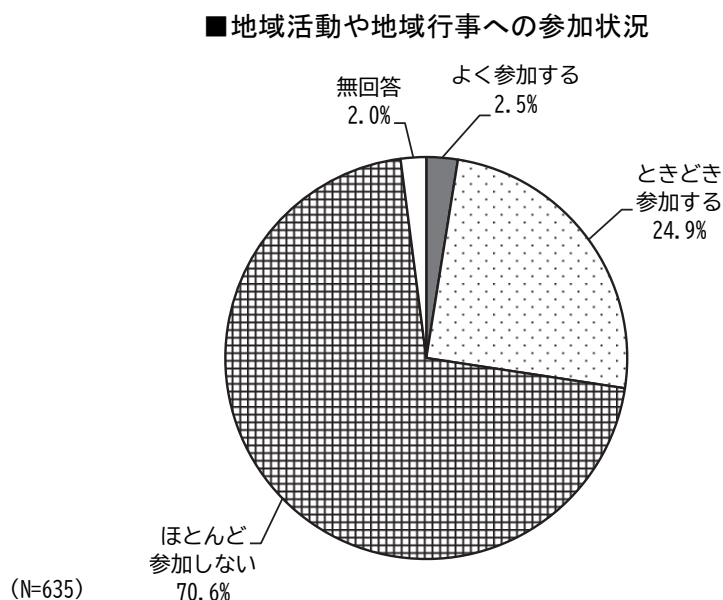
		回答者数	合 計	1. 買い物	2. 散歩	3. 友人や知 人の家へ の訪問	4. 旅行、 キャンプ など	5. 地域の行 事、町 会・自治 会の活動
全 体		593 (100.0)	1,381 (232.9)	487 (82.1)	283 (47.7)	133 (22.4)	117 (19.7)	23 (3.9)
問 2 就 学	1. 未就学児	148 (100.0)	360 (243.2)	131 (88.5)	96 (64.9)	38 (25.7)	32 (21.6)	6 (4.1)
	2. 小学生	259 (100.0)	612 (236.3)	216 (83.4)	114 (44.0)	56 (21.6)	56 (21.6)	12 (4.6)
	3. 中学生	93 (100.0)	207 (222.6)	66 (71.0)	35 (37.6)	20 (21.5)	17 (18.3)	2 (2.2)
	4. 中学校卒業以上	93 (100.0)	202 (217.2)	74 (79.6)	38 (40.9)	19 (20.4)	12 (12.9)	3 (3.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		6. 習い事 (絵画、 書道な ど)	7. 鑑賞(コ ンサー ト、映画 など)・ スポーツ 観戦	8. スポーツ 活動	9. 芸術・文 化活動	10. ボラン ティア活 動	11. その他	12. 無回答
全 体		129 (21.8)	64 (10.8)	44 (7.4)	7 (1.2)	2 (0.3)	90 (15.2)	2 (0.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	15 (10.1)	5 (3.4)	7 (4.7)	3 (2.0)	1 (0.7)	26 (17.6)	0 (-)
	2. 小学生	73 (28.2)	25 (9.7)	18 (6.9)	2 (0.8)	1 (0.4)	39 (15.1)	0 (-)
	3. 中学生	26 (28.0)	17 (18.3)	10 (10.8)	0 (-)	0 (-)	14 (15.1)	0 (-)
	4. 中学校卒業以上	15 (16.1)	17 (18.3)	9 (9.7)	2 (2.2)	0 (-)	11 (11.8)	2 (2.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

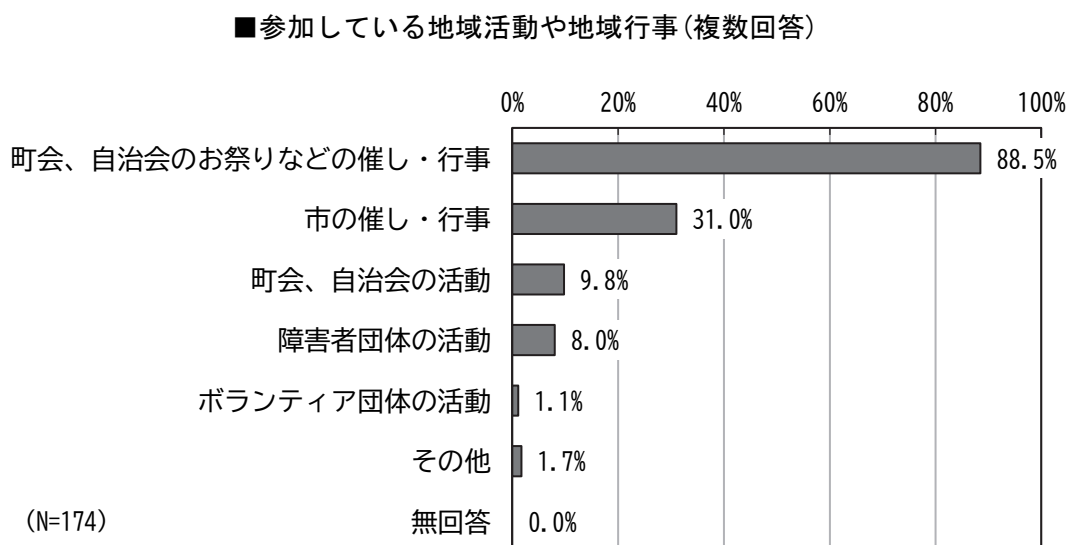
③地域活動や地域行事への参加状況（問 37）

地域活動や地域行事への参加状況については、「ほとんど参加しない」が70.6%で最も多く、次いで「ときどき参加する」が24.9%、「よく参加する」が2.5%となっています。



④参加している地域活動や地域行事（問 37 - 1）

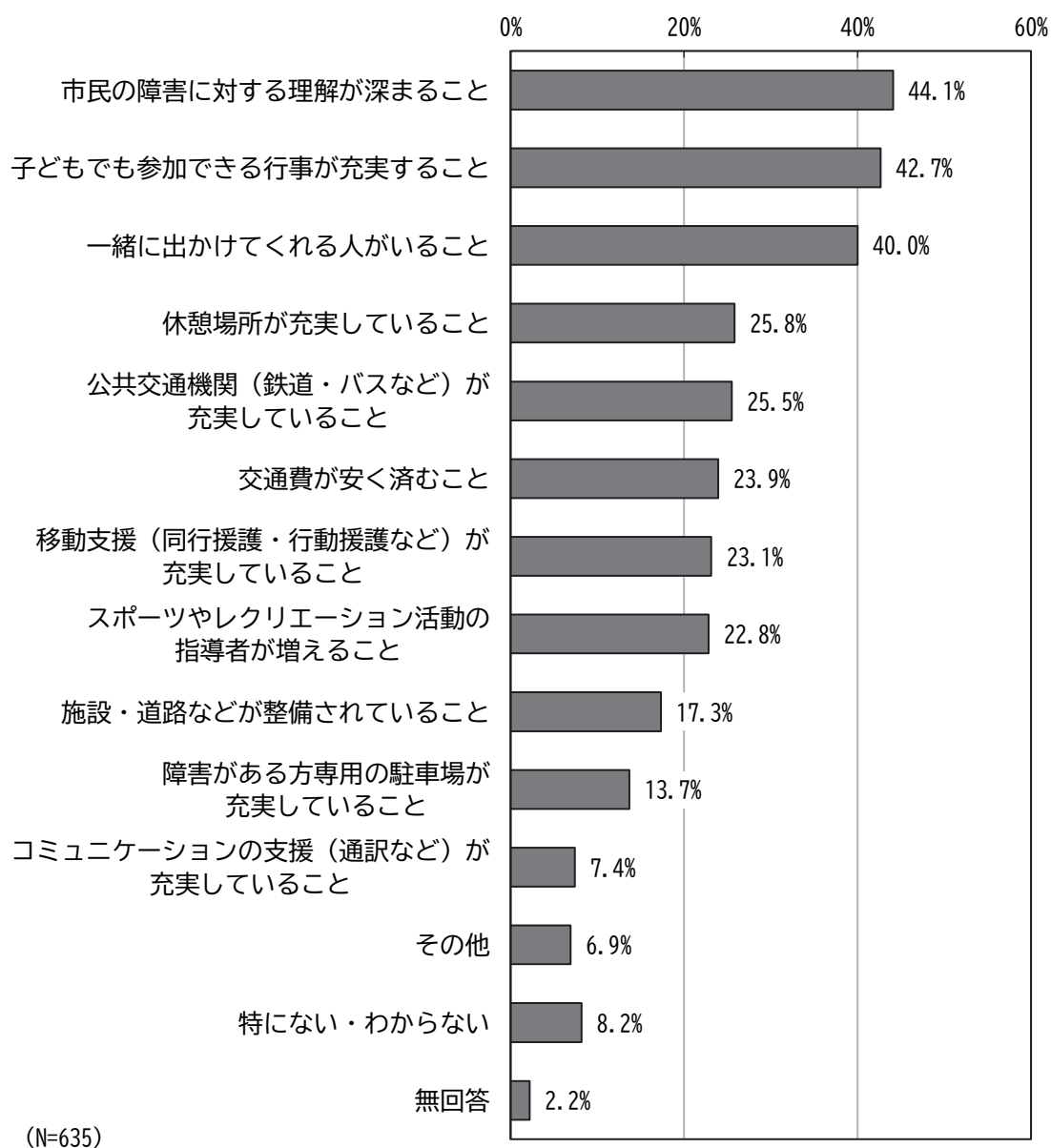
問 37 で「よく参加する」または「ときどき参加する」と回答した方に、どのような地域活動や地域行事に参加しているかきいたところ、「町会、自治会のお祭りなどの催し・行事」が88.5%で最も多く、次いで「市の催し・行事」が31.0%、「町会、自治会の活動」が9.8%となっています。



⑤外出しやすくなるために必要なこと（問 38）

外出しやすくなるために必要なことについては、「市民の障害に対する理解が深まること」が 44.1%で最も多く、次いで「子どもでも参加できる行事が充実すること」が 42.7%、「一緒に出かけてくれる人がいること」が 40.0%となっています。

■外出しやすくなるために必要なこと（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「子どもでも参加できる行事が充実すること」、「休憩場所が充実していること」、中学生は「移動支援（同行援護・行動援護など）が充実していること」が全体に比べ多くなっています。

■外出しやすくなるために必要なこと（複数回答）（就学別）

		回答者数	合 計	1. 子どもでも参加できる行事が充実すること	2. 公共交通機関（鉄道・バスなど）が充実していること	3. 移動支援（同行援護・行動援護など）が充実していること	4. 施設・道路などが整備されていること	5. 障害がある方専用の駐車場の充実していること	6. コミュニケーションの支援（通訳など）が充実していること
全 体		635 (100.0)	1,929 (303.8)	271 (42.7)	162 (25.5)	147 (23.1)	110 (17.3)	87 (13.7)	47 (7.4)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	509 (322.2)	93 (58.9)	42 (26.6)	30 (19.0)	30 (19.0)	29 (18.4)	10 (6.3)
	2. 小学生	271 (100.0)	812 (299.6)	120 (44.3)	61 (22.5)	50 (18.5)	45 (16.6)	37 (13.7)	20 (7.4)
	3. 中学生	103 (100.0)	314 (304.9)	40 (38.8)	26 (25.2)	37 (35.9)	18 (17.5)	10 (9.7)	8 (7.8)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	294 (285.4)	18 (17.5)	33 (32.0)	30 (29.1)	17 (16.5)	11 (10.7)	9 (8.7)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		7. 一緒に出かけてくれる人がいること	8. 交通費が安く済むこと	9. 市民の障害に対する理解が深まること	10. 休憩場所が充実していること	11. スポーツやレクリエーション活動の指導者が増えること	12. その他	13. 特にない・わからない	14. 無回答
全 体		254 (40.0)	152 (23.9)	280 (44.1)	164 (25.8)	145 (22.8)	44 (6.9)	52 (8.2)	14 (2.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	57 (36.1)	39 (24.7)	64 (40.5)	58 (36.7)	31 (19.6)	14 (8.9)	8 (5.1)	4 (2.5)
	2. 小学生	101 (37.3)	62 (22.9)	130 (48.0)	69 (25.5)	64 (23.6)	23 (8.5)	23 (8.5)	7 (2.6)
	3. 中学生	51 (49.5)	22 (21.4)	51 (49.5)	16 (15.5)	24 (23.3)	3 (2.9)	6 (5.8)	2 (1.9)
	4. 中学校卒業以上	45 (43.7)	29 (28.2)	35 (34.0)	21 (20.4)	26 (25.2)	4 (3.9)	15 (14.6)	1 (1.0)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「施設・道路などが整備されていること」、「障害がある方専用の駐車場が充実していること」、精神障害者は「公共交通機関（鉄道・バスなど）が充実していること」、「移動支援（同行援護・行動援護など）が充実していること」、「一緒に出かけてくれる人がいること」、「交通費が安く済むこと」が全体に比べ多くなっています。

■外出しやすくなるために必要なこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 子どもでも参加できる行事が充実すること	2. 公共交通機関（鉄道・バスなど）が充実していること	3. 移動支援（同行援護・行動援護など）が充実していること	4. 施設・道路などが整備されていること	5. 障害がある方専用の駐車場が充実していること	6. コミュニケーションの支援（通訳など）が充実していること
全 体		635 (100.0)	1,929 (303.8)	271 (42.7)	162 (25.5)	147 (23.1)	110 (17.3)	87 (13.7)	47 (7.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	306 (322.1)	38 (40.0)	26 (27.4)	31 (32.6)	29 (30.5)	27 (28.4)	6 (6.3)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	1,446 (317.8)	186 (40.9)	111 (24.4)	120 (26.4)	76 (16.7)	71 (15.6)	40 (8.8)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	69 (313.6)	2 (9.1)	11 (50.0)	8 (36.4)	5 (22.7)	2 (9.1)	1 (4.5)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	187 (236.7)	48 (60.8)	20 (25.3)	5 (6.3)	9 (11.4)	0 (-)	1 (1.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	97 (323.3)	13 (43.3)	11 (36.7)	5 (16.7)	4 (13.3)	3 (10.0)	2 (6.7)

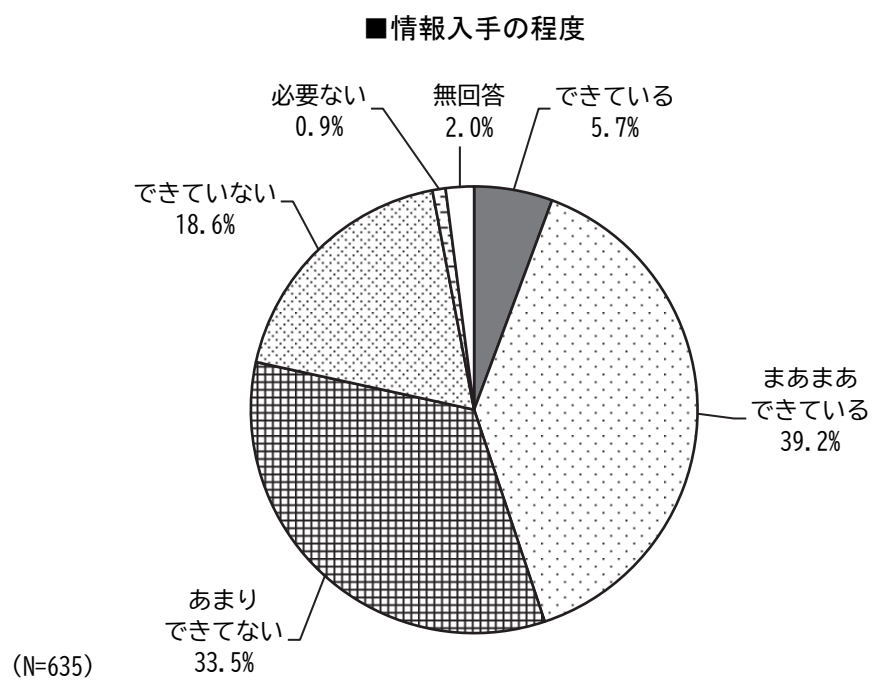
		7. 一緒に出かけてくれる人がいること	8. 交通費が安く済むこと	9. 市民の障害に対する理解が深まること	10. 休憩場所が充実していること	11. スポーツやレクリエーション活動の指導者が増えること	12. その他	13. 特にない・わからない	14. 無回答
全 体		254 (40.0)	152 (23.9)	280 (44.1)	164 (25.8)	145 (22.8)	44 (6.9)	52 (8.2)	14 (2.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	32 (33.7)	18 (18.9)	36 (37.9)	28 (29.5)	13 (13.7)	8 (8.4)	13 (13.7)	1 (1.1)
	2. 知的障害者	205 (45.1)	116 (25.5)	221 (48.6)	125 (27.5)	106 (23.3)	30 (6.6)	30 (6.6)	9 (2.0)
	3. 精神障害者	11 (50.0)	9 (40.9)	10 (45.5)	5 (22.7)	4 (18.2)	0 (-)	1 (4.5)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	22 (27.8)	13 (16.5)	18 (22.8)	14 (17.7)	19 (24.1)	7 (8.9)	9 (11.4)	2 (2.5)
	5. 無回答	11 (36.7)	9 (30.0)	16 (53.3)	11 (36.7)	9 (30.0)	1 (3.3)	0 (-)	2 (6.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(10) 情報や相談について

①情報入手の程度（問 39）

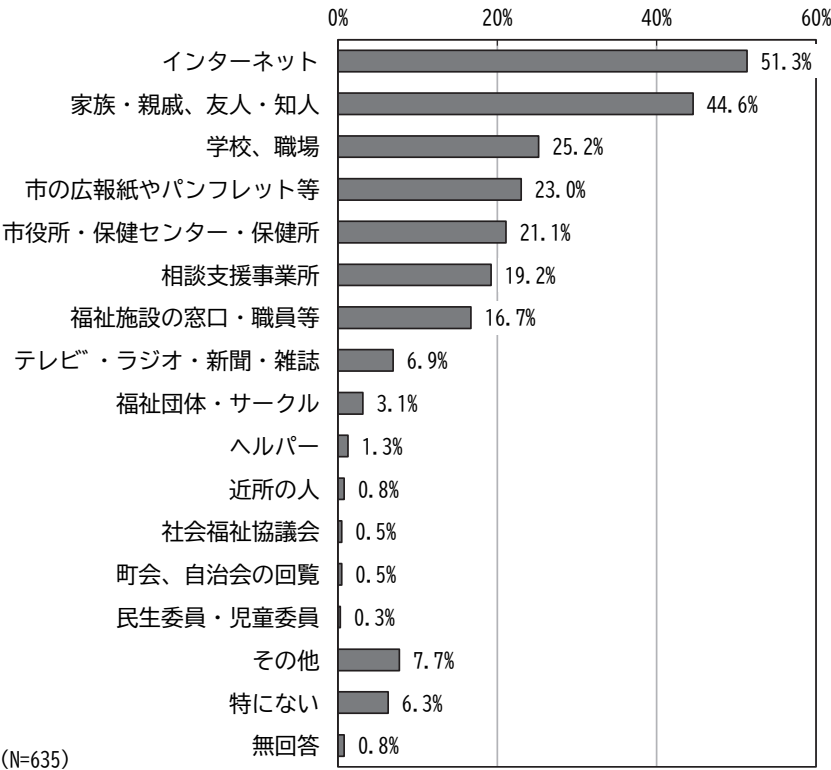
福祉サービスを十分に入手できているかについて、「まあまあできている」が 39.2%で最も多く、次いで「あまりできていない」が 33.5%、「できていない」が 18.6%となっています。



②福祉に関する情報の入手先（問 40）

福祉に関する情報の入手先については、「インターネット」が 51.3%で最も多く、次いで「家族・親戚、友人・知人」が 44.6%、「学校、職場」が 25.2%となっています。

■福祉に関する情報の入手先（3つまで）



経年変化をみると、前回より「インターネット」、「市の広報誌やパンフレット等」、「福祉施設の窓口・職員等」、「相談支援事業所」が増加し、「家族・親戚、友人・知人」、「市役所・保健センター・保健所」が減少しています。

■福祉に関する情報の入手先（3つまで）（経年変化）

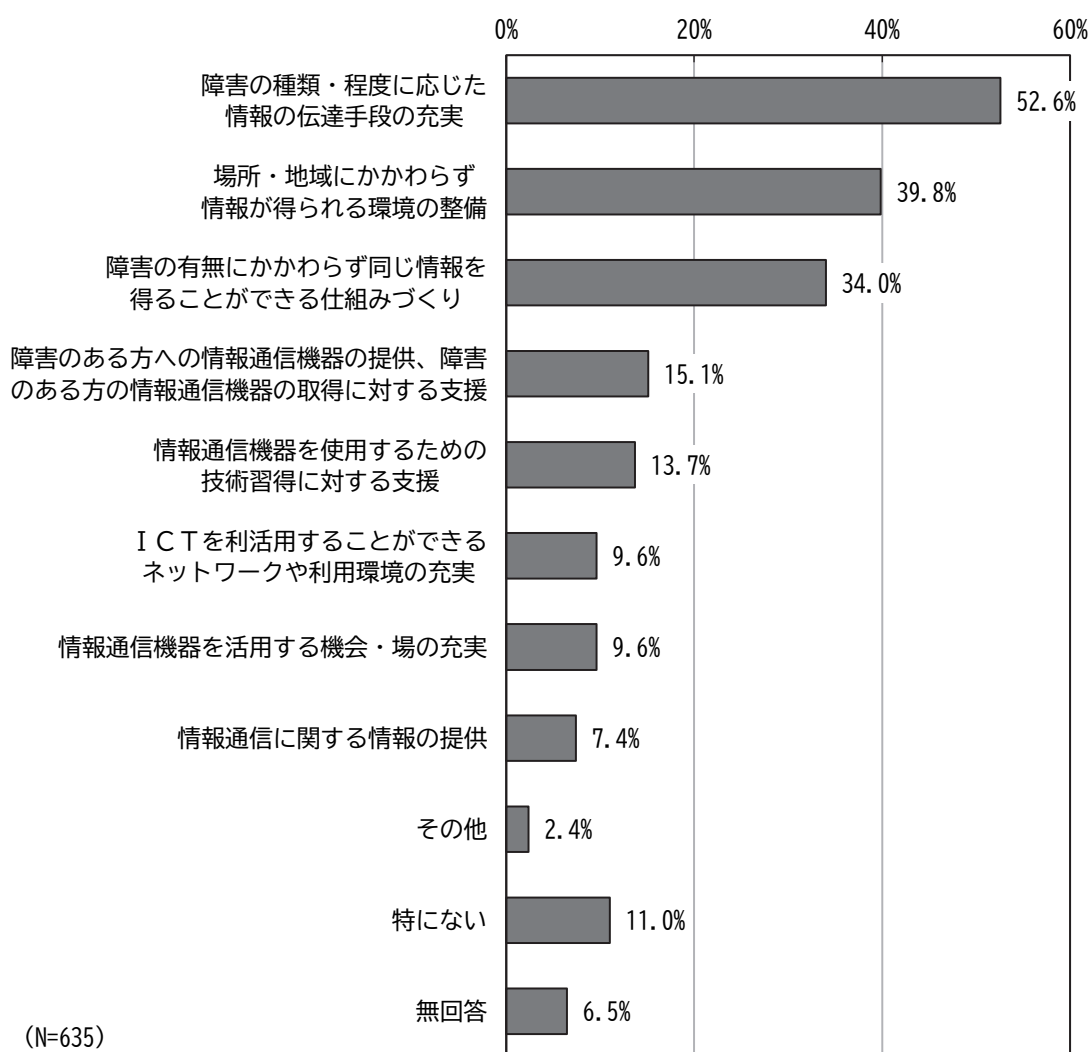
	回答者数	合 計	1. 家族・親戚、友人・知人	2. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	3. インターネット	4. 市の広報紙やパンフレット等	5. 福祉施設の窓口・職員等	6. 福祉団体・サークル	7. 社会福祉協議会	8. 市役所・保健センター・保健所
令和5年度	635 (100.0)	1,456 (229.3)	283 (44.6)	44 (6.9)	326 (51.3)	146 (23.0)	106 (16.7)	20 (3.1)	3 (0.5)	134 (21.1)
令和2年度	530 (100.0)	1,155 (217.9)	277 (52.3)	46 (8.7)	239 (45.1)	106 (20.0)	71 (13.4)	10 (1.9)	0 (-)	128 (24.2)

	9. 相談支援事業所	10. 民生委員・児童委員	11. 学校、職場	12. ヘルパー	13. 町会、自治会の回覧	14. 近所の人	15. その他	16. 特にない	17. 無回答
令和5年度	122 (19.2)	2 (0.3)	160 (25.2)	8 (1.3)	3 (0.5)	5 (0.8)	49 (7.7)	40 (6.3)	5 (0.8)
令和2年度	70 (13.2)	1 (0.2)	123 (23.2)	10 (1.9)	4 (0.8)	1 (0.2)	37 (7.0)	25 (4.7)	7 (1.3)

③情報の取得利用や意思疎通において必要な施策（問 41）

情報の取得利用や意思疎通において必要な施策について聞いたところ、「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」が 52.6%で最も多く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」が 39.8%、「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」が 34.0%となっています。

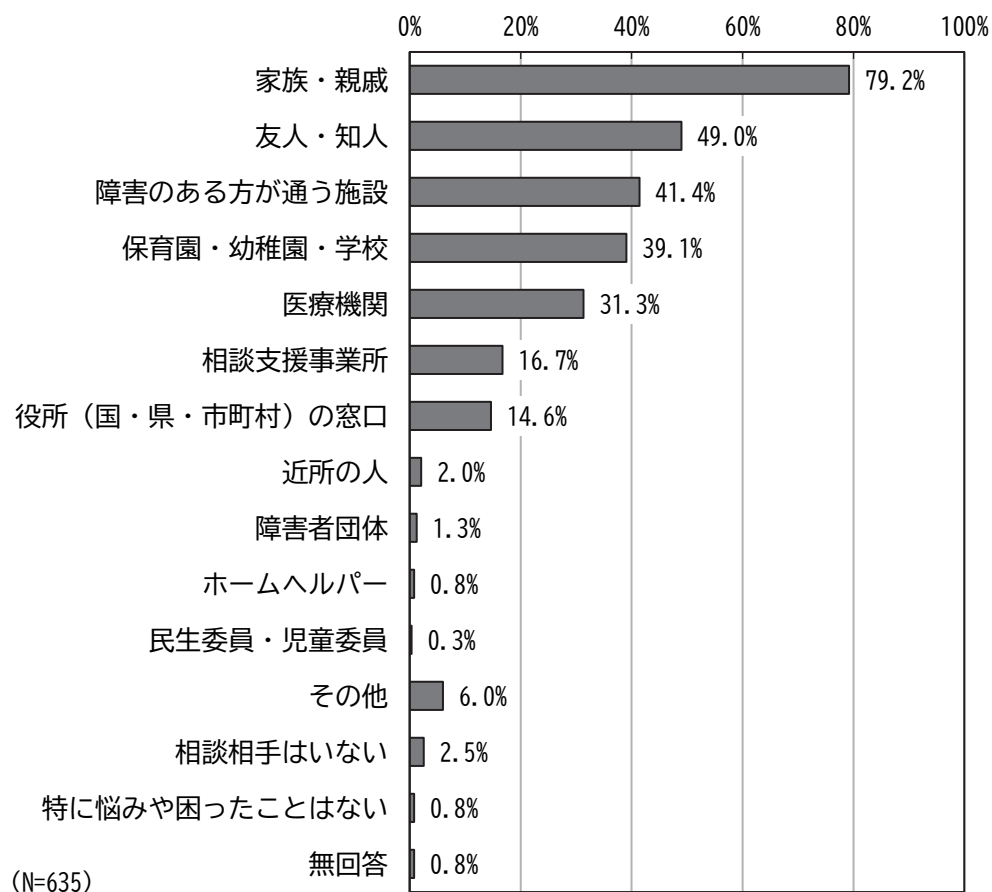
■情報の取得利用や意思疎通において必要な施策（3つまで）



④悩みや困ったことの相談先（問 42）

悩みや困ったことの相談先については、「家族・親戚」が79.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が49.0%、「障害のある方が通う施設」が41.4%となっています。

■悩みや困ったことの相談先（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「障害のある方が通う施設」が全体に比べ多くなっています。

■悩みや困ったことの相談先(複数回答)(就学別)

		回答者数	合 計	1. 家族・親 戚	2. 友人・知 人	3. 近所の人	4. 保育園・ 幼稚園・ 学校	5. 役所 (国・ 県・市町 村)の窓 口	6. 相談支援 事業所	7. ホームヘルパー
全 体		635 (100.0)	1,815 (285.8)	503 (79.2)	311 (49.0)	13 (2.0)	248 (39.1)	93 (14.6)	106 (16.7)	5 (0.8)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	477 (301.9)	137 (86.7)	72 (45.6)	4 (2.5)	53 (33.5)	23 (14.6)	35 (22.2)	2 (1.3)
	2. 小学生	271 (100.0)	818 (301.8)	220 (81.2)	143 (52.8)	6 (2.2)	123 (45.4)	43 (15.9)	42 (15.5)	0 (-)
	3. 中学生	103 (100.0)	278 (269.9)	75 (72.8)	49 (47.6)	2 (1.9)	40 (38.8)	13 (12.6)	18 (17.5)	0 (-)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	242 (235.0)	71 (68.9)	47 (45.6)	1 (1.0)	32 (31.1)	14 (13.6)	11 (10.7)	3 (2.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

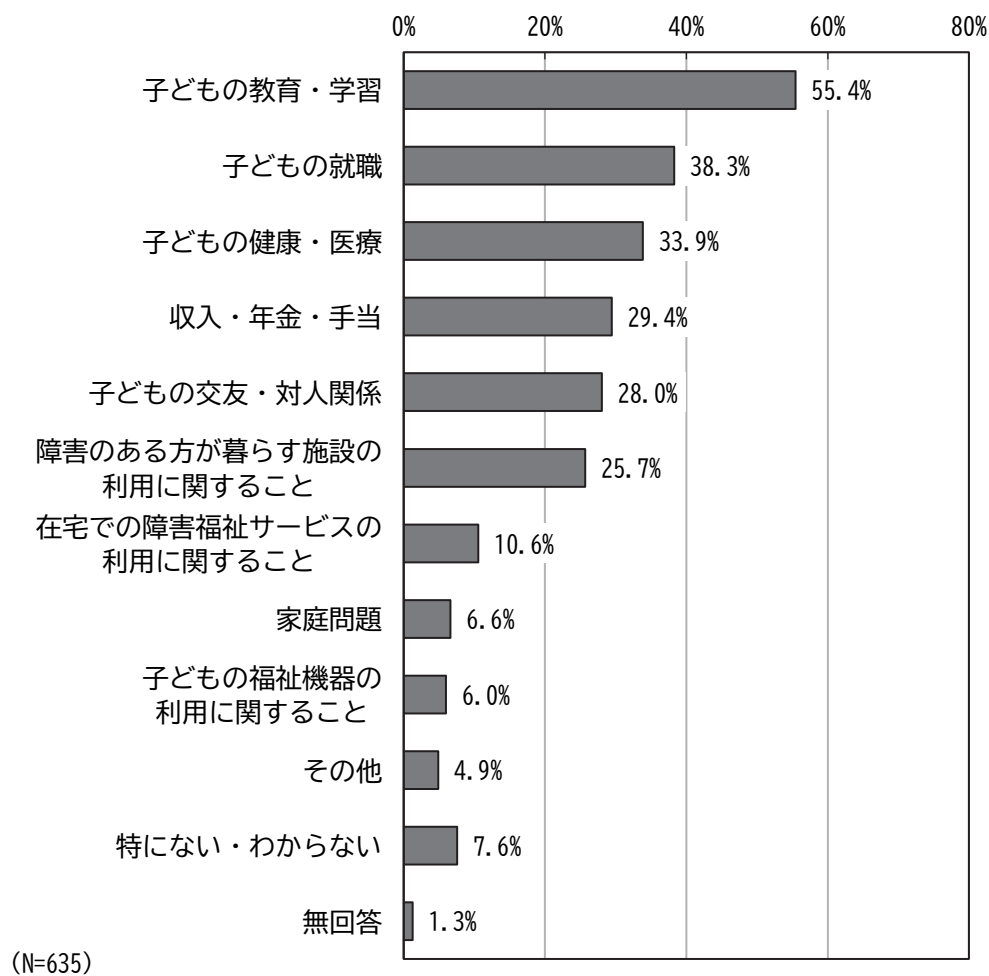
		8. 障害のある 方が通う 施設	9. 医療機関	10. 民生委 員・児童 委員	11. 障害者団 体	12. その他	13. 相談相手 はいない	14. 特に悩み や困った ことはな い	15. 無回答
全 体		263 (41.4)	199 (31.3)	2 (0.3)	8 (1.3)	38 (6.0)	16 (2.5)	5 (0.8)	5 (0.8)
問 2 就 学	1. 未就学児	86 (54.4)	46 (29.1)	0 (-)	4 (2.5)	10 (6.3)	4 (2.5)	1 (0.6)	0 (-)
	2. 小学生	118 (43.5)	95 (35.1)	1 (0.4)	1 (0.4)	14 (5.2)	7 (2.6)	2 (0.7)	3 (1.1)
	3. 中学生	32 (31.1)	33 (32.0)	0 (-)	1 (1.0)	9 (8.7)	4 (3.9)	0 (-)	2 (1.9)
	4. 中学校卒業以上	27 (26.2)	25 (24.3)	1 (1.0)	2 (1.9)	5 (4.9)	1 (1.0)	2 (1.9)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤現在相談している、または相談したいと思っていること（問 43）

現在相談している、または相談したいと思っていることについては、「子どもの教育・学習」が55.4%で最も多く、次いで「子どもの就職」が38.3%、「子どもの健康・医療」が33.9%となっています。

■現在相談している、または相談したいと思っていること（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「子どもの教育・学習」、中学生は「子どもの就職」、「障害のある方が暮らす施設の利用に関すること」、中学校卒業以上は「収入・年金・手当」、「子どもの就職」が全体に比べ多くなっています。

■現在相談している、または相談したいと思っていること（複数回答）（就学別）

		回答者数	合 計	1. 子どもの 健康・医 療	2. 収入・年 金・手当	3. 家庭問題	4. 子どもの 教育・学 習	5. 子どもの 交友・対 人関係
全 体		635 (100.0)	1,572 (247.6)	215 (33.9)	187 (29.4)	42 (6.6)	352 (55.4)	178 (28.0)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	413 (261.4)	68 (43.0)	50 (31.6)	13 (8.2)	114 (72.2)	56 (35.4)
	2. 小学生	271 (100.0)	649 (239.5)	88 (32.5)	66 (24.4)	19 (7.0)	159 (58.7)	91 (33.6)
	3. 中学生	103 (100.0)	261 (253.4)	29 (28.2)	27 (26.2)	6 (5.8)	57 (55.3)	17 (16.5)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	249 (241.7)	30 (29.1)	44 (42.7)	4 (3.9)	22 (21.4)	14 (13.6)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

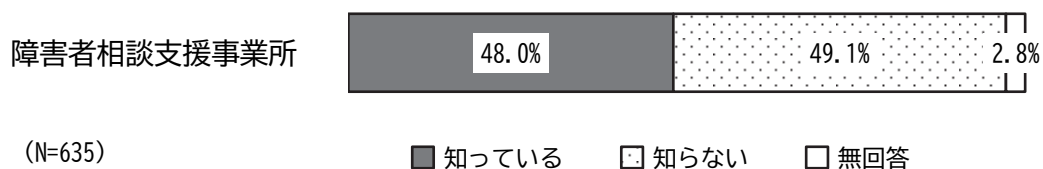
		6. 子どもの 就職	7. 障害のあ る方が暮 らす施設 の利用に 関するこ と	8. 在宅での 障害福祉 サービスの 利用に 関するこ と	9. 子どもの 福祉機器 の利用に 関するこ と	10. その他	11. 特にな い・わか らない	12. 無回答
全 体		243 (38.3)	163 (25.7)	67 (10.6)	38 (6.0)	31 (4.9)	48 (7.6)	8 (1.3)
問 2 就 学	1. 未就学児	31 (19.6)	29 (18.4)	16 (10.1)	16 (10.1)	8 (5.1)	10 (6.3)	2 (1.3)
	2. 小学生	87 (32.1)	60 (22.1)	30 (11.1)	11 (4.1)	13 (4.8)	22 (8.1)	3 (1.1)
	3. 中学生	56 (54.4)	38 (36.9)	10 (9.7)	6 (5.8)	8 (7.8)	6 (5.8)	1 (1.0)
	4. 中学校卒業以上	69 (67.0)	36 (35.0)	11 (10.7)	5 (4.9)	2 (1.9)	10 (9.7)	2 (1.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥相談支援事業所の認知度（問 44 ア）

相談支援事業所の認知度は、「知っている」が48.0%、「知らない」が49.1%となっています。

■相談支援事業所の認知度



障害種別にみると、身体障害者は「知らない」が全体に比べ多くなっています。

■相談支援事業所の認知度（障害種別）

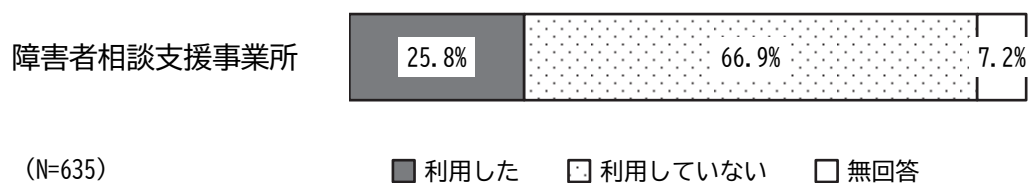
		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		635 (100.0)	305 (48.0)	312 (49.1)	18 (2.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	36 (37.9)	57 (60.0)	2 (2.1)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	228 (50.1)	213 (46.8)	14 (3.1)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	9 (40.9)	11 (50.0)	2 (9.1)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	38 (48.1)	40 (50.6)	1 (1.3)
	5. 無回答	30 (100.0)	14 (46.7)	15 (50.0)	1 (3.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、
灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦相談支援事業所の利用の有無（問 44 イ）

相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無は、「利用した」が 25.8%、「利用していない」が 66.9%となっています。

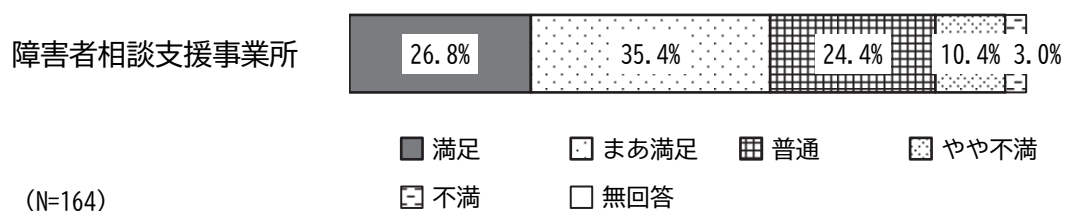
■相談支援事業所の利用の有無



⑧相談支援事業所・就労支援センターの満足度（問 44 ウ）

問 44 イで「利用した」と回答した方に、利用しての満足度をきいたところ、「まあ満足」が 35.4%と最も多く、次いで「満足」が 26.8%、普通が 24.4%となっています。

■相談事業所の満足度

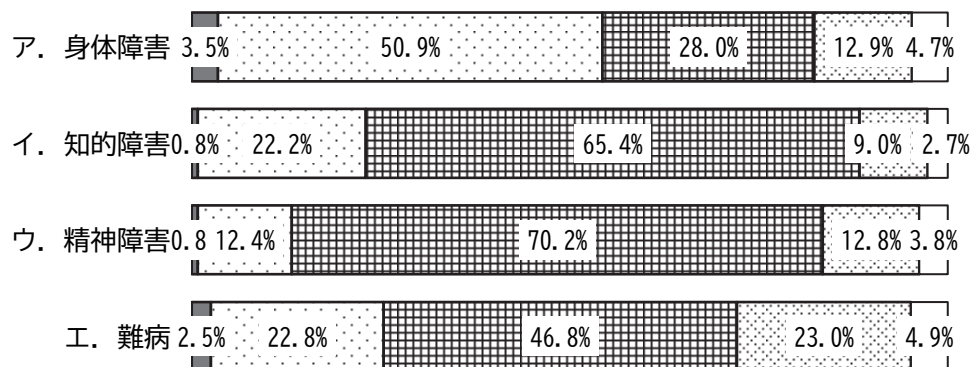


(11) 権利擁護について

①市民の障害者への理解度（問 45）

市民の障害者への理解度については、身体障害は「ある程度理解されている」が最も多く、それ以外は「理解されていない」が最も多くなっています。

■ 市民の障害者への理解度



(N=635)

■ 十分理解されている

■ ある程度理解されている

■ 理解されていない

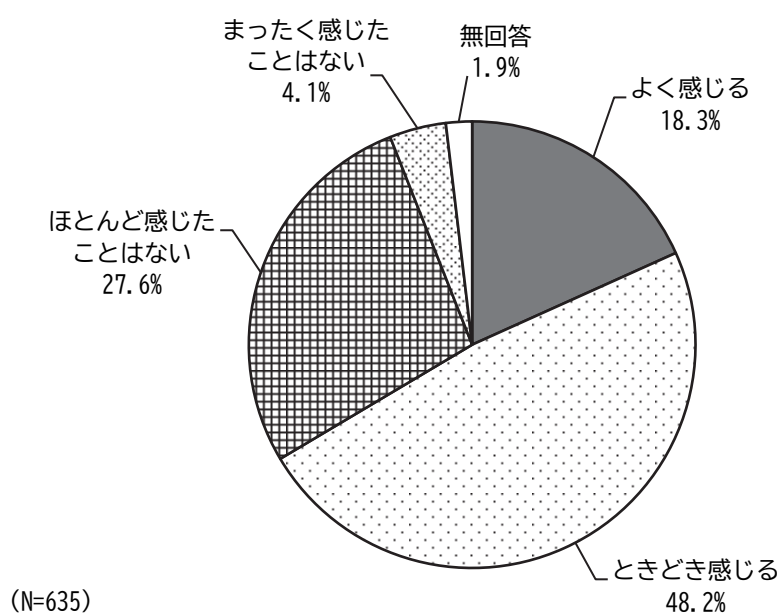
■ わからない

□ 無回答

②日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（問 46）

日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無については、「ときどき感じる」が 48.2%で最も多く、次いで「ほとんど感じたことはない」が 27.6%、「よく感じる」が 18.3%となっています。

■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無



経年変化をみると、「よく感じる」が増加しています。

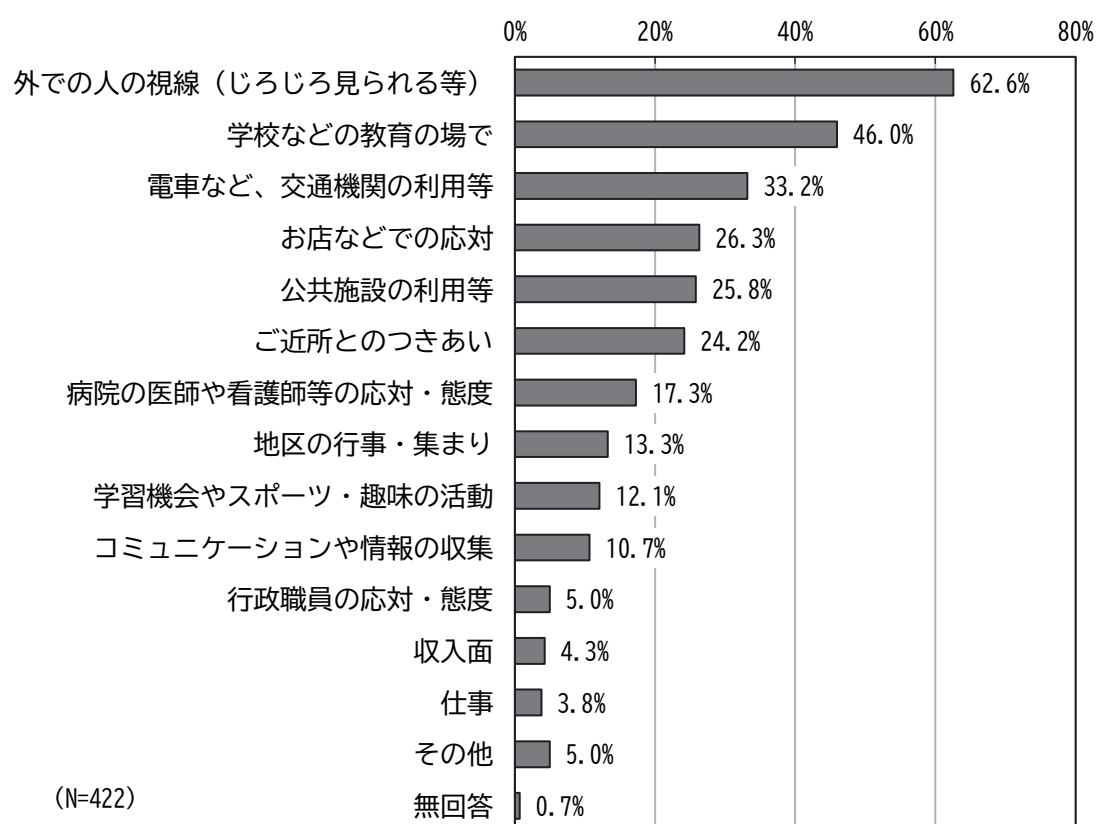
■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（経年変化）

	合 計	1. よく感じる	2. ときどき 感じる	3. ほとんど 感じたこ とはない	4. まったく 感じたこ とはない	5. 無回答
令和5年度	635 (100.0)	116 (18.3)	306 (48.2)	175 (27.6)	26 (4.1)	12 (1.9)
令和2年度	530 (100.0)	82 (15.5)	264 (49.8)	147 (27.7)	20 (3.8)	17 (3.2)

③差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（問 46 - 1）

問 46 で「よく感じる」または「ときどき感じる」と回答した方に、どのような場面で差別や偏見、疎外感、気になることがあったかきいたところ、「外での人の視線（じろじろ見られる等）」が 62.6%で最も多く、次いで「学校などの教育の場で」が 46.0%、「電車など、交通機関の利用等」が 33.2%となっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「外での人の視線(じろじろ見られる等)」が全体に比べて多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答)(就学別)

		回答者数	合 計	1. 学校などの 教育の 場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医 師や看護 師等の応 対・態度	5. コミュニ ケーショ ンや情報 の収集	6. 学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	7. ご近所と のつきあ い
全 体		422 (100.0)	1,224 (290.0)	194 (46.0)	16 (3.8)	18 (4.3)	73 (17.3)	45 (10.7)	51 (12.1)	102 (24.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	111 (100.0)	346 (311.7)	51 (45.9)	1 (0.9)	3 (2.7)	20 (18.0)	16 (14.4)	14 (12.6)	26 (23.4)
	2. 小学生	188 (100.0)	572 (304.3)	88 (46.8)	9 (4.8)	8 (4.3)	38 (20.2)	16 (8.5)	21 (11.2)	50 (26.6)
	3. 中学生	64 (100.0)	156 (243.8)	28 (43.8)	2 (3.1)	2 (3.1)	9 (14.1)	5 (7.8)	9 (14.1)	14 (21.9)
	4. 中学校卒業以上	59 (100.0)	150 (254.2)	27 (45.8)	4 (6.8)	5 (8.5)	6 (10.2)	8 (13.6)	7 (11.9)	12 (20.3)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		8. 地区の行 事・集ま り	9. 外での人 の視線 (じろじ ろ見られ る等)	10. お店など での応対	11. 行政職員 の応対・ 態度	12. 電車な ど、交通 機関の利 用等	13. 公共施設 の利用等	14. その他	15. 無回答
全 体		56 (13.3)	264 (62.6)	111 (26.3)	21 (5.0)	140 (33.2)	109 (25.8)	21 (5.0)	3 (0.7)
問 2 就 学	1. 未就学児	10 (9.0)	81 (73.0)	34 (30.6)	10 (9.0)	40 (36.0)	33 (29.7)	6 (5.4)	1 (0.9)
	2. 小学生	27 (14.4)	121 (64.4)	50 (26.6)	8 (4.3)	70 (37.2)	56 (29.8)	9 (4.8)	1 (0.5)
	3. 中学生	11 (17.2)	33 (51.6)	12 (18.8)	1 (1.6)	13 (20.3)	10 (15.6)	6 (9.4)	1 (1.6)
	4. 中学校卒業以上	8 (13.6)	29 (49.2)	15 (25.4)	2 (3.4)	17 (28.8)	10 (16.9)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「外での人の視線(じろじろ見られる等)」、精神障害者は「学校などの教育の場で」、「コミュニケーションや情報の収集」、「地区の行事・集まり」が全体に比べ多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 学校などの 教育の 場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医 師や看護 師等の応 対・態度	5. コミュニ ケーション や情報の 収集	6. 学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	7. ご近所と のつきあ い
全 体		422 (100.0)	1,224 (290.0)	194 (46.0)	16 (3.8)	18 (4.3)	73 (17.3)	45 (10.7)	51 (12.1)	102 (24.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	63 (100.0)	152 (241.3)	15 (23.8)	2 (3.2)	1 (1.6)	5 (7.9)	3 (4.8)	4 (6.3)	8 (12.7)
	2. 知的障害者	315 (100.0)	965 (306.3)	135 (42.9)	15 (4.8)	15 (4.8)	62 (19.7)	34 (10.8)	33 (10.5)	84 (26.7)
	3. 精神障害者	13 (100.0)	35 (269.2)	9 (69.2)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	3 (23.1)	1 (7.7)	4 (30.8)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	48 (100.0)	132 (275.0)	31 (64.6)	0 (-)	0 (-)	9 (18.8)	6 (12.5)	12 (25.0)	6 (12.5)
	5. 無回答	18 (100.0)	45 (250.0)	12 (66.7)	0 (-)	2 (11.1)	2 (11.1)	1 (5.6)	3 (16.7)	7 (38.9)

		8. 地区の行 事・集ま り	9. 外での人 の視線 (じろじ ろ見られ る等)	10. お店など での対応	11. 行政職員 の対応・ 態度	12. 電車な ど、交通 機関の利 用等	13. 公共施設 の利用等	14. その他	15. 無回答
全 体		56 (13.3)	264 (62.6)	111 (26.3)	21 (5.0)	140 (33.2)	109 (25.8)	21 (5.0)	3 (0.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	9 (14.3)	49 (77.8)	10 (15.9)	6 (9.5)	25 (39.7)	12 (19.0)	3 (4.8)	0 (-)
	2. 知的障害者	44 (14.0)	209 (66.3)	92 (29.2)	17 (5.4)	117 (37.1)	90 (28.6)	15 (4.8)	3 (1.0)
	3. 精神障害者	5 (38.5)	6 (46.2)	4 (30.8)	0 (-)	2 (15.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	5 (10.4)	20 (41.7)	14 (29.2)	2 (4.2)	13 (27.1)	10 (20.8)	4 (8.3)	0 (-)
	5. 無回答	2 (11.1)	7 (38.9)	2 (11.1)	0 (-)	2 (11.1)	5 (27.8)	0 (-)	0 (-)

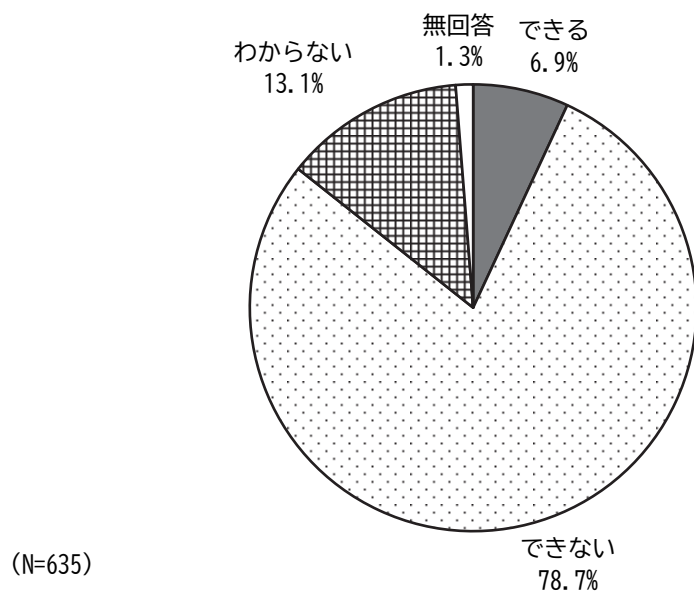
注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(12) 災害時について

①災害時にひとりで避難することの可否（問 47）

災害時にひとりで避難することの可否については、「できない」が78.7%、「できる」が6.9%となっています。

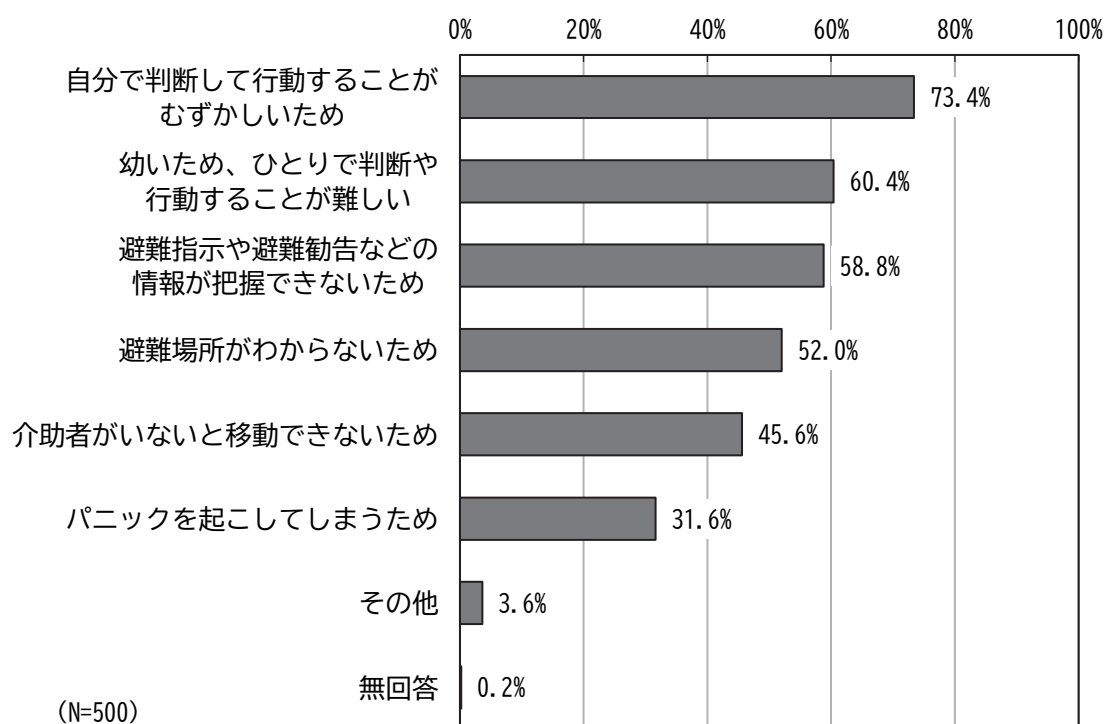
■災害時にひとりで避難することの可否



②災害時にひとりで避難できない理由（問 47 - 1）

問 47 で「できない」と回答した方に、災害時にひとりで避難できない理由をきいたところ、「自分で判断して行動することがむずかしいため」が 73.4%で最も多く、次いで「幼いため、ひとりで判断や行動することが難しい」が 60.4%、「避難指示や避難勧告などの情報が把握できないため」が 58.8%となっています。

■災害時にひとりで避難できない理由（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「幼いため、ひとりで判断や行動することが難しい」、中学生は「避難指示や避難勧告などの情報が把握できないため」、「介助者がいないと移動できないため」、「自分で判断して行動することがむずかしいため」、中学校卒業以上は「自分で判断して行動することがむずかしいため」が全体に比べ多くなっています。

■災害時にひとりで避難できない理由(複数回答)(就学別)

	回答者数	合 計	1. 幼いた め、ひと りで判断 や行動す ることが 難しい	2. 避難指示 や避難勧 告などの 情報が把 握できな いため	3. 介助者が いないと 移動でき ないため	4. 避難場所 がわから ないため	5. 自分で判 断して行 動するこ とがむず かしいた め	6. パニック を起こし てしまう ため	7. その他	8. 無回答
全 体	500 (100.0)	1,628 (325.6)	302 (60.4)	294 (58.8)	228 (45.6)	260 (52.0)	367 (73.4)	158 (31.6)	18 (3.6)	1 (0.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	150 (100.0)	421 (280.7)	148 (98.7)	67 (44.7)	51 (34.0)	55 (36.7)	74 (49.3)	23 (15.3)	3 (2.0)
	2. 小学生	223 (100.0)	810 (363.2)	145 (65.0)	147 (65.9)	110 (49.3)	132 (59.2)	182 (81.6)	85 (38.1)	8 (3.6)
	3. 中学生	72 (100.0)	235 (326.4)	6 (8.3)	50 (69.4)	41 (56.9)	44 (61.1)	62 (86.1)	28 (38.9)	4 (5.6)
	4. 中学校卒業以上	55 (100.0)	162 (294.5)	3 (5.5)	30 (54.5)	26 (47.3)	29 (52.7)	49 (89.1)	22 (40.0)	3 (5.5)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「介助者がいないと移動できないため」、知的障害者は「自分で判断して行動することがむずかしいため」、精神障害者は「自分で判断して行動することがむずかしいため」、「パニックを起こしてしまうため」が全体に比べ多くなっています。

■災害時にひとりで避難できない理由(複数回答)(障害種別)

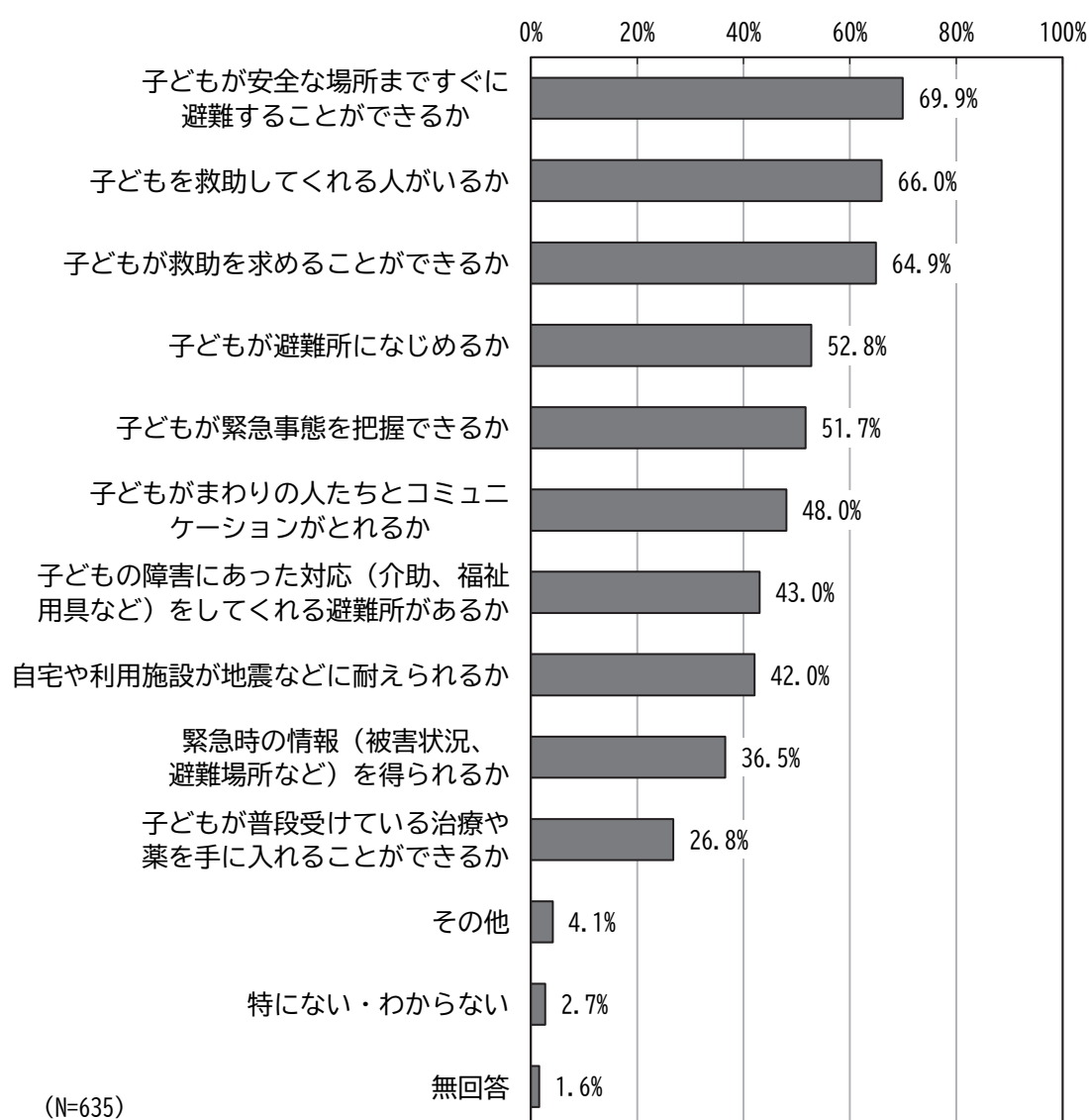
	回答者数	合 計	1. 幼いた め、ひと りで判断 や行動す ることが 難しい	2. 避難指示 や避難勧 告などの 情報が把 握できな いため	3. 介助者が いないと 移動でき ないため	4. 避難場所 がわから ないため	5. 自分で判 断して行 動するこ とがむず かしいた め	6. パニック を起こし てしまう ため	7. その他	8. 無回答
全 体	500 (100.0)	1,628 (325.6)	302 (60.4)	294 (58.8)	228 (45.6)	260 (52.0)	367 (73.4)	158 (31.6)	18 (3.6)	1 (0.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	77 (100.0)	212 (275.3)	41 (53.2)	37 (48.1)	51 (66.2)	26 (33.8)	40 (51.9)	10 (13.0)	7 (9.1)
	2. 知的障害者	375 (100.0)	1,357 (361.9)	215 (57.3)	255 (68.0)	195 (52.0)	230 (61.3)	313 (83.5)	135 (36.0)	13 (3.5)
	3. 精神障害者	13 (100.0)	38 (292.3)	2 (15.4)	7 (53.8)	1 (7.7)	7 (53.8)	11 (84.6)	9 (69.2)	1 (7.7)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	54 (100.0)	108 (200.0)	46 (85.2)	13 (24.1)	2 (3.7)	13 (24.1)	23 (42.6)	10 (18.5)	1 (1.9)
	5. 無回答	21 (100.0)	58 (276.2)	16 (76.2)	10 (47.6)	7 (33.3)	8 (38.1)	12 (57.1)	5 (23.8)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③災害が発生した場合に不安に思っていること（問 48）

災害が発生した場合に不安に思っていることについては、「子どもが安全な場所まですぐに避難することができるか」が69.9%で最も多く、次いで「子どもを救助してくれる人がいるか」が66.0%、「子どもが救助を求めることができるか」が64.9%となっています。

■災害が発生した場合に不安に思っていること（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「子どもの障害にあった対応（介助、福祉用具など）をしてくれる避難所があるか」、「子どもが普段受けている治療や薬を手に入れることができるか」、精神障害者は「自宅や利用施設が地震などに耐えられるか」、「子どもが普段受けている治療や薬を手に入れることができるか」が全体に比べ多くなっています。

■災害が発生した場合に不安に思っていること（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 自宅や利用施設が地震などに耐えられるか	2. 緊急時の情報（被害状況、避難場所など）を得られるか	3. 子どもが緊急事態を把握できるか	4. 子どもが救助を求めることができるか	5. 子どもを救助してくれる人がいるか	6. 子どもが安全な場所まですぐに避難することができるか
全 体		635 (100.0)	3,238 (509.9)	267 (42.0)	232 (36.5)	328 (51.7)	412 (64.9)	419 (66.0)	444 (69.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	444 (467.4)	35 (36.8)	31 (32.6)	31 (32.6)	42 (44.2)	64 (67.4)	60 (63.2)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	2,439 (536.0)	189 (41.5)	171 (37.6)	255 (56.0)	311 (68.4)	311 (68.4)	324 (71.2)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	107 (486.4)	13 (59.1)	8 (36.4)	5 (22.7)	15 (68.2)	13 (59.1)	12 (54.5)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	79 (100.0)	349 (441.8)	38 (48.1)	27 (34.2)	37 (46.8)	46 (58.2)	49 (62.0)	52 (65.8)
	5. 無回答	30 (100.0)	143 (476.7)	15 (50.0)	11 (36.7)	16 (53.3)	21 (70.0)	18 (60.0)	23 (76.7)

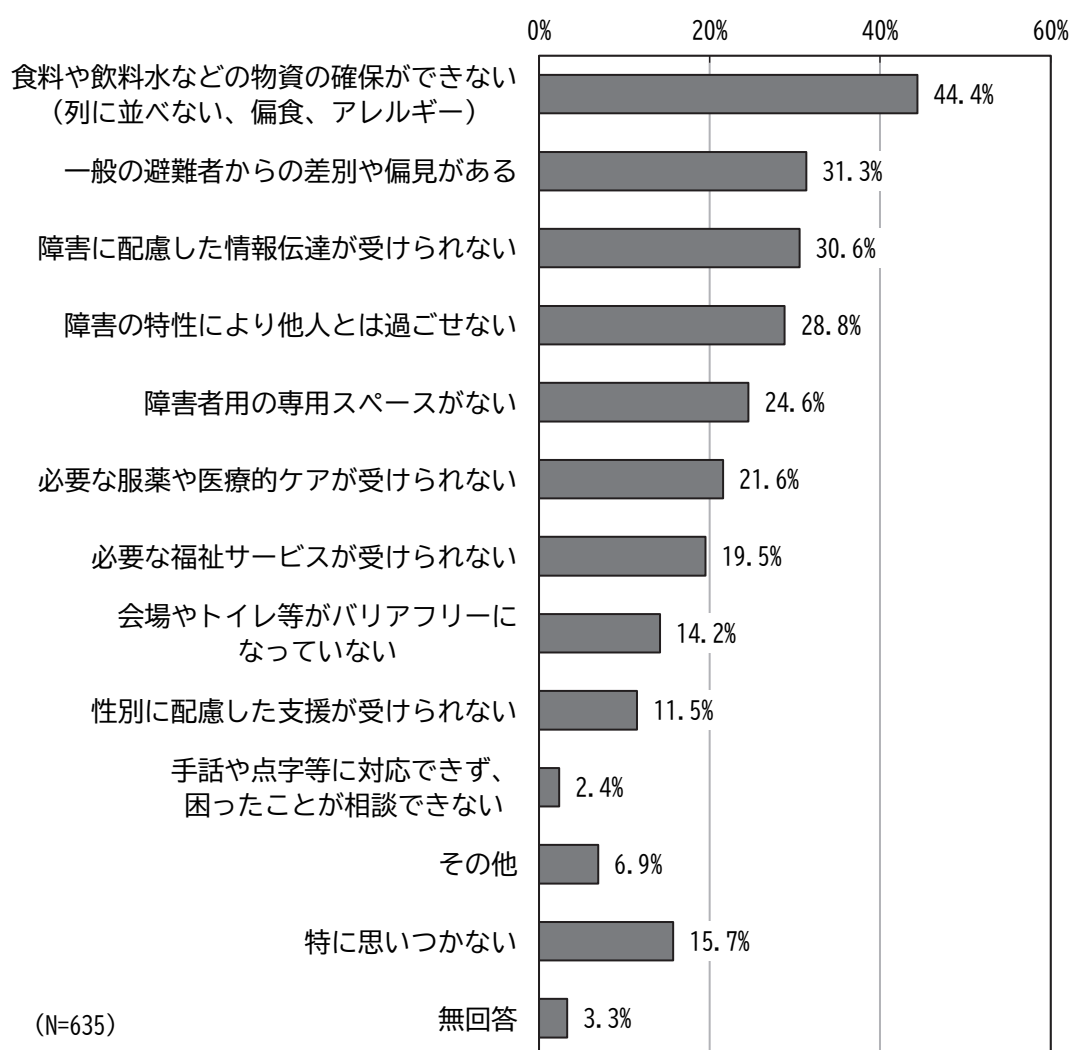
		7. 子どもの障害にあった対応（介助、福祉用具など）をしてくれる避難所があるか	8. 子どもが普段受けている治療や薬を手に入れることができるか	9. 子どもがまわりの人たちとコミュニケーションがとれるか	10. 子どもが避難所になじめるか	11. その他	12. 特にない・わからない	13. 無回答
全 体		273 (43.0)	170 (26.8)	305 (48.0)	335 (52.8)	26 (4.1)	17 (2.7)	10 (1.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	60 (63.2)	51 (53.7)	22 (23.2)	35 (36.8)	7 (7.4)	6 (6.3)	0 (-)
	2. 知的障害者	218 (47.9)	124 (27.3)	236 (51.9)	267 (58.7)	22 (4.8)	6 (1.3)	5 (1.1)
	3. 精神障害者	7 (31.8)	12 (54.5)	11 (50.0)	10 (45.5)	0 (-)	1 (4.5)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	11 (13.9)	6 (7.6)	40 (50.6)	37 (46.8)	1 (1.3)	4 (5.1)	1 (1.3)
	5. 無回答	7 (23.3)	6 (20.0)	13 (43.3)	9 (30.0)	0 (-)	0 (-)	4 (13.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④避難所生活で不安なこと（問 49）

避難所生活で不安なことについては、「食料や飲料水などの物資の確保ができない（列に並べない、偏食、アレルギー）」が 44.4%で最も多く、次いで「一般の避難者からの差別や偏見がある」が 31.3%、「障害に配慮した情報伝達が受けられない」が 30.6%となっています。

■避難所生活で不安なこと（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「会場やトイレ等がバリアフリーになっていない」、「必要な福祉サービスが受けられない」、「必要な服薬や医療的ケアが受けられない」、「障害者の専用スペースがない」、精神障害者は「必要な服薬や医療的ケアが受けられない」が全体に比べ多くなっています。

■避難所生活で不安なこと(複数回答)(障害種別)

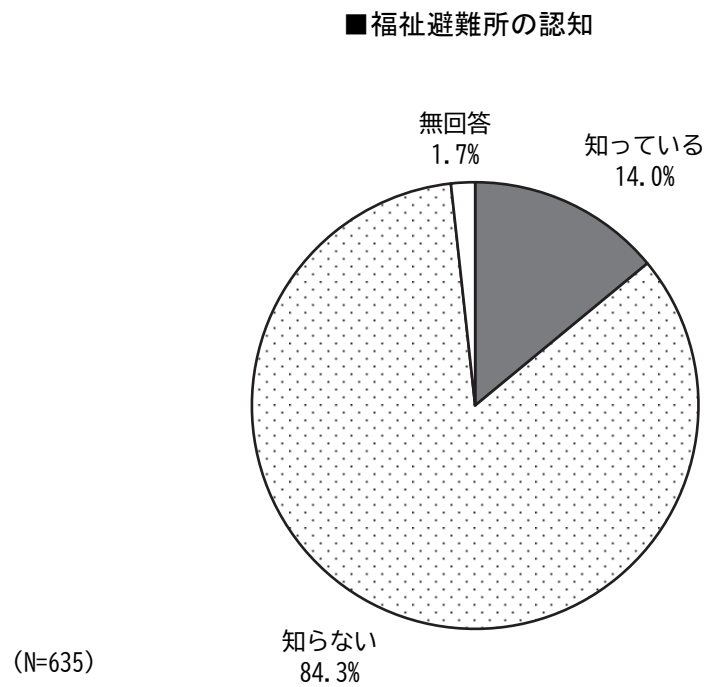
		回答者数	合 計	1. 会場やトイレ等が バリアフリーに なっていない	2. 性別に配慮した支 援が受けられない	3. 手話や点字等に対 応できず、困ったこ とが相談できない	4. 障害に配慮した情 報伝達を受けられ ない	5. 必要な福祉サー ビスが受けられない	6. 必要な服薬や医療 的ケアが受けられ ない
全 体		635 (100.0)	1,618 (254.8)	90 (14.2)	73 (11.5)	15 (2.4)	194 (30.6)	124 (19.5)	137 (21.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	291 (306.3)	37 (38.9)	10 (10.5)	5 (5.3)	33 (34.7)	32 (33.7)	47 (49.5)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	1,278 (280.9)	59 (13.0)	57 (12.5)	9 (2.0)	163 (35.8)	104 (22.9)	92 (20.2)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	48 (218.2)	2 (9.1)	1 (4.5)	0 (-)	4 (18.2)	3 (13.6)	12 (54.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	117 (148.1)	5 (6.3)	9 (11.4)	1 (1.3)	8 (10.1)	2 (2.5)	8 (10.1)
	5. 無回答	30 (100.0)	52 (173.3)	2 (6.7)	2 (6.7)	0 (-)	3 (10.0)	2 (6.7)	5 (16.7)

		7. 障害の特性により 他人とは過ごせない	8. 一般の避難者から の差別や偏見がある	9. 障害者用の専用ス ペースがない	10. 食料や飲料水など の物資の確保がで きない (列に並べない、 偏食、アレルギー)	11. その他	12. 特に思いつかない	13. 無回答
全 体		183 (28.8)	199 (31.3)	156 (24.6)	282 (44.4)	44 (6.9)	100 (15.7)	21 (3.3)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	15 (15.8)	24 (25.3)	35 (36.8)	36 (37.9)	7 (7.4)	10 (10.5)	0 (-)
	2. 知的障害者	164 (36.0)	176 (38.7)	130 (28.6)	222 (48.8)	29 (6.4)	59 (13.0)	14 (3.1)
	3. 精神障害者	4 (18.2)	4 (18.2)	5 (22.7)	7 (31.8)	2 (9.1)	4 (18.2)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	10 (12.7)	8 (10.1)	2 (2.5)	27 (34.2)	9 (11.4)	25 (31.6)	3 (3.8)
	5. 無回答	4 (13.3)	4 (13.3)	4 (13.3)	14 (46.7)	2 (6.7)	6 (20.0)	4 (13.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤福祉避難所の認知（問 50）

福祉避難所の認知については、「知らない」が84.3%、「知っている」が14.0%となっています。

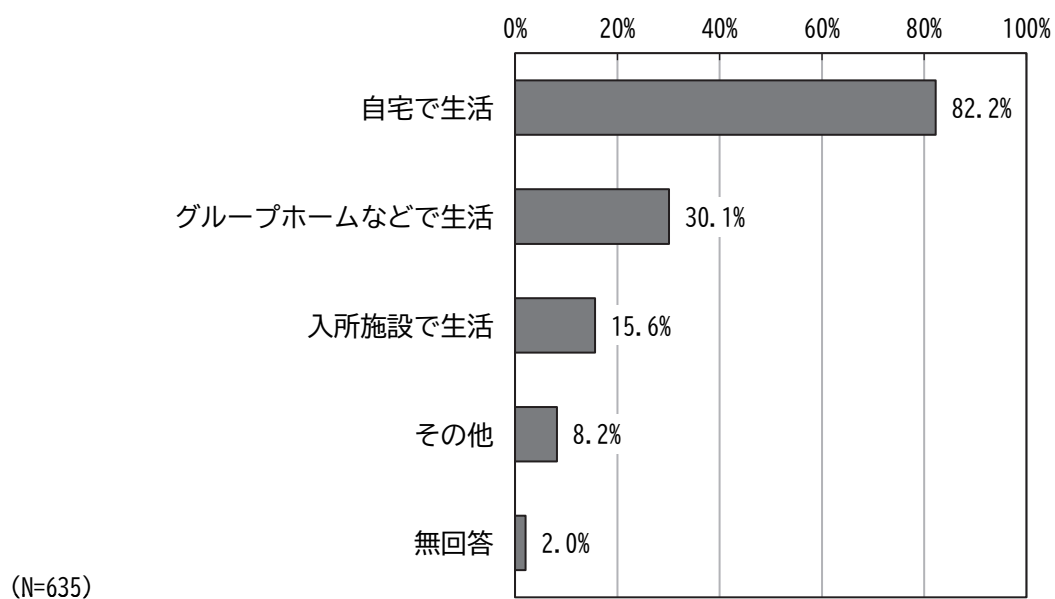


(13) 将来について

①将来的に高等学校などを卒業した後に暮らす場所の希望（問 51）

将来的に高等学校などを卒業した後に暮らす場所の希望については、「自宅で生活」が82.2%で最も多く、次いで「グループホームなどで生活」が30.1%、「入所施設で生活」が15.6%となっています。

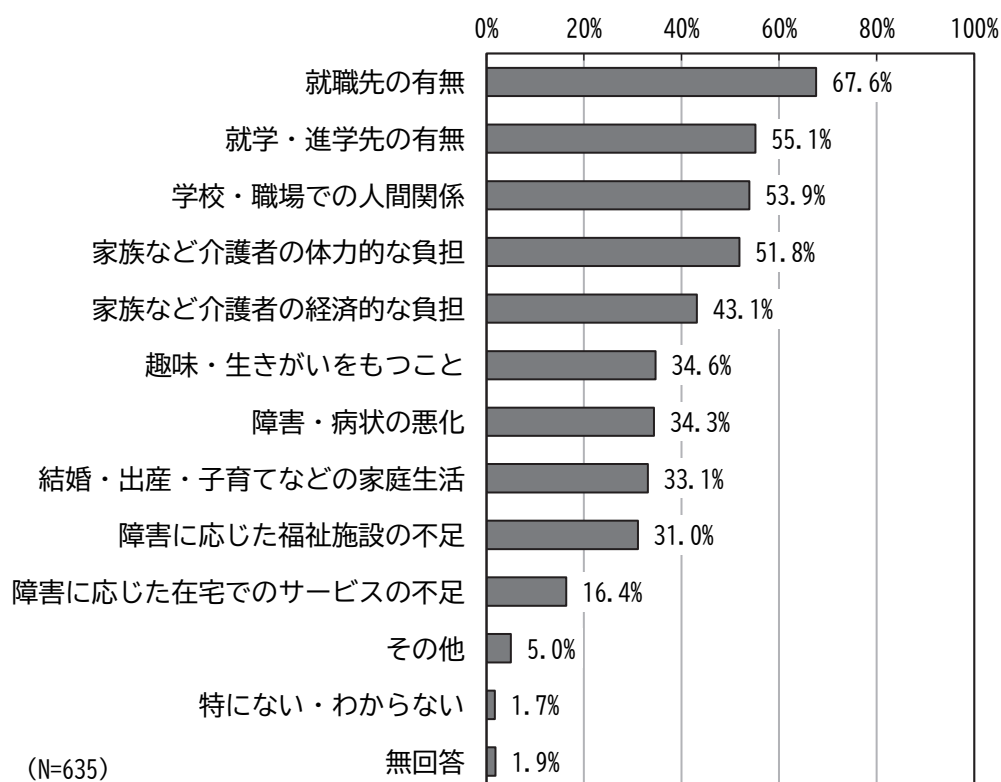
■将来的に高等学校などを卒業した後に暮らす場所の希望（複数回答）



②今後について不安に思うこと（問 52）

今後について不安に思うことについては、「就職先の有無」が 67.6%で最も多く、次いで「就学・進学先の有無」が 55.1%、「学校・職場での人間関係」が 53.9%となっています。

■今後について不安に思うこと（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「就学・進学先の有無」が全体に比べ多くなっています。

■今後について不安に思うこと(複数回答)(就学別)

		回答者数	合 計	1. 障害・病 状の悪化	2. 障害に応 じた在宅 でのサー ビスの不 足	3. 障害に応 じた福祉 施設の不 足	4. 家族など 介護者の 体力的な 負担	5. 家族など 介護者の 経済的な 負担	6. 就学・進 学先の有 無
全 体		635 (100.0)	2,728 (429.6)	218 (34.3)	104 (16.4)	197 (31.0)	329 (51.8)	274 (43.1)	350 (55.1)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	757 (479.1)	65 (41.1)	29 (18.4)	48 (30.4)	93 (58.9)	78 (49.4)	109 (69.0)
	2. 小学生	271 (100.0)	1,203 (443.9)	99 (36.5)	47 (17.3)	87 (32.1)	149 (55.0)	123 (45.4)	168 (62.0)
	3. 中学生	103 (100.0)	410 (398.1)	26 (25.2)	16 (15.5)	35 (34.0)	47 (45.6)	42 (40.8)	46 (44.7)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	358 (347.6)	28 (27.2)	12 (11.7)	27 (26.2)	40 (38.8)	31 (30.1)	27 (26.2)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		7. 就職先の 有無	8. 学校・職 場での人 間関係	9. 結婚・出 産・子育 てなどの 家庭生活	10. 趣味・生 きがいをもつこと	11. その他	12. 特にな い・わか らない	13. 無回答
全 体		429 (67.6)	342 (53.9)	210 (33.1)	220 (34.6)	32 (5.0)	11 (1.7)	12 (1.9)
問 2 就 学	1. 未就学児	101 (63.9)	99 (62.7)	61 (38.6)	58 (36.7)	7 (4.4)	6 (3.8)	3 (1.9)
	2. 小学生	192 (70.8)	142 (52.4)	78 (28.8)	92 (33.9)	15 (5.5)	5 (1.8)	6 (2.2)
	3. 中学生	76 (73.8)	48 (46.6)	35 (34.0)	36 (35.0)	2 (1.9)	0 (-)	1 (1.0)
	4. 中学校卒業以上	60 (58.3)	53 (51.5)	36 (35.0)	34 (33.0)	8 (7.8)	0 (-)	2 (1.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「障害・病状の悪化」、精神障害者は「就学・進学先の有無」、「学校・職場での人間関係」が全体に比べ多くなっています。

■今後について不安に思うこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 障害・病 状の悪化	2. 障害に応 じた在宅 でのサー ビスの不 足	3. 障害に応 じた福祉 施設の不 足	4. 家族など 介護者の 体力的な 負担	5. 家族など 介護者の 経済的な 負担	6. 就学・進 学先の有 無
全 体		635 (100.0)	2,728 (429.6)	218 (34.3)	104 (16.4)	197 (31.0)	329 (51.8)	274 (43.1)	350 (55.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	395 (415.8)	53 (55.8)	23 (24.2)	34 (35.8)	53 (55.8)	42 (44.2)	47 (49.5)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	2,034 (447.0)	154 (33.8)	91 (20.0)	171 (37.6)	273 (60.0)	226 (49.7)	239 (52.5)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	95 (431.8)	9 (40.9)	1 (4.5)	1 (4.5)	7 (31.8)	10 (45.5)	15 (68.2)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	285 (360.8)	19 (24.1)	4 (5.1)	6 (7.6)	16 (20.3)	15 (19.0)	51 (64.6)
	5. 無回答	30 (100.0)	132 (440.0)	10 (33.3)	1 (3.3)	4 (13.3)	14 (46.7)	10 (33.3)	19 (63.3)

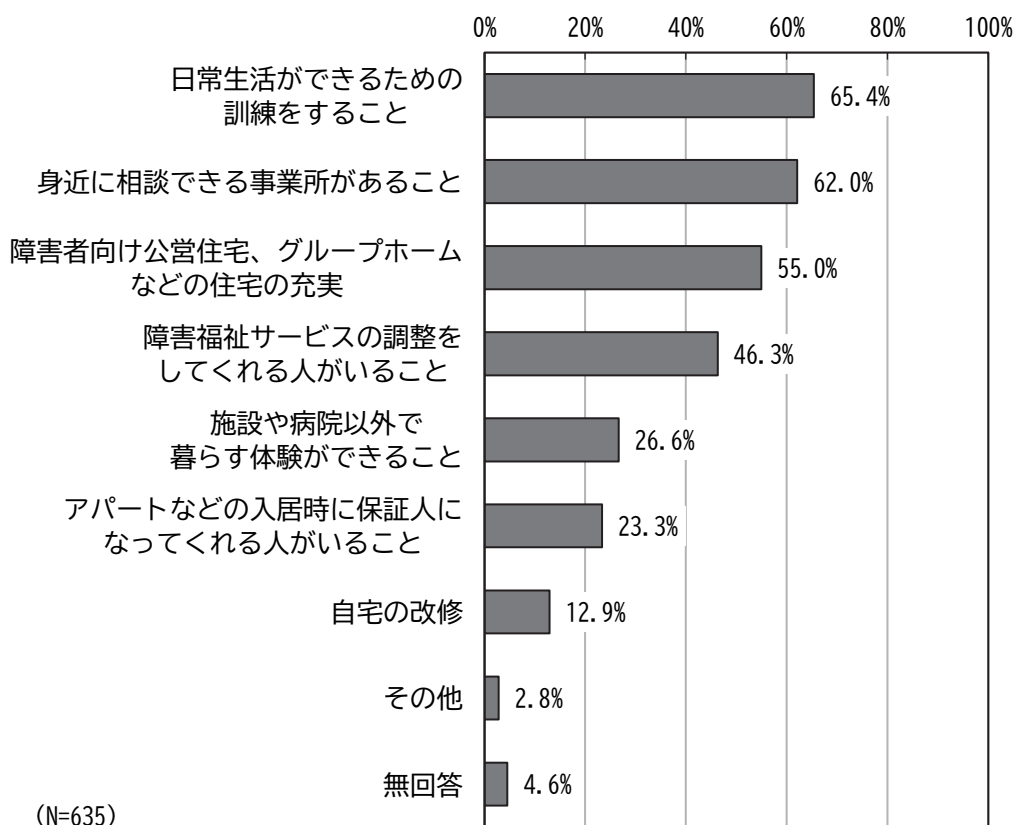
		7. 就職先の 有無	8. 学校・職 場での人 間関係	9. 結婚・出 産・子育 てなどの 家庭生活	10. 趣味・生 きがいをもつこと	11. その他	12. 特にな い・わか らない	13. 無回答
全 体		429 (67.6)	342 (53.9)	210 (33.1)	220 (34.6)	32 (5.0)	11 (1.7)	12 (1.9)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	51 (53.7)	32 (33.7)	32 (33.7)	21 (22.1)	4 (4.2)	2 (2.1)	1 (1.1)
	2. 知的障害者	318 (69.9)	227 (49.9)	132 (29.0)	165 (36.3)	29 (6.4)	1 (0.2)	8 (1.8)
	3. 精神障害者	17 (77.3)	17 (77.3)	9 (40.9)	8 (36.4)	1 (4.5)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	48 (60.8)	58 (73.4)	31 (39.2)	28 (35.4)	1 (1.3)	6 (7.6)	2 (2.5)
	5. 無回答	19 (63.3)	23 (76.7)	15 (50.0)	13 (43.3)	0 (-)	2 (6.7)	2 (6.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（問 53（1））

障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境については、「日常生活ができるための訓練をすること」が 65.4%で最も多く、次いで「身近に相談できる事業所があること」が 62.0%、「障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実」が 55.0%となっています。

■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「日常生活ができるための訓練をすること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境(複数回答)(就学別)

		回答者数	合 計	1. 日常生活 ができる ための訓 練をする こと	2. 施設や病 院以外で 暮らす体 験ができ ること	3. 障害者向 け公営住 宅、グ ループ ホームな どの住宅 の充実	4. アパート などの入 居時に保 証人に なってく れる人が いること	5. 自宅の改 修	6. 障害福祉 サービスの 調整をし てくれる 人がいる こと	7. 身近に相 談できる 事業所が あること	8. その他	9. 無回答
全 体		635 (100.0)	1,898 (298.9)	415 (65.4)	169 (26.6)	349 (55.0)	148 (23.3)	82 (12.9)	294 (46.3)	394 (62.0)	18 (2.8)	29 (4.6)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	507 (320.9)	126 (79.7)	46 (29.1)	80 (50.6)	39 (24.7)	34 (21.5)	74 (46.8)	96 (60.8)	2 (1.3)	10 (6.3)
	2. 小学生	271 (100.0)	820 (302.6)	184 (67.9)	79 (29.2)	156 (57.6)	56 (20.7)	29 (10.7)	127 (46.9)	173 (63.8)	8 (3.0)	8 (3.0)
	3. 中学生	103 (100.0)	273 (265.0)	55 (53.4)	21 (20.4)	57 (55.3)	21 (20.4)	6 (5.8)	44 (42.7)	58 (56.3)	4 (3.9)	7 (6.8)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	298 (289.3)	50 (48.5)	23 (22.3)	56 (54.4)	32 (31.1)	13 (12.6)	49 (47.6)	67 (65.0)	4 (3.9)	4 (3.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサプ Ⅱ数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

障害種別にみると、身体障害者は「自宅の改修」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境(複数回答)(障害種別)

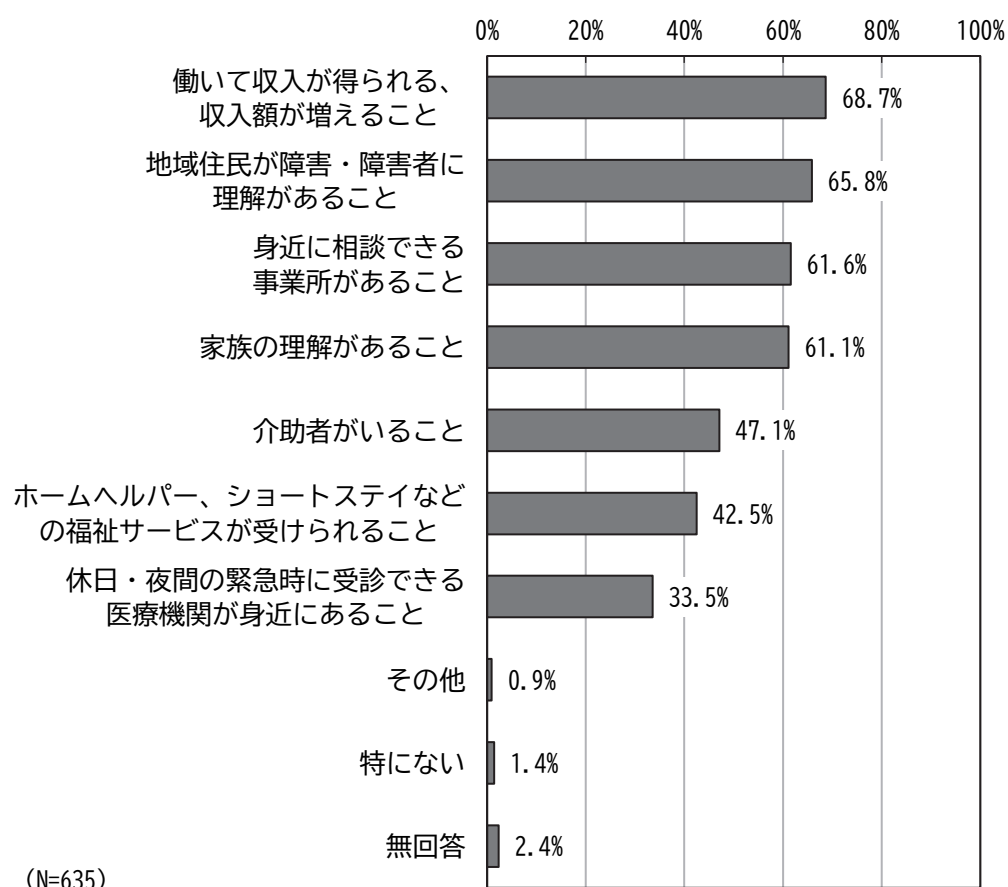
		回答者数	合 計	1. 日常生活 ができる ための訓 練をする こと	2. 施設や病 院以外で 暮らす体 験ができ ること	3. 障害者向 け公営住 宅、グ ループ ホームな どの住宅 の充実	4. アパート などの入 居時に保 証人に なってく れる人が いること	5. 自宅の改 修	6. 障害福祉 サービスの 調整をし てくれる 人がいる こと	7. 身近に相 談できる 事業所が あること	8. その他	9. 無回答
全 体		635 (100.0)	1,898 (298.9)	415 (65.4)	169 (26.6)	349 (55.0)	148 (23.3)	82 (12.9)	294 (46.3)	394 (62.0)	18 (2.8)	29 (4.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	268 (282.1)	45 (47.4)	25 (26.3)	42 (44.2)	16 (16.8)	31 (32.6)	45 (47.4)	54 (56.8)	4 (4.2)	6 (6.3)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	1,396 (306.8)	309 (67.9)	121 (26.6)	281 (61.8)	106 (23.3)	51 (11.2)	222 (48.8)	281 (61.8)	11 (2.4)	14 (3.1)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	49 (222.7)	7 (31.8)	4 (18.2)	6 (27.3)	2 (9.1)	2 (9.1)	11 (50.0)	15 (68.2)	1 (4.5)	1 (4.5)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	216 (273.4)	57 (72.2)	18 (22.8)	25 (31.6)	20 (25.3)	8 (10.1)	28 (35.4)	48 (60.8)	5 (6.3)	7 (8.9)
	5. 無回答	30 (100.0)	97 (323.3)	19 (63.3)	12 (40.0)	16 (53.3)	8 (26.7)	4 (13.3)	13 (43.3)	23 (76.7)	0 (-)	2 (6.7)

注:()内はサプ Ⅱ数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（問 53（2））

障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境については、「働いて収入が得られる、収入額が増えること」が 68.7%で最も多く、次いで「地域住民が障害・障害者に理解があること」が 65.8%、「身近に相談できる事業所があること」が 61.6%となっています。

■障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること」、精神障害者は「家族の理解があること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境(複数回答)(障害種別)

		回答者数	合 計	1. 家族の理 解がある こと	2. 介助者が いること	3. 働いて収 入が得ら れる、収 入額が増 えること	4. 地域住民 が障害・ 障害者に 理解があ ること	5. 身近に相 談できる 事業所が あること	6. ホームヘルパー、 ショートステイなどの福祉 サービスが受けられること	7. 休日・夜 間の緊急 時に受診 できる医 療機関が 身近にあること	8. その他	9. 特にない	10. 無回答
全 体		635 (100.0)	2,445 (385.0)	388 (61.1)	299 (47.1)	436 (68.7)	418 (65.8)	391 (61.6)	270 (42.5)	213 (33.5)	6 (0.9)	9 (1.4)	15 (2.4)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	95 (100.0)	383 (403.2)	59 (62.1)	54 (56.8)	55 (57.9)	63 (66.3)	51 (53.7)	44 (46.3)	50 (52.6)	0 (-)	4 (4.2)	3 (3.2)
	2. 知的障害者	455 (100.0)	1,786 (392.5)	268 (58.9)	235 (51.6)	316 (69.5)	306 (67.3)	287 (63.1)	215 (47.3)	143 (31.4)	6 (1.3)	3 (0.7)	7 (1.5)
	3. 精神障害者	22 (100.0)	84 (381.8)	16 (72.7)	6 (27.3)	17 (77.3)	16 (72.7)	14 (63.6)	8 (36.4)	7 (31.8)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	79 (100.0)	271 (343.0)	56 (70.9)	24 (30.4)	53 (67.1)	45 (57.0)	44 (55.7)	18 (22.8)	26 (32.9)	0 (-)	1 (1.3)	4 (5.1)
	5. 無回答	30 (100.0)	127 (423.3)	19 (63.3)	11 (36.7)	21 (70.0)	21 (70.0)	23 (76.7)	14 (46.7)	15 (50.0)	0 (-)	1 (3.3)	2 (6.7)

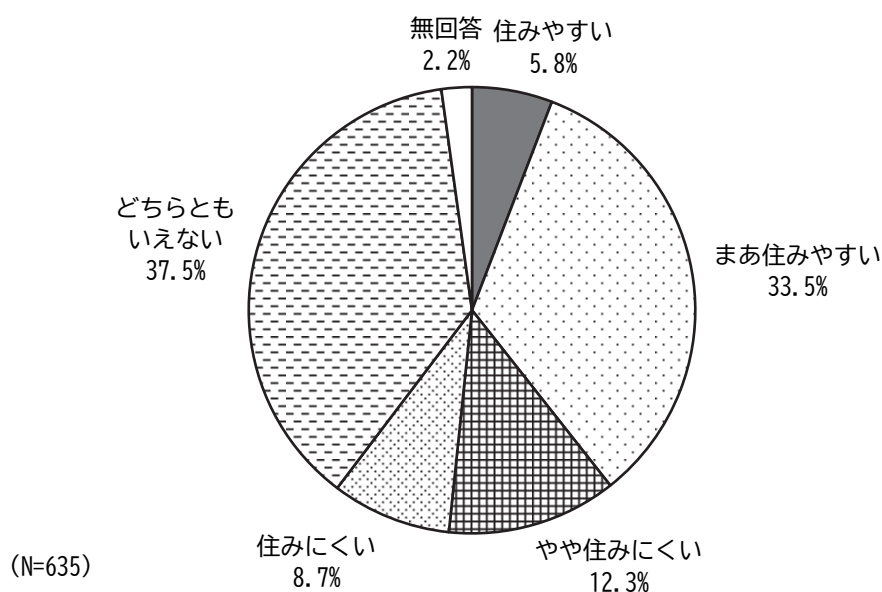
注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(14) その他

①障害者にとっての川口市の住みやすさ（問 54）

障害者にとっての川口市の住みやすさについては、「どちらともいえない」が 37.5%で最も多く、次いで「まあ住みやすい」が 33.5%、「やや住みにくい」が 12.3%となっています。

■障害者にとっての川口市の住みやすさ



経年変化をみると、前回より「住みやすい」、「住みにくい」が減少し、「どちらともいえない」が増加しています。

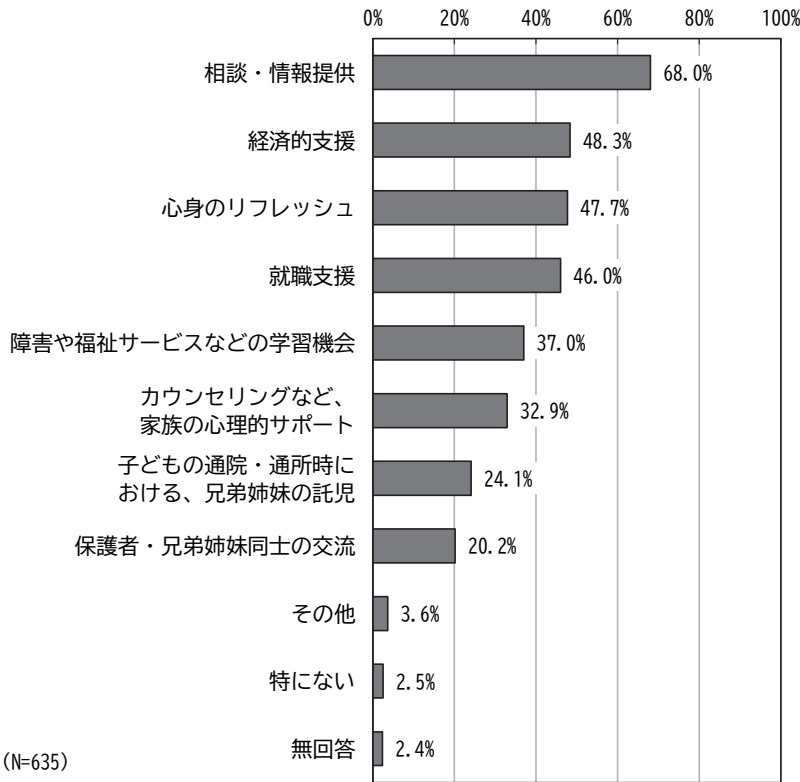
■障害者にとっての川口市の住みやすさ（経年変化）

	合 計	1. 住みやす い	2. まあ住み やすい	3. やや住み にくい	4. 住みにく い	5. どちらと もいえない	6. 無回答
令和5年度	635 (100.0)	37 (5.8)	213 (33.5)	78 (12.3)	55 (8.7)	238 (37.5)	14 (2.2)
令和2年度	530 (100.0)	38 (7.2)	182 (34.3)	66 (12.5)	61 (11.5)	174 (32.8)	9 (1.7)

②家族に大切な支援（問 55）

家族に大切な支援については、「相談・情報提供」が 68.0%で最も多く、次いで「経済的支援」が 48.3%、「心身のリフレッシュ」が 47.7%となっています。

■家族に大切な支援(複数回答)



就学別にみると、未就学児は「心身のリフレッシュ」、「子どもの通院・通所時における、兄弟姉妹の託児」が全体に比べ多くなっています。

■家族に大切な支援(複数回答)（就学別）

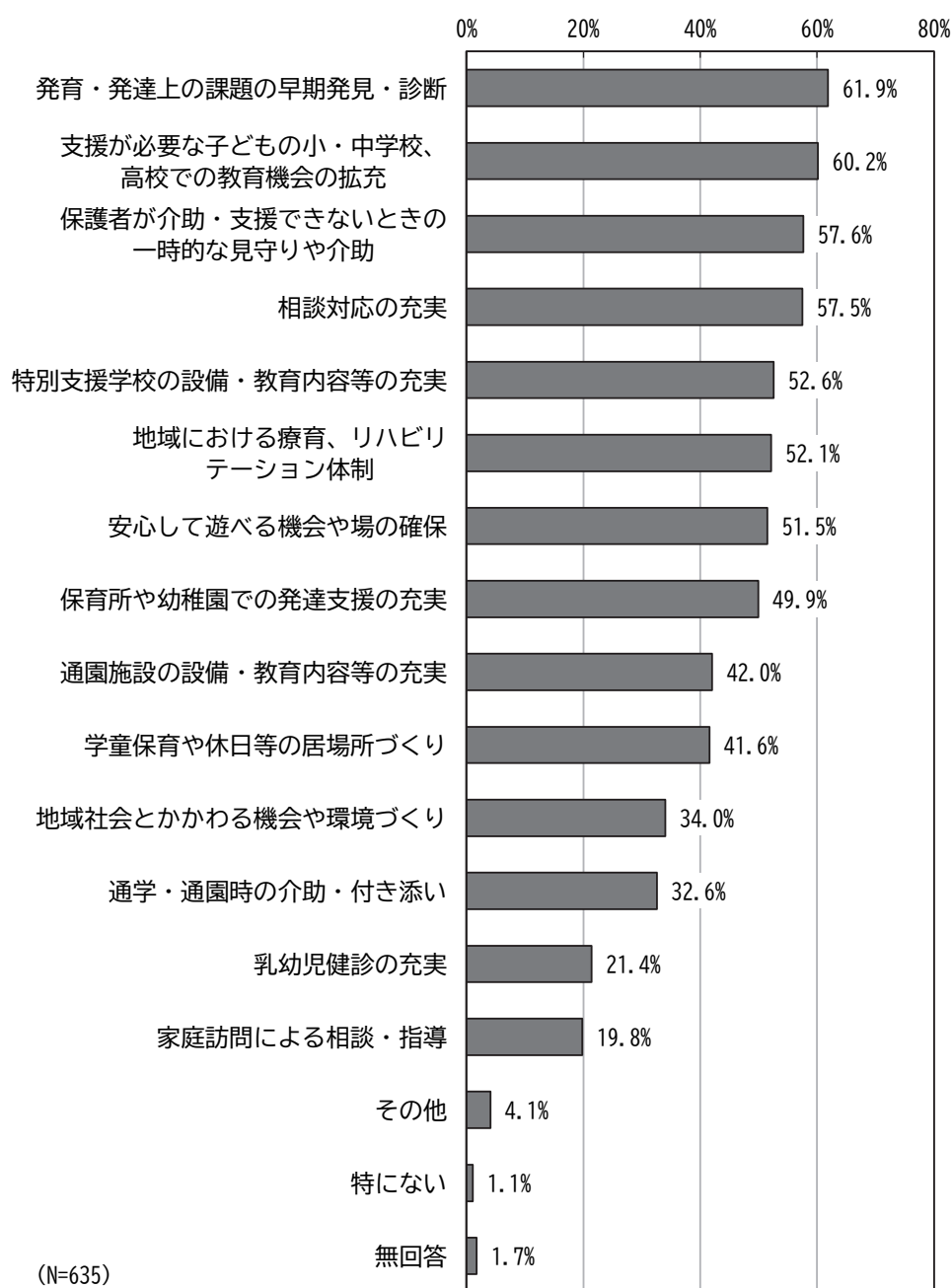
		回答者数	合 計	1. 相談・情報提供	2. 障害や福祉サービスなどの学習機会	3. 心身のリフレッシュ	4. カウンセリングなど、家族の心理的サポート	5. 子どもの通院・通所時における、兄弟姉妹の託児	6. 保護者・兄弟姉妹同士の交流	7. 就職支援	8. 経済的支援	9. その他	10. 特にない	11. 無回答
全 体		635 (100.0)	2,113 (332.8)	432 (68.0)	235 (37.0)	303 (47.7)	209 (32.9)	153 (24.1)	128 (20.2)	292 (46.0)	307 (48.3)	23 (3.6)	16 (2.5)	15 (2.4)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	571 (361.4)	109 (69.0)	59 (37.3)	93 (58.9)	59 (37.3)	62 (39.2)	40 (25.3)	57 (36.1)	79 (50.0)	6 (3.8)	2 (1.3)	5 (3.2)
	2. 小学生	271 (100.0)	948 (349.8)	182 (67.2)	105 (38.7)	141 (52.0)	95 (35.1)	64 (23.6)	63 (23.2)	135 (49.8)	137 (50.6)	13 (4.8)	8 (3.0)	5 (1.8)
	3. 中学生	103 (100.0)	310 (301.0)	71 (68.9)	31 (30.1)	42 (40.8)	32 (31.1)	16 (15.5)	13 (12.6)	54 (52.4)	47 (45.6)	2 (1.9)	1 (1.0)	1 (1.0)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	284 (275.7)	70 (68.0)	40 (38.8)	27 (26.2)	23 (22.3)	11 (10.7)	12 (11.7)	46 (44.7)	44 (42.7)	2 (1.9)	5 (4.9)	4 (3.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うこと（問56）

発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うことについては、「発育・発達上の課題の早期発見・診断」が61.9%で最も多く、次いで「支援が必要な子どもの小・中学校、高校での教育機会の拡充」が60.2%、「保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助」が57.6%となっています。

■発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うこと（複数回答）



就学別にみると、未就学児は「通園施設の設備・教育内容等の充実」、「保育所や幼稚園での発達支援の充実」が全体に比べ多くなっています。

■発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で特に必要と思うこと（複数回答）（就学別）

	回答者数	合 計	1. 乳幼児健 診の充実	2. 発育・発 達上の課 題の早期 発見・診 断	3. 相談対応 の充実	4. 家庭訪問 による相 談・指導	5. 地域にお ける療 育、リハ ビリテー ション体 制	6. 通園施設 の設備・ 教育内容 等の充実	7. 保育所や 幼稚園で の発達支 援の充実	8. 支援が必 要な子ど もの小・ 中学校、 高校での 教育機会 の拡充
全 体	635 (100.0)	4,075 (641.7)	136 (21.4)	393 (61.9)	365 (57.5)	126 (19.8)	331 (52.1)	267 (42.0)	317 (49.9)	382 (60.2)
問 2 就 学	1. 未就学児	158 (100.0)	1,118 (707.6)	41 (25.9)	99 (62.7)	101 (63.9)	36 (22.8)	97 (61.4)	93 (58.9)	101 (63.9)
	2. 小学生	271 (100.0)	1,783 (657.9)	59 (21.8)	171 (63.1)	147 (54.2)	57 (21.0)	137 (50.6)	106 (39.1)	137 (50.6)
	3. 中学生	103 (100.0)	591 (573.8)	15 (14.6)	53 (51.5)	58 (56.3)	12 (11.7)	53 (51.5)	35 (34.0)	37 (35.9)
	4. 中学校卒業以上	103 (100.0)	583 (566.0)	21 (20.4)	70 (68.0)	59 (57.3)	21 (20.4)	44 (42.7)	33 (32.0)	42 (40.8)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

	9. 特別支援 学校の設 備・教育 内容等の 充実	10. 通学・通 園時の介 助・付き 添い	11. 学童保育 や休日等 の居場所 づくり	12. 安心して 遊べる機 会や場の 確保	13. 地域社会 とかかわ る機会や 環境づく り	14. 保護者が 介助・支 援できな いときの 一時的な 見守りや 介助	15. その他	16. 特にな い	17. 無回答
全 体	334 (52.6)	207 (32.6)	264 (41.6)	327 (51.5)	216 (34.0)	366 (57.6)	26 (4.1)	7 (1.1)	11 (1.7)
問 2 就 学	1. 未就学児	84 (53.2)	59 (37.3)	80 (50.6)	86 (54.4)	94 (31.0)	2 (59.5)	2 (1.3)	3 (1.9)
	2. 小学生	142 (52.4)	89 (32.8)	118 (43.5)	165 (60.9)	96 (35.4)	169 (62.4)	12 (4.4)	2 (0.7)
	3. 中学生	57 (55.3)	37 (35.9)	31 (30.1)	42 (40.8)	36 (35.0)	54 (52.4)	8 (7.8)	0 (-)
	4. 中学校卒業以上	51 (49.5)	22 (21.4)	35 (34.0)	34 (33.0)	35 (34.0)	49 (47.6)	4 (3.9)	3 (2.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

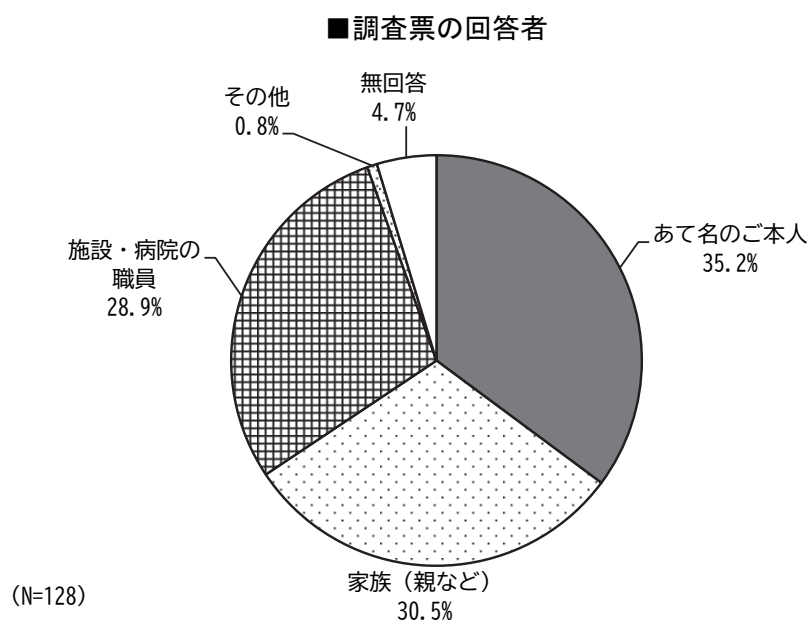
注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

3. 施設利用

(1) 基本属性

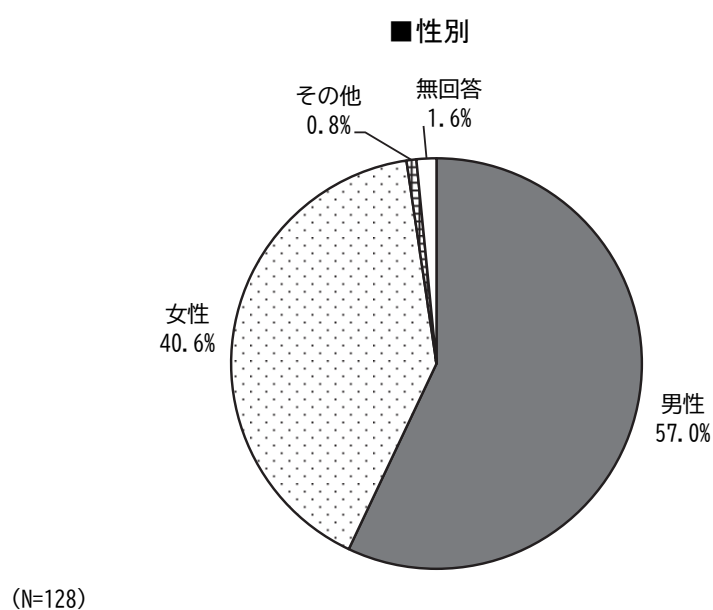
①調査票の回答者

調査票の回答者については、「あて名のご本人」が35.2%で最も多く、次いで「家族(親など)」が30.5%、「施設・病院の職員」が28.9%となっています。



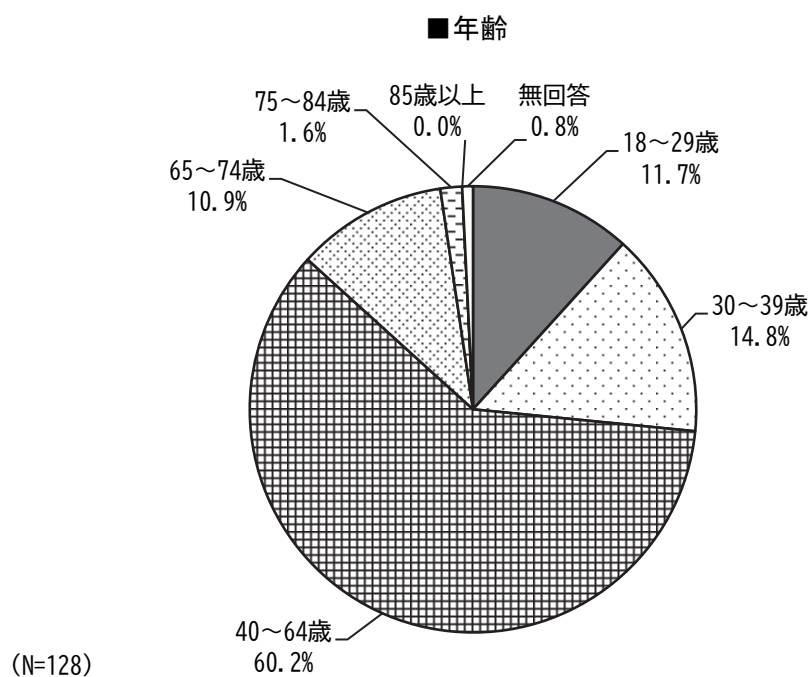
②性別 (問1)

性別については、「男性」が57.0%、「女性」が40.6%となっています。



③年齢（問2）

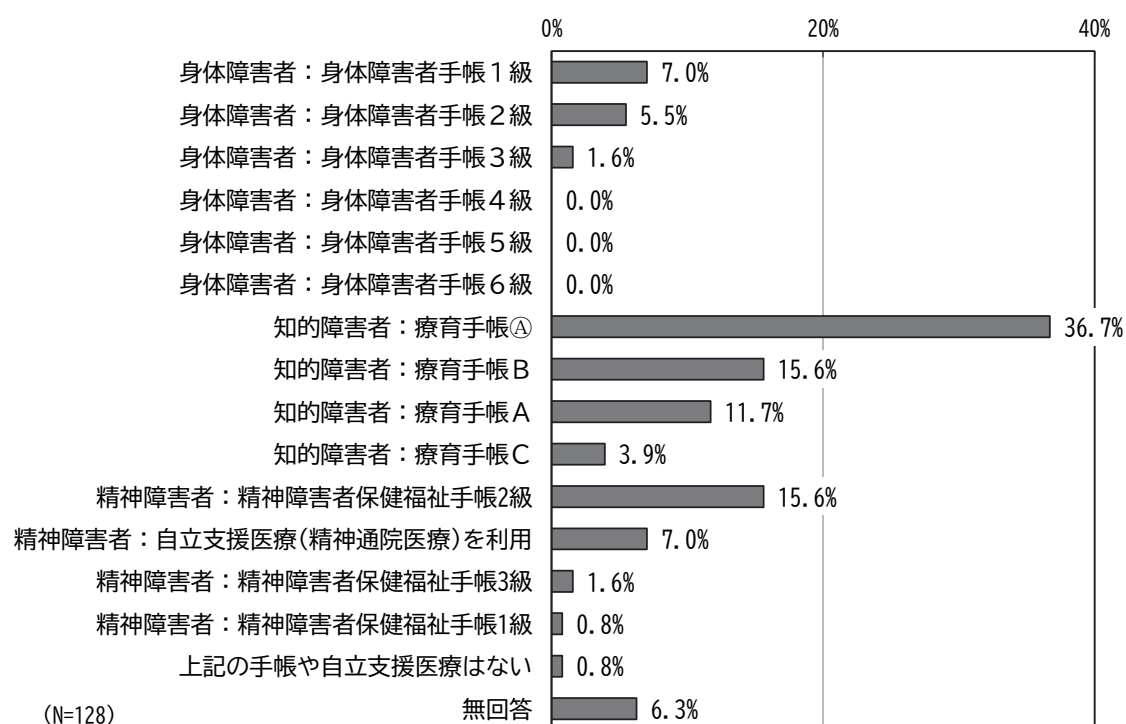
令和5年7月1日現在の年齢については、「40～64歳」が60.2%で最も多く、次いで「30～39歳」が14.8%、「18～29歳」が11.7%となっています。



④所持している手帳等（問3）

所持している手帳等については、身体障害者は「身体障害者手帳1級」が7.0%、知的障害者は「療育手帳④」が36.7%、精神障害者は「精神障害者保健福祉手帳2級」が15.6%で最も多くなっています。

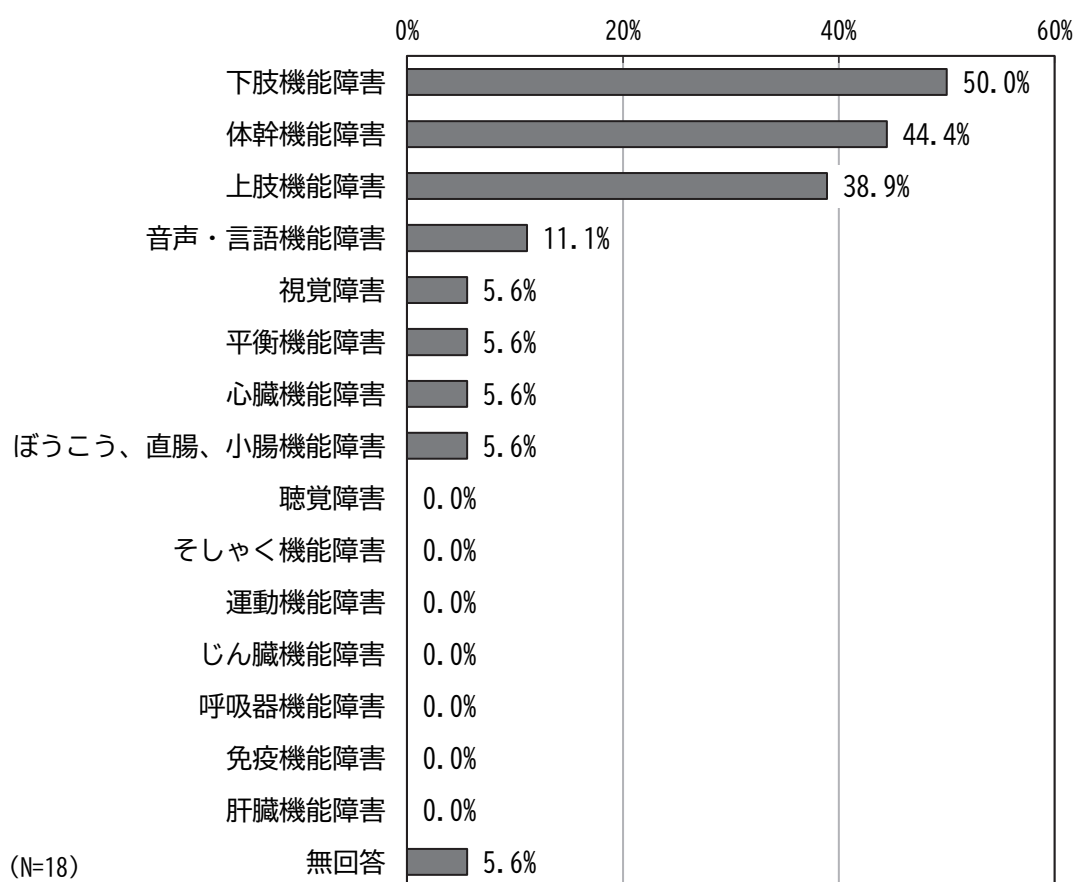
■所持している手帳等（複数回答）



⑤手帳に記されている障害（問4）

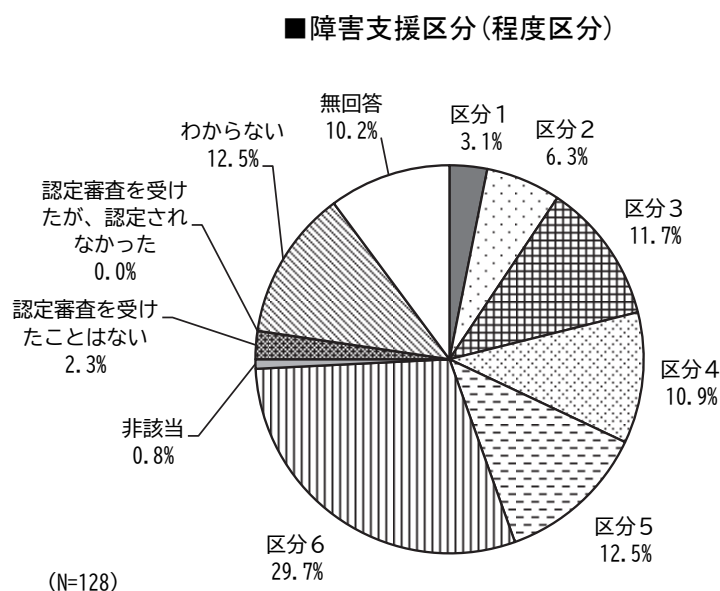
問3で身体障害者手帳に○をつけた方に、手帳に記されている障害をきいたところ、「下肢機能障害」が50.0%で最も多く、次いで「体幹機能障害」が44.4%、「上肢機能障害」が38.9%となっています。

■手帳に記されている障害（複数回答）



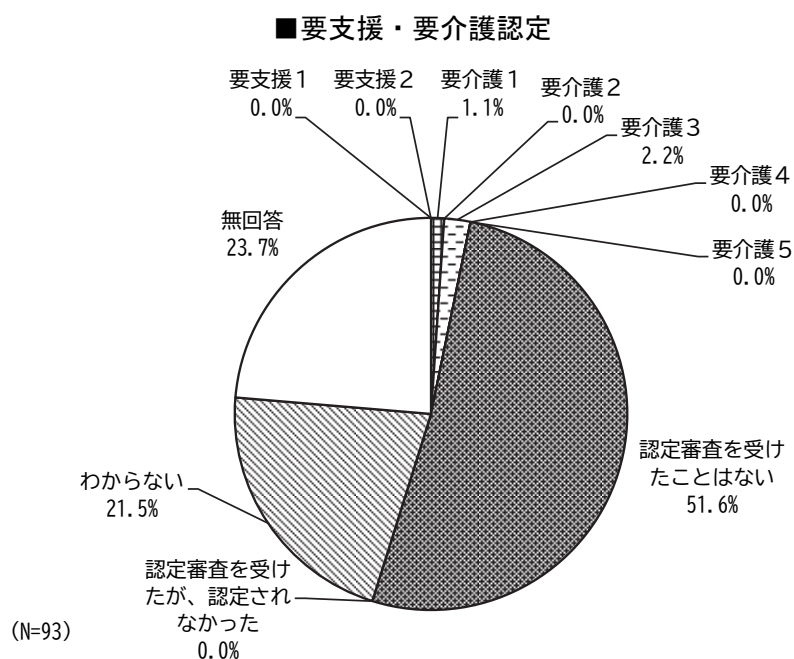
⑥障害支援区分(程度区分) (問5)

障害支援区分(程度区分)については、「区分6」が29.7%で最も多く、次いで「区分5」、「わからない」が12.5%となっています。



⑦要支援・要介護認定 (問6)

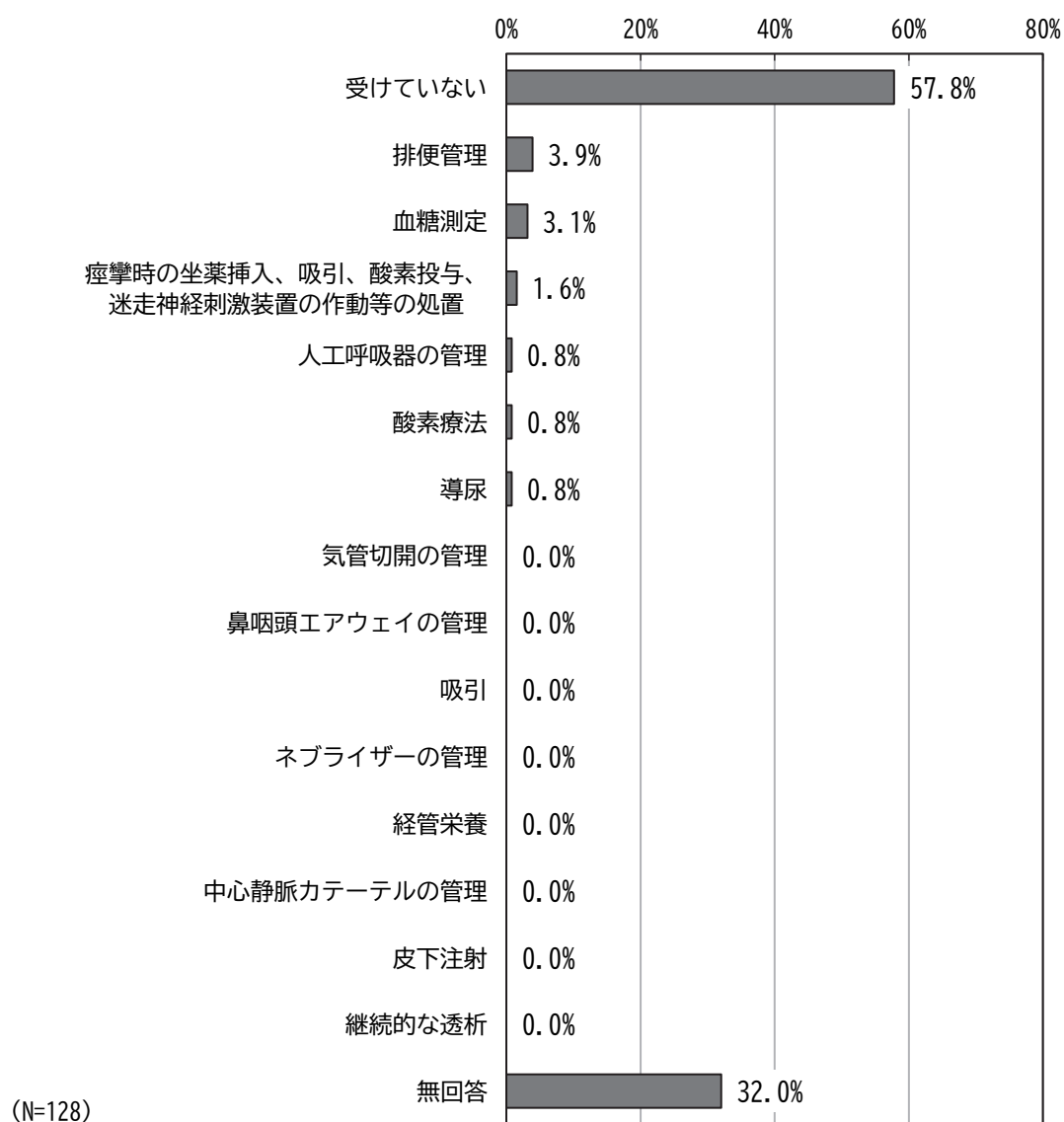
40歳以上の方に、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けているかきいたところ、「認定審査を受けたことはない」が51.6%で最も多く、次いで「わからない」が21.5%、「要介護3」が2.2%となっています。



⑧受けている医療的ケア（問7）

受けている医療的ケアについては、「医療的ケアは受けていない」が57.8%で最も多く、次いで「排便管理」が3.9%、「血糖測定」が3.1%となっています。

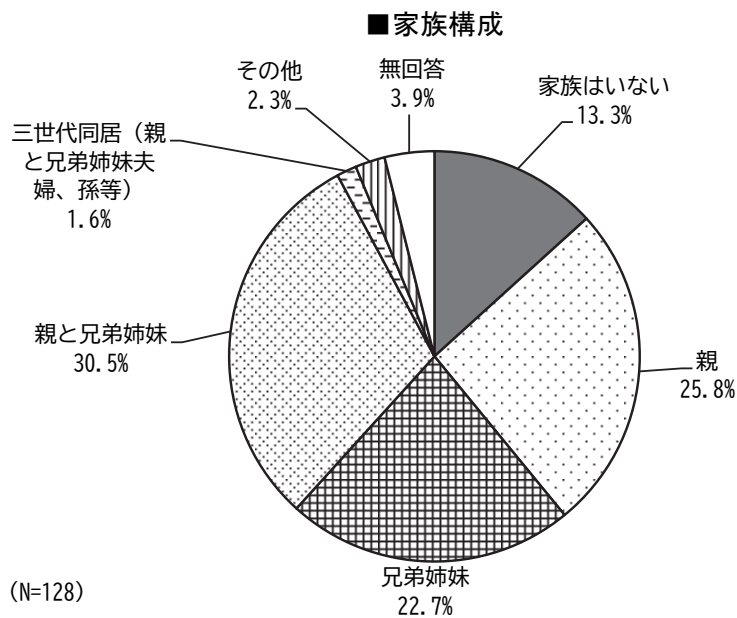
■受けている医療的ケア（複数回答）



(2) 日常生活について

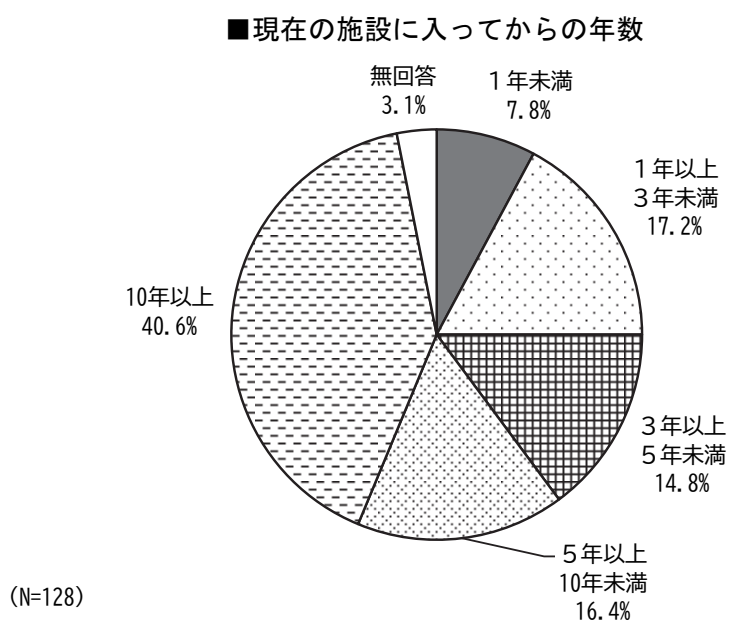
① 家族構成（問 8）

家族構成については、「親と兄弟姉妹」が 30.5% で最も多く、次いで「親」が 25.8%、「兄弟姉妹」が 22.7% となっています。



② 現在の施設に入ってから年数（問 9）

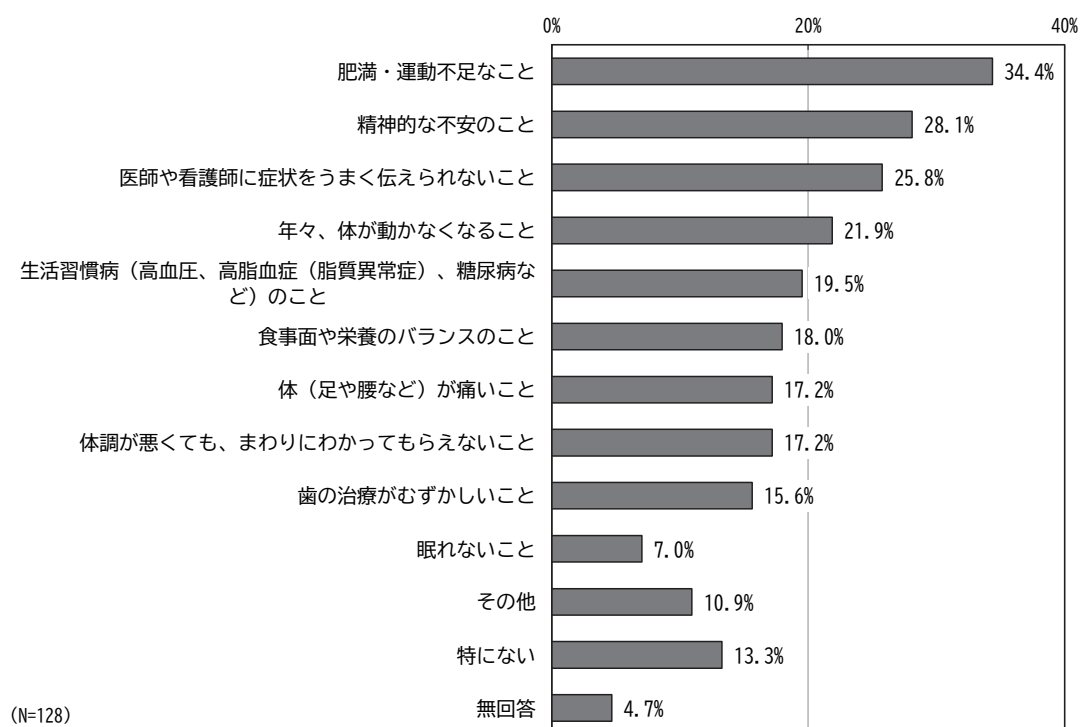
現在の施設に入ってから年数については、「10 年以上」が 40.6% で最も多く、次いで「1 年以上 3 年未満」が 17.2%、「5 年以上 10 年未満」が 16.4% となっています。



③健康面で心配なこと（問 10）

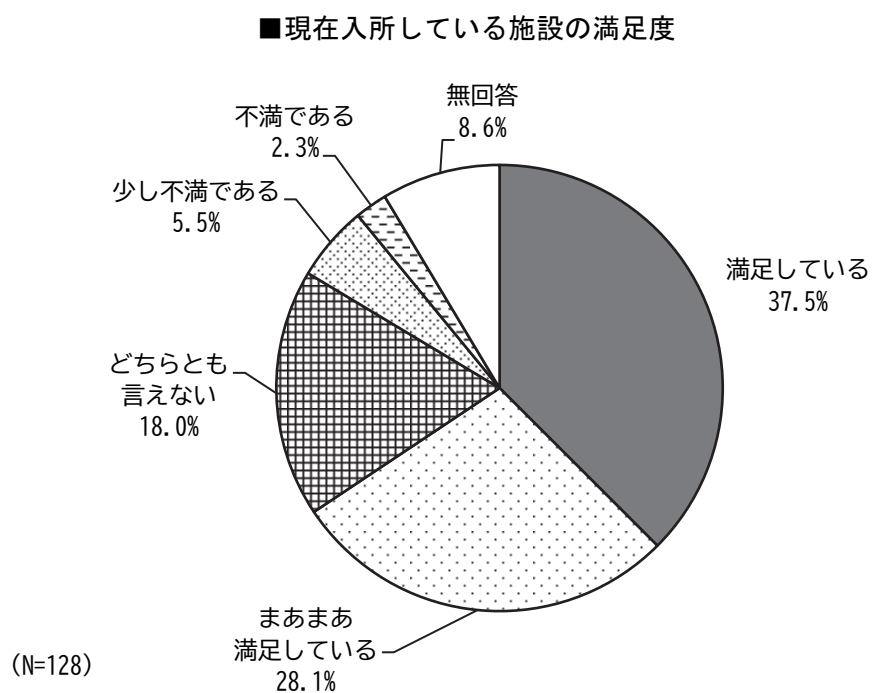
健康面で心配なことについては、「肥満・運動不足なこと」が 34.4%で最も多く、次いで「精神的な不安のこと」が 28.1%、「医師や看護師に症状をうまく伝えられないこと」が 25.8%となっています。

■健康面で心配なこと（複数回答）



④現在入所している施設の満足度（問 11）

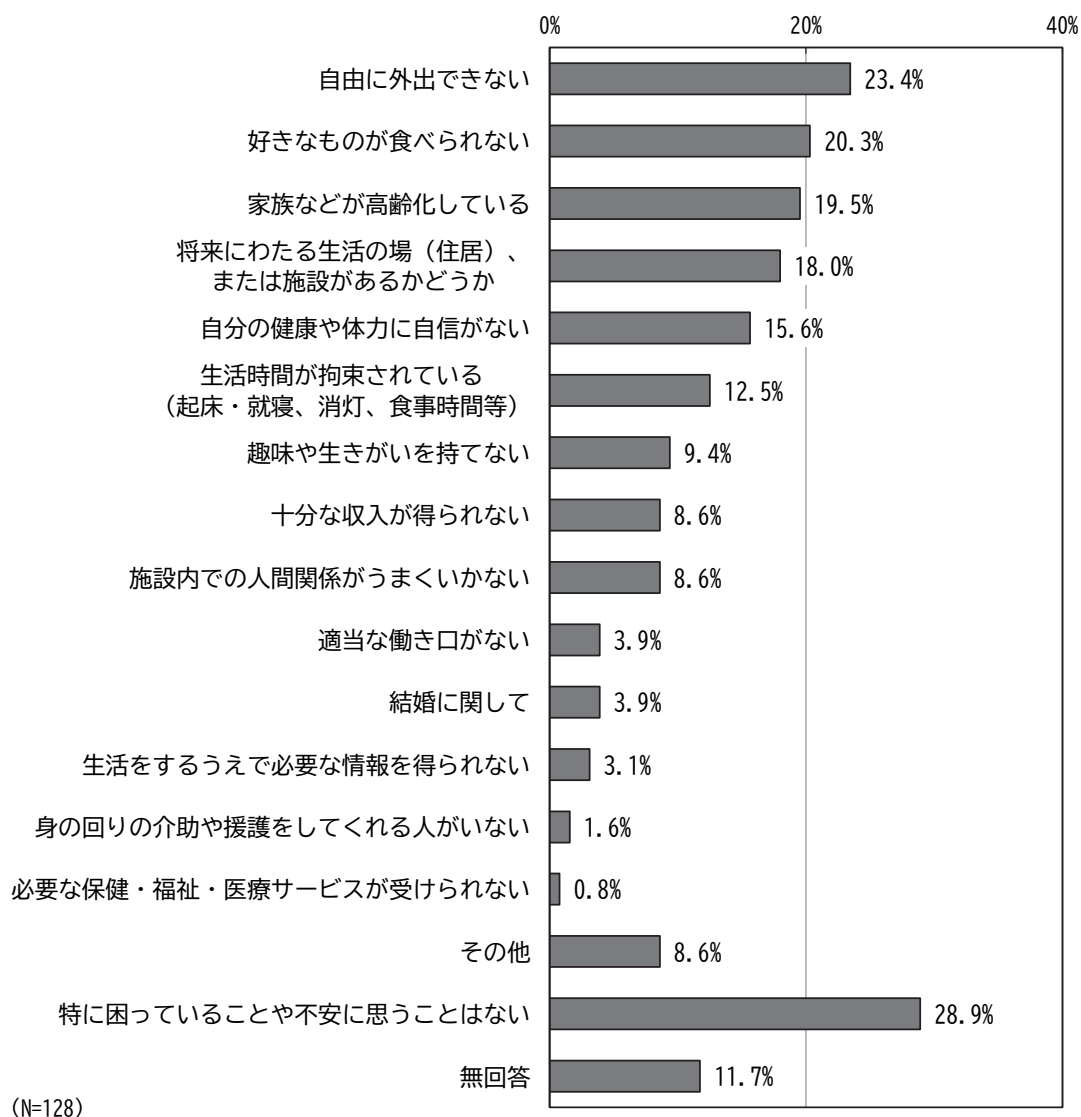
現在入所している施設の満足度については、「満足している」が 37.5%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が 28.1%、「どちらとも言えない」が 18.0%となっています。



⑤現在の生活で困っていることや不安に思っていること（問 12）

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、「自由に外出できない」が 23.4%で最も多く、次いで「好きなものが食べられない」が 20.3%、「家族などが高齢化している」が 19.5%となっています。

■現在の生活で困っていることや不安に思っていること（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「好きなものが食べられない」、「自由に外出できない」、精神障害者は「適当な働き口がない」、「十分な収入が得られない」、「自分の健康や体力に自信がない」、「結婚に関して」、「将来にわたる生活の場（住居）、または施設があるかどうか」が全体に比べ多くなっています。

■健康面で心配なこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 身の回りの 介助や 援護をし てくれる 人がいな い	2. 好きなも のが食べ られない	3. 自由に外 出できな い	4. 生活時間 が拘束さ れている （起床・ 就寝、消 灯、食事 時間等）	5. 適当な働 き口がな い	6. 十分な収 入が得ら れない	7. 趣味や生 きがい を持てな い	8. 生活をす るうえで 必要な情 報を得ら れない
全 体		128 (100.0)	254 (198.4)	2 (1.6)	26 (20.3)	30 (23.4)	16 (12.5)	5 (3.9)	11 (8.6)	12 (9.4)	4 (3.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	31 (172.2)	0 (-)	6 (33.3)	7 (38.9)	1 (5.6)	0 (-)	0 (-)	2 (11.1)	0 (-)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	148 (170.1)	0 (-)	19 (21.8)	19 (21.8)	10 (11.5)	1 (1.1)	4 (4.6)	6 (6.9)	1 (1.1)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	79 (316.0)	2 (8.0)	3 (12.0)	5 (20.0)	4 (16.0)	4 (16.0)	6 (24.0)	4 (16.0)	3 (12.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	4 (400.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	8 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

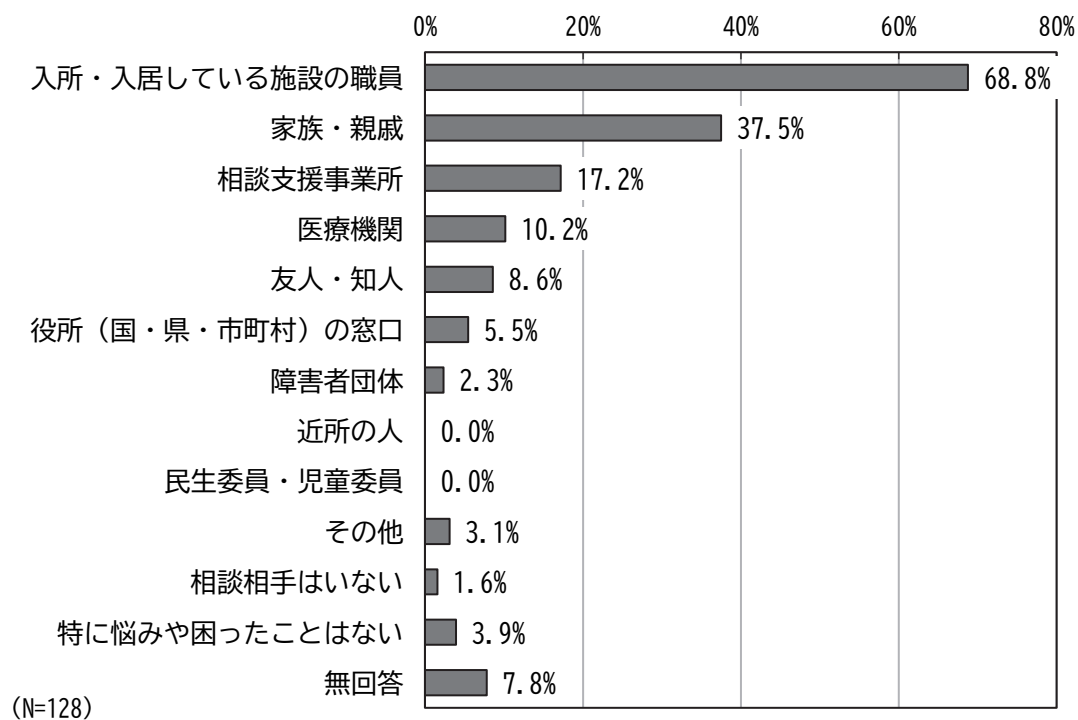
		9. 自分の健 康や体力 に自信が ない	10. 家族など が高齢化 している	11. 施設内で の人間関 係がうまく いかな い	12. 必要な保 健・福祉・医療 サービス が受けら れない	13. 結婚に関 して	14. 将来にわたる生活 の場（住居）、ま たは施設 があるか どうか	15. その他	16. 特に困っ ているこ とや不安 に思うこ とはない	17. 無回答
全 体		20 (15.6)	25 (19.5)	11 (8.6)	1 (0.8)	5 (3.9)	23 (18.0)	11 (8.6)	37 (28.9)	15 (11.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (5.6)	4 (22.2)	1 (5.6)	0 (-)	0 (-)	2 (11.1)	0 (-)	6 (33.3)	1 (5.6)
	2. 知的障害者	6 (6.9)	17 (19.5)	7 (8.0)	1 (1.1)	0 (-)	12 (13.8)	9 (10.3)	27 (31.0)	9 (10.3)
	3. 精神障害者	12 (48.0)	6 (24.0)	4 (16.0)	0 (-)	5 (20.0)	10 (40.0)	2 (8.0)	8 (32.0)	1 (4.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (37.5)	4 (50.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥悩みや困ったことの相談先（問 13）

悩みや困ったことの相談先については、「入所・入居している施設の職員」が 68.8%で最も多く、次いで「家族・親戚」が 37.5%、「相談支援事業所」が 17.2%となっています。

■悩みや困ったことの相談先（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「家族・親戚」、精神障害者は「医療機関」が全体に比べて多くなっています。

■悩みや困ったことの相談先(複数回答)(障害種別)

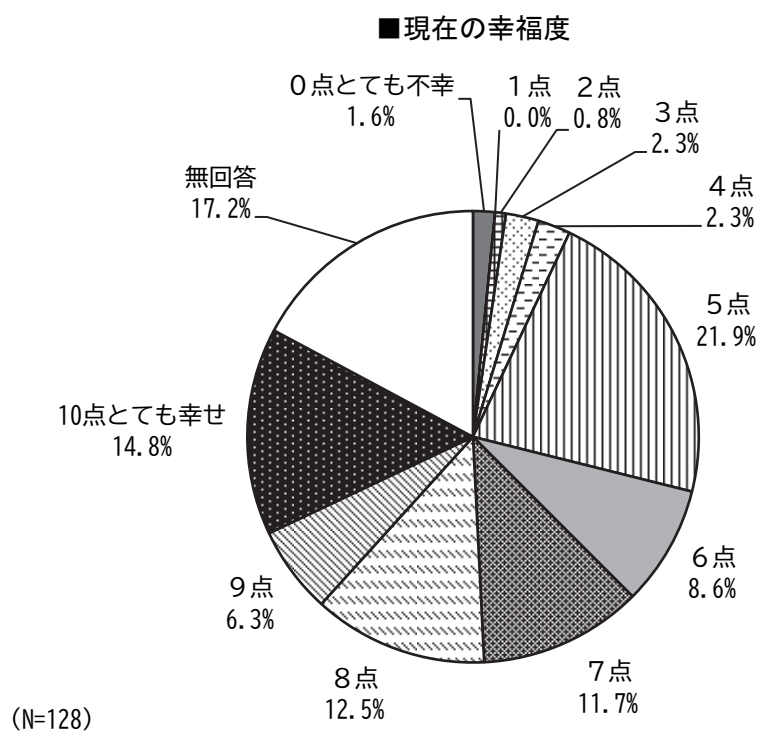
		回答者数	合 計	1. 家族・親 戚	2. 友人・知 人	3. 近所の人	4. 役所 (国・ 県・市町 村)の窓 口	5. 相談支援 事業所	6. 入所・入 居してい る施設の 職員
全 体		128 (100.0)	213 (166.4)	48 (37.5)	11 (8.6)	0 (-)	7 (5.5)	22 (17.2)	88 (68.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	30 (166.7)	10 (55.6)	1 (5.6)	0 (-)	1 (5.6)	1 (5.6)	13 (72.2)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	137 (157.5)	30 (34.5)	6 (6.9)	0 (-)	6 (6.9)	16 (18.4)	58 (66.7)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	53 (212.0)	9 (36.0)	4 (16.0)	0 (-)	1 (4.0)	6 (24.0)	19 (76.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	12 (150.0)	3 (37.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)	6 (75.0)

		7. 医療機関	8. 民生委 員・児童 委員	9. 障害者団 体	10. その他	11. 相談相手 はいない	12. 特に悩み や困った ことはな い	13. 無回答
全 体		13 (10.2)	0 (-)	3 (2.3)	4 (3.1)	2 (1.6)	5 (3.9)	10 (7.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (5.6)	0 (-)	1 (5.6)	0 (-)	0 (-)	1 (5.6)	1 (5.6)
	2. 知的障害者	3 (3.4)	0 (-)	3 (3.4)	2 (2.3)	1 (1.1)	4 (4.6)	8 (9.2)
	3. 精神障害者	10 (40.0)	0 (-)	0 (-)	2 (8.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)	1 (12.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦現在の幸福度（問 14）

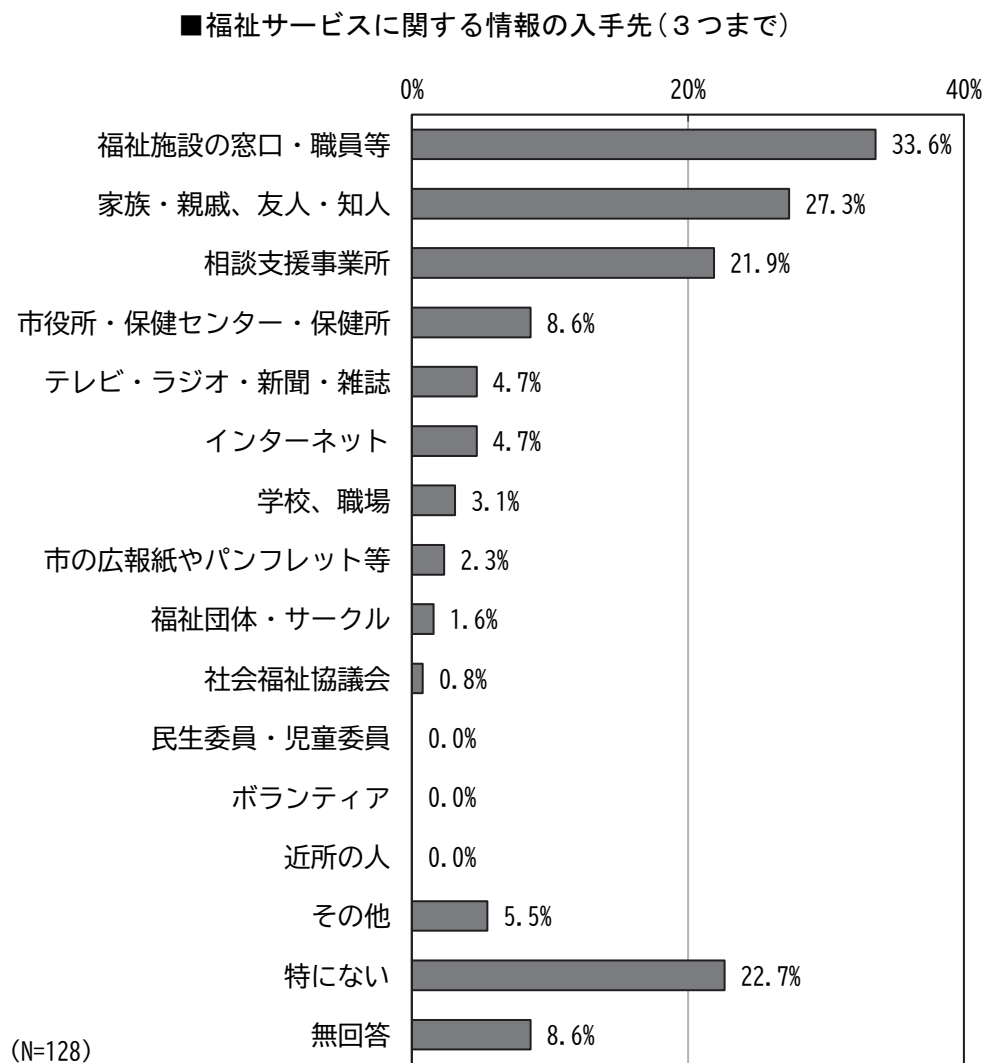
現在どの程度幸せかについては、「5点」が21.9%で最も多く、次いで「10点とても幸せ」が14.8%、「8点」が12.5%となっています。



（３）相談や情報などについて

①福祉サービスに関する情報の入手先（問 15）

福祉サービスに関する情報の入手先については、「福祉施設の窓口・職員等」が 33.6%で最も多く、次いで「家族・親戚、友人・知人」が 27.3%、「相談支援事業所」が 21.9%となっています。



障害種別にみると、身体障害者は「福祉施設の窓口・職員等」、精神障害者は「インターネット」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先(3つまで)(障害種別)

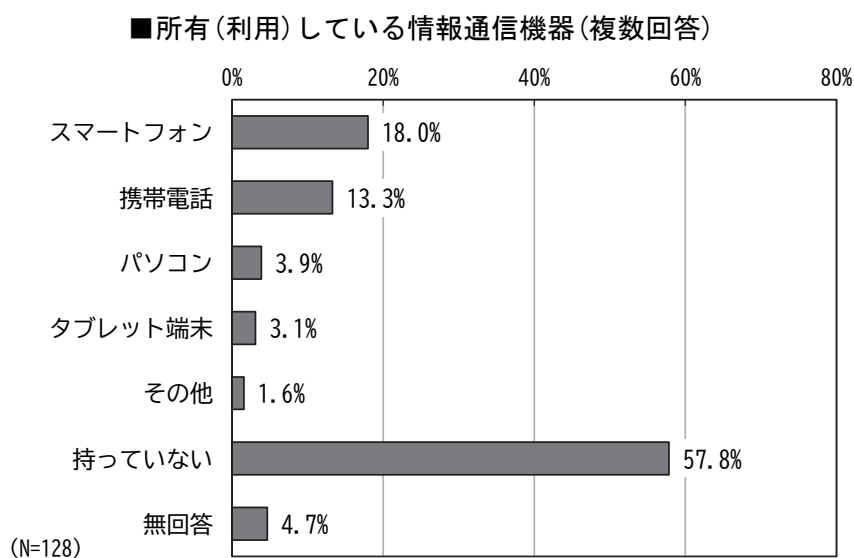
		回答者数	合 計	1. 家族・親 戚・友 人・知人	2. テレビ・ ラジオ・ 新聞・雑 誌	3. インター ネット	4. 市の広報 紙やパン フレット 等	5. 福祉施設 の窓口・ 職員等	6. 福祉団 体・サー クル	7. 社会福祉 協議会
全 体		128 (100.0)	186 (145.3)	35 (27.3)	6 (4.7)	6 (4.7)	3 (2.3)	43 (33.6)	2 (1.6)	1 (0.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	27 (150.0)	5 (27.8)	1 (5.6)	0 (-)	1 (5.6)	9 (50.0)	1 (5.6)	0 (-)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	128 (147.1)	27 (31.0)	3 (3.4)	2 (2.3)	1 (1.1)	25 (28.7)	2 (2.3)	1 (1.1)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	38 (152.0)	4 (16.0)	2 (8.0)	4 (16.0)	1 (4.0)	10 (40.0)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	11 (137.5)	2 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (62.5)	0 (-)	0 (-)

		8. 市役所・ 保健セン ター・保 健所	9. 相談支援 事業所	10. 民生委 員・児童 委員	11. 学校、職 場	12. ボラン ティア	13. 近所の人	14. その他	15. 特にない	16. 無回答
全 体		11 (8.6)	28 (21.9)	0 (-)	4 (3.1)	0 (-)	0 (-)	7 (5.5)	29 (22.7)	11 (8.6)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	2 (11.1)	3 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (27.8)	0 (-)
	2. 知的障害者	8 (9.2)	21 (24.1)	0 (-)	3 (3.4)	0 (-)	0 (-)	5 (5.7)	21 (24.1)	9 (10.3)
	3. 精神障害者	4 (16.0)	6 (24.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (8.0)	4 (16.0)	1 (4.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)	1 (12.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②所有(利用)している情報通信機器 (問 16)

所有(利用)している情報通信機器については、「持っていない」が57.8%で最も多く、次いで「スマートフォン」が18.0%、「携帯電話」が13.3%となっています。



障害種別にみると、身体障害者は「パソコン」、「持っていない」、知的障害者は「持っていない」、精神障害者は「スマートフォン」、「携帯電話」が全体に比べ多くなっています。

■所有(利用)している情報通信機器(複数回答) (障害種別)

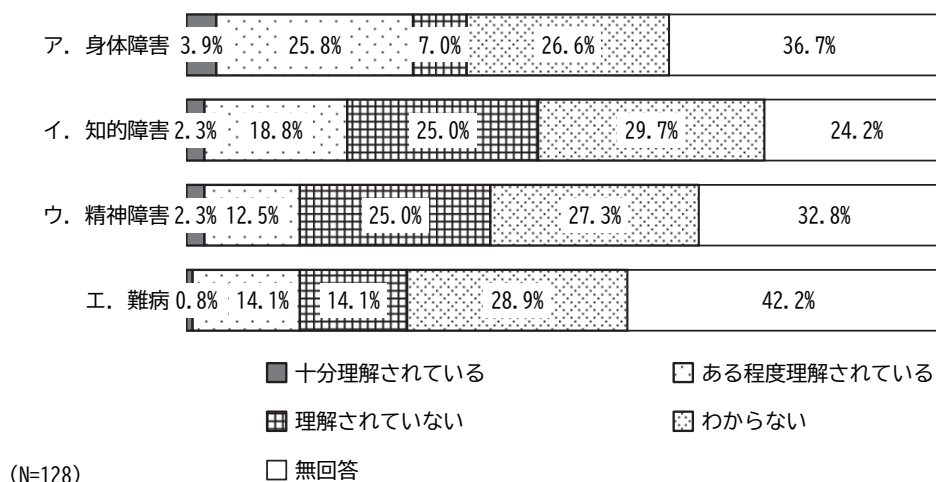
		回答者数	合 計	1. スマート フォン	2. 携帯電話	3. パソコン	4. タブレッ ト端末	5. その他	6. 持ってい ない	7. 無回答
全 体		128 (100.0)	131 (102.3)	23 (18.0)	17 (13.3)	5 (3.9)	4 (3.1)	2 (1.6)	74 (57.8)	6 (4.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	19 (105.6)	0 (-)	1 (5.6)	3 (16.7)	0 (-)	1 (5.6)	14 (77.8)	0 (-)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	87 (100.0)	11 (12.6)	7 (8.0)	0 (-)	4 (4.6)	0 (-)	60 (69.0)	5 (5.7)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	27 (108.0)	8 (32.0)	9 (36.0)	2 (8.0)	0 (-)	1 (4.0)	6 (24.0)	1 (4.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	8 (100.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (50.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③市民の障害者への理解度（問 17）

市民の障害者への理解度については、いずれも「わからない」が最も多くなっています。「わからない」を除くと、身体障害は「ある程度理解されている」、知的障害、精神障害は「理解されていない」、難病は「ある程度理解されている」、「理解されていない」が多くなっています。

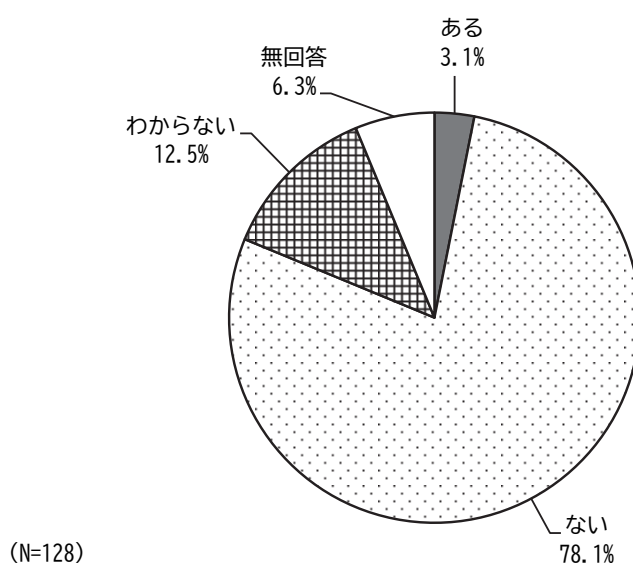
■ 市民の障害者への理解度



④虐待された経験の有無（問 18）

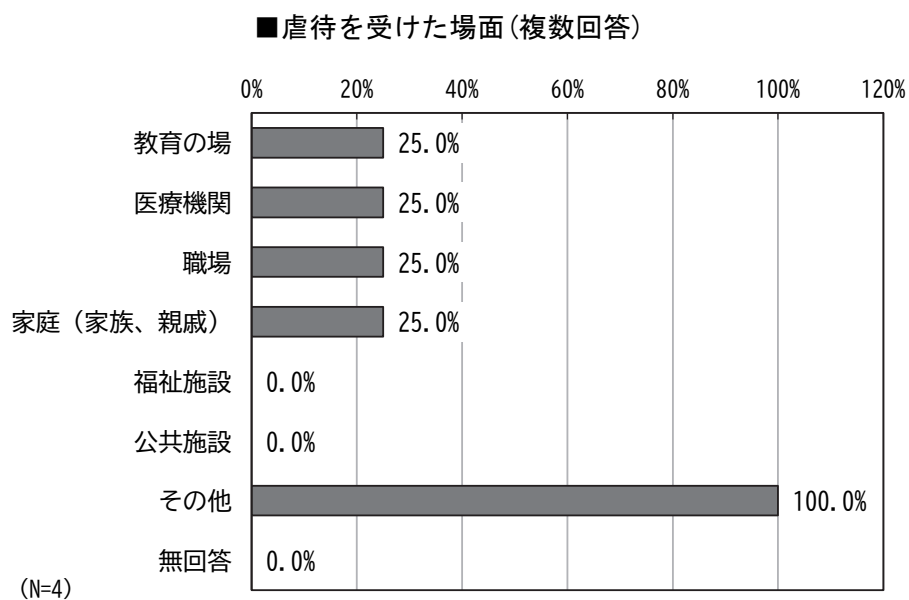
虐待された経験の有無については、「ない」が78.1%、「ある」が3.1%となっています。

■ 虐待された経験の有無



⑤虐待を受けた場面（問 18 - 1）

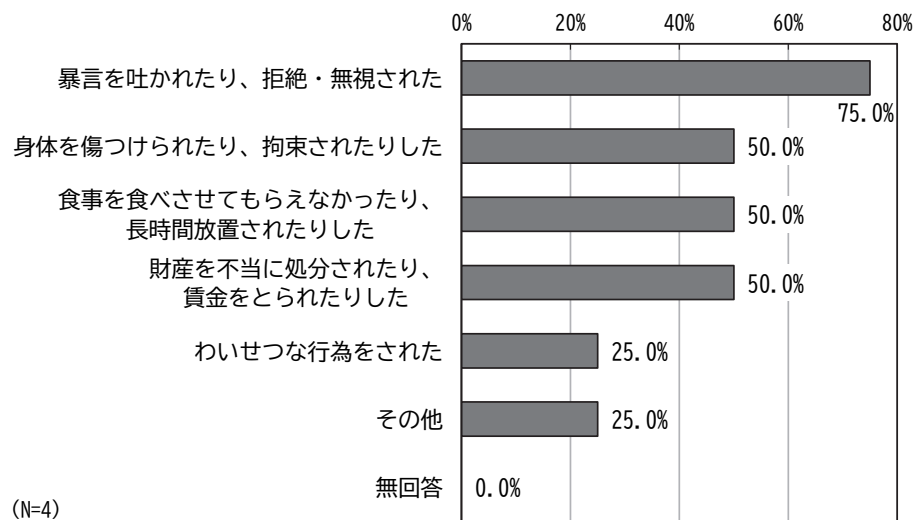
問 18 で「ある」と回答した方に、具体的にどのような場面で虐待を受けたかきいたところ、「教育の場」、「医療機関」、「職場」、「家庭(家族、親戚)」が 25.0%で最も多くなっています。



⑥虐待の内容（問 18 - 2）

問 18 で「ある」と回答した方に、具体的にどのような虐待を受けたかきいたところ、「暴言を吐かれたり、拒絶・無視された」が 75.0%で最も多く、次いで「身体を傷つけられたり、拘束されたりした」、「食事を食べさせてもらえなかったり、長時間放置されたりした」、「財産を不当に処分されたり、賃金をとられたりした」が 50.0%となっています。

■虐待の内容（複数回答）



障害種別にみると、知的障害者は「身体を傷つけられたり、拘束されたりした」、精神障害者は「暴言を吐かれたり、拒絶・無視された」、「食事を食べさせてもらえなかったり、長時間放置されたりした」、「財産を不当に処分されたり、賃金をとられたりした」が全体に比べ多くなっています。

■虐待の内容（複数回答）（障害種別）

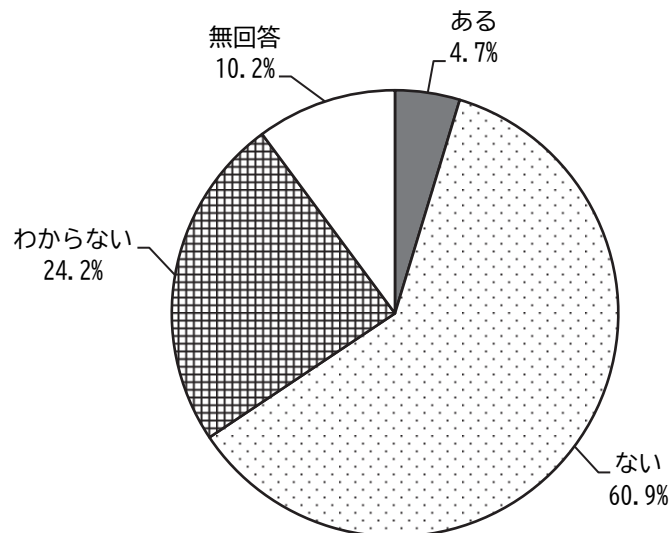
	回答者数	合 計	1. 身体を傷 つけられ たり、拘 束され たりした	2. わいせつ な行為を された	3. 暴言を吐 かれた り、拒 絶・無視 された	4. 食事を食 べさせて もらえな かったり、長時 間放置さ れたりし た	5. 財産を不 当に処分 されたり、賃金 をとられ たりした	6. その他	7. 無回答
全 体	4 (100.0)	11 (275.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (-)
問 3									
1. 身体障害者	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
2. 知的障害者	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
3. 精神障害者	3 (100.0)	10 (333.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	3 (100.0)	2 (66.7)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (-)
4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はカギル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑦虐待現場の目撃経験の有無（問 19）

虐待現場の目撃経験の有無については、「ある」が 4.7%、「ない」が 60.9%、「わからない」が 24.2%となっています。

■虐待現場の目撃経験の有無



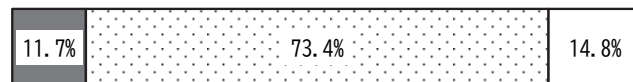
(N=128)

⑧虐待相談窓口の認知度（問 20）

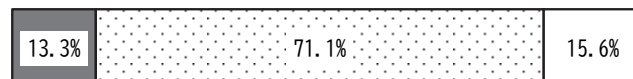
虐待相談窓口の認知度について、川口市障害者虐待防止センターを「知っている」が 11.7%、「知らない」が 73.4%、埼玉県虐待通報ダイヤルを「知っている」が 13.3%、「知らない」が 71.1%となっています。

■虐待相談窓口の認知度

ア. 川口市障害者虐待防止センター
(Tel048-259-7926)



イ. 埼玉県虐待通報ダイヤル
(#7171)



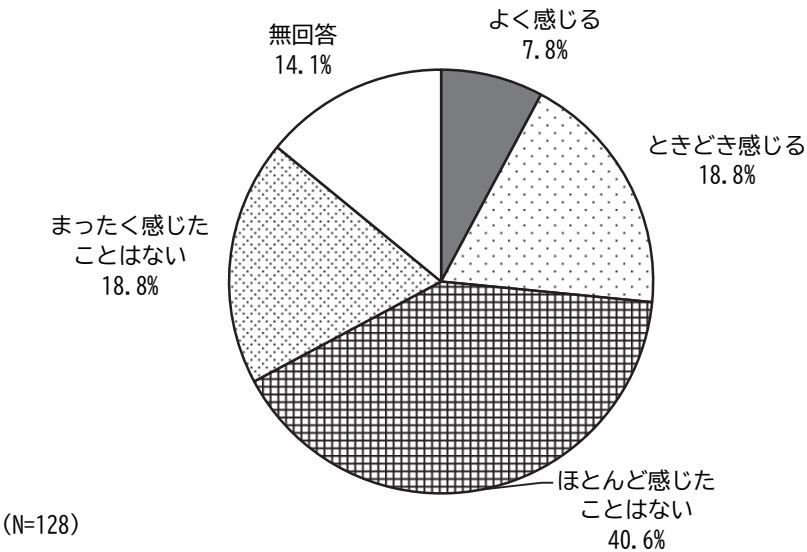
(N=128)

■ 知っている □ 知らない □ 無回答

⑨日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（問 21）

日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無については、「ほとんど感じたことはない」が40.6%で最も多く、次いで「ときどき感じる」、「まったく感じたことはない」が18.8%となっています。

■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無



障害種別にみると、身体障害者は「ほとんど感じたことはない」、精神障害者は「よく感じる」が全体に比べ多くなっています。

■虐待の内容（複数回答）（障害種別）

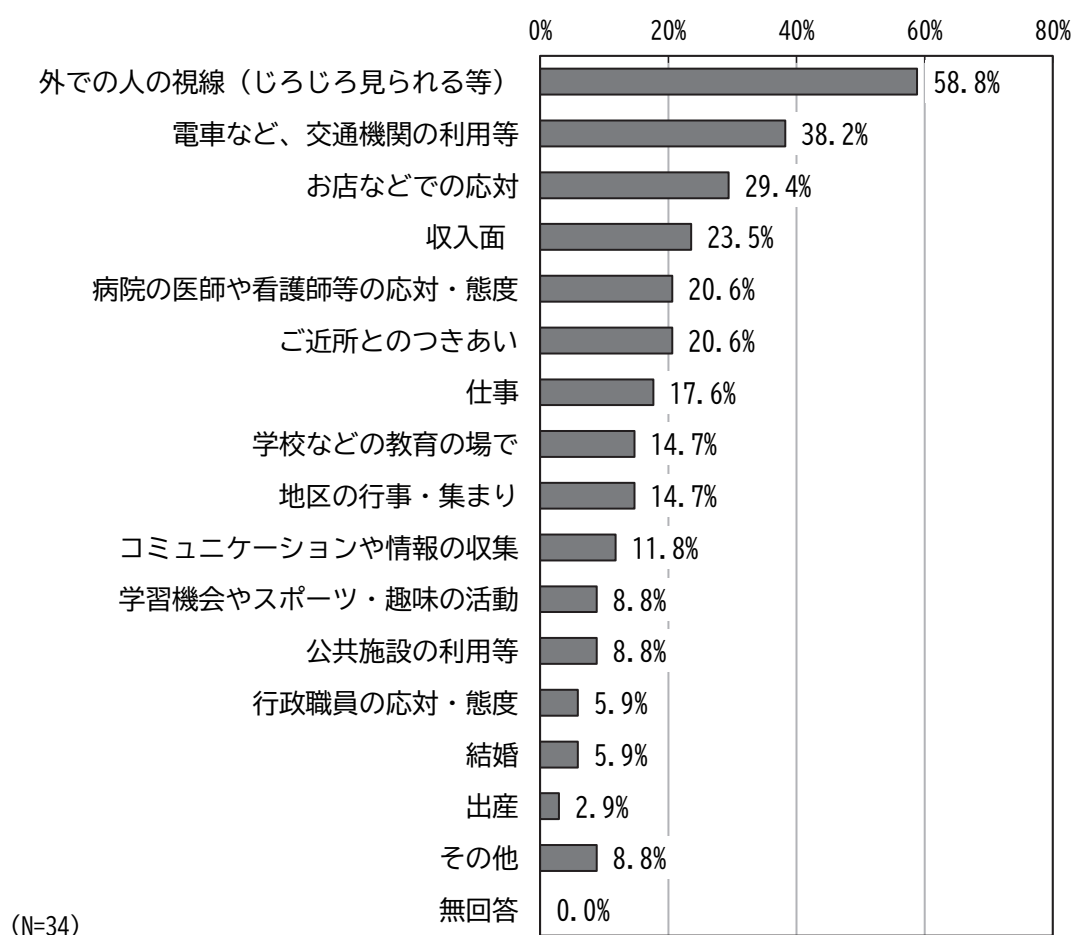
		合 計	1. よく感 じる	2. ときど き感じる	3. ほとん ど感 じたこ とはない	4. まっ た く 感 じた こ とは ない	5. 無 回 答
全 体		128 (100.0)	10 (7.8)	24 (18.8)	52 (40.6)	24 (18.8)	18 (14.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	0 (-)	2 (11.1)	11 (61.1)	4 (22.2)	1 (5.6)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	4 (4.6)	17 (19.5)	32 (36.8)	18 (20.7)	16 (18.4)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	5 (20.0)	5 (20.0)	10 (40.0)	4 (16.0)	1 (4.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	1 (12.5)	0 (-)	4 (50.0)	3 (37.5)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（問 21 - 1）

問 21 で「よく感じる」または「ときどき感じる」と回答した方に、どのような場面で差別や偏見、疎外感、気になることがあったかきいたところ、「外での人の視線（じろじろ見られる等）」が 58.8%で最も多く、次いで「電車など、交通機関の利用等」が 38.2%、「お店などでの応対」が 29.4%となっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）



障害種別にみると、知的障害者は「外での人の視線（じろじろ見られる等）」、精神障害者は「収入面」、「病院の医師や看護師等の応対・態度」、「行政職員の応対・態度」、「電車など、交通機関の利用等」が全体に比べ多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答) (障害種別)

		回答者数	合 計	1. 学校などの 教育の 場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医 師や看護 師等の応 対・態度	5. コミュニ ケーション や情報の 収集	6. 学習機会 やスポーツ・趣味 の活動	7. ご近所と のつきあ い	8. 地区の行 事・集ま り
全 体		34 (100.0)	99 (291.2)	5 (14.7)	6 (17.6)	8 (23.5)	7 (20.6)	4 (11.8)	3 (8.8)	7 (20.6)	5 (14.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 知的障害者	21 (100.0)	61 (290.5)	3 (14.3)	3 (14.3)	4 (19.0)	3 (14.3)	2 (9.5)	2 (9.5)	4 (19.0)	3 (14.3)
	3. 精神障害者	10 (100.0)	34 (340.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	4 (40.0)	4 (40.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	3 (30.0)	2 (20.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	2 (200.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

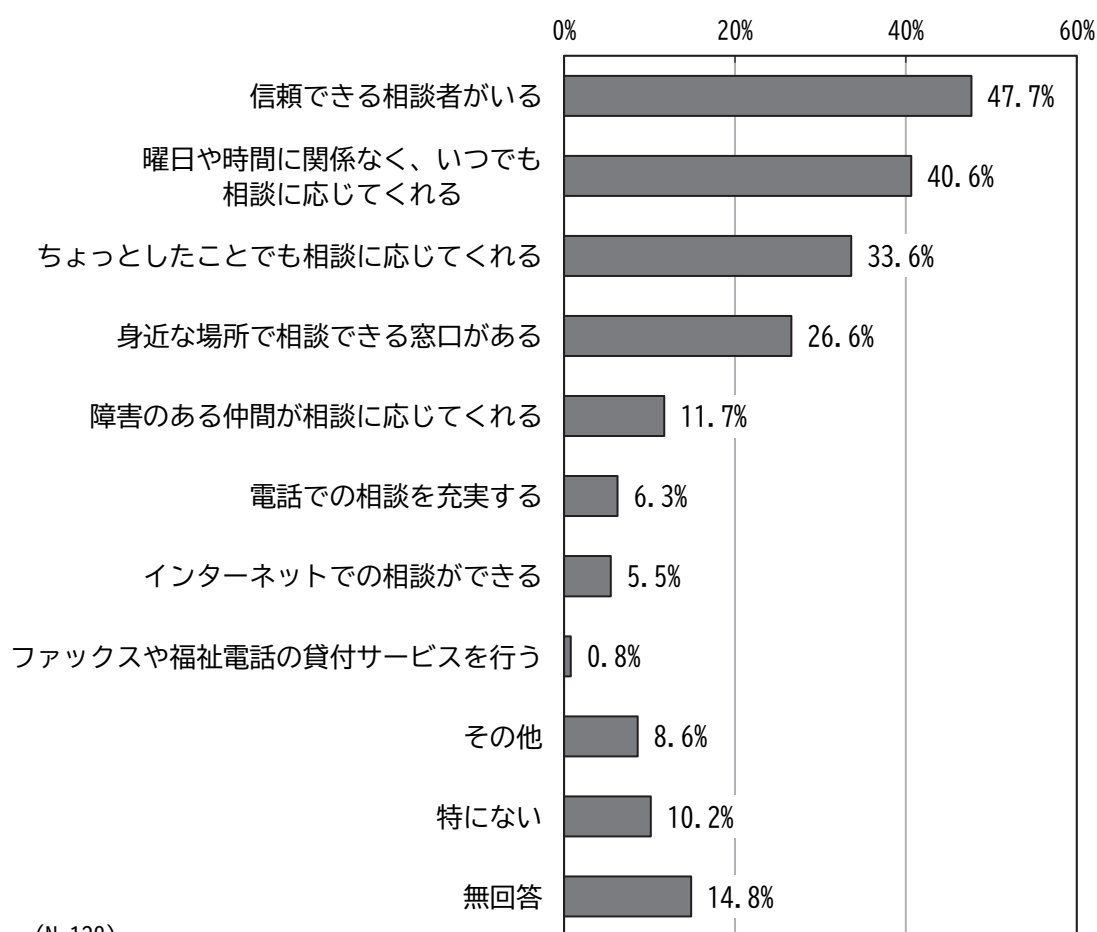
		9. 外での人 の視線 (じろじ ろ見られ る等)	10. お店など での応対	11. 行政職員 の応対・ 態度	12. 電車な ど、交通 機関の利 用等	13. 公共施設 の利用等	14. 結婚	15. 出産	16. その他	17. 無回答
全 体		20 (58.8)	10 (29.4)	2 (5.9)	13 (38.2)	3 (8.8)	2 (5.9)	1 (2.9)	3 (8.8)	0 (-)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)
	2. 知的障害者	17 (81.0)	8 (38.1)	0 (-)	6 (28.6)	2 (9.5)	2 (9.5)	1 (4.8)	1 (4.8)	0 (-)
	3. 精神障害者	3 (30.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑪相談しやすい体制をつくるために必要なこと（問 22）

相談しやすい体制をつくるために必要なことについては、「信頼できる相談者がいる」が47.7%で最も多く、次いで「曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる」が40.6%、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が33.6%となっています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと（複数回答）



(N=128)

障害種別にみると、精神障害者は「身近な場所で相談できる窓口がある」、「インターネットでの相談ができる」、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」が全体に比べ多くなっています。

■相談しやすい体制をつくるために必要なこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる	2. 信頼できる相談者がいる	3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる	4. 身近な場所で相談できる窓口がある	5. インターネットでの相談ができる
全 体		128 (100.0)	264 (206.3)	52 (40.6)	61 (47.7)	15 (11.7)	34 (26.6)	7 (5.5)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	30 (166.7)	5 (27.8)	6 (33.3)	1 (5.6)	3 (16.7)	0 (-)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	179 (205.7)	37 (42.5)	43 (49.4)	11 (12.6)	23 (26.4)	2 (2.3)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	64 (256.0)	12 (48.0)	13 (52.0)	4 (16.0)	10 (40.0)	5 (20.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	13 (162.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	0 (-)	2 (25.0)	0 (-)

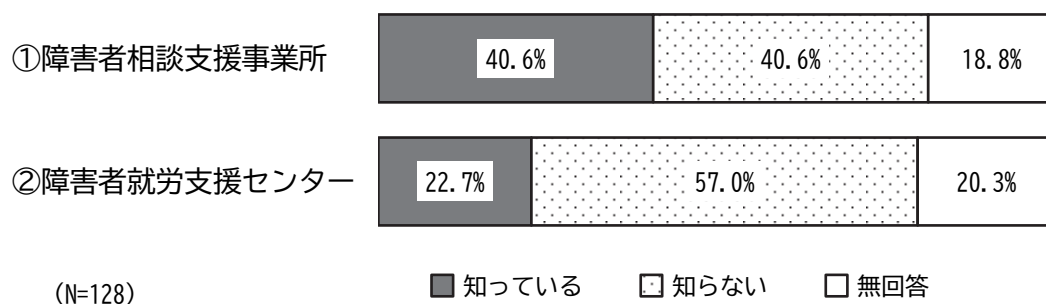
		6. 電話での相談を充実する	7. ファックスや福祉電話の貸付サービスを行う	8. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる	9. その他	10. 特にない	11. 無回答
全 体		8 (6.3)	1 (0.8)	43 (33.6)	11 (8.6)	13 (10.2)	19 (14.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	1 (5.6)	1 (5.6)	5 (27.8)	3 (16.7)	3 (16.7)	2 (11.1)
	2. 知的障害者	4 (4.6)	0 (-)	31 (35.6)	7 (8.0)	5 (5.7)	16 (18.4)
	3. 精神障害者	4 (16.0)	0 (-)	11 (44.0)	3 (12.0)	0 (-)	2 (8.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	2 (25.0)	0 (-)	5 (62.5)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑫相談支援事業所・就労支援センターの認知度（問 23 ア）

相談支援事業所・就労支援センターの認知度は、相談支援事業所は「知っている」、「知らない」が 40.6%、就労支援センターは「知っている」が 22.7%、「知らない」が 57.0% となっています。

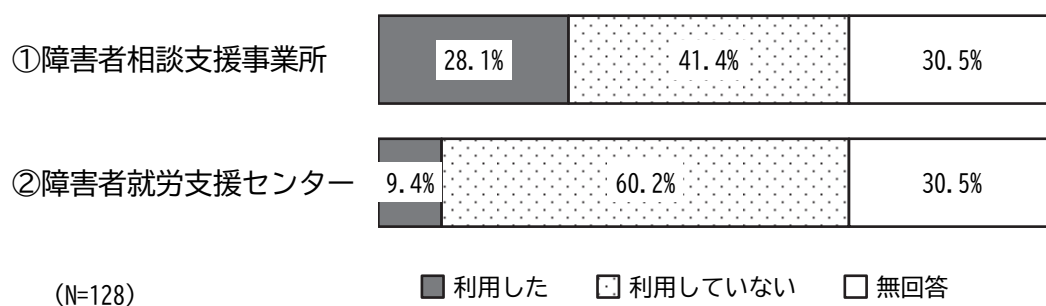
■相談支援事業所・就労支援センターの認知度



⑬相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無（問 23 イ）

相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無は、いずれも「利用していない」が多くなっています。

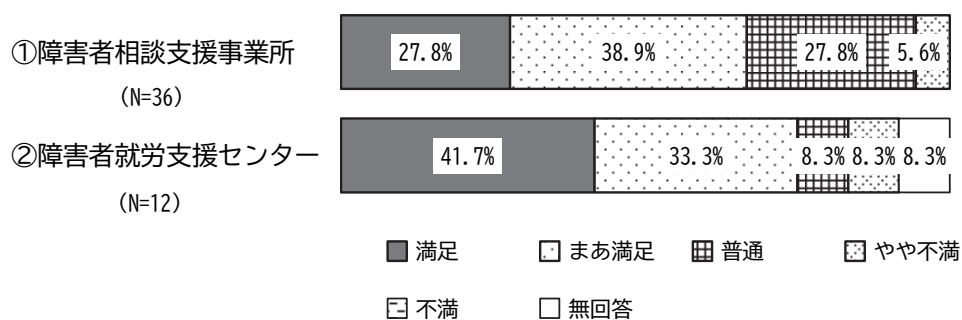
■相談支援事業所・就労支援センターの利用の有無



⑭相談支援事業所・就労支援センターの満足度（問 23 ウ）

問 23 イで「利用した」と回答した方に、利用しての満足度をきいたところ、障害者相談支援事業所は「まあ満足」が、障害者就労支援センターは「満足」が多くなっています。

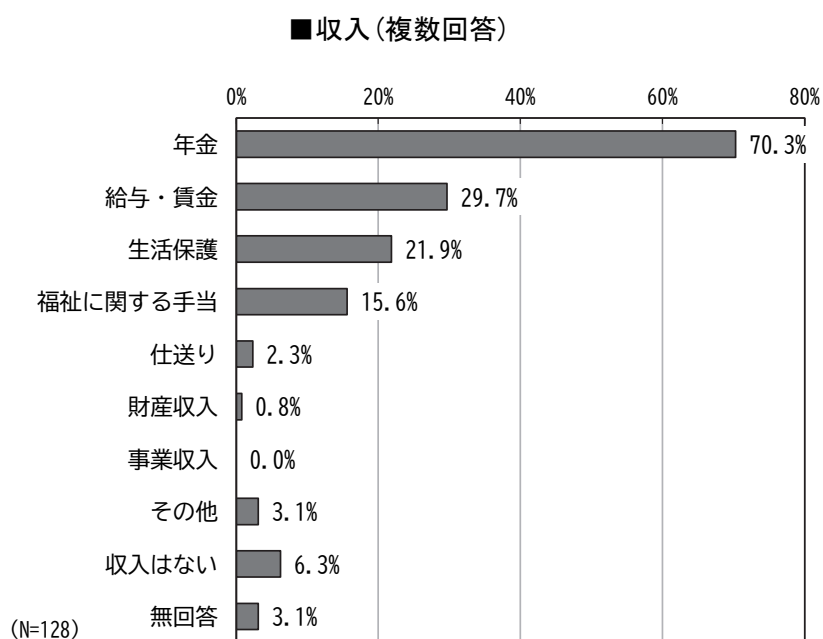
■相談支援事業所・就労支援センターの満足度



（４）仕事について

①収入（問 24）

収入については、「年金」が 70.3%で最も多く、次いで「給与・賃金」が 29.7%、「生活保護」が 21.9%となっています。



障害種別にみると、身体障害者は「年金」、精神障害者は「福祉に関する手当」、「生活保護」が全体に比べ多くなっています。

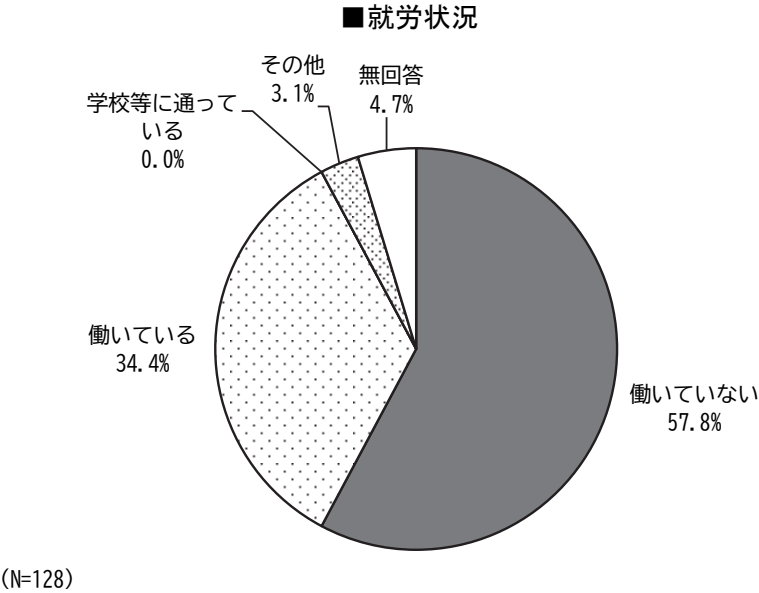
■収入（複数回答）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 給与・賃 金	2. 事業収入	3. 財産収入	4. 年金	5. 福祉に 関する 手当	6. 生活保護	7. 仕送り	8. その他	9. 収入はな い	10. 無回答
全 体	128 (100.0)	196 (153.1)	38 (29.7)	0 (-)	1 (0.8)	90 (70.3)	20 (15.6)	28 (21.9)	3 (2.3)	4 (3.1)	8 (6.3)	4 (3.1)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	24 (133.3)	3 (16.7)	0 (-)	1 (5.6)	15 (83.3)	2 (11.1)	2 (11.1)	1 (5.6)	0 (-)	0 (-)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	125 (143.7)	28 (32.2)	0 (-)	0 (-)	62 (71.3)	9 (10.3)	12 (13.8)	1 (1.1)	2 (2.3)	7 (8.0)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	44 (176.0)	7 (28.0)	0 (-)	0 (-)	17 (68.0)	7 (28.0)	10 (40.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (100.0)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	16 (200.0)	3 (37.5)	0 (-)	0 (-)	5 (62.5)	3 (37.5)	4 (50.0)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

②就労状況（問 25）

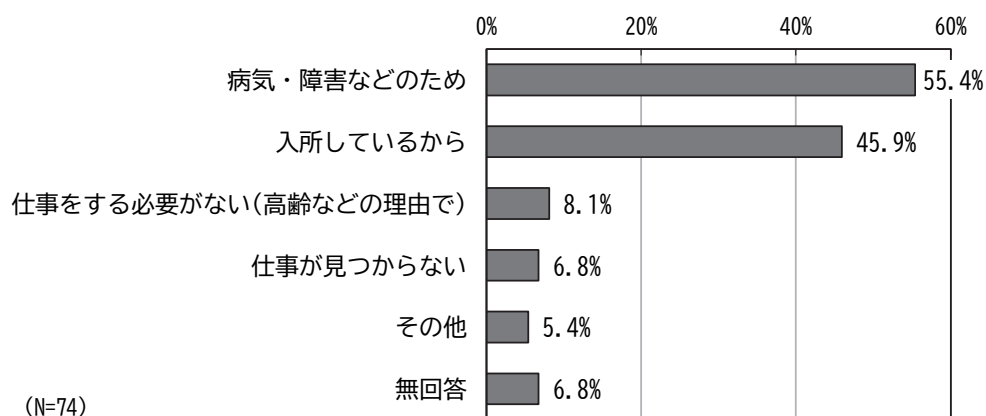
就労状況については、「働いていない」が57.8%で最も多く、次いで「働いている」が34.4%となっています。



③働かない理由（問 25 - 1）

問 25 で「働いていない」と回答した方に、働かない理由をきいたところ、「病気・障害などのため」が 55.4%で最も多く、次いで「入所しているから」が 45.9%、「仕事をする必要がない(高齢などの理由で)」が 8.1%となっています。

■働かない理由(複数回答)



障害種別にみると、身体障害者は「病気・障害などのため」、精神障害者は「病気・障害などのため」、「仕事が見つからない」、「仕事をする必要がない（高齢などの理由で）」が全体に比べ多くなっています。

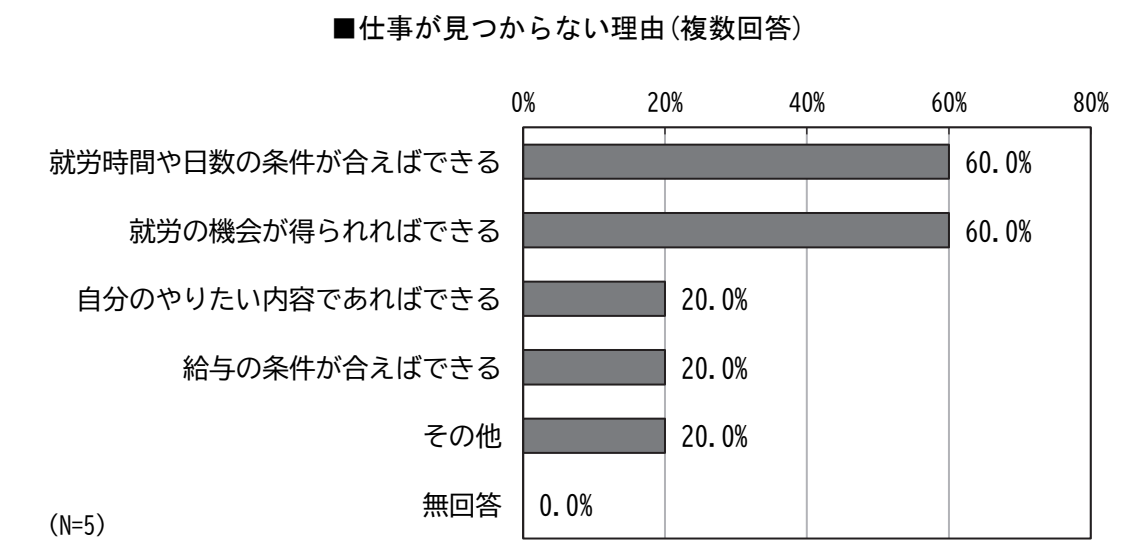
■働かない理由(複数回答)（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 病気・障 害などの ため	2. 仕事が見 つからな い	3. 仕事をす る必要が ない(高 齢などの 理由で)	4. 入所して いるから	5. その他	6. 無回答
全 体		74 (100.0)	95 (128.4)	41 (55.4)	5 (6.8)	6 (8.1)	34 (45.9)	4 (5.4)	5 (6.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	17 (100.0)	23 (135.3)	14 (82.4)	1 (5.9)	0 (-)	6 (35.3)	1 (5.9)	1 (5.9)
	2. 知的障害者	45 (100.0)	52 (115.6)	19 (42.2)	1 (2.2)	0 (-)	25 (55.6)	2 (4.4)	5 (11.1)
	3. 精神障害者	16 (100.0)	24 (150.0)	12 (75.0)	3 (18.8)	5 (31.3)	4 (25.0)	0 (-)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (100.0)	2 (200.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)
	5. 無回答	3 (100.0)	5 (166.7)	2 (66.7)	0 (-)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④仕事が見つからない理由（問 25 - 2）

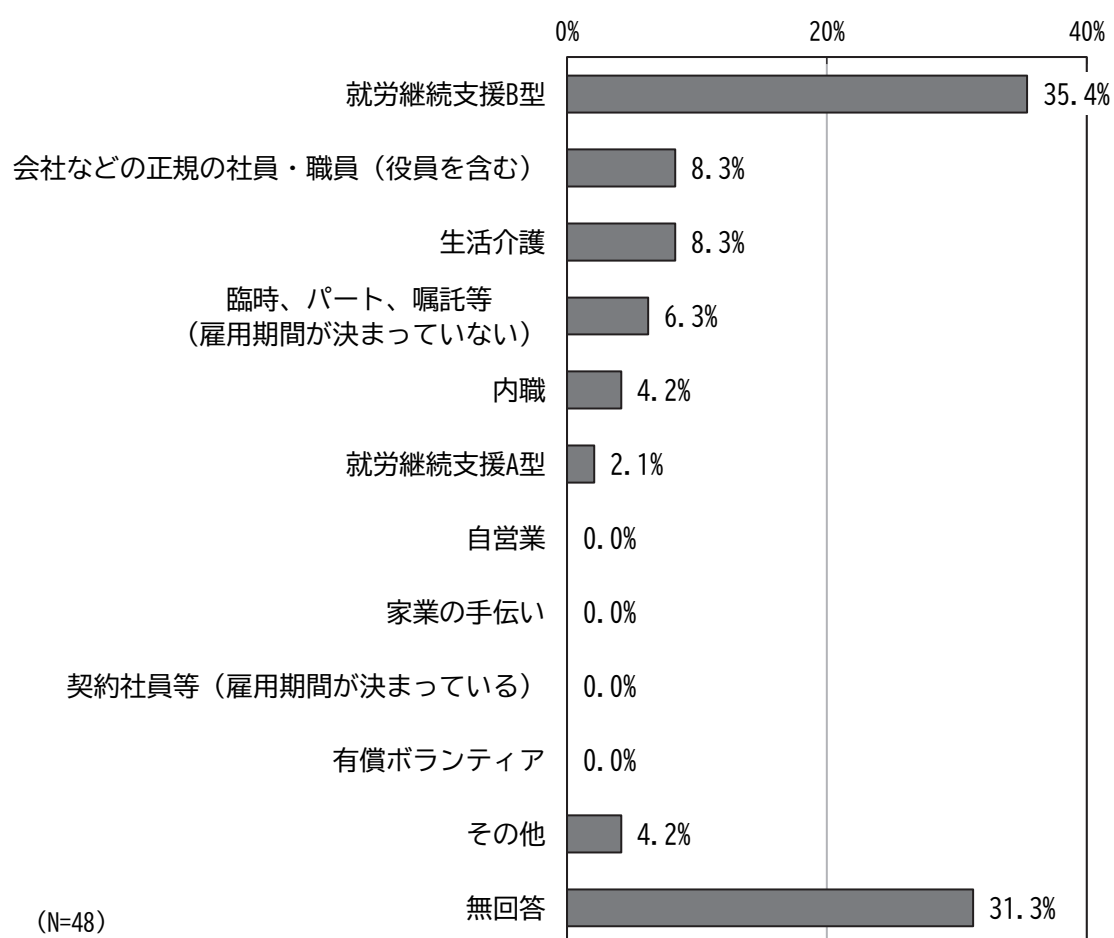
問 25 - 1 で「仕事が見つからない」と回答した方に、仕事が見つからない理由をきいたところ、「就労時間や日数の条件が合えばできる」、「就労の機会が得られればできる」が 60.0%で最も多くなっています。



⑤将来働いてみたいと思う働き方（問 25 - 3）

問 25 で「働いている」または問 25 - 1 で「仕事が見つからない」と回答した方に、将来働いてみたいと思う働き方をきいたところ、「就労継続支援 B 型」が 35.4%で最も多く、次いで「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」、「生活介護」が 8.3%となっています。

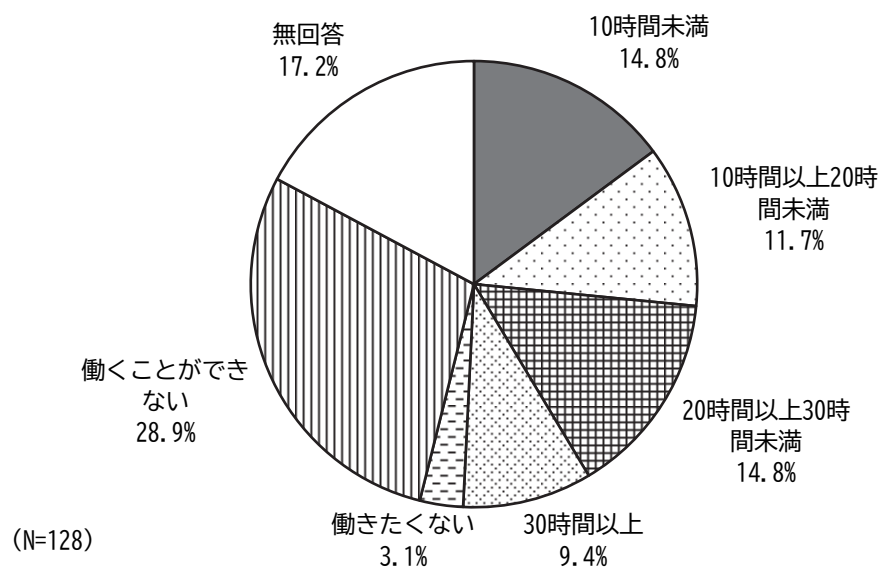
■将来働いてみたいと思う働き方



⑥希望就労時間（問 26）

1 週当たり何時間働きたいか聞いたところ、「働くことができない」が 28.9%で最も多く、次いで「10 時間未満」、「20 時間以上 30 時間未満」が 14.8%となっています。

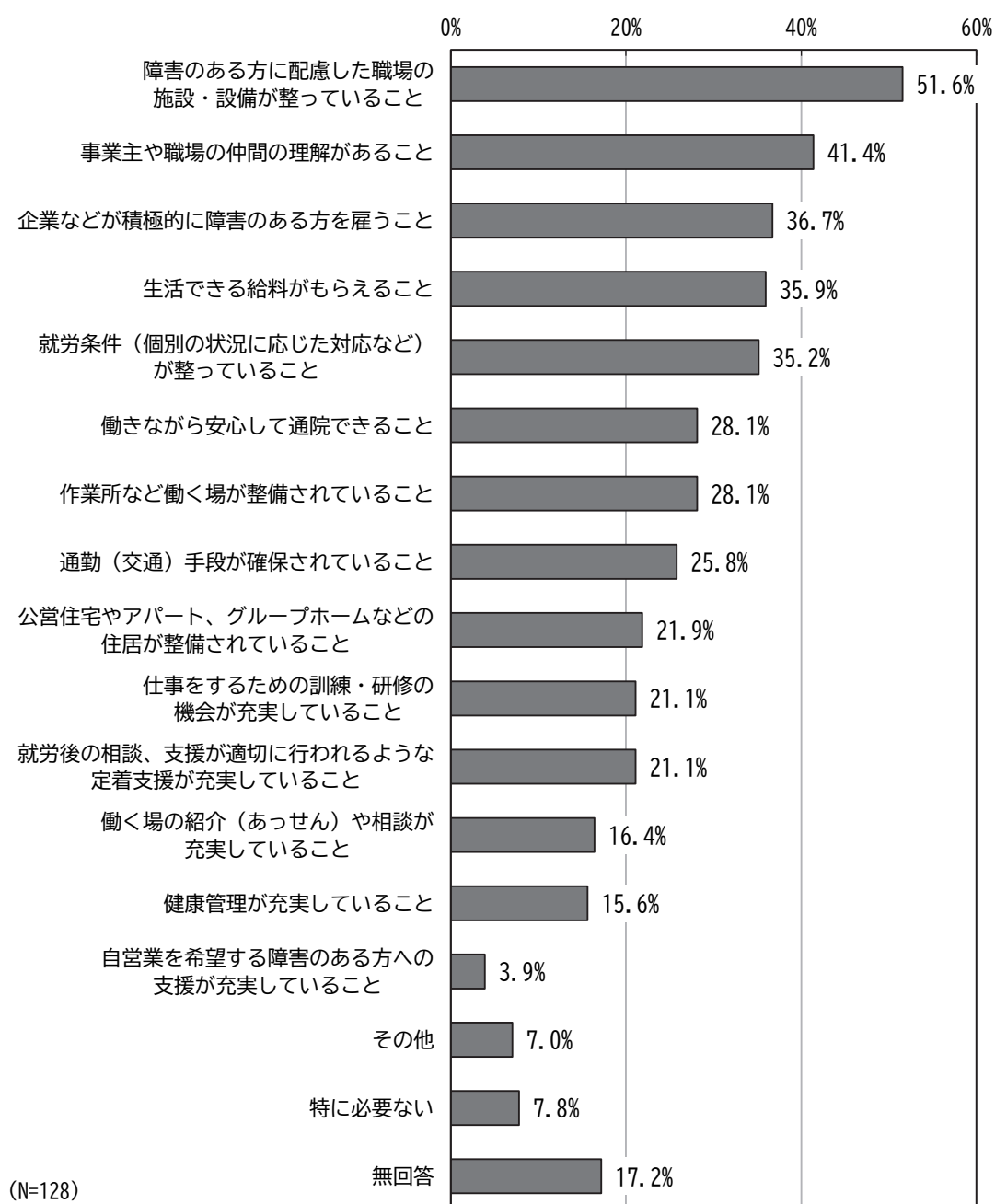
■希望就労時間



⑦障害のある方が働くために必要なこと（問 27）

障害のある方が働くために必要なことについては、「障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること」が51.6%で最も多く、次いで「事業主や職場の仲間の理解があること」が41.4%、「企業などが積極的に障害のある方を雇うこと」が36.7%となっています。

■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること」、「通勤（交通）手段が確保されていること」、「働きながら安心して通院できること」、精神障害者は「生活できる給料がもらえること」、「働きながら安心して通院できること」、「公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること」が全体に比べて多くなっています。

■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 企業などが積極的に 障害のある方を 雇うこと	2. 障害のある方に配 慮した職場の施 設・設備 が整っていること	3. 就労条件 （個別の 状況に応 じた対応 など）が 整っていること	4. 生活できる給料が もらえること	5. 事業主や 職場の仲 間の理解 があること	6. 仕事をす るための 訓練・研 修の機会 が充実し ていること	7. 自営業を 希望する 障害のある方への 支援が充 実していること	8. 通勤（交 通）手段 が確保さ れていること
全 体		128 (100.0)	531 (414.8)	47 (36.7)	66 (51.6)	45 (35.2)	46 (35.9)	53 (41.4)	27 (21.1)	5 (3.9)	33 (25.8)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	18 (100.0)	81 (450.0)	6 (33.3)	10 (55.6)	6 (33.3)	3 (16.7)	9 (50.0)	7 (38.9)	1 (5.6)	7 (38.9)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	334 (383.9)	34 (39.1)	44 (50.6)	31 (35.6)	26 (29.9)	36 (41.4)	15 (17.2)	1 (1.1)	16 (18.4)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	122 (488.0)	8 (32.0)	15 (60.0)	10 (40.0)	14 (56.0)	9 (36.0)	7 (28.0)	3 (12.0)	8 (32.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	6 (600.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)
	5. 無回答	8 (100.0)	27 (337.5)	2 (25.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	3 (37.5)	0 (-)	3 (37.5)

		9. 働く場の 紹介 （あっせ ん）や相 談が充実 している こと	10. 健康管理 が充実し ているこ と	11. 働きなが ら安心して 通院で できるこ と	12. 作業所な ど働く場 が整備さ れている こと	13. 公営住宅 やアパー ト、グル ープ ホームな どの住居 が整備さ れている こと	14. 就労後の 相談、支 援が適切 に行われ るような 定着支援 が充実し ているこ と	15. その他	16. 特に必要 ない	17. 無回答
全 体		21 (16.4)	20 (15.6)	36 (28.1)	36 (28.1)	28 (21.9)	27 (21.1)	9 (7.0)	10 (7.8)	22 (17.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	3 (16.7)	3 (16.7)	8 (44.4)	5 (27.8)	4 (22.2)	4 (22.2)	1 (5.6)	2 (11.1)	2 (11.1)
	2. 知的障害者	12 (13.8)	15 (17.2)	14 (16.1)	27 (31.0)	15 (17.2)	18 (20.7)	7 (8.0)	4 (4.6)	19 (21.8)
	3. 精神障害者	5 (20.0)	4 (16.0)	15 (60.0)	5 (20.0)	8 (32.0)	6 (24.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	3 (12.0)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (-)	3 (37.5)	1 (12.5)

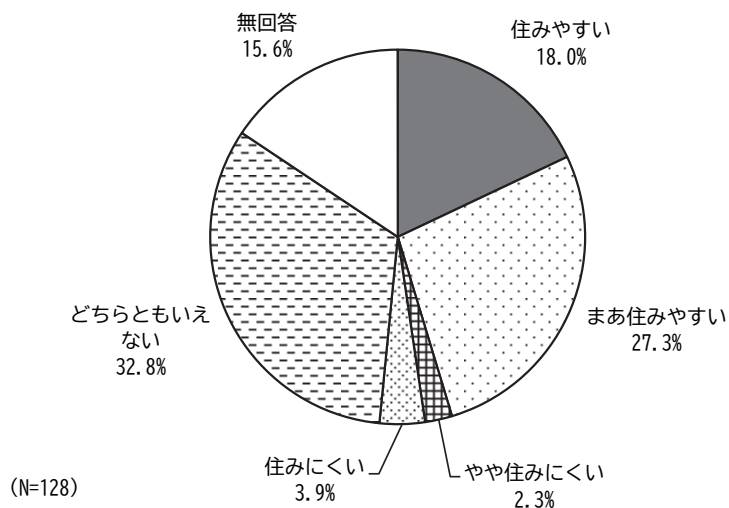
注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

(5) まちづくり・地域生活について

①障害者にとっての川口市の住みやすさ（問 28）

障害者にとっての川口市の住みやすさについては、「どちらともいえない」が 32.8%で最も多く、次いで「まあ住みやすい」が 27.3%、「住みやすい」が 18.0%となっています。

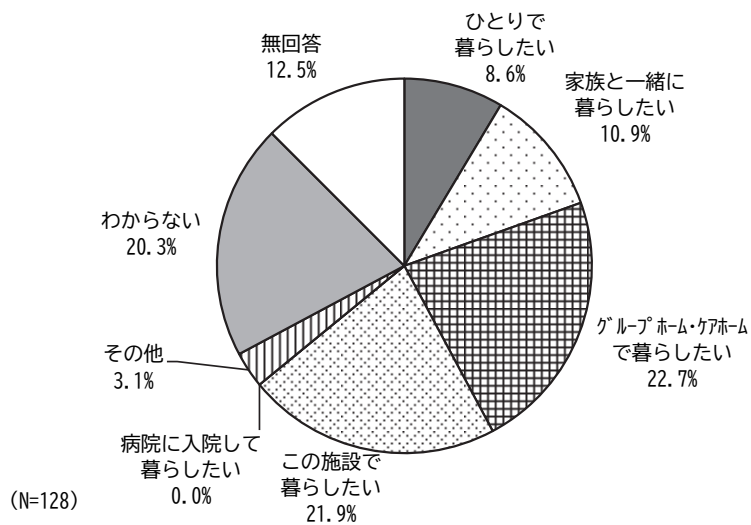
■障害者にとっての川口市の住みやすさ



②将来的な暮らし方の希望（問 29）

将来的な暮らし方の希望については、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」が 22.7%で最も多く、次いで「この施設で暮らしたい」が 21.9%、「わからない」が 20.3%となっています。

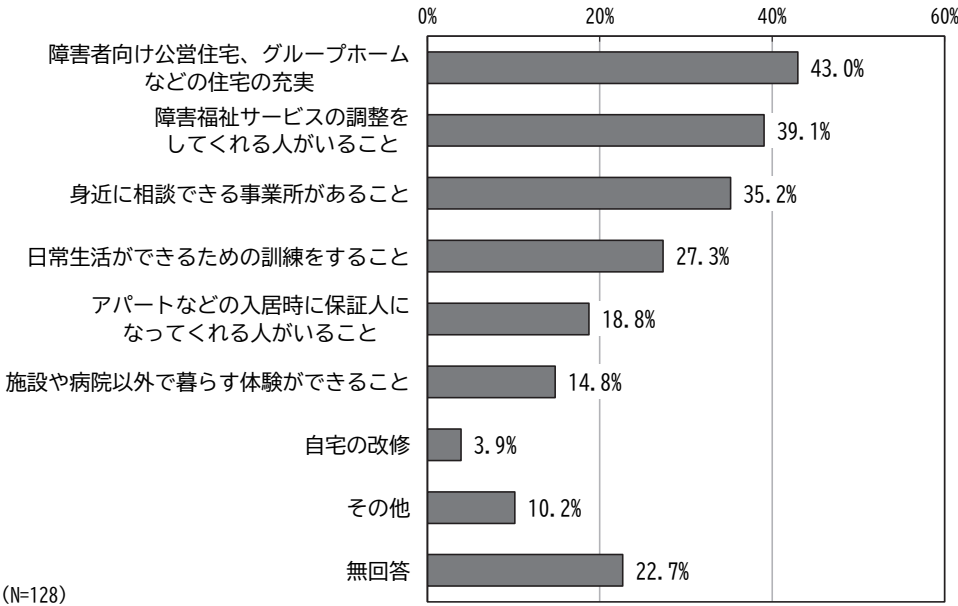
■将来的な暮らし方の希望



③障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（問 30（1））

障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境については、「障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実」が 43.0%で最も多く、次いで「障害福祉サービスの調整をしてくれる人がいること」が 39.1%、「身近に相談できる事業所があること」が 35.2%となっています。

■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「日常生活ができるための訓練をすること」、「施設や病院以外で暮らす体験ができること」、「障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実」、精神障害者は「日常生活ができるための訓練をすること」、「アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がいること」、「障害福祉サービスの調整をしてくれる人がいること」が全体に比べて多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（複数回答）（障害種別）

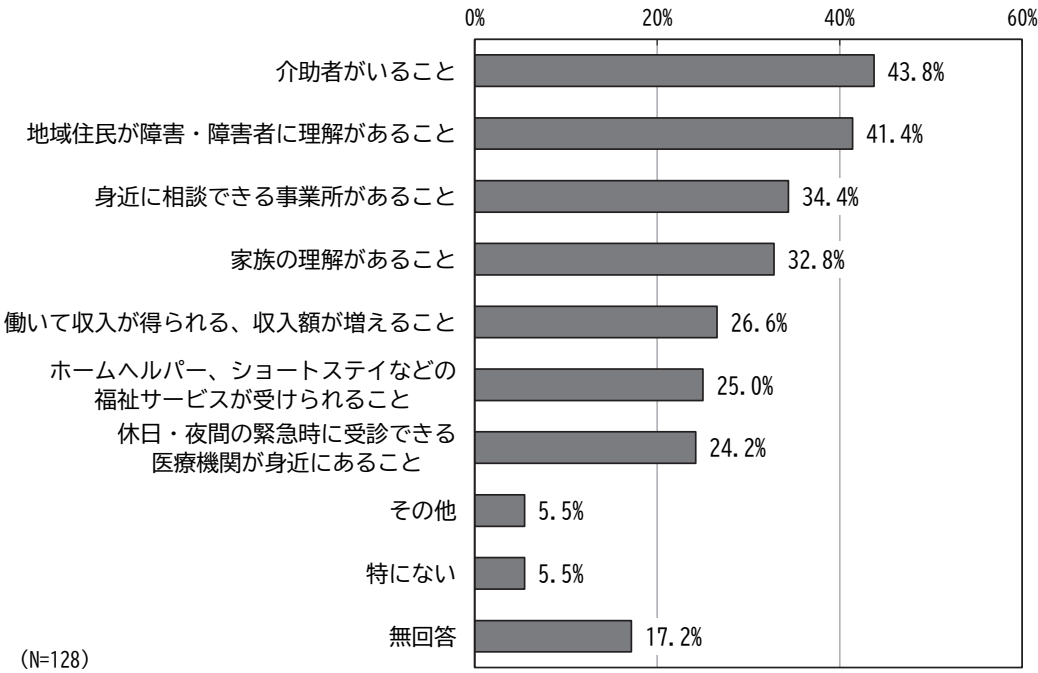
	回答者数	合 計	1. 日常生活 ができる ための訓 練をする こと	2. 施設や病 院以外で 暮らす体 験ができ ること	3. 障害者向 け公営住 宅、グ ループ ホームな どの住宅 の充実	4. アパート などの入 居時に保 証人に なってく れる人が いること	5. 自宅の改 修	6. 障害福祉 サービスの 調整をし てくれる 人がいる こと	7. 身近に相 談できる 事業所が あること	8. その他	9. 無回答
全 体	128 (100.0)	275 (214.8)	35 (27.3)	19 (14.8)	55 (43.0)	24 (18.8)	5 (3.9)	50 (39.1)	45 (35.2)	13 (10.2)	29 (22.7)
問 3	1. 身体障害者	18 (100.0)	45 (250.0)	7 (38.9)	5 (27.8)	10 (55.6)	5 (27.8)	0 (-)	8 (44.4)	7 (38.9)	2 (11.1)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	174 (200.0)	19 (21.8)	13 (14.9)	41 (47.1)	7 (8.0)	2 (2.3)	29 (33.3)	30 (34.5)	22 (25.3)
障 害 種 別	3. 精神障害者	25 (100.0)	65 (260.0)	10 (40.0)	4 (16.0)	9 (36.0)	10 (40.0)	3 (12.0)	14 (56.0)	10 (40.0)	3 (12.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (100.0)	3 (300.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	13 (162.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	2 (25.0)	3 (37.5)	4 (50.0)

注：()内はワグP数をもとにした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

④障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（問 30（2））

障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境については、「介助者がいること」が 43.8%で最も多く、次いで「地域住民が障害・障害者に理解があること」が 41.4%、「身近に相談できる事業所があること」が 34.4%となっています。

■障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「介助者がいること」、精神障害者は「家族の理解があること」、「身近に相談できる事業所があること」が全体に比べ多くなっています。

■障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（複数回答）（障害種別）

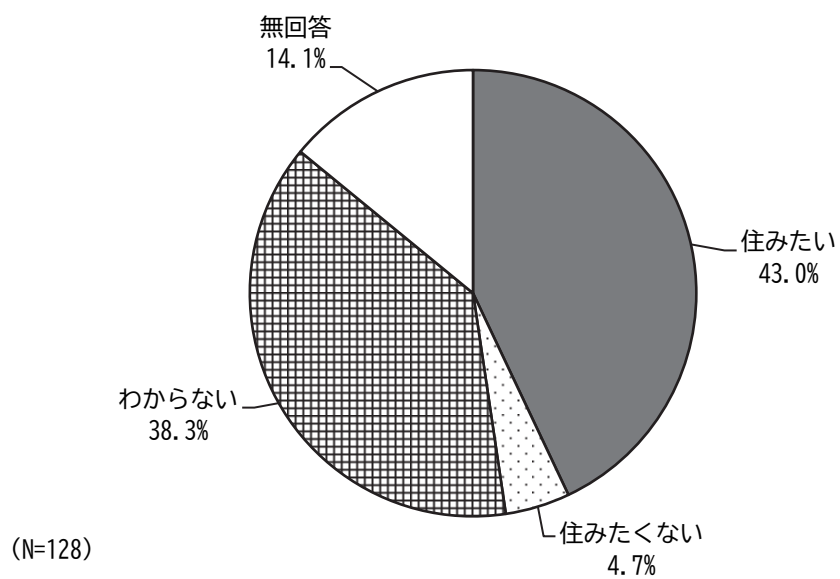
	回答者数	合 計	1. 家族の理解があること	2. 介助者がいること	3. 働いて収入が得られる、収入額が増えること	4. 地域住民が障害・障害者に理解があること	5. 身近に相談できる事業所があること	6. ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること	7. 休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること	8. その他	9. 特になし	10. 無回答
全 体	128 (100.0)	328 (256.3)	42 (32.8)	56 (43.8)	34 (26.6)	53 (41.4)	44 (34.4)	32 (25.0)	31 (24.2)	7 (5.5)	7 (5.5)	22 (17.2)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	43 (100.0)	4 (238.9)	11 (22.2)	3 (16.7)	7 (38.9)	4 (22.2)	6 (33.3)	5 (27.8)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)
	2. 知的障害者	87 (100.0)	218 (250.6)	25 (28.7)	39 (44.8)	20 (23.0)	40 (46.0)	27 (31.0)	21 (24.1)	6 (6.9)	4 (4.6)	17 (19.5)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	67 (268.0)	12 (48.0)	8 (32.0)	9 (36.0)	10 (40.0)	13 (52.0)	4 (16.0)	6 (24.0)	1 (4.0)	3 (12.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (100.0)	3 (300.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (100.0)	1 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	8 (100.0)	20 (250.0)	4 (50.0)	4 (50.0)	1 (12.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	2 (25.0)	0 (-)	1 (12.5)	2 (25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑤川口市での居住意向（問 31）

川口市での居住意向については、「住みたい」が43.0%、「住みたくない」が4.7%、「わからない」が38.3%となっています。

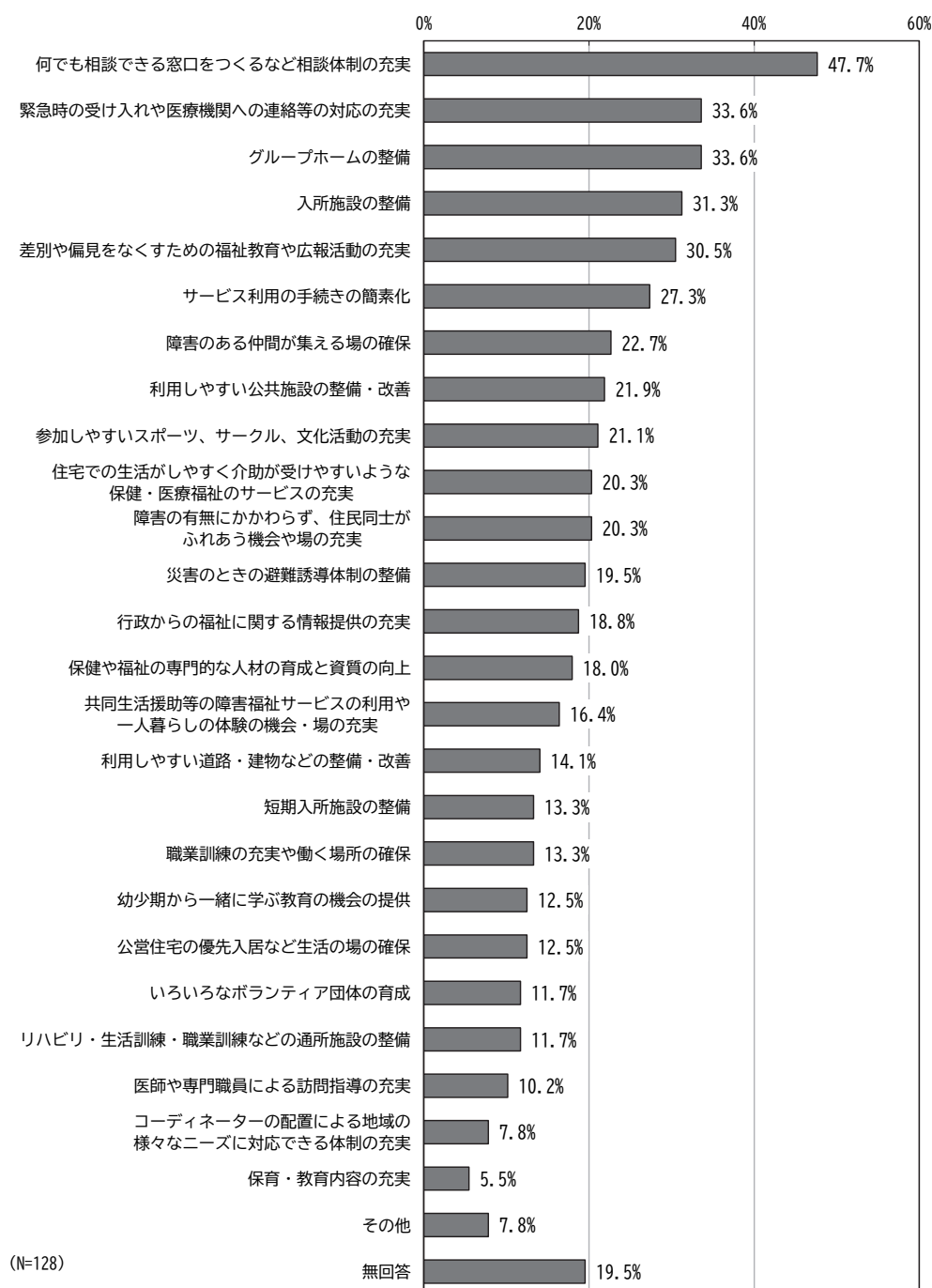
■川口市での居住意向



⑥障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（問 32）

障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が47.7%で最も多く、次いで「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」、「グループホームの整備」が33.6%となっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）



障害種別にみると、身体障害者は「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」、「サービス利用の手続きの簡素化」、「利用しやすい公共施設の整備・改善」、「利用しやすい道路・建物などの整備・改善」、「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」、精神障害者は「グループホームの整備」、「共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実」、「障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実」、「公営住宅の優先入居など生活の場の確保」が全体に比べて多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）（障害種別）

	回答者数	合 計	1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	3. サービス利用の手続きの簡素化	4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実	7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	8. いろいろなボランティア団体の育成
全 体	128 (100.0)	669 (522.7)	61 (47.7)	43 (33.6)	35 (27.3)	24 (18.8)	23 (18.0)	10 (7.8)	27 (21.1)	15 (11.7)
問 3	1. 身体障害者	18 (100.0)	107 (594.4)	10 (55.6)	9 (50.0)	7 (38.9)	5 (27.8)	1 (5.6)	1 (5.6)	4 (22.2)
障 害 種 別	2. 知的障害者	87 (100.0)	444 (510.3)	44 (50.6)	33 (37.9)	26 (29.9)	15 (17.2)	17 (19.5)	7 (8.0)	18 (20.7)
	3. 精神障害者	25 (100.0)	140 (560.0)	11 (44.0)	8 (32.0)	5 (20.0)	5 (20.0)	5 (20.0)	2 (8.0)	5 (20.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1 (100.0)	3 (300.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)
	5. 無回答	8 (100.0)	35 (437.5)	3 (37.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)

	9. 住宅での生活がしやすく介助が受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実	10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	11. 短期入所施設の整備	12. 入所施設の整備	13. グループホームの整備	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の提供	16. 保育・教育内容の充実	17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保
全 体	26 (20.3)	13 (10.2)	17 (13.3)	40 (31.3)	43 (33.6)	15 (11.7)	16 (12.5)	7 (5.5)	21 (16.4)	17 (13.3)
問 3	1. 身体障害者	4 (22.2)	3 (16.7)	3 (16.7)	7 (38.9)	5 (27.8)	3 (16.7)	4 (22.2)	0 (-)	2 (11.1)
障 害 種 別	2. 知的障害者	17 (19.5)	8 (9.2)	12 (13.8)	30 (34.5)	28 (32.2)	6 (6.9)	10 (11.5)	5 (5.7)	10 (11.5)
	3. 精神障害者	6 (24.0)	3 (12.0)	3 (12.0)	6 (24.0)	11 (44.0)	5 (20.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	8 (32.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	2 (25.0)	0 (-)	1 (12.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)

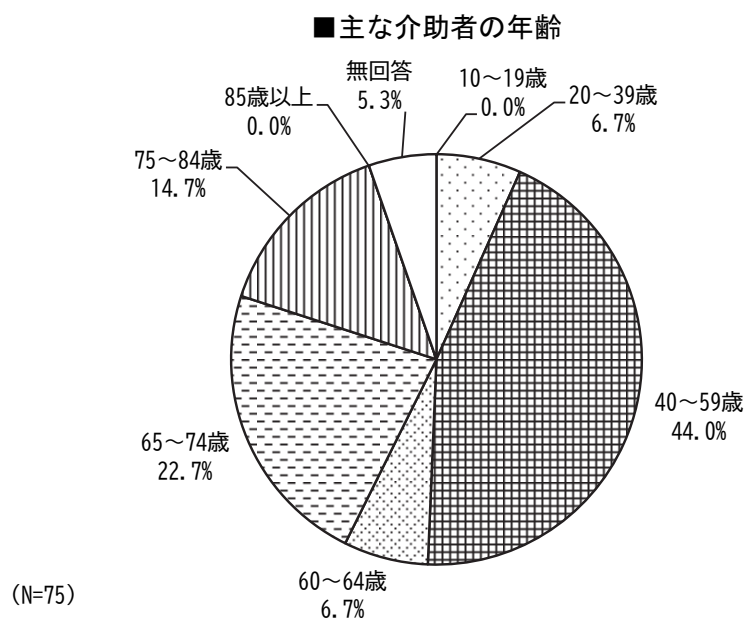
	19. 障害のある仲間が集える場の確保	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保	24. 災害のときの避難誘導体制の整備	25. 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実	26. その他	27. 無回答
全 体	29 (22.7)	28 (21.9)	26 (20.3)	18 (14.1)	16 (12.5)	25 (19.5)	39 (30.5)	10 (7.8)	25 (19.5)
問 3	1. 身体障害者	2 (11.1)	6 (33.3)	4 (22.2)	6 (33.3)	3 (16.7)	5 (27.8)	8 (44.4)	1 (5.6)
障 害 種 別	2. 知的障害者	21 (24.1)	17 (19.5)	14 (16.1)	10 (11.5)	7 (8.0)	18 (20.7)	26 (29.9)	9 (19.5)
	3. 精神障害者	6 (24.0)	6 (24.0)	8 (32.0)	3 (12.0)	6 (24.0)	4 (16.0)	7 (28.0)	1 (4.0)
	4. 上記の手帳や自立支援医療はない	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	2 (25.0)	1 (12.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	2 (25.0)	3 (37.5)

注：()内はワープⅡ数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

（６）主な介助・援助者の意向について

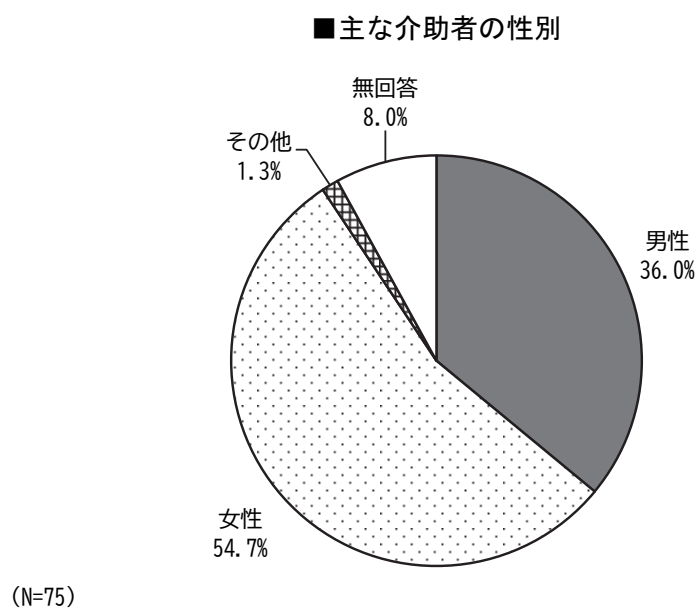
①主な介助者の年齢（問 33）（以降は親族である主な介助・援助者が回答）

主な介助者の年齢については、「40～59 歳」が 44.0%で最も多く、次いで「65～74 歳」が 22.7%、「75 歳～84 歳」が 14.7%となっています。



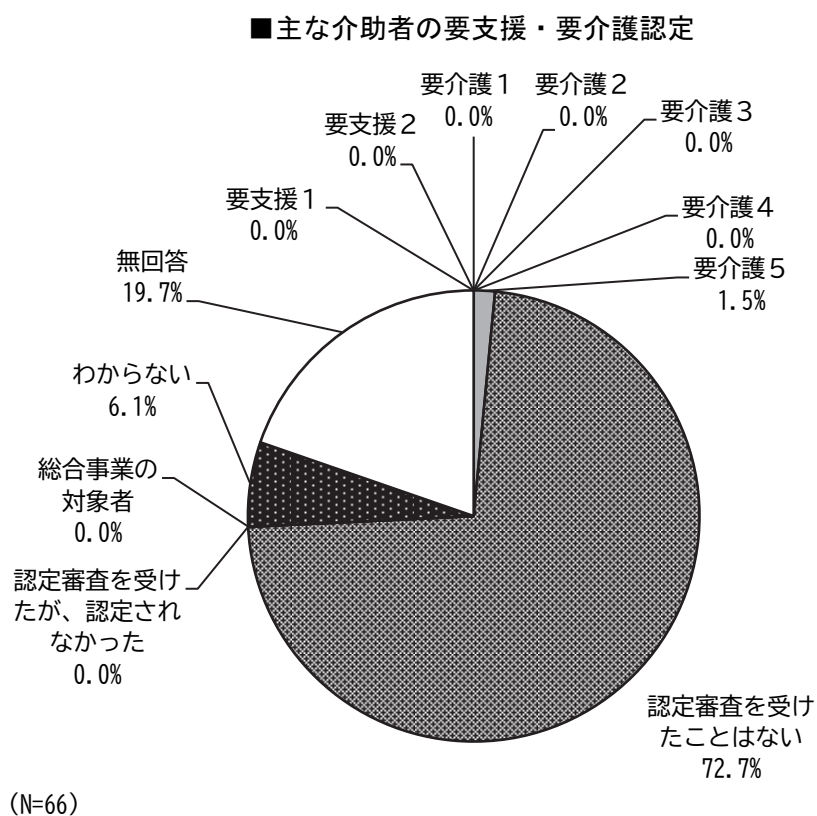
②主な介助者の性別（問 34）

主な介助者の性別については、「女性」が 54.7%、「男性」が 36.0%となっています。



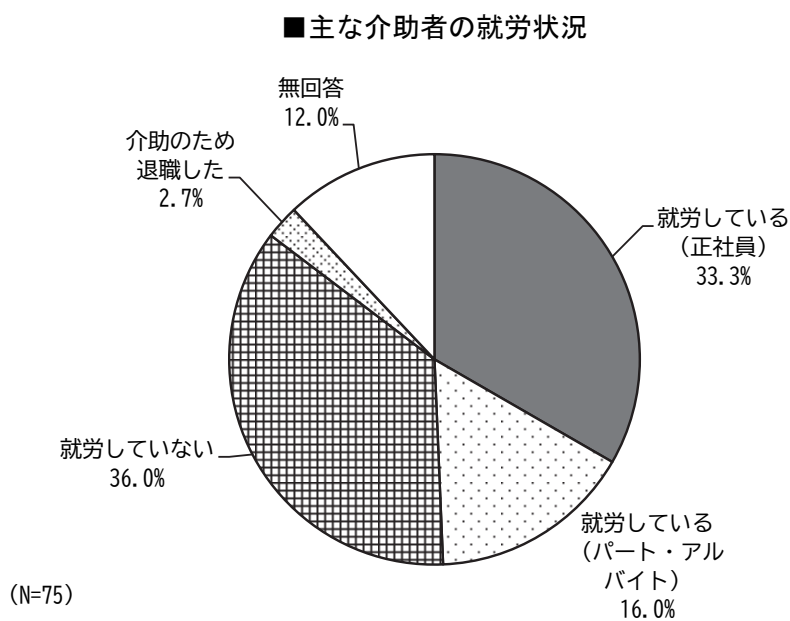
③主な介助者の要支援・要介護認定（問 35）

40 歳以上の主な介助者の方に、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けているかきいたところ、「認定審査を受けたことはない」が 72.7%で最も多くなっています。



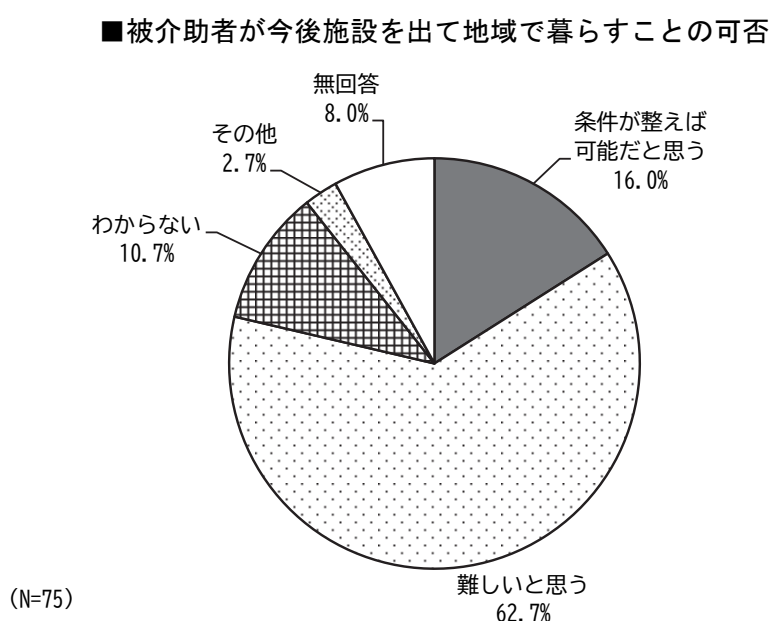
④主な介助者の就労状況（問 36）

主な介助者の就労状況については、「就労していない」が 36.0%で最も多く、次いで「就労している（正社員）」が 33.3%、「就労している（パート・アルバイト）」が 16.0%となっています。



⑤被介助者が今後施設を出て地域で暮らすことの可否（問 37）

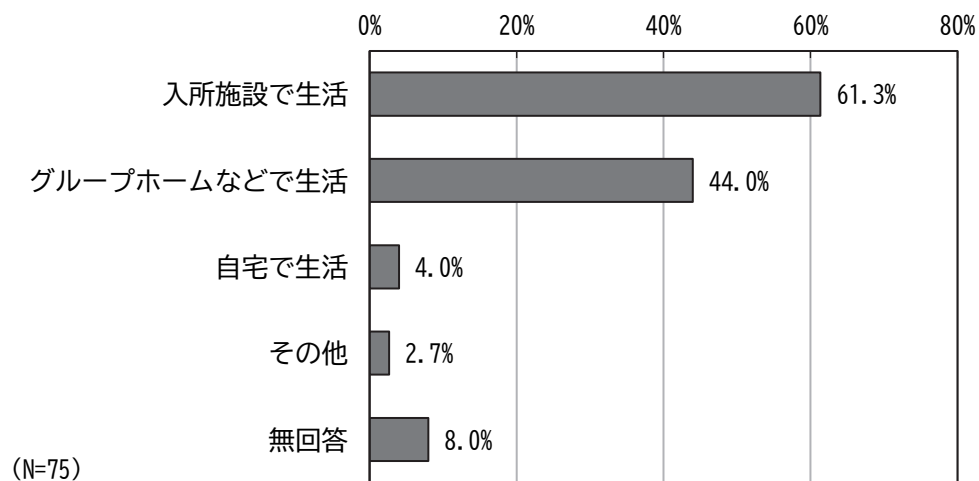
被介助者が今後施設を出て地域で暮らすことの可否については、「難しいと思う」が 62.7%、「条件が整えば可能だと思う」が 16.0%、「わからない」が 10.7%となっています。



⑥主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所（問 38）

主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所については、「入所施設で生活」が 61.3%で最も多く、次いで「グループホームなどで生活」が 44.0%、「自宅で生活」が 4.0%となっています。

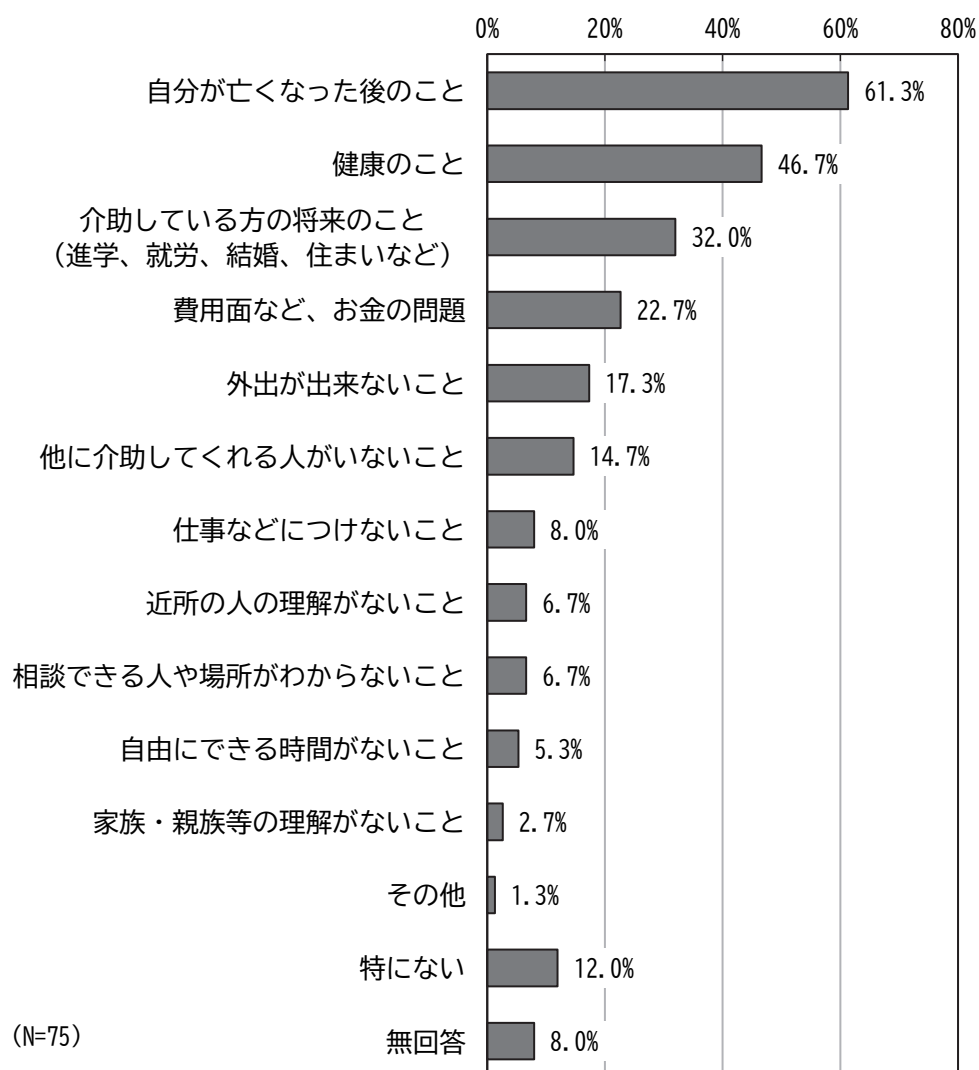
■主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所（複数回答）



⑦介助・援助者の立場として困っていること（問 39）

介助・援助者の立場として困っていることについては、「自分が亡くなった後のこと」が 61.3%で最も多く、次いで「健康のこと」が 46.7%、「介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）」が 32.0%となっています。

■介助・援助者の立場として困っていること（複数回答）



障害種別にみると、身体障害者は「自分が亡くなった後のこと」、「外出が出来ないこと」「仕事などにつけないこと」、精神障害者は「健康のこと」、「仕事などにつけないこと」、「費用面など、お金の問題」、「相談できる人や場所がわからないこと」が全体に比べ多くなっています。

■介助・援助者の立場として困っていること（複数回答）（障害種別）

		回答者数	合 計	1. 介助して いる方の 将来のこ と（進 学、就 労、結 婚、住ま いなど）	2. 自分が亡 くなった 後のこと	3. 健康のこ と	4. 自由にで きる時間 がないこ と	5. 家族・親 族等の理 解がない こと	6. 近所の人 の理解が ないこと
全 体		75 (100.0)	184 (245.3)	24 (32.0)	46 (61.3)	35 (46.7)	4 (5.3)	2 (2.7)	5 (6.7)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	11 (100.0)	26 (236.4)	2 (18.2)	8 (72.7)	6 (54.5)	1 (9.1)	0 (-)	1 (9.1)
	2. 知的障害者	54 (100.0)	135 (250.0)	22 (40.7)	34 (63.0)	22 (40.7)	3 (5.6)	0 (-)	5 (9.3)
	3. 精神障害者	9 (100.0)	25 (277.8)	3 (33.3)	5 (55.6)	7 (77.8)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	1 (100.0)	2 (200.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)
	5. 無回答	6 (100.0)	12 (200.0)	0 (-)	3 (50.0)	4 (66.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		7. 外出が出 来ないこ と	8. 仕事など につけな いこと	9. 他に介助 してくれ る人がい ないこと	10. 費用面な ど、お金 の問題	11. 相談でき る人や場 所がわか らないこ と	12. その他	13. 特にない	14. 無回答
全 体		13 (17.3)	6 (8.0)	11 (14.7)	17 (22.7)	5 (6.7)	1 (1.3)	9 (12.0)	6 (8.0)
問 3 障 害 種 別	1. 身体障害者	4 (36.4)	2 (18.2)	0 (-)	1 (9.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (9.1)
	2. 知的障害者	9 (16.7)	3 (5.6)	10 (18.5)	12 (22.2)	3 (5.6)	1 (1.9)	6 (11.1)	5 (9.3)
	3. 精神障害者	0 (-)	2 (22.2)	1 (11.1)	3 (33.3)	2 (22.2)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)
	4. 上記の手帳や自立支援 医療はない	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 無回答	2 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	0 (-)	2 (33.3)	0 (-)

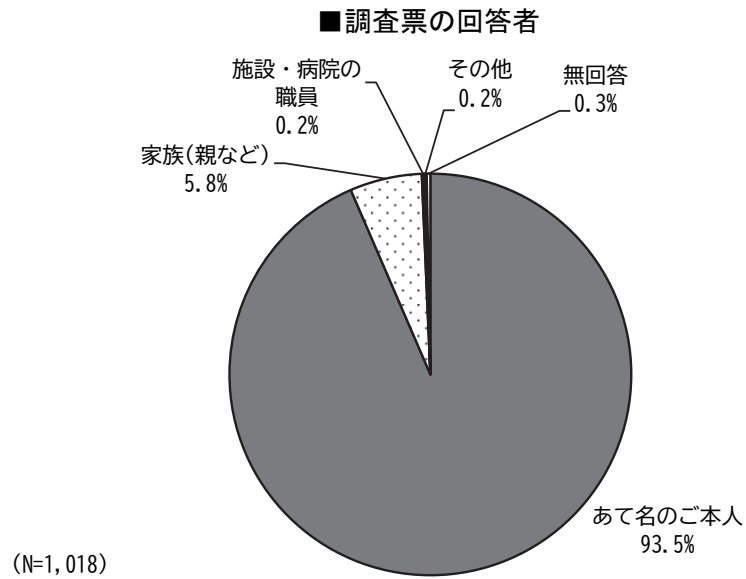
注：()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

4. 一般市民

(1) 基本属性

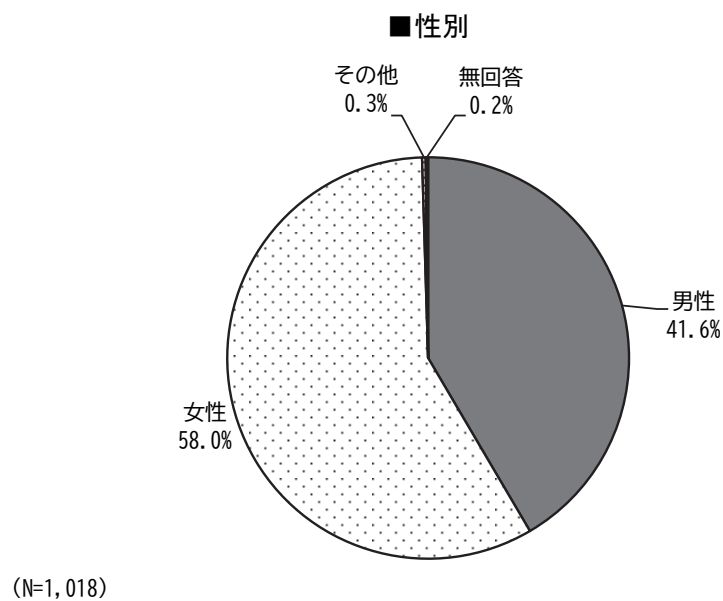
①調査票の回答者

調査票の回答者については、「あて名のご本人」が93.5%で最も多く、次いで「家族(親など)」が5.8%となっています。



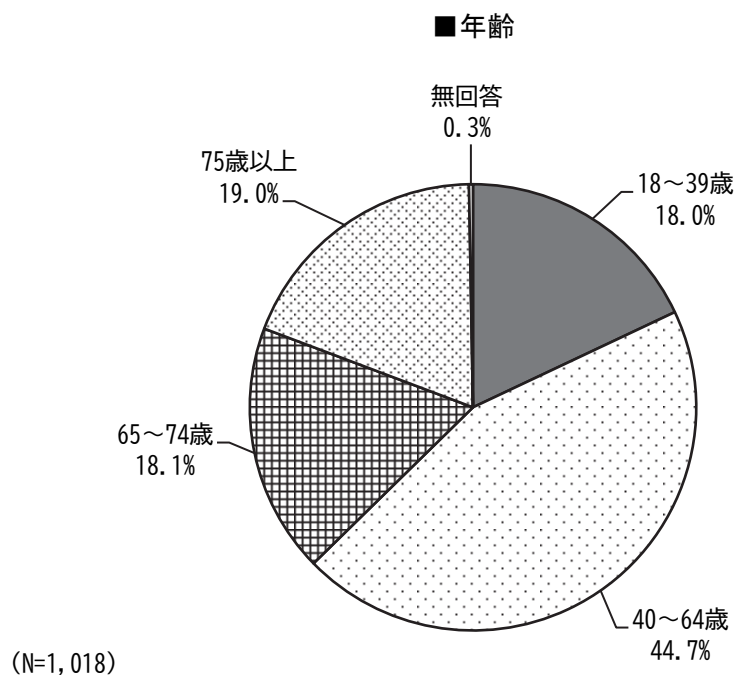
②性別 (問1)

性別については、「女性」が58.0%、「男性」が41.6%となっています。



③年齢（問２）

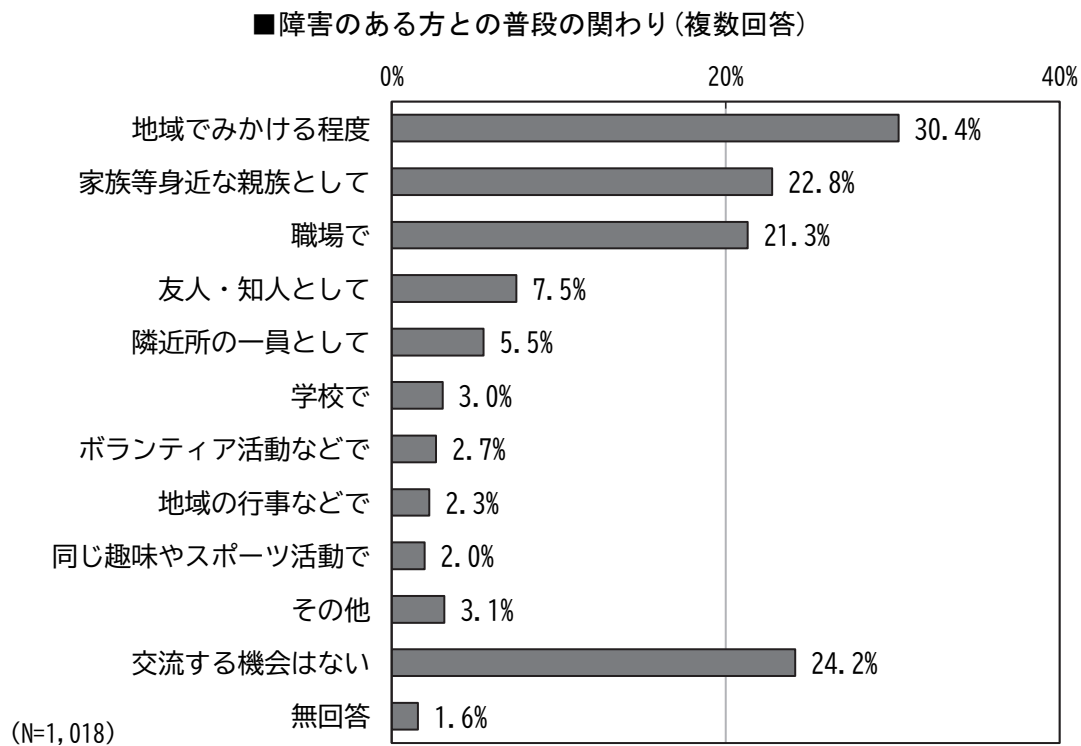
令和５年７月１日現在の年齢については、「４０～６４歳」が４４.７％で最も多く、次いで「６５～７４歳」が１８.１％、「１８～３９歳」が１８.０％となっています。



(2) 障害福祉について

①障害のある方との普段の関わり (問3)

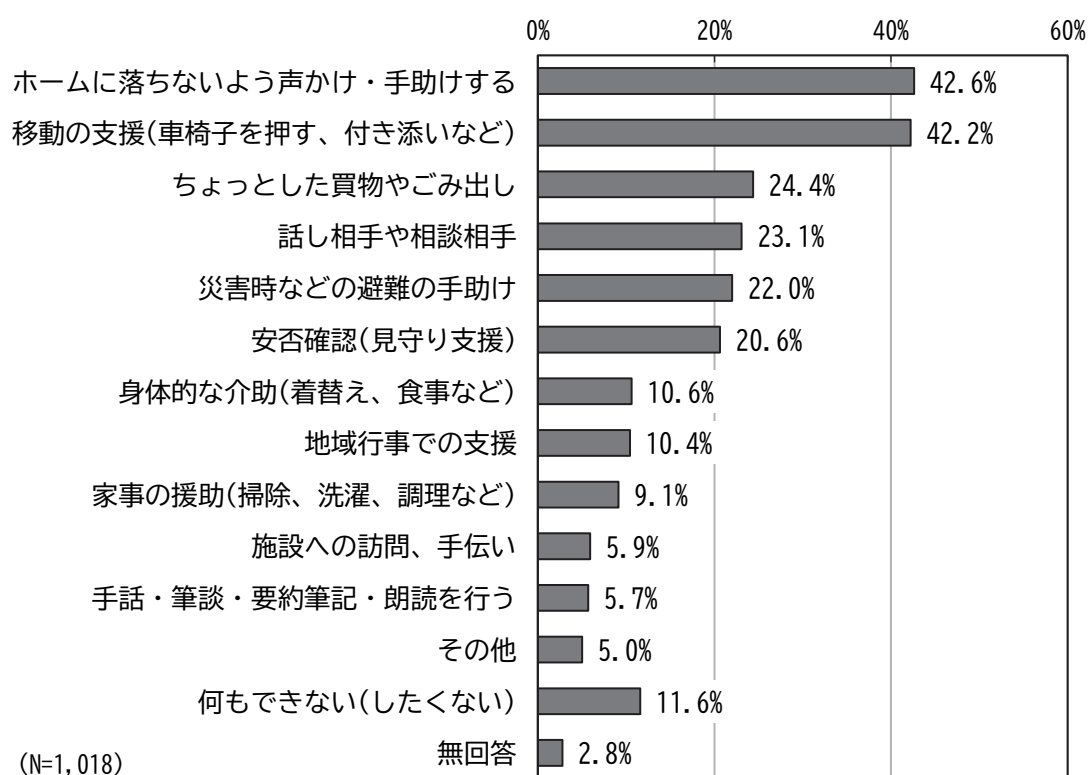
障害のある方との普段の関わりについては、「地域でみかける程度」が30.4%で最も多く、次いで「家族等身近な親族として」が22.8%、「職場で」が21.3%となっています。



②日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできること（問４）

日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできることについては、「ホームに落ちないよう声かけ・手助けする」が42.6%で最も多く、次いで「移動の支援(車椅子を押す、付き添いなど)」が42.2%、「ちょっとした買物やごみ出し」が24.4%となっています。

■日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできること（複数回答）



年齢別にみると、18～39歳は「移動の支援(車椅子を押す、付き添いなど)」、「ホームに落ちないよう声かけ・手助けする」、75歳以上は「何もできない(したくない)」が全体に比べ多くなっています。

■日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできること(複数回答)(年齢別)

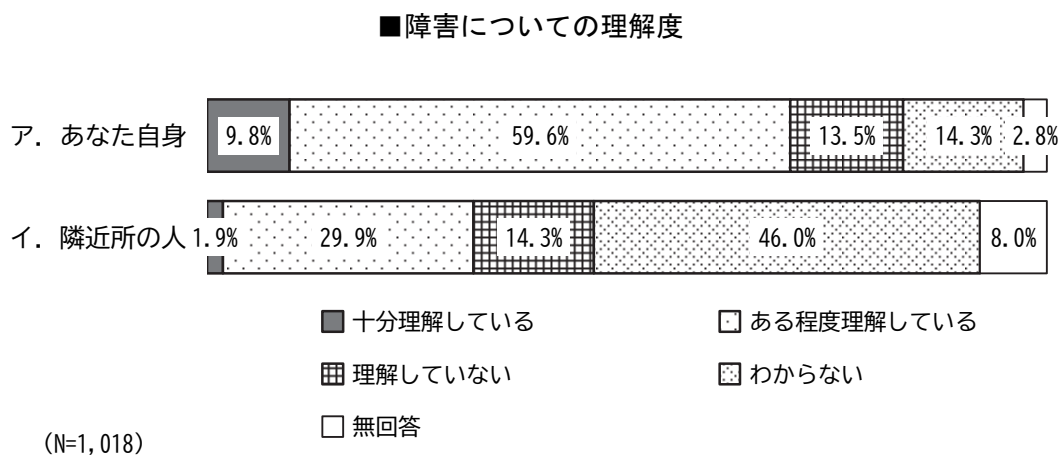
		回答者数	合 計	1. 移動の支 援(車椅子 を押す、 付き添い など)	2. ホームに 落ちない よう声か け・手助 けする	3. 身体的な 介助(着替 え、食事 など)	4. 手話・筆 談・要約 筆記・朗 読を行う	5. 話し相手 や相談相 手	6. 施設への 訪問、手 伝い
全 体		1,018 (100.0)	2,403 (236.1)	430 (42.2)	434 (42.6)	108 (10.6)	58 (5.7)	235 (23.1)	60 (5.9)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	183 (100.0)	428 (233.9)	105 (57.4)	100 (54.6)	15 (8.2)	12 (6.6)	36 (19.7)	8 (4.4)
	2. 40～64歳	455 (100.0)	1,180 (259.3)	211 (46.4)	213 (46.8)	59 (13.0)	40 (8.8)	104 (22.9)	32 (7.0)
	3. 65～74歳	184 (100.0)	424 (230.4)	74 (40.2)	69 (37.5)	21 (11.4)	5 (2.7)	41 (22.3)	15 (8.2)
	4. 75歳以上	193 (100.0)	365 (189.1)	39 (20.2)	50 (25.9)	13 (6.7)	1 (0.5)	54 (28.0)	5 (2.6)
	5. 無回答	3 (100.0)	6 (200.0)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

		7. 家事の援 助(掃除、 洗濯、調 理など)	8. ちょっと した買物 やごみ出 し	9. 地域行事 での支援	10. 安否確認 (見守り支 援)	11. 災害時な どの避難 の手助け	12. その他	13. 何もでき ない(した くない)	14. 無回答
全 体		93 (9.1)	248 (24.4)	106 (10.4)	210 (20.6)	224 (22.0)	51 (5.0)	118 (11.6)	28 (2.8)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	14 (7.7)	28 (15.3)	14 (7.7)	24 (13.1)	49 (26.8)	9 (4.9)	13 (7.1)	1 (0.5)
	2. 40～64歳	51 (11.2)	136 (29.9)	49 (10.8)	98 (21.5)	118 (25.9)	20 (4.4)	40 (8.8)	9 (2.0)
	3. 65～74歳	13 (7.1)	47 (25.5)	26 (14.1)	46 (25.0)	38 (20.7)	10 (5.4)	15 (8.2)	4 (2.2)
	4. 75歳以上	15 (7.8)	36 (18.7)	17 (8.8)	42 (21.8)	18 (9.3)	12 (6.2)	49 (25.4)	14 (7.3)
	5. 無回答	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

③障害についての理解度（問5）

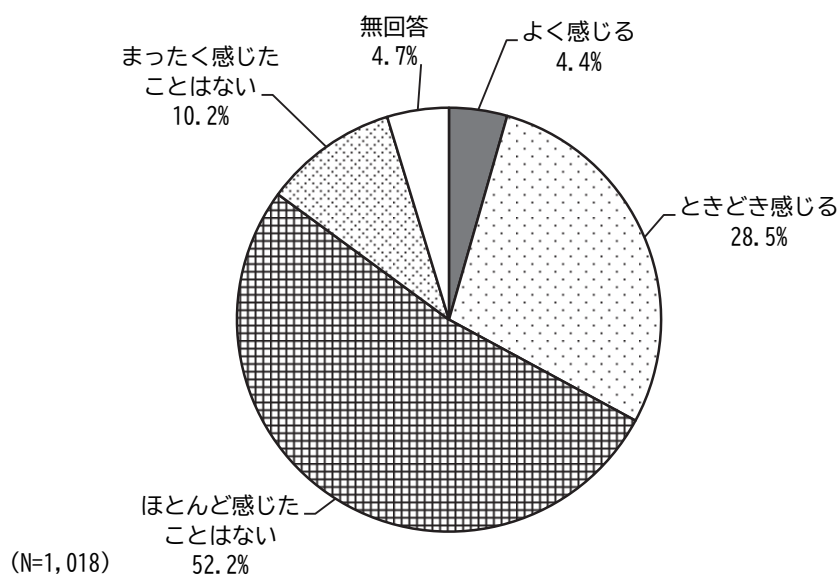
障害についての理解度については、自身は「ある程度理解している」、隣近所の人「わからない」が最も多くなっています。



④日常生活において、障害のある方への差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（問6）

日常生活において、障害のある方への差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無については、「ほとんど感じたことはない」が52.2%で最も多く、次いで「ときどき感じる」が28.5%、「まったく感じたことはない」が10.2%となっています。

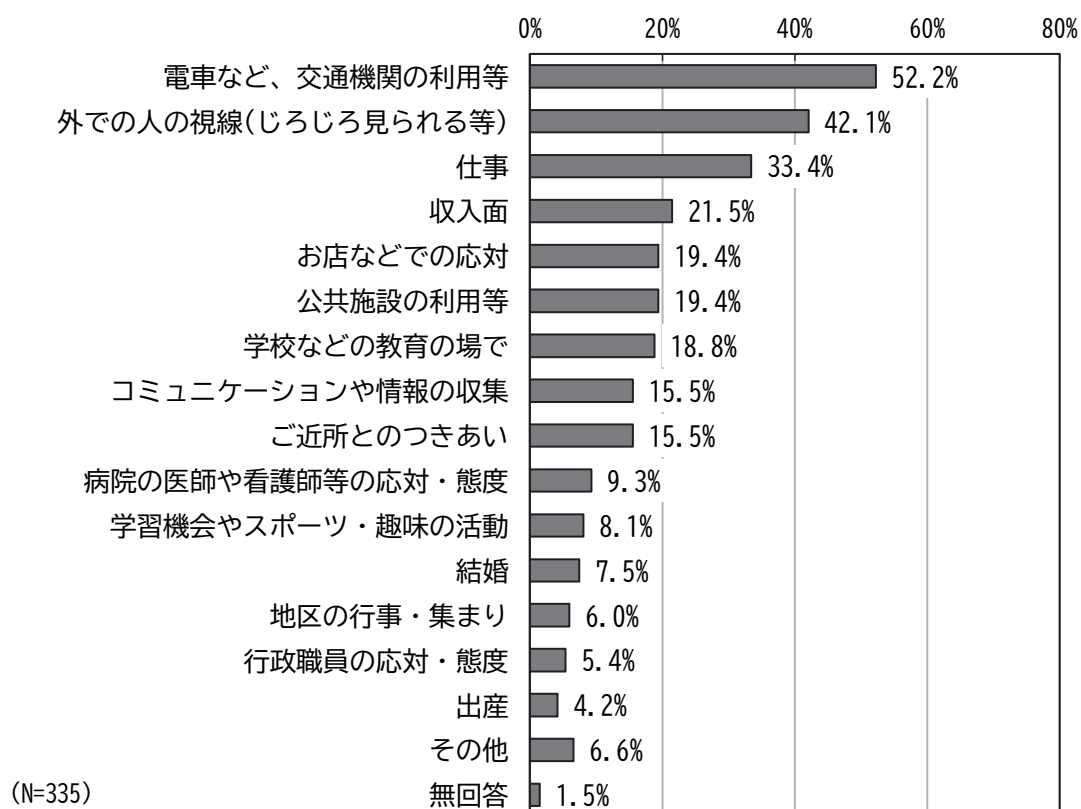
■日常生活において、障害のある方への差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無



⑤差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（問6-1）

問6で「よく感じる」または「ときどき感じる」と回答した方に、どのような場面で差別や偏見、疎外感、気になることがあったかきいたところ、「電車など、交通機関の利用等」が52.2%で最も多く、次いで「外での人の視線(じろじろ見られる等)」が42.1%、「仕事」が33.4%となっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）



年齢別にみると、40～64歳は「仕事」、75歳以上は「ご近所とのつきあい」が全体に比べて多くなっています。

■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面(複数回答)(年齢別)

	回答者数	合 計	1. 学校などの 教育の 場で	2. 仕事	3. 収入面	4. 病院の医 師や看護 師等の応 対・態度	5. コミュニ ケーション や情報 の収集	6. 学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	7. ご近所と のつきあ い	8. 地区の行 事・集ま り
全 体	335 (100.0)	959 (286.3)	63 (18.8)	112 (33.4)	72 (21.5)	31 (9.3)	52 (15.5)	27 (8.1)	52 (15.5)	20 (6.0)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	89 (100.0)	24 (27.0)	24 (27.0)	10 (11.2)	4 (4.5)	11 (12.4)	6 (6.7)	8 (9.0)	1 (1.1)
	2. 40～64歳	172 (100.0)	576 (334.9)	32 (18.6)	75 (43.6)	53 (30.8)	20 (11.6)	36 (20.9)	19 (11.0)	26 (15.1)
	3. 65～74歳	43 (100.0)	94 (218.6)	7 (16.3)	9 (20.9)	5 (11.6)	2 (4.7)	3 (7.0)	1 (2.3)	8 (18.6)
	4. 75歳以上	31 (100.0)	64 (206.5)	0 (-)	4 (12.9)	4 (12.9)	5 (16.1)	2 (6.5)	1 (3.2)	10 (32.3)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

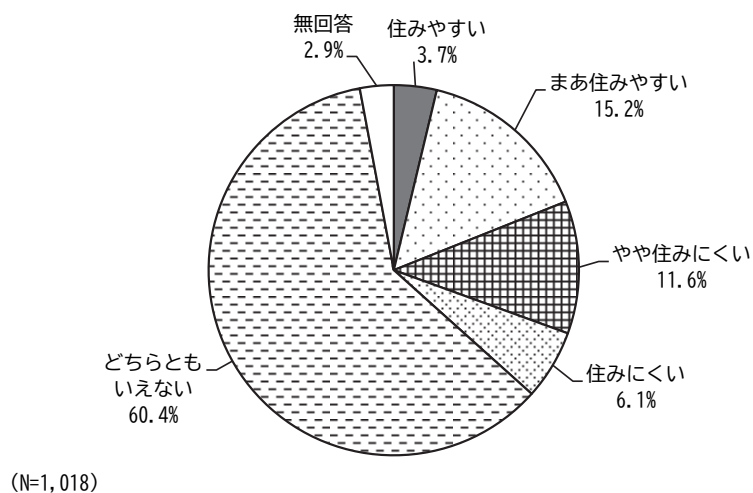
	9. 外での人 の視線(じ ろじろ見 られる等)	10. お店など での応対	11. 行政職員 の応対・ 態度	12. 電車な ど、交通 機関の利 用等	13. 公共施設 の利用等	14. 結婚	15. 出産	16. その他	17. 無回答
全 体	141 (42.1)	65 (19.4)	18 (5.4)	175 (52.2)	65 (19.4)	25 (7.5)	14 (4.2)	22 (6.6)	5 (1.5)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	44 (49.4)	15 (16.9)	2 (2.2)	47 (52.8)	19 (21.3)	3 (3.4)	3 (4.5)	0 (-)
	2. 40～64歳	69 (40.1)	42 (24.4)	13 (7.6)	105 (61.0)	36 (20.9)	18 (10.5)	10 (5.8)	1 (0.6)
	3. 65～74歳	17 (39.5)	5 (11.6)	2 (4.7)	17 (39.5)	5 (11.6)	2 (4.7)	1 (2.3)	4 (9.3)
	4. 75歳以上	11 (35.5)	3 (9.7)	1 (3.2)	6 (19.4)	5 (16.1)	2 (6.5)	0 (-)	4 (12.9)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑥障害者にとっての川口市の住みやすさ（問7）

障害者にとっての川口市の住みやすさについては、「どちらともいえない」が60.4%で最も多く、次いで「まあ住みやすい」が15.2%、「やや住みにくい」が11.6%となっています。

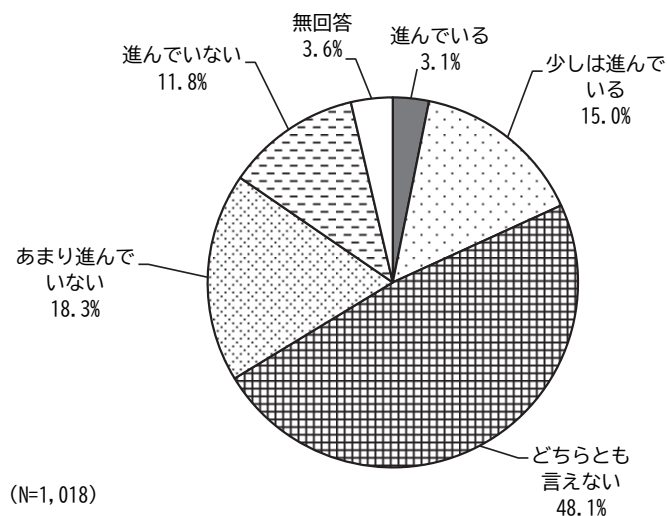
■障害者にとっての川口市の住みやすさ



⑦地域共生社会の進み具合（問8）

地域共生社会（障害の有無に関わらず、「全ての人々が地域、暮らし、生きがいとともに作り、高め合うことができる」社会）の進み具合については、「どちらとも言えない」が48.1%で最も多く、次いで「あまり進んでいない」が18.3%、「少しは進んでいる」が15.0%となっています。

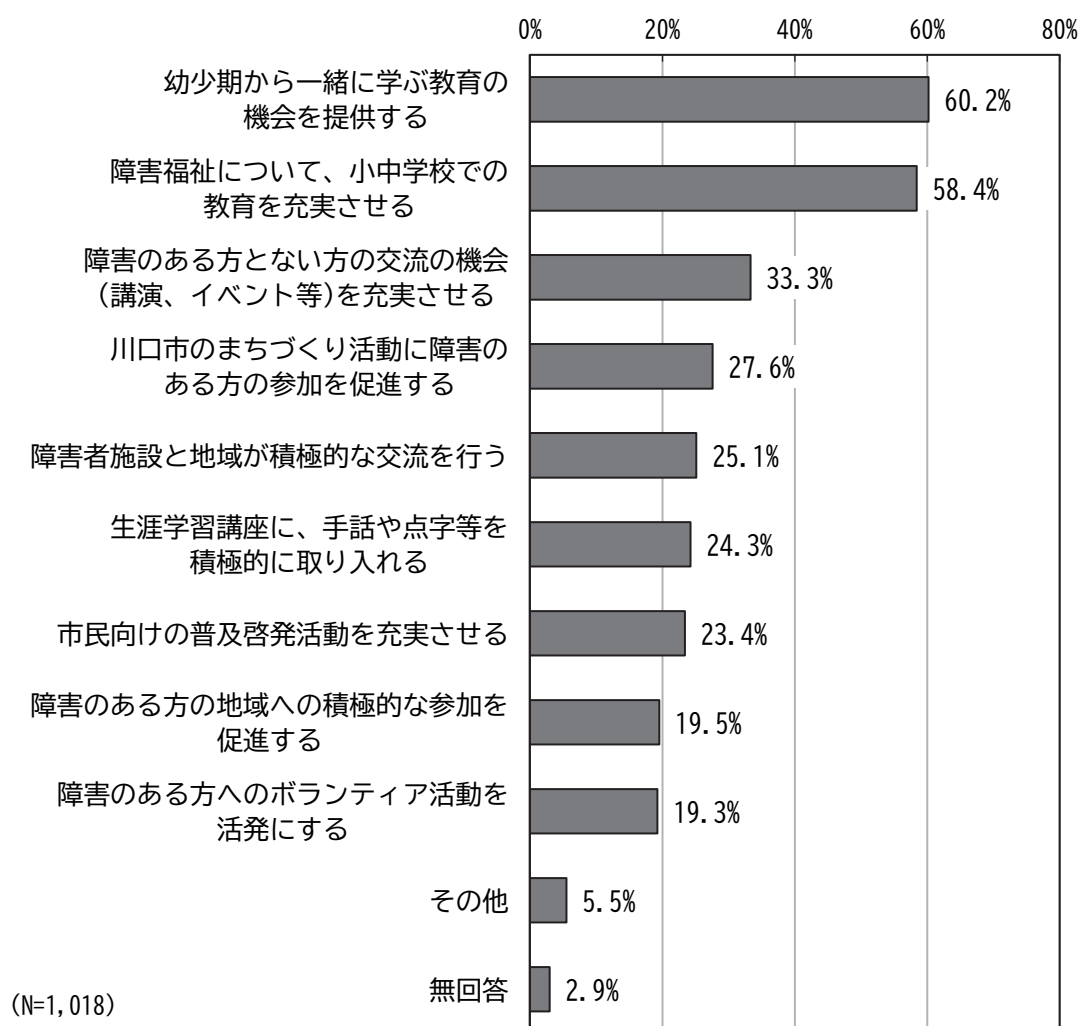
■地域共生社会の進み具合



⑧障害のある方とない方がお互いに理解しあうために重要なこと（問9）

障害のある方とない方がお互いに理解しあうために重要なことについては、「幼少期から一緒に学ぶ教育の機会を提供する」が60.2%で最も多く、次いで「障害福祉について、小中学校での教育を充実させる」が58.4%、「障害のある方とない方の交流の機会（講演、イベント等）を充実させる」が33.3%となっています。

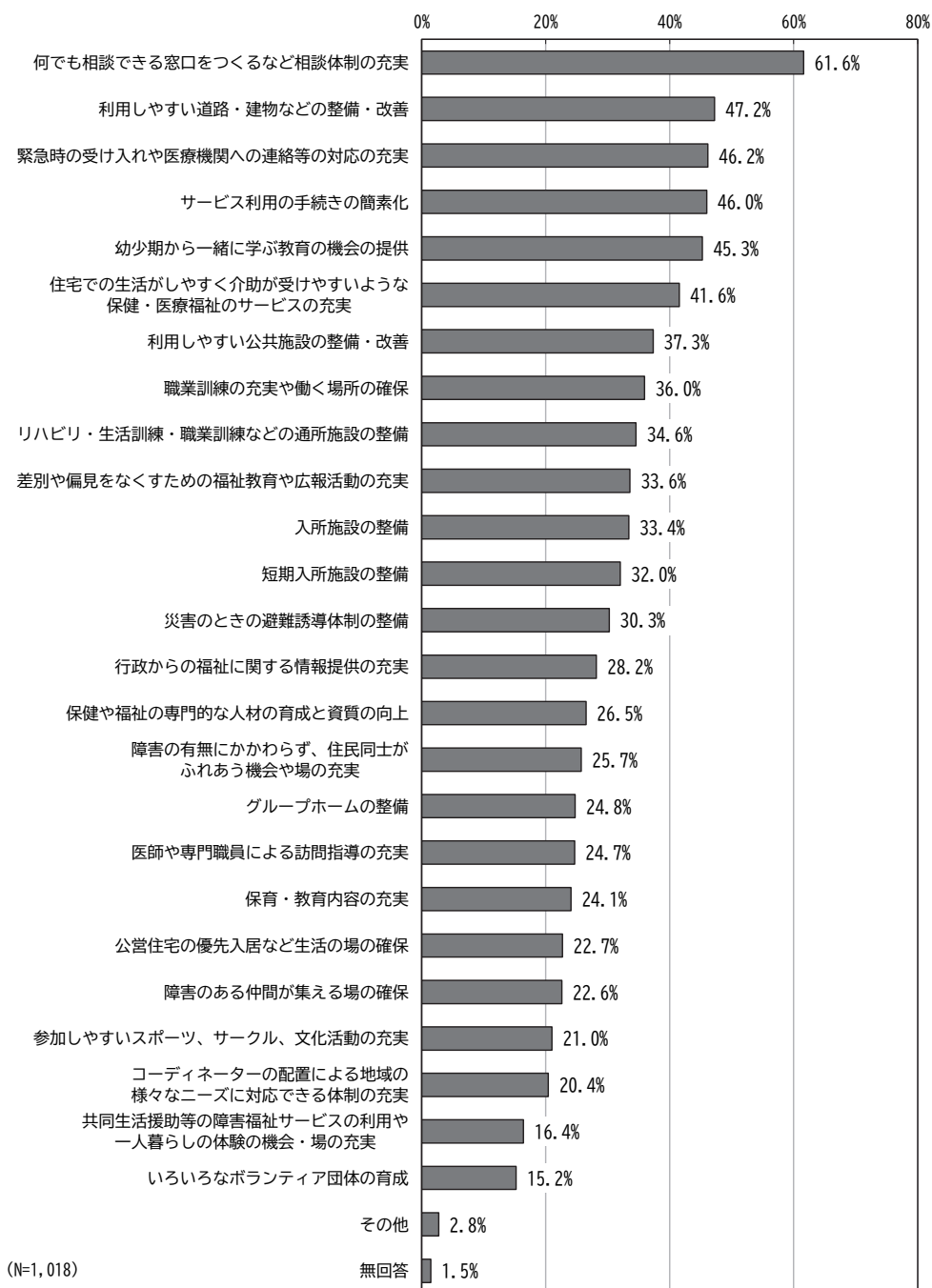
■障害のある方とない方がお互いに理解しあうために重要なこと（複数回答）



⑨障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（問 10）

障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が61.6%で最も多く、次いで「利用しやすい道路・建物などの整備・改善」が47.2%、「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」が46.2%となっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）



年齢別にみると、18～39 歳は「利用しやすい公共施設の整備・改善」が全体に比べ多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（５つまで）（年齢別）

	回答者数	合 計	1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	3. サービス利用の手続きの簡素化	4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実	7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	8. いろいろなボランティア団体の育成
全 体	1,018 (100.0)	8,159 (801.5)	627 (61.6)	470 (46.2)	468 (46.0)	287 (28.2)	270 (26.5)	208 (20.4)	214 (21.0)	155 (15.2)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	183 (100.0)	1,317 (719.7)	99 (54.1)	76 (41.5)	80 (43.7)	51 (27.9)	40 (21.9)	27 (15.3)	20 (10.9)
	2. 40～64歳	455 (100.0)	3,875 (851.6)	275 (60.4)	216 (47.5)	222 (48.8)	144 (31.6)	134 (29.5)	112 (24.6)	72 (15.8)
	3. 65～74歳	184 (100.0)	1,440 (782.6)	124 (67.4)	95 (51.6)	93 (50.5)	47 (25.5)	33 (24.5)	37 (17.9)	35 (19.0)
	4. 75歳以上	193 (100.0)	1,507 (780.8)	128 (66.3)	83 (43.0)	72 (37.3)	44 (22.8)	51 (26.4)	34 (17.6)	28 (14.5)
	5. 無回答	3 (100.0)	20 (666.7)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)

	9. 住宅での生活がしやすいよう保健・医療福祉のサービスの充実	10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	11. 短期入所施設の整備	12. 入所施設の整備	13. グループホームの整備	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供	16. 保育・教育内容の充実	17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保
全 体	423 (41.6)	251 (24.7)	326 (32.0)	340 (33.4)	252 (24.8)	352 (34.6)	461 (45.3)	245 (24.1)	167 (16.4)	366 (36.0)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	67 (36.6)	34 (18.6)	42 (23.0)	54 (29.5)	42 (23.0)	50 (27.3)	91 (49.7)	59 (32.2)	56 (30.6)
	2. 40～64歳	192 (42.2)	109 (24.0)	162 (35.6)	170 (37.4)	130 (28.6)	163 (35.8)	222 (48.8)	132 (29.0)	180 (39.6)
	3. 65～74歳	83 (45.1)	51 (27.7)	58 (31.5)	55 (29.9)	36 (19.6)	65 (35.3)	76 (41.3)	23 (12.5)	62 (33.7)
	4. 75歳以上	80 (41.5)	57 (29.5)	63 (32.6)	61 (31.6)	43 (22.3)	74 (38.3)	70 (36.3)	31 (16.1)	67 (34.7)
	5. 無回答	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	2 (66.7)	0 (-)	1 (33.3)

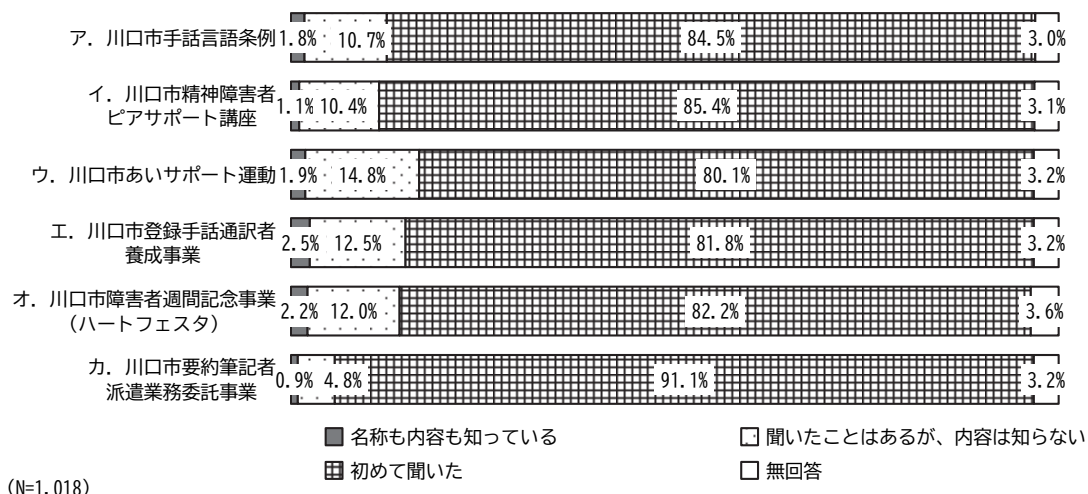
	19. 障害のある仲間が集える場の確保	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保	24. 災害のときの避難誘導体制の整備	25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実	26. その他	27. 無回答
全 体	230 (22.6)	380 (37.3)	262 (25.7)	481 (47.2)	231 (22.7)	308 (30.3)	342 (33.6)	28 (2.8)	15 (1.5)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	40 (21.9)	90 (49.2)	31 (16.9)	88 (48.1)	25 (13.7)	52 (28.4)	4 (31.7)	0 (-)
	2. 40～64歳	104 (22.9)	176 (38.7)	117 (25.7)	236 (51.9)	100 (22.0)	146 (32.1)	16 (35.4)	3 (0.7)
	3. 65～74歳	41 (22.3)	51 (27.7)	48 (26.1)	76 (41.3)	57 (31.0)	51 (27.7)	1 (32.1)	0 (-)
	4. 75歳以上	44 (22.8)	61 (31.6)	65 (33.7)	78 (40.4)	48 (24.9)	58 (30.1)	64 (33.2)	7 (3.6)
	5. 無回答	1 (33.3)	2 (66.7)	1 (33.3)	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサグナル数を100とした割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑩事業所の認知度（問 11）

事業所については、全事業所において「初めて聞いた」が最も多くなっています。

■事業所の認知度



5. 関係団体

(1) 生活を送る上での困りごと（問1）

団体名称	回答
川口あさひ福祉会	・第1種身体（知的）障害者だけでなく、第2種も Suica を発行できるようにしてほしい。ほぼ毎日交通機関を使うので、手帳がボロボロになってしまう。
川口精神障害者の家族会わかば会	・ひきこもっていると、相談はできてもサポートに結びつかない。 ・障害を持つ子ども（50代）と別々に暮らしているので、食生活や生活全般に不安を感じている。医療とつながっておらず、日々不安を感じている。 ・障害者枠で働いているが、健常者には理解してもらえないことがあり、精神的に落ちこむ事が多い。 ・当事者（50代）は年金がなく、経済的に厳しい。本人の体調が悪い時は、親も具合が悪くなる。 ・障害年金について受給漏れの人がいるので、もっと周知してほしい。
川口市聴力障害者協会	・コミュニケーション支援が足りないため、自己診断、自己決定が難しい。耳が聞こえず、コミュニケーションができないことで、相手にしてくれなかったり、敬遠されたりすることがある。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・郊外ではバスの本数が減り、バス停まで遠くなったので、移動に時間がかかる様になった。
彩の会	・一人で入浴できない知的障害者は、家族が高齢になると介助も大変になるので、高齢者の入浴デイサービスのように入浴サービスが利用できると良い。契約しているショートステイ施設で、入浴のみ・送迎有で利用できると良い。
川口市視覚障害者福祉協会	・視覚障害者が生活する上で、書類の記入や作成に困っている。 ・同行援護の事業者が減り、外出の制限を余儀なくされる。 ・日常生活の制限による支障があるため、相応の対応をしてほしい。 ・寝たきり状態になることもあるため対応に苦慮する。 ・同行援護利用に負担があり、買い物等に沢山利用したいときでも、負担額を考えると利用したくても思い留まってしまう。本人の所得に応じた負担額設定にしてほしい。 ・買い物などのとき、最近は店員が少なくなっていて聞くことができない。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・家族（保護者）の高齢化等により「親亡き後の暮らし」の不安を訴える声をよく聞く。

(2) 生活を送る上での困りごとを相談する相手・団体 (問2)

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・親か事業所 ・親のみ ・障害者枠で働いていても、上司、同僚には相談はできない。
川口市聴力障害者協会	・手話のできる相談相手・担当者がいない。 ・健聴者を相手に話しても、耳が聞こえない立場での心情や困った状況をなかなか理解してもらえない。 ・電話ができないため、担当者とリアルタイムで話がしたいが、メールを送ってもすぐに回答をもらえない。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・主に自分の子どもで、その他は近所の住人や友人
彩の会	・市役所終了時間後、夜間の障害児・者、その家族の緊急時の電話やメール相談があると助かる。
川口市視覚障害者福祉協会	・ケアマネジャー、川口市各種部署の担当者、埼玉県福祉部の担当者、主治医等 ・相談できる団体には限りがあり、福祉課の外郭団体など、障害者の相談を受け入れる相談窓口などの体制があれば、生活に便利になる。 ・仲間（川口市視覚障害者福祉協会のメンバー）、市役所障害福祉課、同行援護の人に助けてもらっている。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・施設利用者は、全員、相談支援事業所の相談員や利用事業所のサービス管理責任者と繋がっており、何か問題があれば早期に発見・対応ができる体制にある。 ・サービス利用につながっていない方に対する相談支援機関の情報提供については、地域の「重層的支援体制」の整備が期待される。

(3) 災害時における準備やその不安、または必要な支援 (問3)

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・避難場所では障害者が安心して過ごせる様に必要な事、物についてのアンケートをとって欲しい。 ・本人は一人暮らしなので、避難すべき時は行政が声かけをしてほしい。 ・パニックに陥り、自己判断が出来ないと思う。
川口市聴力障害者協会	・サイレンや放送での音からの情報では避難することは難しい。光や振動で個別に知らせてくれるシステムがほしい。 ・知り合いのいないところでは孤独感に苛まれやすい。手話のできる方と一緒にしてくれるか、同じ障害を持った仲間との共同生活（避難所又は事務所）にしてほしい。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・障害者で一人暮らしの方は、災害時最低限の手荷物でも、避難所へ歩いて行く事は困難である。自動車で行ける様に許可ステッカー等の検討をしてほしい。 ・避難所以外に、一次的にスーパー等の立体駐車場が解放されていれば車でも行ける。
彩の会	・数日分の備蓄はしていても長引いた場合、食糧品や水分以外のもので必要な物はどのように手に入れたら良いかわからない（ex. オムツ、薬等）。 ・多くの親は、避難所利用はしない、できないと考えている。避難所までの移動に危険が伴うし、行った先で障害者専用の部屋を用意してもらえとは聞いているが、障害種別も程度も様々な中で一緒に過ごすことは、親子共々ストレスに感じてしまう。障害種別で分けられると良いと思う。
川口市視覚障害者福祉協会	・川口市の災害時要支援登録 ・地域の町会、自治会、民生委員 ・個人的に災害時の備えは概ね備蓄済 ・遠地、避難先確保（要医療、要介護） ・災害が起こる前に障害者の家庭にわかりやすく誘導やお知らせなどをしてほしい。 ・マンションに住んでいるが、災害時など緊急の場合に一人だったらどうしたらよいか常に不安に感じている。非常ベルが鳴っても、動きようがない。非常ベルがあっても本当に押しても良い物なのか判断がつかない。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・当団体に加入している施設では、施設開所時の非常事態に備えて、独自に防災グッズ・非常用食品・飲料水等を用意しているが、その内容は各施設の判断となっており、費用も施設負担である。 ・障害者を受け入れている施設における備蓄品等の対応については、施設任せではなく行政として一定の基準を示すほか、防災対策上の所要経費について助成制度を設ける必要がある。

(4) 急遽、支援が受けられなくなる可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援（問4）

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・ 障害者のいる家庭には、行政側から定期的に訪問するか連絡をしてほしい（意見多数）。 ・ 主に緊急の時など、本人が困ったとき、行政機関へすぐ相談できるようにしてほしい。
川口市聴力障害者協会	・ 手話通訳者の確保が必要（手話通訳者の高齢化、派遣の人員不足が心配）なので、コミュニケーション支援ボードや、文字情報を獲得できる環境がほしい。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・ 支援については隣人または町会で行っている。
彩の会	・ 緊急時に障害児・者を預かってもらえるサービスがあると助かる。現在、緊急時の場合は、契約している施設へお願いしても、断られることがあり、緊急時の用事を諦めたり、取りやめたりしている方がいる。 ・ ショートステイ利用者がいても緊急の方を優先に受け入れる体制をとってほしい（特に定期的利用者の方には協力をお願いしたい）。
川口市視覚障害者福祉協会	・ 川口市社会福祉事務所の管轄、指定医療機関での支援 ・ 入院など、家族に保証人を願うのは基本だが、家族がいない場合もある。なんらかの保証制度があれば有難い。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・ 緊急一時利用のニーズは、高齢社会の進行下において、今後とも増加していくことは明らかである。そのための受け皿として「短期入所事業所」の整備は急務である。短期入所の場としては、「グループホーム併設型」も有効であるが、重度で身体介護を要する方や行動障害のある方については、支援体制がなく受け入れ困難な実態がある。 ・ 一方、短期入所の専門施設「しらゆりの家」では、入所施設の待機状況にある長期利用の重度障害者と緊急利用の方で常に満床状態となっている。

(5) 将来的に家族（親族）からの支援が得られなくなる可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援（問5）

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・ 本人にとって、緊急時に相談できる行政担当者がいてほしい。
川口市聴力障害者協会	・ 良き理解者がいなくなることの孤独感・疎外感を解消できる支援がほしい。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・ デイサービス、ホームヘルパー
彩の会	・ 知的障害者と高齢者の親と一緒に入所できる施設があると安心する（ex. 1 Fが高齢者、2 Fが障害者等の複合施設）。
川口市視覚障害者福祉協会	・ 社会福祉法人など、困ったことを受け入れる保証制度があるとよい（ex. 入院時の困り事、買い物や洗濯物の運搬、安心して家の鍵を預けて患者の困り事を代理で行う）。また、患者側もこのような想定を準備しておくことが必要である。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・ 現在、障害のある子どもと暮らしている「保護者」の多くは、自身が高齢になっても、「子どもと離れて暮らす」という決心ができない方が多い。 ・ 親が元気なうちに、既存のグループホームの見学や体験、短期入所施設の利用などを行い、万一の時にこれらのサービスを活用できるように準備しておくことが必要である。 ・ サービス利用計画を作成する相談支援事業所の積極的な関わりが重要である。

(6) 差別解消法等の改正後の変化等 (問6)

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・どう改正されたか分からないので、行政の方から差別解消法等の改正内容を分かりやすく広めてほしい。
川口市聴力障害者協会	・差別に対する認識は広まりつつあるが、まだ適切な対応ができていない。まだ手話が特別なものと捉えている人が多い。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・ホテルやレストラン等で障害者にとって不便な所を指摘すると、すぐに改善してもらえるようになるとうい。
彩の会	・今のところ、特に変化は感じないが、差別解消法等は一般の方への周知が大事なので、FM川口やケーブルテレビ等も利用し、啓発してはどうか。
川口市視覚障害者福祉協会	・視覚障害者が働ける場所の不足 ・改善されていると思われる。 ・民間は合理的配慮の意味がわかっていない事が多い。行政や大きな組織などは、かなり合理的配慮について理解しているように思われる。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・施設において、差別解消に関わる内容の研修機会が増加してきている。

(7) 川口市で暮らしていく上で不足していると感じる支援や問題 (問7)

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・精神障害者の医療費(入院)を2、3級手帳の人もせめて1割にしてほしい。 ・精神病院の部屋が分かれておらず、畳だと聞いたので改善してほしい。 ・横のつながりを広げてほしい。連携対応をしてほしい。
川口市聴力障害者協会	・道路では車道と歩道との境界線のないところが多く、後方から来る自動車等の存在に気がつかないことがあり「ヒヤッ!」とすることが多い。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・車椅子移動で歩道から車道へ出る時に急勾配の所が多い。また、歩道も車道側への傾斜角が強い所がある為に肢体障害者や高齢者は歩きにくい。
彩の会	・細かな体制が整っているのですが、それぞれの組織との横の連携がとれていない様に思う。チームという形でいろんな職種の方が関わり、障害児・者、その家族の支援を切れ目なく続けていけるような支援体制が出来るといいと思う。 ・情報は個人がとりにいくものであると思うが、自分から情報がとれない人、また、そういう環境が整っていない人に対する支援はまだ手薄かと思う。
川口市視覚障害者福祉協会	・概ね改善されていると思われる。 ・福祉課に相談したものの対応課がわからず、順送りされ、インフラが止まって餓死した障害者親子がいる。市として、支援を怠っていると感じる。 ・駅周辺の「車椅子マーク」の所に一般車両が止まっている。案内板の表示をわかりやすくしてほしい。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・「重度で身体介護を要する方や行動障害のある方」については、親亡き後の「地域での生活の場」が絶対的に不足している。 ・入所施設の新規整備に消極的な政策を継続するのであれば、入所施設に代わる地域生活の場とされるグループホームについて、重度者も受け入れられる条件(施設の構造・設備・支援体制等)を整えた「新タイプのサービス」を制度化する必要がある。 ・既存の「日中サービス支援型グループホーム」についても、「障害者の高齢化・重度化に対応する」という目的に対応した施設の構造・設備等の整備基準をはじめ運営の基準を明確にする必要がある。 ・現状では、利用者の障害特性に対応できる設備・体制がないまま、行き場のない重度障害者の「受け皿化」するリスクがある。

(8) 川口市で暮らしていく上で「利用しやすい」や「有効だ」と感じること(問8)

団体名称	回答
川口精神障害者の家族会わかば会	・事業所や相談所は、たくさんあるので良いと思う。
川口市聴力障害者協会	・障害者の割引や優待制度がある。
一般社団法人川口市身体障害者福祉会	・公共施設が多いので利用しやすい。
川口市視覚障害者福祉協会	・ケアマネジャーが、モニタリングを通して適宜暮らしの度合いを評価している。 ・各種の行政サービスの向上を感じつつある。 ・使いたい制度が見当たらないことがある。ケアマネジャーに委任している。 ・終活の備えも出来た。 ・市役所内が、障害者に合理的配慮が行き届いている。 ・市役所の障害福祉課の場所がわかりやすい。また職員の方の対応に感謝している。
川口市内障害者施設運営団体連絡会	・他市に比べて、市内の障害福祉サービス事業所の数や種類は充実している方だと思われる。 ・具体的に利用に結び付けていく機能も有効性は高いと評価できる。

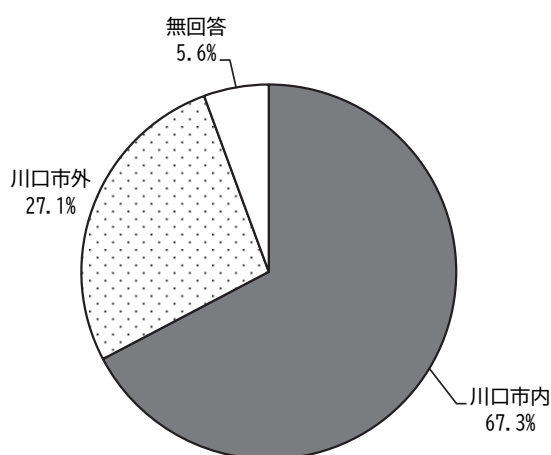
6. 事業所

(1) 法人（事業所）について

①法人の本部・本社の所在地（問1）

法人の本部・本社の所在地については、「川口市内」が67.3%、「川口市外」が27.1%、となっています。

■法人の本部・本社の所在地

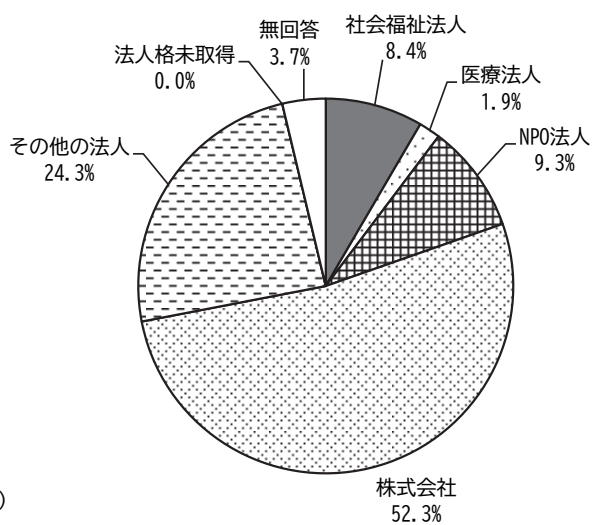


(N=107)

②法人の運営主体（問2）

法人の運営主体については、「株式会社」が52.3%で最も多く、次いで「その他の法人」が24.3%、「NPO法人」が9.3%となっています。

■法人の運営主体

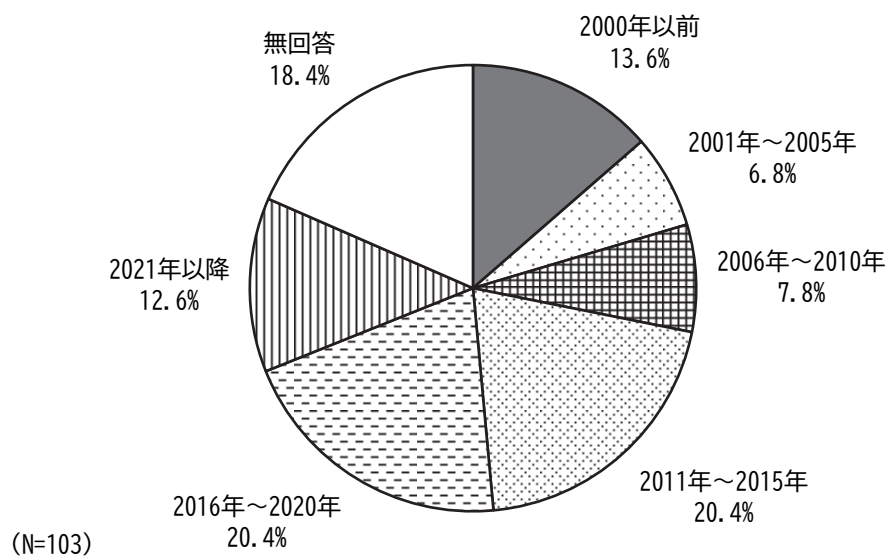


(N=107)

③法人格の取得時期（問2付問）

問2で法人と回答した方に、法人格の取得時期をきいたところ、「2011年～2015年」、「2016年～2020年」が20.4%で最も多く、次いで「2000年以前」が13.6%となっています。

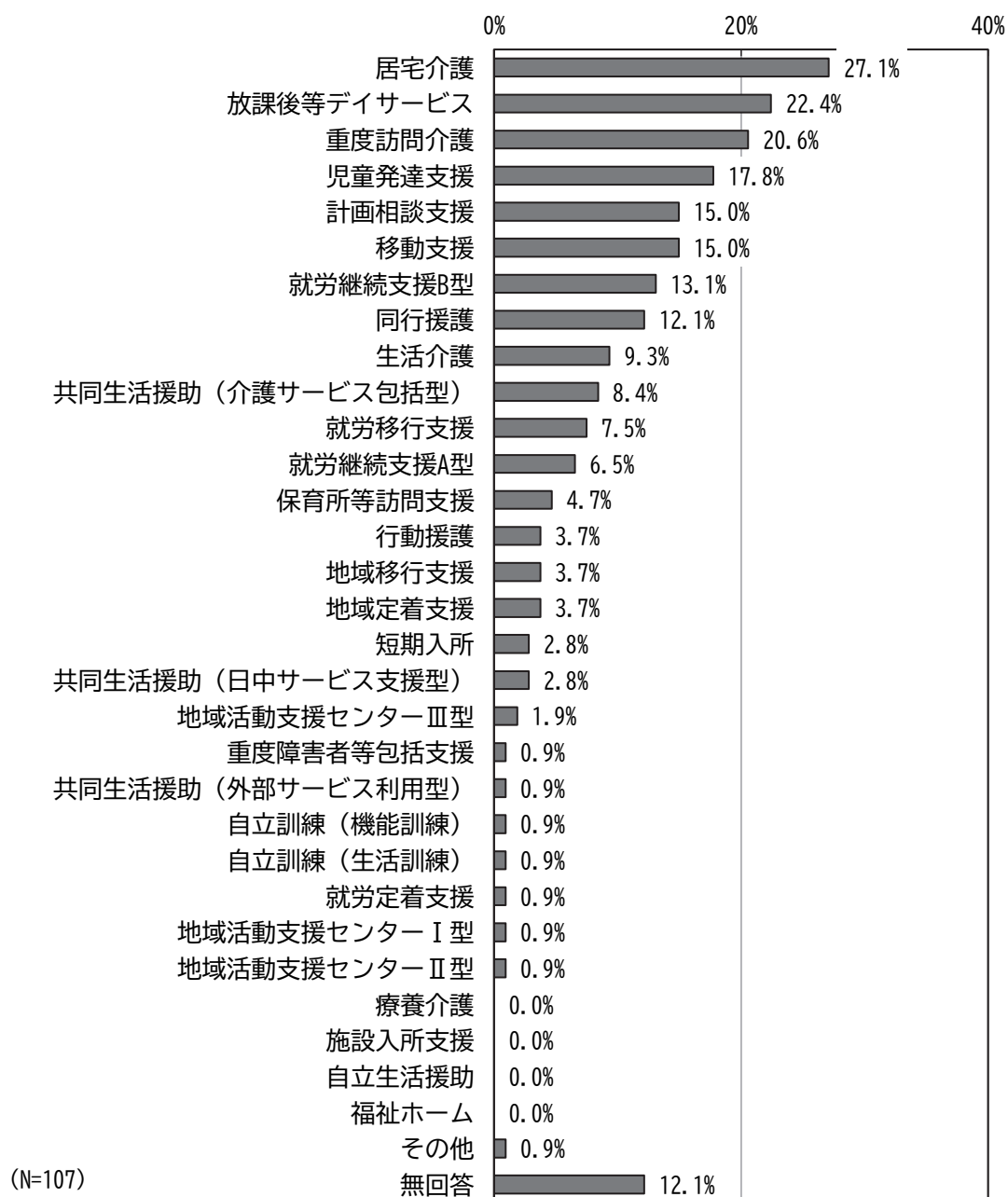
■法人格の取得時期



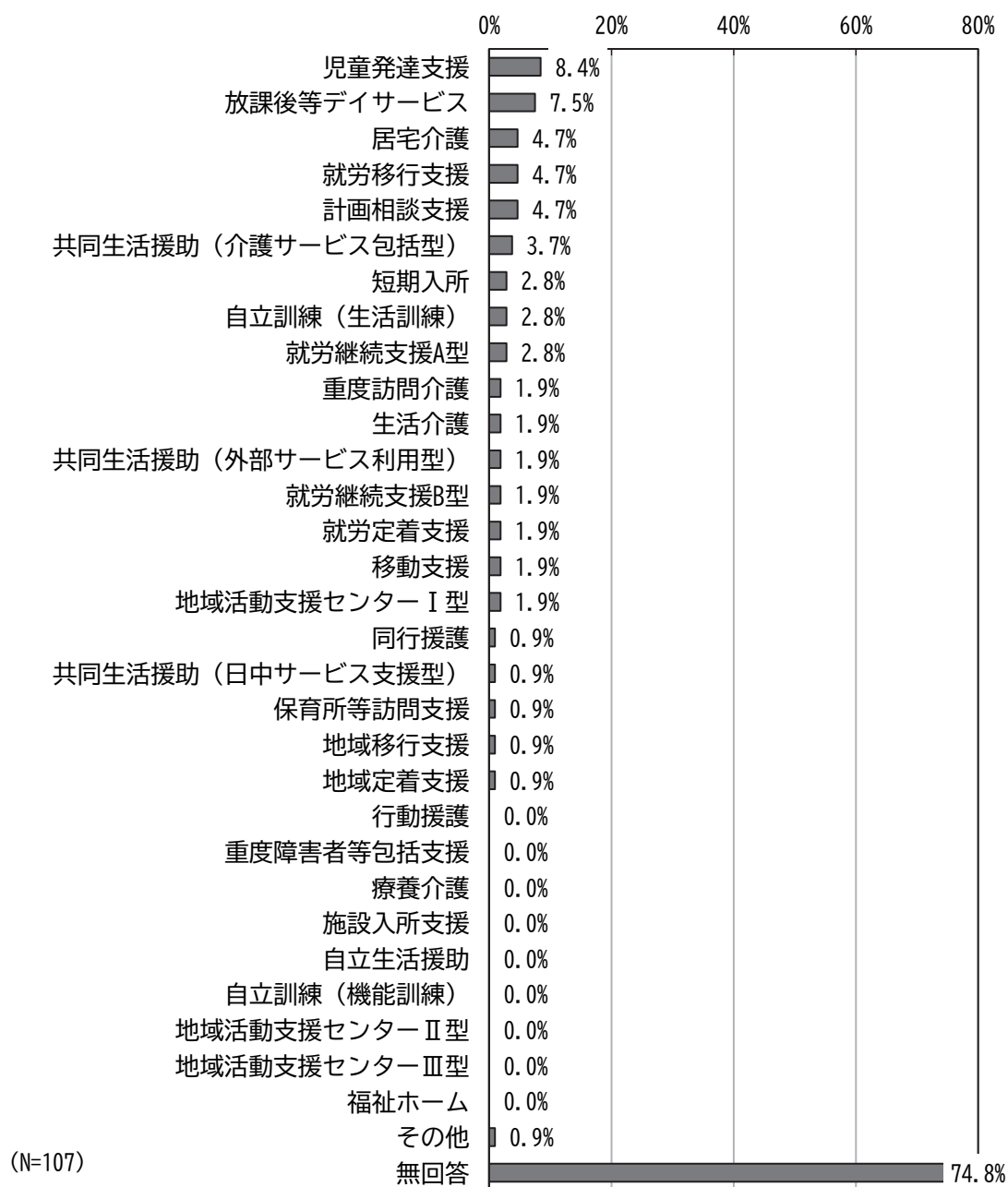
④運営する事業所（問3）

運営する事業所については、川口市内は「居宅介護」が27.1%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が22.4%、川口市外は「児童発達支援」が8.4%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が7.5%となっています。

■運営する事業所（川口市内）（複数回答）



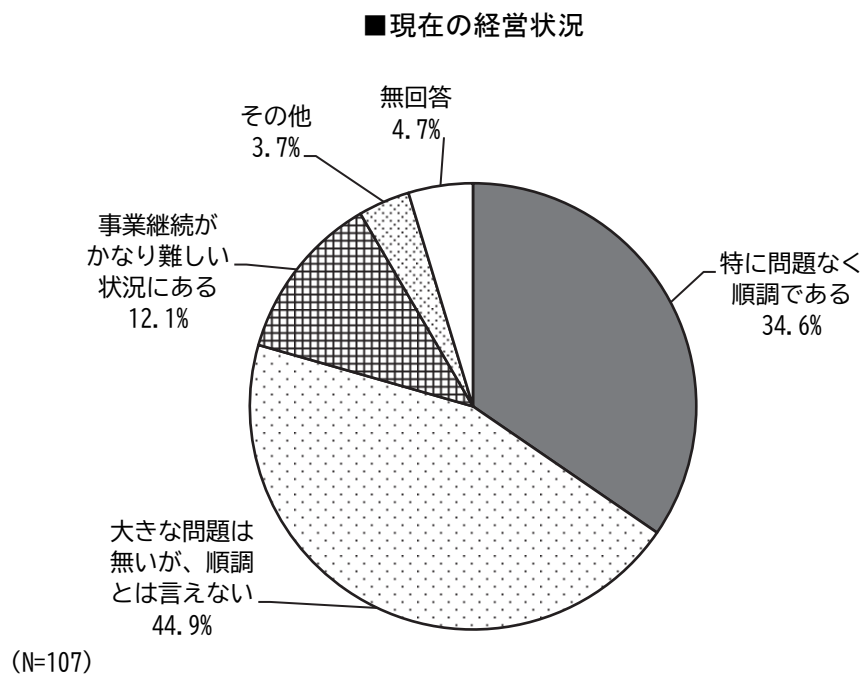
■運営する事業所（川口市外）（複数回答）



（２）事業所の運営状況について

①現在の経営状況（問４）

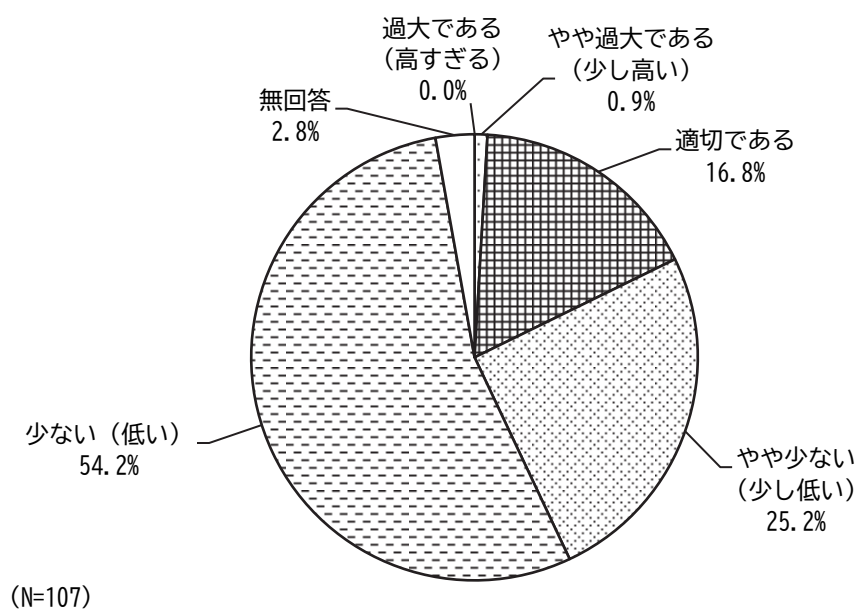
現在の経営状況については、「大きな問題は無いが、順調とは言えない」が44.9%で最も多く、次いで「特に問題なく順調である」が34.6%、「事業継続がかなり難しい状況にある」が12.1%となっています。



②障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（事業単価について）（問5①）

障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（事業単価について）は、「少ない(低い)」が54.2%で最も多く、次いで「やや少ない(少し低い)」が25.2%、「適切である」が16.8%となっています。

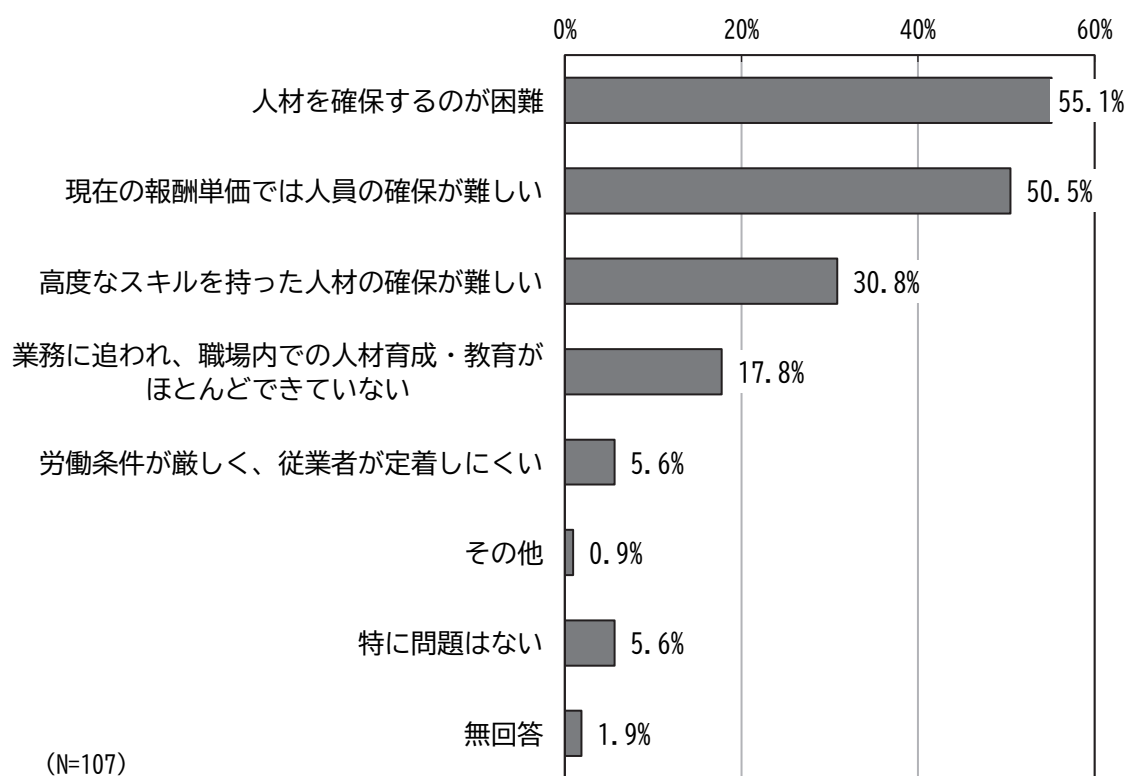
■障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（事業単価について）



③障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（従業員の人員確保・人材確保について）（問5②）

障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（従業員の人員確保・人材確保について）は、「人材を確保するのが困難」が55.1%で最も多く、次いで「現在の報酬単価では人員の確保が難しい」が50.5%、「高度なスキルを持った人材の確保が難しい」が30.8%となっています。

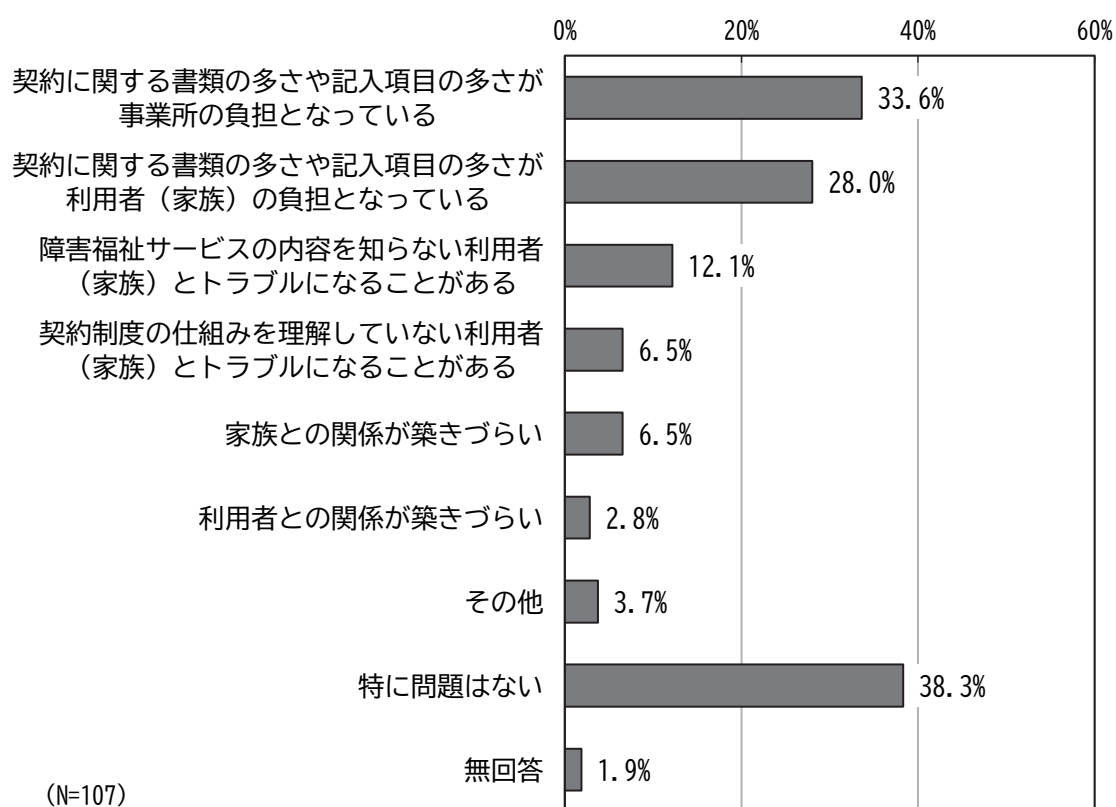
■障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと （従業員の人員確保・人材確保について）（2つまで）



④障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（利用者との関係や契約の問題について）（問5③）

障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（利用者との関係や契約の問題について）は、「契約に関する書類の多さや記入項目の多さが事業所の負担となっている」が33.6%で最も多く、次いで「契約に関する書類の多さや記入項目の多さが利用者(家族)の負担となっている」が28.0%、「障害福祉サービスの内容を知らない利用者(家族)とトラブルになることがある」が12.1%となっています。

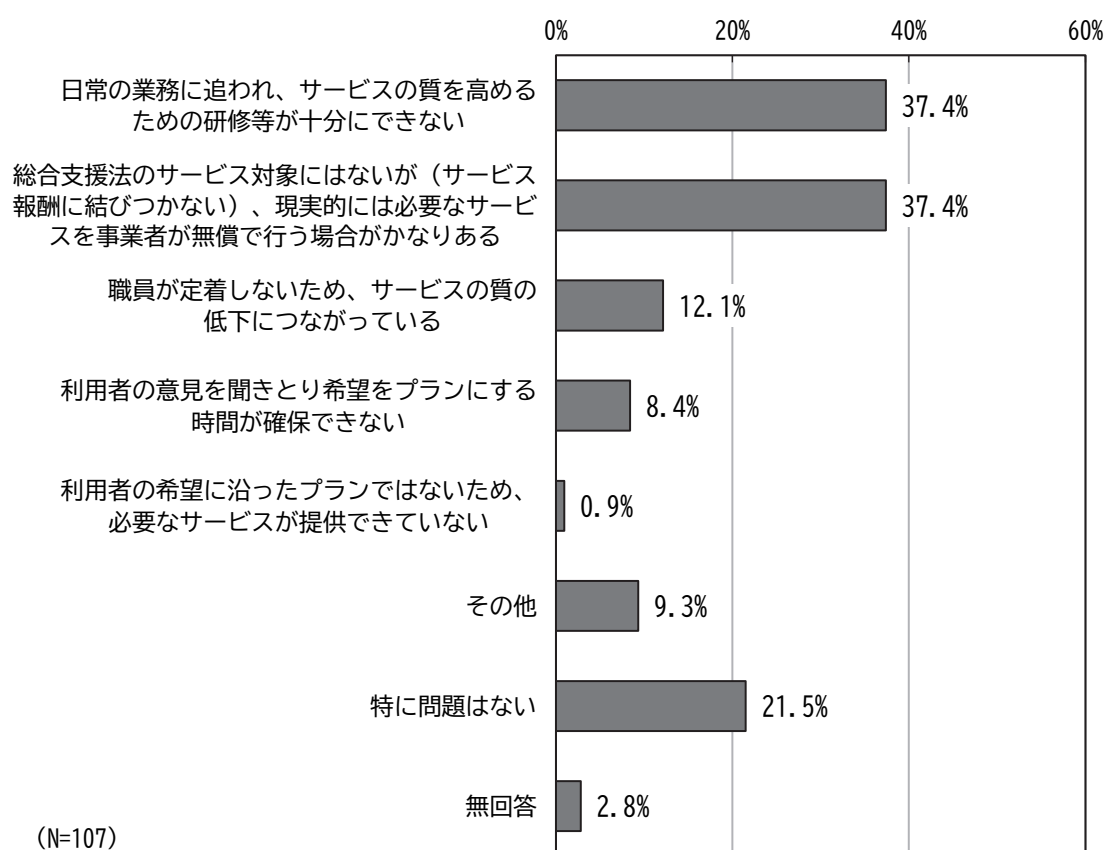
■障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと （利用者との関係や契約の問題について）（2つまで）



⑤障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（サービスの内容やサービスの質の向上について）（問5④）

障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと（サービスの内容やサービスの質の向上について）は、「日常の業務に追われ、サービスの質を高めるための研修等が十分にできない」、「総合支援法のサービス対象にはないが、現実的には必要なサービスを事業者が無償で行う場合がかなりある」が37.4%で最も多く、次いで「職員が定着しないため、サービスの質の低下につながっている」が12.1%となっています。

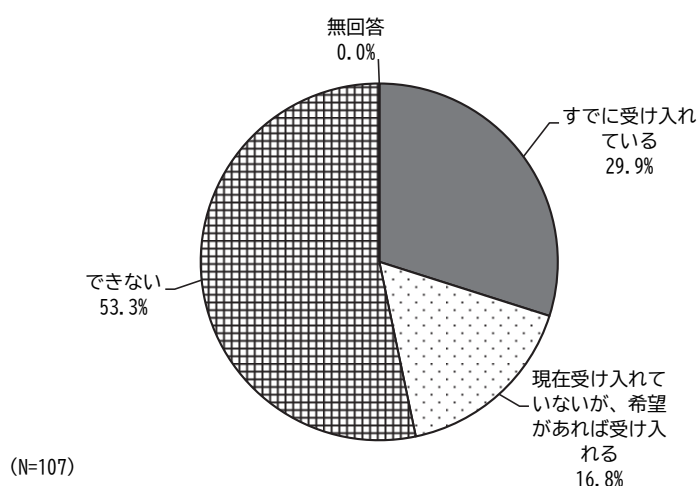
■障害福祉サービス事業を運営していく上で問題だと思うこと （サービスの内容やサービスの質の向上について）（2つまで）



⑥強度行動障害のある方の受け入れの可否（問6）

強度行動障害（自傷、他傷、破壊、非衛生的、異食、極端な固執行動など）のある方の受け入れの可否については、「できない」が53.3%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が29.9%、「現在受け入れているが、希望があれば受け入れる」が16.8%となっています。

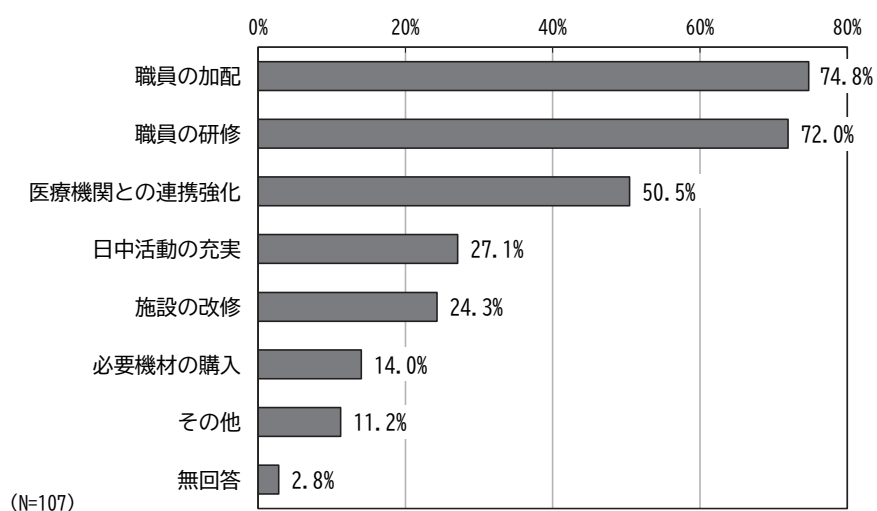
■強度行動障害のある方の受け入れの可否



⑦強度行動障害のある方を受け入れるために必要なこと（問6-1）

強度行動障害のある方を受け入れるために必要なことについては、「職員の加配」が74.8%で最も多く、次いで「職員の研修」が72.0%、「医療機関との連携強化」が50.5%となっています。

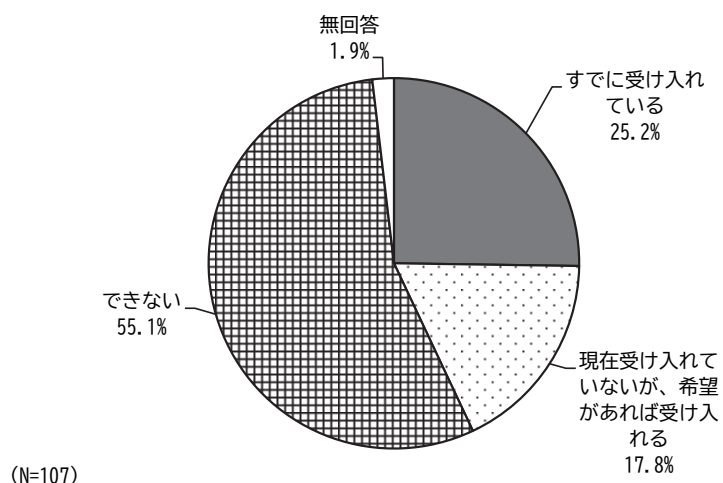
■強度行動障害のある方を受け入れるために必要なこと（複数回答）



⑧重度心身障害のある方の受け入れの可否（問 7）

重度心身障害のある方の受け入れの可否については、「できない」が 55.1%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が 25.2%、「現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる」が 17.8%となっています。

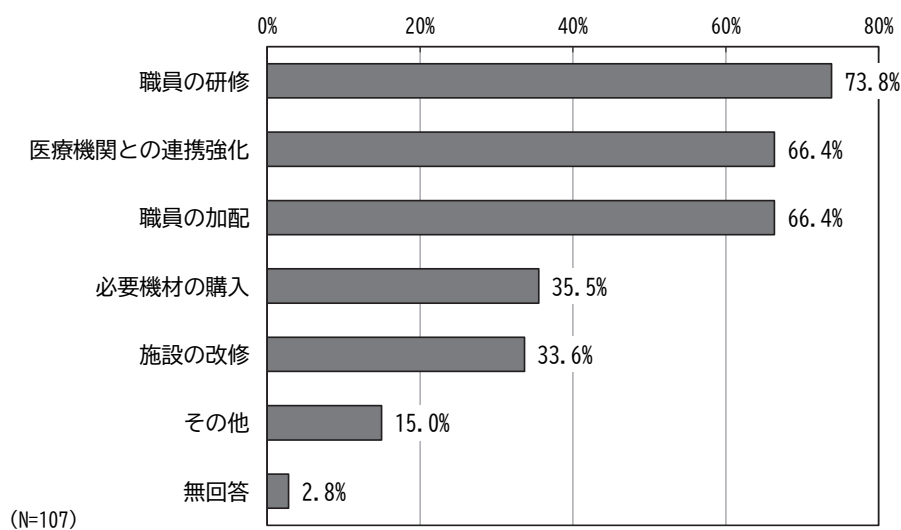
■強度行動障害のある方の受け入れの可否



⑨重度心身障害のある方を受け入れるために必要なこと（問 7-1）

強度行動障害のある方を受け入れるために必要なことについては、「職員の研修」が 73.8%で最も多く、次いで「医療機関との連携強化」、「職員の加配」が 66.4%となっています。

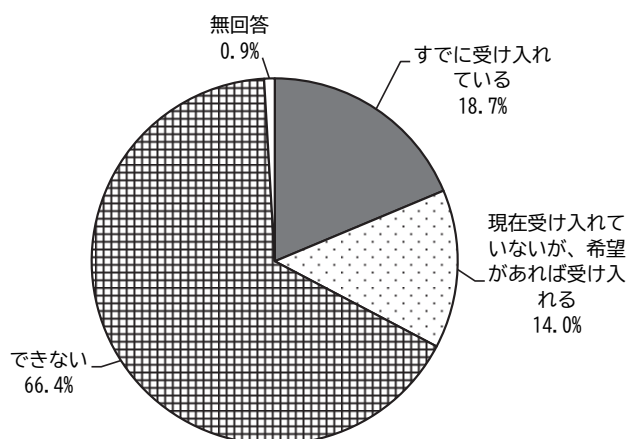
■強度行動障害のある方を受け入れるために必要なこと（複数回答）



⑩ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方の受け入れの可否（問8）

ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方の受け入れの可否については、「できない」が66.4%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が18.7%、「現在受け入れているが、希望があれば受け入れる」が14.0%となっています。

■ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方の受け入れの可否

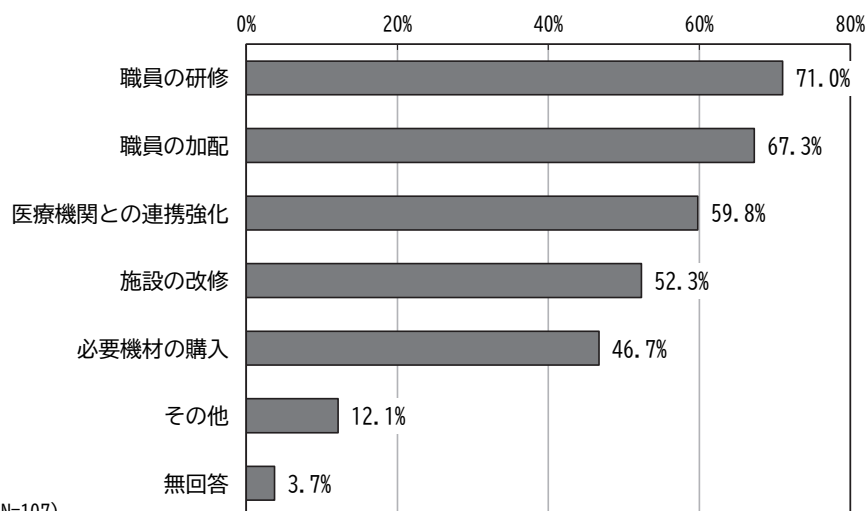


(N=107)

⑪ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方を受け入れるために必要なこと（問8-1）

ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方を受け入れるために必要なことについては、「職員の研修」が71.0%で最も多く、次いで「職員の加配」が67.3%、「医療機関との連携強化」が59.8%となっています。

■ADL が全介助の重度重複障害者で車椅子を使用している方を受け入れるために必要なこと（複数回答）

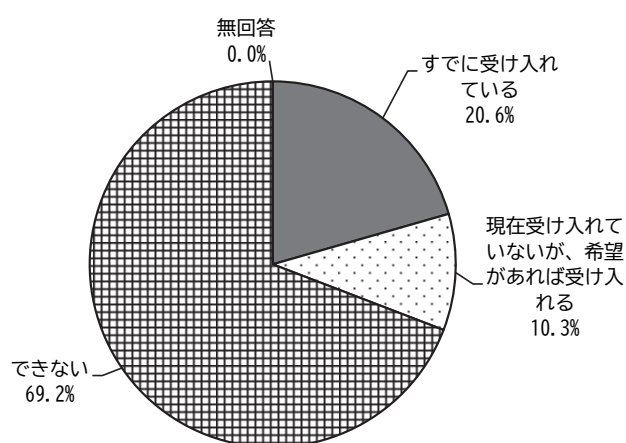


(N=107)

⑫医療的ケアが必要な方の受け入れの可否（問9）

医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、インシュリン等の注射など）が必要な方の受け入れの可否については、「できない」が69.2%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が20.6%、「現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる」が10.3%となっています。

■医療的ケアが必要な方の受け入れの可否

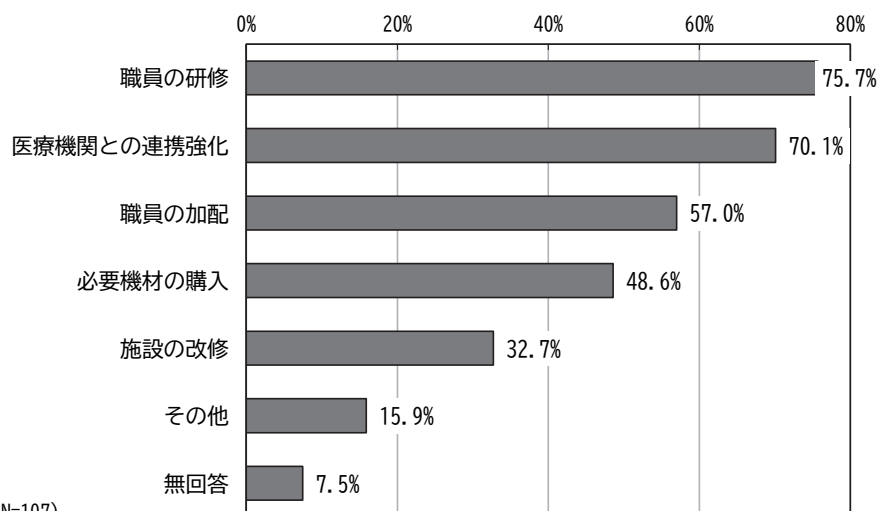


(N=107)

⑬医療的ケアが必要な方を受け入れるために必要なこと（問9-1）

医療的ケアが必要な方を受け入れるために必要なことについては、「職員の研修」が75.7%で最も多く、次いで「医療機関との連携強化」が70.1%、「職員の加配」が57.0%となっています。

■医療的ケアが必要な方を受け入れるために必要なこと（複数回答）

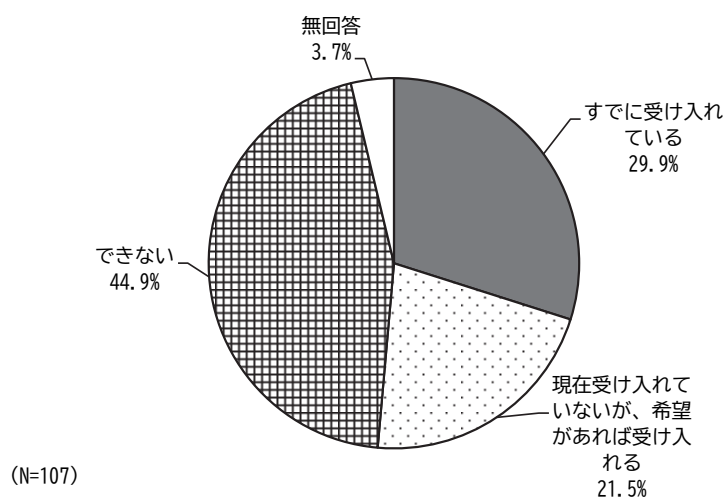


(N=107)

⑭加齢に伴い ADL が低下した方を引き続き受け入れることの可否（問 10）

加齢に伴い ADL が低下した方を引き続き受け入れることの可否については、「できない」が 44.9%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が 29.9%、「現在受け入れているが、希望があれば受け入れる」が 21.5%となっています。

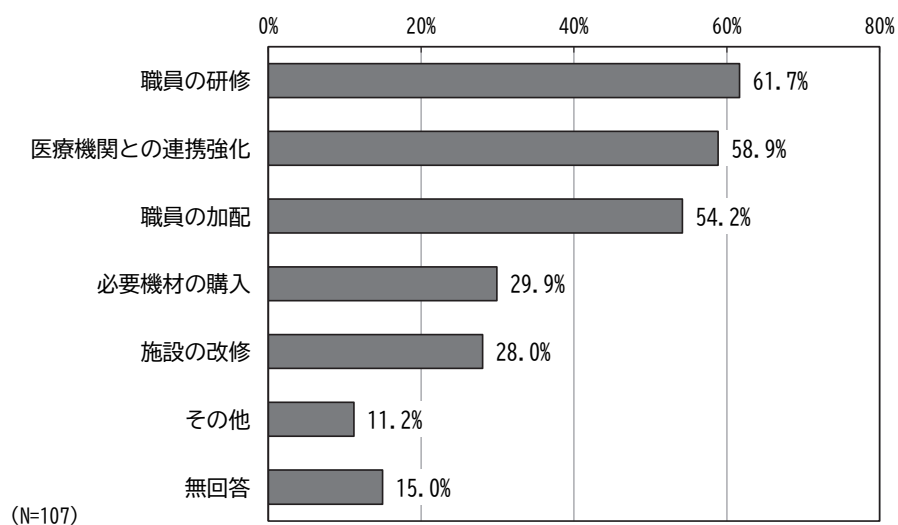
■加齢に伴い ADL が低下した方を引き続き受け入れることの可否



⑮加齢に伴い ADL が低下した方を受け入れるために必要なこと（問 10-1）

加齢に伴い ADL が低下した方を受け入れるために必要なことについては、「職員の研修」が 61.7%で最も多く、次いで「医療機関との連携強化」が 58.9%、「職員の加配」が 54.2%となっています。

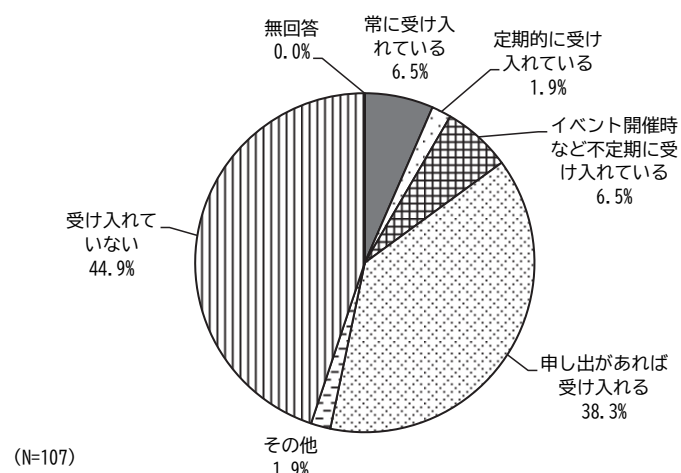
■加齢に伴い ADL が低下した方を受け入れるために必要なこと（複数回答）



⑩サービスの提供や施設の運営にあたっての地域住民によるボランティアの受け入れ状況（問 11）

サービスの提供や施設の運営にあたっての地域住民によるボランティアの受け入れ状況については、「受け入れていない」が 44.9%で最も多く、次いで「申し出があれば受け入れる」が 38.3%、「常に受け入れている」、「イベント開催時など不定期に受け入れている」が 6.5%となっています。

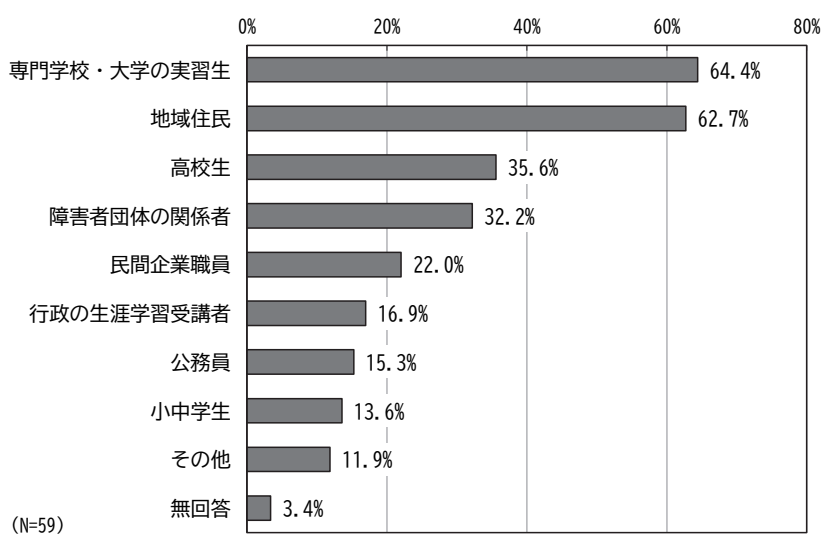
■サービスの提供や施設の運営にあたっての地域住民によるボランティアの受け入れ状況



⑪ボランティアの属性（問 11-1）

問 11 で「受け入れていない」以外を回答した方に、ボランティアはどのような方か聞いたところ、「専門学校・大学の実習生」が 64.4%で最も多く、次いで「地域住民」が 62.7%、「高校生」が 35.6%となっています。

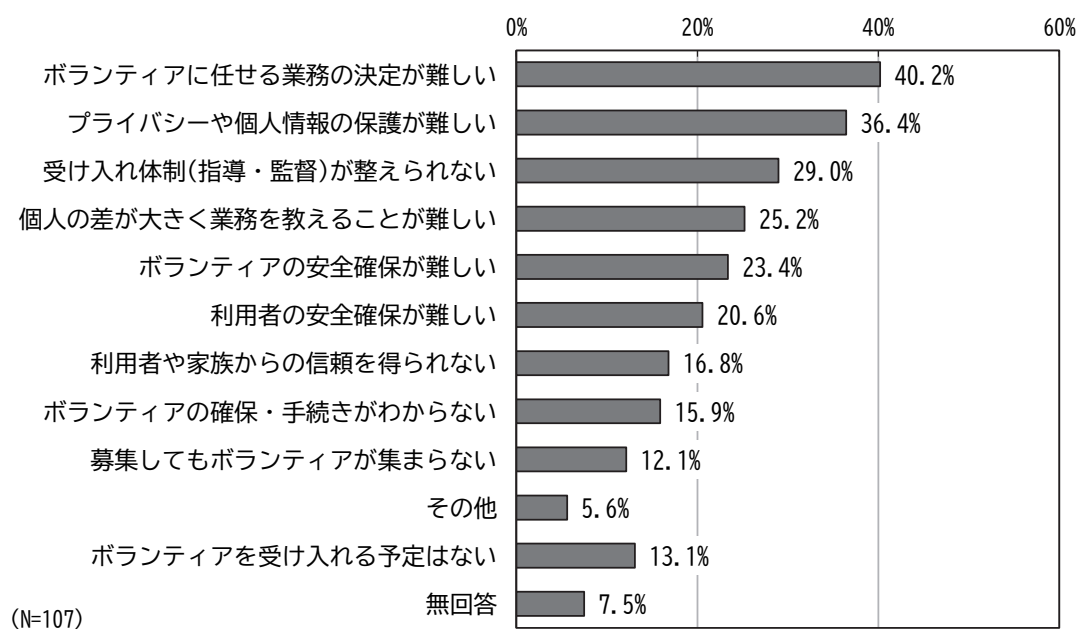
■ボランティアの属性（複数回答）



⑩ ボランティアを受け入れるにあたっての課題（問 11-2）

ボランティアを受け入れるにあたっての課題については、「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が 40.2%で最も多く、次いで「プライバシーや個人情報の保護が難しい」が 36.4%、「受け入れ体制(指導・監督)が整えられない」が 29.0%となっています。

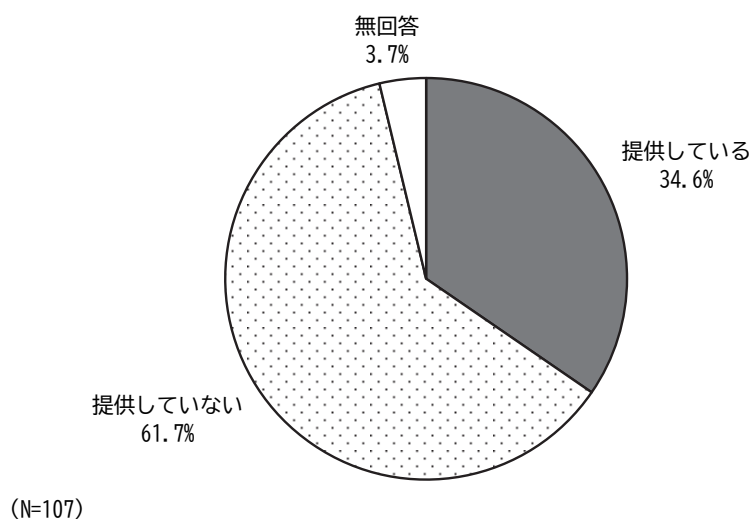
■ ボランティアを受け入れるにあたっての課題(複数回答)



⑱介護保険サービスの提供状況（問 12）

介護保険サービスの提供状況については、「提供していない」が 61.7%、「提供している」が 34.6%となっています。

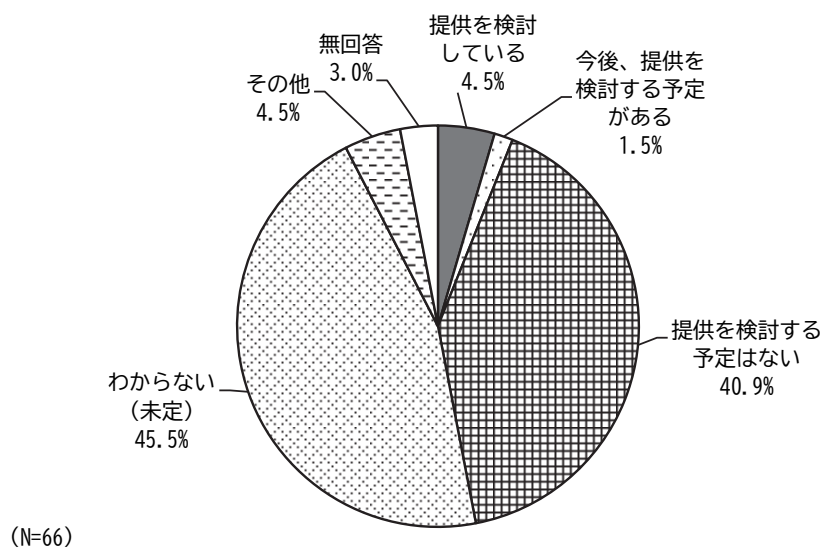
■介護保険サービスの提供状況



⑳介護保険サービスを提供する予定（問 12 - 1）

問 12 で「提供していない」と回答した方に、今後、介護保険サービスを提供する予定はあるかきいたところ、「わからない(未定)」が 45.5%で最も多く、次いで「提供を検討する予定はない」が 40.9%、「提供を検討している」が 4.5%となっています。

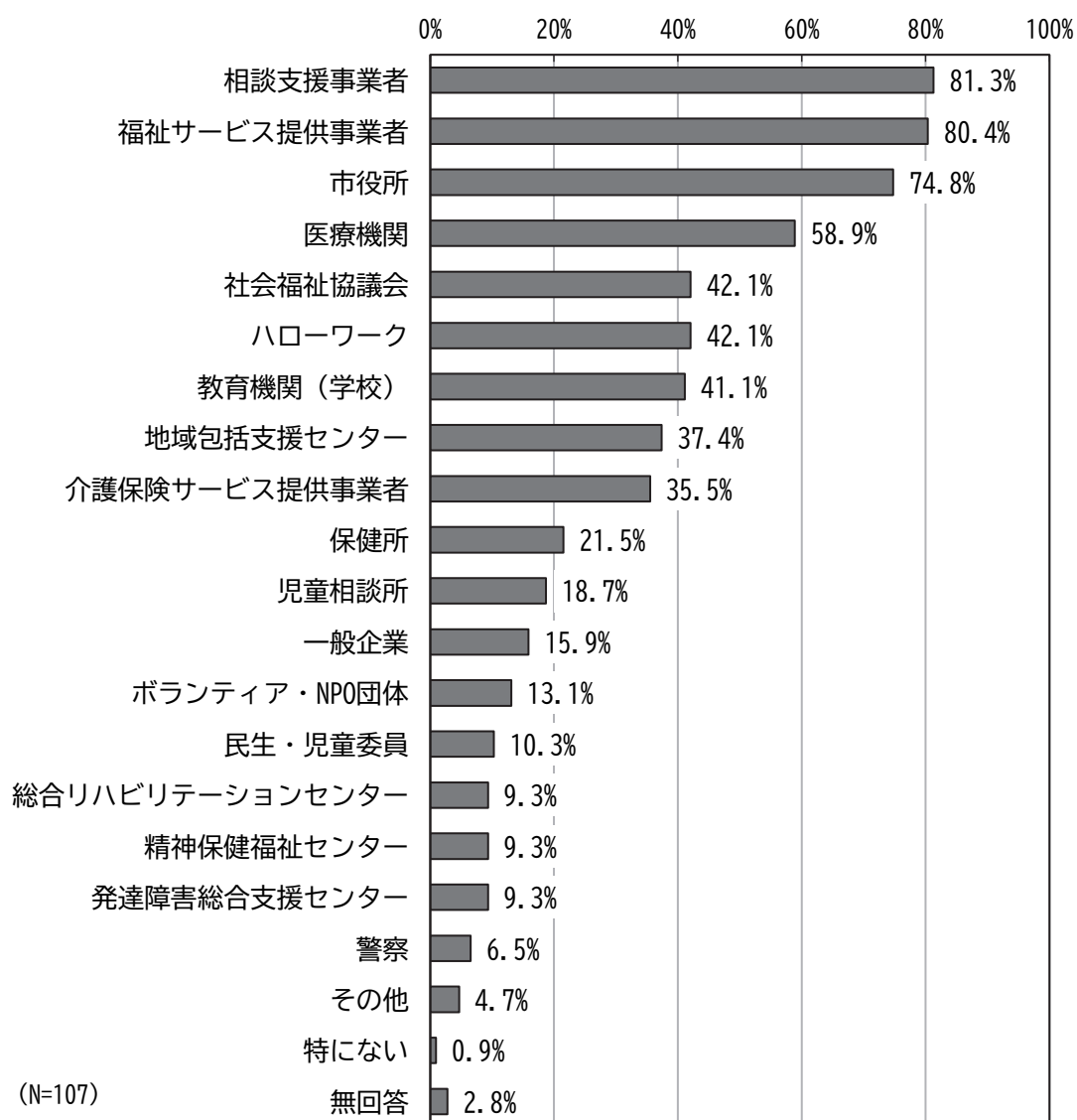
■介護保険サービスを提供する予定



②事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体（問 13）

事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体については、「相談支援事業者」が81.3%で最も多く、次いで「福祉サービス提供事業者」が80.4%、「市役所」が74.8%となっています。

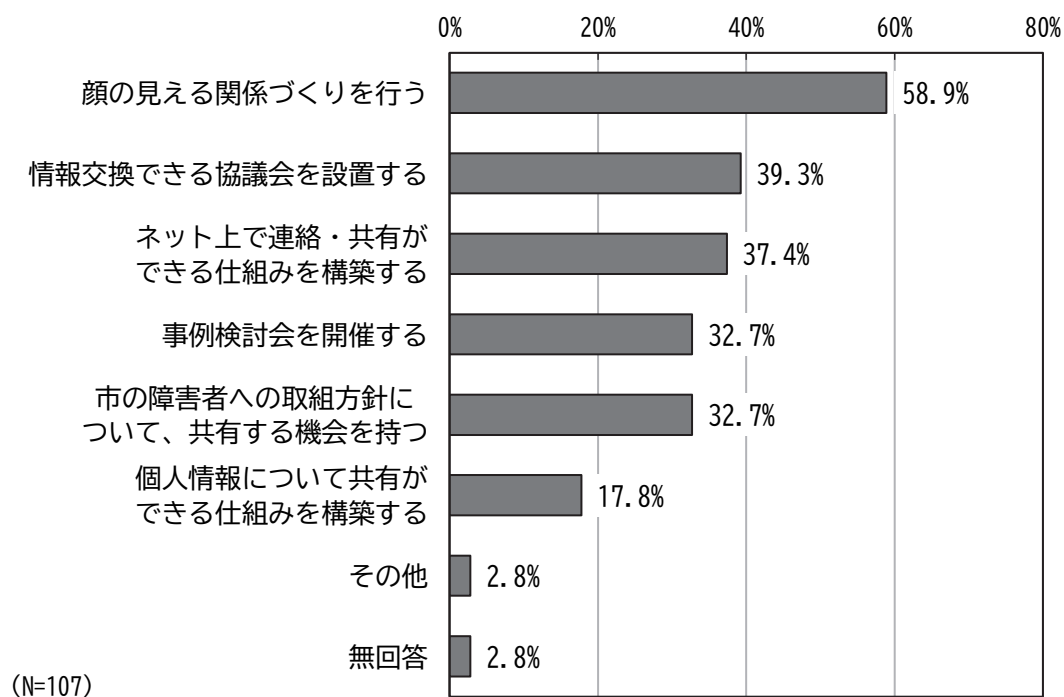
■ 事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体（複数回答）



②関係機関・団体との連携を強化するために必要なこと（問 14）

関係機関・団体との連携を強化するために必要なことについては、「顔の見える関係づくりを行う」が58.9%で最も多く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」が39.3%、「ネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」が37.4%となっています。

■ 関係機関・団体との連携を強化するために必要なこと（複数回答）

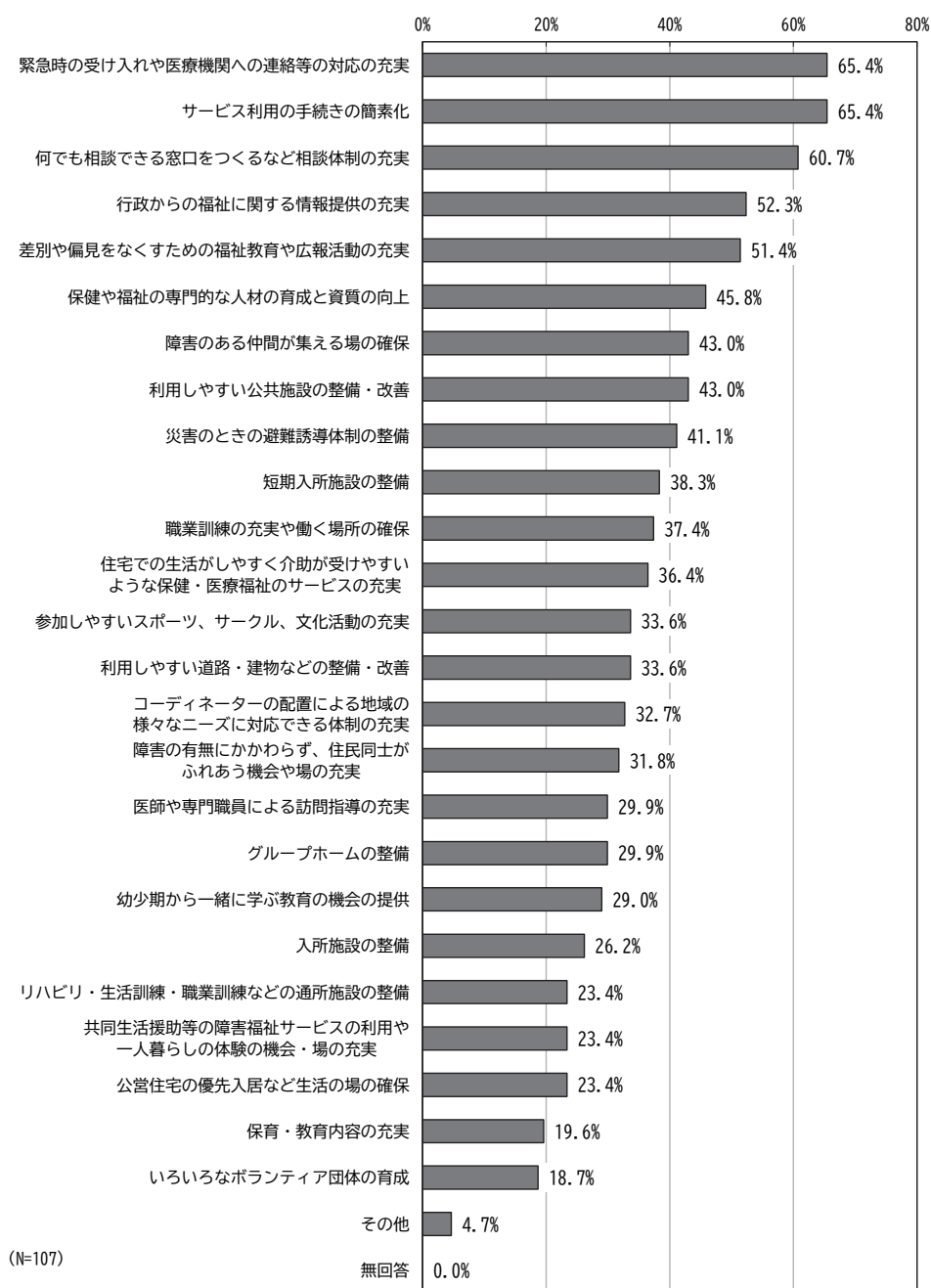


(3) 地域生活について

①障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと (問 15)

障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、「緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実」、「サービス利用の手続きの簡素化」が 65.4%で最も多く、次いで「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 60.7%となっています。

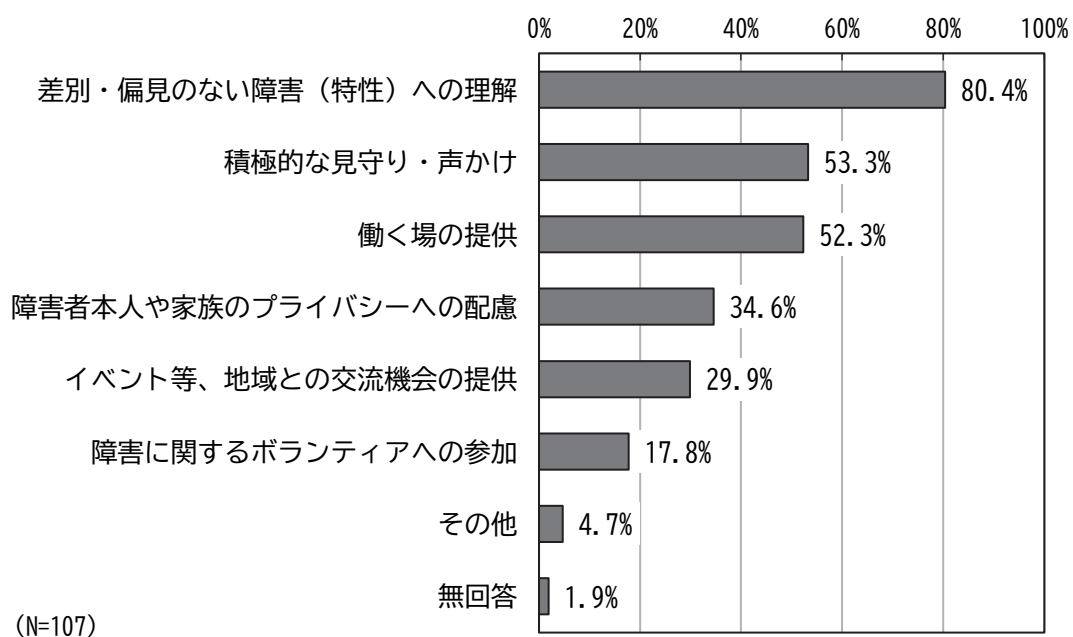
■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと(5つまで)



②障害者が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（問 16）

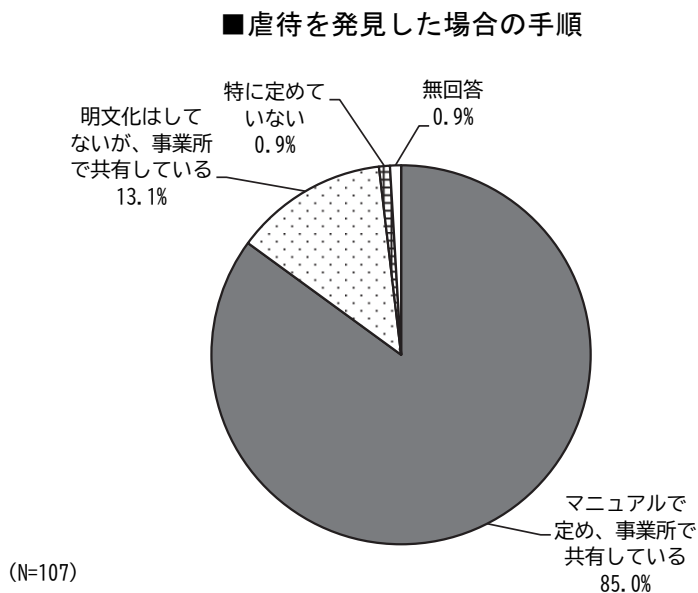
障害者が地域で暮らしていくために地域住民に期待することについては、「差別・偏見のない障害（特性）への理解」が 80.4%で最も多く、次いで「積極的な見守り・声かけ」が 53.3%、「働く場の提供」が 52.3%となっています。

■障害者が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（複数回答）



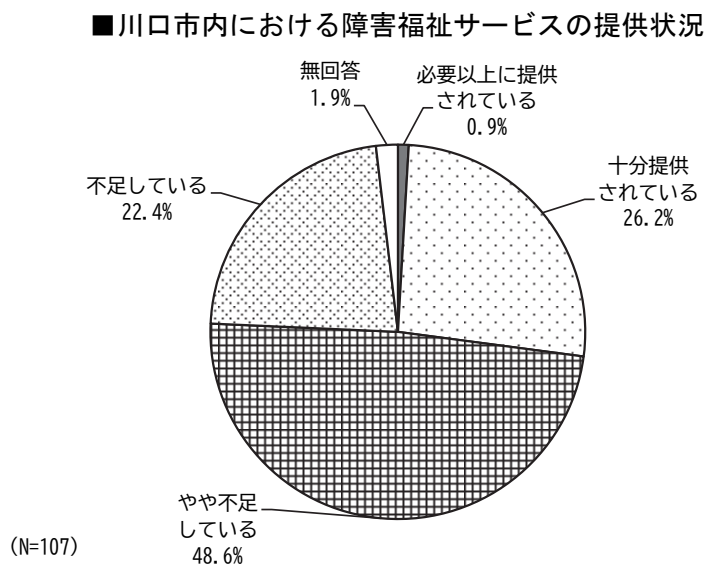
③虐待を発見した場合の手順（問 17）

虐待を発見した場合の手順については、「マニュアルで定め、事業所で共有している」が 85.0%で最も多く、次いで「明文化はしていないが、事業所で共有している」が 13.1%、「特に定めていない」が 0.9%となっています。



④川口市内における障害福祉サービスの提供状況（問 18）

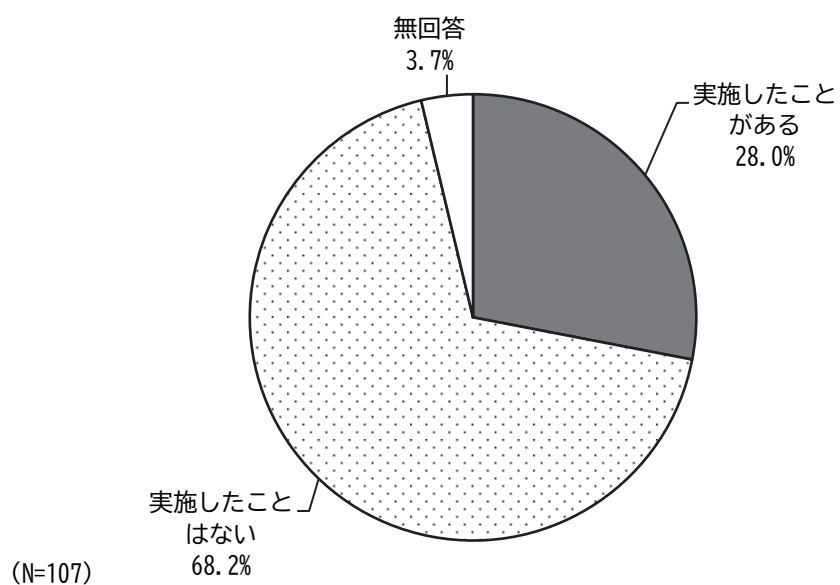
川口市内における障害福祉サービスの提供状況については、「やや不足している」が 48.6%で最も多く、次いで「十分提供されている」が 26.2%、「不足している」が 22.4%となっています。



⑤福祉サービス第三者評価の受審や自己評価の実施（問 20）

福祉サービス第三者評価の受審や自己評価の実施については、「実施したことはない」が 68.2%、「実施したことがある」が 28.0%となっています。

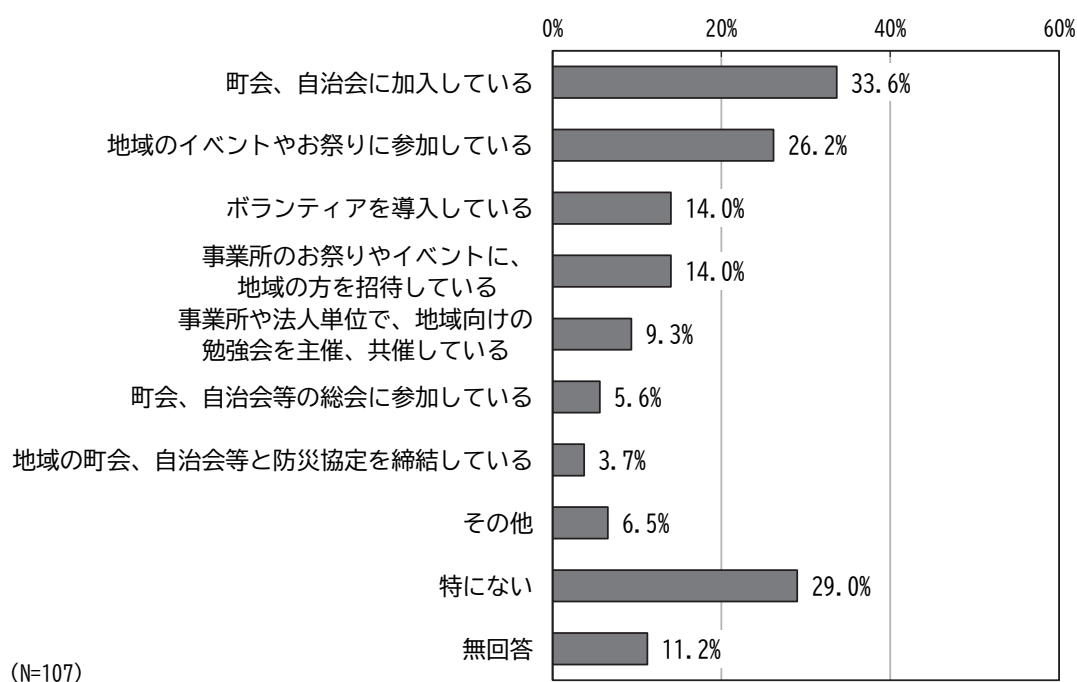
■福祉サービス第三者評価の受審や自己評価の実施



⑥地域との連携を図るためにしていること（問 21）

地域との連携を図るためにしていることについては、「町会、自治会に加入している」が33.6%で最も多く、次いで「地域のイベントやお祭りに参加している」が26.2%、「ボランティアを導入している」、「事業所のお祭りやイベントに、地域の方を招待している」が14.0%となっています。

■地域との連携を図るためにしていること（複数回答）



経年変化をみると、前回より「町会、自治会に加入している」、「地域のイベントやお祭りに参加している」が減少しています。

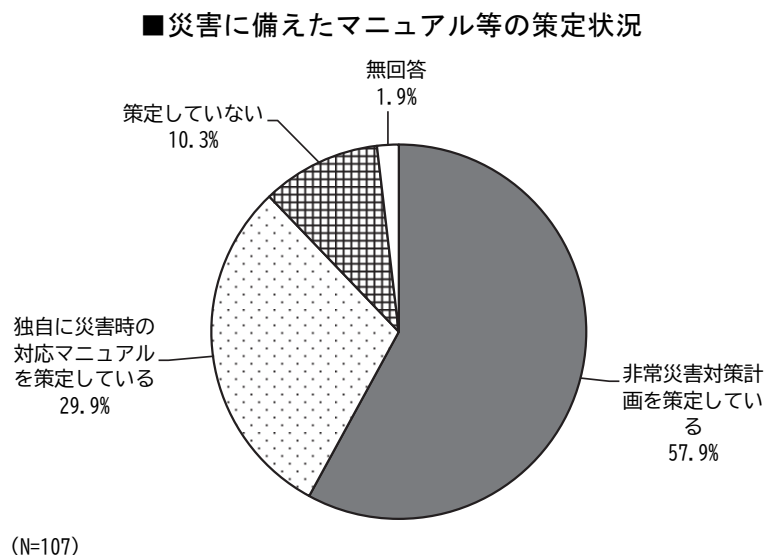
■地域との連携を図るためにしていること（複数回答）（経年変化）

	回答者数	合 計	1. 町会、自治会に加入している	2. 町会、自治会等の総会に参加している	3. 地域のイベントやお祭りに参加している	4. ボランティアを導入している	5. 事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している	6. 事業所のお祭りやイベントに、地域の方を招待している	7. 地域の町会、自治会等と防災協定を締結している	8. その他	9. 特にない	10. 無回答
令和5年度	107 (100.0)	164 (153.3)	36 (33.6)	6 (5.6)	28 (26.2)	15 (14.0)	10 (9.3)	15 (14.0)	4 (3.7)	7 (6.5)	31 (29.0)	12 (11.2)
令和2年度	100 (100.0)	158 (158.0)	42 (42.0)	5 (5.0)	34 (34.0)	13 (13.0)	8 (8.0)	14 (14.0)	2 (2.0)	12 (12.0)	26 (26.0)	2 (2.0)

(4) 災害時・感染症への対応について

①災害に備えたマニュアル等の策定状況（問 22）

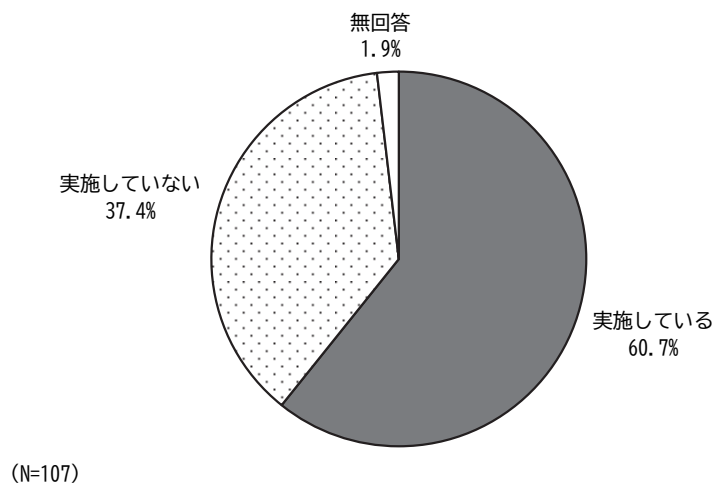
災害に備えたマニュアル等の策定状況については、「非常災害対策計画を策定している」が 57.9%で最も多く、次いで「独自に災害時の対応マニュアルを策定している」が 29.9%、「策定していない」が 10.3%となっています。



②地域の状況に応じた災害に係る避難訓練の実施状況（問 23）

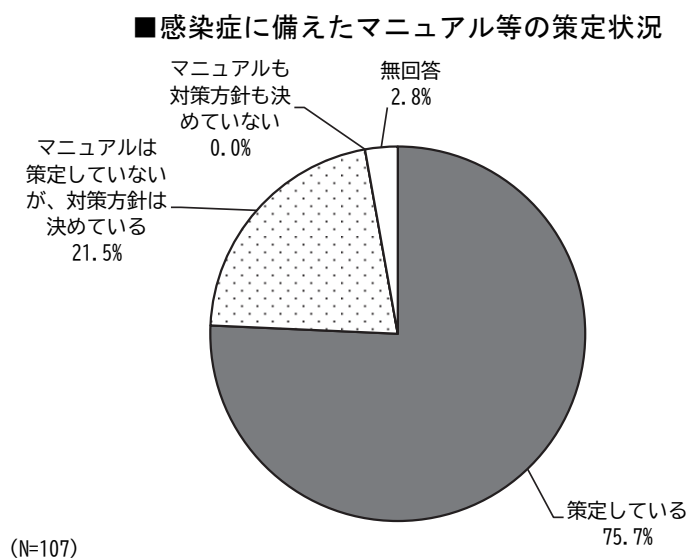
水害や土砂災害など、地域の状況に応じた災害に係る避難訓練の実施状況については、「実施している」が 60.7%、「実施していない」が 37.4%となっています。

■水害や土砂災害など、地域の状況に応じた災害に係る避難訓練の実施状況



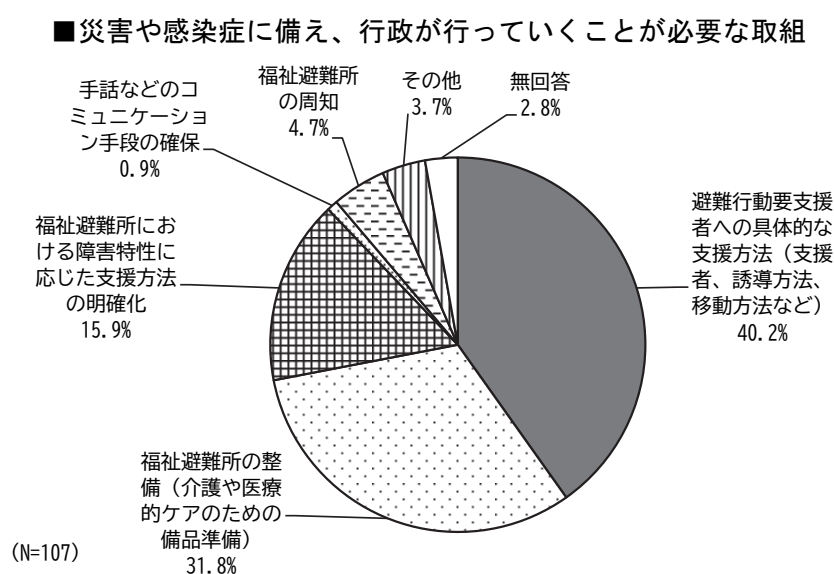
③感染症に備えたマニュアル等の策定状況（問 24）

感染症に備えたマニュアル等の策定状況については、「策定している」が75.7%で最も多く、次いで「マニュアルは策定していないが、対策方針は決めている」が21.5%となっています。



④災害や感染症に備え、行政が行っていくことが必要な取組（問 25）

災害や感染症に備え、行政が行っていくことが必要な取組については、「避難行動要支援者への具体的な支援方法」が40.2%で最も多く、次いで「福祉避難所の整備」が31.8%、「福祉避難所における障害特性に応じた支援方法の明確化」が15.9%となっています。

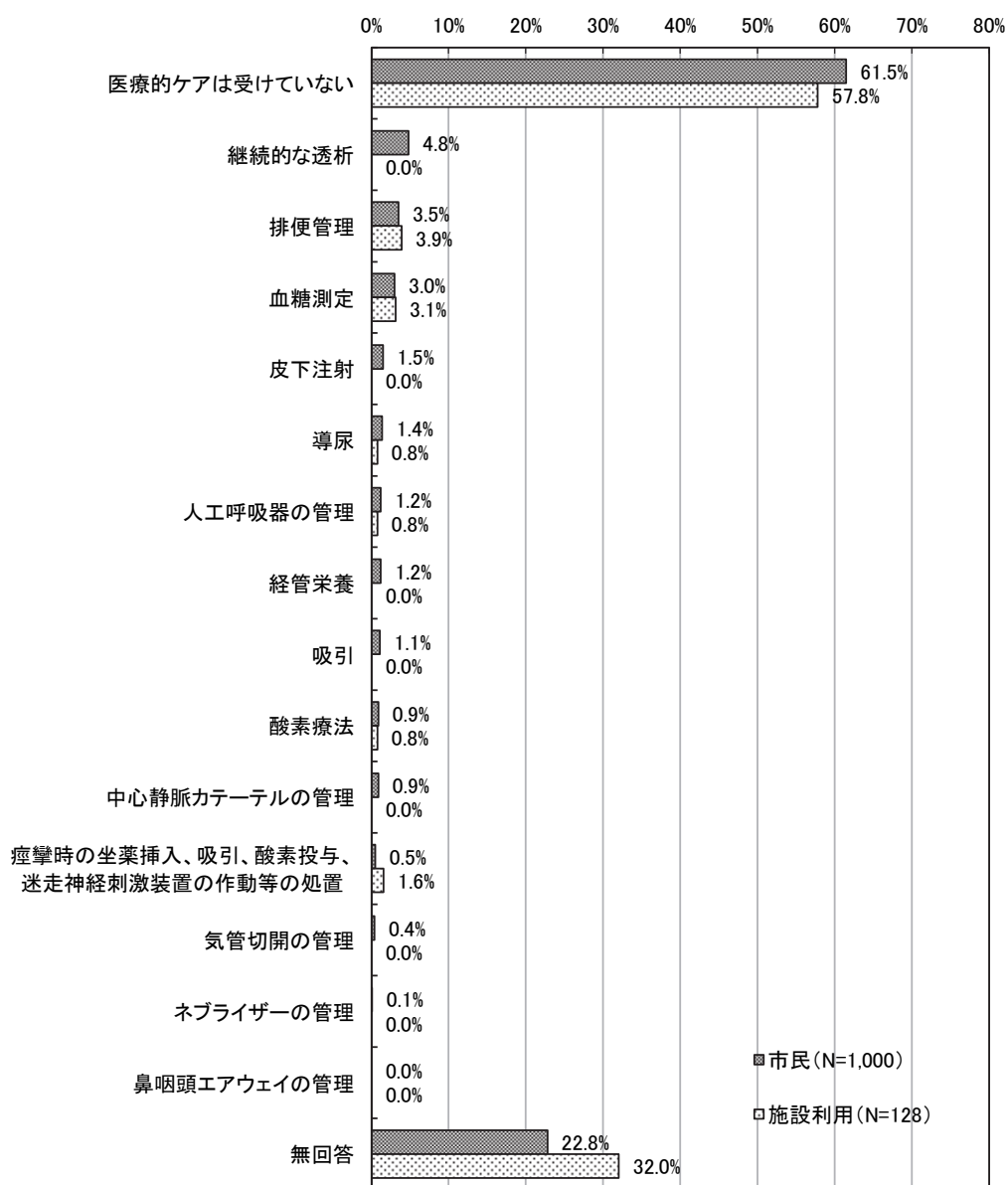


7. 調査対象者による比較

①受けている医療的ケア（市民問7、施設利用問7）

受けている医療的ケアについては、市民は施設利用者に比べ、「医療的ケアは受けていない」がわずかに多くなっています。

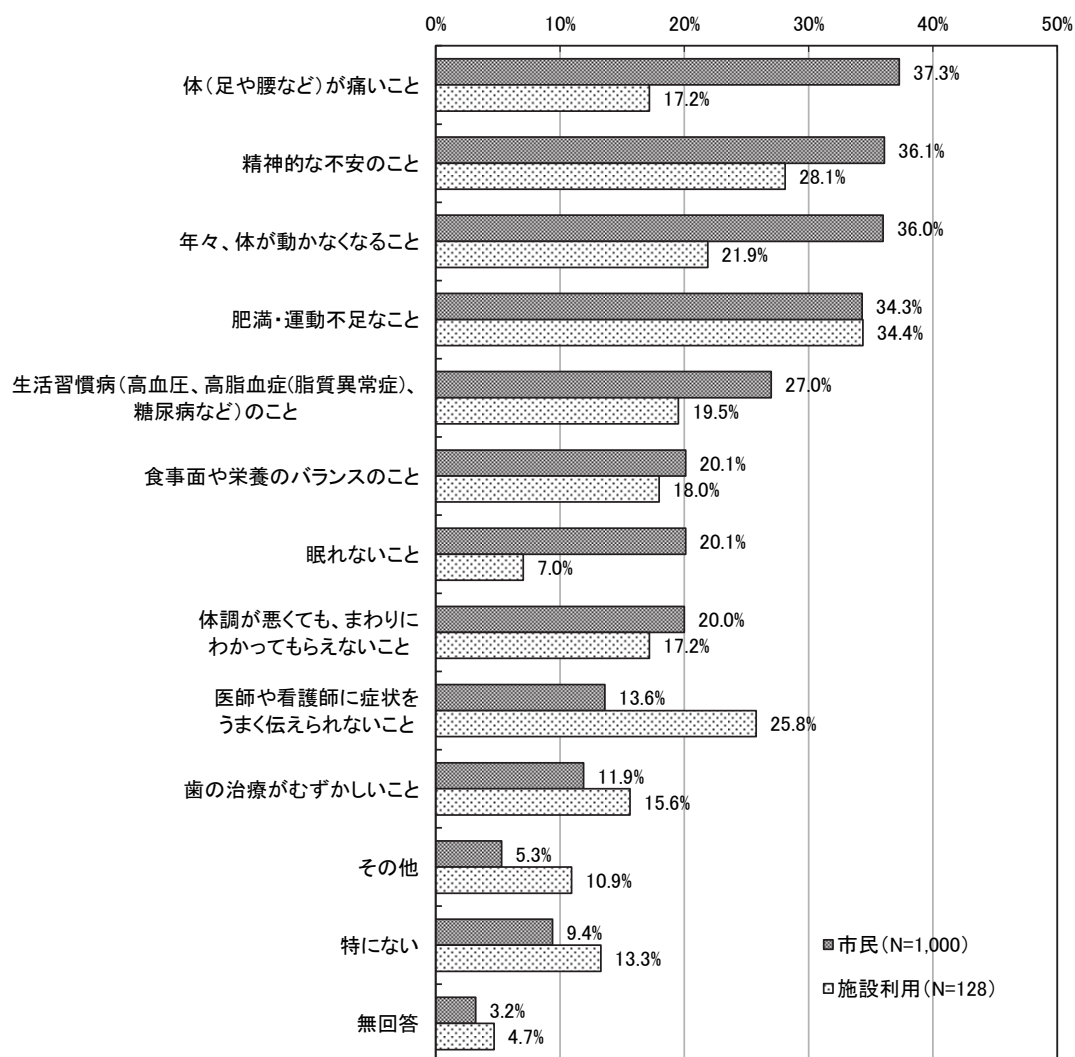
■受けている医療的ケア（複数回答）



②健康面で心配なこと（市民問 17、施設利用問 10）

健康面で心配なことについては、市民は全体的に施設利用者に比べ多くなっています。
「肥満・運動不足なこと」は同程度で、施設利用者は「医師や看護師に症状をうまく伝えられないこと」、「歯の治療がむずかしいこと」が市民に比べ多くなっています。

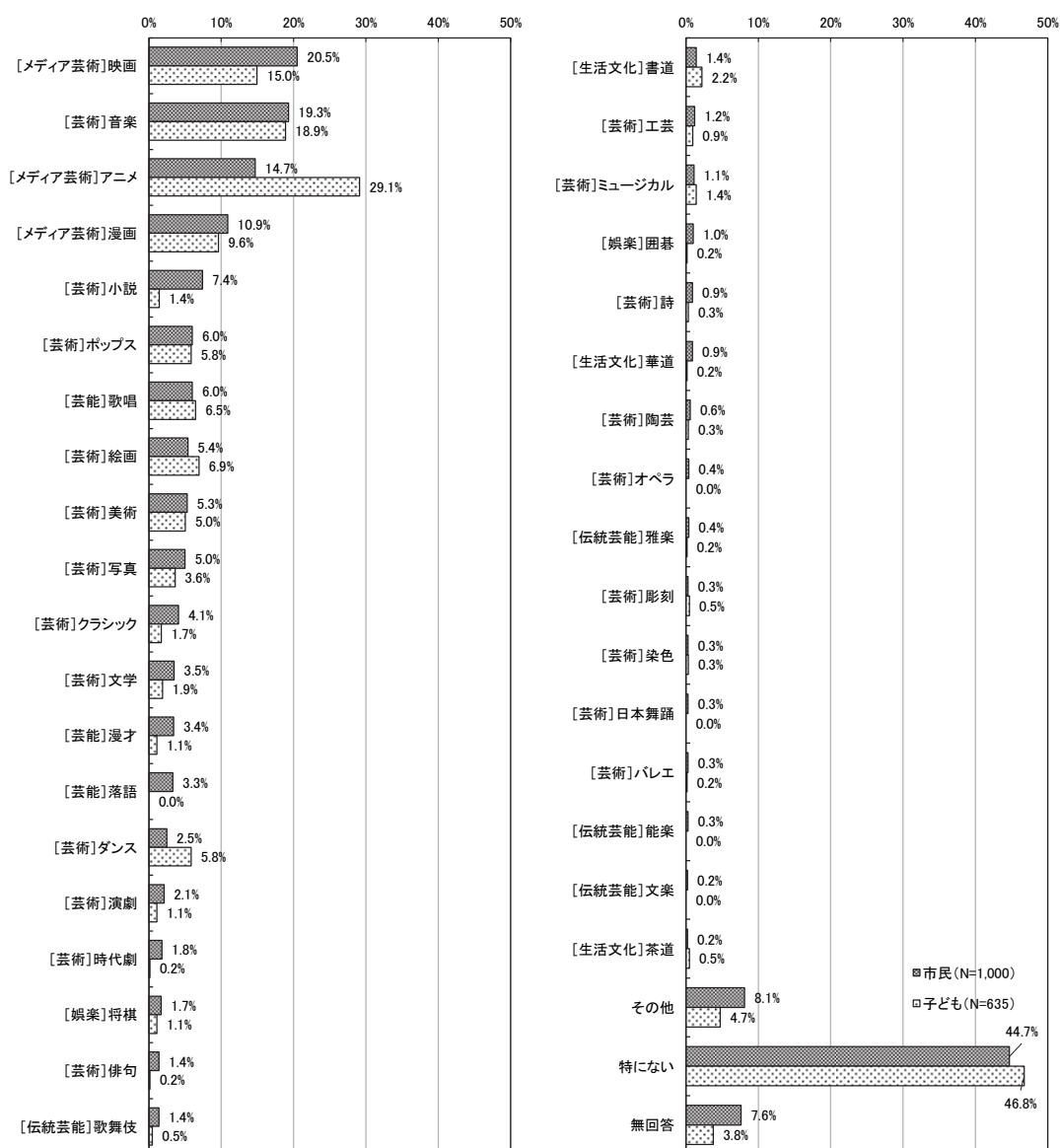
■健康面で心配なこと（複数回答）



③現在、取り組んでいる文化芸術活動（市民問 18、子ども問 26）

現在、取り組んでいる文化芸術活動については、子どもは「アニメ」が市民に比べ多くなっています。

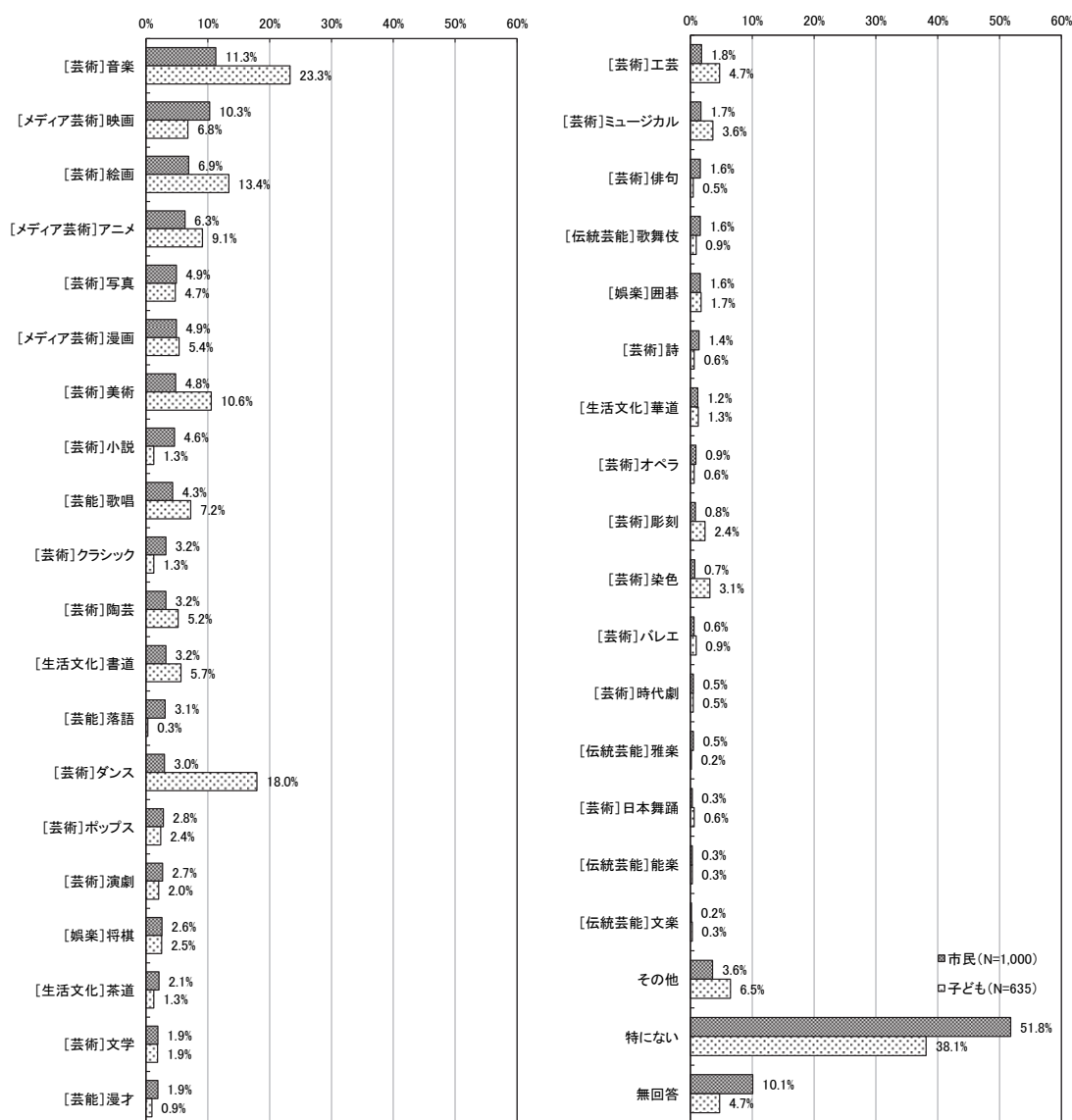
■現在、取り組んでいる文化芸術活動（複数回答）



④今後、取り組んでみたい文化芸術活動（市民問 19、子ども問 27）

今後、取り組んでみたい文化芸術活動については、子どもは「音楽」、「ダンス」が市民に比べ特に多くなっています。

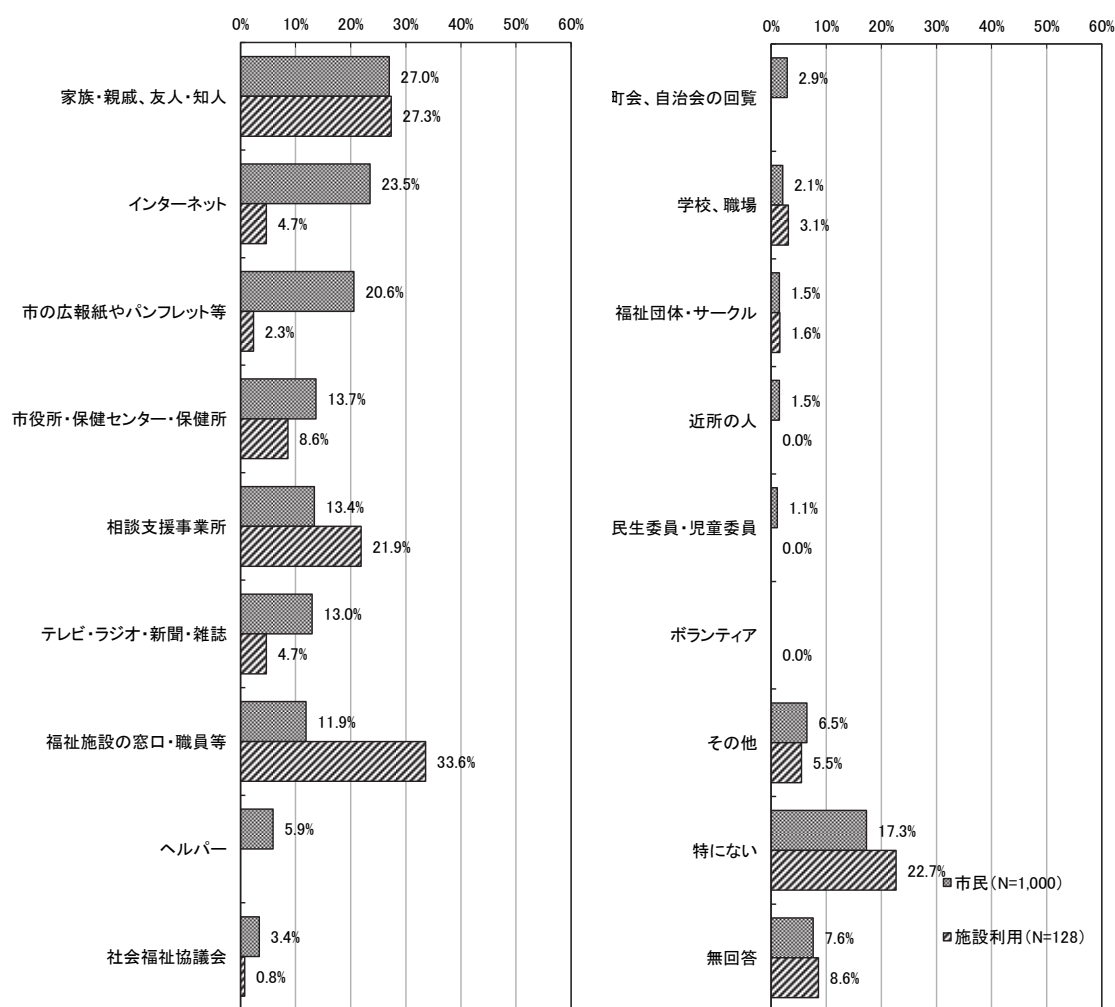
■今後、取り組んでみたい文化芸術活動（複数回答）



⑤福祉サービスに関する情報の入手先（市民問 26、施設問 15）

福祉サービスに関する情報の入手先については、施設利用者は「相談支援事業所」、「福祉施設の窓口・職員等」などが市民に比べ多くなっています。

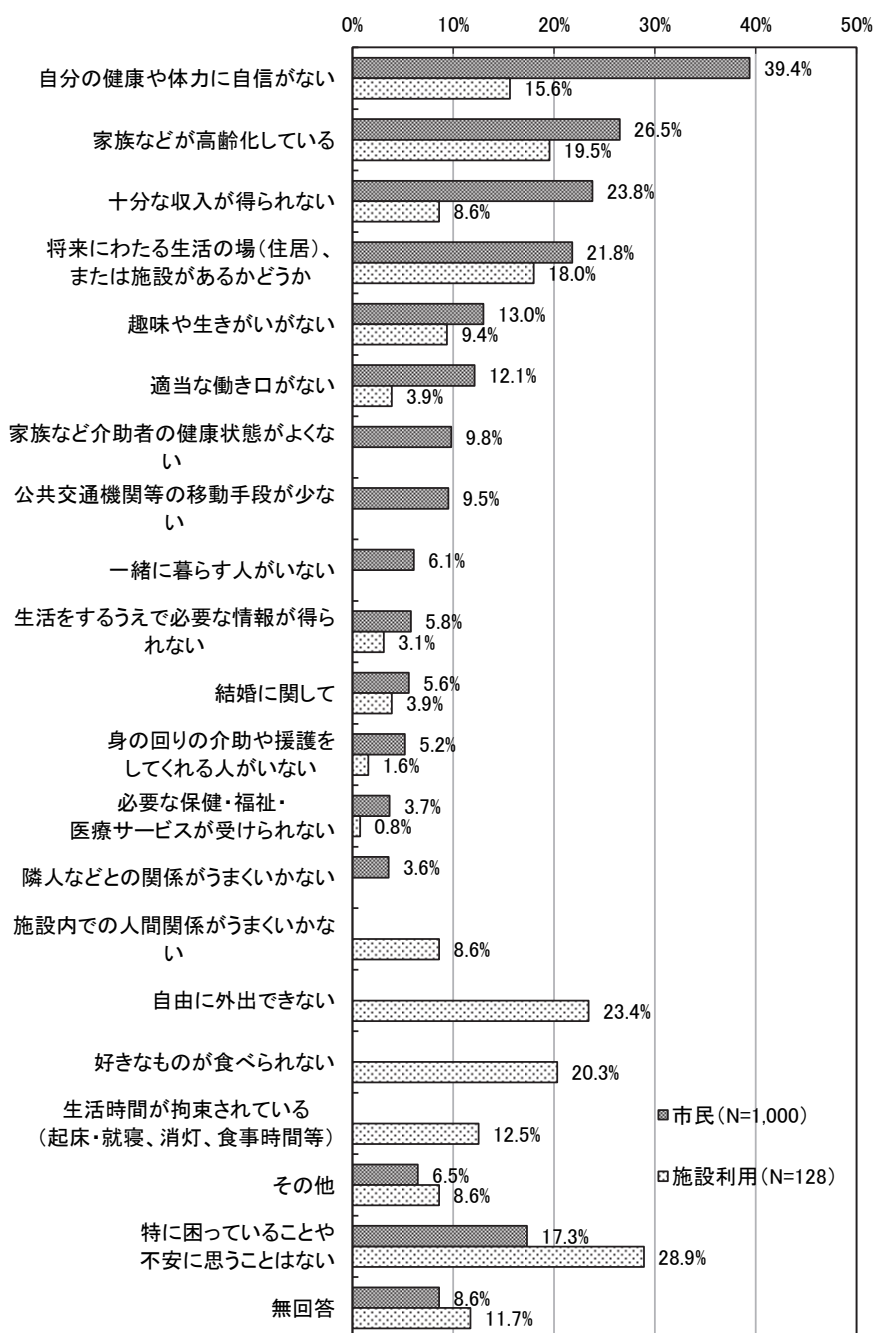
■福祉サービスに関する情報の入手先（複数回答）



⑥現在の生活で困っていることや不安に思っていること(市民問 28、施設問 12)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、市民は全体的に施設利用者に比べ多くなっており、施設利用者は市民に比べ「特に困っていることや不安に思っていることはない」が多くなっています。

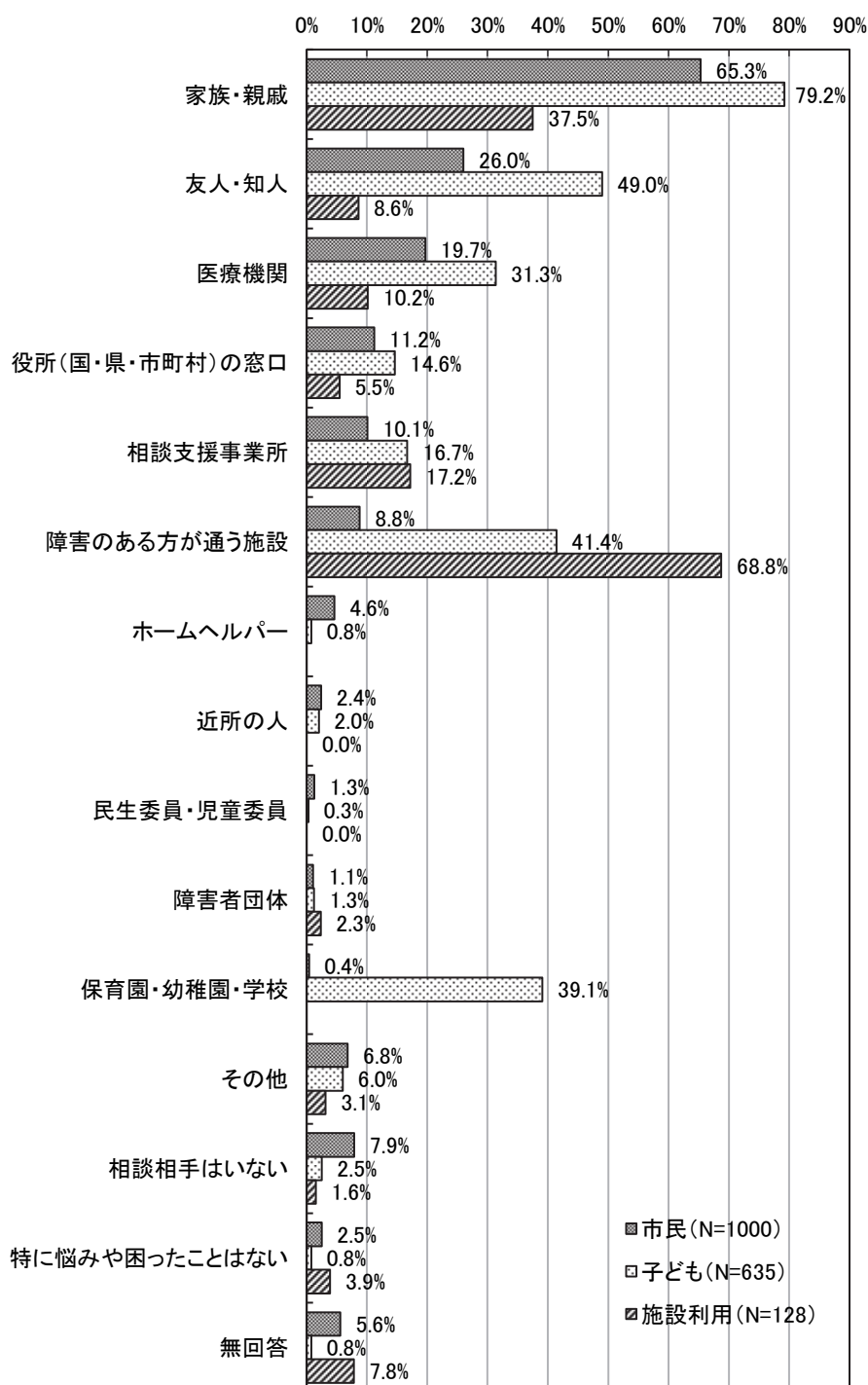
■現在の生活で困っていることや不安に思っていること（複数回答）



⑦悩みや困ったことの相談先（市民問 29、子ども問 42、施設利用 13）

悩みや困ったことの相談先については、子どもは「家族・親戚」、「友人・知人」、「医療機関」、「保育園・幼稚園・学校」が他に比べ多くなっています。

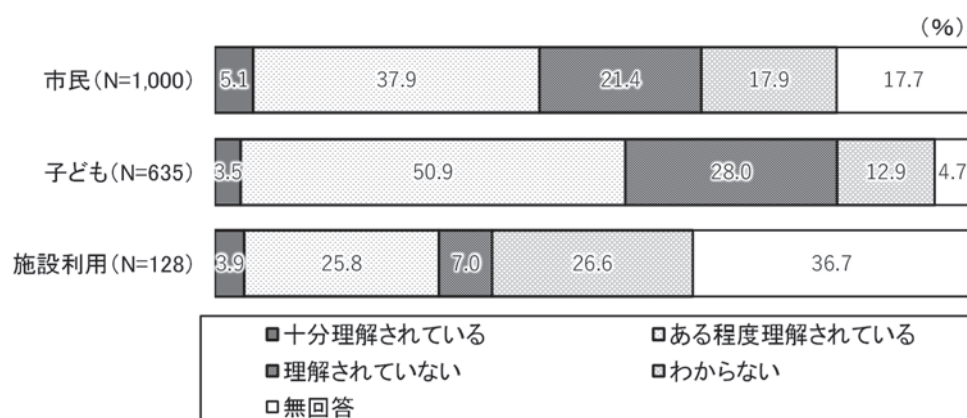
■悩みや困ったことの相談先（複数回答）



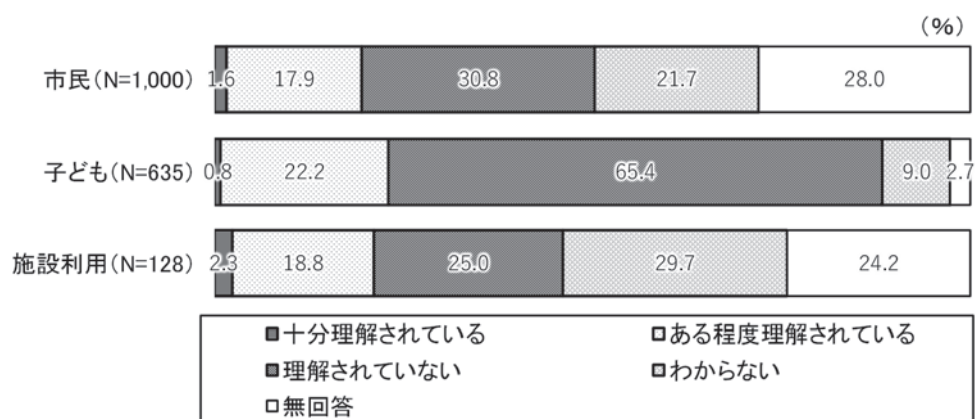
⑧市民の障害者への理解度（市民問 30、子ども問 45、施設利用問 17、一般市民問 5）

市民の障害者への理解度については、“理解されている”（「十分理解されている」＋「ある程度理解されている」）が多くても5割程度にとどまります。一般市民は、本人自身は約7割、隣近所の人は約3割が“理解している”（「十分理解している」＋「ある程度理解している」）と回答しています。

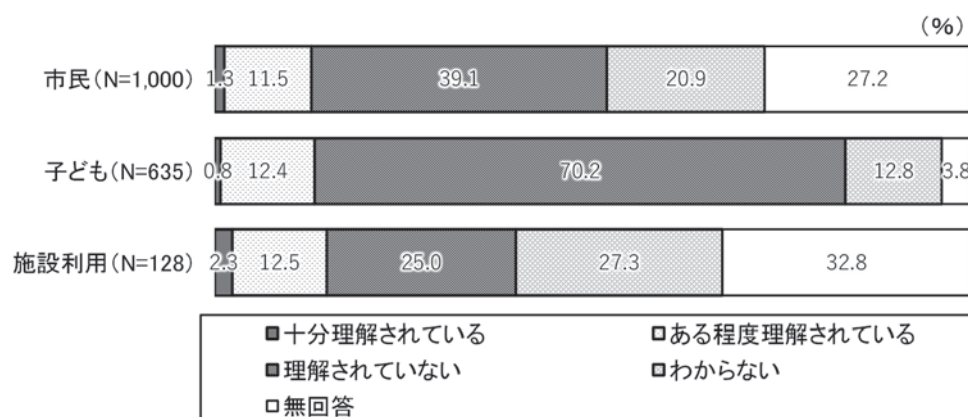
■市民の身体障害者への理解度



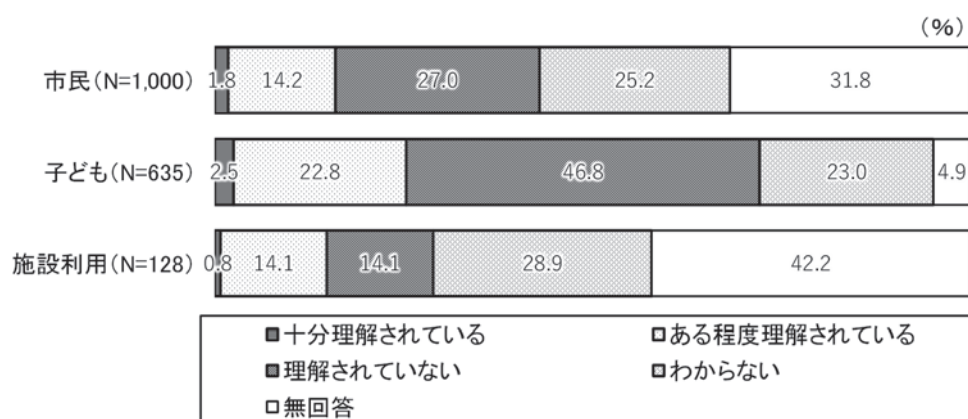
■市民の知的障害者への理解度



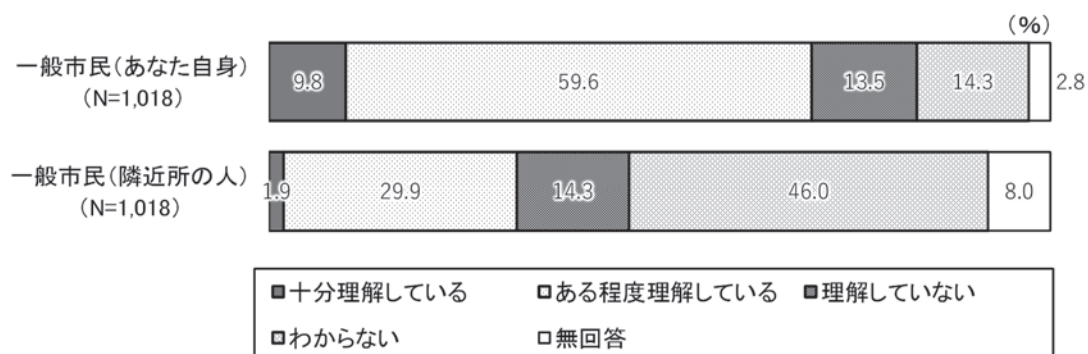
■市民の精神障害者への理解度



■市民の難病への理解度



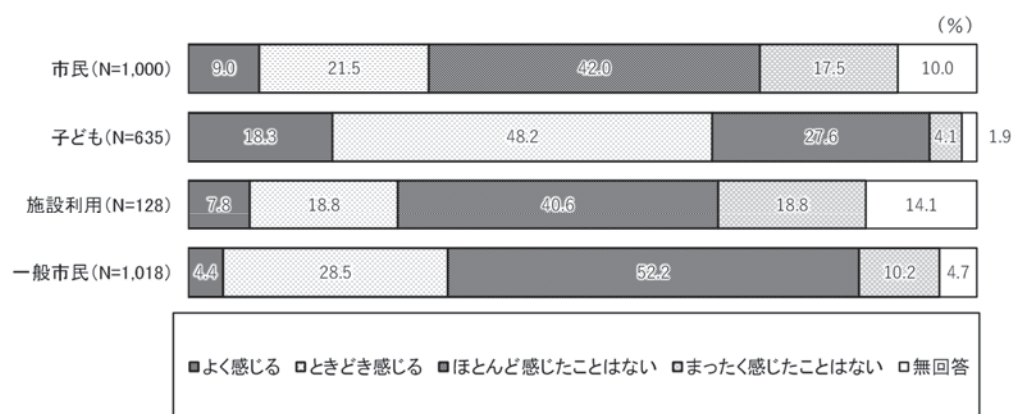
■一般市民の障害者への理解度



⑨日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無（市民問 34、子ども問 46、施設利用問 21、一般市民問 6）

日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無については、子どもの“感じる”（「よく感じる」＋「ときどき感じる」）が他に比べ多くなっています。

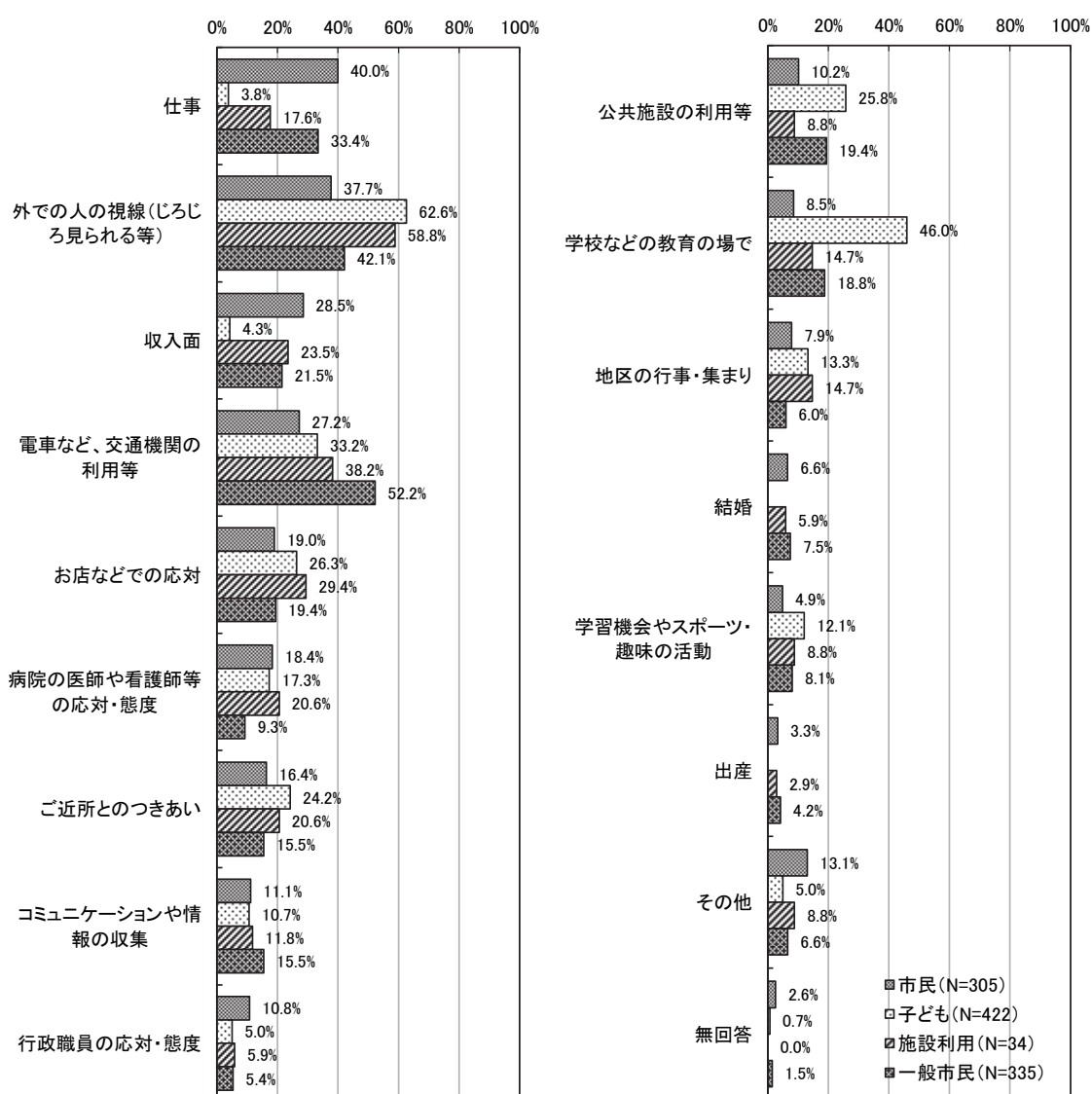
■日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことの有無



⑩差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（市民問 34-1、子ども問 46-1、施設利用問 21-1、一般市民問 6-1）

差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面については、子どもは「外での人の視線（じろじろ見られる等）」、「ご近所とのつきあい」、「公共施設の利用等」、「学校などの教育の場で」、「学習機会やスポーツ・趣味の活動」が他に比べ多くなっています。

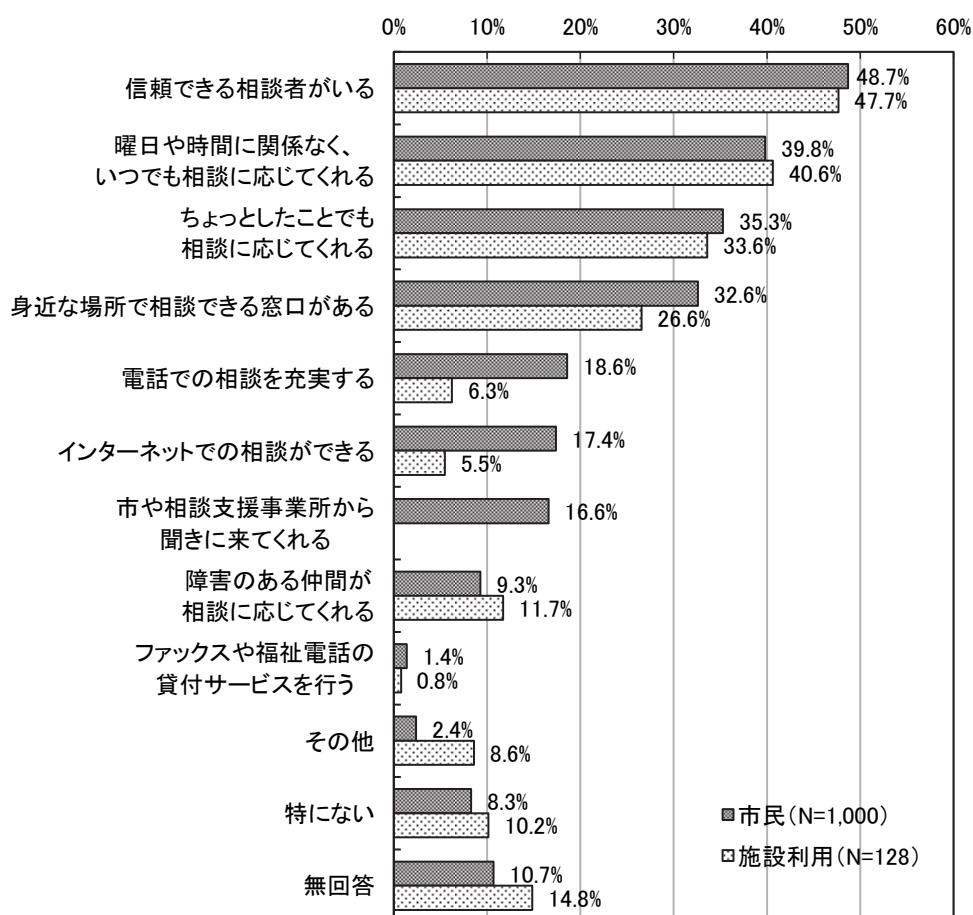
■差別や偏見、疎外感、気になることがあった具体的な場面（複数回答）



⑪相談しやすい体制をつくるために必要なこと（市民問 35、施設利用問 22）

相談しやすい体制をつくるために必要なことについては、市民は全体的に施設利用者に比べ多くなっています。

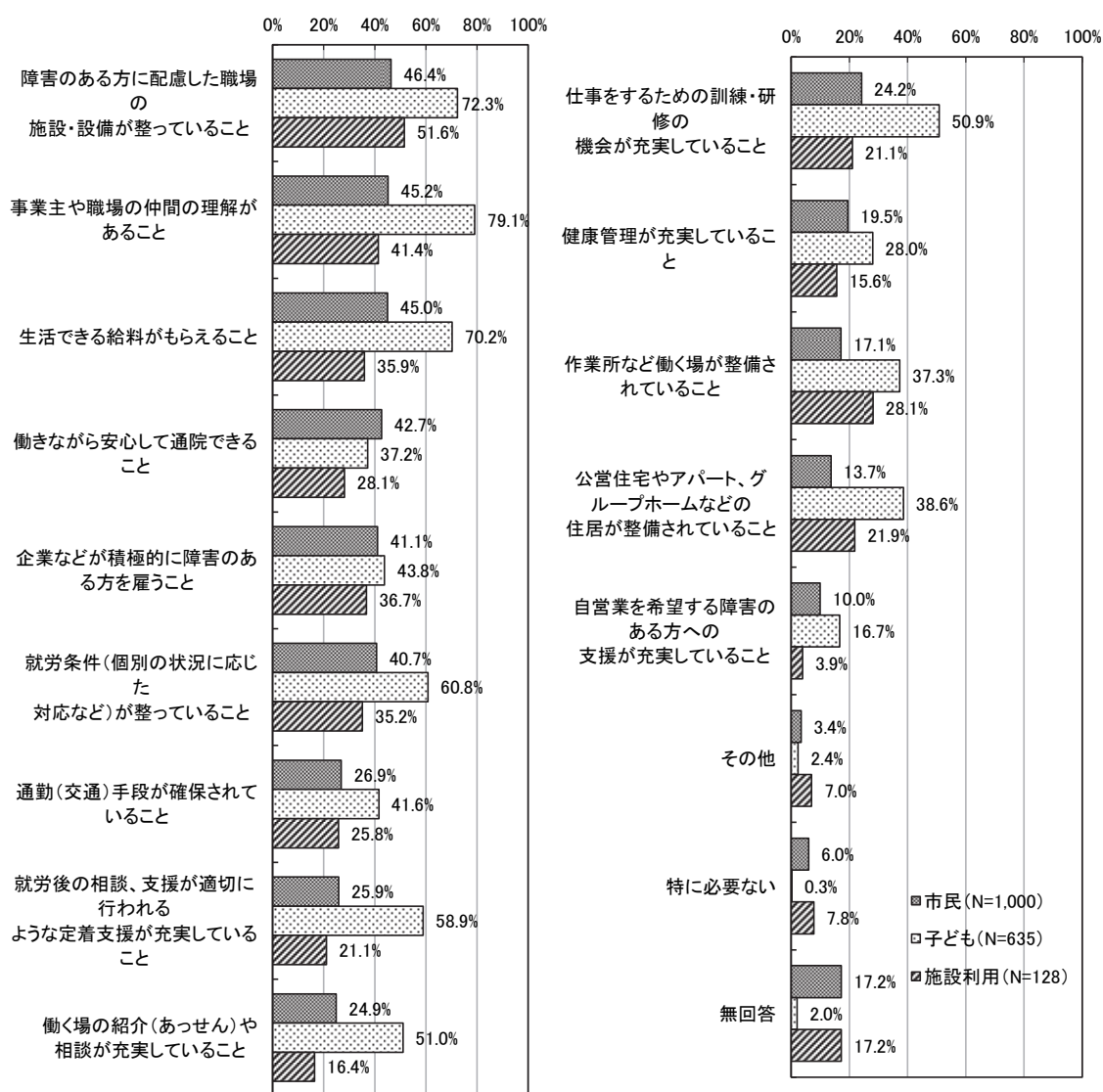
■相談しやすい体制をつくるために必要なこと（複数回答）



⑫障害のある方が働くために必要なこと（市民問 40、子ども問 30、施設利用問 27）

障害のある方が働くために必要なことについては、子どもは全体的に他に比べ多くなっています。

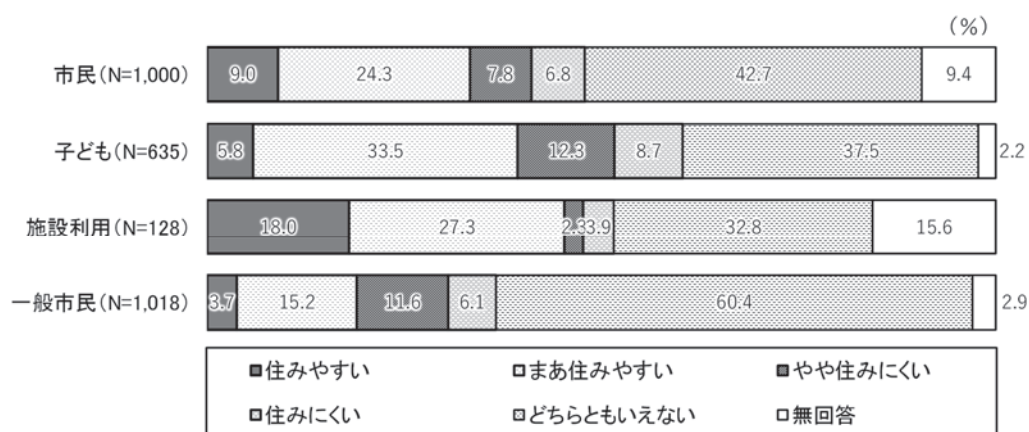
■障害のある方が働くために必要なこと（複数回答）



⑬障害者にとっての川口市の住みやすさ（市民問 45、子ども問 54、施設利用問 28、一般市民問 7）

障害者にとっての川口市の住みやすさについては、子どもの“住みにくい”（「やや住みにくい」＋「住みにくい」）、施設利用の“住みやすい”（「住みやすい」＋「まあ住みやすい」）が他に比べ多くなっています。

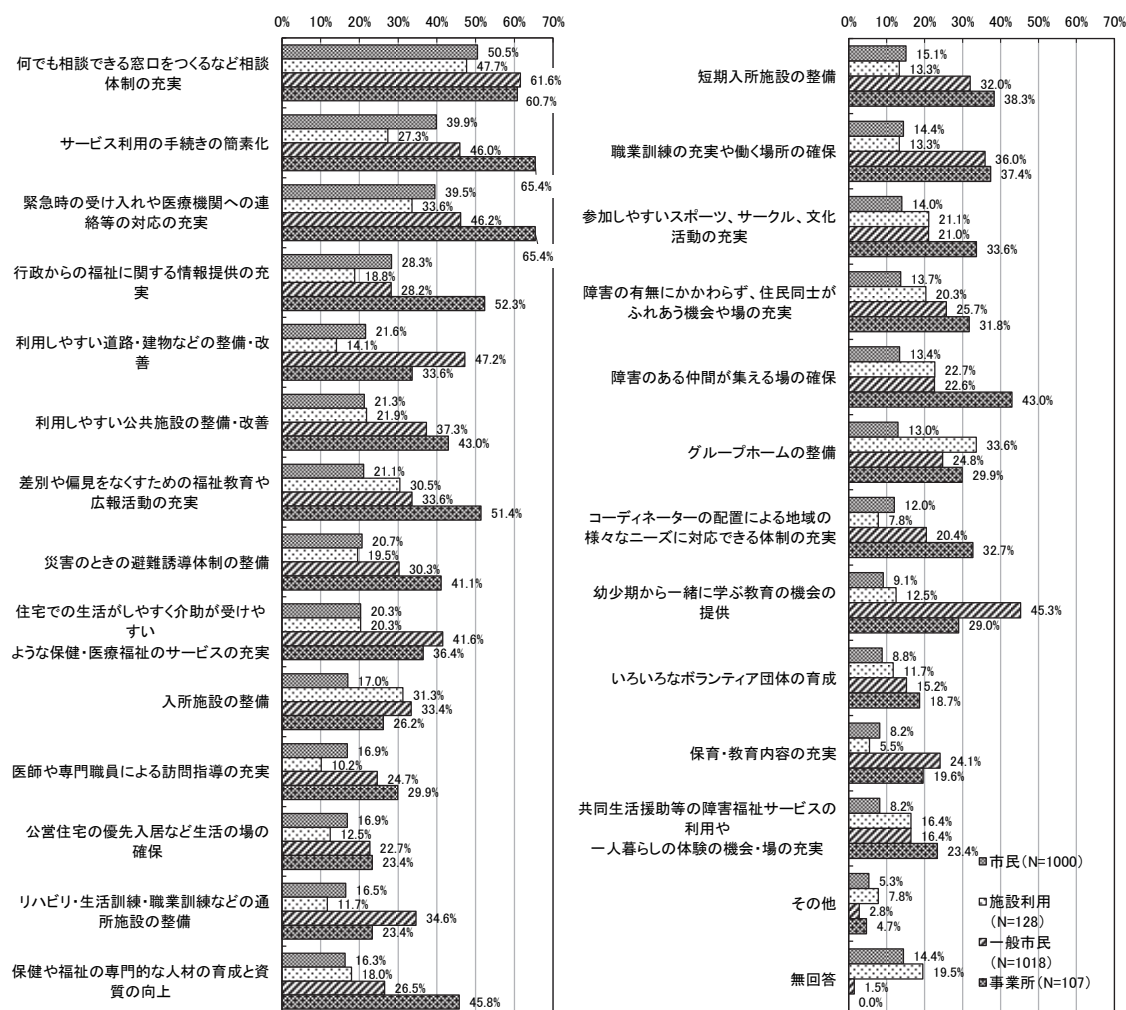
■障害者にとっての川口市の住みやすさ



⑭障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（市民問 46、施設利用問 32、一般市民問 10、事業所問 15）

障害があっても住み良いまちづくりのために必要なことについては、事業所は行政サービスや地域活動に関する項目が他に比べ多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（5つまで）



市民（障害種別）と一般市民を比較すると、知的障害者は「短期入所施設の整備」、「入所施設の整備」、「グループホームの整備」、精神障害者は「行政からの福祉に関する情報提供の充実」が一般市民全体に比べ多くなっています。

■障害があっても住み良いまちづくりのために必要なこと（５つまで）

（市民（障害種別）と一般市民比較）

	回答者数	合 計	1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	3. サービス利用の手続きの簡素化	4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実	7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	8. いろいろなボランティア団体の育成	9. 住宅での生活がしやすいよう健康・医療福祉のサービスの充実	10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	11. 短期入所施設の整備	12. 入所施設の整備	13. グループホームの整備
全 体	1,000 (100.0)	4,964 (496.4)	505 (50.5)	395 (39.5)	399 (39.9)	283 (28.3)	163 (16.3)	120 (12.0)	140 (14.0)	88 (8.8)	203 (20.3)	169 (16.9)	151 (15.1)	170 (17.0)	130 (13.0)
問 3	537 (100.0)	2,307 (429.6)	241 (44.9)	226 (42.1)	196 (36.5)	136 (25.3)	57 (10.6)	50 (9.3)	62 (11.5)	38 (7.1)	117 (21.8)	86 (16.0)	68 (12.7)	77 (14.3)	38 (7.1)
障 害 種 別	116 (100.0)	722 (622.4)	61 (52.6)	48 (41.4)	51 (44.0)	31 (26.7)	24 (20.7)	17 (14.7)	22 (19.0)	7 (6.0)	20 (17.2)	16 (13.8)	43 (37.1)	46 (39.7)	40 (34.5)
1. 身体障害者	315 (100.0)	1,806 (573.3)	188 (59.7)	115 (36.5)	141 (44.8)	110 (34.9)	76 (24.1)	50 (15.9)	55 (17.5)	35 (11.1)	63 (20.0)	57 (18.1)	42 (13.3)	50 (15.9)	53 (16.8)
2. 知的障害者	30 (100.0)	192 (640.0)	18 (60.0)	13 (43.3)	16 (53.3)	10 (33.3)	5 (16.7)	7 (23.3)	4 (13.3)	6 (20.0)	7 (23.3)	9 (30.0)	4 (13.3)	3 (10.0)	3 (10.0)
3. 精神障害者	44 (100.0)	211 (479.5)	18 (40.9)	14 (31.8)	11 (25.0)	7 (15.9)	6 (13.6)	5 (11.4)	6 (13.6)	6 (13.6)	9 (20.5)	9 (20.5)	9 (20.5)	5 (11.4)	7 (15.9)
4. 上記の手帳や自立支援医療はない	1,018 (100.0)	8,159 (801.5)	627 (61.6)	470 (46.2)	468 (46.0)	287 (28.2)	270 (26.5)	208 (20.4)	214 (21.0)	155 (15.2)	423 (41.6)	251 (24.7)	326 (32.0)	340 (33.4)	252 (24.8)
5. 無回答															

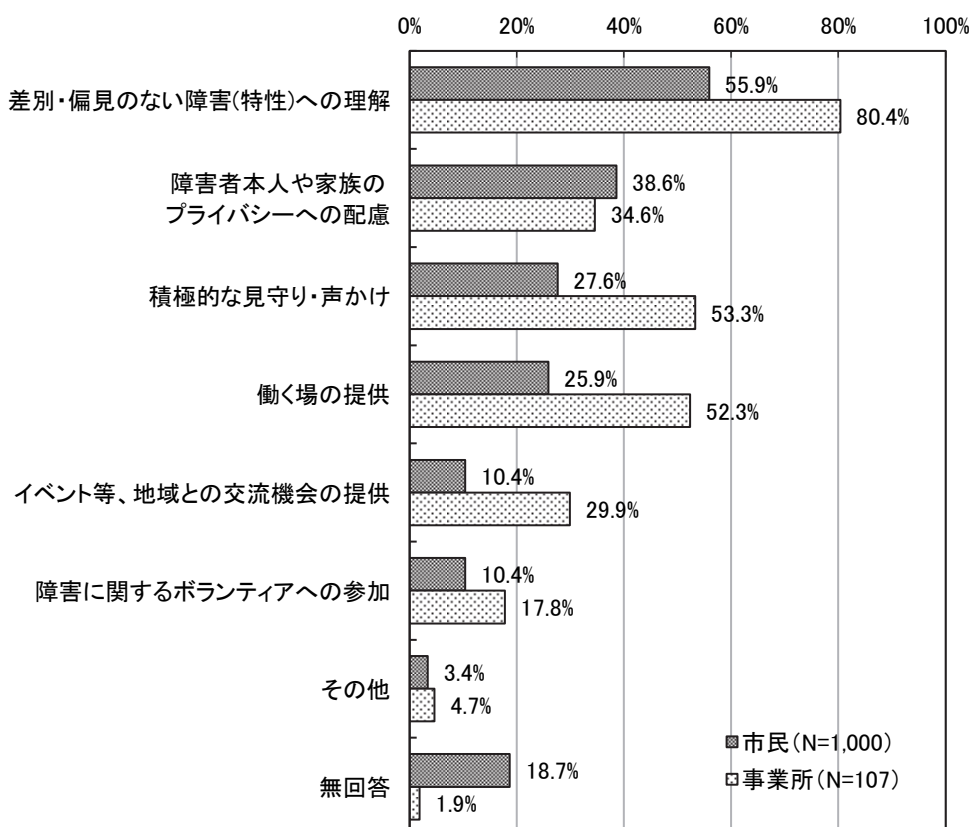
	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の提供	16. 保育・教育内容の充実	17. 共同生活の援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の場の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保	19. 障害のある仲間が集える場の確保	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保	24. 災害のときの避難誘導体制の整備	25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実	26. その他	27. 無回答
全 体	165 (16.5)	91 (9.1)	82 (8.2)	82 (8.2)	144 (14.4)	134 (13.4)	213 (21.3)	137 (13.7)	216 (21.6)	169 (16.9)	207 (20.7)	211 (21.1)	53 (5.3)	144 (14.4)
問 3	88 (16.4)	28 (5.2)	29 (5.4)	22 (4.1)	42 (7.8)	48 (8.9)	105 (19.6)	61 (11.4)	114 (21.2)	70 (13.0)	114 (21.2)	72 (13.4)	20 (3.7)	102 (19.0)
障 害 種 別	24 (20.7)	19 (16.4)	10 (8.6)	22 (19.0)	21 (18.1)	24 (20.7)	29 (25.0)	26 (22.4)	23 (19.8)	16 (13.8)	31 (26.7)	43 (37.1)	3 (2.6)	5 (4.3)
1. 身体障害者	50 (15.9)	37 (11.7)	34 (10.8)	37 (11.7)	76 (24.1)	61 (19.4)	74 (23.5)	47 (14.9)	74 (23.5)	77 (24.4)	59 (18.7)	92 (29.2)	29 (9.2)	24 (7.6)
2. 知的障害者	7 (23.3)	5 (16.7)	7 (23.3)	3 (10.0)	7 (23.3)	6 (20.0)	10 (33.3)	6 (20.0)	11 (36.7)	7 (23.3)	7 (23.3)	10 (33.3)	1 (3.3)	0 (-)
3. 精神障害者	7 (15.9)	6 (13.6)	5 (11.4)	4 (9.1)	5 (11.4)	8 (18.2)	8 (18.2)	8 (18.2)	7 (15.9)	5 (11.4)	10 (22.7)	6 (13.6)	4 (9.1)	16 (36.4)
4. 上記の手帳や自立支援医療はない	352 (34.6)	461 (45.3)	245 (24.1)	167 (16.4)	366 (36.0)	230 (22.6)	380 (37.3)	262 (25.7)	481 (47.2)	231 (22.7)	308 (30.3)	342 (33.6)	28 (2.8)	15 (1.5)
5. 無回答														

注：()内は割合、黒色白字は、全体より10%以上増、灰色黒字は、全体より10%以下減

⑮障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（市民問
47、事業所問 16）

障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待することについては、事業所
が全体的に市民に比べ多くなっています。

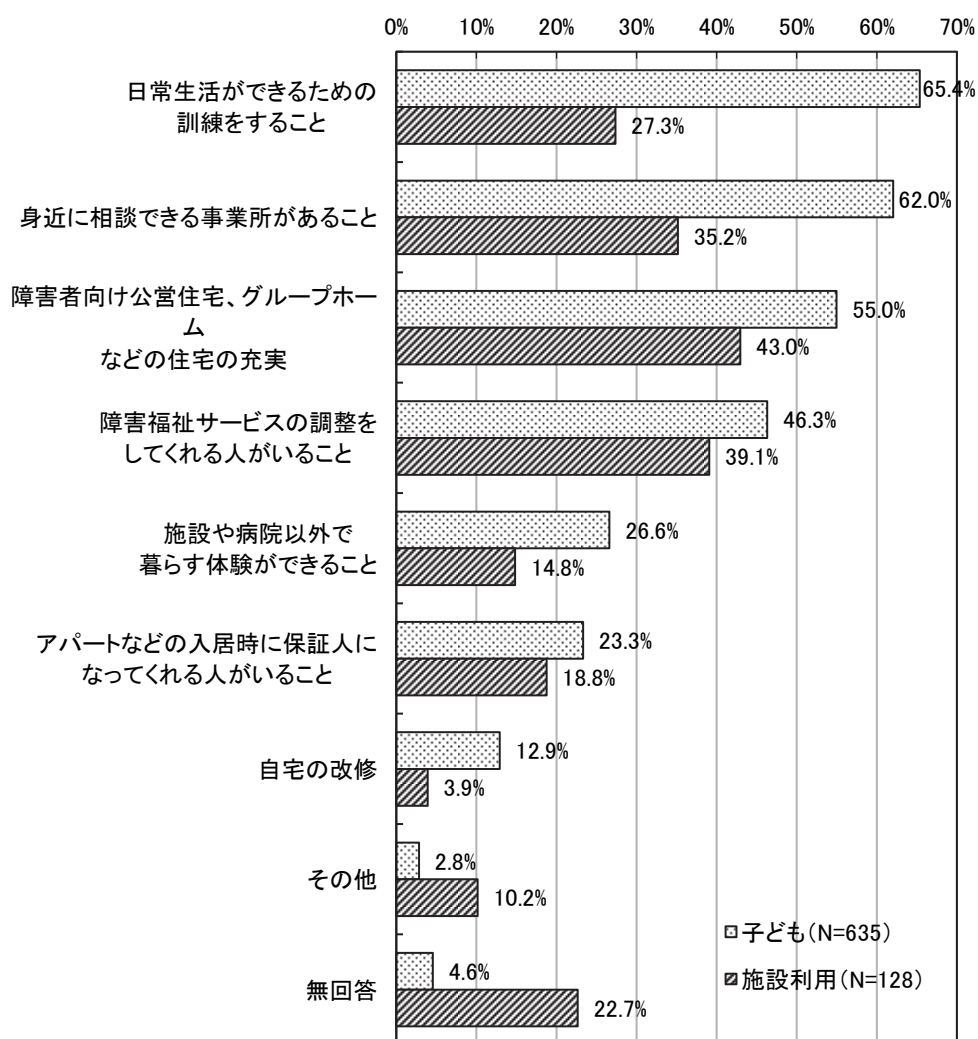
■障害のある方が地域で暮らしていくために地域住民に期待すること（複数回答）



⑩障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（子ども問 53（１）、施設利用問 30（１））

障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境については、子どもが全体的に施設利用に比べ多くなっています。

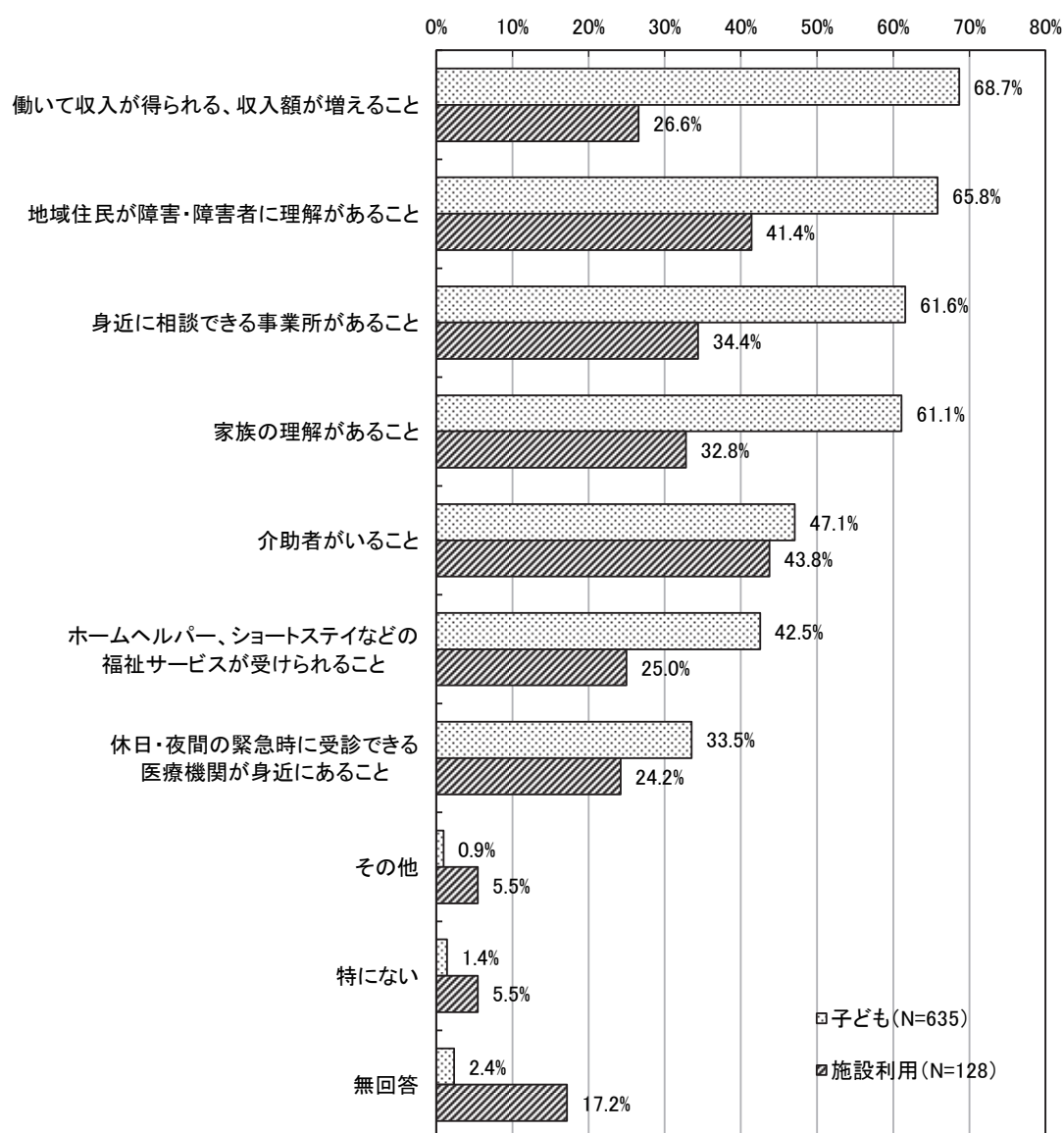
■障害のある方が地域で暮らすまでに必要な支援や環境（複数回答）



⑪障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（子ども問 53
（２）、施設利用問 30（２））

障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境については、子どもが全体的に施設利用に比べ多くなっています。

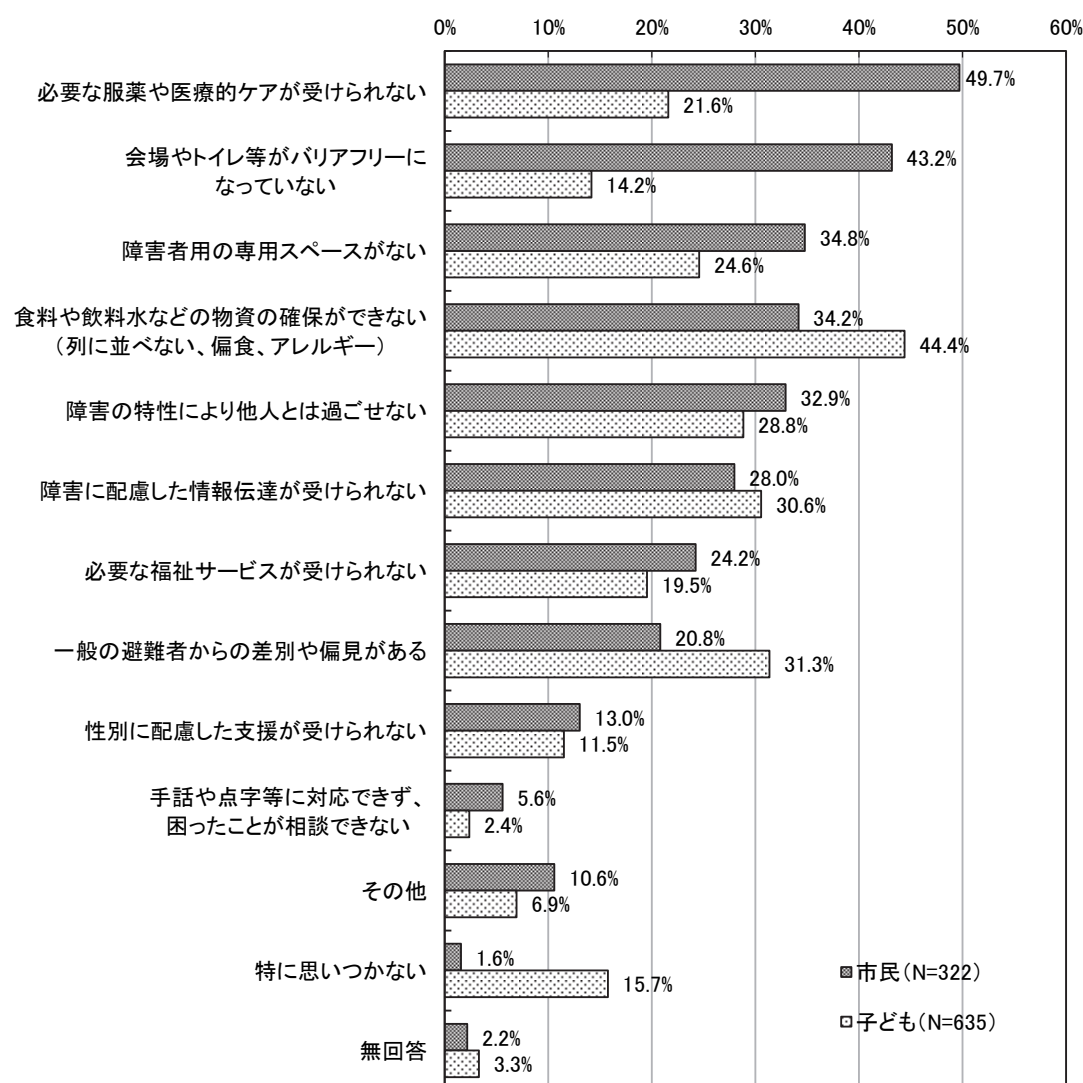
■障害のある方が地域で暮らし続けるために必要な支援や環境（複数回答）



⑩避難所生活で不安なこと（市民問 51-1、子ども問 49）

避難所生活で不安なことについては、子どもは「食料や飲料水などの物資の確保ができない（列に並べない、偏食、アレルギー）」、「障害に配慮した情報伝達が受けられない」、「一般の避難者からの差別や偏見がある」が市民に比べ多くなっています。

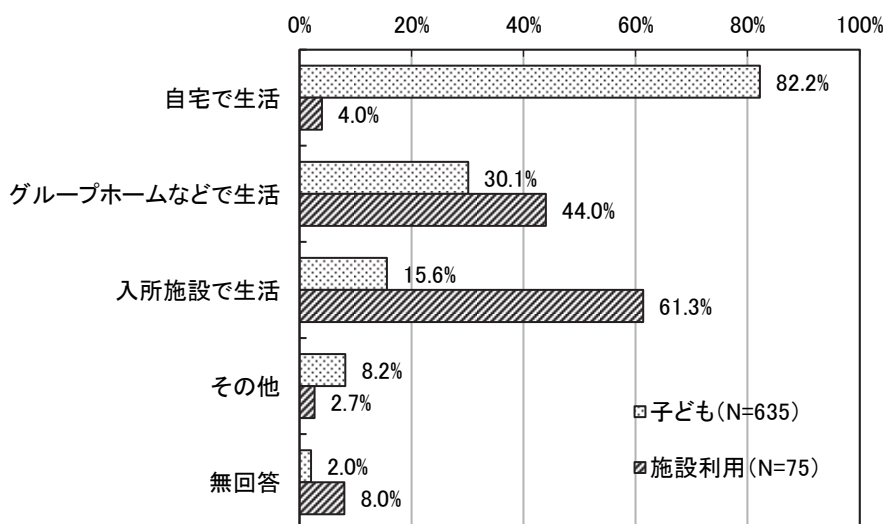
■避難所生活で不安なこと（複数回答）



⑭主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所（子ども問 51、施設利用問 38）

主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所については、子どもは「自宅で生活」、施設利用者は「入所施設で生活」が多くなっています。

■主な介助者が考える、被介助者の今後の生活場所（複数回答）



資 料 編

しょうがいふくし かん ちょうさ きょうりょく ねが
障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い
しみる (市民)

市民の皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対して、ご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一環の充実を図るため、「障害者福祉計画」「障害者自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、市民の皆様にご意見をいただきたく、アンケートをお願いする次第です。この調査は、川口市にお住まいの18歳以上の市民のうち、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている方、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方、障害福祉サービスを利用している難病の方の中から2,950名を無作為に選びしております。

アンケートにお答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしく願います。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. この調査は、あて名のご本人に記入していただくものですが、調査票にお名前を記入する必要はありません。また、答えたくないことは無理にお答えいただく必要もありません。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入いただいた調査票は、令和5年8月25日（金）までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手は不要です。）

記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方、またはひらがな付きをご希望の方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山路・今井
電話：048-258-1110（代表）内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えないようお願いいたします。

◎この調査票の回答者はどなたですか。（○は1つ）

1. あて名のご本人	3. 施設・病院の職員
2. 家族（親など）	4. その他（ ）

あなた（あて名のご本人）について

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男性	2. 女性	3. その他

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和5年7月1日現在）（○は1つ）

1. 18～29歳	3. 40～64歳	5. 75～84歳
2. 30～39歳	4. 65～74歳	6. 85歳以上

問3 あなたがご持ちらの手帳等（もっとも新しいもの）はどれですか。（○はいくつでも）

身体障害者	知的障害者	精神障害者
1. 身体障害者手帳1級 2. 身体障害者手帳2級 3. 身体障害者手帳3級 4. 身体障害者手帳4級 5. 身体障害者手帳5級 6. 身体障害者手帳6級 15. 上記の手帳や自立支援医療はない	7. 療育手帳A 8. 療育手帳B 9. 療育手帳C 10. 療育手帳D	11. 精神障害者保健福祉手帳1級 12. 精神障害者保健福祉手帳2級 13. 精神障害者保健福祉手帳3級 14. 自立支援医療（精神通院医療）を利用

→【問3で「1」～「6」の身体障害者手帳に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問5へお進みください】

問4 手帳に記されている障害は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 視覚障害	6. 上肢機能障害	11. じん臓機能障害
2. 聴覚障害	7. 下肢機能障害	12. 呼吸器機能障害
3. 平衡機能障害	8. 体幹機能障害	13. ぼうこう、直腸、小腸機能障害
4. 音声・言語機能障害	9. 運動機能障害	14. 免疫機能障害
5. その他機能障害	10. 心臓機能障害	15. 肝臓機能障害

問5 あなたの障害支援区分（程度区分）はどれですか。（○は1つ）

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	8. 認定審査を受けたことはない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
		7. 非該当	10. わからない

【40歳以上の方にうかがいます。それ以外の方は問7へお進みください】

問6 あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援1	3. 要介護1	5. 要介護3	8. 認定審査を受けたことはない
2. 要支援2	4. 要介護2	6. 要介護4	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
7. 要介護5	10. わからない		

問7 あなたが受けている医療的ケアは何ですか。(○はいくつでも)

1. 受けていない	7. ネブライザーの管理	13. 導尿
2. 人工呼吸器の管理	8. 経管栄養	14. 排便管理
3. 気管切開の管理	9. 中心静脈カテーテルの管理	15. 痙攣時の坐薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
4. 鼻咽喉工アウェイの管理	10. 皮下注射	
5. 酸素療法	11. 血糖測定	
6. 吸引	12. 継続的な透析	

あなたの日常生活について

問8 あなたは、現在どこで生活していますか。(○は1つ)

1. 自分の持ち家	6. 社宅、会社の寮
2. 親など家族の持ち家	7. 入所施設
3. 公営住宅	8. 病院に入院している
4. 民間のアパート、賃貸マンション、借家	9. その他
5. グループホーム（旧法でのケアホームを含む）	（ ）

問9 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。あなたを中心にしてお答えください。(施設に入所している方は実家の状態をお答えください)(○は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 核家族（親と成人の子ども）
2. 夫婦のみ	5. 三世代同居（親と子ども夫婦、孫等）
3. 核家族（親と未成年の子ども）	6. その他（ ）

問10 あなたは、平日の日中（朝から夕方）、夜間（夕方から早朝）はどこで過ごすことが多いですか。(アとイのそれぞれで○を3つまで記入してください)

※選択肢は次ページ（1～14）までであります		ア 日中 (○は3つまで)	イ 夜間 (○は3つまで)
(記入例) 1. 自宅		○	
1. 自宅			
2. 親族の家			
3. 友人・知人の家			
4. 入所施設			
5. グループホーム（旧法でのケアホームを含む）			

	ア 日中 (○は3つまで)	イ 夜間 (○は3つまで)
6. 職場（就労支援施設、生活介護など含む）		
7. 大学・短大・専門学校		
8. 高齢者サービス等		
9. デイケア（精神科）		
10. 病院（デイケア（精神科）除く）		
11. 公共の施設（公園・図書館・公民館など）		
12. 民間の施設（娯楽施設・店舗など）		
13. 短期入所など、障害者が一時的に過ごす施設		
14. その他（ ）		

問11 あなたにとって、自宅以外で居心地の良い場所はどこですか。(○はいくつでも)

1. 親族の家	8. デイケア（精神科）
2. 友人・知人の家	9. 病院（デイケア（精神科）除く）
3. 入所施設	10. 公共の施設（公園・図書館・公民館など）
4. グループホーム（旧法でのケアホームを含む）	11. 民間の施設（娯楽施設・店舗など）
5. 職場（就労支援施設、生活介護など含む）	12. 短期入所など、障害者が一時的に過ごす施設
6. 大学・短大・専門学校	13. その他（ ）
7. 高齢者サービス等	14. 居心地の良い場所はない

問12 あなたの収入や年金、手当てなどをあなたが管理していますか。(○は1つ)

1. 本人	2. 家族・親戚	3. その他（ ）

問13 あなたご自身の年収（賃金・年金等を含む）は税前でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 100万円未満	7. 600万円～700万円未満
2. 100万円～200万円未満	8. 700万円～800万円未満
3. 200万円～300万円未満	9. 800万円～900万円未満
4. 300万円～400万円未満	10. 900万円～1,000万円未満
5. 400万円～500万円未満	11. 1,000万円以上
6. 500万円～600万円未満	12. わからない・答えたくない

問14 あなたを含めた世帯全員の年収（賃金・年金等を含む）は税前でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 100万円未満	7. 600万円～700万円未満
2. 100万円～200万円未満	8. 700万円～800万円未満
3. 200万円～300万円未満	9. 800万円～900万円未満
4. 300万円～400万円未満	10. 900万円～1,000万円未満
5. 400万円～500万円未満	11. 1,000万円以上
6. 500万円～600万円未満	12. わからない・答えたくない

問15 あなたの現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 苦しい	3. 普通	5. ゆとりがある
2. やや苦しい	4. ややゆとりがある	

問 16 あなたは、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）や成年後見制度について知っていますか。（ア～ウについて、それぞれあてはまる番号「1～4」の中から〇は1つ）

	1	2	3	4
	の利 で用 して いる も 知 ら な い	利 用 し て い る が 、 利 用 制 度 の 内 容 は 知 ら な い	あ ま り よ く 知 ら な い	ま っ た く 知 ら な い
ア 福祉サービス利用援助事業 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が 地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉 サービスの利用援助等を行うもの。（旧名称：地域福祉権利擁護事業）	1	2	3	4
イ 成年後見制度 判断能力（事理弁識能力）の不十分な方を保護するため一定の場合に本 人の行為能力を制限すると共に本人のために法律行為を行い、または本 人による法律行為を助ける者を選任する制度。	1	2	3	4
ウ 成年後見制度利用支援事業 判断能力が不十分な障害者等で、身寄りがいないなどの理由で、親族など による後見等開始の審判の申立てができない方について、市長が代わっ て申立てを行い、費用及び後見人等への報酬の助成を行う制度。	1	2	3	4

問 17 あなたは、健康面で心配なことはありませんか。（〇はいくつでも）

1. 年々、体が動かなくなること	7. 眠れないこと
2. 体（足や腰など）が痛いこと	8. 歯の治療がむずかしいこと
3. 肥満・運動不足なこと	9. 体調が悪くても、まわりにわかってもらえないこと
4. 食事面や栄養のバランスのこと	10. 医師や看護師に症状をうまく伝えられないこと
5. 生活習慣病（高血圧、高脂血症 （脂質異常症）、糖尿病など）のこと	11. その他 （ ）
6. 精神的な不安のこと	12. 特にない

問 18 現在、あなたが文化芸術活動（鑑賞含む）で取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

【芸術】	11. 彫刻	【メディア芸術】	【芸能】	【娯楽】
1. 文学	12. 工芸	22. 映画	29. 落語	35. 囲碁
2. 詩	13. 陶芸	23. 漫画	30. 漫才	36. 将棋
3. 俳句	14. 染色	24. アニメ	31. 歌唱	
4. 小説	15. 写真			37. その他 （ ）
5. 音楽	16. 演劇	【伝統芸能】	【生活文化】	
6. オペラ	17. 時代劇	25. 雅楽	32. 茶道	
7. クラシック	18. ミュージカル	26. 能楽	33. 華道	
8. ポップス	19. 日本舞踊	27. 文楽	34. 書道	38. 特にない
9. 美術	20. ハレエ	28. 歌舞伎		
10. 絵画	21. ダンス			

問 19 今後、あなたが文化芸術活動（鑑賞含む）で取り組みたいことはありますか。（〇はいくつでも）

【芸術】	11. 彫刻	【メディア芸術】	【芸能】	【娯楽】
1. 文学	12. 工芸	22. 映画	29. 落語	35. 囲碁
2. 詩	13. 陶芸	23. 漫画	30. 漫才	36. 将棋
3. 俳句	14. 染色	24. アニメ	31. 歌唱	
4. 小説	15. 写真			37. その他 （ ）
5. 音楽	16. 演劇	【伝統芸能】	【生活文化】	
6. オペラ	17. 時代劇	25. 雅楽	32. 茶道	
7. クラシック	18. ミュージカル	26. 能楽	33. 華道	
8. ポップス	19. 日本舞踊	27. 文楽	34. 書道	38. 特にない
9. 美術	20. ハレエ	28. 歌舞伎		
10. 絵画	21. ダンス			

問 20 あなたが市の住宅対策として、今後特に望むことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. ケア付き住宅やグループホームなどの整備	6. 住宅改修費の助成制度の充実
2. 物件をあっせんする住宅相談窓口	7. 障害に配慮した民間のアパートなどの整備促進
3. 公的保証人制度の創設	8. その他 （ ）
4. 障害に配慮した公営住宅の整備	9. 特にない
5. 公営住宅の入居の優先枠	

問 21 あなたは、施設に入所する場合、どのような点を重視しますか。（〇はいくつでも）

1. 行政や専門機関の勧め	11. 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
2. 家族の勧め	12. おいしい食事が食べられる
3. 友人・知人の勧め	13. 料金（自己負担額）が安い
4. 自宅から近い	14. すぐに入所できる
5. 必要なサービスを受けられる	15. 施設に住み続けられる
6. 緊急時の対応が可能	16. 災害対策がしっかりしている
7. 施設の防犯・見守りがしっかりしている	17. 感染症対策がしっかりしている
8. 職員が親切で対応が良い	18. その他 （ ）
9. 部屋や建物の環境が充実している	19. 特にない
10. 見学をして、施設の雰囲気良かった	

問 22 あなたは、グループホームに入居する場合、どのような点を重視しますか。（〇はいくつでも）

1. 行政や専門機関の勧め	11. 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
2. 家族の勧め	12. おいしい食事が食べられる
3. 友人・知人の勧め	13. 料金（自己負担額）が安い
4. 自宅から近い	14. すぐに入居できる
5. 必要なサービスを受けられる	15. 施設に住み続けられる
6. 緊急時の対応が可能	16. 災害対策がしっかりしている
7. 施設の防犯・見守りがしっかりしている	17. 感染症対策がしっかりしている
8. 職員が親切で対応が良い	18. その他 （ ）
9. 部屋や建物の環境が充実している	19. 特にない
10. 見学をして、施設の雰囲気良かった	

問 23 あなたは、施設への入所、グループホームへの入居が必要となった場合、どちらを選びますか。(○は1つ)

1. 施設

2. グループホーム

3. わからない

4. 希望しない (自宅を選ぶ)

→【問 23 で「1. 施設」または「2. グループホーム」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 24 へお進みください】

問 23-1 回答した理由をお教えください。(○はいくつでも)

【1. 施設 を選んだ理由】

1. 施設は日中活動を一体的に行っているから

2. 家事 (料理・掃除・洗濯など) ができないから

3. 身体介護 (食事・トイレ・お風呂など) で困るから

4. 自分の力だけで生活する自信がないから

5. 地域のサービスが不足しているから

6. 継続して地域で暮らすことが難しいから

7. その他 ()

【2. グループホーム を選んだ理由】

8. グループホームは、日中活動を別に選択できるから

9. 地域の一員として暮らしたいから (地域移行)

10. 自立した生活を送るうえで、必要最小限の支援を受けることができるから

11. 少人数だから

12. 他に選択肢がないから

13. その他 ()

問 23-2 施設・グループホームには、いつから入りたいですか。(○はいくつでも)

1. 今すぐにも

2. 障害が重度になったら

3. 高齢になったら

4. 地域での生活が難しくなったら

5. 親が元気うちに

6. 親が高齢になったら

7. 親が亡くなったら

8. 希望に合う施設・グループホームを見つけたら

9. その他 ()

問 24 あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。(○は1つ)

とても不幸

とても幸せ

0点

1点

2点

3点

4点

5点

6点

7点

8点

9点

10点

相談や情報などについて

問 25 あなたは、必要とする福祉サービスの情報を十分に入手できていますか。(○は1つ)

1. できている

2. まあまあできている

3. あまりできていない

4. できていない

5. 必要ない

問 26 あなたは、いろいろな福祉サービスに関する情報をどこ (誰) から入手していますか。(○はいくつでも)

1. 家族・親戚、友人・知人

2. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌

3. インターネット

4. 市の広報紙やパンフレット等

5. 福祉施設の窓口・職員等

6. 福祉団体・サークル

7. 社会福祉協議会

8. 市役所・保健センター・保健所

9. 相談支援事業所

10. 民生委員・児童委員

11. 学校、職場

12. ヘルパー

13. 町会、自治会の回覧

14. 近所の人

15. その他 ()

16. 特 に ない

問 27 令和4年5月に施行された「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を踏まえ、障害のある方の情報の十分な取得や利用、スムーズな意思疎通を推進するための施策の充実を検討しています。

あなたは、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が特に必要であると考えますか。(○は3つまで)

1. 障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実

2. 場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備

3. 障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり

4. ICTを活用することができるとできるネットワークや利用環境の充実

5. 障害のある方への情報通信機器の提供、障害のある方の方の情報通信機器の取得に対する支援

6. 情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援

7. 情報通信機器を活用する機会・場の充実

8. 情報通信に関する情報の提供

9. その他 ()

10. 特 に ない

問 28 あなたは、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。

(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や援護をしてくれる人がいない
2. 一緒に暮らす人がいない
3. 公共交通機関等の移動手段が少ない
4. 適当な働き口がない
5. 十分な収入が得られない
6. 趣味や生きがいがない
7. 生活をするうえで必要な情報が得られない
8. 自分の健康や体力に自信がない
9. 家族など介助者の健康状態がよくない
10. 家族などが高齢化している
11. 隣人などとの関係がうまくいかない
12. 必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない
13. 結婚に関して
14. 将来にわたる生活の場（住居）、または施設があるかどうか
15. その他（
16. 特に困っていることや不安に思うことはない

問 29 あなたが、悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。(○はいくつでも)

1. 家族・親戚	8. 障害のある方が通う施設
2. 友人・知人	9. 医療機関
3. 近所の人	10. 民生委員・児童委員
4. 保育園・幼稚園・学校	11. 障害者団体
5. 役所（国・県・市町村）の窓口	12. その他（
6. 相談支援事業所	13. 相談相手はいない
7. ホームヘルパー	14. 特に悩みや困ったことはない

問 30 あなたの目からみて、障害者の社会の中での「生きにくさ、障壁」について、市民の理解度はどの程度だと考えますか。

(ア～エについて、それぞれあてはまる番号「1～4」の中から○は1つ)

	十分 理解されている	ある程度 理解されている	理解されて いない	わからない
ア. 身体障害	1	2	3	4
イ. 知的障害	1	2	3	4
ウ. 精神障害 (発達障害・高次脳 機能障害含む)	1	2	3	4
エ. 難病	1	2	3	4

問 31 過去3年間に、あなたは虐待されたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. な い	3. わからない
→【問 31 で「1. ある」と回答した方にかかいます。それ以外の方は問 32 へお進みください】		
問 31-1 具体的にどのような場面で、ありましたか。(○はいくつでも)		
1. 教育の場	4. 公共施設	7. その他
2. 福祉施設	5. 職場	(
3. 医療機関	6. 家庭（家族、親戚）	)

問 31-2 具体的にどのような虐待を受けましたか。(○はいくつでも)

1. 身体を傷つけられたり、拘束されたりした
2. わいせつな行為をされた
3. 暴言を吐かれたり、拒絶・無視された
4. 食事を食べさせてもらえなかったり、長時間放置されたりした
5. 財産を不当に処分されたり、賃金をとられたりした
6. その他（

問 32 過去3年間に、あなたは障害のある方が虐待されているのを見ることがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. な い	3. わからない

問 33 あなたは、次のような虐待の相談窓口を知っていますか。(ア、イについて、それぞれあてはまる番号「1、2」の中から○は1つ)

	知っている	知らない
ア. 川口市障害者虐待防止センター（ℓ048-259-7926）	1	2
イ. 埼玉県虐待通報ダイヤル（＃7171）	1	2

問 34 過去3年間に、あなたは日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことはありませんか。(○は1つ)

1. よく感じる	3. ほとんど感じたことはない
2. ときどき感じる	4. まったく感じたことはない

→【問 34 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にかかいます。それ以外の方は問 35 にお進みください】

問 34-1 具体的にどのような場面で、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 学校などの教育の場で	9. 外での人の視線（じろじろ見られる等）
2. 仕事	10. お店などでの対応
3. 収入面	11. 行政職員の対応・態度
4. 病院の医師や看護師等の対応・態度	12. 電車など、交通機関の利用等
5. コミュニケーションや情報の収集	13. 公共施設の利用等
6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動	14. 結婚
7. ご近所とのつきあい	15. 出産
8. 地区の行事・集まり	16. その他（

問 35 あなたは、相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に 応じてくれる	7. 電話での相談を充実する
2. 信頼できる相談者がいる	8. ファックスや福祉電話の貸付サービス を行う
3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる	9. ちよっとしたことでも相談に応じて くれる
4. 身近な場所で相談できる窓口がある	10. その他 ()
5. 市や相談支援事業所から聞きに来てくれる	11. 特になし
6. インターネットでの相談ができる	

問 36 市内には障害のある方の①相談支援事業所や②就労支援センターがあります。あなたは
知っていますか。まだ利用したことがありますか。利用しての満足度はどうでしたか。

(①②についてア・イ・ウのそれぞれの番号 ○は1つ)									
	ア. 知っていますか		イ. 利用の有無		ウ. 「利用した」に○をつけた方のみ 利用しての満足度				やや 不満
	知って いる	知らない	利用 した	利用して いない	満足	まあ 満足	普通		
①障害者相談支援 事業所	1	2	1	2	1	2	3	4	5
②障害者就労支援 センター	1	2	1	2	1	2	3	4	5

仕事について

問 37 あなたの収入は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 給与・賃金	4. 年金	7. 仕送り
2. 事業収入	5. 福祉に関する手当	8. その他 ()
3. 財産収入	6. 生活保護	9. 収入はない

問 38 あなたは現在、働いていますか。(○は1つ)

1. 働いていない	3. 学校等に通っている	} ⇒問 39へ
2. 働いている ⇒問 38-3へ	4. その他 ()	

【問 38 で「1. 働いていない」と回答した方にかがいます】

問 38-1 働いていない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 家事・子育てをしている	4. 仕事をする必要がない (高齢などの理由で)
2. 病気・障害などのため	5. その他 ()
3. 仕事が見つからない	

(次ページへ進む)

【問 38-1 で「3. 仕事が見つからない」と回答した方にかがいます。それ以外の方は問 39
へお進みください】

問 38-2 どのような条件が整っていれば就労できると思えますか。(○はいくつでも)

1. 自分のやりたい内容であればできる	4. 給与の条件が合えばできる
2. 就労時間や日数の条件が合えばできる	5. その他 ()
3. 就労の機会が得られればできる	

[問 39 へお進みください]

【問 38 で「2. 働いている」と回答した方にかがいます】

問 38-3 お勤めの形態は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 自営業	6. 有償ボランティア
2. 家業の手伝い	7. 内職
3. 会社などの正規の社員・職員 (役員を含む)	8. 就労継続支援 A 型
4. 契約社員等 (雇用期間が決まっている)	9. 就労継続支援 B 型
5. 臨時、パート、嘱託等	10. 生活介護
(雇用期間が決まっていない)	11. その他 ()

問 38-4 1 ヶ月の給料や工賃はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 家族従業者で収入は特にならない	7. 15~19 万円未満
2. 1 万円未満	8. 19~23 万円未満
3. 1~2 万円未満	9. 23~25 万円未満
4. 2~7 万円未満	10. 25~30 万円未満
5. 7~11 万円未満	11. 30~50 万円未満
6. 11~15 万円未満	12. 50 万円以上

問 38-5 仕事をするうえで不安や不満を感じることがありますか (ありましたか)。
(○はいくつでも)

1. 障害者のための設備が十分でない	8. 賃金がもらえない
2. 安全に配慮されていない	9. 健康保険・厚生年金などがない
3. 通勤するのが大変	10. 仕事が見つからない
4. 自分にあった内容の仕事がない	11. 仕事の内容が負担
5. 職場の人間関係がむずかしい	12. 働く時間が長い
6. 昇給や昇進が平等ではない	13. その他 ()
7. 収入が少くない	14. 特に不安や不満はない

【すべての方にかがいます】

問 39 あなたは、1 週当たり何時間働きたいと考えますか。(○は1つ)

1. 10 時間未満	3. 20 時間以上 30 時間未満	5. 働きたい
2. 10 時間以上 20 時間未満	4. 30 時間以上	6. 働くことができない

問 40 障害のある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 企業などが積極的に障害のある方を雇うこと	
2. 障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること	
3. 就労条件（個別の状況に応じた対応など）が整っていること	
4. 生活できる給料がもらえること	
5. 事業主や職場の仲間の理解があること	
6. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること	
7. 自営業を希望する障害のある方への支援が充実していること	
8. 通勤（交通）手段が確保されていること	
9. 働く場の紹介（あっせん）や相談が充実していること	
10. 健康管理が充実していること	
11. 働きながら安心して通院できること	
12. 作業所など働く場が整備されていること	
13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること	
14. 就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること	
15. その他（	）
16. 特に必要ない	

福祉サービスについて

問 41 次の各サービスについて、利用状況・利用意向をお答えください。(次の各サービスについて、それぞれあてはまる番号「1～6」の中から〇は1つ)

	1	2	3	4	5	6
	現在利用しており、今後も利用したい	今後利用する予定はない	現在利用しているが、後は利用したい	利用したいが利用できない	今後利用する予定もない	知らない・わからない
◎在宅で暮らす方に対して						
(1) 居宅介護 自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	3	4	5	6
(2) 重度訪問介護 重度の肢体不自由者、行動上著しい困難を有する障害者で常に介護を必要とする方に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時の移動を補助します。	1	2	3	4	5	6
(3) 行動援護（知的・精神障害） 行動に著しい困難を有する方が行動するとき、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(4) 重度障害者等包括支援 介護の必要性がとて高い方に、居宅介護など複数のサービスを包括的にを行います。	1	2	3	4	5	6

	1	2	3	4	5	6
	現在利用しており、今後も利用したい	今後利用する予定はない	現在利用しているが、後は利用したい	利用したいが利用できない	今後利用する予定もない	知らない・わからない
(5) 短期入所 自宅で介護する方が病気の場合などに、短期間、夜間も含め、施設で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	3	4	5	6
◎常時介護が必要な方に対して						
(6) 療養介護 医療と常時介護を必要とする方に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(7) 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で、入浴、排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	3	4	5	6
◎地域での自立生活を希望する方に対して						
(8) 機能訓練（身体障害） 施設等又は居宅で理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーション、生活等の相談、助言、その他必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(9) 生活訓練（知的・精神障害） 施設等又は居宅で入浴、排せつ、食事等日常生活に必要な訓練、生活等の相談、助言、その他必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
◎就労を希望する方に対して						
(10) 就労移行支援 一般企業への就労を希望する方に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	3	4	5	6
(11) 就労継続支援 A 型 一般企業等への就労が困難な方に対し、働く場を雇用契約の締結等により提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	3	4	5	6
(12) 就労継続支援 B 型 一般企業等への就労が困難な方に対し、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	3	4	5	6
(13) 就労定着支援 一般就労へ移行した障害のある方が、就労に伴う環境変化による生活面の課題に対応できるよう、企業や自宅への訪問などにより必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
◎施設入所、居宅支援を希望する方に対して						
(14) 施設入所 地域での生活が困難で、施設に入所する方に、夜間や休日、入浴、排せつ、又は食事の介護等その他日常生活上の援助を行います。	1	2	3	4	5	6
(15) 共同生活援助：介護サービス包括型（グループホーム） 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を行います。また、利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を行います。	1	2	3	4	5	6

	1 現在利用しており、 今後も利用したい	2 現在利用しているが、 今後利用したい	3 現在利用していないが、 今後利用したい	4 利用したいが利用ができません	5 現在利用していないし、 今後利用する予定もない	6 知らない・わからない
(16) 共同生活援助：外部サービス利用型（グループホーム） 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談その他の日常生活上の援助を行います。また、利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を行います。なお、入浴、排せつ又は食事の介護については、利用者の状態に応じて、外部の居宅介護事業所に委託します。	1	2	3	4	5	6
(17) 共同生活援助：日中サービス支援型（グループホーム） 障害者の重度化・高齢化に対応できるよう、昼夜を通じて、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を実施します（1人以上の職員を配置）。また、利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施します。さらに、短期入所（定員 1～5 人）を併設し、在宅で生活する障害者の緊急・一時的な宿泊の場を提供します。	1	2	3	4	5	6
(18) 自立生活援助 施設を利用していただ障害のある方がひとりで暮らしをはじめたときに、訪問して必要な助言などの支援を行います。	1	2	3	4	5	6
◎地域での自立生活を希望する方に対して						
(19) 地域移行支援事業 障害者支援施設等に入所または精神科病院に入院している方に、住居の確保等の地域生活に移行するための活動に関する相談、支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(20) 地域定着支援事業 単身等で生活する障害のある方に対し常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、相談その他の必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(21) 宿泊型自立訓練 知的・精神障害者に居室、その他の設備を提供するとともに、家事等の日常生活能力の向上のための支援、生活等の相談、助言、その他の必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
◎その他の日常生活支援を希望する方に対して						
(22) 川口市障害者相談支援センター 地域で生活する身体障害、知的障害、精神障害、難病の方、そのご家族や関係機関からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言を行います。	1	2	3	4	5	6
(23) コミュニケーション支援 聴覚、言語機能、音声機能、その他の障害のため、意思疎通を図ることに支援がある方とその他の方の意思疎通を仲介するために、手話通訳・要約筆記などを行う者の派遣を行います。	1	2	3	4	5	6
(24) 日常生活用具給付等 障害者・難病の方の日常生活を容易にするために、日常生活用具の給付、貸与を行います。	1	2	3	4	5	6

	1 現在利用しており、 今後も利用したい	2 現在利用しているが、 今後利用したい	3 現在利用していないが、 今後利用したい	4 利用したいが利用ができません	5 現在利用していないし、 今後利用する予定もない	6 知らない・わからない
(25) 移動支援 屋外での移動が困難な障害のある方について、外出のための支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(26) 地域活動支援センター 障害のある方が通い、創作的活動または生産活動の提供、社会との交流の促進などの便宜を図ります。	1	2	3	4	5	6
(27) 日中一時支援 障害のある方の家族の就労支援および介護者の一時的な休息を目的とし、日中の活動の場を提供します。	1	2	3	4	5	6
(28) 生活サポート 市に登録した民間福祉団体が、障害児（者）の一時預かり、派遣による介護や外出の付き添いなど、本人や家族の必要としているサービスを時間単位で提供します。	1	2	3	4	5	6
(29) 自動車運転免許取得費助成 障害者が就職などのため、自動車運転免許を取得する場合、それに要した費用の一部を助成します。	1	2	3	4	5	6
(30) 自動車改造費助成 身体障害者が就労などのために使用する自己が所有し運転する自動車を改造する場合、その費用の一部を助成します。	1	2	3	4	5	6
(31) 住宅改修費助成 重度の身体障害者の居宅を生活しやすいように改善する場合で、介護保険または日常生活用具給付の対象にならない工事について助成します。ただし、新築・改築・増築に際して行う工事は除きます。	1	2	3	4	5	6
(32) 川口市障害者就労支援センター ハローワークをはじめ関係機関と連携し、障害者の受け入れ事業所を広げるための活動をしています。また、市内の障害者施設と協力し、就労へ向けてさまざまな取り組みを行っています。	1	2	3	4	5	6

【問 41 で 1 つでも「4. 利用したいが利用ができない」と回答した方にかがいます】

問 41-1 あなたが利用したいにも関わらず、利用ができていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 定員がいっぱいで利用できない
2. 通うことが大変である
3. サービスの回数・時間が足りない
4. 専門的な支援ができる人材がいらない
5. 利用したい時間帯や時期があわない
6. 自己負担額が高い
7. 利用したい事業所がない
8. 自分に適したサービスがわからない
9. サービスの利用方法がわからない
10. 災害や感染症などへの対応が不安である
11. その他

【すべての方にうかがいます】

問 42 問 41 に記載の各サービスについて、あなたが川口市内で不足していると思うものはどれですか。(○は3つまで)

(1) 居宅介護	(17) 共同生活援助：日中サービス支援型 (グループホーム)
(2) 重度訪問介護	(18) 自立生活援助
(3) 行動援護 (知的・精神障害)	(19) 地域移行支援事業
(4) 重度障害者等包括支援	(20) 地域定着支援事業
(5) 短期入所	(21) 宿泊型自立訓練
(6) 療養介護	(22) 川口市障害者相談支援センター
(7) 生活介護	(23) コミュニケーション支援
(8) 機能訓練 (身体障害)	(24) 日常生活用具給付等
(9) 生活訓練 (知的・精神障害)	(25) 移動支援
(10) 就労移行支援	(26) 地域活動支援センター
(11) 就労継続支援 A 型	(27) 日中一時支援
(12) 就労継続支援 B 型	(28) 生活サポート
(13) 就労定着支援	(29) 自動車運転免許取得費助成
(14) 施設入所	(30) 自動車改造費助成
(15) 共同生活援助：介護サービス包括型 (グループホーム)	(31) 住宅改修費助成
(16) 共同生活援助：外部サービス利用型 (グループホーム)	(32) 川口市障害者就労支援センター
	(33) 持にない

問 43 あなたは、川口市の障害者施策について、総合的に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	4. やや不満である
2. まあまあ満足している	5. 不満である
3. どちらともいえない	

まちづくり・地域生活について

問 44 あなたやご家族は、隣近所との程度つきあいをしていますか。(ア、イそれぞれに○は1つ)

	大変親しい つきあい	行事のあるとき はつきあう	会えばあいざつ をする程度	ほとんど つきあいはない
ア. あなた自身	1	2	3	4
イ. ご家族	1	2	3	4

問 45 あなたは、川口市は障害者にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい	3. やや住みにくい	5. どちらともいえない
2. まあ住みやすい	4. 住みにくい	

問 46 あなたは、障害があっても住み良いまちづくりのために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実
2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実
3. サービス利用の手続きの簡素化
4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実
5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上
6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実
7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実
8. いろいろなボランティア団体の育成
9. 住宅での生活がしやすく介助が受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実
10. 医師や専門職員による訪問指導の充実
11. 短期入所施設の整備
12. 入所施設の整備
13. グループホームの整備
14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備
15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供
16. 保育・教育内容の充実
17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実
18. 職業訓練の充実や働く場所の確保
19. 障害のある仲間が集える場の確保
20. 利用しやすい公共施設の整備・改善
21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実
22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善
23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保
24. 災害のときの避難誘導体制の整備
25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実
26. その他 ()

問 47 あなたは、障害のある方が地域で暮らしていくために、地域住民に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

1. 差別・偏見のない障害 (特性) への理解	5. 障害に関するボランティアへの参加
2. 障害者本人や家族のプライバシーへの配慮	6. 働く場の提供
3. 積極的な見守り・声かけ	7. その他 ()
4. イベント等、地域との交流機会の提供	

災害時について

問 48 あなたは、台風や地震等の災害時に、どこに避難すれば良いか知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問 49 あなたは、災害時に避難できると思いますか。(○は1つ)

1. できる
2. できると思うが、自信はない
3. できない

問 50 あなたは、地震等の災害時に避難する場合、誰と避難するか決めていますか。(○は1つ)

1. 家族と避難することを決めている
3. 避難のことは決めていない
2. ご近所とも声をかけあって避難することになっている

問 51 地震などの大規模な災害が起きた場合、障害があるがゆえに心配なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自力で避難がむずかしい
4. 情報を手しにくい
7. どこに行けば良いかわからない
2. 避難所生活がむずかしい
5. 必要な医療が受けられない
8. その他 ()
3. 薬の手配がむずかしい
6. 必要な物資を手に入れられない
9. 特に思いつかない

→【問 51 で「2. 避難所生活がむずかしい」と回答した方にかがいます】

問 51-1 避難所生活で不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 会場やトイレ等がバリアフリーになっていない
2. 性別に配慮した支援が受けられない
3. 手話や点字等に対応できず、困ったことが相談できない
4. 障害に配慮した情報伝達が受けられない
5. 必要な福祉サービスが受けられない
6. 必要な服薬や医療的ケアが受けられない
7. 障害の特性により他人とは過ごせない
8. 一般の避難者からの差別や偏見がある
9. 障害者用の専用スペースがない
10. 食料や飲料水などの物資の確保ができない (列に並べない、偏食、アレルギー)
11. その他 ()
12. 特に思いつかない

問 52 あなたは、高齢者や障害者など特別な配慮が必要な方を受け入れる福祉避難所を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問 53 被災後の生活において、あなたは誰を頼りにしますか。(○は3つまで)

1. 家族・親族
6. 行政 (市役所など)
2. 近所の人
7. 相談支援事業所
3. 友人・知人
8. 利用している施設
4. 自主防災組織 (町会・自治会など)
9. その他 ()
5. 社会福祉協議会

問 54 地震などの災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 災害対策の学習会
6. 地域の要援護者の把握
2. 日頃からあいさつ、声かけやつきあい
7. 要援護者に対する情報伝達体制の構築
3. 地域での避難訓練
8. 災害ボランティアの育成
4. 危険箇所の把握
9. その他 ()
5. 地域における援助体制の構築

問 55 災害時に支援をうけるため、「川口市避難行動要援護者登録制度」がありますが、あなたは利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 登録している
3. 登録したくない (必要ない)
2. 登録して利用したい
4. 対象者ではない

(参考) 本制度の対象者

市内に居住し、災害時の避難に特に支援を要する在宅者で、次の1～3に該当する方
だけで生活している方 (ただし、同居者が65歳以上の高齢者のみの場合は対象)

- 1 自力で避難することが困難な65歳以上の高齢者
- 2 次の障害者手帳をお持ちの方
- ア 身体障害者手帳 1～3級
- イ 療育手帳㊦・A
- ウ 精神障害者保健福祉手帳 1・2級
- 3 要介護認定3～5の方

→【問 55 で「3. 登録したくない (必要ない)」と回答した方にかがいます】

問 55-1 登録したくない理由は何ですか。(○は1つ)

1. プライバシーが心配なため
3. なんとなくそういう気分にならないため
2. 生活に干渉されるのがいやなため
4. その他 ()

介助者のことについて

問 56 あなたの主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

1. 介助は必要ではない	7. 隣人・知人
2. 配偶者（夫・妻）又はパートナー	8. ホームヘルパー
3. 父親・母親	9. ボランティア
4. 子ども・子どもの配偶者	10. 施設の職員
5. 兄弟姉妹	11. その他（ ）
6. 祖父・祖母・親戚	12. 必要だが誰もいない

問 57 あなたの主な介助者が、万が一、急病、急用、事故などで介助できなくなった場合、どのようにしていますか。これまでそのようなことがなかった方は今後のことを想定してお答えください。(○は1つ)

1. 同居の家族に頼む	5. 病院や施設に一時的に入所する
2. 同居していない家族や親戚に頼む	6. 特定の人は決まっていない
3. 近所の人や友人に頼む	7. 誰にも頼まない（介助なしでいる）
4. 公的サービス（ホームヘルパーの派遣等）を頼む	8. どうしてもいいかわからない
	9. その他（ ）

※次の問 58～67 は、親族で介助している方ご本人（問 56 で「2」～「6」に回答）がお答えください。それ以外の方及び介助者ご本人による回答が難しい場合は問 68 にお進みください。
※以下の問で「あなた」とは主な介助者のことを指します。

問 58 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 10～19 歳	3. 40～59 歳	5. 65～74 歳	7. 85 歳以上
2. 20～39 歳	4. 60～64 歳	6. 75～84 歳	

問 59 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 性	2. 女 性	3. その他

問 60 本調査のあて名の方とあなたを除いた世帯の状況について、あてはまるものをお答えください。(○はいくつでも)

1. 介護が必要な障害のある方と同居している
2. 要介護（支援）認定を受けている方と同居している
3. 要介護（支援）認定を受けていないが、介護が必要な方と同居している
4. 病気などの理由により不自由な方がいる
5. 小学生以下の子どもがいる
6. ひきこもりの状態にある方と同居している
7. その他（ ）
8. あてはまるものはない

【40 歳以上の方にうかがいます。それ以外の方は問 62 へお進みください】

問 61 あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援 1	5. 要介護 3	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
2. 要支援 2	6. 要介護 4	10. 総合事業の対象者
3. 要介護 1	7. 要介護 5	11. わからない
4. 要介護 2	8. 認定審査を受けたことはない	

問 62 あなたは就労していますか。(○は1つ)

1. 就労している（正社員）	3. 就労していない
2. 就労している（パート・アルバイト）	4. 介助のため退職した

問 63 あなたは、1 日平均何時間ぐらい介助や見守りをしていますか。(○は1つ)

1. 1 時間未満	4. 6～12 時間未満
2. 1～3 時間未満	5. 12 時間以上
3. 3～6 時間未満	

問 64 あなたは、介助していて強く叱ったり、叩いたりしたことがありますか。(○は1つ)

1. したことがある	2. したことはない

→【問 64 で「1. したことがある」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 65 へお進みください】

問 64-1 具体的にどのようなことをしてしまいましたか。(○はいくつでも)

1. しつけないと思って身体を傷つけたり、拘束したりしてしまった
2. 本人の同意を確認せず、わいせつ行為をしたり、させたりしてしまった
3. 暴言を吐いたり、拒絶・無視したりしてしまった
4. 食事を食べさせなかったり、長時間放置してしまった
5. 本人の承諾を得ず、財産を処分したり、責金をとったりしてしまった
6. その他（ ）

問64-2 このようなことをしてしまう要因として、どのようなことがあると思われますか。
(○はいくつでも)

1. 介護等で身体的に疲れているため
2. 介護等で精神的に疲れているため
3. 障害者の性格、精神的問題があるため
4. 介護・支援方法の知識不足のため
5. 経済的理由で福祉サービス利用困難なため
6. 利用したい福祉サービスがないため
7. その他（ ）

問65 あなたは、ボランティアなどに支援を頼んでいることがありますか。(〇はいくつでも)

1. 話し相手	9. 手話通訳、要約筆記
2. 外出時の付き添い	10. 本や情報誌などの点訳や朗読
3. 外出時の送り迎え（移送ボランティア）	11. 学習・趣味活動などの相手や介助
4. 家事の手伝い	12. スポーツ・レクリエーション活動の相手や介助
5. 家族が外出した際の世話	13. 行事やイベントの手助け
6. 介助者が緊急で不在の際の手助け	14. その他（ ）
7. 家や庭の手入れ	15. 必要だが頼んでいない
8. 買い物や諸手続きの代行	16. 特にない、必要がない

376

問 66 あなたは、今後、ボランティアなどにどのような支援を頼みたいですか。

(まじくイロ)

1. 話し相手	9. 手話通訳、要約筆記
2. 外出時の付き添い	10. 本や情報誌などの点訳や朗読
3. 外出時の送り迎え（移送ボランティア）	11. 学習・趣味活動などの相手や介助
4. 家事の手伝い	12. スポーツ・レクリエーション活動の相手や介助
5. 家族が外出した際の世話	13. 行事やイベントの手助け
6. 介助者が緊急で不在の際の手助け	14. その他
7. 家や庭の手入れ	（ ）
8. 買い物や諸手続きの代行	15. 特にない、必要がない

問67 あなたが、介助者の立場として、心配なことや困っていることは何ですか。

(まじくはい)

1. 介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）
2. 自分が亡くなった後のこと
3. 健康のこと
4. 自由にできる時間がないこと
5. 家族・親族等の理解がないこと
6. 近所の人の理解がないこと
7. 外出が出来ないこと
8. 仕事などにつけないこと
9. 他に介助してくれる人がいないこと
10. 費用面など、お金の問題
11. 相談できる人や場所がわからないこと
12. その他（ ）
13. 特になし

22

【すべての方にうかがいます】

問 68 最後に、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

長時間のご協力ありがとうございました。
8月25日(金)までに投函してください(切手不要)。

しょうがいふくし かん ちようさ きようよく ねが
障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い
(子ども)

市民の皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対して、ご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一層の充実を図るため、「障害者福祉計画」「障害者自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、市民の皆様にご意見をいただきたく、アンケートをお願いする次第です。この調査は、川口市にお住まいの18歳未満の市民のうち、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている方、自立支援医療（精神通院医療）、障害児福祉サービス等を利用している方の中から1,350名を無作為にお選びしております。

アンケートにお答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. この調査は、あて名のお子さんの保護者の方等がご記入ください。
2. 調査票にお名前を記入する必要はありません。また、答えないことは無理に答えないでかなくてもかまいません。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入いただいた調査票は、令和5年8月25日（金）までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手は不要です。）

記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方、またはひらがな付きをご希望の方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山路・今井
電話：048-258-1110（代表）内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

※以下の質問で、「お子さん」とはあて名の方で本人、「あなた」とはアンケートに回答していただく保護者の方等のことです。お間違えのないようにお答えください。

◎この調査票の回答者はどなたですか。（○は1つ）

1. 家族（親など）	2. 施設・病院の職員	3. その他（ ）

お子さんのことについて

問1 お子さんの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男 性	2. 女 性	3. その他

問2 お子さんの就学（未就学）等をお答えください。（令和5年7月1日現在）（○は1つ）

1. 未就学児	3. 中学生
2. 小学生	4. 中学校卒業以上

問3 お子さんをお持ちの手帳等（もっとも新しいもの）はどれですか。（○はいくつでも）

身体障害者	知的障害者	精神障害者
1. 身体障害者手帳1級	7. 療育手帳A	11. 精神障害者保健福祉手帳1級
2. 身体障害者手帳2級	8. 療育手帳B	12. 精神障害者保健福祉手帳2級
3. 身体障害者手帳3級	9. 療育手帳C	13. 精神障害者保健福祉手帳3級
4. 身体障害者手帳4級	10. 療育手帳D	14. 自立支援医療（精神通院医療）を利用
5. 身体障害者手帳5級		
6. 身体障害者手帳6級		
15. 上記の手帳や自立支援医療はない		

【問3で「1」～「6」の身体障害者手帳に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問5へお進みください】

問4 手帳に記されている障害は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 視覚障害	6. 上肢機能障害	11. じん臓機能障害
2. 聴覚障害	7. 下肢機能障害	12. 呼吸器機能障害
3. 平衡機能障害	8. 体幹機能障害	13. ぼうこう、直腸、小腸機能障害
4. 音声・言語機能障害	9. 運動機能障害	14. 免疫機能障害
5. その他機能障害	10. 心臓機能障害	15. 肝臓機能障害

問5 お子さんは「発達障害」と診断されたことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

→【問5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問6へお進みください】
問5-1 それは、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 自閉症スペクトラム (ASD)

4. その他 ()

2. 学習障害 (LD)

5. 現時点で診断がつかない

3. 注意欠陥多動性障害 (AD/HD)

ご家庭のことについて

問6 お子さんは、現在どこで生活していますか (○は1つ)

1. 自宅

3. 施設等に入所

2. 病院入院

4. その他 ()

→【問6で「1. 自宅」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問7へお進みください】
問6-1 お子さんと一緒に暮らしている方はどなたですか。お子さんからみた属性でお答えください。(○はいくつでも)

1. 親

4. その他の親族

7. その他 ()

2. 祖父母

5. 友達・仲間

3. 兄弟姉妹

6. ひとりで暮らしている

問7 お子さんと一緒に暮らしている世帯の状況について、あてはまるものをお答えください。
(○はいくつでも)

1. 介護が必要な障害のある方と同居している

2. 要介護（支援）認定を受けている方と同居している

3. 要介護（支援）認定は受けていないが、介護が必要な方と同居している

4. 病気などの理由により不自由な方がいる

5. 小学生以下の子どもがいる

6. ひきこもりの状態にある方と同居している

7. その他 ()

8. あてはまるものはない

問8 お子さんと一緒に暮らしている家族全体の年収（世帯年収）（賃金・年金等を含む）は税込でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 100万円未満

7. 600万円～700万円未満

2. 100万円～200万円未満

8. 700万円～800万円未満

3. 200万円～300万円未満

9. 800万円～900万円未満

4. 300万円～400万円未満

10. 900万円～1,000万円未満

5. 400万円～500万円未満

11. 1,000万円以上

6. 500万円～600万円未満

12. わからない・答えたくない

障害に気づいた時期について

問9 お子さんの障害や発達課題などに気づいたきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

1. 病院などの医療機関による受診・健診

5. 保育園・幼稚園の助言

2. 保健センターで実施する健診

6. 学校の助言

(4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)

7. あなたを含む家族による気づき

3. 小学校で実施する就学時健康診断

8. その他 ()

4. 年長時のことばの検査

問10 お子さんの障害や発達課題などには早く気づけたと思いますか。(○は1つ)

1. 思う

2. 思わない

問11 お子さんの障害や発達課題などに気づいた際に、市役所や専門機関等へ相談できましたか。
(○は1つ)

1. 相談できたし、対応も満足だった

2. 相談できたが、対応は不満だった

3. 相談できなかった・しなかった

→【問11で「2. 相談できたが、対応は不満だった」または「3. 相談できなかった・しなかった」を選んだ方にうかがいます。それ以外の方は問12へお進みください】

問11-1 対応に不満だった理由、または相談できなかった・しなかった理由を教えてください。

主な介助者について

問12 お子さんの主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

1. 父親・母親

4. 隣人・知人

7. 施設の職員

2. 兄弟姉妹

5. ホームヘルパー

8. その他 ()

3. 祖父・祖母・親戚

6. ボランティア

問 13 障害があることが理由で、お子さんが支援を必要とする項目はどれですか。
(○はいくつでも)

1. 食 事	4. 衣服の着脱	7. 外 出
2. 排 泄	5. 医療的ケア	8. 自宅での学習の手助け
3. 入 浴	6. コミュニケーション	9. その他 ()

問 14 主な介助者が、万が一、急病、急用、事故などで介助できなくなった場合、どのようにしていますか。これまでそのようなことがなかった方は今後のことを想定してお答えください。
(○は1つ)

1. 同居の家族に頼む	5. 病院や施設に一時的に入所する
2. 同居していない家族や親戚に頼む	6. 特定の人には決まっていない
3. 近所の人や友人に頼む	7. 誰にも頼まない(介助なしでいる)
4. 公的サービス(ホームヘルパーの派遣等)	8. どうしてもいいかわからない
を頼む	9. その他 ()

医療について

問 15 お子さんは、定期的に診察を受けていますか。(○は1つ)

1. 入院している	4. 週に1回	7. その他 ()
2. ほぼ毎日	5. 月に2～3回	8. 定期的には診察を受けていない
3. 週に2～3回	6. 月に1回	

問 16 お子さんが受けている「医療的なケア」は何ですか。(○はいくつでも)

1. 受けていない	7. ネブライザーの管理	13. 導尿
2. 人工呼吸器の管理	8. 経管栄養	14. 排便管理
3. 気管切開の管理	9. 中心静脈カテーテルの管理	15. 痙攣時の坐薬挿入、吸引、 酸素投与、迷走神経刺激 装置の作動等の処置
4. 鼻咽喉エアウェイの管理	10. 皮下注射	
5. 酸素療法	11. 血糖測定	
6. 吸引	12. 継続的な透析	

問 17 お子さんの健康の維持や医療に関することで困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 医療機関が近くにない	5. 医療機関の設備や対応が障害児に配慮されていない
2. 病気や治療の説明がよく分からない	6. 障害があることで、他の病気の治療が受けにくい
3. かかりつけの医師がいない	7. 健康や医療について相談できる人や場所を知らない
4. 専門の医師がいない	8. 医療費の負担が大さい
	9. 介護の負担が大さい
	10. 通院のための交通費の負担が大さい
	11. その他 ()

教育について

問 18 お子さんは、現在どちらに通園・通学(訪問教育)または通塾していますか。

※1～6を選ぶ場合、○はいくつでも ※7～11を選ぶ場合、○は1つ	
1. 幼稚園	7. 通園していない
2. 保育所	8. 訪問教育を受けている
3. 障害児通所支援	-----> 問 24 へお進みください
4. 小・中学校(特別支援学級)	9. 仕事をしている
5. 小・中・高校(通常の学級)	10. 通学・仕事はしていない
6. 特別支援学校(旧養護学校、盲学校、ろう学校)	11. その他 ()
	-----> 問 26 へお進みください

----->【問 18 で「1」～「6」を選んだ方にうかがいます。】

問 19 問 18 で選択した通園・通学先は市内、市外どちらにありますか。(○は1つ)

1. 市 内	2. 市 外

問 20 お子さんは放課後(通園・通学後)を概ねどのように過ごしていますか。

(アとイ、それぞれ○は1つ)

ア 誰と過ごしていますか	イ どこで過ごしていますか
1. ひとりで	1. 自宅
2. 家族	2. 自宅以外の家
3. 親族	3. 習い事や塾
4. 友人	4. 学校の部活動
5. 地域の人・知人	5. 学童(放課後児童クラブなど)
6. ホームヘルパー	6. 図書館
7. 施設など職員や仲間	7. 児童館
8. その他 ()	8. その他の公共施設(公園・公民館など)
	9. 日中一時預かり
	10. 児童発達支援センター
	11. 児童発達支援事業所
	12. 放課後等デイサービス
	13. 民間の施設(娯楽施設・店舗など)
	14. 親の職場
	15. その他 ()

問 21 今後はどのような放課後の過ごし方を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 放課後、学校あるいは近くで子どもが集まって過ごせる場がほしい
2. 親子で遊べる場所がほしい
3. その他 ()
4. 現在の過ごし方でよい

問 22 放課後や学校の無い日におけるお子さんのことで現在特に困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 子どもを過ごさせる場所・サービスが少ない
2. 放課後の居場所への送迎手段・サービスが不足している
3. 医療的ケアなどの家庭での介護負担が大きい
4. 子どもが自宅で学習することが困難
5. 子どもを自宅に残して外出することが困難
6. 子どもを連れて外出することが困難
7. 放課後の居場所への送迎のため、就労時間の確保ができない
8. 子どもの養育のため保護者の就労が困難
9. その他 ()
10. 特にない・わからない

問 23 学校生活におけるお子さんのことで現在特に困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校内で、障害を理由に差別を受けている
2. 頼りになる教員がいない
3. 学校や教員の障害についての専門性が低い
4. 子どもが教員や友人とコミュニケーションをとることが困難
5. 授業についていけない
6. 医療的ケアなどに必要な学校の介護体制が整っていない
7. 一人での登下校が難しいなど、通学の負担が大きい
8. 不登校などで通学が困難
9. 通常の学級に就学させたい
10. 特別支援学級に就学させたい
11. 特別支援学校に就学させたい
12. その他 ()
13. 特にない・わからない

【問 18 で「1」～「8」を選んだ方にうかがいます】

問 24 園や学校にお子さんが通う上で、あなたが求めることを教えてください。(○はいくつでも)

1. 送迎など、通園・通学のサポート
2. 学習支援や介助など、園・学校生活のサポート
3. 生活訓練や職業訓練など、専門的な指導
4. 投薬や嚥下（かくだん）吸引など、医療的なケア
5. 福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携
6. 障害や発達課題などに対する、教師や他の児童・生徒の理解と配慮
7. 障害や発達課題などに合わせた環境の整備
8. その他 ()

問 25 これからの障害児の学校教育で、特に大切と思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 障害の有無にかかわらず、地域の同じ場で学ぶこと
2. 障害児のニーズに応じた専門的な教育を充実させること
3. いろいろな教育の場を選択できること
4. 障害に対する教員の専門性を向上させること
5. 教育と福祉・医療との連携を図ること
6. 幼児期から成人期までの一貫した教育の支援体制をつくること
7. すべての学校に特別支援学級を設けること
8. 通学送迎支援の体制を充実させること
9. いじめや差別をなくすること
10. 通級指導教室※の増設をすること
11. その他 ()

※通級指導教室…通常の学級に在籍する軽度の障害のある児童に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室

【ここからは全員の方にうかがいます】

問 26 現在、お子さんが文化芸術活動（鑑賞含む）で取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

【芸術】	11. 彫刻	【メディア芸術】	【芸能】	【娯楽】
1. 文学	12. 工芸	22. 映画	29. 落語	35. 囲碁
2. 詩	13. 陶芸	23. 漫画	30. 漫才	36. 将棋
3. 俳句	14. 染色	24. アニメ	31. 歌唱	
4. 小説	15. 写真			37. その他 ()
5. 音楽	16. 演劇	【伝統芸能】	【生活文化】	
6. オペラ	17. 時代劇	25. 雅楽	32. 茶道	
7. クラシック	18. ミュージカル	26. 能楽	33. 華道	
8. ポップス	19. 日本舞踊	27. 文楽	34. 書道	38. 特にない
9. 美術	20. バレエ	28. 歌舞伎		
10. 絵画	21. ダンス			

問 27 今後、お子さんが文化芸術活動（鑑賞含む）で取り組みたいことはありますか。(○はいくつでも)

【芸術】	11. 彫刻	【メディア芸術】	【芸能】	【娯楽】
1. 文学	12. 工芸	22. 映画	29. 落語	35. 囲碁
2. 詩	13. 陶芸	23. 漫画	30. 漫才	36. 将棋
3. 俳句	14. 染色	24. アニメ	31. 歌唱	
4. 小説	15. 写真			37. その他 ()
5. 音楽	16. 演劇	【伝統芸能】	【生活文化】	
6. オペラ	17. 時代劇	25. 雅楽	32. 茶道	
7. クラシック	18. ミュージカル	26. 能楽	33. 華道	
8. ポップス	19. 日本舞踊	27. 文楽	34. 書道	38. 特にない
9. 美術	20. バレエ	28. 歌舞伎		
10. 絵画	21. ダンス			

就労について

問 28 お子さんが卒業後、円滑な日常生活又は社会生活を送るために、義務教育の期間に必要な
と思う支援を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 特性や課題に応じた学習支援
2. 職業訓練(職場体験・実習の場)
3. ソーシャルスキル訓練※
4. ライフスキル訓練※
5. 心身の健康管理
6. 包括的性教育※
7. 仲間・友人づくり
8. その他()

※ソーシャルスキル…社会生活を送る上で人との関係を確立し、円滑な人間関係を維持するスキル
※ライフスキル…移動や買い物、福祉サービスの利用方法など生きていく術(すべ)
※包括的性教育…生殖器官や妊娠など知識の教育だけでなく、性交、避妊、ジェンダー、人権、多様性、人間関係、性暴力の防止なども含めた教育のこと

問 29 将来的に、お子さんが高等学校などを卒業した後、あなたはどのような進路を希望されますか。(〇は2つまで)

1. 一般就労する
2. 働くための知識や能力を向上させる訓練を受ける
3. 福祉的就労をする
4. レクリエーションや創作活動等を事業所へ通う
5. 職業訓練校へ通う
6. 大学や専門学校等へ進学する
7. 自宅でできる仕事をする
8. 就労等の希望はない
9. わからない
10. その他()

問 30 障害のある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 企業などが積極的に障害のある方を雇うこと
2. 障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること
3. 就労条件(個別の状況に応じた対応など)が整っていること
4. 生活できる給料がもらえること
5. 事業主や職場の仲間の理解があること
6. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること
7. 自営業を希望する障害のある方への支援が充実していること
8. 通勤(交通)手段が確保されていること
9. 働く場の紹介(あっせん)や相談が充実していること
10. 健康管理が充実していること
11. 働きながら安心して通院できること
12. 作業所など働く場が整備されていること
13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること
14. 就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること
15. その他()
16. 特に必要ない

福祉サービスについて

問 31 次の各サービスについて、利用状況・利用意向をお答えください。(次の各サービスについて、それぞれあてはまる番号「1～6」の中から〇は1つ)

◎在宅で暮らす方に対して		1	2	3	4	5	6
(1) 居宅介護	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	3	4	5	6
(2) 重度訪問介護	重度の肢体不自由者、行動上著しい困難を有する障害者で常に介護を必要とする方に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時の移動を補助します。	1	2	3	4	5	6
(3) 行動援護(知的・精神障害)	行動に著しい困難を有する方が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(4) 重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い方に、居宅介護など複数のサービスを包括的にを行います。	1	2	3	4	5	6
(5) 放課後等デイサービス(障害児向けサービス)	障害児が日中施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。	1	2	3	4	5	6
(6) 児童発達支援(障害児向けサービス)	通所利用の障害児や、地域の障害児・その家族を対象とした支援や、障害児が通所する保育所等を訪問して支援します。	1	2	3	4	5	6
(7) 保育所等訪問支援	障害児が障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(8) 短期入所	自宅で介護する方が病気の場合などに、短期間、夜間も含め、施設で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	3	4	5	6
◎地域での自立生活を希望する方に対して							
(9) 宿泊型自立訓練	知的・精神障害者に居室、その他の設備を提供するとともに、家事等の日常生活能力の向上のための支援、生活等の相談、助言、その他の必要な支援を行います。	1	2	3	4	5	6
◎その他の日常生活支援を希望する方に対して							
(10) 川口市障害者相談支援センター	障害のある方、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を行います。	1	2	3	4	5	6

	1 今現在利用している	2 今現在利用している予定はない	3 今現在利用しているが、利用したい	4 利用したいが利用できない	5 今現在利用している予定はない	6 知らない・わからない
(11) コミュニケーション支援 聴覚、言語機能、音声機能、視覚、その他の障害のため、地域生活などに支障がある障害のある方に対して、手話通訳者・要約筆記者などの設置及び派遣を行います。	1	2	3	4	5	6
(12) 日常生活用具給付等 障害者・難病の方の日常生活を容易にするために、日常生活用具の給付、貸与を行います。	1	2	3	4	5	6
(13) 移動支援 居外での移動が困難な障害のある方について、外出のための支援を行います。	1	2	3	4	5	6
(14) 地域活動支援センター 障害のある方が通い、創作的活動または生産活動の提供、社会との交流の促進などの便益を図ります。	1	2	3	4	5	6
(15) 日中一時支援 障害のある方の家族の就労支援および介護者の一時的な休息を目的とし、日中の活動の場を提供します。	1	2	3	4	5	6
(16) 生活サポート 市に登録した民間福祉団体が、障害児（者）の一時預かり、派遣による介護や外出の付き添いなど、本人や家族の必要としているサービスを時間単位で提供します。	1	2	3	4	5	6
(17) 自動車運転免許取得費助成 障害者が就職などのため、自動車運転免許を取得する場合、それに要した費用の一部を助成します。	1	2	3	4	5	6
(18) 住宅改修費助成 重度の身体障害者の居宅を生活しやすいように改善する場合で、介護保険または日常生活用具給付の対象にならない工事について助成します。ただし、新築・改築・増築に際して行う工事は除きます。	1	2	3	4	5	6
(19) 川口市障害者就労支援センター ハローワークをはじめ関係機関と連携し、障害者の受け入れ事業所を広げるための活動をしています。また、市内の障害者施設と協力し、就労へ向けてさまざまな取り組みを行っています。	1	2	3	4	5	6

【問31で1つでも「4. 利用したいが利用ができない」と回答した方にうかがいます】

問32 お子さんのために利用したいにも関わらず、利用ができていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 定員がいっぱいで利用できない	7. 利用したい事業所がない
2. 通うことが大変である	8. 子どもに適したサービスがわからない
3. サービスの回数・時間が足りない	9. サービスの利用方法がわからない
4. 専門的な支援ができる人材がいらない	10. 災害や感染症などへの対応が不安である
5. 利用したい時間帯や時期があわない	11. その他
6. 自己負担額が高い	()

問33 福祉サービスを利用するにあたり、困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 利用料が高い	7. 通いにくい（遠い、交通手段がない）
2. サービスの質が低い	8. 子どもが他の利用者や職員になじめない
3. 手続きが面倒である	9. サービス内容に関する情報が少ない
4. 子どもの障害程度や希望に合ったサービスが受けられない	10. サービス利用に関する相談相手がいらない
5. 定員がいっぱいで施設に入所や通所ができない	11. 利用したいサービスがない
6. 医療的ケアが受けられない	12. その他 ()
	13. 特になし・わからない

問34 問31に記載しているサービスについて、お子さんにとって川口市内で不足していると思うものはどれですか。（○は3つまで）

(1) 居宅介護	(11) コミュニケーション支援
(2) 重度訪問介護	(12) 日常生活用具給付等
(3) 行動援護（知的・精神障害）	(13) 移動支援
(4) 重度障害者等包括支援	(14) 地域活動支援センター
(5) 放課後等デイサービス（障害児向けサービス）	(15) 日中一時支援
(6) 児童発達支援（障害児向けサービス）	(16) 生活サポート
(7) 保育所等訪問支援	(17) 自動車運転免許取得費助成
(8) 短期入所	(18) 住宅改修費助成
(9) 宿泊型自立訓練	(19) 川口市障害者就労支援センター
(10) 川口市障害者相談支援センター	(20) 特になし

問35 あなたは、川口市の障害者施策について、総合的に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足している	4. やや不満である
2. まあまあ満足している	5. 不満である
3. どちらともいえない	

外出について

問36 お子さんはどのくらいの頻度で外出していますか。（通学、通園・通所・通院での外出を除きます。）（○は1つ）

1. ほぼ毎日	4. 月に2～3回	6. ほとんど外出しない
2. 週に2～3回	5. 年に数回	
3. 週に1回		

(次ページへ進む)

→【問36で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問37へお進みください】
問 36-1 お子さんの主な外出の目的は何ですか。（通学、通園・通所・通院での外出を除きま
す。）（○はいくつでも）

1. 買い物	7. 鑑賞（コンサート、映画など）・スポーツ観戦
2. 散歩	8. スポーツ活動
3. 友人や知人の家への訪問	9. 芸術・文化活動
4. 旅行、キャンプなど	10. ボランティア活動
5. 地域の行事、町会・自治会の活動	11. その他
6. 習い事（絵画、書道など）	（ ）

問 37 お子さんは、地域活動や地域行事に参加していますか。（○は1つ）

1. よく参加する	2. ときどき参加する	3. ほとんど参加しない

→【問37で「1. よく参加する」または「2. ときどき参加する」を選んだ方にうかがいます。
それ以外の方は問38へお進みください】

問 37-1 お子さんはどのような地域活動や地域行事に参加していますか。（○はいくつでも）

1. 市の催し・行事	4. 障害者団体の活動
2. 町会、自治会のお祭りなどの催し・行事	5. ボランティア団体の活動
3. 町会、自治会の活動	6. その他（ ）

問 38 お子さんが外出しやすくなるためには何が必要ですか。（○はいくつでも）

1. 子どもでも参加できる行事が充実すること
2. 公共交通機関（鉄道・バスなど）が充実していること
3. 移動支援（同行援護・行動援護など）が充実していること
4. 施設・道路などが整備されていること
5. 障害がある方専用の駐車場が充実していること
6. コミュニケーションの支援（通訳など）が充実していること
7. 一緒に出かけてくれる人がいること
8. 交通費が安く済むこと
9. 市民の障害に対する理解が深まること
10. 休憩場所が充実していること
11. スポーツやレクリエーション活動の指導者が増えること
12. その他（ ）
13. 特にない・わからない

情報や相談について

問 39 あなたは、お子さんが必要とする福祉サービスの情報を十分に入手できていますか。
（○は1つ）

1. できている	4. できていない
2. まあまあできている	5. 必要ない
3. あまりできてない	

問 40 あなたは、いろいろな福祉に関する情報を、どこ（誰）から入手していますか。
（○はいくつでも）

1. 家族・親戚、友人・知人	9. 相談支援事業所
2. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	10. 民生委員・児童委員
3. インターネット	11. 学校、職場
4. 市の広報紙やパンフレット等	12. ヘルパー
5. 福祉施設の窓口・職員等	13. 町会、自治会の回覧
6. 福祉団体・サークル	14. 近所の人
7. 社会福祉協議会	15. その他（ ）
8. 市役所・保健センター・保健所	16. 特にない

問 41 令和4年5月に施行された「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進
法」を踏まえ、障害のある方の情報の十分な取得や利用、スムーズな意思疎通を推進する
ための施策の充実を検討しています。

あなたは、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が特に必要であると考え
ますか。（○は3つまで）

1. 障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実
2. 場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備
3. 障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり
4. ICTを活用することができているネットワークや利用環境の充実
5. 障害のある方への情報通信機器の提供、障害のある方の情報通信機器の取得に対する支援
6. 情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援
7. 情報通信機器を活用する機会・場の充実
8. 情報通信に関する情報の提供
9. その他（ ）
10. 特にない

問42 あなたが、悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 保育園・幼稚園・学校
5. 役所（国・県・市町村）の窓口
6. 相談支援事業所
7. ホームヘルパー
8. 障害のある方が通う施設
9. 医療機関
10. 民生委員・児童委員
11. 障害者団体
12. その他（ ）
13. 相談相手はいない
14. 特に悩みや困ったことはない

問43 あなたが現在 相談している、または相談したいと思っていることは何ですか。

(おとこは)

1. 子どもの健康・医療
2. 収入・年金・手当
3. 家庭問題
4. 子どもの教育・学習
5. 子どもの交友・対人関係
6. 子どもの就職
7. 障害のある方が暮らす施設の利用に関すること
8. 在宅での障害福祉サービスの利用に関すること
9. 子どもの福祉機器の利用に関すること
10. その他
11. 特にない・わからない

問 44 市内には障書のある方の相談事業所がありますが、あなたは知っていますか。また利用したことがありますか。利用しての満足度はどうでしたか。

	(ア・イ・ウのそれぞれ番号 〇は1つ)									
	ア. 知っていますか		イ. 利用の有無		(イで「利用した」に〇をつけた方のみ) ウ. 利用しての満足度					
	知って いる	知らない	利用 した	利用して いない	満足	まあ 満足	やや 普通	やや 不満	不満	
障害者相談支援 事業所	1	2	1	2	1	2	3	4	5	

権利擁護について

問 45 あなたの目からみて、障害者の社会の中の「生きにくさ、障壁」について、市民の理解度はどの程度だと考えますか。

(ア～エについて、それぞれあてはまる番号「1～4」の中から○は1つ)

	十分 理解されている	ある程度 理解されている	理解されて いない	わからない
ア. 身体障害	1	2	3	4
イ. 知的障害	1	2	3	4
ウ. 精神障害 (発達障害・高次脳 機能障害を含む)	1	2	3	4
エ. 難病	1	2	3	4

問46 過去3年間に、日常生活において、お子さんが差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことはありますか。(〇は1つ)

1. よく感じる 2. ときどき感じる	3. ほとんど感じたことはない 4. まったく感じたことはない

→【問46で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は問47へお進みください】

問46-1 具体的にはどのような場面で、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 学校などの教育の場で
2. 仕事
3. 収入面
4. 病院の医師や看護師等の対応・態度
5. コミュニケーションや情報の収集
6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動
7. ご近所とのつきあい
8. 地区の行事・集まり
9. 外での人の視線（じろじろ見られる等）
10. お店などでの対応
11. 行政職員の対応・態度
12. 電車など、交通機関の利用等
13. 公共施設の利用等
14. その他（ ）

災害時について

問47 お子さんは地震などの災害時にひとりで避難することができますか。(〇は1つ)

1. できる	2. できない	3. わからない

→【問 47 で「2. できない」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は問 48 へお進みください】

問47-1 お子さんが、災害時にひとりで避難できない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 幼いため、ひとりで判断や行動することが難しい
2. 避難指示や避難勧告などの情報が把握できないため
3. 介助者がいないと移動できないため
4. 避難場所がわからないため
5. 自分で判断して行動することがむずかしいため
6. パニックを起こしてしまうため
7. その他（ ）

問 48 災害が発生した場合に、あなたが不安に思っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 自宅や利用施設が地震などに耐えられるか
2. 緊急時の情報（被害状況、避難場所など）を得られるか
3. 子どもが緊急事態を把握できるか
4. 子どもが救助を求めることができるか
5. 子どもを救助してくれる人がいるか
6. 子どもが安全な場所まですぐに避難することができるか
7. 子どもの障害にあった対応（介助、福祉用具など）をしてくれる避難所があるか
8. 子どもが普段受けている治療や薬を手に入れることができるか
9. 子どもがまわりの人たちとコミュニケーションがとれるか
10. 子どもが避難所になじめるか
11. その他（
12. 特にない・わからない

問 49 避難所生活で不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 会場やトイレ等がバリアフリーになっていない
2. 性別に配慮した支援が受けられない
3. 手話や点字等に対応できず、困ったことが相談できない
4. 障害に配慮した情報伝達が受けられない
5. 必要な福祉サービスが受けられない
6. 必要な服薬や医療的ケアが受けられない
7. 障害の特性により他人とは過ごせない
8. 一般の避難者からの差別や偏見がある
9. 障害者用の専用スペースがない
10. 食料や飲料水などの物資の確保ができない（列に並べない、偏食、アレルギー）
11. その他（
12. 特に思いつかない

問 50 あなたは、高齢者や障害者など特別な配慮が必要な方を受け入れる福祉避難所を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない

将来について

問 51 将来的に、お子さんが高等学校などを卒業した後、あなたはお子さんがどこで暮らすことを希望されますか。(○はいくつでも)

1. 自宅で生活	3. 入所施設※で生活
2. グループホーム※などで生活	4. その他（

※グループホーム…地域のアパートや戸建て住宅等で世話人の支援を受けながら、共同で生活する居住の場。
※入所施設…日中の支援とあわせて、夜間における食事や排泄等の介護や支援を受けて生活する施設。

問 52 お子さんの今後について不安に思うことは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 障害・病状の悪化
2. 障害に応じた在宅でのサービスの不足
3. 障害に応じた福祉施設の不足
4. 家族など介護者の体力的な負担
5. 家族など介護者の経済的な負担
6. 就学・進学先の有無
7. 就職先の有無
8. 学校・職場での人間関係
9. 結婚・出産・子育てなどの家庭生活
10. 趣味・生きがいをもつこと
11. その他（
12. 特にない・わからない

問 53 あなたは、障害のある方が地域で暮らすためには、どのような支援や環境が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

(1) 地域で暮らすまでに必要な支援や環境

1. 日常生活ができるための訓練をすること
2. 施設や病院以外で暮らす体験ができること
3. 障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実
4. アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がいること
5. 自宅の改修
6. 障害福祉サービスの調整をしてくれる人がいること
7. 身近に相談できる事業所があること
8. その他（

(2) 地域で暮らし続けるために必要な支援や環境

1. 家族の理解があること
2. 介助者がいること
3. 働いて収入が得られる、収入額が増えること
4. 地域住民が障害・障害者に理解があること
5. 身近に相談できる事業所があること
6. ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること
7. 休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること
8. その他（
9. 特にない

その他

問 54 川口市は障害者にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい

2. まあ住みやすい

3. やや住みにくい

4. 住みにくい

5. どちらともいえない

問 55 あなたを含むご家族に、どのような支援が大切だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 相談・情報提供

2. 障害や福祉サービスなどの学習機会

3. 心身のリフレッシュ

4. カウンセリングなど、家族の心理的サポート

5. 子どもの通院・通所時における、兄弟姉妹の託児

6. 保護者・兄弟姉妹同士の交流

7. 就職支援

8. 経済的支援

9. その他 ()

10. 特にない

問 56 発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で、特に必要と思うことは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 乳幼児健診の充実

2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断

3. 相談対応の充実

4. 家庭訪問による相談・指導

5. 地域における療育、リハビリテーション体制

6. 通園施設の設備・教育内容等の充実

7. 保育所や幼稚園での発達支援の充実

8. 支援が必要な子どもの小・中学校、高校での教育機会の拡充

9. 特別支援学校の設備・教育内容等の充実

10. 通学・通園時の介助・付き添い

11. 学童保育や休日等の居場所づくり

12. 安心して遊べる機会や場の確保

13. 地域社会とかわる機会や環境づくり

14. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助

15. その他 ()

16. 特にない

問 57 最後に、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

長時間のご協力ありがとうございました。
8月25日（金）までに投函してください（切手不要）。

しょうがいふくし かん ちようさ きようりよく なが
障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い
にゆめしよし せつ しょうせつ
(入所施設・グループホーム利用)

しあみん みなさま ひころ ほんし しょうがいふくしきょうぎせい たい りかい きようりよく
市民の皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対して、ご理解、ご協力をいた
き厚く御礼申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一環を図るため、「障害者福祉計画」「障害者
自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、市民の
皆様にご意見をいただきたく、アンケートをお願いする次第です。この調査は、川口市にお住
まいの18歳以上の市民のうち、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持
っている方で、障害者支援施設に入所またはグループホーム（共同生活援助）に入居してい
る方の中から350名を無作為にお選びしております。

アンケートにお答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理するとともに、
「個人情報」の保護に関する法律に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することは
ありません。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、
よろしくお願いいたします。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. この調査は、あて名のご本人に記入していただくものですが、調査票にお名前を記入する必要はありません。また、答えたくないことは無理にお答えいただくかなくてもかまいません。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入いただいた調査票は、令和5年8月25日(金)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手は不要です。)

記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方、またはひらがな付けをご希望の方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山崎・今井
電話：048-258-1110（代表）内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないようにお答
えください。

◎この調査票の回答者はどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人	3. 施設・病院の職員
2. 家族（親など）	4. その他（ ）

あなた（あて名のご本人）について

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 性	2. 女 性	3. その他

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在) (○は1つ)

1. 18～29 歳	3. 40～64 歳	5. 75～84 歳
2. 30～39 歳	4. 65～74 歳	6. 85 歳以上

問3 あなたがご持ちの手帳等（もっとも新しいもの）はどれですか。(○はいくつでも)

身体障害者	知的障害者	精神障害者
1. 身体障害者手帳1級 2. 身体障害者手帳2級 3. 身体障害者手帳3級 4. 身体障害者手帳4級 5. 身体障害者手帳5級 6. 身体障害者手帳6級 15. 上記の手帳や自立支援医療はない	7. 療育手帳A 8. 療育手帳B 9. 療育手帳C 10. 療育手帳C 11. 精神障害者保健福祉手帳1級 12. 精神障害者保健福祉手帳2級 13. 精神障害者保健福祉手帳3級 14. 自立支援医療（精神通院医療）を利用	

→【問3で「1」～「6」の身体障害者手帳に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問5へお進みください】

問4 手帳に記されている障害は、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 視覚障害	6. 上肢機能障害	11. じん臓機能障害
2. 聴覚障害	7. 下肢機能障害	12. 呼吸器機能障害
3. 平衡機能障害	8. 体幹機能障害	13. ぼうこう、直腸、小腸機能障害
4. 音声・言語機能障害	9. 運動機能障害	14. 免疫機能障害
5. その他機能障害	10. 心臓機能障害	15. 肝臓機能障害

問5 あなたの障害支援区分（程度区分）はどれですか。(○は1つ)

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	8. 認定審査を受けたことはない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
		7. 非該当	10. わからない

【40歳以上の方にうかがいます。それ以外の方は、問7へお進みください】

問6 あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援1	3. 要介護1	5. 要介護3	8. 認定審査を受けたことはない
2. 要支援2	4. 要介護2	6. 要介護4	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
	7. 要介護5	10. わからない	

問7 あなたが受けている医療的ケアは何ですか。(○はいくつでも)

1. 受けていない	7. ネブライザーの管理	13. 導尿
2. 人工呼吸器の管理	8. 経管栄養	14. 排便管理
3. 気管切開の管理	9. 中心静脈カテーテルの管理	15. 痙攣時の坐薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
4. 鼻咽喉工アウェイの管理	10. 皮下注射	
5. 酸素療法	11. 血糖測定	
6. 吸引	12. 継続的な透析	

あなたの日常生活について

問8 あなたの実家の家族構成は次のどれにあたりますか。あなたを中心にしてお答えください。(○は1つ)

1. 家族はいない	4. 親と兄弟姉妹
2. 親	5. 三世代同居（親と兄弟姉妹夫婦、孫等）
3. 兄弟姉妹	6. その他（ ）

問9 あなたは、現在の施設に入ってからどのくらいになりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	3. 3年以上5年未満	5. 10年以上
2. 1年以上3年未満	4. 5年以上10年未満	

問10 あなたは、健康面で心配なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 年々、体が動かなくなる	
2. 体（足や腰など）が痛い	
3. 肥満・運動不足	
4. 食事面や栄養のバランス	
5. 生活習慣病（高血圧、高脂血症（脂質異常症）、糖尿病など）	
6. 精神的な不安	
7. 眠れない	
8. 歯の治療がむずかしい	
9. 体調が悪くても、まわりにわかってもらえない	
10. 医師や看護師に症状をうまく伝えられない	
11. その他（ ）	
12. 特になし	

問11 あなたは、現在入所している施設に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	4. 少し不満である
2. まあまあ満足している	5. 不満である
3. どちらとも言えない	

問12 あなたは、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や援護をしてくれる人がいない
2. 好きなものが食べられない
3. 自由に外出できない
4. 生活時間が拘束されている（起床・就寝、消灯、食事時間等）
5. 適当な働き口がない
6. 十分な収入が得られない
7. 趣味や生きがいを持ってない
8. 生活をするうえで必要な情報を得られない
9. 自分の健康や体力に自信がない
10. 家族などが高齢化している
11. 施設内での人間関係がうまくいかない
12. 必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない
13. 結婚に関して
14. 将来にわたる生活の場（住居）、または施設があるかどうか
15. その他（ ）
16. 特に困っていることや不安に思うことはない

問13 あなたが、悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。(○はいくつでも)

1. 家族・親戚	7. 医療機関
2. 友人・知人	8. 民生委員・児童委員
3. 近所の人	9. 障害者団体
4. 役所（国・県・市町村）の窓口	10. その他（ ）
5. 相談支援事業所	11. 相談相手はいない
6. 入所・入居している施設の職員	12. 特に悩みや困ったことはない

問14 あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。(○は1つ)

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

相談や情報などについて

問 15 あなたは、いろいろな福祉サービスに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。（○はいくつでも）

1. 家族・親戚、友人・知人	9. 相談支援事業所
2. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	10. 民生委員・児童委員
3. インターネット	11. 学校、職場
4. 市の広報紙やパンフレット等	12. ボランティア
5. 福祉施設の窓口・職員等	13. 近所の人
6. 福祉団体・サークル	14. その他（ ）
7. 社会福祉協議会	
8. 市役所・保健センター・保健所	15. 特にない

問 16 あなたが所有（利用）している情報通信機器はどれですか。（○はいくつでも）

1. スマートフォン	3. パソコン	5. その他（ ）
2. 携帯電話	4. タブレット端末	6. 持っていない

問 17 あなたの目からみて、障害者の社会の中の「生きにくさ、障壁」について、市民の理解度はどの程度だと考えますか。（ア～エについて、それぞれあてはまる番号「1～4」の中から○は1つ）

	十分理解されている	ある程度理解されている	理解されていない	わからない
ア. 身体障害	1	2	3	4
イ. 知的障害	1	2	3	4
ウ. 精神障害（発達障害・高次脳機能障害含む）	1	2	3	4
エ. 難病	1	2	3	4

問 18 過去3年間に、あなたは虐待されたことがありますか。（○は1つ）

1. ある	2. な い	3. わからない

→【問 18 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 19 へお進みください】
問 18-1 具体的にどのような場所で、ありましたか。（○はいくつでも）

1. 教育の場	4. 公共施設	7. その他（ ）
2. 福祉施設	5. 職場	
3. 医療機関	6. 家庭（家族、親戚）	

問 18-2 具体的にどのような虐待を受けましたか。（○はいくつでも）

1. 身体を傷つけられたり、拘束されたりした
2. わいせつな行為をされた
3. 暴言を吐かれたり、拒絶・無視された
4. 食事を食べさせてもらえなかったり、長時間放置されたりした
5. 財産を不当に処分されたり、賃金をとられたりした
6. その他（ ）

問 19 過去3年間に、あなたは障害のある方が虐待されているのを見たとありますが。（○は1つ）

1. ある	2. な い	3. わからない

問 20 あなたは、次のような虐待の相談窓口を知っていますか。（ア、イについて、それぞれあてはまる番号「1、2」の中から○は1つ）

	知っている	知らない
ア. 川口市障害者虐待防止センター（TEL048-259-7926）	1	2
イ. 埼玉県虐待通報ダイヤル（＃7171）	1	2

問 21 過去3年間に、あなたは日常生活において、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことはありませんか。（○は1つ）

1. よく感じる	3. ほとんど感じたことはない
2. ときどき感じる	4. まったく感じたことはない

→【問 21 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 22 へお進みください】

問 21-1 具体的にどのような場面で、差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことがありますか。（○はいくつでも）

1. 学校などの教育の場で	9. 外での人の視線（じろじろ見られる等）
2. 仕事	10. お店などでの対応
3. 収入面	11. 行政職員の対応・態度
4. 病院の医師や看護師等の対応・態度	12. 電車など、交通機関の利用等
5. コミュニケーションや情報の収集	13. 公共施設の利用等
6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動	14. 結婚
7. ご近所とのつきあい	15. 出産
8. 地区の行事・集まり	16. その他（ ）

問 22 あなたは、相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる
2. 信頼できる相談者がいる
3. 障害のある仲間が相談に応じてくれる
4. 身近な場所で相談できる窓口がある
5. インターネットでの相談ができる
6. 電話での相談を充実する
7. ファックスや福祉電話の貸付サービスを行う
8. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる
9. その他 ()
10. 特 に な い

問 23 市には障害のある方の①相談支援事業所や②就労支援センターがありますが、あなたは知っていますか。また利用したことがありますか。利用しての満足度はどうでしたか。

		(①②についてア・イ・ウのそれぞれの番号 ○は1つ)											
ア. 知っていますか		イ. 利用の有無		ウ. 「利用した」に○をつけた方のみ									
知って いる		知らない		利用 した		利用して いない		まあ 満足		やや 普通		やや 不満	
①障害者相談支援 事業所	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	5
②障害者就労支援 センター	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	5		5

仕事について

問 24 あなたの収入は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 給与・賃金	4. 年金	7. 仕送り
2. 事業収入	5. 福祉に関する手当	8. その他 ()
3. 財産収入	6. 生活保護	9. 収入はない

問 25 あなたは現在、働いていますか。(○は1つ)

1. 働いていない	3. 学校等に通っている
2. 働いている	4. その他 ()

⇒問 26へ

【問 25 で「1. 働いていない」と回答した方にかかいます】

問 25-1 働いていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病気・障害などのため	3. 仕事をする必要がない (高齢などの理由で)	5. その他
2. 仕事が見つからない	4. 入所しているから	()

(次ページへ進む)

【問 25-1 で「2. 仕事が見つからない」と回答した方にかかいます。それ以外の方は問 26へお進みください】

問 25-2 どのような条件が整っていれば就労できると思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分のやりたい内容であればできる	4. 給与の条件が合えばできる
2. 就労時間や日数の条件が合えばできる	5. その他
3. 就労の機会が得られればできる	()

【問 25 で「2. 働いている」または問 25-1 で「2. 仕事が見つからない」と回答した方にかかいます】

問 25-3 将来、働いてみたいと思う働き方はありますか。(○は1つ)

1. 自営業	6. 有償ボランティア
2. 家業の手伝い	7. 内職
3. 会社などの正規の社員・職員 (役員を含む)	8. 就労継続支援 A 型
4. 契約社員等 (雇用期間が決まっている)	9. 就労継続支援 B 型
5. 臨時、パート、嘱託等	10. 生活介護
(雇用期間が決まっている)	11. その他 ()

【すべての方にかかいます】

問 26 あなたは、1 週当たり何時間働きたいと考えますか。(○は1つ)

1. 10 時間未満	4. 30 時間以上
2. 10 時間以上 20 時間未満	5. 働きたくない
3. 20 時間以上 30 時間未満	6. 働くことができない

問 27 障害のある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 企業などが積極的に障害のある方を雇うこと
2. 障害のある方に配慮した職場の施設・設備が整っていること
3. 就労条件 (個別の状況に応じた対応など) が整っていること
4. 生活できる給料がもたらえること
5. 事業主や職場の仲間の理解があること
6. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること
7. 自営業を希望する障害のある方への支援が充実していること
8. 通勤 (交通) 手段が確保されていること
9. 働く場の紹介 (あっせん) や相談が充実していること
10. 健康管理が充実していること
11. 働きながら安心して通院できること
12. 作業所など働く場が整備されていること
13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること
14. 就労後の相談、支援が適切に行われるような定着支援が充実していること
15. その他 ()
16. 特に必要ない

まちづくり・地域生活について

問 28 あなたは、川口市は障害者にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい	4. 住みにくい
2. まあ住みやすい	5. どちらともいえない
3. やや住みにくい	

問 29 あなたは、将来的にどのような暮らし方をしたいですか。(○は1つ)

1. ひとりで暮らしたい	5. 病院に入院して暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい	6. その他 ()
3. グループホーム・ケアホームで暮らしたい	7. わからない
4. この施設で暮らしたい	

→【問 29 で「4. この施設で暮らしたい」と回答した方にかがいます。それ以外の方は問 30 へお進みください】

問 29-1 その理由についてご記入ください。

問 30 あなたは、障害のある方が地域で暮らすためには、どのような支援や環境が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

(1) 地域で暮らすまでに必要な支援や環境

- | |
|--------------------------------|
| 1. 日常生活ができるための訓練をすること |
| 2. 施設や病院以外で暮らす体験ができること |
| 3. 障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実 |
| 4. アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がいること |
| 5. 自宅の改修 |
| 6. 障害福祉サービスの調整をしてくれる人がいること |
| 7. 身近に相談できる事業所があること |
| 8. その他 () |

(2) 地域で暮らし続けるために必要な支援や環境

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 家族の理解があること |
| 2. 介助者がいること |
| 3. 働いて収入が得られる、収入額が増えること |
| 4. 地域住民が障害・障害者に理解があること |
| 5. 身近に相談できる事業所があること |
| 6. ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること |
| 7. 休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること |
| 8. その他 () |
| 9. 持たない |

問 31 あなたは、今後、川口市に住みたいですか。(○は1つ)

1. 住みたい	2. 住みたくない	3. わからない

問 32 あなたは、障害があっても住み良いまちづくりのために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実 |
| 2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実 |
| 3. サービス利用の手続きの簡素化 |
| 4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実 |
| 5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実 |
| 7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実 |
| 8. いろいろなボランティア団体の育成 |
| 9. 住宅での生活がしやすく介助が受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実 |
| 10. 医師や専門職員による訪問指導の充実 |
| 11. 短期入所施設の整備 |
| 12. 入所施設の整備 |
| 13. グループホームの整備 |
| 14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備 |
| 15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供 |
| 16. 保育・教育内容の充実 |
| 17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実 |
| 18. 職業訓練の充実や働く場所の確保 |
| 19. 障害のある仲間が集える場の確保 |
| 20. 利用しやすい公共施設の整備・改善 |
| 21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実 |
| 22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善 |
| 23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保 |
| 24. 災害のときの避難誘導体制の整備 |
| 25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実 |
| 26. その他 () |

※次の問 33～39 は、あて名の方の親族である主な介助・援助者の方がお答えください。主な介助・援助者が施設職員の場合や、あて名の方の親族による回答が難しい場合は問 40 へお進みください。
※以下の間で「あなた」とは主な介助・援助者のことを指します。

主な介助・援助者の意向について

問 33 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 10～19 歳	4. 60～64 歳	7. 85 歳以上
2. 20～39 歳	5. 65～74 歳	
3. 40～59 歳	6. 75～84 歳	

問 34 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 性	2. 女 性	3. その他

【40 歳以上の方にうかがいます。それ以外の方は、問 36 へお進みください】

問 35 あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援 1	5. 要介護 3	9. 認定審査を受けたが、認定されなかった
2. 要支援 2	6. 要介護 4	10. 総合事業の対象者
3. 要介護 1	7. 要介護 5	11. わからない
4. 要介護 2	8. 認定審査を受けたことはない	

問 36 あなたは、就労していますか。(○は1つ)

1. 就労している（正社員）	3. 就労していない
2. 就労している（パート・アルバイト）	4. 介助のため退職した

問 37 あて名の方について、今後施設を出て、地域で暮らすことは可能だと思いますか。(○は1つ)

1. 条件が整えば可能だと思う	3. わからない
2. 難しいと思う	4. その他（ ）

問 38 あなたは、今後、あて名の方の生活の場所をどのように考えますか。(○はいくつでも)

1. 自宅で生活	3. 入所施設で生活
2. グループホームなどで生活	4. その他（ ）

問 39 あなたが、介助・援助者の立場として、心配なことや困っていることは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 介助している方の将来のこと（進学、就労、結婚、住まいなど）	7. 外出が出来ないこと
2. 自分が亡くなった後のこと	8. 仕事などにつけないこと
3. 健康のこと	9. 他に介助してくれる人がいないこと
4. 自由にできる時間がないこと	10. 費用面など、お金の問題
5. 家族・親族等の理解がないこと	11. 相談できる人や場所がわからないこと
6. 近所の人の理解がないこと	12. その他（ ）
	13. 特にない

【すべての方にうかがいます】

問 40 最後に、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

長時間のご協力ありがとうございました。
8月 25 日（金）までに投函してください（切手不要）。

障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い (一般市民)

市民の皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対しまして、ご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一層の充実を図るため、「障害者福祉計画」「障害者自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、市民の皆様にご意見をいただきたく、アンケートをお願いする次第です。この調査は、川口市にお住まいの18歳以上の市民の皆様の中から3,100名を無作為にお選びしております。

アンケートにお答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理することにも、「個人情報保護の法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. この調査は、あて名のご本人に記入していただくものですが、調査票にお名前を記入する必要はありません。また、答えたくないことは無理にお答えいただく必要もありません。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入いただいた調査票は、令和5年8月25日(金)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手は不要です。)

記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山路・今井
電話：048-258-1110 (代表) 内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないようにお答えください。

◎この調査票の回答者はどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人	3. 施設・病院の職員
2. 家族（親など）	4. その他（ ）

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 性	2. 女 性	3. その他

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在) (○は1つ)

1. 18～39 歳	2. 40～64 歳	3. 65～74 歳	4. 75 歳以上

問3 あなたは、今現在、障害のある方とどのような関わりがありますか(ありましたか)。(○はいくつでも)

1. 家族等身近な親族として	5. 職場で	9. 地域でみかける程度
2. 友人・知人として	6. 同じ趣味やスポーツ活動で	10. その他
3. 隣近所の一員として	7. 地域の行事などで	()
4. 学校で	8. ボランティア活動などで	11. 交流する機会はない

問4 あなたが日常生活の中で障害のある方への手助けとしてできることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 移動の支援(車椅子を押す、付き添いなど)	8. ちよっとした買物やごみ出し
2. ホームに落ちないよう声かけ・手助けする	9. 地域行事での支援
3. 身体的な介助(着替え、食事など)	10. 安否確認(見守り支援)
4. 手話・筆談・要約筆記・朗読を行う	11. 災害時などの避難の手助け
5. 話し相手や相談相手	12. その他
6. 施設への訪問、手伝い	()
7. 家事の援助(掃除、洗濯、調理など)	13. 何もできない(したくない)

問5 あなた自身や隣近所の方は、障害者の社会の中での「生きにくさ、障壁」について、どの程度理解が進んでいると考えますか。

(ア、イそれぞれあてはまる番号「1～4」の中から○は1つ)

	十分理解している	ある程度理解している	理解してはいない	わからない
ア. あなた自身	1	2	3	4
イ. 隣近所の方	1	2	3	4

問6 過去3年間に、あなたは日常生活において、障害のある方への差別や偏見、疎外感、気になること、いやな思いを感じたことはありますか。(○は1つ)

1. よく感じる	3. ほとんど感じたことはない
2. ときどき感じる	4. まったく感じたことはない

→【問6で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問7にお進みください】

問6-1 具体的にはどのような場面で、差別や偏見、疎外感、気になることがありますか。(○はいくつでも)

1. 学校などの教育の場で	9. 外での人の視線(じろろ見られる等)
2. 仕事	10. お店などでの応対
3. 収入面	11. 行政職員の応対・態度
4. 病院の医師や看護師等の応対・態度	12. 電車など、交通機関の利用等
5. コミュニケーションや情報の収集	13. 公共施設の利用等
6. 学習機会やスポーツ・趣味の活動	14. 結婚
7. ご近所とのつきあい	15. 出産
8. 地区の行事・集まり	16. その他()

問7 あなたは、川口市が障害のある方にとって住みやすいまちだと感じますか。(○は1つ)

1. 住みやすい	3. やや住みにくい	5. どちらともいえない
2. まあ住みやすい	4. 住みにくい	

問 8 国では、地域共生社会（障害の有無に関わらず、「全ての人が地域、暮らし、生きがいとともに作り、高め合うことができる」社会）を目指し、様々な施策に取り組んでいます。あなたがお住まいの地域では、この地域共生社会がどのくらい進んでいると思いますか。（○は1つ）

1. 進んでいる	3. どちらとも言えない	5. 進んでいない
2. 少しは進んでいる	4. あまり進んでいない	

問 9 障害のある方とない方が、お互いに理解しあうために重要なことは何と考えますか。（○はいくつでも）

1. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会を提供する
2. 障害福祉について、小中学校での教育を充実させる
3. 障害のある方とない方の交流の機会（講演、イベント等）を充実させる
4. 障害のある方の地域への積極的な参加を促進する
5. 障害者施設と地域が積極的な交流を行う
6. 障害のある方へのボランティア活動を活発にする
7. 生涯学習講座に、手話や点字等を積極的に取り入れる
8. 市民向けの普及啓発活動を充実させる
9. 川口市のまちづくり活動に障害のある方の参加を促進する
10. その他（ ）

問 10 あなたは、障害があっても住み良いまちづくりのために、どのようなことが必要だと思えますか。（○はいくつでも）

1. 何でも相談できる窓口をつくるなど 相談体制の充実	13. グループホームの整備※
2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実	14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備
3. サービス利用の手続きの簡素化	15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供
4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実	16. 保育・教育内容の充実
5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実
6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実	18. 職業訓練の充実や働く場所の確保
7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	19. 障害のある仲間が集える場の確保
8. いろいろなボランティア団体の育成	20. 利用しやすい公共施設の整備・改善
9. 住居での生活がしやすく介助を受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実	21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実
10. 医師や専門職員による訪問指導の充実	22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善
11. 短期入所施設の整備※	23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保
12. 入所施設の整備※	24. 災害のときの避難誘導体制の整備
	25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実
	26. その他（ ）

※短期入所施設…自宅での介助者が疾病等の理由により、一時的に介助を行うことができない場合に利用する施設
※入所施設…日中の支援とあわせて、夜間における食事や排泄等の介護や支援を受けて生活する施設
※グループホーム…地域のアパートや戸建て住宅等で世話人の支援を受けながら、共同で生活する居住の場

問 11 あなたは、次の事業等について知っていますか。
（ア〜カについて、それぞれあてはまる番号「1〜3」の中から○は1つ）

	1 名称も内容も知っている	2 聞いたことはあるが、内容は知らない	3 初めて聞いた
ア. 川口市手話言語条例	1	2	3
イ. 川口市精神障害者ピアサポート講座	1	2	3
ウ. 川口市あいサポート運動	1	2	3
エ. 川口市登録手話通訳者養成事業	1	2	3
オ. 川口市障害者週間記念事業（ハートフェスタ）	1	2	3
カ. 川口市要約筆記者派遣業務委託事業	1	2	3

問 12 川口市の障害福祉施設全般のことで、お気づきの点があれば何でも結構です。ご自由に意見を聞かせください。

長時間のご協力ありがとうございました。
8月25日（金）までに投函してください（切手不要）。

障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い (関係団体)

皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対し、ご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一層の充実を図るため、「障害者福祉計画」「障害者自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、障害関係団体の皆様にご意見をいただきたく、アンケート調査をお願いする次第です。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. ご回答できる設問のみ、ご記入ください。

2. ご記入が終わりましたら、アンケート用紙は同封されている返信用封筒に入れて、**令和5年8月25日（金）まで**に投函してください。
なお切手を貼っていただく必要はありません。

このアンケートについて、ご不明な点や質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山路・今井
電話：048-258-1110（代表）内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

最初に、貴団体の名称等をご記入ください。

貴団体の名称		(記入者)
貴団体の設立目的及び活動概要	【設立目的】	
	【活動概要】	

問 貴団体に所属する障害者ご本人やその家族が感じている課題等についてご記入ください。

①生活を送る上での困りごとについて	
②生活を送る上での困りごとについて相談する相手・団体について	

③災害時における準備やその不安、または必要な支援について	
④日常生活において、急遽、家族等の支援が受けられなくなる（家族等の突然の病気・ケガ・入院等）可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援について	
⑤将来的に家族（親族）からの支援が得られなくなる（家族等の高齢化による介護力の低下や死亡）可能性を考慮した準備やその不安、または必要な支援について	

⑥差別解消法等の改正後の変化等について（国や地方公共団体に加え、民間事業者についても合理的配慮の提供が義務化されたことに伴う変化）	
⑦川口市で暮らしていく上で不足していると感じる支援や問題について	
⑧川口市で暮らしていく上で「利用しやすい」や「有効だ」と感じることにについて	ご協力ありがとうございました。 8月25日（金）までに投函してください（切手不要）。

障害福祉社に関するアンケート調査へのご協力をお願い
(事業所)

皆様には、日頃から本市の障害福祉行政に対し、ご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

このほど、本市では障害福祉施策の一層の充実を図るため、「障害者福祉計画」「障害者自立支援福祉計画」「障害児福祉計画」を策定することといたしました。つきましては、事業所の皆様にご意見をいただきたく、アンケート調査をお願いする次第です。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしく願います。

令和5年7月

川口市長 奥ノ木信夫

《ご記入にあたってのお願い》

このアンケート調査は、法人あてに1部のみお送りしています。複数の事業所※を運営している法人は、川口市内の各事業所の内容・意向をまとめて記入して下さい。

※事業所とは障害福祉サービスを提供している事業所を指します。

1. この調査は、**令和5年7月1日現在**の状況でお答えください。
 2. ご記入に際しては、該当する番号に○印をつけてください。「その他」に当てはまる場合には、() 内に具体的な内容を記入してください。また、自由意見欄はご自由にご記入ください。
 3. ご記入が終わりましたら、アンケート用紙は同封されている返信用封筒に入れて、**令和5年8月25日(金)まで**に投函してください。
- なお切手を貼っていただく必要はありません。

記入にあたって、ご不明な点や質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

川口市 福祉部 障害福祉課 担当 山路・今井
電話：048-258-1110（代表）内線 15310・15313
FAX：048-259-7943
電子メール：083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp

貴法人（事業所）について

問1 貴法人の本部・本社の所在地はどちらですか。(○は1つ)

1. 川口市内

問2 貴法人の運営主体はどれですか。(〇は1つ)

1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. NPO 法人 4. 株式会社 5. その他の法人（ 6. 法人格未取得	※法人格の取得時期をご記入ください。 法人格取得時期 (西暦) 年 月 頃

問3 貴法人が運営する事業所数（川口市内・市外それぞれ）を記入してください。

施設種別	川口市内	川口市外
1. 居宅介護		
2. 重度訪問介護		
3. 同行援護		
4. 行動援護		
5. 重度障害者等包括支援		
6. 短期入所		
7. 療養介護		
8. 生活介護		
9. 施設入所支援		
10. 共同生活援助（介護サービス包括型）		
11. 共同生活援助（外部サービス利用型）		
12. 共同生活援助（日中サービス支援型）		
13. 自立生活援助		
14. 自立訓練（機能訓練）		
15. 自立訓練（生活訓練）		
16. 就労移行支援		
17. 就労継続支援 A 型		
18. 就労継続支援 B 型		
19. 就労定着支援		
20. 放課後等デイサービス		
21. 児童発達支援		
22. 保育所等訪問支援		
23. 計画相談支援		

施設種別	川口市内	川口市外
24. 移動支援		
25. 地域活動支援センターⅠ型		
26. 地域活動支援センターⅡ型		
27. 地域活動支援センターⅢ型		
28. 福祉ホーム		
29. 地域移行支援		
30. 地域定着支援		
31. その他（具体的に）		

事業所の運営状況について

※複数の事業所を運営されている場合は、川口市内の事業所の視点からお答えください。

問 4 現在の経営状況は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

1. 特に問題なく順調である

3. 事業継続がかなり難しい状況にある
2. 大きな問題は無いが、順調とは言えない

4. その他（ ）

問 5 障害福祉サービス事業を運営していく上で、問題だと思われることについて以下の項目別にお答えください。

①事業単価について (○は1つ)

1. 過大である (高すぎる)

3. 適切である

5. 少ない (低い)
2. やや過大である (少し高い)

4. やや少ない (少し低い)

②従業員の人員確保・人材確保について (○は2つまで)

1. 現在の報酬単価では人員の確保が難しい

5. 労働条件が厳しく、従業員が定着しにくい
2. 人材を確保するのが困難

6. その他（ ）
3. 高度なスキルを持った人材の確保が難しい

7. 特に問題はない
4. 業務に追われ、職場内での人材育成・教育がほとんどできていない

③利用者との関係や契約の問題について (○は2つまで)

1. 契約制度の仕組みを理解していない利用者（家族）とトラブルになることがある
2. 障害福祉サービスの内容を知らない利用者（家族）とトラブルになることがある
3. 利用者との関係が築きづらい
4. 家族との関係が築きづらい
5. 契約に関する書類の多さや記入項目の多さが事業所の負担となっている
6. 契約に関する書類の多さや記入項目の多さが利用者（家族）の負担となっている
7. その他（ ）
8. 特に問題はない

④サービスの内容やサービスの質の向上について (○は2つまで)

1. 利用者の意見を聞きとり希望をプランにする時間が確保できない
2. 利用者の希望に沿ったプランではないため、必要なサービスが提供できていない
3. 職員が定着しないため、サービスの質の低下につながっている
4. 日常の業務に追われ、サービスの質を高めるための研修等が十分にできない
5. 総合支援法のサービス対象にはないが（サービス報酬に結びつかない）、現実的には必要なサービスを事業者が無償で行う場合がかなりある
6. その他（ ）
7. 特に問題はない

⑤人材の確保のために取り組んでいることがありますたら、ご記入ください。

⑥その他、事業所運営上での問題点や課題等があれば、自由にご記入ください。

問 6 貴事業所では、強度行動障害（自傷、他傷、破壊、非衛生的、異食、極端な固執行動など）のある方の受け入れはできますか。(○は1つ)

1. すでに受け入れている

2. 現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる

3. できない

問 6-1 強度行動障害のある方を受け入れるには、何が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 医療機関との連携強化

4. 必要機材の購入

7. その他（ ）
2. 日中活動の充実

5. 職員の加配
3. 施設の改修

6. 職員の研修

問 7 貴事業所では、重度心身障害のある方の受け入れはできますか。(○は1つ)

1. すでに受け入れている

2. 現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる

3. できない

問 7-1 重度心身障害のある方を受け入れるには、何が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 医療機関との連携強化

3. 必要機材の購入

5. 職員の研修
2. 施設の改修

4. 職員の加配

6. その他（ ）

問 8 貴事業所では、ADLが全介助の重度重複障害で車椅子を使用している方の受け入れはできますか。(○は1つ)

1. すでに受け入れている

2. 現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる

3. できない

問 8-1 ADLが全介助の重度重複障害で車椅子を使用している方を受け入れるには、何が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 医療機関との連携強化

3. 必要機材の購入

5. 職員の研修
2. 施設の改修

4. 職員の加配

6. その他（ ）

問9 貴事業所では、医療的ケア（喀吸引、経管栄養、在宅酸素療法、インシュリン等の注射など）が必要な方の受け入れはできますか。（○は1つ）

1. すでに受け入れている	2. 現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる	3. できない

問9-1 医療的ケアが必要な方を受け入れるには、何が必要ですか。（○はいくつでも）

1. 医療機関との連携強化	3. 必要機材の購入	5. 職員の研修
2. 施設の改修	4. 職員の加配	6. その他（ ）

問10 貴事業所は、加齢に伴い、ADLが低下した方を引き続き受け入れることはできますか。（○は1つ）

1. すでに受け入れている	2. 現在受け入れていないが、希望があれば受け入れる	3. できない

問10-1 加齢に伴い、ADLが低下した方を受け入れるには、何が必要ですか。（○はいくつでも）

1. 医療機関との連携強化	3. 必要機材の購入	5. 職員の研修
2. 施設の改修	4. 職員の加配	6. その他（ ）

問11 貴事業所では、サービスの提供や施設の運営にあたり、地域住民によるボランティアの受け入れを行っていますか。（○は1つ）

1. 常に受け入れている	4. 申し出があれば受け入れる
2. 定期的に受け入れている	5. その他（ ）
3. イベント開催時など不定期に受け入れている	6. 受け入れていない

【問11で「1」～「5」と回答した方にかがいます。「6」と回答した方は問11-2へお進みください】

問11-1 ボランティアはどのような方ですか。（○はいくつでも）

1. 地域住民	4. 小中学生	7. 行政の生涯学習受講者
2. 専門学校・大学の実習生	5. 民間企業職員	8. 障害者団体の関係者
3. 高校生	6. 公務員	9. その他（ ）

【すべての方にかがいます】

問11-2 ボランティアを受け入れるにあたっての課題は何ですか。（○はいくつでも）

1. ボランティアの安全確保が難しい	7. 利用者や家族からの信頼を得られない
2. 利用者の安全確保が難しい	8. 募集してもボランティアが集まらない
3. プライバシーや個人情報の保護が難しい	9. ボランティアの確保・手続きがわからない
4. ボランティアに任せると業務の決定が難しい	10. その他（ ）
5. 個人の差が大きく業務を教えることが難しい	
6. 受け入れ体制（指導・監督）が整えられない	11. ボランティアを受け入れる予定はない

問12 貴事業所では、介護保険サービスを提供していますか。（○は1つ）

1. 提供している →問13へ進む	2. 提供していない →問12-1へ進む

【問12で「2」と回答した方にかがいます。「1」と回答した方は問13へお進みください】

問12-1 今後、介護保険サービスを提供する予定はありますか。（○は1つ）

1. 提供を検討している	4. わからない（未定）
2. 今後、提供を検討する予定がある	5. その他（ ）
3. 提供を検討する予定はない	

問13 事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体はどこですか。（○はいくつでも）

1. 福祉サービス提供事業者	8. ハローワーク	15. 総合リハビリテーションセンター
2. 相談支援事業者	9. 医療機関	
3. 介護保険サービス提供事業者	10. 警察	16. 精神保健福祉センター
4. ボランティア・NPO 団体	11. 地域包括支援センター	17. 発達障害総合支援センター
5. 民生・児童委員	12. 市役所	18. 一般企業
6. 教育機関（学校）	13. 保健所	19. その他（ ）
7. 社会福祉協議会	14. 児童相談所	20. 特になし

問14 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 事例検討会を開催する	5. ネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する
2. 情報交換できる協議会を設置する	6. 個人情報について共有ができる仕組みを構築する
3. 顔の見える関係づくりを行う	7. その他（ ）
4. 市の障害者への取組方針について、共有する機会を持つ	

地域生活について

問15 障害があっても住み良いまちづくりのためには、どのようなことが必要だと願いますか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実 |
| 2. 緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の対応の充実 |
| 3. サービス利用の手続きの簡素化 |
| 4. 行政からの福祉に関する情報提供の充実 |
| 5. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 6. コーディネーターの配置による地域の様々なニーズに対応できる体制の充実 |
| 7. 参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実 |
| 8. いろいろなボランティア団体の育成 |
| 9. 住宅での生活がしやすく介助を受けやすいような保健・医療福祉のサービスの充実 |
| 10. 医師や専門職員による訪問指導の充実 |
| 11. 短期入所施設の整備 |
| 12. 入所施設の整備 |
| 13. グループホームの整備 |
| 14. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備 |
| 15. 幼少期から一緒に学ぶ教育の機会の提供 |
| 16. 保育・教育内容の充実 |
| 17. 共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場の充実 |
| 18. 職業訓練の充実や働く場所の確保 |
| 19. 障害のある仲間が集える場の確保 |
| 20. 利用しやすい公共施設の整備・改善 |
| 21. 障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実 |
| 22. 利用しやすい道路・建物などの整備・改善 |
| 23. 公営住宅の優先入居など生活の場の確保 |
| 24. 災害のときの避難誘導体制の整備 |
| 25. 差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実 |
| 26. その他（ ） |

問 16 障害者が地域で暮らしていくため、地域住民に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 差別・偏見のない障害（特性）への理解
2. 障害者本人や家族のアドバイザーへの配慮
3. 積極的な見守り・声かけ
4. イベント等、地域との交流機会の提供
5. 障害に関するボランティアへの参加
6. 働く場の提供
7. その他（ ）

問17 貴事業所では、虐待を発見した場合の手順を、マニュアル等で定めていますか。(〇は1つ)

1. マニュアルで定め、事業所で共有している
2. 明文化はしていないが、事業所で共有している
3. 特に定めていない

問 18 障害者が安心して暮らしていくために必要な障害福祉サービスは、川口市内で十分に提供されていると考えますか。(〇は1つ)

1. 必要以上に提供されている
2. 十分提供されている
3. やや不足している
4. 不足している

問 19 今後必要になるサービスや、見直すべきサービス等、日頃お考えになっているものがあれば、お答えください。

問20 貴事業所では、福祉サービス第三者評価（※）の受審や自己評価を実施したことがありますか。

1. 実施したことがある →問21へ進む
2. 実施したことはない →問20-1へ進む

※福祉サービス第三者評価
…サービスの質の向上と、適切なサービス選択に役立つための制度、それが「福祉サービス第三者評価」です。社会福祉基礎構造改革において、利用者本位の社会福祉制度の確立が打ち出されました。事業所は質の高い福祉サービスを提供しなければ、利用者から選択されることとなり、また、利用者は、より質の高い福祉サービスを求めることとなります。つまり、事業者は、自らが積極的にサービスの質の向上に向けて取り組むことが重要になります。第三者評価は、福祉サービスの質の向上を図るきっかけとなる仕組みです。

【問20で「2」と回答した方にうかがいます。「1」と回答した方は問21へお進みください】

問20-1 実施したことがない理由は何ですか。

問21 貴事業所では、地域との連携を図るために、どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

1. 町会、自治会に加入している
2. 町会、自治会等の総会に参加している
3. 地域のイベントやお祭りに参加している
4. ボランティアを導入している
5. 事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している
6. 事業所のお祭りやイベントに、地域の方を招待している
7. 地域の町会、自治会等と防災協定を締結している
8. その他 ()
9. 特にない

災害時・感染症への対応について

問22 貴事業所では、災害に備えたマニュアル等を策定していますか。(〇は1つ)

1. 非常災害対策計画を策定している
2. 独自に災害時の対応マニュアルを策定している
3. 策定していない

問 23 貴事業所では、水害や土砂災害など、地域の状況に応じた災害に係る避難訓練を実施していますか。(〇は1つ)

1. 実施している	2. 実施していない

問24 貴事業所では、感染症に備えたマニュアル等を策定していますか。(〇は1つ)

1. 策定している
2. マニユアルは策定していないが、対策方針は決めている
3. マニユアルも対策方針も決めていない

問 25 貴事業所では、災害や感染症に備え、行政はどのような取組みを行っていくことが必要だと考えますか。(〇は1つ)

1. 避難行動要支援者への具体的な支援方法（支援者、誘導方法、移動方法など）
2. 福祉避難所の整備（介護や医療的ケアのための備品準備）
3. 福祉避難所における障害特性に応じた支援方法の明確化
4. 手話などのコミュニケーション手段の確保
5. 福祉避難所の周知
6. その他（ ）

問 26 川口市の障害施策全般のことで、お気づきの点があれば何でも結構です。ご自由にこ
意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
8月25日(金)までに投函してください(切手不要)。

川口市障害福祉に関するアンケート調査報告書
令和5年11月

発 行：川口市
住 所：〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号
電 話：048-258-1110（代表）

